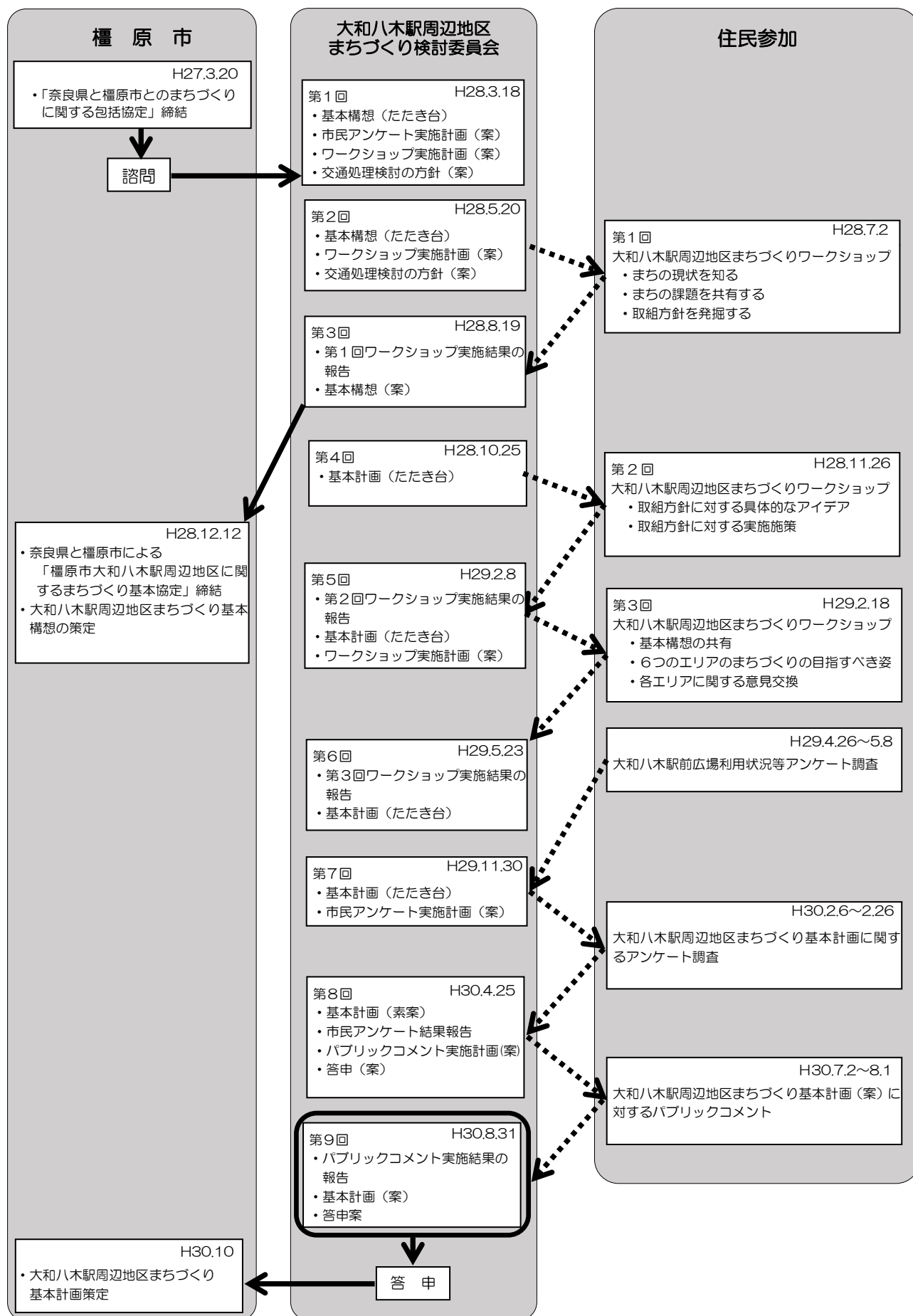


■大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会検討過程



■ 委員会名簿

14名（外部委員：8名、内部委員：6名）

氏名	所属
あかさき こうへい 赤崎 弘平	元大阪市立大学大学院教授
うえだ かずお 植田 和男	特定非営利活動法人日本PFI・PPP協会会長兼理事長
ふじわら あきら 藤原 昭	学校法人冬木学園理事(前奈良市長)
あかはね たかし 赤羽 貴	アンダーソン・毛利・友常法律事務所 弁護士
きたうら いちろう 北浦 一郎	弁護士法人トラスト&サービス 弁護士
いいた かつひろ 飯田 克弘	大阪大学大学院 工学研究科 准教授
あずま ひろのぶ 東 博暢	株式会社 日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 融合戦略グループ長 主席研究員
ほんむら りゅうへい 本村 龍平	奈良県 県土マネジメント部 まちづくり推進局 地域デザイン推進課長(平成27年10月1日～平成30年7月4日)
かのう ようのすけ 加納 陽之助	奈良県 県土マネジメント部 まちづくり推進局 地域デザイン推進課長(平成30年7月5日～)
おかざき ますみつ 岡崎 益光	橿原市 副市長
にしだ きいちろう 西田 喜一郎	橿原市 政策審議監
ふじおか たかし 藤岡 孝	橿原市 地域活性監
へいしよう みつる 平城 満	橿原市 生活安全監(平成28年4月20日～)
なかにし たかかず 中西 孝和	橿原市 総務部長(平成29年4月7日～)
ふくにし よしゆき 福西 克行	橿原市 総合政策部長(平成28年4月20日～)

※委嘱期間の記載がない委員については、平成27年10月1日から委嘱しています。

大和八木駅周辺地区

まちづくり検討委員会協議資料

大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会

一 目 次

日本国はじまりの地 檀原.....	1
1. 基本計画策定の背景.....	2
1.1. 基本計画策定の目的.....	4
1.2. 基本計画策定の流れ.....	5
1.3. 基本構想の概要.....	6
1.4. 大和八木駅周辺地区 基本構想図.....	7
2. 大和八木駅北側.....	8
2.1. 取組方針.....	8
2.2. まちづくりの目指すべき姿.....	8
2.3. 前提条件の整理.....	9
2.4. まちづくり構造図.....	12
2.5. 土地利用の方針.....	13
2.6. 整備方針.....	14
2.7. 整備方針実施の課題と整備手順.....	15
3. 大和八木駅南側.....	17
3.1. 取組方針.....	17
3.2. まちづくりの目指すべき姿.....	17
3.3. 前提条件の整理.....	18
3.4. 土地利用の方針.....	20
3.5. 整備方針.....	21
4. 今井町.....	23
4.1. 取組方針.....	23
4.2. まちづくりの目指すべき姿.....	23
4.3. 前提条件の整理.....	24
4.4. 土地利用の方針.....	26
4.5. 整備方針.....	27
5. 八木町・畝傍駅.....	28
5.1. 取組方針.....	28
5.2. まちづくりの目指すべき姿.....	28
5.3. 前提条件の整理.....	29
5.4. 土地利用の方針.....	31
5.5. 整備方針.....	32
6. 現庁舎.....	33
6.1. 取組方針.....	33
6.2. まちづくりの目指すべき姿.....	33

6.3. 前提条件の整理	34
6.4. 整備方針	38
7. 飛鳥川	39
7.1. 取組方針	39
7.2. まちづくりの目指すべき姿	39
7.3. 前提条件の整理	40
7.4. 土地利用の方針	42
7.5. 整備方針	42
8. 地区全体.....	44
8.1. 取組方針	44
8.2. 前提条件の整理	44
8.3. 整備方針	49
9. 計画実現の手立て	51
9.1. 連携体制	51
9.2. 事業実施に向けた役割分担	52
参考 大和八木駅北側の現段階で想定できる整備手順.....	1

日本国はじまりの地 橿原

橿原市は、古代から多くの道路が整備され交通の要衝として発展してきた。また、日本で最初の条坊制の都として694年に藤原京が造営され、701年には史上初めて本格的律令となる大宝律令が制定され、刑法にあたる律と行政法などの基礎となる令により、国としての基本的な形がこの時代に整った。さらに、大宝律令に初めて「日本」という国号が記され、制定された翌年に遣唐使を派遣した際には、今までの「倭」から「日本」という呼称に改めるよう求め、国際的にも認められた。国のはじまりについては諸説あるが、本市としては、これらをもって「日本国はじまりの地」とし、大和八木駅周辺地区に観光拠点を整備し、近代的な都市機能との共存を図り、将来にわたり、市民・来訪者にとって魅力のあるまちづくりを行う。

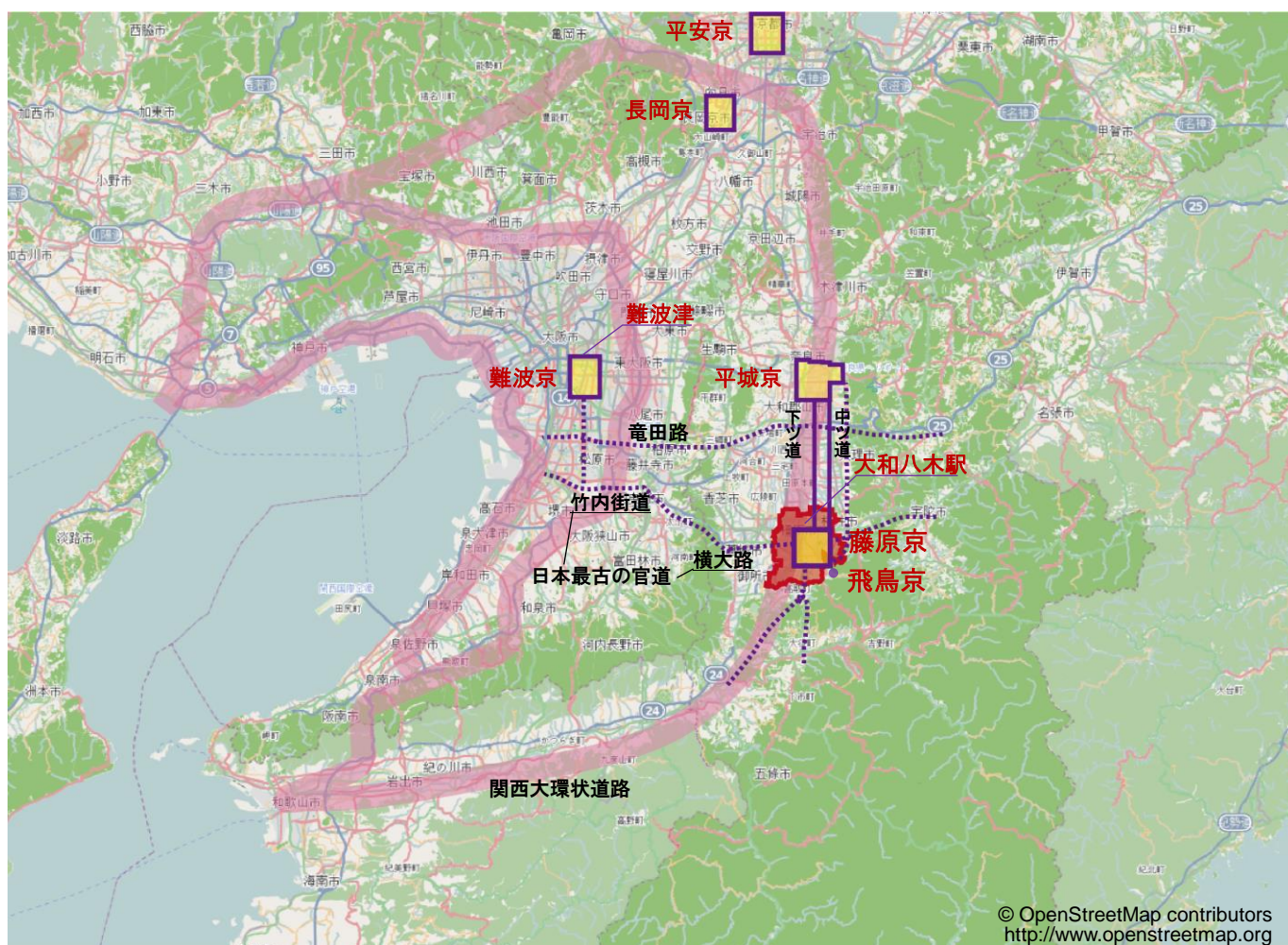


図 古道と関西大環状道路の位置付け

1. 基本計画策定の背景

大和八木駅は、大阪をはじめ奈良・京都・和歌山・三重などと有機的に繋がる古くからの交通の要衝となっている。本市では、大和八木駅の利便性を活かし、奈良県中南和地域（以下、「中南和」という。）、近畿地方一帯の広域的観光の拠点の玄関口として位置付け、広域観光の振興を進めている。また、大和八木駅は、市内のみならず周辺の市町村から通勤や通学、買い物など多くの人々に幅広く利用されており、市の中心市街地としての役割を果たしている。

本市ではこれまでに、近鉄八木駅南整備事業（昭和 63 年～平成 20 年）、橿原三号歩行者専用道路整備事業（平成 21 年～平成 24 年）を実施しており、八木駅南側の駅前広場の整備や駅南北の歩行者動線の確保を図ることで、中南和の玄関口にふさわしい健全な活力のある市街地の創出を目指している。

また、市の観光振興の起爆剤となる八木駅南市有地活用事業（平成 27 年～）の実施により、分庁舎と宿泊施設を含む観光施設からなる複合施設が、平成 30 年 2 月に供用を開始し、さらなる賑わいの創出が期待されている。

一方で、全国的な少子高齢化の状況が本市においても見られ、人口も減少傾向に転じ、大和八木駅周辺においても、高齢化が進展している状況である。また、昭和 57 年に建設された市営八木駅前北駐車場を含め、駅周辺において老朽化した施設があることにより、都市の活力が衰退していくことが懸念される。

市の中核を形成する大和八木駅周辺地区が、将来にわたり、市民・来訪者にとって魅力のあるまちとして、課題を解決し、さらなる活気や賑わいを創出することが求められている。

上述の社会情勢や課題を踏まえ、大和八木駅周辺のまちづくりにおいては、市民・民間事業者・市民活動団体等（以下、「市民等」という。）の積極的な参加・参画が不可欠であり、行政と協働で取り組む体制を築くことが求められている。

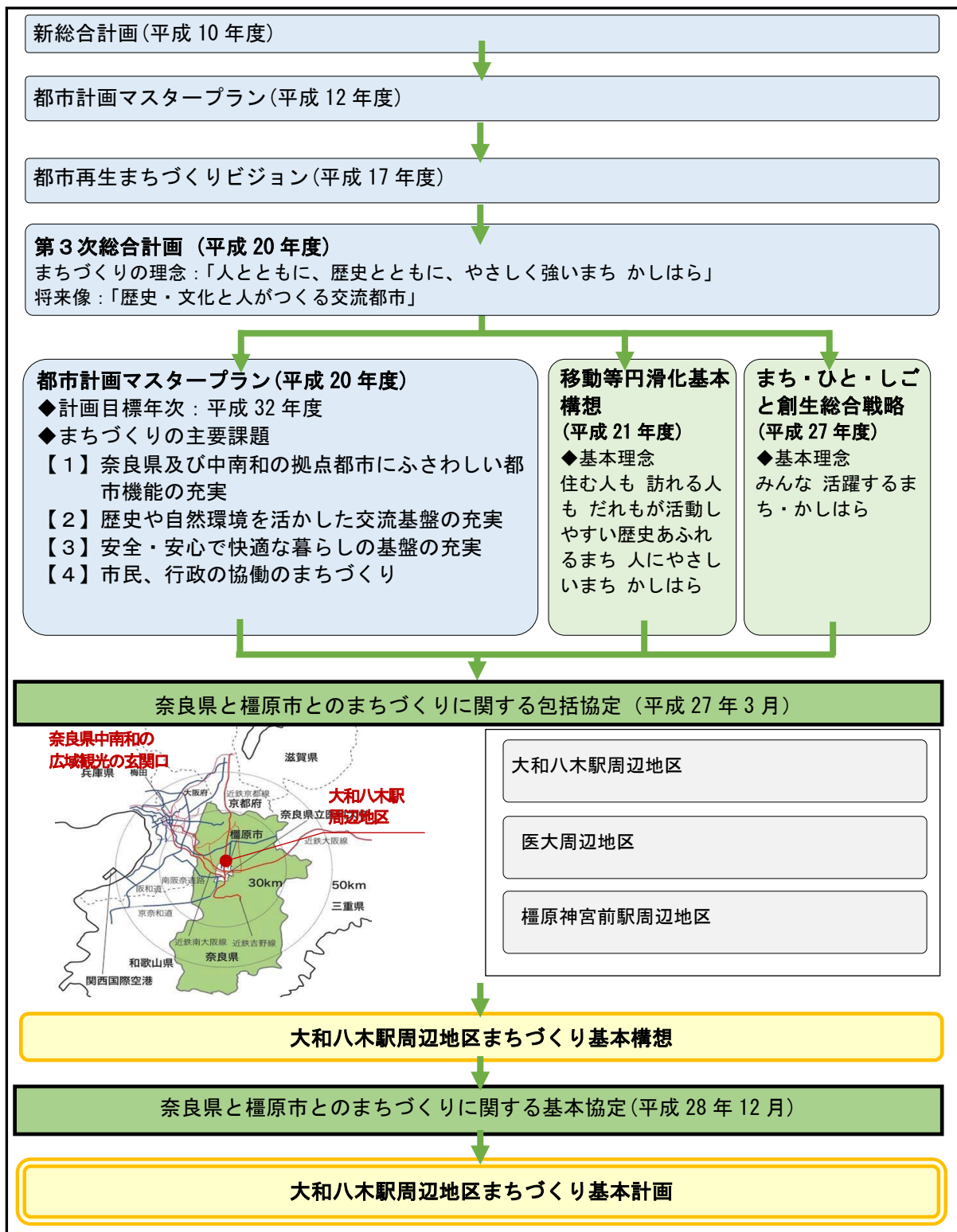


図 1-1 基本計画策定の位置付け

1.1. 基本計画策定の目的

奈良県と橿原市は平成 27 年にまちづくりに関する包括協定を締結し、県と市が連携・協力してまちづくりに取り組むことで、大和八木駅周辺地区の持続的発展及び活性化を図ることを目的として「大和八木駅周辺地区まちづくり基本構想（平成 28 年 12 月策定）」（以下、「基本構想」という。）を策定した。基本構想に示された、コンセプトとまちづくりの将来ビジョンを具体化し実現するために、「大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画」（以下、「基本計画」という。）の策定を行う。

基本計画は、基本構想を実現するために、効率的、計画的に事業を展開できるまちづくりの戦略として策定する。また、5 年以内に完了または着手する具体的な取組みに加え、それ以降の将来的な取組みも含めて策定するもので、5 年経過毎に効果検証を行い、更新する予定である。

なお、本基本計画に記載する事業内容は、住民参加型ワークショップや市民アンケート等の結果をもとに、市が考える取組みの方向性を示すものであり、基本計画策定後の個別事業段階においては、当該地域住民・民間事業者・行政等が連携・協働して各種事業を進めていくこととする。

1.2. 基本計画策定の流れ

基本構想の4つのテーマと18の取組方針に対し、住民参加型ワークショップや市民アンケートを実施し、市民の意見を反映しながら基本計画の策定を行った。基本計画策定の流れは、図1-2に示すとおりである。

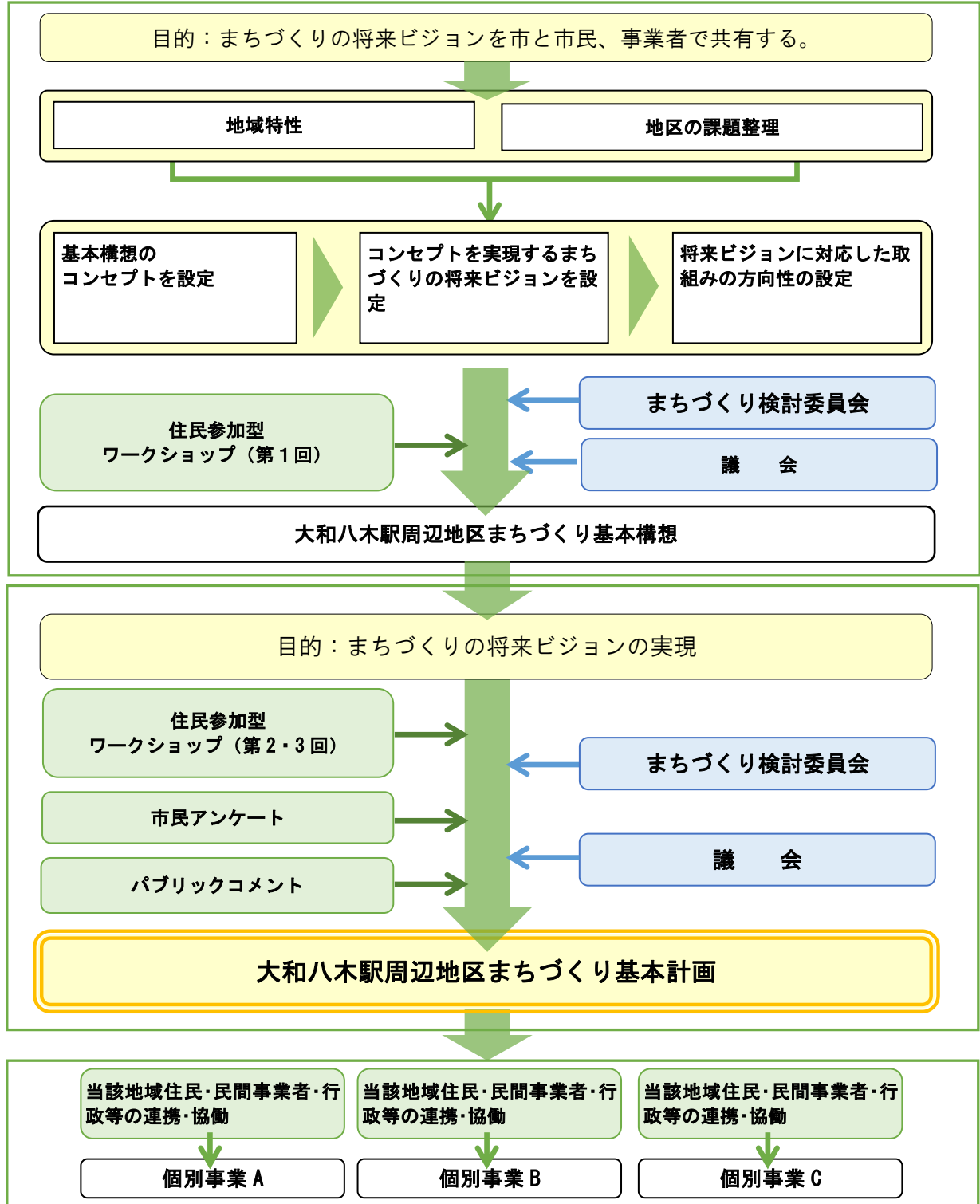


図 1-2 基本計画策定の流れイメージ図

1.3. 基本構想の概要

コンセプト

- 日本国はじまりの地「橿原」にふさわしい広域観光の玄関口の形成
- 中南和地域の拠点都市にふさわしい都市機能を備えた中心市街地の形成
- 近代的な都市機能と、伝統的な歴史的景観との共存および融合

まちづくりの将来ビジョン

将来ビジョン①

中南和地域の「玄関口」にふさわしい拠点づくり

大和八木駅は中南和地域の交通結節点であり、奈良を始め大阪・京都・和歌山・三重等の近畿圏の観光地へ周遊を行える位置にある中南和地域の「玄関口」として、観光客が訪れ、本市を拠点とした滞在型の広域観光を行える都市機能の強化を行う。

また、民間ノウハウの活用を図り、市民や来訪者にとって快適な駅前空間を整備し、現庁舎の耐震性能の確保及び交通処理・交通ネットワークに配慮したコンパクトシティとしてのまちづくりを目指す。

将来ビジョン②

賑わい事業の創出と地域の交流により歴史的景観を継承するまちづくり

大和八木駅は市内または近隣市町村から、通勤や通学、また買い物など多くの人々に幅広く利用されている。市民や来訪者のニーズに応じた賑わい事業を実施し、かつ、市民や地域団体が参画するまちづくりを進めることで地域の交流を深め、都市の賑わいを創出する。

また、地区内の歴史文化遺産を保全・継承し、歴史的景観の維持に努め、観光ルートの整備を行い、回遊性向上による観光振興を図る。

※賑わい事業：大和八木駅周辺地区まちづくりに関わる市、地域団体、民間事業者が連携し、企画、実施するイベント及び施策を指す。

まちづくりの4つのテーマと18の取組方針

A. 賑わい創出

- A-1 新たな複合施設と市内の他施設と連携した賑わい事業の実施
- A-2 賑わい事業の実施主体としての市民団体の育成と民間事業者の活用
- A-3 歩行者天国の実施などによる商店街通りの賑わいの創出
- A-4 立体駐車場※の再整備や駅前広場の機能の充実による賑わいの創出
- A-5 道路が狭あいである密集した居住エリアの防災性能の確保
- A-6 観光資源の活用と整備
- A-7 多世代にとって便利で住みやすい環境の確保

B. 回遊性向上による観光振興

- B-1 大和八木駅から観光案内施設等へのアクセス性の向上
- B-2 大和八木駅から今井町、畝傍駅、八木町への観光ルートや藤原京等への飛鳥川遊歩道観光ルートの周知、及び飛鳥川遊歩道の整備など、回遊でき歩きたくなるルートづくり
- B-3 公共交通、観光、生活サービスネットワークを ICT 技術によってつなげ、多様な都市サービスを提供し、交流人口の回遊性を高めるとともに市民に対し良質なサービスを提供
- B-4 自転車道の整備とレンタサイクルの活用

C. 現庁舎の耐震性能の確保

- C-1 現庁舎の耐震性能の確保と災害活動拠点としての役割の充足
- C-2 将来の人口動向を見据え分散した庁舎を集約し利便性の向上を図る

D. 交通処理・交通ネットワークの検討

- D-1 新賀町 26 号線と八木駅北側広場を結びアクセス道路の整備
- D-2 変則交差点（近鉄八木駅北広場交差点）の改良
- D-3 複合施設の整備に伴い渋滞発生が懸念される箇所の交通処理の検討
- D-4 都市計画道路の再検討
- D-5 八木西口駅については、医大新駅と一体的に「医大周辺地区」にて検討継続

※立体駐車場：市営八木駅前北駐車場を指す。基本構想から引用する箇所については「立体駐車場」と表記し、本資料においては、市営八木駅前北駐車場として表記する。

図 1-3 基本構想の概要

1.4. 大和八木駅周辺地区 基本構想図

大和八木駅周辺地区を、大和八木駅北側、大和八木駅南側、今井町、八木町・畝傍駅、現庁舎、飛鳥川と地区全体のエリアに分類し、基本構想に掲げたそれぞれの取組方針を踏まえ、エリア別に「まちづくりの目指すべき姿」を定め、これらを実現するための検討を行った。

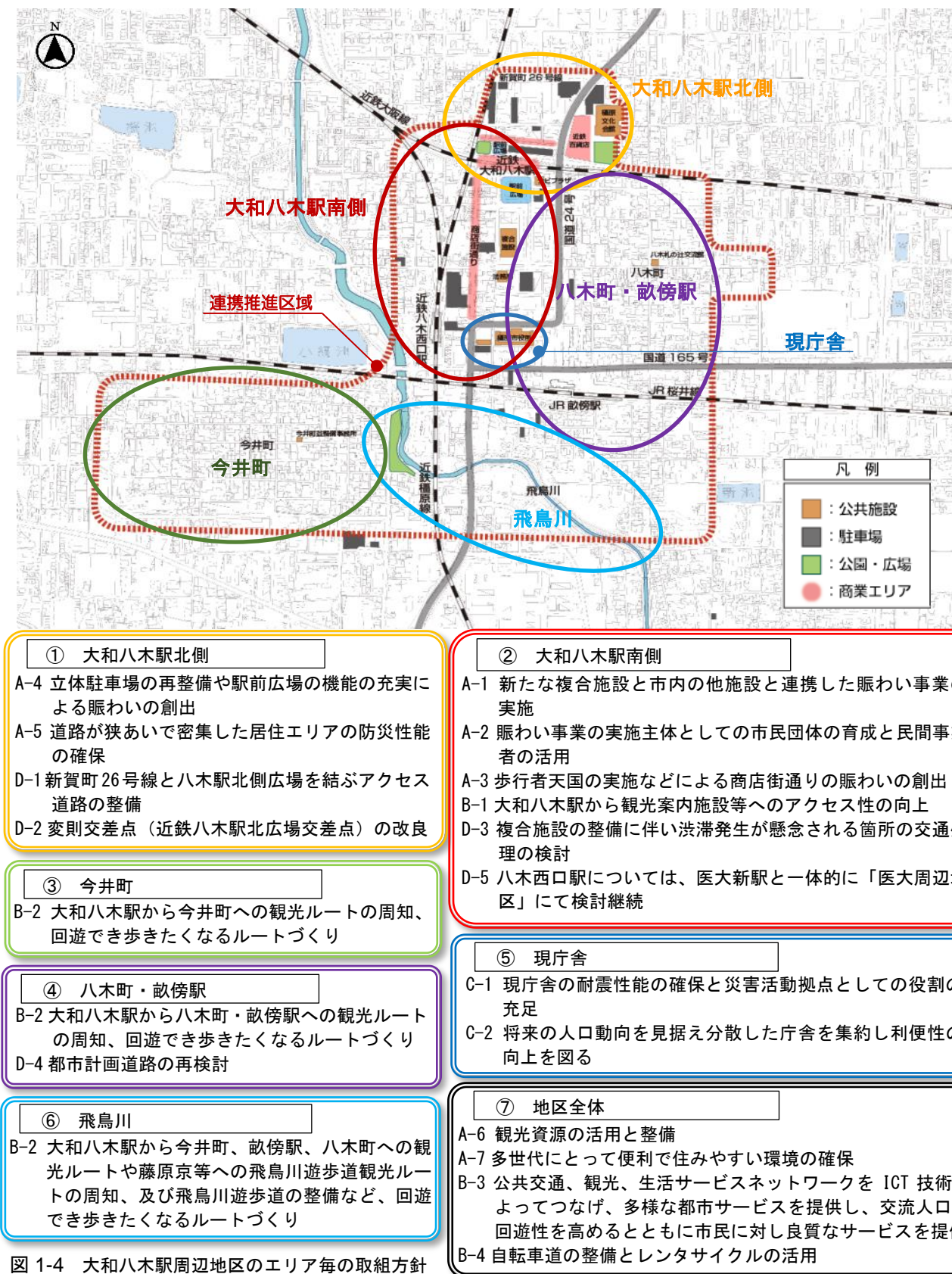


図 1-4 大和八木駅周辺地区のエリア毎の取組方針

2. 大和八木駅北側

2.1. 取組方針

基本構想に示されている大和八木駅北側エリアの取組方針は次の4つである。

A-4 立体駐車場の再整備や駅前広場の機能の充実による賑わいの創出

市営八木駅前北駐車場や駅前広場の再整備を検討することで、大和八木駅北側に必要な機能を整備する。

A-5 道路が狭あいで密集した居住エリアの防災性能の確保

道路が狭あいで、救急車や消防車等の緊急車両が進入できない密集した居住エリアの防災性能を確保するために、道路および駅前広場の再整備等の検討を行う。

D-1 新賀町 26 号線と八木駅北側広場を結ぶアクセス道路の整備

八木駅北側広場から新賀町 26 号線への南北のアクセス道路がないことなどから、国道 24 号の渋滞に拍車をかけているため、新賀町 26 号線と八木駅北側広場を結ぶアクセス道路の整備を検討する。

D-2 変則交差点（近鉄八木駅北広場交差点）の改良

国道 24 号から八木駅北側広場への変則的な交差点となっていることにより、安全性の低下や渋滞への懸念があることから、変則交差点（近鉄八木駅北広場交差点）の改良を検討する。

2.2. まちづくりの目指すべき姿

取組方針を踏まえ、大和八木駅北側エリアの目指すべき姿は、「多世代にとって便利で住みやすく、賑わいのある駅前空間」とする。

大和八木駅の北側の玄関口として、駅前空間の有効活用によって賑わいを創出するとともに、円滑な自動車交通の確保や歩行者動線の改善をはじめ、周辺地域から駅へのアクセス性の向上を図り、駅前商業・住居エリアの防災性能の確保及び生活利便施設の設置など、生活の質の向上を目指す。

多世代にとって便利で住みやすく、賑わいのある駅前空間

2.3. 前提条件の整理

2.3.1. 対象範囲の現況

大和八木駅北側エリアは、大和八木駅北側の駅前広場、市営八木駅前北駐車場、近鉄百貨店、橿原文化会館、また、鉄道の高架下に近鉄八木駅名店街があり、大和八木駅利用者や橿原市内外からの買い物客が行き交う場所になっている。

対象範囲の現況を図 2-1 に示す。

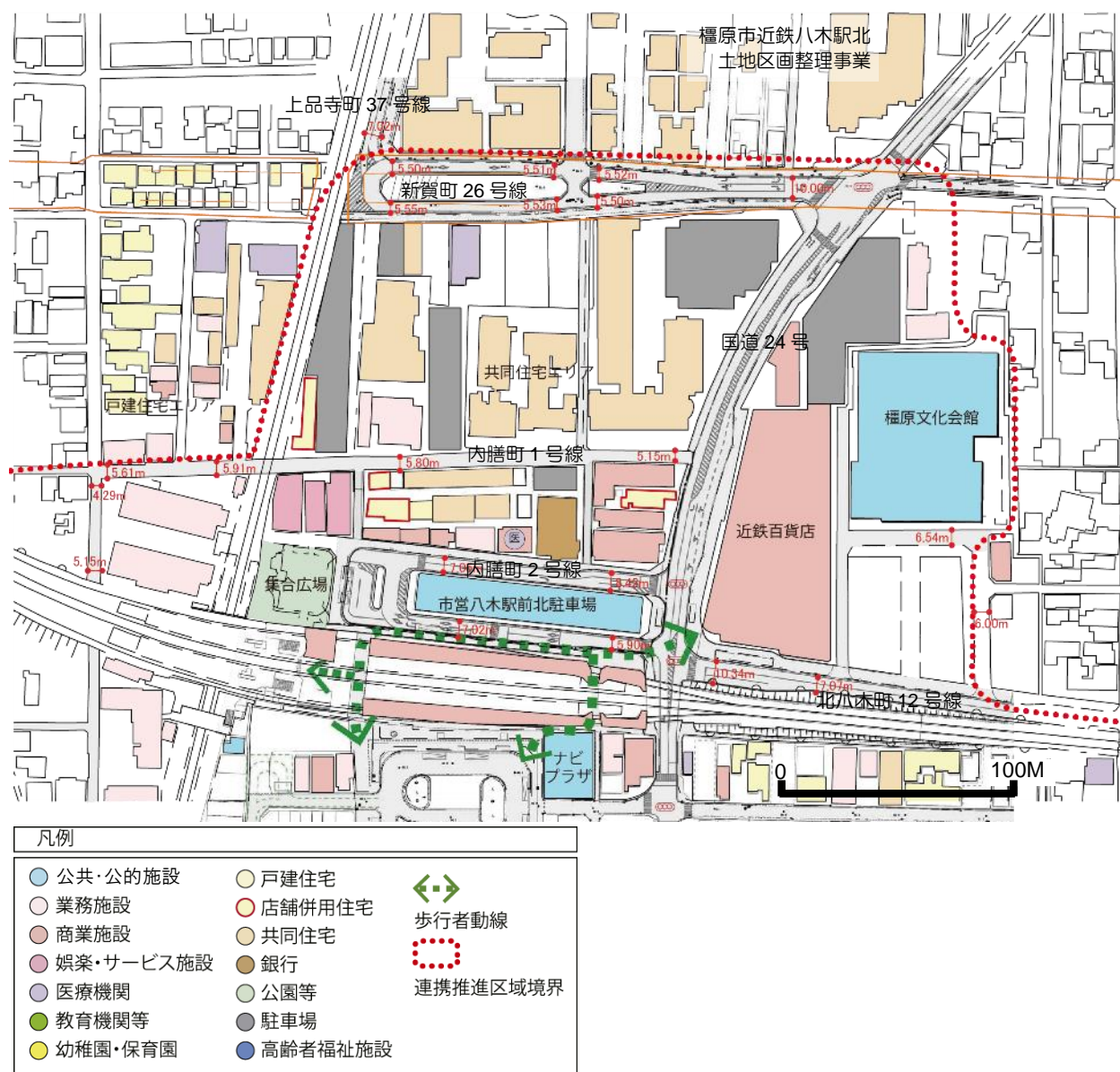


図 2-1 大和八木駅北側エリアの現況

① 道路等の現況

- 大和八木駅北側エリアの北側（新賀町 26 号線以北）においては、平成 9 年 2 月から平成 16 年 9 月までに実施された、橿原市近鉄八木駅北土地区画整理事業により線路沿いに道路（上品寺町 37 号線）が整備された。
- 一方で、八木駅北側広場への車両でのアクセスについては、周辺道路の幅員が狭いため国道 24 号からのアクセスがメインであり、交差点の負荷が高くなっている。

② 土地利用の現況

- 大和八木駅周辺の商業施設については、県内最大の売り場面積を誇るイオンモールが 3km 圏内にあり、さらには駅 1 km 圏内に、商店街や百貨店、スーパーが集積している。
- また、文化施設や官公署施設、歴史的景観地区が周辺にある。
- 駅周辺にはオープンスペースが少ないため、人々が滞留できるスペースの充実が期待されている。

③ 事業等の動向

- 大和八木駅北側エリアの外縁部では、平成 9～16 年に実施された橿原市近鉄八木駅北土地区画整理事業以降、複数の中高層集合住宅が建設されている。橿原市住民基本台帳によると、内膳町 5 丁目全体では、平成 17 年～29 年の 12 年間において、30～40 代の子育て世代及び 10 代以下の人口が顕著に増加している。

2.3.2. 大和八木駅北側の交通処理の課題

「八木駅北側地区まちづくり基本構想策定業務委託 報告書（平成 26 年 4 月）」に、南北のアクセス道路が未整備であること、及び大和八木駅北側駅前広場への出入口（近鉄八木駅北広場交差点）が変則的な交差点となっていることの2点が課題として示されている。

近鉄八木駅北土地区画整理事業により新賀町 26 号線以北に中高層住宅が整備され人口が増加したにもかかわらず、駅前広場へのアクセス路が未整備であり、交通の円滑性や安全性に支障をきたしている。

【課題①：南北のアクセス道路が未整備】

新賀町 26 号線、内膳町 1 号線、内膳町 2 号線を結ぶ南北方向のアクセス道路がなく、国道 24 号に依存し、国道 24 号に交通負荷をかけている。

【課題②：変則的な交差点】

駅への出入り口である近鉄八木駅北広場交差点は、変則的なくいちがい交差点となっており、円滑性、安全性を低下させている。

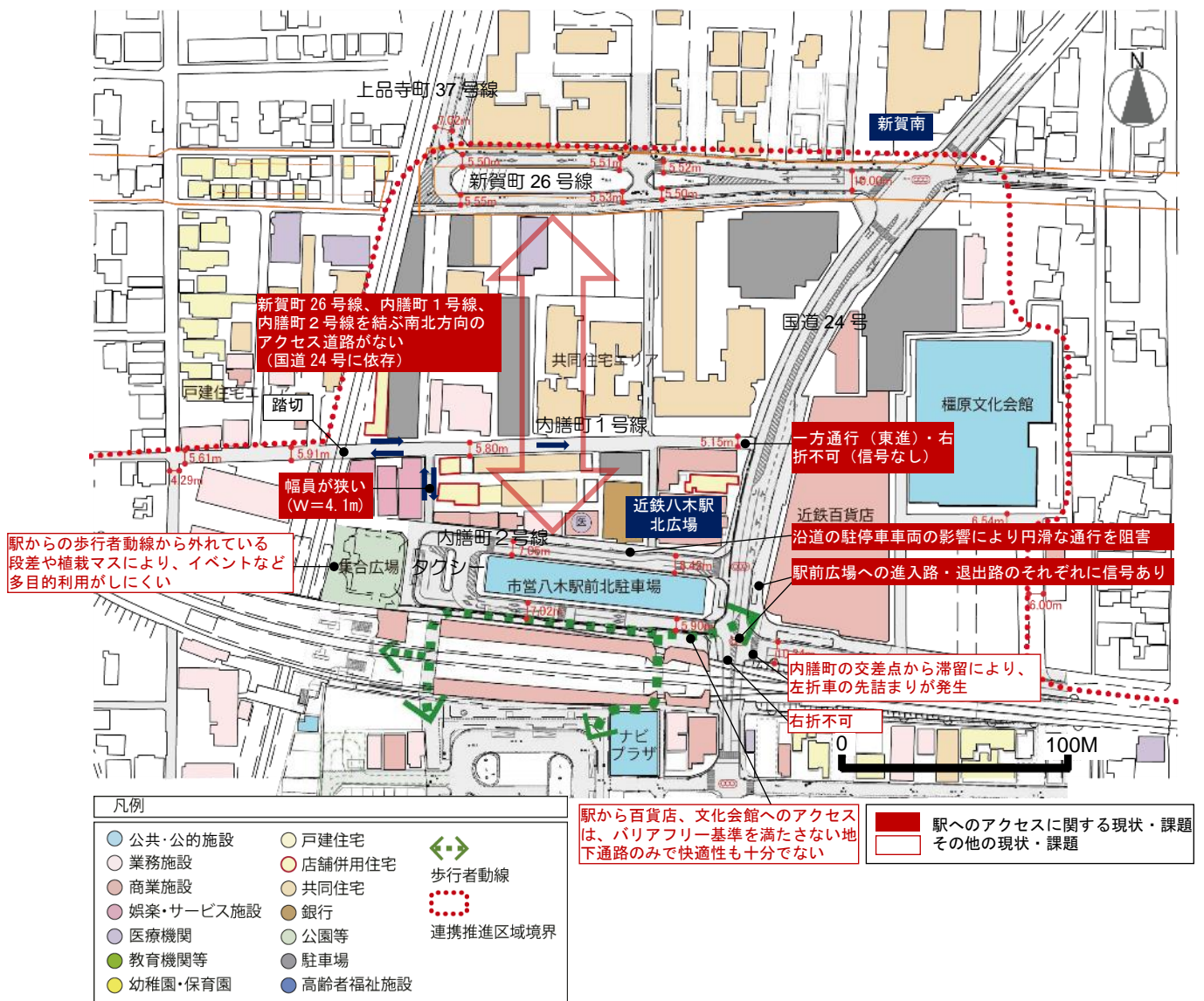


図 2-2 大和八木駅北側駅前広場へのアクセスの課題

2.3.3. 駅前広場に必要な機能

大和八木駅は、北側と南側に駅前広場を有している。大和八木駅南側の駅前広場は、昭和63年から平成20年3月までの間に、近鉄八木駅南整備事業が実施され、その中で、大和八木駅南側の駅前広場が整備された。

大和八木駅北側の駅前広場は、昭和43年に整備された広場であり、市営八木駅前北駐車場は昭和57年に供用開始した。

現状の広場機能を踏まえ、将来にわたって生活の質の向上に資する駅前広場機能を確保する必要がある。

① 駅前広場に必要な機能

タクシー乗降スペース、一般自動車乗降スペース、バスの停留所、将来の技術発展を考慮した次世代モビリティ等（注）へ対応できるスペースの確保及び歩行者動線の拡充等。

（注）自動運転自動車等の技術発展により将来的に普及が想定される移動手段を指す。

② 駅周辺に必要な機能

歩行者天国や、観光バス待機場の整備、生活の利便性を向上させる機能等。

2.4. まちづくり構造図

前述の課題と現況の土地利用状況を踏まえて、次のとおり南北アクセス道路を整備し、近鉄八木駅北広場交差点の変則交差点の改良を行う方針とする。

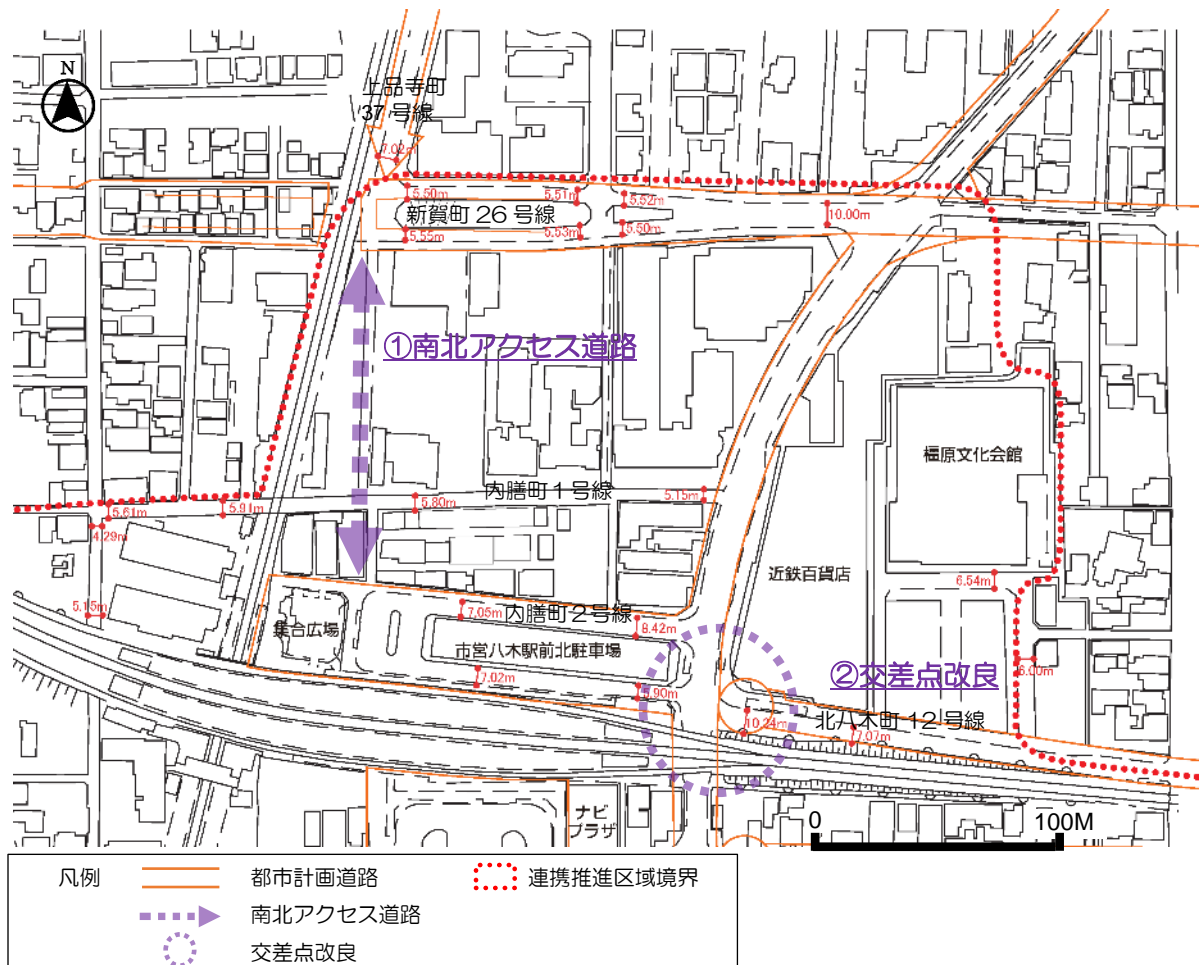


図 2-3 大和八木駅北側のまちづくり構造図

2.5. 土地利用の方針

基本構想で示された、2.1.で示した取組方針を実現するための土地利用の方針について、図 2-4 に示す。

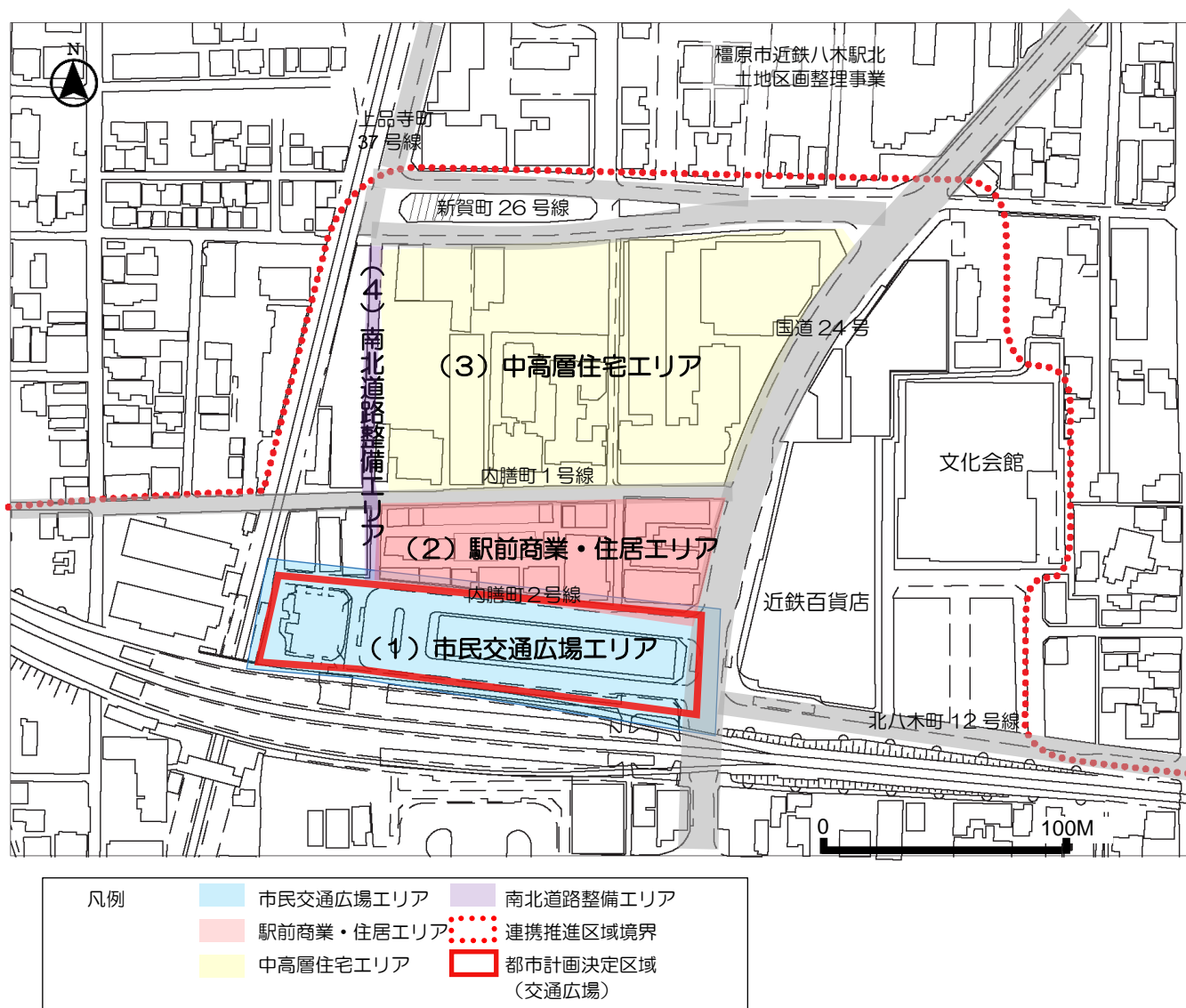


図 2-4 大和八木駅北側土地利用方針図

① 市民交通広場エリア

大和八木駅の北側の玄関口として、市営八木駅前北駐車場等の再整備を検討し、円滑な自動車交通の確保や歩行者動線の改善をはじめ、周辺地域から駅へのアクセス性の向上を図るエリア。

② 駅前商業・住居エリア

駅前空間の有効活用によって賑わいを創出するとともに、駅前商業・住居エリアの防災性能の確保、生活利便施設の設置など、生活の質の向上を図るまちづくりを行う。

整備においては、土地利用の高度化や環境・景観形成の推進の検討が必要なエリア。

③ 中高層住宅エリア

北側の橿原市近鉄八木駅北土地区画整理事業により整備された区画整理範囲と一体に、中高層住宅エリアとして住環境の向上を図るエリア。

④ 南北道路整備エリア

交互通行の南北道路を整備することで、利便性を高め国道 24 号の渋滞緩和を図るエリア。南北道路に歩道を確保することで、橿原市近鉄八木駅北土地区画整理事業により整備された区画整理範囲及び中高層住宅エリアからの歩行者の安全性にも配慮する。

2.6. 整備方針

土地利用の方針に基づき、大和八木駅北側での整備方針として次の4つを示す。

2.6.1. 新賀町 26 号線と大和八木駅北側駅前広場の南北アクセス道路整備

近鉄八木駅北土地区画整理事業により整備された新賀町 26 号線以北に中高層住宅から、大和八木駅北側駅前広場までの南北のアクセス道路を整備することで、国道 24 号への交通負荷を軽減させ、歩行者の安全性を向上させる。あわせて、駅前商業・住居エリアの防災性能の確保を図る。

2.6.2. 国道 24 号近鉄八木駅北広場交差点の交差点改良

変則的な交差点である、近鉄八木駅北広場交差点の交差点改良を行うことで、国道 24 号への交通負荷を軽減するとともに、歩行者の安全性を向上させる。

2.6.3. 市営八木駅前北駐車場の再整備や駅前広場の機能の充実による賑わいの創出

タクシーバース、一般自動車乗降スペース等、駅前広場に必要な機能を確保する。

また、大和八木駅高架下に整備された、橿原三号歩行者専用道路を活かし、大和八木駅南側の商店街エリアから大和八木駅北側の駅前広場に南北の歩行者動線を確保し、大和八木駅南北の回遊性の向上を図り、賑わいを創出する。

また、駅前商業・住居エリアの防災性能確保の観点から、市民と行政が協働し、駅前商業・住居エリアとの一体的な整備の検討を行う。

2.6.4. 八木駅周辺駐車場の利用状況等の情報提供

大和八木駅周辺での駐車場利用者による交通混雑を避けるために、八木駅周辺駐車場の利用状況等の情報提供を行う。

2.7. 整備方針実施の課題と整備手順

2.7.1. 整備方針実施の課題

整備方針に挙げた、「新賀町 26 号線と大和八木駅北側駅前広場の南北アクセス道路整備」（以下「南北アクセス道路整備」という。）と「国道 24 号近鉄八木駅北広場交差点の交差点改良」（以下「交差点改良」という。）の実現に向けては、整備範囲、整備期間、費用対効果等の諸条件を比較検討し、整備方法を決定する必要がある。

整備方針実施に向けた主な課題を次に示す。

① 非建ぺい地※が限定的

大和八木駅北側で、市が利用可能な非建ぺい地は、檀原文化会館前に整備されている広場のみである。

なお、当該敷地は、近鉄百貨店の敷地の一部として建築確認申請がなされており、近鉄百貨店及び近鉄百貨店駐車場の延べ床面積を確保しているため、利用に際しては近鉄百貨店と協議が必要である。

※非建ぺい地：建物が建っていない場所のこと。

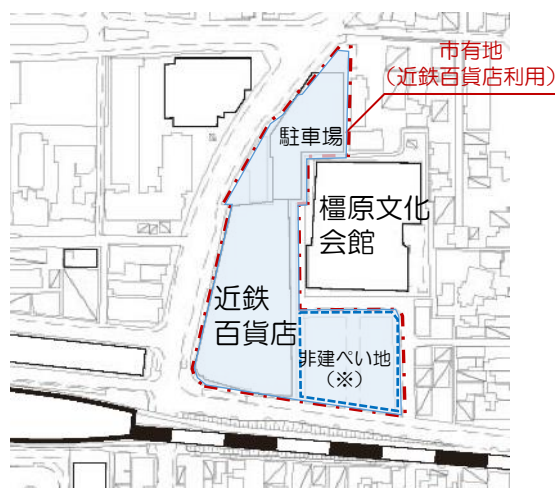


図 2-5 近鉄百貨店の敷地範囲



図 2-6 檀原文化会館前市有地

② 市営八木駅前北駐車場の長寿命化等の対策

現在、市営八木駅前北駐車場は、築後 36 年経過しているが、「檀原市公共施設等総合管理計画 平成 28 年 9 月」において、長寿命化を図る公共施設については、大規模改修を築後 35 年、建替えを築後 75 年とする目安が示されている。そのため、直ちに長寿命化工事を行うことで耐用年数を 75 年までとするか、小規模な修繕にとどめ一定程度の耐用年数が経過した後に除却するかを検討する必要がある。

2.7.2. 整備手順

「非建ぺい地が限定的」「市営八木駅前北駐車場の長寿命化対策の検討」の 2 つの課題を踏まえて、市営八木駅前北駐車場の長寿命化を実施する場合と小規模な修繕を実施し一定期間使用する場合の 2 つの場合別に、それぞれ次に整備手順を示す。

これらの検討に際しては、南北アクセス道路整備と交差点改良の2つの整備方針だけでなく、「市営八木駅前北駐車場の再整備や駅前広場の機能の充実による賑わいの創出」及び「八木駅周辺駐車場の利用状況等の情報提供」の整備方針の実現に向けてもあわせて検討を行う。

また、実際の検討に際しては、まずはじめに、建物劣化診断を実施し対策工事費用を算出したうえで、最適な整備手順・スケジュールを選定する方針とする。

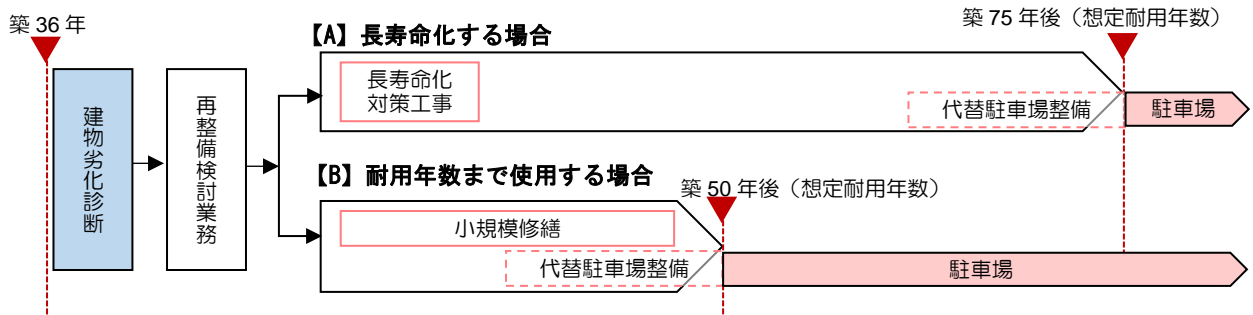


図 2-7 整備手順のイメージ

3. 大和八木駅南側

3.1. 取組方針

基本構想に示されている大和八木駅南側エリアの取組方針は次の6つである。

A-1 新たな複合施設と市内の他施設と連携した賑わい事業の実施

PFI 事業として整備を行った複合施設の多様な機能を活かし、市内の他施設との連携を図る。

A-2 賑わい事業の実施主体としての市民団体の育成と民間事業者の活用

市民団体の育成や民間事業者の参入により、集客能力や催しの企画能力を活用する。

A-3 歩行者天国の実施などによる商店街通りの賑わいの創出

車の流入を一定時間制限することで、歩きやすく賑わいのある商業空間を確保する。

B-1 大和八木駅から観光案内施設等へのアクセス性の向上

大和八木駅からナビプラザや複合施設内の観光振興支援室へのアクセス性向上を図る。

D-3 複合施設の整備に伴い渋滞発生が懸念される箇所の交通処理の検討

複合施設の供用開始後の交通処理について検討し、対策を行う。

D-5 八木西口駅については、医大新駅と一体的に「医大周辺地区」にて検討継続

八木西口駅は、鉄道駅として地域住民及び観光客の移動手段として重要な駅であることから、駅としてのあり方を医大周辺地区にて検討を継続する。

3.2. まちづくりの目指すべき姿

取組方針を踏まえ、大和八木駅南側エリアの目指すべき姿は、「中南和の玄関口として賑わいのある滞在型広域観光拠点」とする。

大和八木駅南側における観光案内の整備や観光資源の活用に対する課題を解決し、商店街通りの歩行者天国の実施等をとおして、滞在型広域観光拠点としての賑わいを持続的に創出していくことを目指す。

中南和の玄関口として賑わいのある滞在型広域観光拠点

3.3. 前提条件の整理

3.3.1. 対象範囲の現況

大和八木駅南側エリアは、中南和地域と連携した滞在型広域観光拠点として必要な機能を備え、賑わいを持続的に創出していくことが期待されている。

また、観光客及び市民に利用される安全な歩行者動線の確保による、集客の向上や賑わいの創出を図るエリアとして整備することが望まれる。

対象範囲の現況を図 3-1 に示す。

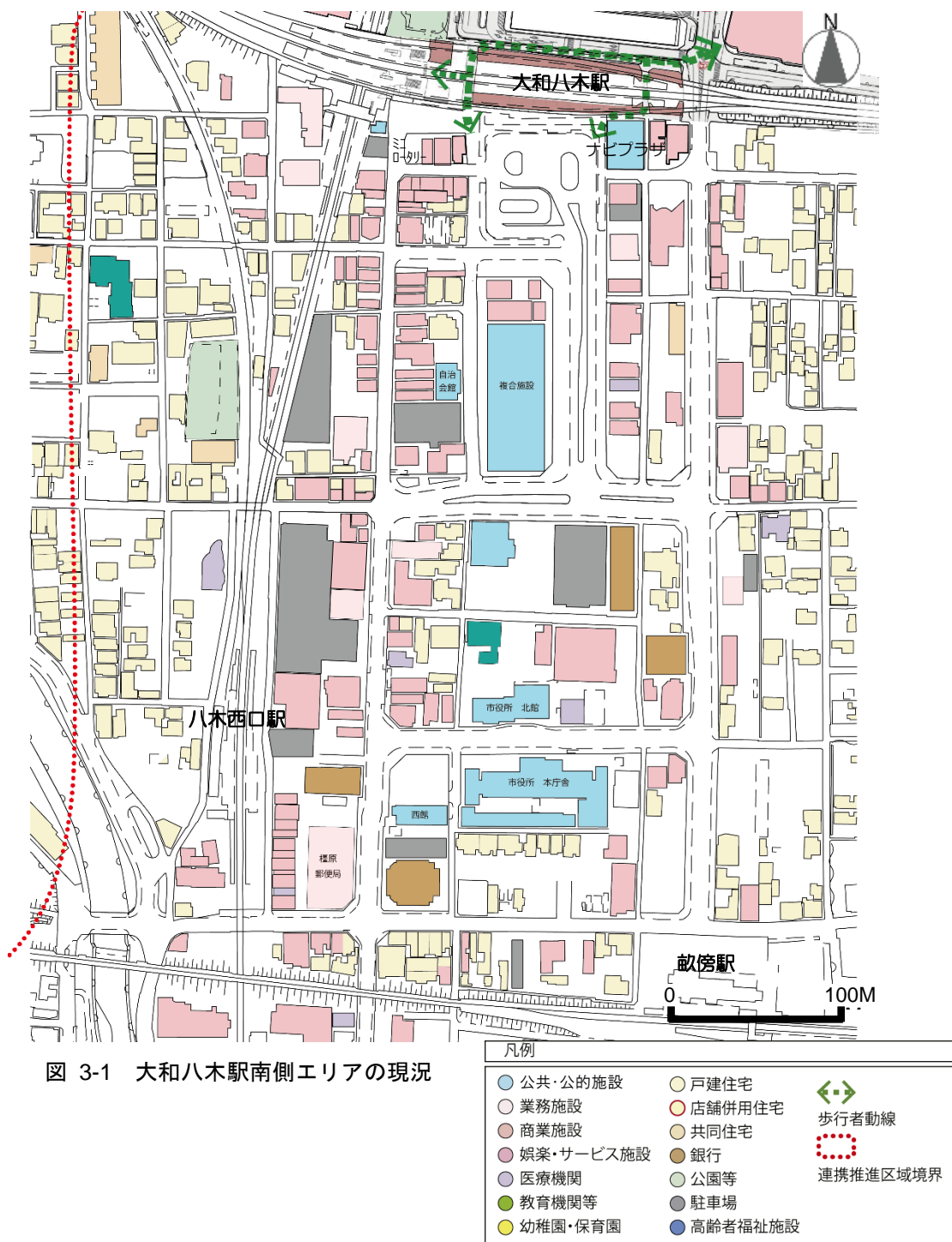


図 3-1 大和八木駅南側エリアの現況

① 道路等の現況

- 大和八木駅南側には、バスターミナルやレンタサイクル等が整備され、国道 24 号が走る交通の要衝となっている。
- 日本一長距離の路線バスである「八木新宮線」の始点となっている。

② 土地利用の現況

- 大和八木駅から八木西口駅前周辺には、商業施設が立地し、今井町までの歩行者ルートを形成している。
- 大和八木駅南商店街は、市民の生活にとって重要な動線である。

③ 事業等の動向

- 商店街通りについては、歩行空間の確保や舗装の改良等の事業を平成 24 年度までに完了している。
- 市の観光振興の起爆剤として計画された分庁舎と宿泊施設からなる複合施設が平成 30 年 2 月に供用開始された。
- 大和八木駅南側にミニロータリーが奈良県によって整備された。

① 広域観光拠点エリア

中南和地域の広域観光拠点として、ナビプラザや観光振興支援室と連携した観光振興を行い、大和八木駅から観光案内施設等へのアクセス性及び観光客の利便性の向上を図るエリアとする。

② 商店街通りエリア

観光客及び市民の利用を向上させ、歩行者に配慮したエリアとする。また、イベントの際には車両の通行を制限し、歩行者及び利用者に開放する（歩行者天国実施）エリアとする。

③ 八木西側エリア

大和八木駅の西側居住者の生活利便性の向上を図るエリアとする。

3.5. 整備方針

上述の土地利用の方針に基づき、大和八木駅南側での整備方針として次の5つを示す。

3.5.1. 市民団体の育成や商店街通りの賑わいの創出

① 八木駅南市有地活用事業との連携

八木駅南市有地活用事業を実施する民間事業者による観光イベント事業（注）と連携し、市民団体の育成や商店街通りの賑わいの創出を図る。

（注）観光イベント事業：八木駅南市有地活用事業に定められた観光イベントを企画・立案等の事業のこと。中南和地域の観光振興を目的に、近隣の地域資源の活用やかしはらナビプラザ、地元商店街など近隣の施設、団体と連携を図る。

② 商店街通りの歩車共存の検討

商店街通りは、地元団体により商店街通りのイベント実施に伴い時間を区切った歩行者天国が実施されている。今後、商店街通りの賑わい創出を図るために歩車共存道路のあり方を検討する。

3.5.2. 観光案内施設の整備

① 各種看板の整備

橿原市を訪れる人々に快適な滞在を楽しんでもらえるよう、駅や観光地における観光案内サインの整備・充実を図る。

② 観光案内所及び観光地における多言語対応

今後増加が見込まれる外国人観光客が可能な限り不自由なく観光を楽しむことができるよう、多言語対応が可能なスタッフの採用や柔軟な受け入れ体制を確保し、観光地での多言語表示を行う。

3.5.3. 大和八木駅南駅前広場から複合施設までのシェルター設置

大和八木駅から複合施設にかけて歩行者等の快適性に配慮した整備を行う。

3.5.4. 複合施設の整備に伴い渋滞発生が懸念される箇所の交通処理の検討

複合施設が平成 30 年 2 月に供用開始されたことにより、大和八木駅南側において渋滞発生の懸念があるため、供用開始後の交通量の変化を踏まえた交通処理を検討し、対策を行う。

3.5.5. 大和八木駅の利便性の向上

駅の利用状況の調査を行い、大和八木駅西出口及び駐輪場の整備方針の検討を行い、事業化を図る。

4. 今井町

4.1. 取組方針

基本構想に示されている今井町エリアの取組方針は次のとおりである。

B-2 大和八木駅から今井町への観光ルートの周知、回遊でき歩きたくなるルートづくり

利用者数の多い大和八木駅から、歴史的まちなみを有する今井町までの観光ルートを周知し、歩きたくなるルートづくりを行う。

4.2. まちづくりの目指すべき姿

取組方針を踏まえ、今井町エリアの目指すべき姿は、「伝統的な町家等の歴史的資源を生かした、魅力あるまち」とする。

広域観光の玄関口である大和八木駅から、伝統的建造物群を有する今井町までの魅力的な歩行者空間の整備をはじめ、今井町へ導くサイン等の整備を進めることで、観光客への認知及び利便性を向上させ、エリアとしての価値の向上を目指すとともに、住民にとっても暮らしやすいまちを目指す。

伝統的な町家等の歴史的資源を生かした、魅力あるまち

4.3. 前提条件の整理

4.3.1. 対象範囲の現況

今井町エリアは、平成5年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されて以降、商業地域としてではなく、閑静な住宅街として町並み保存及び住環境整備等が進められてきた。近年、人口減少・少子高齢化等の影響により増加した老朽家屋（空き家）について、空き家改修をはじめ既存資源の利活用が図られている。今後も、地域活性化を図り、また今井町の魅力や価値を高め発信していくために、住民が主体となり市・民間事業者・NPO法人等が協働して、継続したまちづくりを進めることが必要である。

対象範囲の現況を図4-1に示す。



図 4-1 今井町エリアの現況

① 道路等の現況

- 伝統的建造物群の外周を囲うように道路が整備されており、その内側は幅員の小さな道路が格子状に整備されている。
- 今井町には、国道 24 号及び各方面から4箇所アクセス可能となっている。
- 大和八木駅及び八木西口駅から今井町への出入り口となる場所において、歩行者の安全性確保が必要な箇所となっている。

② 土地利用の現況

- 保育所や小学校等の教育施設及び、公民館を有している。
- 今井町並保存整備事務所などの取り組みとして、空き家の利活用を進めており、平成 21 年度～29 年度の9年間で 56 件の空き家物件を改修した実績がある。最近の事例としては、空き家となっている2戸1棟建の長屋を「今井放課後児童クラブ」として活用しているほか、奈良県立医科大学やその他民間によるゲストハウス等の整備の動きがある。

③ 事業等の動向

- 観光客が利用できる駐車場の整備のため、畝傍駅前通り線内に駐車場を含む交通広場が整備された。
- 今井地区周辺の1 km 圏内には複数の医療施設が立地しており、比較的築年数の浅い戸建て住宅やアパートが立ち並び、閑静な住宅街を形成している。

④ 観光ルート

- 大和八木駅から今井町まで、大和八木駅から南下し、商店街を経由したルートとする。

4.4. 土地利用の方針

基本構想で示された、4.1.で示した方針を実現するための土地利用の方針について、図 4-2 に示す。



図 4-2 今井町土地利用方針図

4.5. 整備方針

前述の土地利用の方針に基づき、今井町での整備方針として次の2つを示す。

4.5.1. 回遊し歩きたくなる観光ルートの形成

① 体験プログラムの開発・PR（着物体験等の日本文化体験）

日本の伝統文化を継承・指導する専門家や伝統食を生産する業者・団体などと連携し、日本文化の体験ができるようなプログラム開発を行うとともに、興味関心がある外国人に情報を拡散できるよう、体験者に対しても発信を促す。

② 重要観光ルートの重点的整備

観光案内施設の整備などにより、大和八木駅から今井町への観光ルートを周知し、回遊でき歩きたくなるルートづくりを行う。また、歩行者の安全性を確保することで、歩きやすい環境づくりを行う。特に、前頁の図 4-2 今井町土地利用方針図で示した歩行者の安全性確保が必要な箇所については、カラー舗装などのわかりやすい動線の明示や電柱などの支障物件の移設等を行う。

③ 各種看板の整備

橿原市を訪れる人々に快適な滞在を楽しんでもらえるよう、駅や観光地における観光案内サインの整備・充実を図る。

④ 観光案内所及び観光地における多言語対応

今後増加が見込まれる外国人観光客が可能な限り不自由なく観光を楽しむことができるよう、多言語対応が可能なスタッフの採用や柔軟な受け入れ体制を確保し、観光地での多言語表示を行う。

⑤ 八木駅南市有地活用事業との連携

八木駅南市有地活用事業を実施する民間事業者と連携し、複合施設からの観光客を今井町へ案内する。

4.5.2. 歴史的景観の保存

今井町の伝統的な町家群による歴史的町並みを生かしながらまちづくりを進めるため、今井町の伝統的な町家の増改築、修繕等を行う際には、「橿原市伝統的建造物群保存地区保存条例」に定められている基準に従い、市長及び教育委員会の許可を受ける必要がある。今後も、橿原市伝統的建造物群保存地区保存条例に則り、歴史的景観の保存を進める。

5. 八木町・畝傍駅

5.1. 取組方針

基本構想に示されている八木町・畝傍駅エリアの取組方針は次の2つである。

B-2 大和八木駅から八木町・畝傍駅への観光ルートの周知、回遊でき歩きたくなるルートづくり
大和八木駅から八木町・畝傍駅への観光ルートを周知させ、回遊でき歩きたくなる観光ルートを作成する。

D-4 都市計画道路の再検討

まちづくりの観点を踏まえ、都市計画道路のあり方について検討を行う。

5.2. まちづくりの目指すべき姿

取組方針を踏まえ、八木町・畝傍駅エリアの目指すべき姿は、「観光資源やまちなみを生かした回遊性の向上と安心安全な歩行者空間の整備」とする。

人の往来だけでなく、地域間交流の拠点となることを目指し、下ツ道沿いに点在する未活用の地域資源の利活用を含めた回遊ルートの整備と安心安全な歩行者空間の整備を目指す。

観光資源やまちなみを生かした回遊性の向上と安心安全な歩行者空間の確保

5.3. 前提条件の整理

5.3.1. 対象範囲の現況

八木町・畷傍駅エリアは、歴史的なまちなみが残り、沿道に市指定文化財や登録有形文化財を有する下ツ道と横大路の2つの古道が交差している。歴史的なまちなみの保存を行い、市民に親しまれ、利用される安心・安全な生活道の整備を行うこと、及び畷傍駅・駅前広場の再整備を行うことが期待されている。

住民が主体となり市・民間事業者・NPO 法人等が協働して、新たな居住者の受け入れや継続したまちづくりを進めることが必要である。

対象範囲の現況を図 5-1 に示す。

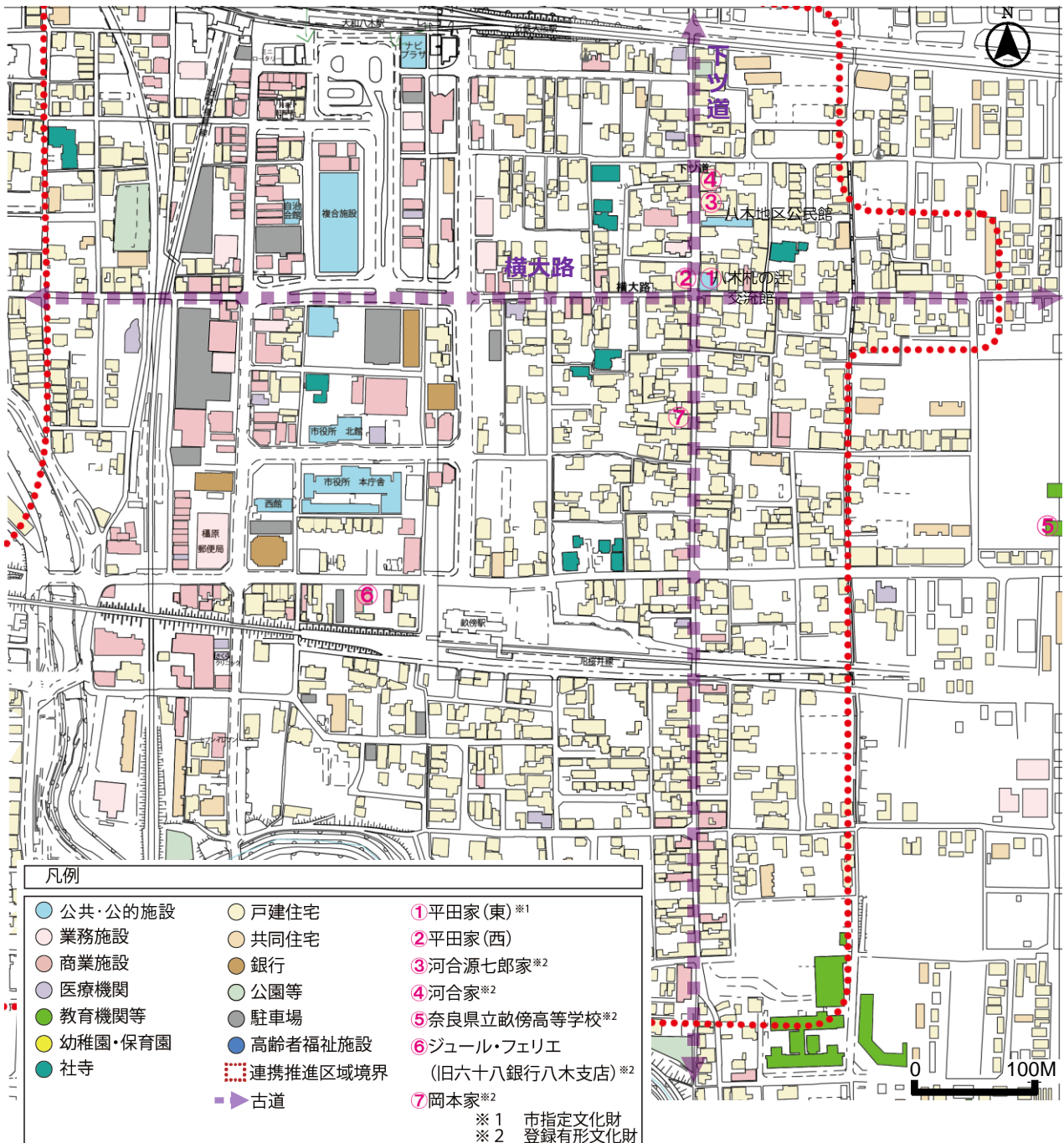


図 5-1 八木町・畷傍駅エリアの現況

① 道路等の現況

- 国道 24 号、国道 165 号が整備中である。
- 都市計画道路内に平田家（東）が八木札の辻交流館として整備されている。
- 八木町は、道幅が狭く信号機の設置が少なく一方通行規制があることから自動車の交通量が少ない。そのため、歩行者や自転車が移動経路として利用しており、地域住民にとって重要な生活道となっている。ただし、国道 24 号の渋滞を回避するため流入する車があり、歩行者・自転車の安全性の確保に懸念が残る。

② 土地利用の現況

- 下ツ道は、レンタサイクルのモデルコースのルートになっている。
- 畝傍駅の舎内に皇族のための貴賓室が設けられており、観光スポットの一つに位置付けられている。

③ 事業等の動向

- 八木町では、下ツ道と横大路（古道）や札の辻交流館などの地域資源を活用し、市民及び観光客にも親しまれ、利用される安心・安全な生活道の整備を行う必要がある。
- 畝傍駅・駅前広場の再整備が期待されている。

5.4. 土地利用の方針

基本構想で示された、5.1.で示した取組方針を実現するための土地利用の方針について、図 5-2 に示す。

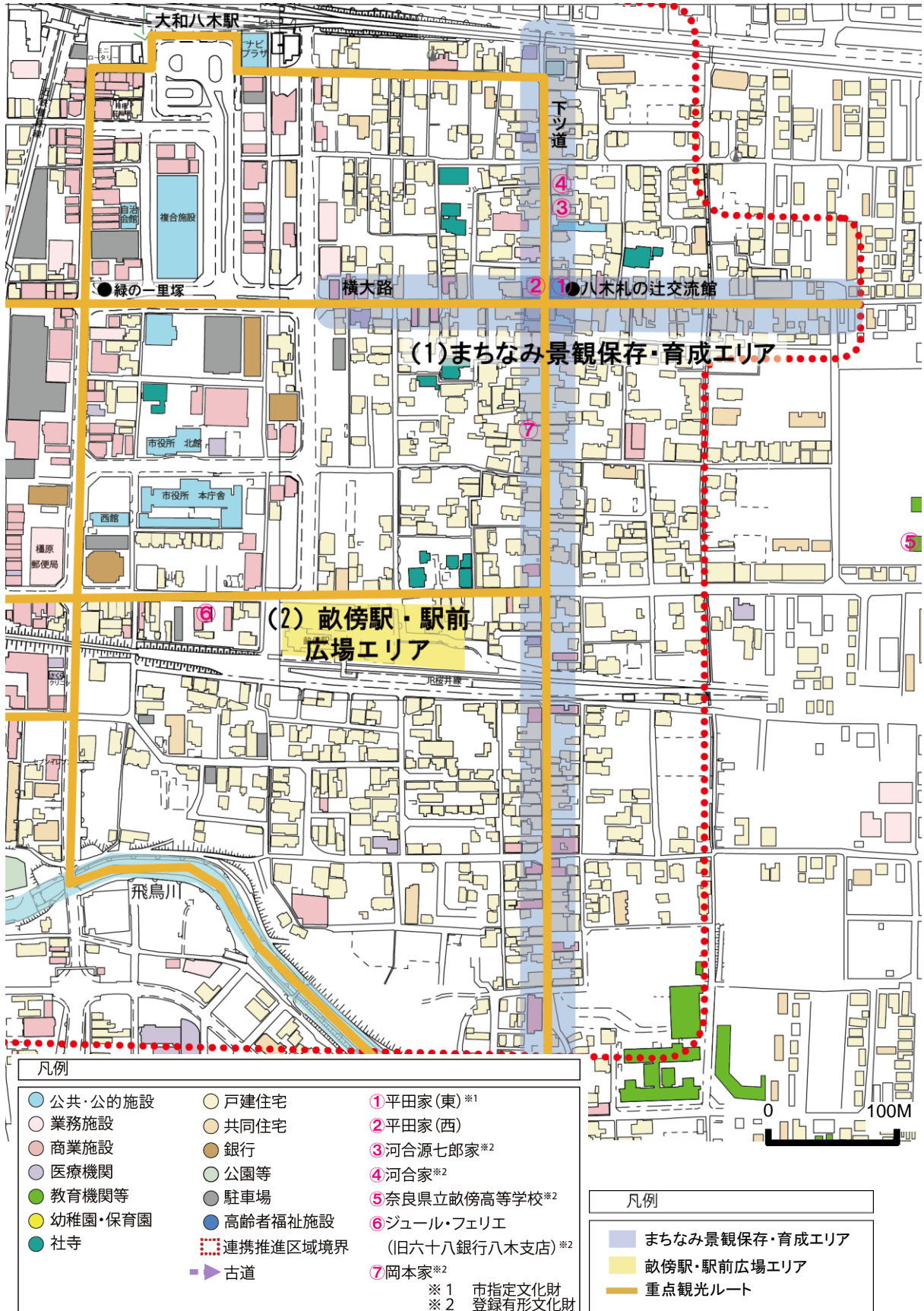


図 5-2 八木町・畝傍駅土地利用方針図

① まちなみ景観保存・育成エリア

下ツ道周辺の八木町の古い民家が残るエリアを中心として、まちなみ景観保存・育成エリアとし、景観の保存に努める。

② 畝傍駅・駅前広場エリア

畝傍駅・駅前広場の再整備を行うエリア。

5.5. 整備方針

上述の土地利用の方針に基づき、八木町・畝傍駅での整備方針として次の5つを示す。

5.5.1. 回遊し歩きたくなる観光ルートの形成

観光案内施設の整備などにより、大和八木駅から八木町・畝傍駅への観光ルートを周知し、回遊でき歩きたくなるルートづくりを行う。

5.5.2. 都市計画道路の再検討

まちづくりの観点を踏まえ、まちなみ景観保存・育成エリアに関する都市計画道路のあり方について、検討を行う。

5.5.3. 無電柱化の検討

まちなみ景観保存及び歩行者の安全性確保の観点から無電柱化を図る。

5.5.4. まちなみ景観保存・育成

下ツ道、横大路の沿道について、市民や専門家が参画し、歴史的景観にふさわしいまちづくりのルールをつくる。

5.5.5. 畝傍駅・駅前広場再整備

市・市民・NPO等と畝傍駅・駅前広場のあり方を協議・検討し、再整備を行う。

6. 現庁舎

6.1. 取組方針

基本構想に示されている現庁舎エリアの取組方針は次の2つである。

C-1 現庁舎の耐震性能の確保と災害活動拠点としての役割の充足

現庁舎は、新耐震設計基準を満たさず、地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い状態にあると判断されている。現庁舎については、現状では災害活動拠点の役割を果たせない状況であり、建物の建て替えによって、現庁舎の耐震性を確保し、災害活動拠点としての役割を充足させる。

C-2 将来の人口動向を見据え分散した庁舎を集約し利便性の向上を図る

これまでの行政機能は、本庁舎、保健福祉センター、かしはら万葉ホールなどに分散していたが、分庁舎の供用に伴い総合窓口機能など、ある一定の集約化が図られた。今後もより一層の市民サービスと利便性の向上を図るため、行政機能の集約化を促進する。

6.2. まちづくりの目指すべき姿

取組方針を踏まえ、現庁舎エリアの目指すべき姿は、「本庁舎の災害活動拠点としての役割の充足と行政機能の集約による市民サービスの向上」とする。

耐震性能の確保と庁舎機能の集約の観点から、本庁舎の再整備を行う。

本庁舎の災害活動拠点としての役割の充足と
行政機能の集約による市民サービスの向上

6.3. 前提条件の整理

現庁舎エリアは、耐震性能の確保と庁舎機能の集約の観点から、本庁舎の建て替えを行う。また、県産材の木材の利用や、日本国はじまりの地としての橿原市らしさを表す、市民が誇りを持てる優れたデザインの本庁舎とすることが期待される。

6.3.1. 分散された庁舎の位置

庁舎の位置は下図のとおりであり、本庁舎北側には近畿日本鉄道の大阪線及び橿原線が交差する大和八木駅、西側には八木西口駅が位置し、南側には JR 桜井線の畝傍駅が位置している。

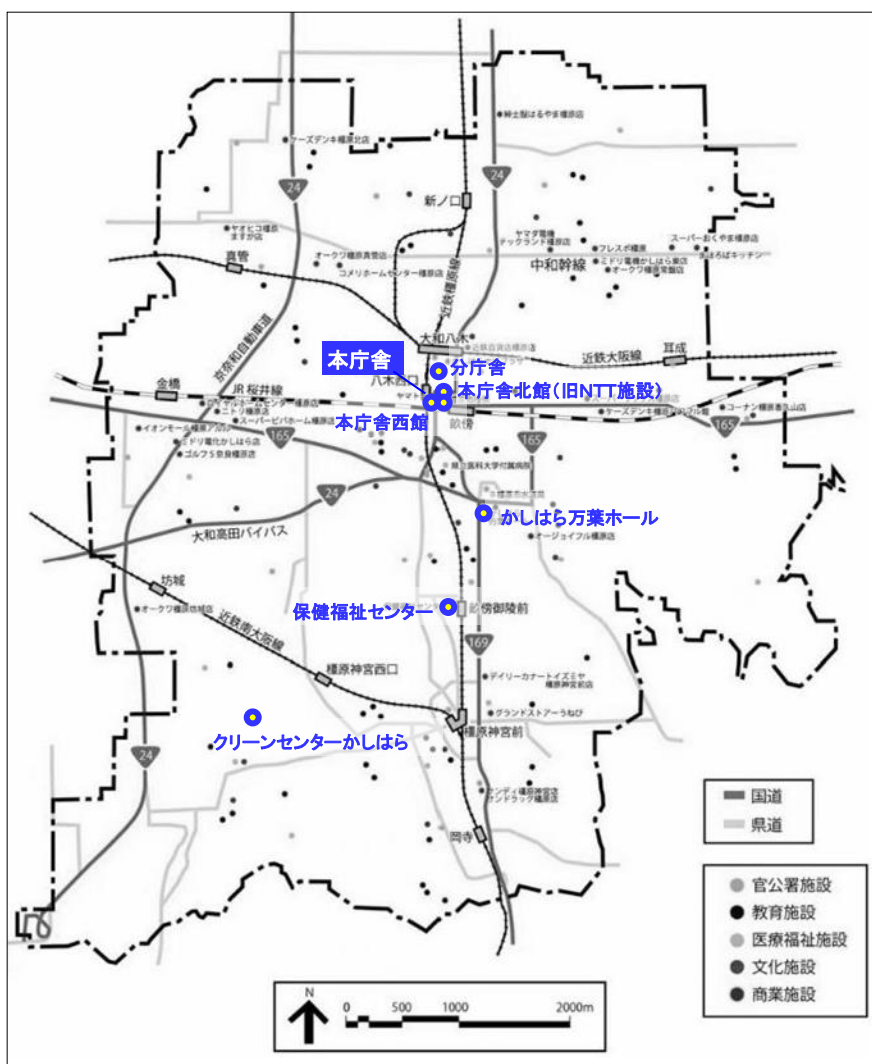


図 6-1 分散された庁舎の位置図

6.3.2. 新庁舎の必要性

「檀原市新庁舎基本構想策定業務 報告書」(平成 22 年 12 月)(以下「庁舎基本構想」という。)において、新庁舎の必要性が次のとおり示されている。

① 市民ニーズへの対応

近年の急速な高齢化社会への移行や高度情報化、国際化の発展により社会経済は多様化、高度化し、行政に対する「市民のニーズ」も大きく変化している。

市民窓口の混雑によるサービスの低下、相談室や待合スペースの狭隘化、会議室や駐車場の不足等多くの課題を抱えており、また高齢者や障がい者の方々に配慮した施設にしていく必要がある。

② 施設の狭隘化、職場環境改善への対応

各執務室の狭隘さは事務能率を妨げ、職場環境を悪化させる要因にもなっている。建物の老朽化が著しく、建築基準法及び消防法等の対策が必要である。

③ 防災拠点としての耐震性の確保

市庁舎は、災害時に災害対策本部を設置し、災害対策の拠点となるべき建物である。しかしながら現庁舎は、十分な耐震性を有していない。また、既存躯体のコンクリート強度が不足していることから耐震補強工事を実施しても壁だらけとなり、耐震補強工事が現実的ではないと判断され、耐震補強工事を見直すこととした。

以上のことから、現位置での建て替えにより十分な耐震性を持った庁舎を確保する必要がある。

6.3.3. 基本理念

庁舎基本構想で示された、新庁舎整備の基本理念と導入する機能を図 6-2 に示す。

市では、経済状況、社会状況の変化に対応し、総務省が平成 17 年 3 月にまとめた『分権型社会における自治体経営の刷新戦略 - 新しい公共空間の形成を目指して - 』において示された、「行政」と「民間」の多面的な協働による公共的サービスの提供による「新しい公共空間」を新庁舎整備にあたって実現することを目標とする。

これにより、「市民自治の拠点づくり」を実現するために次に示す 6 つの基本理念を設定し、必要機能の検討を行う。

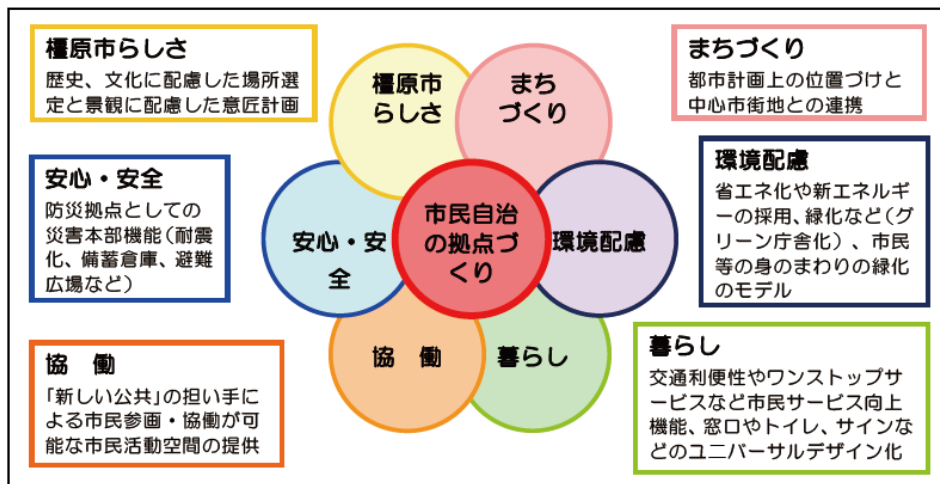


図 6-2 基本理念

① 市民の安心・安全な暮らしを支える庁舎

新庁舎は、災害発生時には災害対策本部の設置をはじめ、防災・災害復旧活動の拠点として機能するよう、十分な耐震性能を備えた施設とする。

また、災害時にも行政サービスを継続・維持するために備蓄機能等を確保した庁舎とする。さらに、災害発生時に避難できる広場を設けるなど安心・安全を支える庁舎を目指す。

② 檀原市らしさに配慮した市民に親しまれる庁舎

檀原市は、大和三山や藤原宮跡、今井町などの遺跡や歴史的街並みを有しており、歴史・文化・自然環境に恵まれている。こうした豊かな歴史・文化・自然環境と調和したデザインを施し、市民に親しまれ周辺の環境整備や景観形成に波及効果をもたらす庁舎とする。

③ まちづくりを先導する庁舎

都市計画上、庁舎の果たす役割は重要である。庁舎は、中南和の拠点及び市の中心部としての位置付けを踏まえ、中心市街地と連携して魅力と活力のあるまちづくりの先導的役割を担うべく整備を行う。

市のまちづくりや市民自治を先導する庁舎として、市全体の将来構造を考慮した配置や周辺への影響を考慮した規模計画・緑化計画とする。また、市の中心に立地する施設として、回遊する人々の立ち寄り場・休憩所としての機能を備えるなど魅力的なまちづくりの一翼を担う。また、各種イベント等を開催する空間を計画し、歴史・文化活動や市民の交流の拠点としての役割を果たす。

④ 環境に配慮した庁舎

庁舎は、地球環境に配慮した環境負荷の低減のため、自然エネルギーを積極的に導入し、省エネ・省資源に対応したまちづくりの先導的役割を果たす。

また、建物の長寿命化を図り、建設コストだけでなく省エネなど維持管理コストを含めたライフサイクルコストを考慮した計画とする。

さらに、屋上緑化、敷地内緑化を施し、環境に配慮したまちづくりの先導的役割を担う。

⑤ 人々の暮らしを支える人にやさしい庁舎

新庁舎は、年齢・性別・障がいの有無などにかかわらず、あらゆる人にとって利用しやすいユニバーサルデザインの行き届いた計画を基本とする。

建物内部の受付やサイン表示、通路、エレベーター・エスカレーター、トイレ等だけでなく、駅やバス停などからの主要通路の段差解消、サインなどにも配慮した人にやさしい庁舎とする。

⑥ 「市民と行政の協働を進めるまち」を実現する庁舎

第3次総合計画に掲げられている目指すべき将来像である「市民と行政の協働を進めるまち」を実現する拠点として新庁舎を計画する。

このため、「新しい公共」の創造に必要な機能を新庁舎内に設ける。

- ・市民・企業等の教育・訓練の場（新しい公共の考え方の普及、啓発）
- ・市民・企業等と市職員との情報共有・意思疎通の場
- ・「新しい公共」の担い手の活動拠点（組織運営支援の場）
- ・「新しい公共」の情報発信の場 等

また、新庁舎は、まち・人・文化の交流拠点としても機能するよう、市民が気軽に利用でき、交流（市民と市民、市民と行政、市民と議会）や各種活動の発表の場となるよう考

慮する。

これらの機能を休日や夜間にも開放できる構造とするなど、「新しい公共」の創造に向けた配慮を図る。

6.4. 整備方針

6.4.1. 庁舎整備位置

庁舎基本構想で示された新庁舎整備の基本理念及び導入機能は、かしはらナビプラザ、分庁舎、現庁舎建替後整備される新本庁舎の3施設一体として実現する。

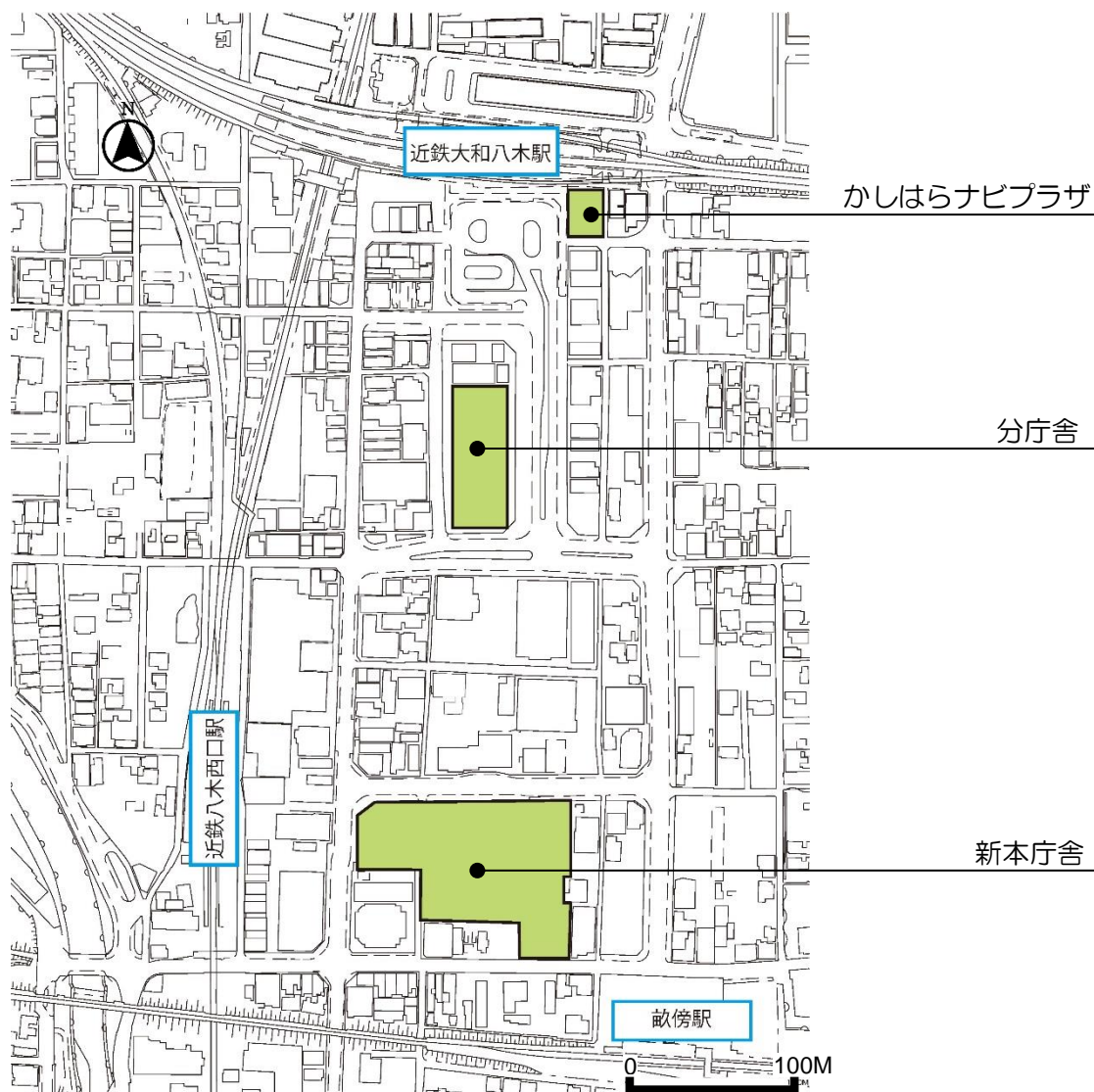


図 6-3 庁舎整備位置図

6.4.2. 新本庁舎整備の考え方

現庁舎の現地建替えにより、災害活動拠点及び市民自治の場としての役割が充足された、市民の誇りとなる橿原市の文化・歴史を象徴する新本庁舎を整備する。

市民に開かれた整備プロセスとすることで、市民への情報提供促進、市民意見の聴取に努める。また、本庁舎整備で特に重視する点を次に示す。

- ・市民が親しみやすく、橿原市の文化・歴史を象徴するデザイン
- ・環境負荷低減及び長寿命建築に配慮した構造
- ・建築物の構造体及び内外装材への吉野杉をはじめとした県産材の利用

7. 飛鳥川

7.1. 取組方針

基本構想に示されている飛鳥川エリアの取組方針は次のとおりである。

B-2 大和八木駅から今井町、畝傍駅、八木町への観光ルートや藤原京等への飛鳥川遊歩道観光ルートの周知、及び飛鳥川遊歩道の整備など、回遊でき歩きたくなるルートづくり

豊かな水辺の自然環境を活かし、安心安全で分かりやすい歩道、自転車道、休息所、観光案内板、植栽を整備する。

7.2. まちづくりの目指すべき姿

取組方針を踏まえ、飛鳥川エリアの目指すべき姿は、「飛鳥川沿いに点在する観光資源を結ぶ、回遊ルートの形成」とする。

飛鳥川の両岸を市民の生活動線として利便性を高めるとともに、観光客にとっても観光資源を回遊するにあたり活用しやすい観光ルートとして整備することで、賑わいの連続性を地区内外につなげていくことを目指す。

飛鳥川沿いに点在する観光資源を結ぶ、回遊ルートの形成

7.3. 前提条件の整理

7.3.1. 対象範囲の現況

飛鳥川エリアは、飛鳥川の両岸を市民の生活動線として利便性を高めるとともに、観光客にとっても観光資源を回遊するにあたり活用しやすく、将来の移動ニーズに対応した観光ルートとして整備することが期待されている。

対象範囲の現況を図 7-1 に示す。

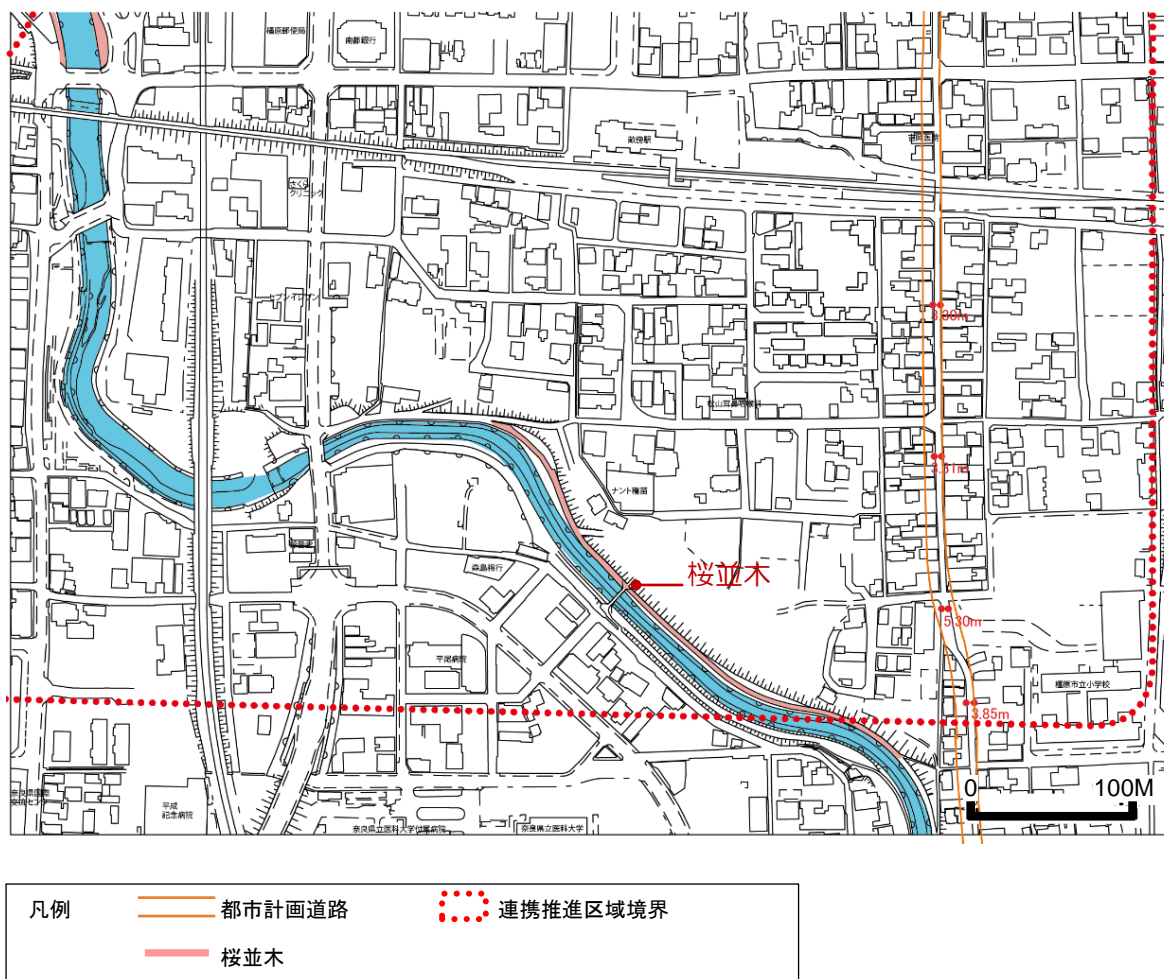


図 7-1 飛鳥川エリアの現況

① 道路等の現況

- 国道 24 号、飛鳥川が整備中である。

② 土地利用の現況

- 橿原市の観光地として観光客数の多い、おふさ観音が隣接しており、奈良県立医科大学病院への徒歩でのルートを形成している。
- 飛鳥川沿いの沿道の清掃等については、地域団体のボランティアにより実施されており、地域主導で桜まつりも開催されている。

③ 事業等の動向

- 飛鳥川は、歴史的風土あるいは自然環境を構成する重要な要素となっている。
- 飛鳥川遊歩道を利用した藤原宮跡への歩行者ルートの整備が期待されている。

7.4. 土地利用の方針

基本構想で示された、7.1.で示した取組方針を実現するための土地利用の方針について、図 7-2 に示す。

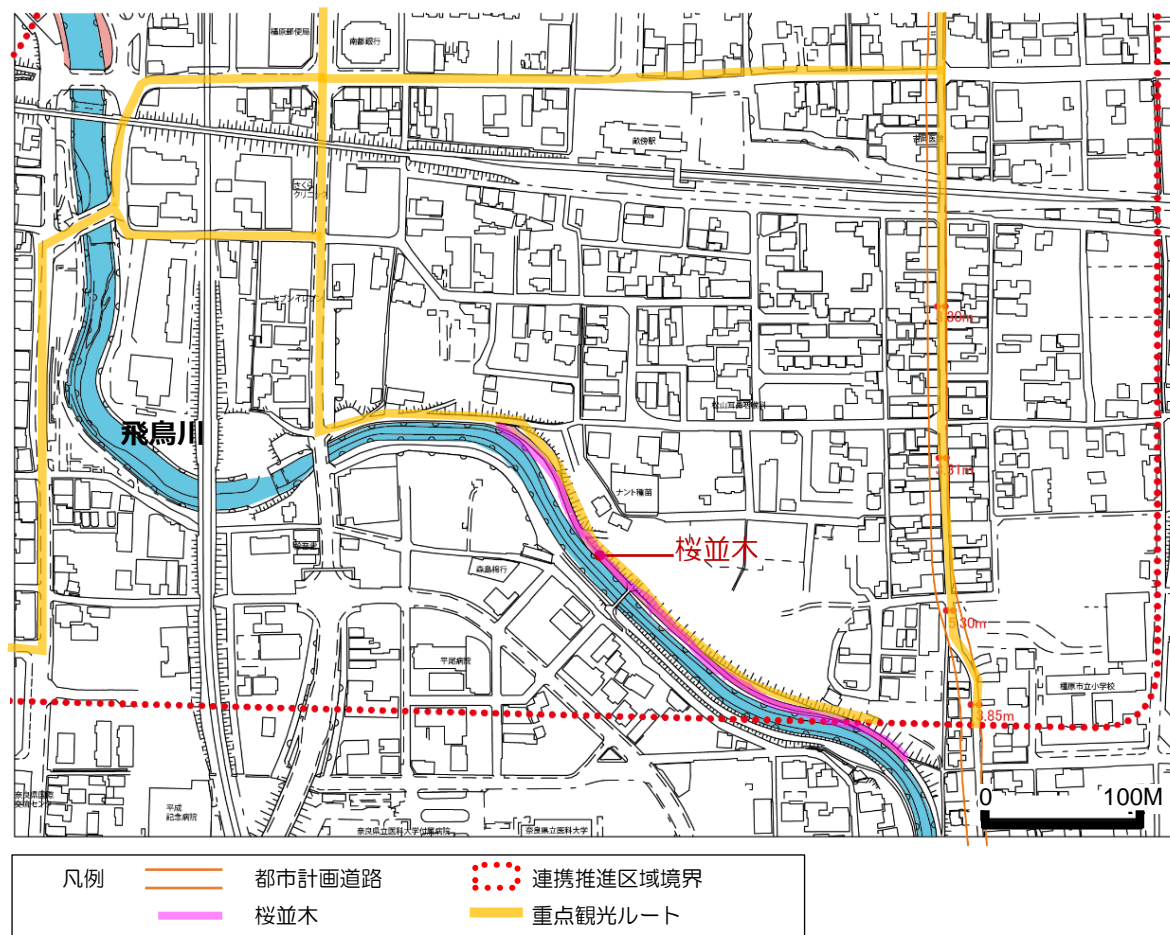


図 7-2 飛鳥川土地利用方針図

7.5. 整備方針

上述の土地利用の方針に基づき、飛鳥川での整備検討方針として次に示す。

7.5.1. 回遊し歩きたくなる観光ルートの形成

① 重要観光ルートの重点的整備

観光案内施設の整備などにより、大和八木駅から今井町、八木町・畝傍駅、飛鳥川等への観光ルートを周知し、回遊でき歩きたくなるルートづくりを行う。また、飛鳥川沿いの沿道の修繕及び整備については、県の河川改修計画を踏まえ、河川改修の着手までの間は、現道の修繕を行うことで、歩きやすい環境づくりを行う。

② 各種看板の整備

檀原市を訪れる人々に快適な滞在を楽しんでもらえるよう、駅や観光地における観光案内サインの整備・充実を図る。

③ 観光案内所及び観光地における多言語対応

今後増加が見込まれる外国人観光客が可能な限り不自由なく観光を楽しむことができるよう、多言語対応が可能なスタッフの採用や、柔軟な受け入れ体制を確保し、観光地での多言語表示を行う。

8. 地区全体

8.1. 取組方針

基本構想に示されている地区全体の取組方針は次の4つである。

A-6 観光資源の活用と整備

A-7 多世代にとって便利で住みやすい環境の確保

B-3 公共交通、観光、生活サービスネットワークをICT技術によってつなげ、多様な都市サービスを提供し、交流人口の回遊性を高めるとともに市民に対し良質なサービスを提供

B-4 自転車道の整備とレンタサイクルの活用

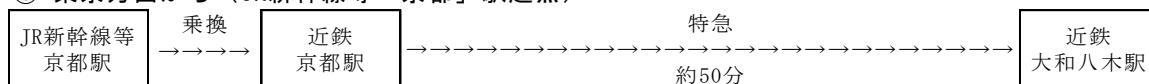
8.2. 前提条件の整理

8.2.1. 近隣都市からのアクセス経路

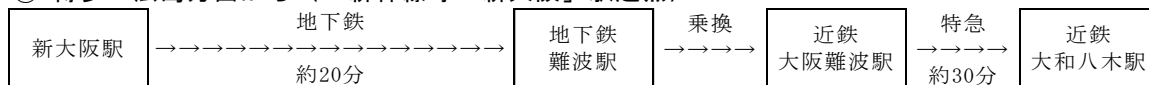
近隣都市からのアクセス経路は次のとおりである。

鉄道利用（着地「大和八木」駅）

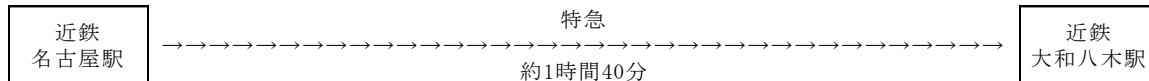
① 東京方面から（JR新幹線等「京都」駅起点）



② 博多・広島方面から（JR新幹線等「新大阪」駅起点）



③ 名古屋から（近鉄「名古屋」駅起点）



④ 大阪から

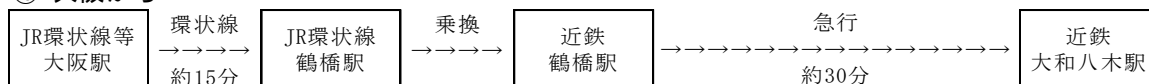


図 8-1 近隣都市からのアクセス経路

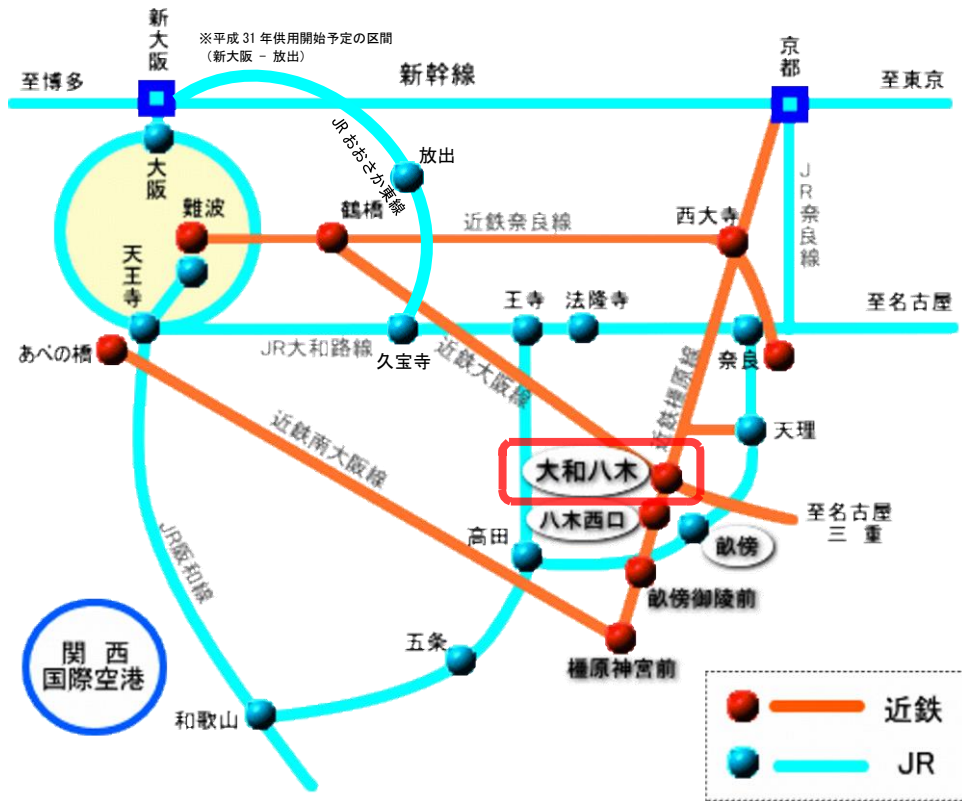


図 8-2 鉄道路線図

8.2.2. 主要観光資源間の関連

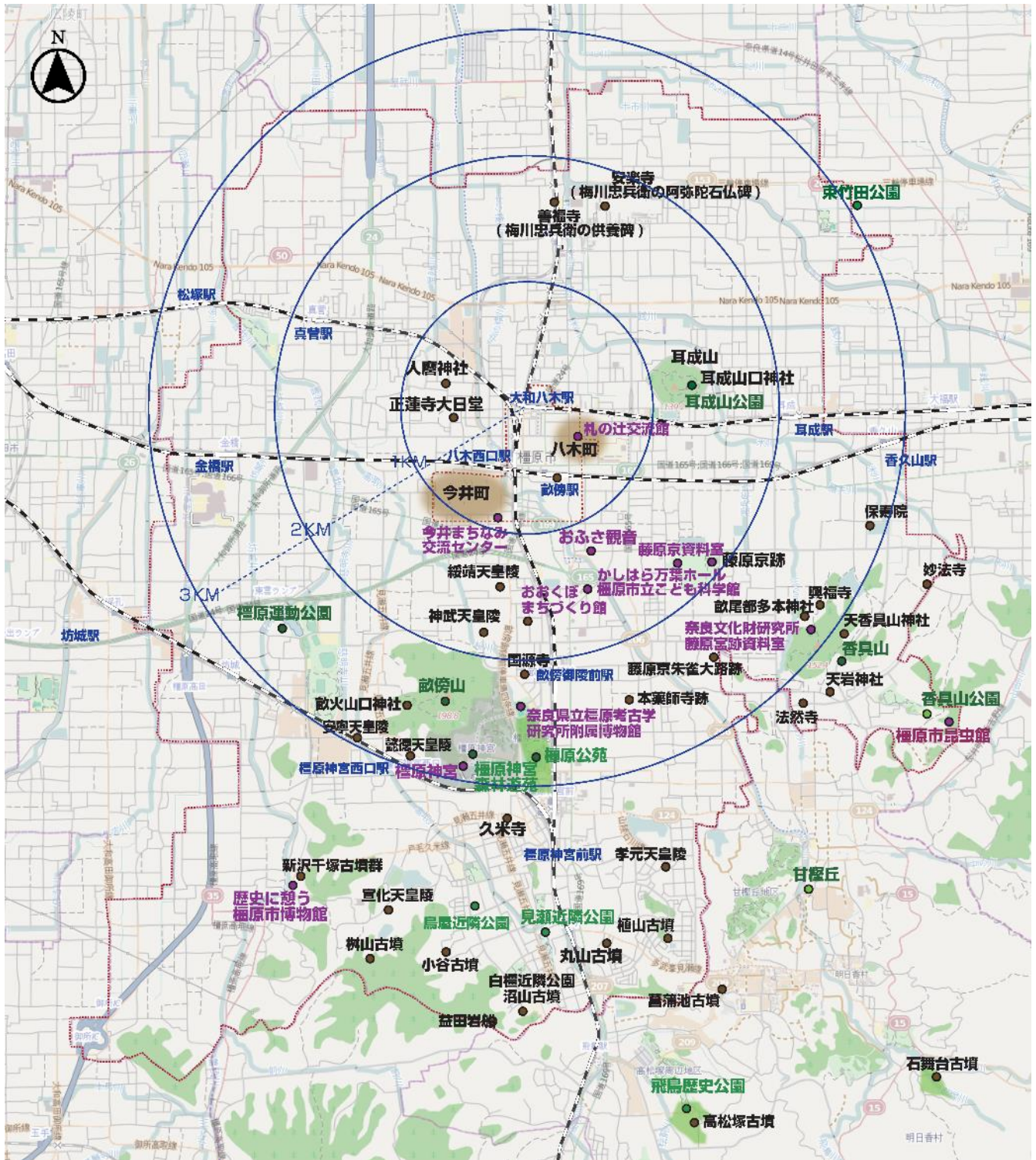
「観光基本計画（平成 29 年 6 月）」での調査結果によると、市内の他の観光地に比べて、今井町を訪れた人が他の観光地を訪問する割合と、他の観光地を訪れた人が今井町も訪問する割合のいずれもが高く、市内の観光結節点として機能していることが明らかになっている。



図 8-3 今井町から主要観光資源の所要時間と距離（移動手段：車）

8.2.3. 市内の観光資源

橿原市内及び周辺の観光資源を次に示す。



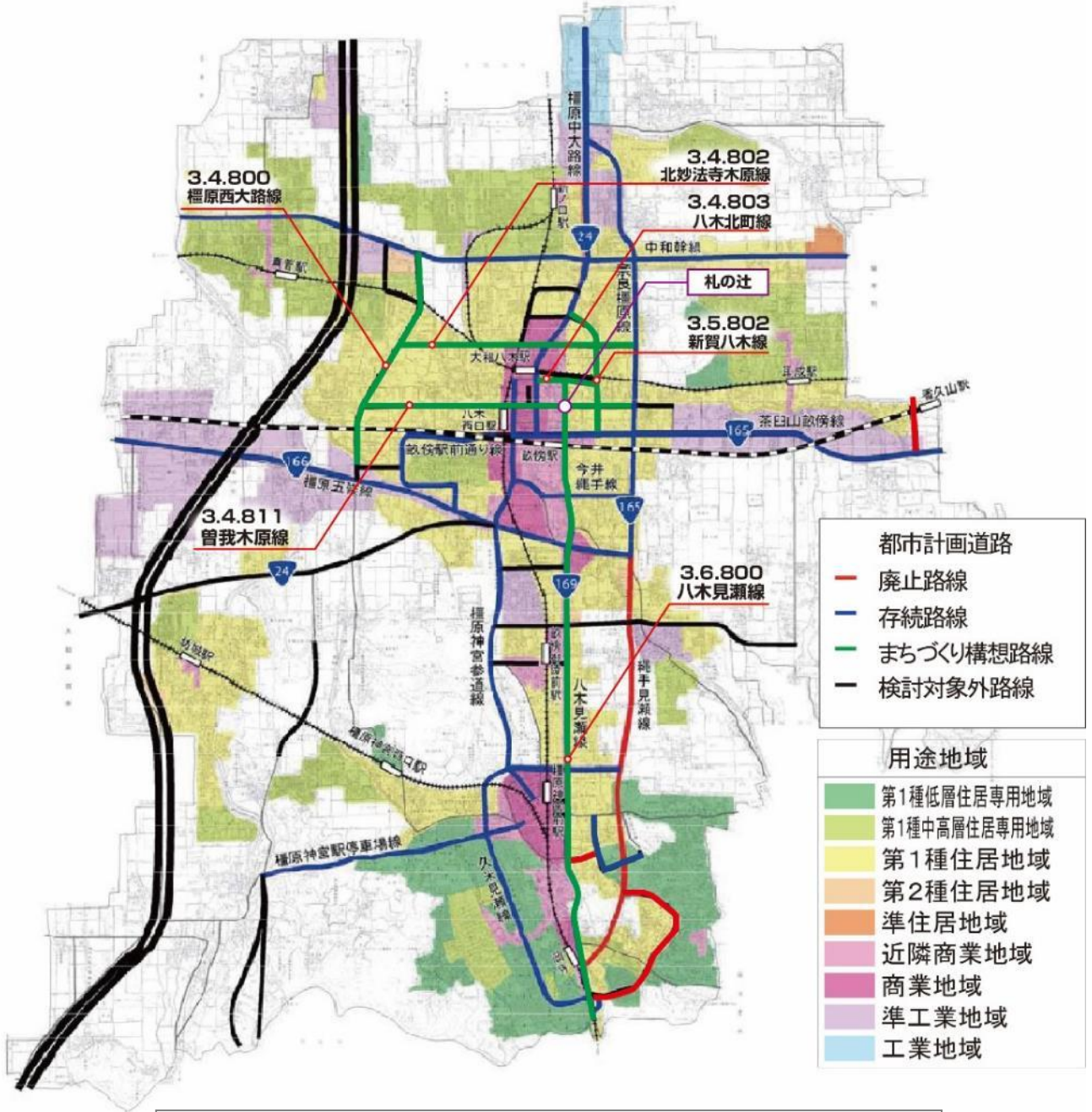
凡例	
● (Purple)	: 観光施設
● (Brown)	: 史跡
● (Green)	: 公園

© OpenStreetMap contributors
<http://www.openstreetmap.org>

図 8-4 市内の観光資源

8.2.4. 大和八木駅周辺地区のまちづくりに関連する路線

基本構想で示した大和八木駅周辺地区のまちづくりに関連する路線(6路線)については、連携推進区域内において検討する方針となっている。



【大和八木駅周辺地区まちづくりに関連する路線】	
3.4.800 檀原西大路線	3.4.811 曾我木原線
3.4.802 北妙法寺木原線	3.5.802 新賀八木線
3.4.803 八木北町線	3.6.800 八木見瀬線

図 8-5 大和八木駅周辺地区のまちづくりに関連する路線

8.2.5. 都市計画道路の検討方針

対象エリア（連携推進区域）内に位置する大和八木駅周辺地区のまちづくりに関連する路線のうち、まちなみ保存の観点から、検討を行う路線部分を緑線で下図に示す。

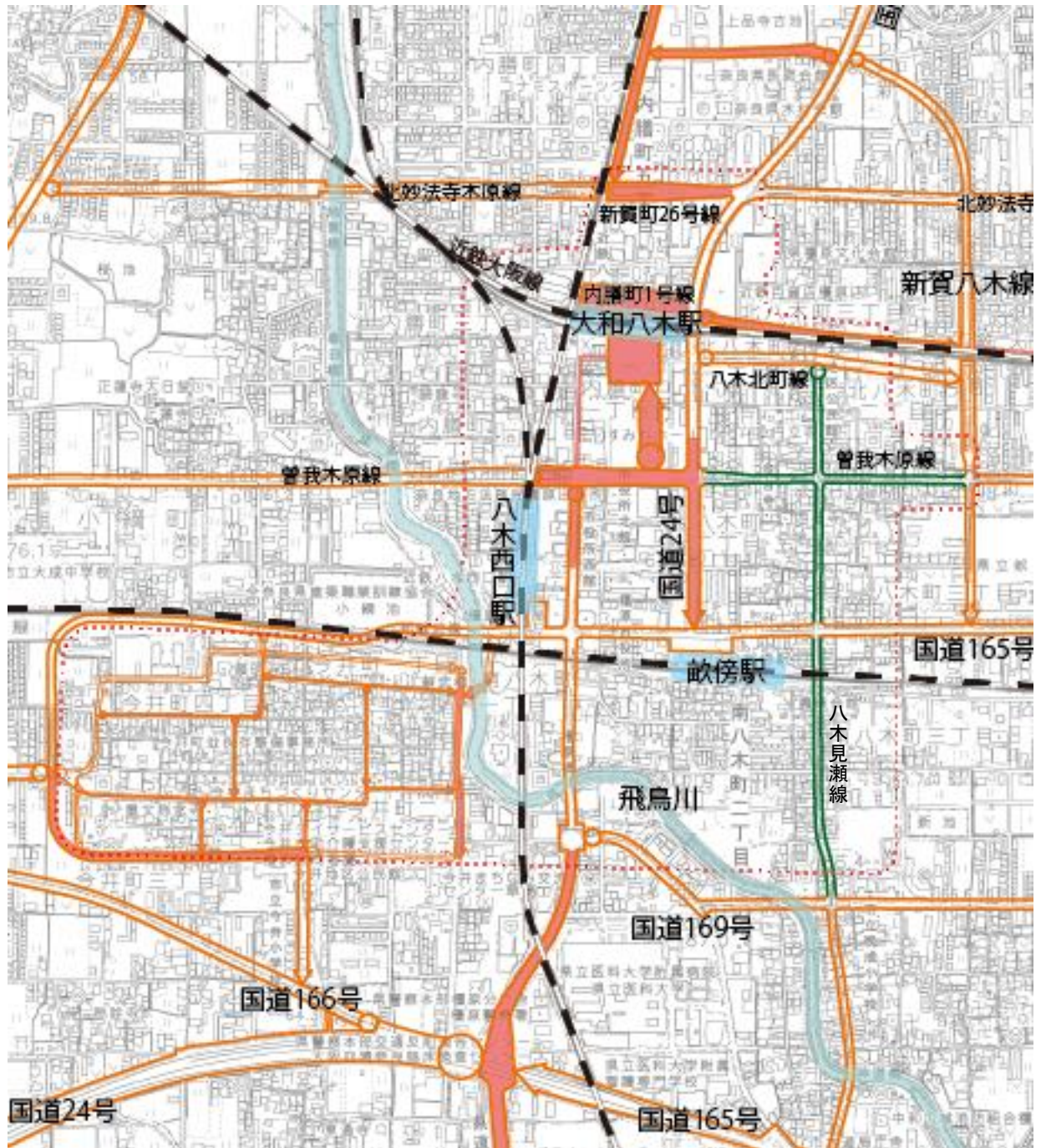






図 8-6 都市計画道路の検討方針

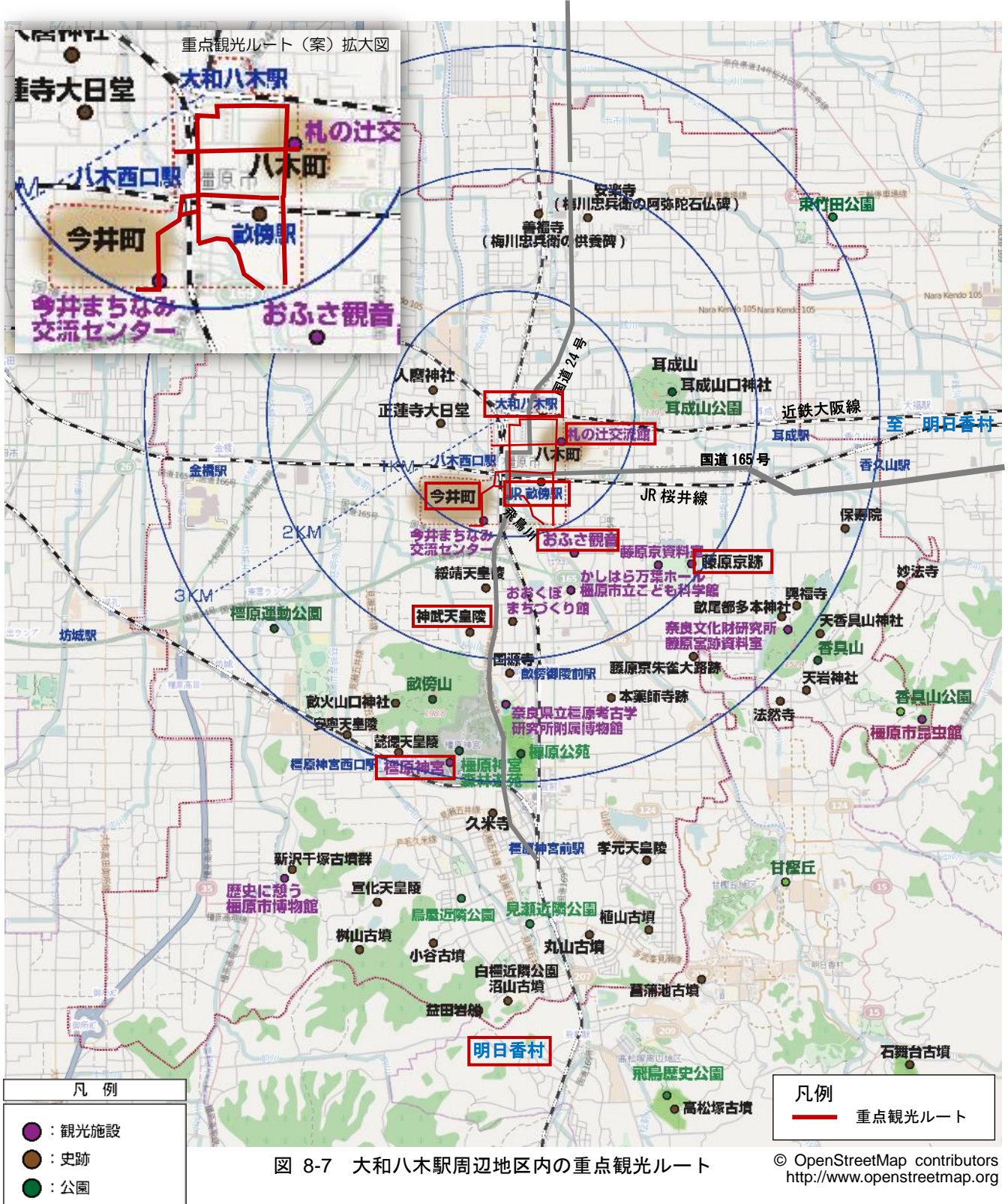
凡例	
	都市計画道路（計画）
	都市計画道路（整備済）
	都市計画道路（廃止の検討）
	連携推進区域境界

8.3. 整備方針

8.3.1. 観光資源の活用と整備

① 重要観光ルート of 重点的整備

大和八木駅から今井町、八木町・畝傍駅、飛鳥川を結び、さらには藤原宮跡から明日香村へとつながる回遊しなくなる観光ルートを重点的に整備し、観光資源の相乗効果を高める。



② 各種看板の整備

橿原市を訪れる人々に快適な滞在を楽しんでもらえるよう、駅や観光地における観光案内サインの整備・充実を図る。

③ 観光案内所及び観光地における多言語対応

今後増加が見込まれる外国人観光客が可能な限り不自由なく観光を楽しむことができるよう、多言語対応が可能なスタッフを採用や柔軟な受け入れ体制を確保し、観光地での多言語表示を行う。

8.3.2. 自転車道の整備とレンタサイクルの活用

自転車道の整備と合わせて、レンタサイクル利用者(外国人観光客を含む)の増加に向けて、内容の充実と、情報発信の強化を行う。また、利便性を高めるための新たな方法の導入を検討する。

8.3.3. ICT技術の活用

公共交通、観光、生活サービスネットワークをICT技術によってつなげ、多様な都市サービスを提供し、交流人口の回遊性を高めるとともに市民に対し良質なサービスの提供を目指す。

観光アプリ開発や大和八木駅周辺駐車場の利用状況(満空表示)等の情報提供の実施を検討する。

9. 計画実現の手立て

9.1. 連携体制

多くの声をまちづくりに反映させるため、市民・民間企業・大学等の多様な主体と連携することを基本とする。

① 市民との協働

市民、民間事業者、市民活動団体等（以下「市民等」という。）と行政が相互の立場を尊重し、お互いの不足を補い、協力し合い、課題解決に取り組む協働を実現するために、市民が協働できる体制づくりを進め、まちづくりに関わる市民活動を支援する。

② 官民連携

民間事業者と市の協働でのまちづくりを進めるために、民間の技術やノウハウを活用するための情報開示に努めるとともに、民間の自由な提案を受け入れる体制の整備や専門部署の設置等を検討する。また、橿原市公共施設等総合管理計画と連携した市の資産の有効活用を図る。

加えて、先行の官民連携案件である、大和八木駅南側に位置する複合施設の事業者と連携した取り組みを行う。

③ 大学との連携

県立医大、畿央大学、奈良芸術短期大学、聖心学園、追手門学院大学との包括的な連携協力に関する協定を活用し、空き家活用や次世代モビリティの活用、情報通信技術（ICT）の活用等について大学の特色や知見を活かしたまちづくりを進める。

④ 近隣自治体との広域連携

高取町、明日香村とともに、情報発信、観光客誘致、産学官連携、事務の広域共同化等を行う飛鳥広域圏連携を継続して実施し、観光ルート、観光施設、観光スポット間の観光ルート及びネットワークの連携を図り、観光振興に寄与する施策を実施する。

9.2. 事業実施に向けた役割分担

計画実現に向けた事業の実施においては、市民等が参画し、市と連携・協働して各種事業を進めていくこととする。

次に、市、市民及び民間事業者の役割分担を示す。

① 市

a. エリアマネジメントの支援

地権者や事業者等の関係者が協働してまちづくりを行うために、社会資本及び地域資源の活用を行うエリアマネジメントを、市民等が主体となり実施する体制を構築するために、エリアマネジメントを実施する組織の立ち上げや、コミュニティづくりについて支援を行う。

b. 環境・景観整備の推進

歴史的・文化的なまちなみや自然景観など、観光客が魅力的だと感じる景観を保持していくことができるよう、従来の取組みの効果を検証しながら、更なる整備を検討・実施する。そのため、建物や植物の高さや使用可能な色に制限を設けることや、統一感を持たせることなど景観整備にかかるルールを設定し、観光地としての雰囲気や統一感の醸成を図る。

c. 官民連携手法の活用

民間事業者の技術やノウハウ、資金等を積極的に活用する観点から、官民連携手法を活用する。

② 市民

a. エリアマネジメントの実施

地権者や事業者等の関係者が協働してまちづくりを行うために、社会資本及び地域資源の活用を行うエリアマネジメントを実施する体制を構築する。

b. 環境・景観整備の実施

市民及び観光客が気持ちよく過ごすことのできる環境づくりを行うために、市民が地域の景観の保全・形成を推進する担い手として環境・景観整備を行う。

③ 民間事業者

a. エリアマネジメントの実施

地権者や事業者等の関係者が協働してまちづくりを行うために、社会資本及び地域資源の活用を行うエリアマネジメントを実施する体制を構築する。

b. 官民連携による事業の実施

民間事業者の技術やノウハウを活用した、施設整備、維持管理、運営業務を実施する。

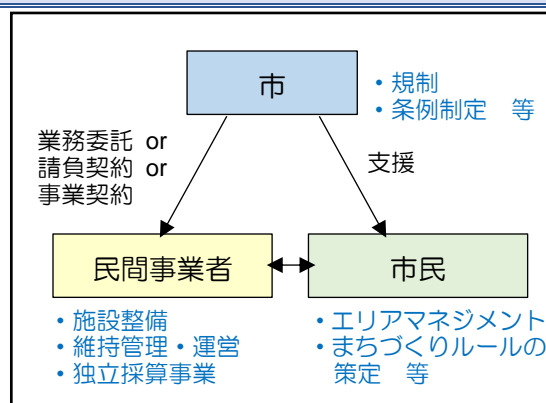


図 9-1 事業実施に向けた役割分担

参考 大和八木駅北側の現段階で想定できる整備手順

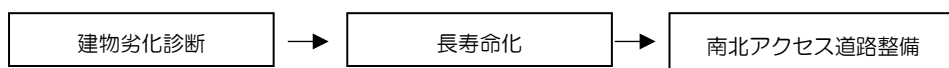
(1) 整備手順

「利用可能な市有地が限定的」「市営八木駅前北駐車場の長寿命化対策工事の実施」の2つの課題を踏まえて、市営八木駅前北駐車場の長寿命化を実施する場合と小規模な修繕を実施し一定期間使用する場合の2つの場合別に、それぞれ次に整備手順を示す。

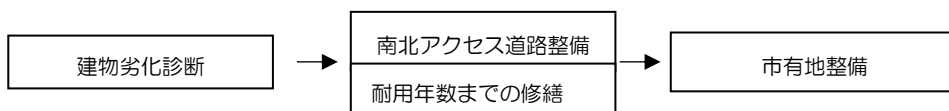
これらの検討に際しては、南北アクセス道路整備と交差点改良の2つの整備方針だけでなく、「市営八木駅前北駐車場の再整備や駅前広場の機能の充実による賑わいの創出」及び「八木駅周辺駐車場の利用状況等の情報提供」の整備方針の実現に向けてもあわせて検討を行う。

また、実際の検討に際しては、劣化診断を実施し対策工事費用を算出、最適な整備手順を選定する方針とする。

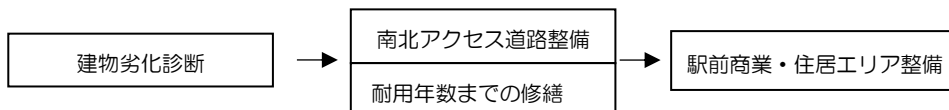
① 市営八木駅前北駐車場長寿命化案



② 橿原文化会館前市有地整備案



③ 駅前商業・住居エリア整備案①



④ 駅前商業・住居エリア整備案②

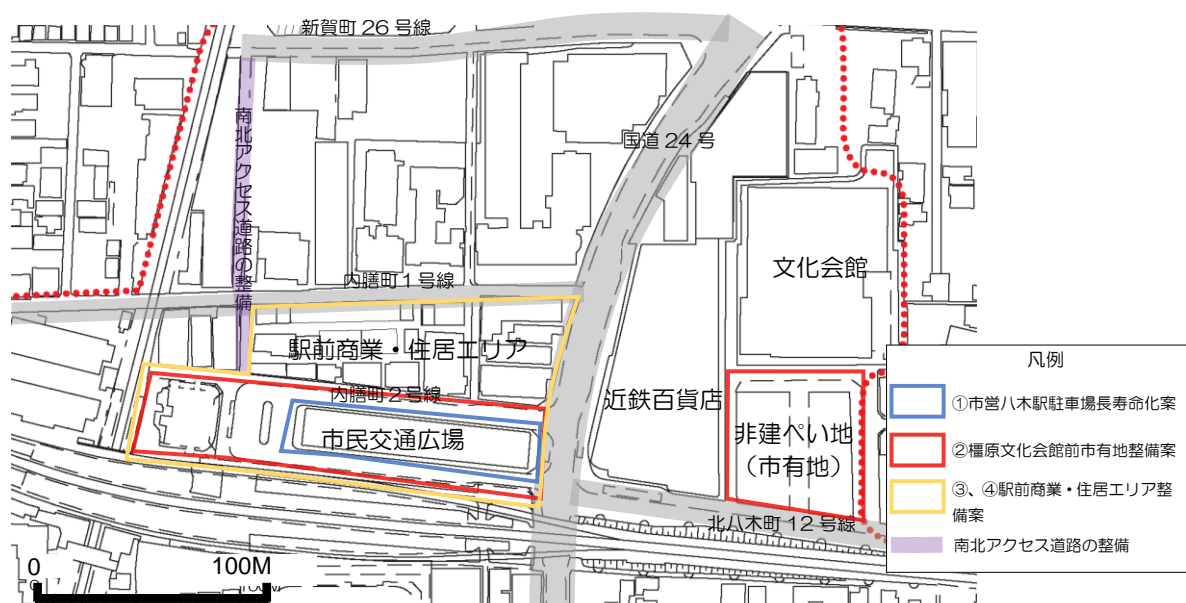
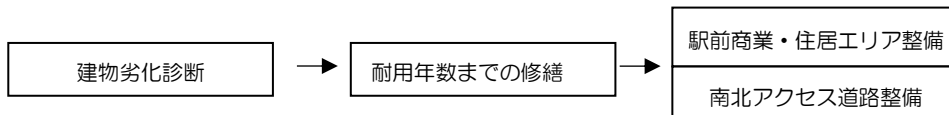


図1 整備手順案別の整備対象範囲

(2) 実施フロー

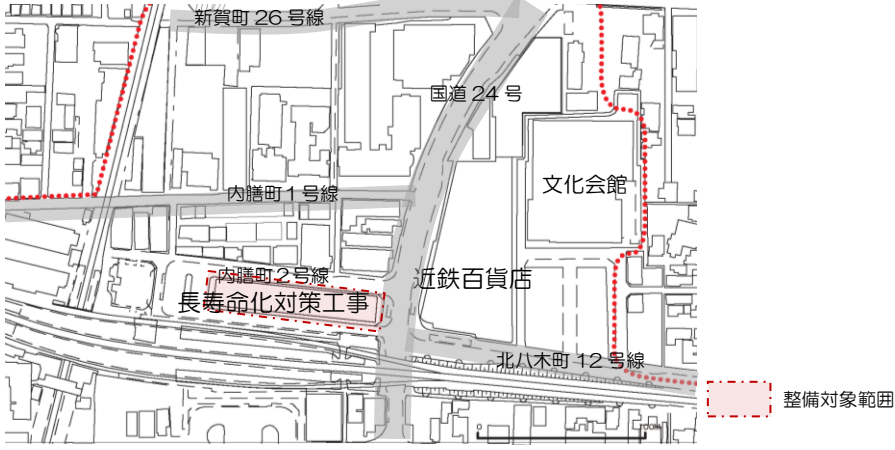
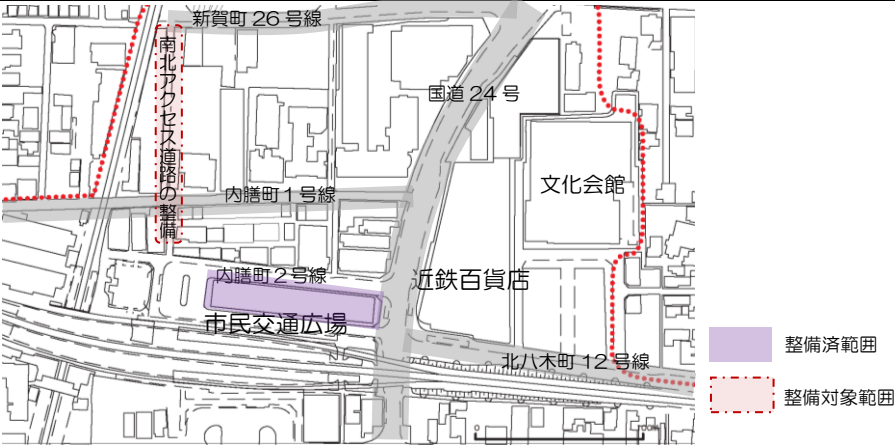
① 市営八木駅前北駐車場長寿命化案

a 整備概要

長寿命化対策を実施し、市営八木駅前北駐車場の継続的な利用を図る場合についての整備手順を次に示す。なお、整備手順については、長寿命化対策後、南北アクセス道路を整備する想定とした。

b 整備手順（案）

表 1 大和八木駅北側の整備手順（案）

Step1	大和八木駅北側整備検討
	南北アクセス道路、駐車場・駐輪場の整備のための調査分析及び設計を行う。
Step2	市営八木駅前北駐車場の長寿命化工事の実施
	<p>市営八木駅前北駐車場の長寿命化の対策工事を行う。工事中は、現道は1車線規制等による供用を想定する。</p> 
Step3	南北アクセス道路の整備
	<p>市営八木駅前北駐車場を継続利用し、南北アクセス道路の整備を行う。</p> 

② 檀原文化会館前市有地整備案

市営八木駅前北駐車場を現状どおり一定期間利用した後、代替の駐車場用地を確保し、市民交通広場を再整備する場合について検討する。

a 整備概要

市営八木駅前北駐車場の代替駐車場用地として想定される場所として、檀原文化会館南側の市有地を候補地として検討する。当該敷地は、近鉄百貨店の敷地の一部として建築確認申請がなされており、近鉄百貨店及び近鉄百貨店駐車場の延べ床面積を確保している。したがって、近鉄百貨店と協議し駐車場整備を検討する必要があるが、代替駐車場として活用できる場合を想定し、整備案を検討した。

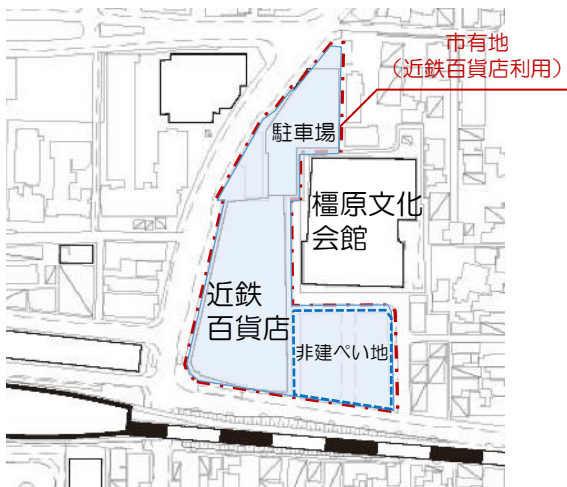


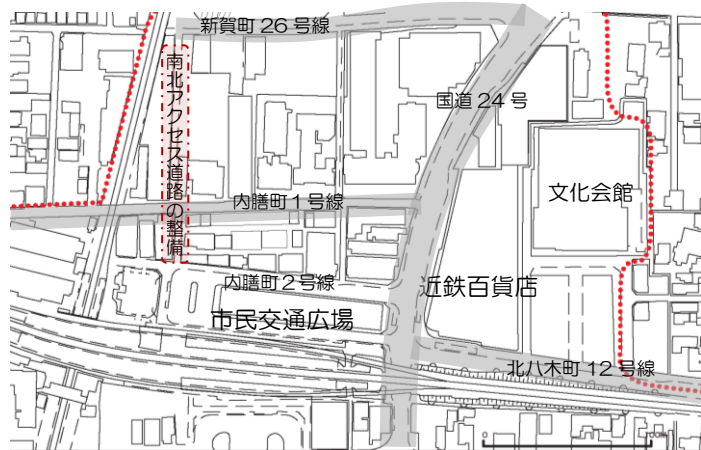
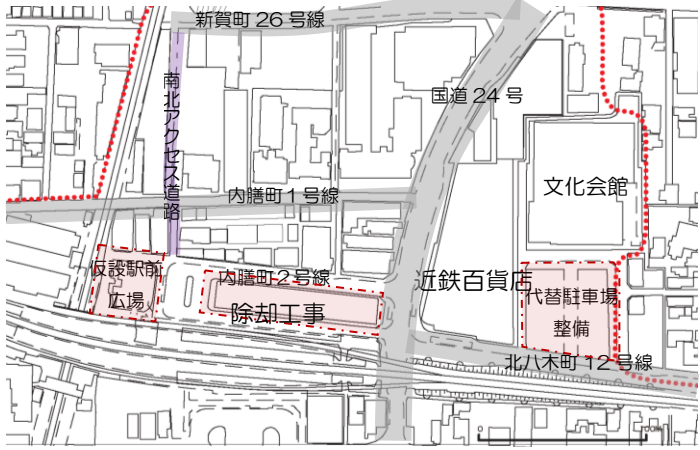
図2 近鉄百貨店の敷地範囲



図3 檀原文化会館前市有地

b 整備手順

表 2 大和八木駅北側の整備手順（案）

Step1	大和八木駅北側整備検討
	南北アクセス道路、交差点改良、駐車場・駐輪場の整備のための調査分析及び設計を行い、近鉄百貨店との協議を行う。並行して、耐用年数まで市営八木駅前北駐車場の修繕を実施する。
Step2	南北アクセス道路の整備を行う
	<p>市営八木駅前北駐車場を暫定利用し、南北アクセス道路の整備を行う。</p>  <p>整備対象範囲</p>
Step3	代替駐車場、仮設駅前広場整備並びに市営八木駅前北駐車場の除却
	<p>代替駐車場、仮設駅前広場を整備し、市営八木駅前北駐車場の除却工事を行う。</p>  <p>整備済範囲</p> <p>整備対象範囲</p>

Step4	駅前広場整備
	駅前広場の整備を行う。
Step5	交差点改良
	近鉄八木駅前北広場交差点の変則的な交差点の改良を行う。

③ 駅前商業・住居エリア整備案①

市営八木駅前北駐車場の北側の駅前商業・住居エリアを活用し、防災上の課題への対応及び代替駐車場の確保を想定した案を検討する。

a 整備概要

代替地の選定にあたっては、大和八木駅北側駅前広場と駅前商業・住居エリアの一体的な再整備を検討する。

駅前商業・住居エリアの現況の利用状況を図 4 に示す。

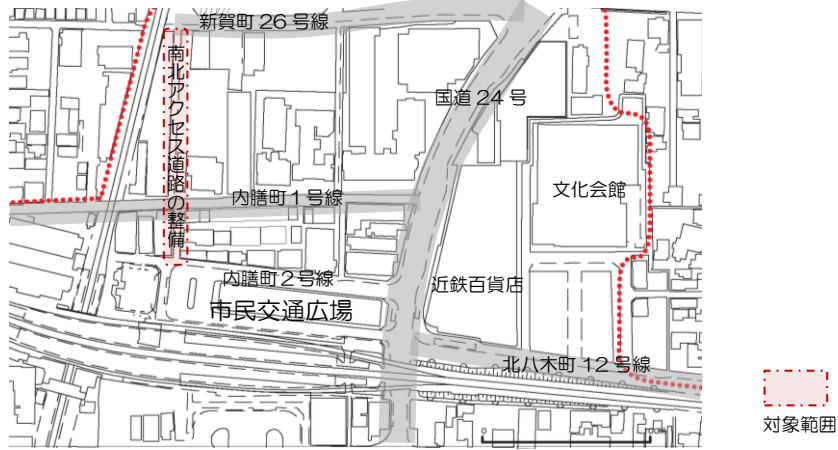
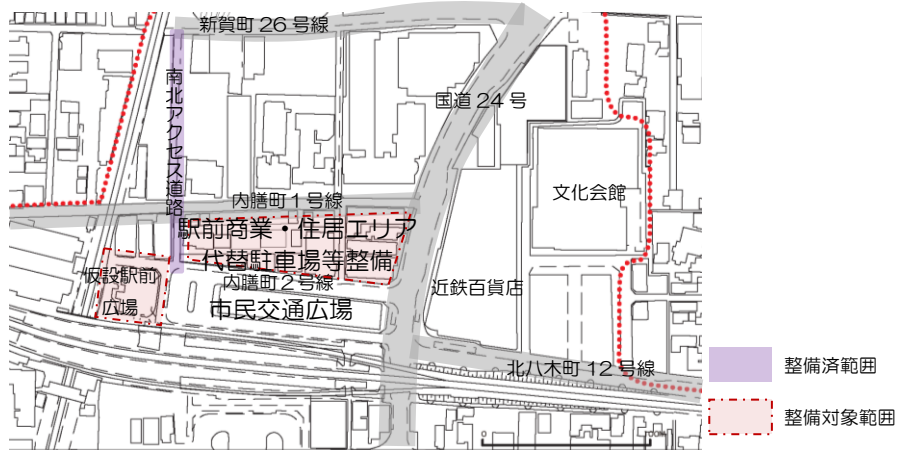



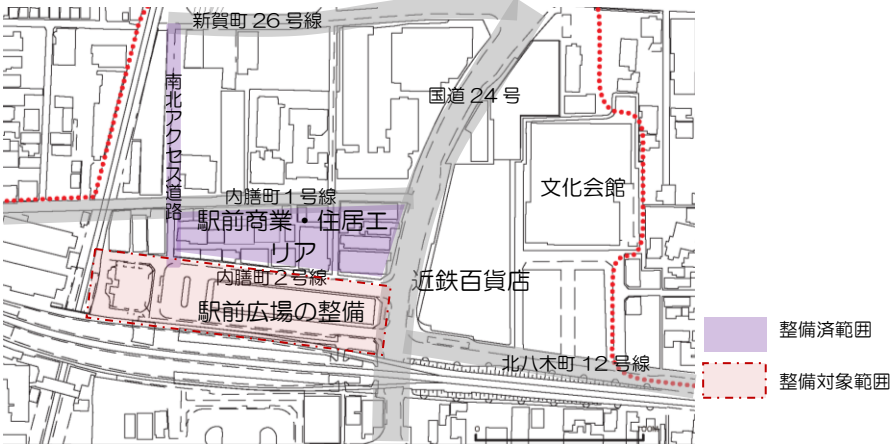
図 4 駅前商業・住居エリアの現況図

b 整備手順（案）

大和八木駅北側の整備手順（案）を次に示す。

表 3 大和八木駅北側の整備手順（案）

Step1	大和八木駅北側整備検討
	南北アクセス道路、交差点改良、駐車場・駐輪場の整備及び駅前商業・住居エリアの再整備のための調査分析及び設計を行う。並行して、耐用年数まで市営八木駅前北駐車場の修繕を実施する。
Step2	南北アクセス道路の整備
	<p>市営八木駅前北駐車場を暫定利用し、南北アクセス道路の整備を行う。</p> 
Step3	駅前商業・住居エリアの再整備を検討
	<p>暫定利用の仮設駅前広場整備と、市営八木駅前北駐車場の代替駐車場機能を含む複合施設を一体的に整備する。</p> 

Step4	仮設の駅前広場整備及び市営八木駅前北駐車場の除却
	<p>市営八木駅前北駐車場の除却工事を行う。</p> 
Step5	駅前広場整備
	<p>駅前広場の整備を行う。</p> 
Step6	交差点改良
	近鉄八木駅北広場交差点の変則的な交差点の改良を行う。

④ 駅前商業・住居エリア整備案②

市営八木駅前北駐車場の北側の駅前商業・住居エリアを活用し、駅前商業・住居エリア及び南北アクセス道路の整備を一体的に実施する案を検討する。

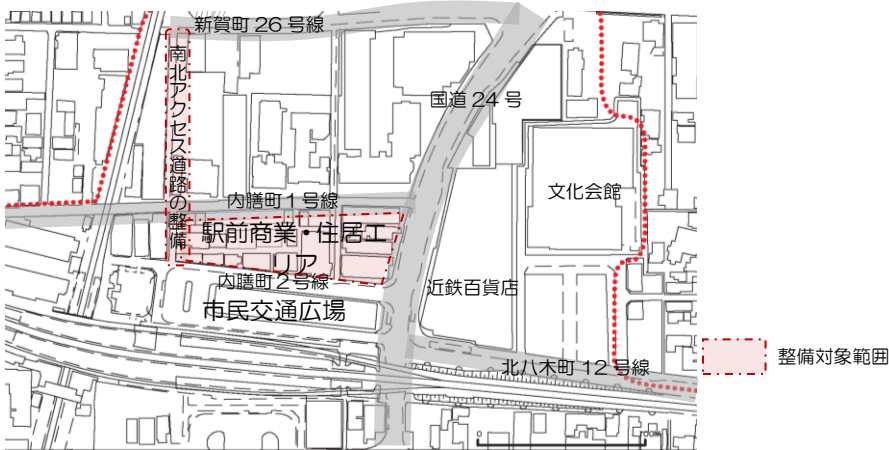
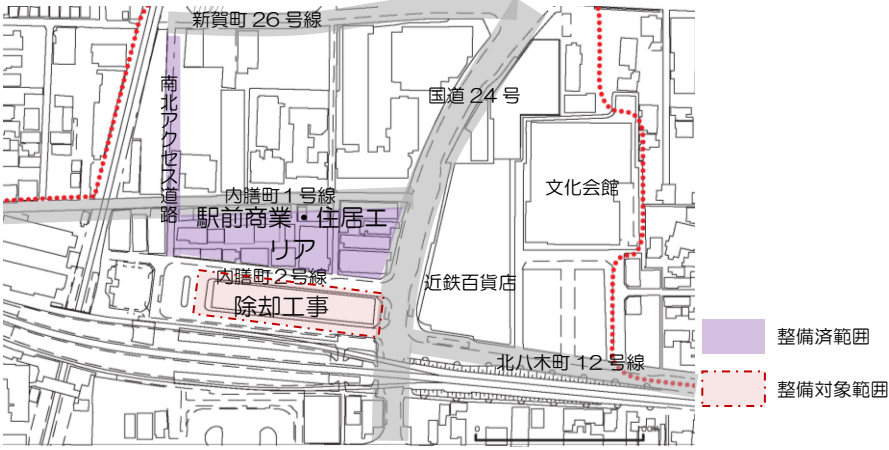
a 整備概要

先行して駅前商業・住居エリア及び南北アクセス道路の整備を実施し、代替駐車場を確保した後、市営八木駅立体駐車場を撤去する手順を想定する。工事中についても一部現道を供用することによって、仮設駅前広場の整備が不要となる。

b 整備手順（案）

大和八木駅北側の整備手順（案）を次に示す。

表 4 大和八木駅北側の整備手順（案）

Step1	大和八木駅北側整備検討
	<p>南北アクセス道路、交差点改良、駐車場・駐輪場の整備及び駅前商業・住居エリアの再整備のための調査分析及び設計を行う。並行して、耐用年数まで市営八木駅前北駐車場の修繕を実施する。</p>
Step2	駅前商業・住居エリア及び南北アクセス道路の整備
	<p>市営八木駅前北駐車場の代替駐車場機能を含む複合施設を一体的に整備する。併せて南北アクセス道路の整備を行う。</p> 
Step3	市営八木駅前北駐車場の除却
	<p>市営八木駅前北駐車場の撤去を行う。解体工事中は、現道は1車線規制等による供用を想定する。</p> 

Step4	駅前広場整備
	<p data-bbox="384 239 679 271">駅前広場の整備を行う。</p>  <p>The map shows the station area with various roads and buildings. A purple shaded area indicates the '整備済範囲' (Completed area), and a red dashed line indicates the '整備対象範囲' (Target area). The target area includes the '駅前広場整備' (Station Plaza Improvement) project. Key roads shown include 新箕町 26号線, 国道 24号, 内膳町 1号線, 内膳町 2号線, and 北八木町 12号線. Buildings like 文化会館 and 近鉄百貨店 are also labeled.</p>
Step5	交差点改良
	近鉄八木駅北広場交差点の変則的な交差点の改良を行う。

(3) 整備手順の比較

整備手順の比較については次のとおり。

整備の手順	メリット	デメリット
市営八木駅前北 駐車場長寿命化 案	1. 市民交通広場内の整備となるため、比較的整備期間は短い。	1. 既存の駐車場が残置されるため、交差点改良ができない。 2. 長寿命化対策後の耐用年数を迎えた際の、代替駐車場の整備及び立体駐車場の除却等の対応を併せて検討する必要がある。
榎原文化会館前 市有地整備案	1. 既存の駐車場用地を含めた市民交通広場の整備により、交通改善が期待できる。 2. 市民交通広場の整備により、駅前の賑わい創出が期待できる。	1. 近鉄百貨店の協力が必要となる。市有地へ代替駐車場の整備後、市民交通広場の整備に着手するため、比較的整備が長期化する。 2. 代替駐車場への交通アクセス性が課題である。
駅前商業・住居 エリア整備案①	1. 既存の駐車場用地を含めた市民交通広場の整備により、交通改善が期待できる。 2. 駅前商業・住居エリアの防災上の課題への対応及び、新たな複合施設の整備及び市民交通広場の整備により、駅前の賑わい創出が期待できる。	1. 駅前商業・住居エリアの地権者との調整後、代替駐車場を整備し、市民交通広場の整備に着手するため、整備に比較的期間を要する。
駅前商業・住居 エリア整備案②	1. 既存の駐車場用地を含めた市民交通広場の整備により、交通改善が期待できる。 2. 駅前商業・住居エリアの防災上の課題への対応及び、新たな複合施設の整備及び市民交通広場の整備により、駅前の賑わい創出が期待できる。 3. 南北アクセス道路整備を駅前商業・住居エリアの整備と一体的に行うことから、事業の合理化が図られる。	1. 駅前商業・住居エリアの地権者との調整後、代替駐車場の整備、南北アクセス道路の整備を一体的に行うため、市民交通広場の整備に着手するまでに最も期間を要する。 2. 市営八木駅前北駐車場の除却工事中は、現道の一車線規制による交通渋滞や工事期間の長期化等が想定される。

(4) 整備手法について

大和八木駅北側を整備するにあたっての、適用可能性がある行政主導型の整備手法について次に示す。なお、ここでは示していないが、整備手法の活用にあたっては、民間主導による個別建替えや再開発についての検討を行い、個別のエリアにおいて都市計画法に基づく地区計画等の策定が必要である。

整備手法	概要	適用可能性のある整備案	補助率
第一種市街地再開発事業 (権利変換方式)	都市再開発法に基づき、市街地内の老朽木造建築物が密集している地区等において、細分化された敷地の統合、不燃化された共同建築物の建築、公園、広場、街路等の公共施設の整備等を行うことにより、都市における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る。 権利変換手続きにより、従前建物、土地所有者等の権利を再開発ビルの床に関する権利に原則として等価で変換する。	<ul style="list-style-type: none"> ・③駅前商業・住居エリア整備案① ・④駅前商業・住居エリア整備案② 	市街地再開発事業等 (補助率：1/3)
都市再生整備計画事業 (旧まちづくり交付金)	地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための制度。 地方都市の既成市街地等において、既存ストックの有効活用を図りつつ、地域の中心拠点・生活拠点を形成し、持続可能な都市構造への再構築を図るため、地方都市リノベーション事業を創設し、地域の生活に必要な都市機能（医療・福祉、商業等）の整備・維持を重点的かつ集中的に支援。	<ul style="list-style-type: none"> ・①市営八木駅前北駐車場長寿命化案 ・②橿原文化会館前市有地整備案 ・③駅前商業・住居エリア整備案① ・④駅前商業・住居エリア整備案② 	事業費に対して概ね4割
防災街区整備事業	密集市街地において特定防災機能の確保と土地の健全な利用を図る 建築物への権利変換による土地・建物の共同化を基本としつつ、例外的に個別の土地への権利変換を認める柔軟かつ強力な事業手法を用いながら、老朽化した建築物を除却し、防災性能を備えた建築物及び公共施設の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・③駅前商業・住居エリア整備案① ・④駅前商業・住居エリア整備案② 	市街地再開発事業等 (補助率：1/3)
暮らし・にぎわい再生事業	中心市街地の再生を図るため、内閣総理大臣による中心市街地活性化基本計画の認定を受けた地区について、都市機能のまちなか立地、空きビル再生、多目的広場等の整備等を総合的に支援することにより、まちなかに公共施設等の都市機能等の導入を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・①市営八木駅前北駐車場長寿命化案 ・②橿原文化会館前市有地整備案 ・③駅前商業・住居エリア整備案① ・④駅前商業・住居エリア整備案② 	賑わい空間施設整備 (補助率：1/3)

橿原市
大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画

参考資料

目次

参考資料① 大和八木駅周辺地区まちづくり自動車交通処理検討 P1～P20

参考資料② 大和八木駅周辺地区まちづくりワークショップ実施結果 P21～P52

参考資料③ 大和八木駅前広場利用状況等アンケート実施結果 P53～P100

参考資料④ 大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画に関するアンケート実施結果 P101～P193

参考資料① 大和八木駅周辺地区まちづくり自動車交通処理検討

目次

第1回調査（平成28年6月実施）

1. 交通量調査の概要	2
2. 交通量調査結果の概要	3
3. 個別交差点の渋滞発生要因	5
4. 現況における自動車交通の処理状況	10
5. 将来交通量の推定	11
6. 今後の検討方針の確認	16

第2回調査（平成28年9月実施）

① 追加調査結果

1. 追加調査の実施について	20
2. 追加調査の概要	21
3. 交通量調査結果（柳町交差点）	22
4. プローブ調査結果（国道24号の走行性）	23
5. 大和八木駅周辺地区における自動車交通の課題	24

② 交通処理検討

1. 交通処理検討の進め方	26
2. まちづくりの取組が交通に与える影響	27
3. 複合施設のオープンに伴う交通流動の変化	29
4. 今後の交通処理検討の進め方	34

第1回調査(平成28年6月実施)

1

1. 交通量調査の概要

- 近鉄大和八木駅周辺の主要交差点(8地点)を対象に交通実態調査を実施。
- 調査概要は以下に示すとおり。

■ 調査概要

項目	内容
調査日	平成28年6月8日(水)
調査内容および調査時間帯	<ul style="list-style-type: none"> • 交差点自動車類交通量調査(7時～19時:昼間12時間) • 横断歩行者類通行量調査(7時～19時:昼間12時間) • 渋滞長調査(7～10時:朝ピーク3時間、16時～19時:夕ピーク3時間) • 信号現示調査(7時～19時:昼間12時間)
調査地点 (位置は右図参照)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新賀南交差点 2. 近鉄八木駅北広場交差点 3. 柳町交差点【附帯決議】 4. 近鉄八木駅南交差点(仮称)【附帯決議】 5. 橿原市役所東交差点 6. 橿原市役所西交差点 7. 橿原郵便局前交差点 8. 兵部町交差点

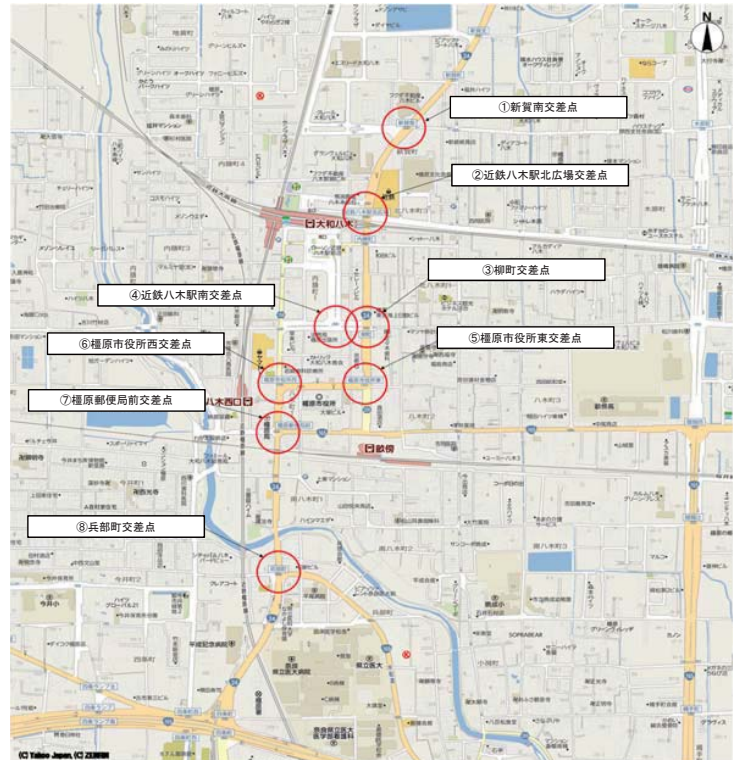


図. 交通量調査地点(8箇所)

2

2. 交通量調査結果の概要 ①ピーク時における各交差点への流入交通量

- 朝ピーク時と夕ピーク時を比較すると、全体的に夕ピーク時の方が交通量が多い。
- 各交差点で最も交通量が多い流入方向(図中の赤矢印)に着目すると、朝ピーク時、夕ピーク時ともに特定の方向(北向き、南向き等)があるわけではなく、市中心部方面への流動が多い。
- 対象交差点の総流入交通量に着目すると、朝ピーク時は「榎原郵便局前交差点」、夕ピーク時は「近鉄八木駅北広場」が最も多く、交差点への負荷が大きい(図中の赤囲みの交差点)。

■対象交差点への流入交通量

<朝ピーク時>7時~10時(3時間)



<夕ピーク時>16時~19時(3時間)



凡例
 → 各交差点で交通量が多い流入方向

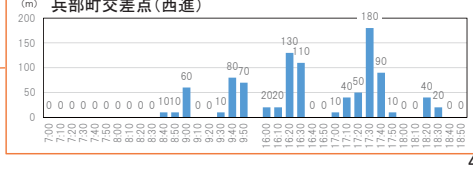
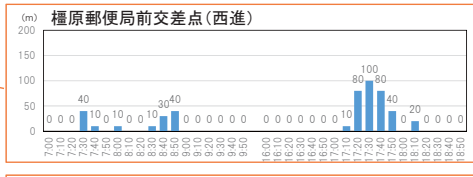
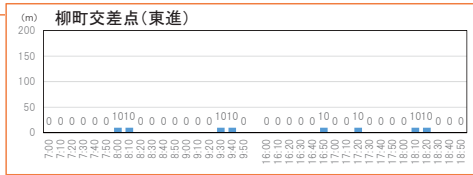
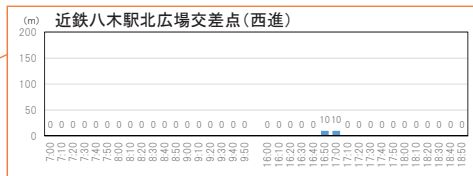
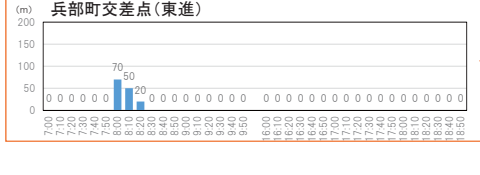
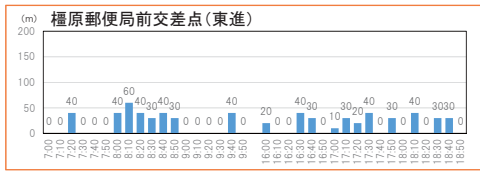
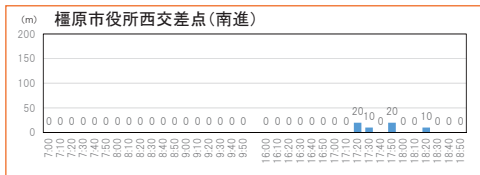
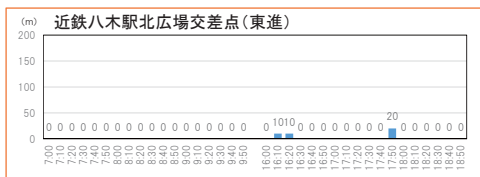
調査日:平成28年6月8日(水)
 時間帯:7:00~10:00、16:00~19:00

2. 交通量調査結果の概要 ②ピーク時における最大渋滞長

- 調査を行った8交差点のうち、ピーク時間帯に渋滞長※が観測されたのは、5交差点(図中の黒枠)であった。
- 特に、「榎原郵便局前交差点」、「兵部町交差点」では、断続的に渋滞長が観測された。
- なお、渋滞長が観測された方向はいずれも従道路側(国道24号に接続する道路)であった。

※)渋滞長:信号1サイクルで捌け残った車列の長さ

■渋滞長の観測状況



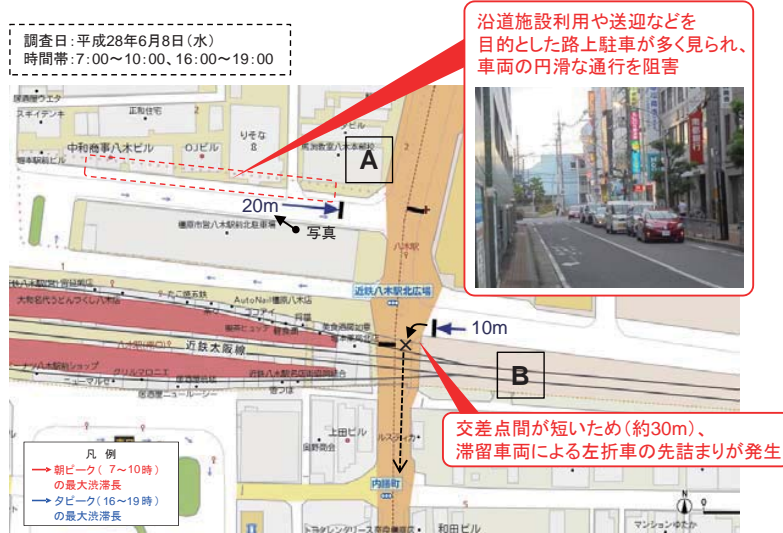
凡例
 → 朝ピーク(7~10時)の最大渋滞長
 → 夕ピーク(16~19時)の最大渋滞長

調査日:平成28年6月8日(水)
 時間帯:7:00~10:00、16:00~19:00

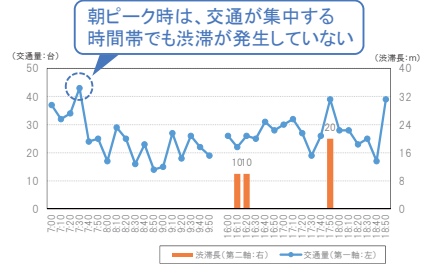
3. 個別交差点の渋滞発生要因 ②近鉄八木駅北広場交差点

- 市道内膳町2号線の東行き流入部(図中A: 駅前のロータリーからの流出)では、左折レーンを駐停車車両が塞いでいたため、後続車を阻害し、一時的に捌け残りが発生した(夕ピーク時のみ)。
- 市道北八木町12号線の西行き流入部(図中B)では、左折流出先の内膳町交差点が赤信号のため、滞留車列による先詰まりの影響で一時的に捌け残りが発生した(夕ピーク時のみ)。

■近鉄八木駅北広場交差点の渋滞発生状況



○市道内膳町2号線(A流入部)の交通量および渋滞長



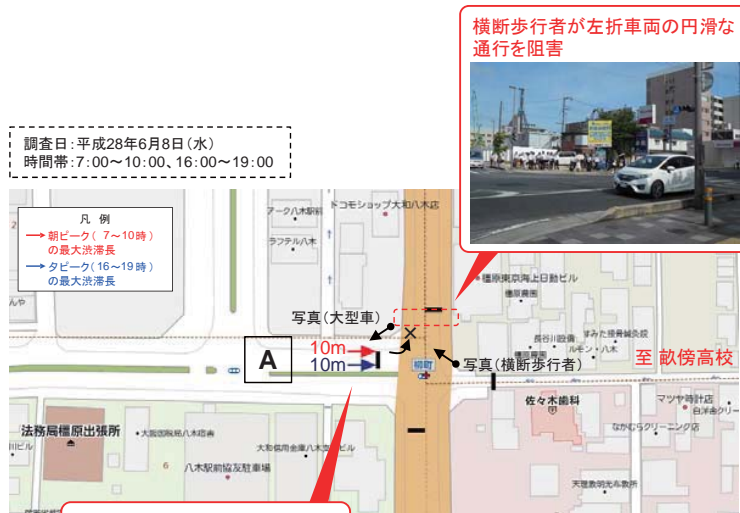
○市道北八木町12号線(B流入部)の交通量および渋滞長



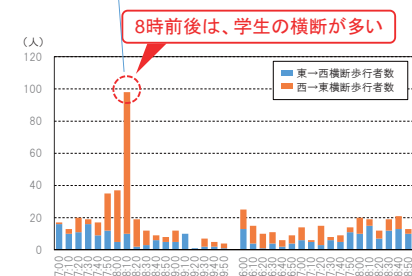
3. 個別交差点の渋滞発生要因 ③柳町交差点

- 市道八木町・内膳町1号線の東行き流入部(図中A)の左折車線では、横断歩行者の影響で一時的に捌け残りが発生した。また、バス等の大型車が混入すると発進遅れの影響で捌け残る状況が見られた(朝ピーク時・夕ピーク時)。

■柳町交差点の渋滞発生状況



○市道八木町・内膳町1号線(A流入部)の交通量および渋滞長



大型車の混入による発進遅れも渋滞の原因



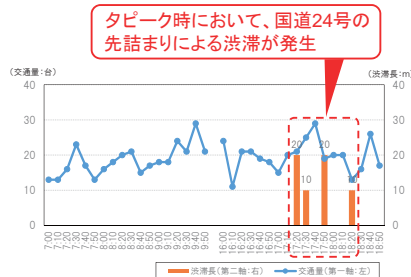
3. 個別交差点の渋滞発生要因 ⑥ 榎原市役所西交差点

- 当該交差点は、主道路である国道24号が右左折を伴う形状(図中の赤矢印)となっており、また、南側に位置する榎原郵便局前交差点との信号の連動が悪いため、交差点間に南行きの車両が滞留し、県道大和八木停車場線からの南行き流入部(図中A)が青信号になっても進行が阻害されるため、時折捌け残りが発生した(タピーク時のみ)。また、銀行・郵便局からの流出入車両も通行を阻害する要因となっている。

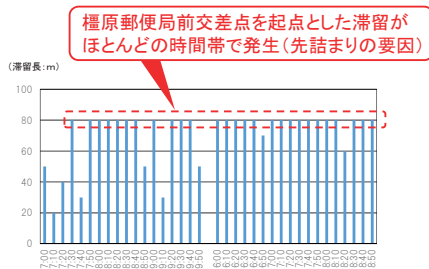
■ 榎原市役所西交差点の渋滞発生状況



○ 県道大和八木停車場線(A流入部)の交通量および渋滞長



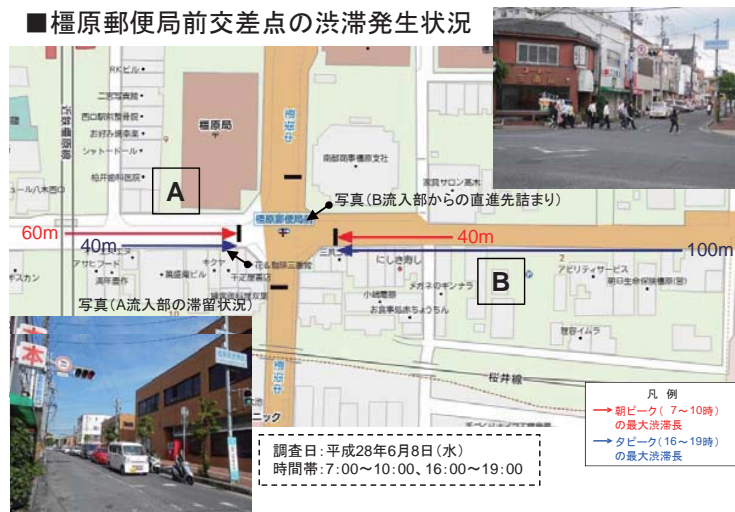
○ 榎原郵便局前交差点を起点とした滞留長(南進)



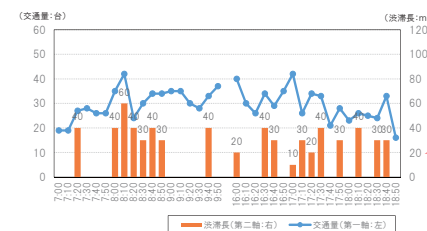
3. 個別交差点の渋滞発生要因 ⑦ 榎原郵便局前交差点

- 市道畷傍駅前通り線の東行き流入部(図中A)では、流入部60m付近に踏切があるため、踏切遮断により滞留が長くなり、捌け残りが発生した。また、対向直進車が多く右折レーンがないため、右折車および後続車の進行が阻害されるケースも見られた(朝ピーク時・タピーク時)。
- 国道165号の西行き流入部(図中B)では、西側の流出先の踏切遮断に起因する先詰まりの影響で捌け残りが発生した(朝ピーク時・タピーク時)。

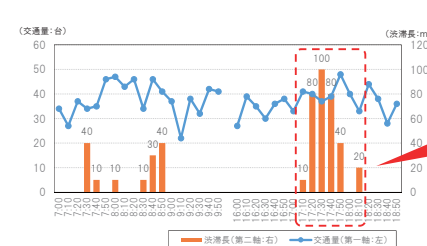
■ 榎原郵便局前交差点の渋滞発生状況



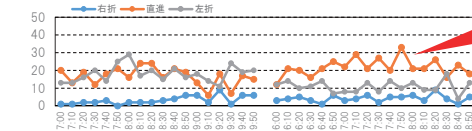
○ 市道畷傍駅前通り線(A流入部)の交通量および渋滞長



○ 国道165号(B流入部)の交通量と渋滞長



○ 国道165号(B流入部)の方向別交通量



○ 近鉄榎原線の運行本数(朝・タピーク時) [単位:本/時]

方向	7時	8時	9時	16時	17時	18時
大和八木駅→榎原神宮駅	9	8	7	7	7	7
榎原神宮駅→大和八木駅	9	7	6	7	6	8
合計	18	15	13	14	13	15

1時間あたり13~18本運行(計算上、3~5分に1本運行する頻度)

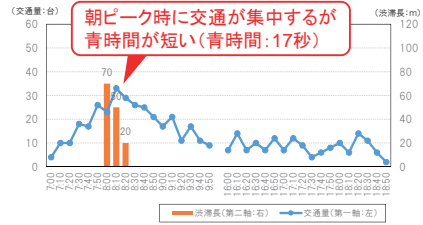
3. 個別交差点の渋滞発生要因 ⑧兵部町交差点

- 市道兵部町・今井町線の東行き流入部(図中A)では、朝ピーク時の通勤車両が一時的に増加し滞留が発生するが、青時間が短いので捌け残り、渋滞が発生している。また、交差点直近のアパートの駐車場からの出入車両による影響も見られた。
- 国道169号の西行き流入部(図中B)では、右折交通が主であるが右折レーンがなく、また、対向直進車の影響により交通が阻害されるため、滞留が発生し、渋滞が発生している。また、流入部の手前約30m付近の交差部において、車両の出入りと歩行者の乱横断が頻繁に起こり、スムーズな進行を妨げていることも要因となっている。

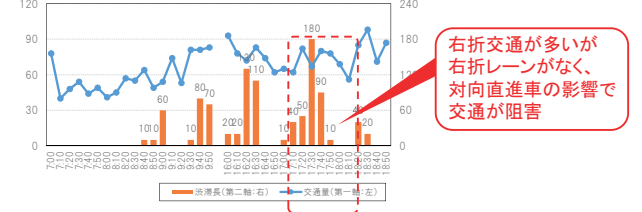
■兵部町交差点の渋滞発生状況



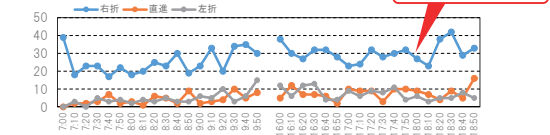
○市道兵部町・今井町線(A流入部)の交通量および渋滞長



○国道169号(B流入部)の交通量と渋滞長



○国道169号(B流入部)の方向別交通量



○兵部町交差点の信号現示(17時台)

[単位:秒]

現示	1φ	2φ	3φ	4φ	
表示時間	G:102 Y:3 AR:3	G:17 Y:3 AR:0	G:14 Y:3 AR:2	G:4 Y:4 AR:5	C=160
有効青時間	103	17	15	5	G=140
損失時間	5	3	4	8	L=20
歩行者青時間	90	15	0	0	

4. 現況における自動車交通の処理状況 交差点需要率の算出

- 現況における自動車交通の処理状況を検証するために、平成28年6月8日(水)に実施した交通量調査結果を用いて、対象8交差点の需要率※を算出した。
- なお、需要率の計算にあたり対象とする時間帯は、8交差点のうち、4交差点で17:00~18:00の交通量が最も多かったことから、17:00~18:00とした。

○各交差点における1時間あたりの流入交通量

交差点名	ピーク1時間	ピーク時交通量(台/時)	交差点需要率
①新賀南交差点	17:10 - 18:10	1,735	0.456
②近鉄八木駅北広場交差点	17:10 - 18:10	1,899	0.487
③柳町交差点	17:00 - 18:00	1,796	0.461
④近鉄八木駅南交差点(仮称)	17:00 - 18:00	683	0.143
⑤橿原市役所東交差点	17:00 - 18:00	1,468	0.509
⑥橿原市役所西交差点	17:00 - 18:00	1,444	0.448
⑦橿原郵便局前交差点	17:20 - 18:20	1,879	0.550
⑧兵部町交差点	7:40 - 8:40	1,754	0.555

平成28年6月8日(水)の交通量調査結果による。

※需要率:交差点の幾何構造、信号現示、流入交通量等より算出。数値が大きいと渋滞の原因になりやすく、一般的に0.9を上回ると交通処理ができないとされている。

交差点需要率の算出結果

- 平成28年6月8日(水)に観測した現況交通量を用いて、対象8交差点の需要率を算出した。
- なお、今回の算出結果では、交差点需要率が0.9を超える交差点は存在せず、交通処理上、“問題ない”との結果を得た。

5. 将来交通量の推定

(1) 予測ケースの設定

複合施設の開設時(将来時点)における自動車交通の処理状況を検証するための基本条件として、下記の2ケース(2時点)を設定した。

1) 複合施設の開設時(平成30年予定)【ケース1】

- 複合施設等の開設に伴う大和八木駅前周辺の交通需要の増加や交通流動の変化により、国道24号をはじめとする周辺道路の混雑が悪化(新たな混雑が発生)すると仮定。

2) 京奈和自動車道の全線開通時(平成30年代半ば:平成37年)【ケース2】

- 京奈和自動車道の開通により、大和八木駅周辺(国道24号等)を通過する交通量が減少し、混雑が緩和・解消すると仮定。
- 本ケースの予測年次については、近畿地方整備局が平成25年度に実施した大和御所道路の事業再評価における費用便益分析の設定(便益発現年)に基づき平成37年とした。

■ 予測ケース

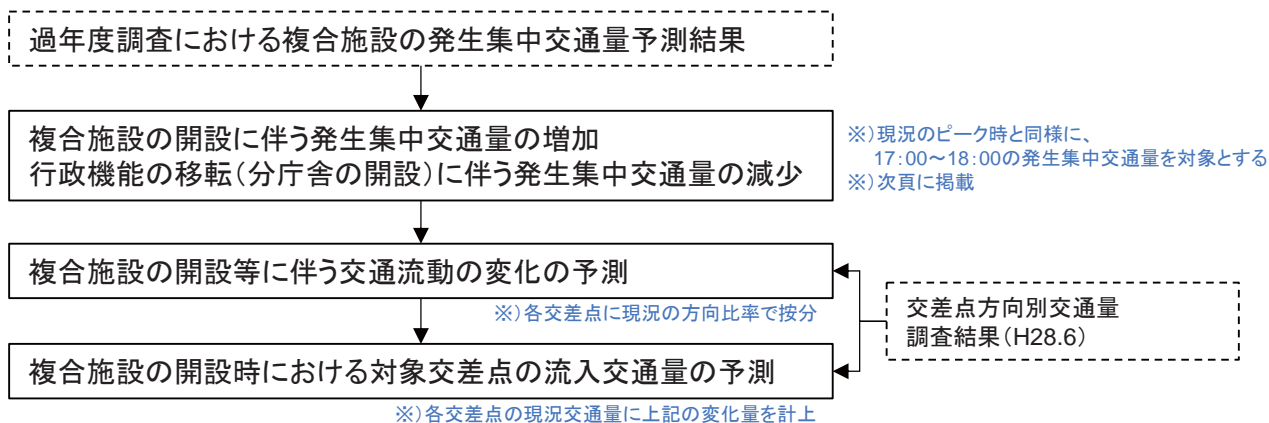
ケース設定	京奈和自動車道 未整備時(～H36)	京奈和自動車道 整備時(H37)
複合施設 未整備時 (～H29)	ケース0 (H28現況)	—
複合施設 整備時 (H30)	ケース1 (H30)	ケース2 (H37)

5. 将来交通量の推定

(2) 複合施設の開設に伴う交通需要の変化の予測

将来交通量の予測ケース1として、複合施設の開設が予定されている平成30年時点における交通需要の変化を下記のフローに基づき予測した。

■ 複合施設の開設に伴う交通需要の変化の予測フロー(予測年次:H30)



5. 将来交通量の推定

■複合施設の開設に伴う発生集中交通量の増加、分庁舎の開設に伴う発生集中交通量の減少

- 複合施設の開設に伴う発生集中交通量の増加分 ⇒ +126台/時（発生量:+72台/時、集中量:+54台/時）
- 分庁舎の開設に伴う本庁舎の発生集中交通量の減少分 ⇒ -24台/時（発生量:-12台/時、集中量:-12台/時）

○複合施設の開設に伴う発生集中交通量の増加

<発生交通量>

時間帯	来庁者	ホテル	飲食物販	コンベンション	観光施設	合計
7時台		27				27
8時台	33	27				60
9時台	66	27			8	101
10時台	66				8	74
11時台	66		7		8	81
12時台	47		7	45	8	107
13時台	47		7		8	62
14時台	47				8	55
15時台	47				8	55
16時台	47				8	55
17時台	12		7	45	8	72
18時台			7			7
19時台			7			7
20時台						0

<集中交通量>

時間帯	来庁者	ホテル	飲食物販	コンベンション	観光施設	合計
7時台						0
8時台	33					33
9時台	66			45	8	119
10時台	66				8	74
11時台	66		7		8	81
12時台	47		7	45	8	107
13時台	47		7		8	62
14時台	47				8	55
15時台	47				8	55
16時台	47				8	55
17時台	12	27	7		8	54
18時台		27	7			34
19時台		27	7			34
20時台						0

○分庁舎の開設に伴う本庁舎の発生集中交通量の減少

<発生交通量>

時間帯	来庁者	ホテル	飲食物販	コンベンション	観光施設	合計
7時台						0
8時台	-33					-33
9時台	-66					-66
10時台	-66					-66
11時台	-66					-66
12時台	-47					-47
13時台	-47					-47
14時台	-47					-47
15時台	-47					-47
16時台	-47					-47
17時台	-12					-12
18時台						0
19時台						0
20時台						0

<集中交通量>

時間帯	来庁者	ホテル	飲食物販	コンベンション	観光施設	合計
7時台						0
8時台	-33					-33
9時台	-66					-66
10時台	-66					-66
11時台	-66					-66
12時台	-47					-47
13時台	-47					-47
14時台	-47					-47
15時台	-47					-47
16時台	-47					-47
17時台	-12					-12
18時台						0
19時台						0
20時台						0

※「八木駅北側地区まちづくり事業化検討調査業務、平成27年7月、株式会社 市浦ハウジング & プランニング (p.117-124)」を基に作成

5. 将来交通量の推定

(3)京奈和自動車道の開通に伴う交通需要の変化の予測

将来交通量の予測ケース2として、京奈和自動車道(大和御所道路)が開通した時の交通需要の変化を予測した。なお、本ケースの予測年次は平成37年とした。

■京奈和自動車道の整備状況 および今後の開通予定

路線名	区間	供用年		道路交通センサス時点での整備状況			
		専用部	一般部	H17	H22	H27	
大和御所道路	郡山下ツ道JCT(郡山IC) ~ 郡山南IC	H27.3	H18.4,8	一般部のみ	一般部のみ	専用部一般部	
	郡山南IC ~ 三宅IC	H18.4			専用部のみ	専用部のみ	
	三宅IC ~ 田原本町IC(仮称)	H18.4	H27.3		専用部のみ	専用部一般部	
	田原本町IC(仮称) ~ 権原北IC	H18.4	S58,S59,H1	一般部のみ	専用部一般部	専用部一般部	
	権原北IC ~ 権原高田IC		S58,S59,H1,H16	一般部のみ	一般部のみ	一般部のみ	
	権原高田IC ~ 御所IC	H24.3				専用部のみ	
	御所IC ~ 御所南IC	H27.3				専用部のみ	
	御所南IC ~ 五條北IC	H28年度供用予定	-				
	五條道路	五條北IC ~ 五條IC	H18.4	-		専用部	専用部
		五條IC ~ 五條西IC	H18.6	-		専用部	専用部
五條西IC ~ 橋本東IC		H18.6	-		専用部	専用部	

■奈良国道事務所による交通量配分結果 (国道24号新賀町付近:H42将来/H17現況)

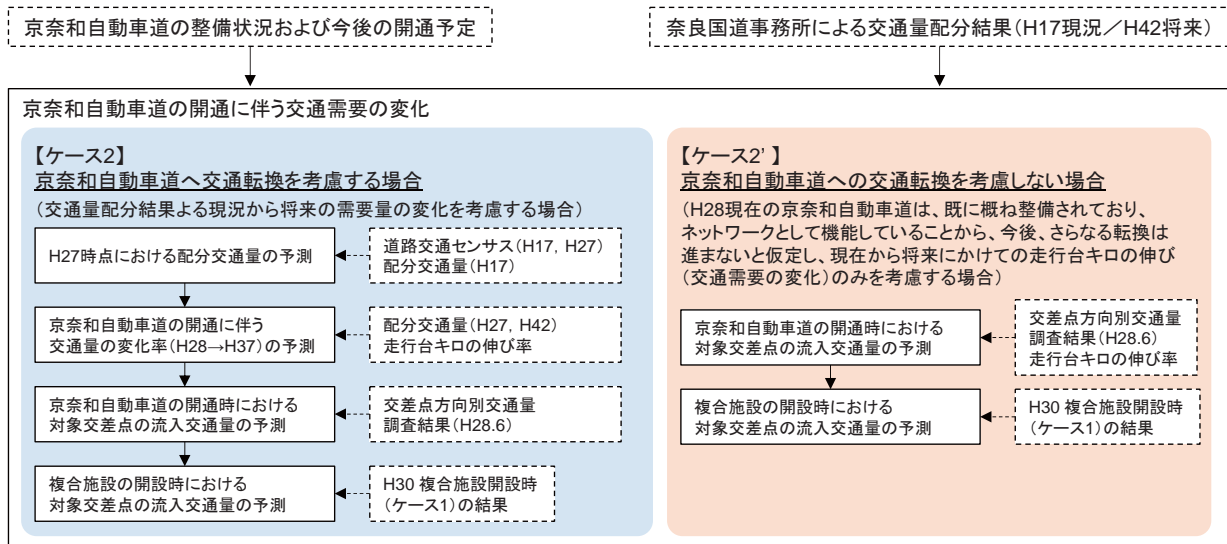
配分交通量 [台/日]		変化率 (H42/H17)
H17現況	H42将来	
17,197 (24,924)	5,714	0.33

5. 将来交通量の推定

(3)京奈和自動車道の開通に伴う交通需要の変化の予測

京奈和自動車道の開通が予定されている平成37年時点における交通需要の変化を下記のフローに基づき予測した。

■京奈和自動車道の開通に伴う交通需要の変化の予測フロー（予測年次：H37）



15

6. 今後の検討方針の確認

◆附帯決議の対象となっている交差点(柳町、近鉄大和八木駅南)の扱いについて

八木駅南市有地活用事業の実施にあたっては、南北の幹線道路である国道24号を中心に、混雑しており、複合施設の整備等に伴う集客増により混雑の悪化が懸念されている。

しかしながら、今回実施した交通量調査結果をベースとしたH28現況および複合施設の開設時(将来時点)において、自動車の交通処理上、大きな問題はないとの結論を得ている。

○ 議会での指摘に対する対応

- 議会での指摘(現況で既に渋滞が発生しているという感覚)と今回実施した交通量調査結果(渋滞長)や交差点解析の結果とのギャップをどのように処理すべきか。
- ➔ 国道24号に接続する柳町交差点については9月に再度調査を実施予定(別日のデータで再検証)。
- ➔ 特に交通が集中する微小な時間帯(10分単位)での需要率計算
- ➔ 需要率(踏切や先詰まり、隣接する交差点の影響を適切に評価できない)以外の指標による評価
 - 案1)隣接する交差点間の距離と滞留長を踏まえ、実際の処理上の問題の有無を整理
 - 案2)旅行速度による評価(国土交通省より民間プローブ、ETC2.0プローブデータを提供していただく)

等

16

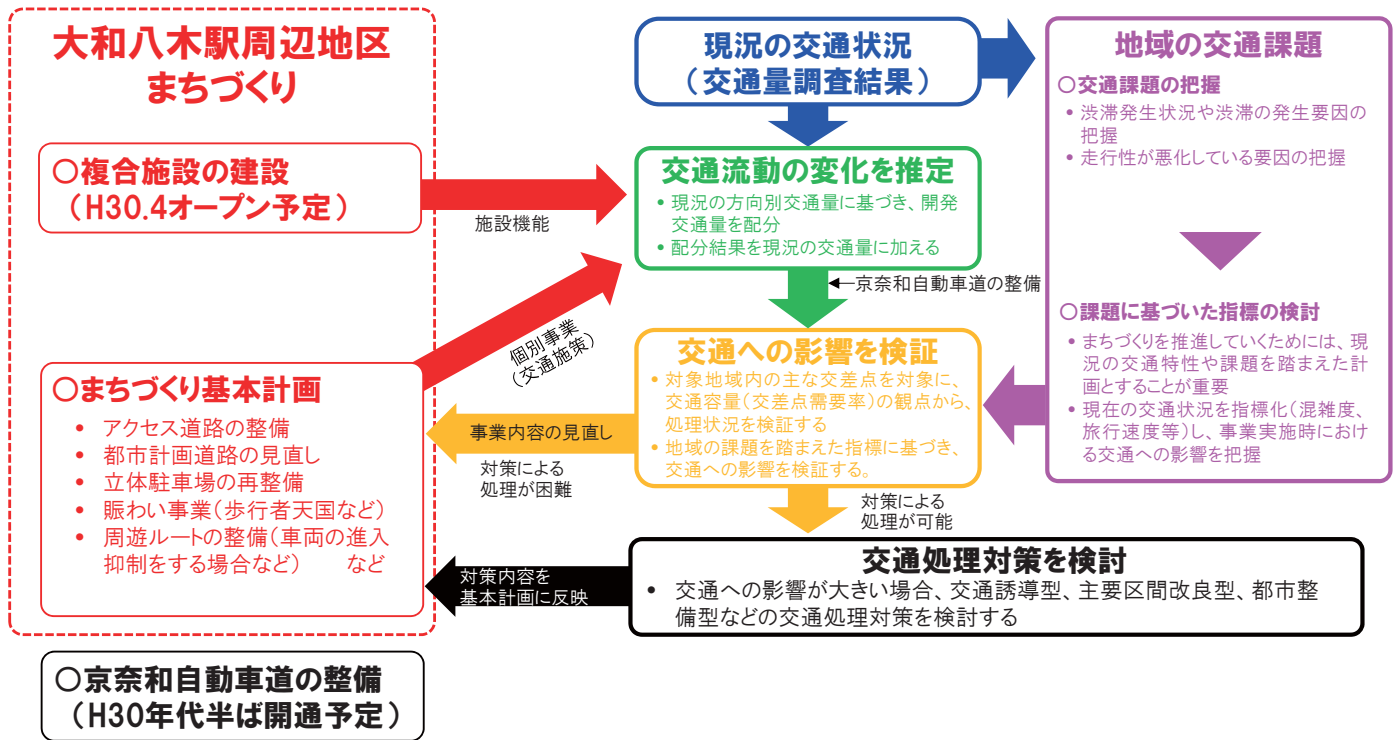
第2回調査(平成28年9月実施)

- ①追加調査結果
- ②交通処理検討

①追加調査結果

■ 検討の進め方

○ 検討フロー

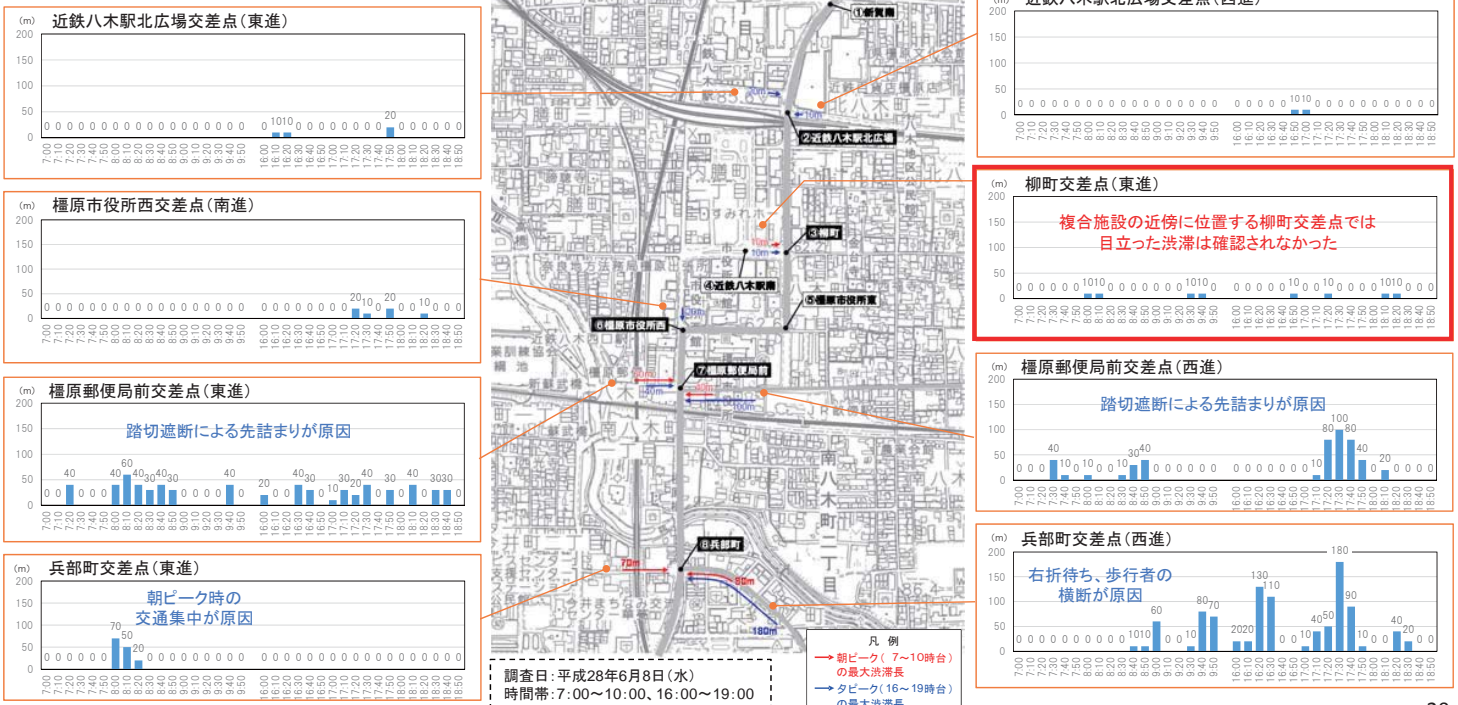


1. 追加調査の実施について

①追加調査結果

- 複合施設(H30年オープン予定)の建設が進められている八木駅周辺(南側)では、交通課題に対する附帯決議や、現況で既に混雑しているとの意見が出されているが、平成28年6月8日(水)に実施した交通量調査結果では、目立った渋滞は確認されなかった。
- そこで、柳町交差点を対象に追加調査を実施し、渋滞状況について再度確認することとした。

■渋滞長の観測結果(H28.6.8(水))



2. 追加調査の概要

①追加調査結果

- 柳町交差点を対象に、朝夕ピーク時における交通量および渋滞長調査を実施した。
- また、交差点部のみならず、地区内の主要な道路の走行性を把握するために、新たに国道24号及び周辺道路を対象としたプローブ調査を実施した。

■追加交通量調査実施概要

項目	内容
調査日	平成28年9月23日(金)
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 交差点自動車類交通量調査 ● 横断歩行者類通行量調査 ● 渋滞長調査 ⇒交通容量の観点での評価
調査時間帯	7～10時:朝ピーク3時間、 16時～19時:夕ピーク3時間
調査地点	柳町交差点(附帯決議の交差点)

■プローブ調査実施概要

項目	内容
調査日	平成28年8月31日(水)、9月2日(金)
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● プローブ機器(GPSにより位置情報を取得可)を搭載した車両を用いて対象ルートを走行 ● 取得した位置情報から走行速度や停車状況等を把握することが可能 ⇒走行性の観点での評価
調査時間帯	7～19時
走行ルート	・国道24号ルート(上下)※ ※)国道24号ルートについては、役場前を通るものと、近鉄八木駅南を通るもの2種類

■プローブ調査の調査ルート



3. 交通量調査結果(柳町交差点)

①追加調査結果

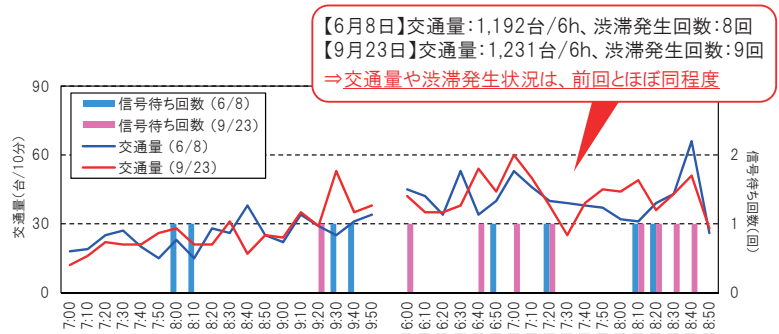
- 柳町交差点の東進方向の交通量および渋滞発生回数は、前回調査結果と同程度であった。
- また、当該方向における渋滞発生要因の一つである横断歩行者数については、多くの時間帯で前回調査時の方が多かったが、時間帯別の推移パターンなど、傾向は概ね同じであった。

■柳町交差点の渋滞発生状況

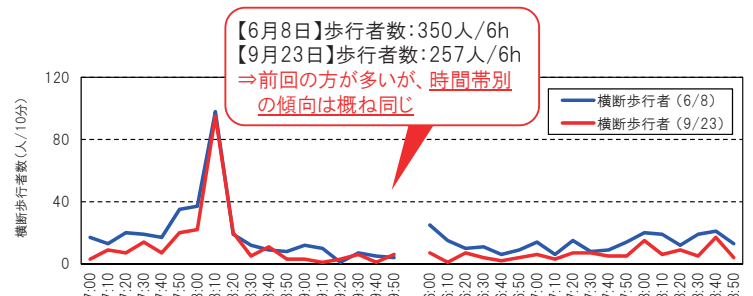
○最大渋滞長(前回調査結果、今回調査結果)



○東進方向の交通量および渋滞発生回数(前回調査結果、今回調査結果)



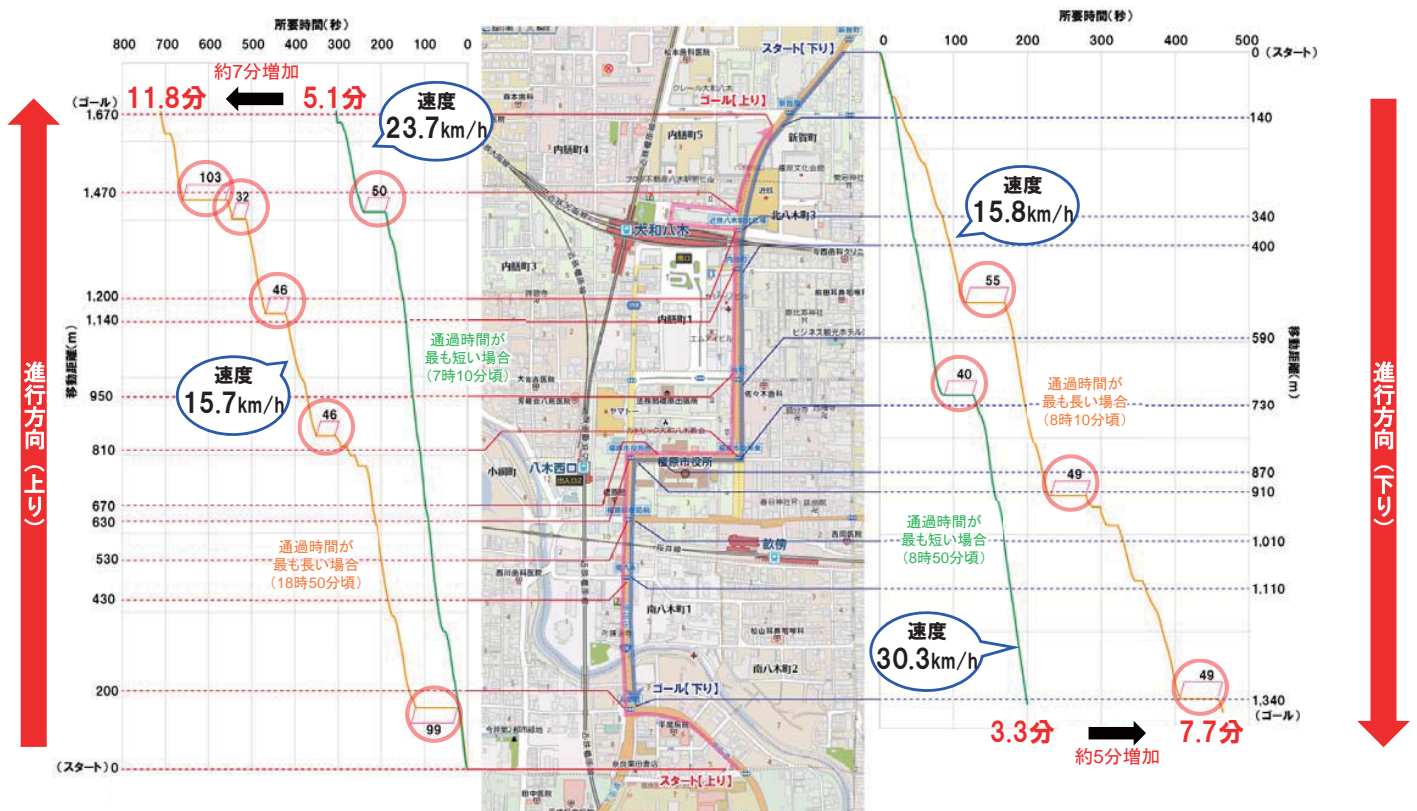
○【北側横断歩道】の横断歩行者数(前回調査結果、今回調査結果)



4. プロブ調査結果(国道24号の走行性)

①追加調査結果

- 上り方向では、混雑時において所要時間が約7分増加(5分⇒12分)、信号待ち回数は4回増加(1回⇒5回)する。
- 下り方向では、混雑時において所要時間が約5分増加(3分⇒8分)、信号待ち回数は2回増加(1回⇒3回)する。



23

5. 大和八木駅周辺地区における自動車交通の課題

①追加調査結果

- 対象地域では、主に国道24号に接続する道路(従道路)において、渋滞が発生している。
- 八木駅周辺で発生している渋滞の要因としては、当該地域の主要幹線道路である国道24号に多くの青時間が割り振られるため、相対的に従道路側の青時間が短いこと、また、流出先である国道24号の先詰まりや、歩行者の横断による通行阻害などが挙げられる。
- 国道24号では、個別の交差点では際立った渋滞は見られないものの、区間(新賀南～兵部町)に着目すると、交通量が多い上に交差点密度が高いことから、交差点での停止回数も多く、また単路部での走行速度も低くなっており、走行性が低い状況にある。

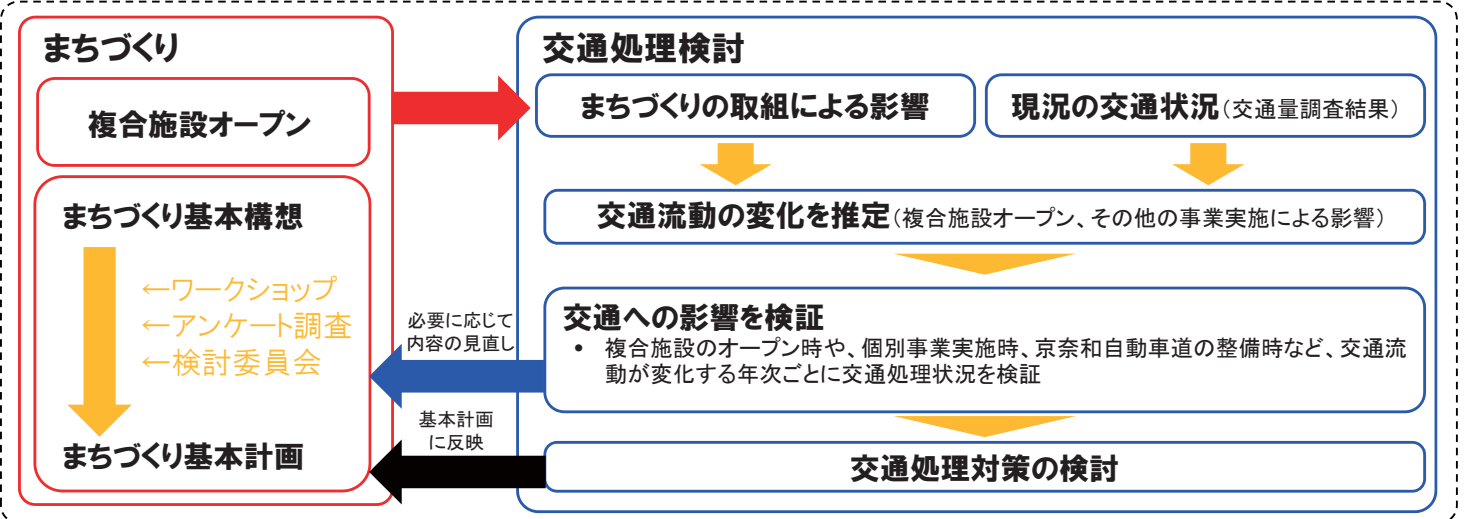
24

②交通処理検討について

1. 交通処理検討の進め方

②交通処理検討について

- 交通処理検討では、現況の交通状況をベースに、複合施設のオープンや、まちづくり基本計画における個別事業の内容を踏まえて交通流動の変化を推定し、周辺道路における交通への影響を検証する。
- 上記の検証の結果、個別事業実施時に交通処理が出来ないと判断される場合は、対策を検討するとともに、対策自体が実施困難な場合は、事業内容の見直しを行う。
- まちづくりと交通処理の検討を同時に進め、まちづくり基本構想の実現を目指す。



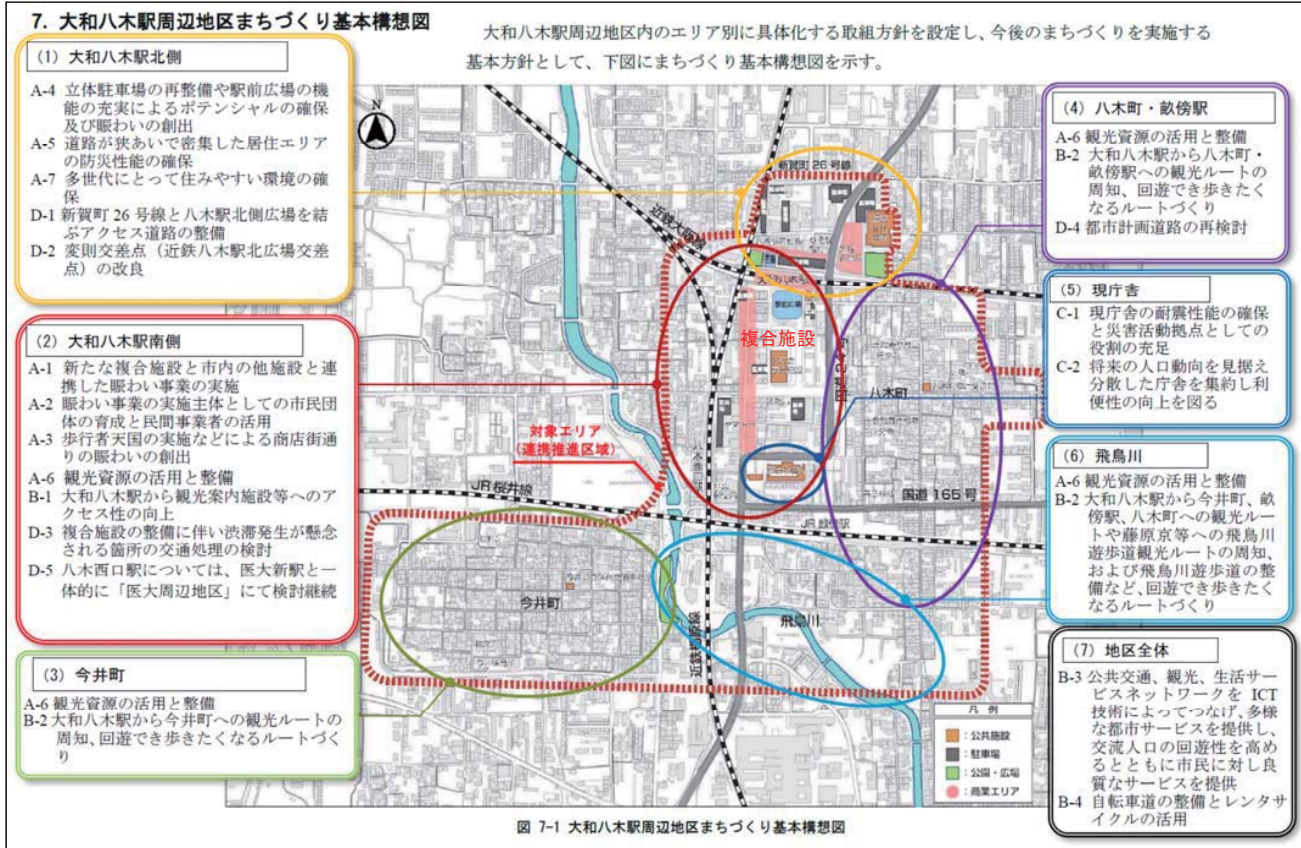
まちづくり基本構想・基本計画の実現に寄与

- 日本国はじまりの地「榎原」にふさわしい広域観光の玄関口の形成
- 中中和地域の拠点都市にふさわしい都市機能を備えた中心市街地の形成
- 近代的な都市機能と、伝統的な歴史的景観との共存および融合

2. まちづくりの取組が交通に与える影響

②交通処理検討について

- 複合施設の建設や、まちづくり基本構想の実現に向けた取組(個別事業等)が交通に与える影響を把握する。



27

2. まちづくりの取組が交通に与える影響

②交通処理検討について

- 前掲の基本構想における取組方針を踏まえ、基本計画に盛り込む個別事業(交通施策)について、今後検討を進めていくが、本検討では、これらの個別事業による交通流動の変化を推定した上で、周辺道路における自動車交通処理(可否、必要となる対策等)について検討を行う。

■基本計画における個別事業(素案)と想定される交通への影響 ※具体的な内容は今後検討

エリア	交通流動に影響を及ぼすと考えられる個別事業(素案)	自動車交通への影響
大和八木駅北側	立体駐車場の再整備	施設の配置、規模等の変更に伴う、交通流動の変化
	アクセス道路整備	駅への新たなルートの整備に伴う交通流動の変化
	交差点改良(近鉄八木駅北広場交差点)	八木駅北側駅前広場の整備に伴う交通流動の変化
大和八木駅南側	賑わい事業の実施	歩行者等の安全性確保のための、車両進入抑制等による交通流動の変化
	商店街での賑わい事業(歩行者天国など)	〃
	観光ルートの整備(観光振興)	〃
今井町	複合施設オープンによる交通処理	施設整備による新規需要の発生に伴う交通流動の変化
	観光ルートの整備(回遊性向上)	歩行者等の安全性確保のための、車両進入抑制等による交通流動の変化
八木町・畝傍駅	観光ルートの整備(回遊性向上)	〃
	都市計画道路の見直し	地域間を連絡する新たなルートの整備に伴う交通流動の変化
現庁舎	—	—
飛鳥川	観光ルートの整備(回遊性向上)	歩行者等の安全性確保のための、車両進入抑制等による交通流動の変化
地区全体	ICTを活用したサービスの提供	〃
	自転車道整備	自転車の安全性確保のための、車両進入抑制等による交通流動の変化

赤文字:自動車交通に直接影響する内容 青文字:歩行者や自転車など、人の移動に関連する取組※を通じて、間接的(または直接的)に自動車交通に影響することが想定される内容

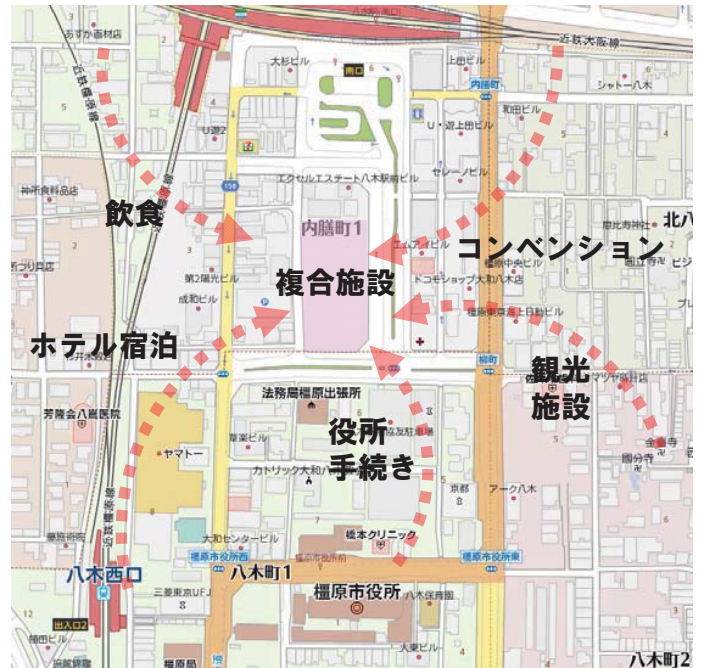
※賑わい事業やルート整備等に関連する内容については、「案内サイン」の整備や「情報提供」だけでなく、例えばルートの安全性を確保するために、車両進入を抑制する施策(交通規制やハンパ等の整備)を実施する場合には、交通への影響が発生する。

28

3. 複合施設のオープンに伴う交通流動の変化

②交通処理検討について

- 複合施設のオープンに伴う交通流動の変化を予測した。
- 複合施設については、平成30年4月に近鉄八木駅南側に完成予定である。複合施設には、役所分庁舎、ホテル等が整備される。



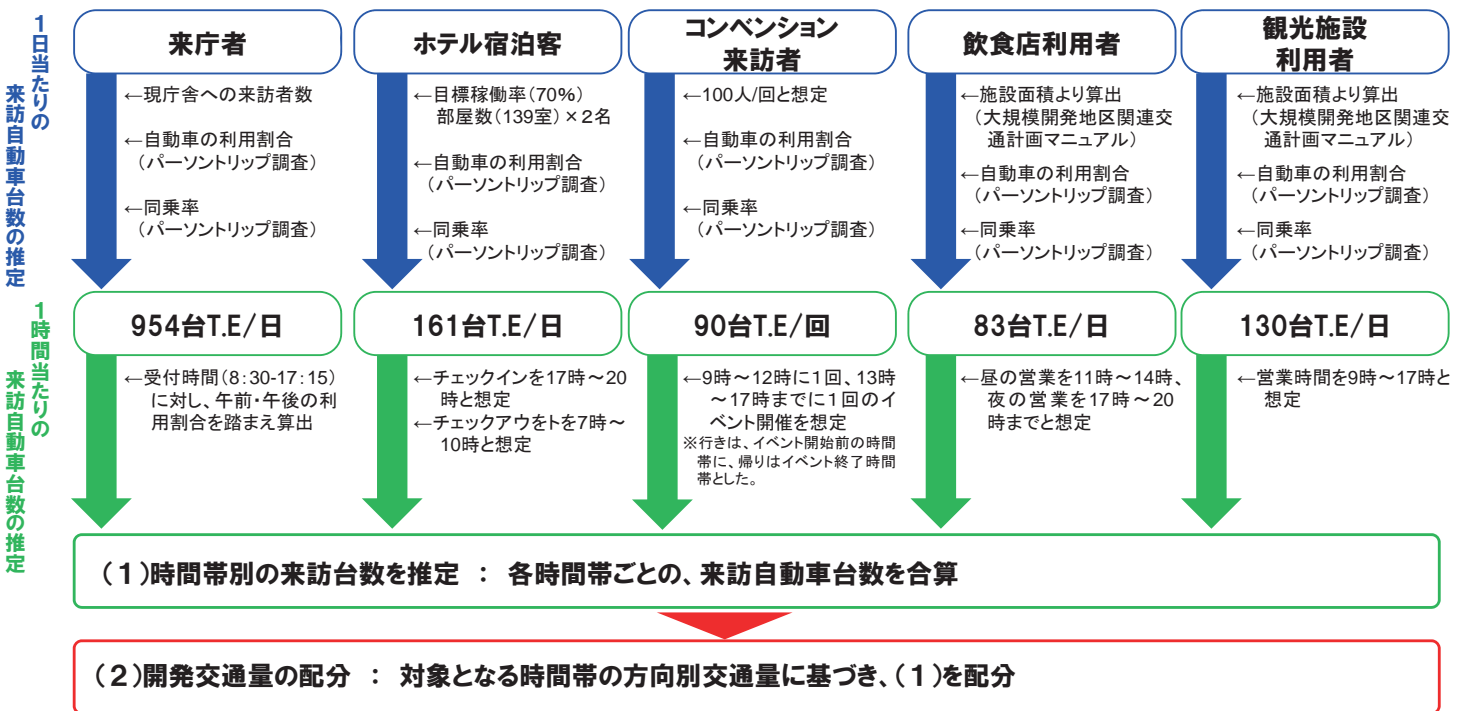
導入機能

- ・市役所分庁舎(窓口関係)
- ・ホテル
- ・飲食物販
- ・コンベンションホール
- ・観光施設(展望台)

3. 複合施設のオープンに伴う交通流動の変化

②交通処理検討について

- 複合施設に訪れる方(来庁者、ホテル宿泊客など)を対象に、1日あたりの自動車での来訪台数を算出した。
- 上記で算出した1日あたりの来訪台数を、時間帯ごとに按分し、1時間あたりの来訪台数を算出した。
- 1時間あたりの来訪台数を、現況の流動パターンで配分し、周辺道路における交通流動の変化を推定した。



※) T.E.:トリップエンドの略。1つの目的地に移動する場合、出発と到着で2トリップエンドとなる。

3. 複合施設のオープンに伴う交通流動の変化

②交通処理検討について

(1)時間帯別の来訪者数を推定

- 複合施設に導入される機能ごとに、発生集中交通量を時間帯ごとに推定した(推定方法は巻末資料参照)。
- 大和八木駅周辺地区の交通量が最も多い17時台に着目すると、1時間当たり126台(集中交通量:54台/時、発生交通量:72台/時)の交通が増加する。複合施設に分庁舎ができるため、現庁舎への来訪者は減少すると考えられ、現庁舎への交通が24台(集中交通量:12台/時、発生交通量:12台/時)減少する。

●複合施設の発生集中交通量

●橿原市役所の発生集中交通量の変化

時間	役所分庁舎	ホテル	飲食物販	コンベンション	観光施設	合計
7時						0
8時	33					33
9時	66			45	8	119
10時	66				8	74
11時	66		7		8	81
12時	47		7	45	8	107
13時	47		7		8	62
14時	47				8	55
15時	47				8	55
16時	47				8	55
17時	12	27	7		8	54
18時		27	7			34
19時		27	7			34
20時						0

時間	役所分庁舎	ホテル	飲食物販	コンベンション	観光施設	合計
7時						0
8時	-33					-33
9時	-66					-66
10時	-66					-66
11時	-66					-66
12時	-47					-47
13時	-47					-47
14時	-47					-47
15時	-47					-47
16時	-47					-47
17時	-12					-12
18時						0
19時						0
20時						0

時間	役所分庁舎	ホテル	飲食物販	コンベンション	観光施設	合計
7時		27				27
8時	33	27				60
9時	66	27			8	101
10時	66				8	74
11時	66		7		8	81
12時	47		7	45	8	107
13時	47		7		8	62
14時	47				8	55
15時	47				8	55
16時	47				8	55
17時	12		7	45	8	72
18時			7			7
19時			7			7
20時						0

時間	役所分庁舎	ホテル	飲食物販	コンベンション	観光施設	合計
7時						0
8時	-33					-33
9時	-66					-66
10時	-66					-66
11時	-66					-66
12時	-47					-47
13時	-47					-47
14時	-47					-47
15時	-47					-47
16時	-47					-47
17時	-12					-12
18時						0
19時						0
20時						0

3. 複合施設のオープンに伴う交通流動の変化

②交通処理検討について

(2)開発交通量の配分

- 複合施設オープンに関する集中交通量:54台/時、発生交通量:72台/時を、現況の交通流動に基づき配分した。

●複合施設への来訪者(集中)

●橿原市役所現庁舎への来訪者(集中)



●複合施設への来訪者(発生)

●橿原市役所現庁舎への来訪者(発生)



3. 複合施設のオープンに伴う交通流動の変化

②交通処理検討について

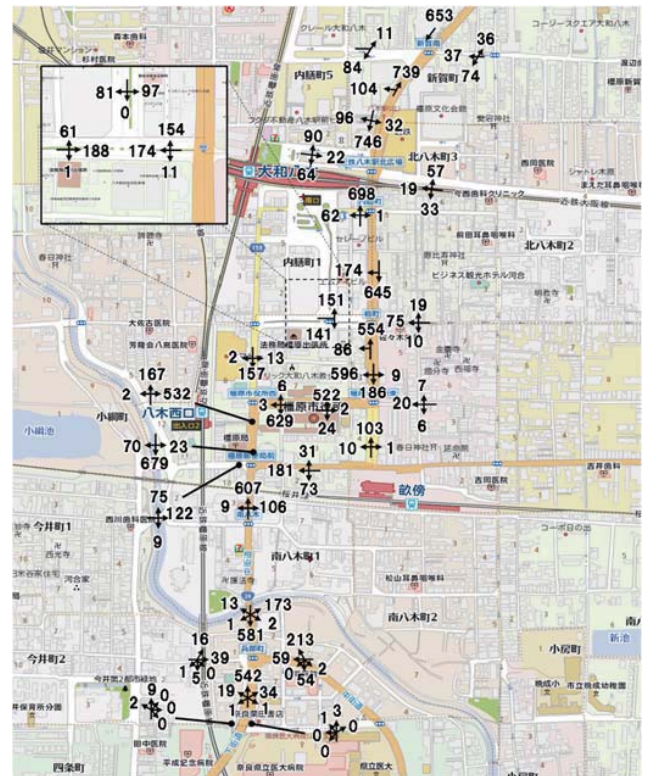
(2)開発交通量の配分

・現在の交通量に、複合施設オープンによる開発交通量を加え、複合施設オープン時の交通状況を推定した。

●開発交通量配分結果

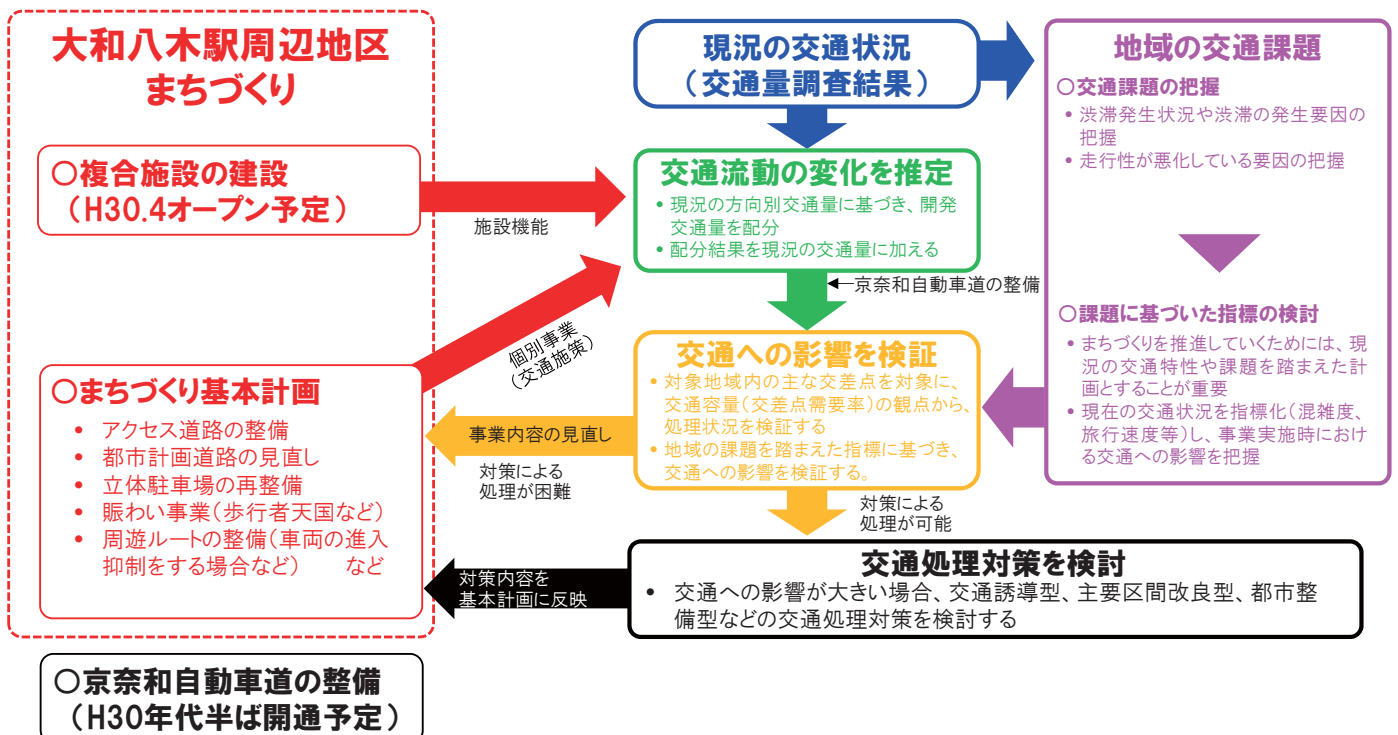


●複合施設オープン後の方向別交通量(推定結果)



4. 今後の交通処理検討の進め方

②交通処理検討について



(参考)複合施設オープンに伴う交通流動の変化①

②交通処理検討について

- 現在の施設利用状況や稼働率・収容人数及び、大規模開発地区関連交通計画マニュアルより発生集中交通量(出発・到着する人を合わせた数値)を算出した。
- また、自動車の利用状況や台数換算係数を基に、自動車台数を算出した。

●発生集中量の算出

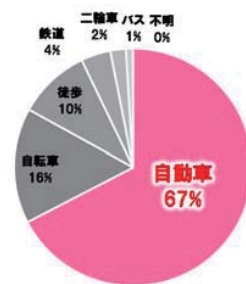
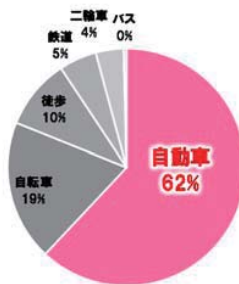
役所分庁舎:現在の利用状況から算出
 利用者数:1000人/日 → 2,000人・T.E*/日
 宿泊施設:目標稼働率(70%)から算出
 宿泊客数;139室×2名×70%=194.6人/日 → 389人・T.E*/日
 コンベンション:収容人数から算出
 収容人数:100人/回 → 200人・T.E*/回
 飲食物販:国土交通省マニュアルより算定
 観光施設:国土交通省マニュアルより算定
 ※T.E(トリップエンド)とは、発生集中交通量(出発・到着する人を合わせた数値)を示す。

●自動車での来訪について

発生集中交通量 × 自動車での来訪割合 × 台数換算

○事務所来訪時の移動手段

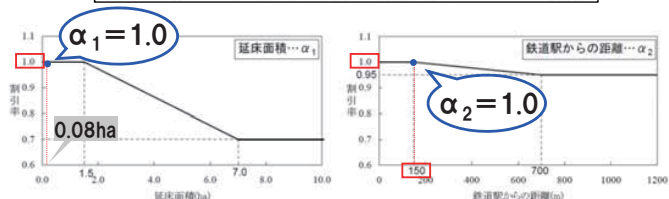
○商業施設来訪時の移動手段



出典)H22パーソントリップ調査

○商業施設の発生集中原単位

10,600 × α₁ × α₂ (単位:人T.E/ha・日)
 ただし、α₁:延床面積による割引率(図Ⅲ-7により算定)
 α₂:鉄道駅からの距離による割引率(図Ⅲ-8により算定)



飲食物販:10,600 × 1 × 1 = 10,600(人・T.E/ha・日)
 →面積(174㎡):10,600 × 0.0174(ha)=184人・T.E/日
 観光施設:10,600 × 1 × 1 = 10,600(人・T.E/ha・日)
 →面積(273㎡):10,600 × 0.0273(ha)=289人・T.E/日

出典)国土交通省『大規模開発地区関連交通計画マニュアル』H26.6

○利用者数から自動車発生集中交通量を算出場合の台数換算係数

自動車発生集中交通量(台T.E/日)は、用途毎の自動車利用の発生集中交通量(人T.E/日)を用途別の台換算係数で除して算出する。各用途別の台換算係数は以下のとおり設定する。

- 事務所……………1.3人/台
- 商業施設(平日)……………1.5人/台
- 住宅(平日)……………1.4人/台
- 商業施設(休日)、住宅(休日)、その他用途の施設……………類似する開発事例を参考にして設定する。

出典)国土交通省『大規模開発地区関連交通計画マニュアル』H26.6

(参考)複合施設オープンに伴う交通流動の変化②

②交通処理検討について

- 自動車の発生集中交通量を、利用時間帯に合わせ、1時間当たりの自動車発生・集中交通量を算出した。
- 榎原市役所の手続き等が複合施設に移転するため、現榎原市役所の利用者は複合施設を利用する事が見込まれるため、現榎原市役所利用者数は減少する。

●複合施設の発生集中交通量

利用者	算出根拠	発生集中交通量(人)※1	自動車換算※2	対象時間帯	1時間当たり自動車台数	備考
来庁者	現在の利用状況	2,000人T.E/日	954台T.E/日	8:30-17:15	午前:66台/時 午後:47台/時※3	同一時間帯に行き来を行うと想定
ホテル宿泊客	目標稼働率	389人T.E/日	161台T.E/日	出発 7:00-10:00 到着 17:00-20:00	出発:27台/時 到着:27台/時	
飲食物販店利用者	床面積※4	184人T.E/日	83台T.E/日	11:00-14:00 17:00-20:00	7台/時	同一時間帯に行き来を行うと想定
コンベンション利用者	100人を想定	200人T.E/回	90台T.E/回	到着 9:00、12:00 出発 12:00、17:00※5	到着:45台/時 出発:45台/時	
観光施設利用者	床面積	289人T.E/日	130台T.E/日	9:00-17:00	8台/時	同一時間帯に行き来を行うと想定

●現榎原市役所の発生集中交通量(機能の一部移転による現庁舎への来訪者数減)

利用者	算出根拠	発生集中交通量(人)※1	自動車換算※2	対象時間帯	1時間当たり自動車台数	備考
来庁者	現在の利用状況	-2,000人	-954台	8:30-17:15	午前:-66台/時 午後:-47台/時	同一時間帯に行き来を行うと想定

※1)発生集中交通量では、人の「行き・帰る」を対象とするため、1人の利用者につき2人となる。

※2)近畿圏パーソントリップ調査結果を踏まえ、自動車での来訪者数を算定し、国土交通省『大規模開発地区関連交通計画マニュアル』H26.6に基づき、同乗者数を決め、算出した。

※3)役所の利用状況は、午前:午後で、48:52(H27.3~4)との状況であったため、午前と午後で別々に算出した。

※4)国土交通省『大規模開発地区関連交通計画マニュアル』H26.6に基づき算出

※5)コンベンションについては、各イベントの開催時間帯が不明であるため、10:00-12:00、13:00-17:00までの2回のイベントが開催されたことを想定し算出した。なお、イベントが10時に開催される場合は9時台に来訪し、13時に開催される場合は12時台に来訪されると想定した。なお、イベント終了時には終了時間帯に帰宅することを想定した。

参考資料② 大和八木駅周辺地区まちづくりワークショップ実施結果

【開催日時・内容】

第1回ワークショップ

平成28年7月2日（土曜日）午前9時から午後5時

午前：八木駅周辺地区をまちあるきし、現状を確認する。

午後：地区の課題を知り、まちづくりの方向性を考える。

第2回ワークショップ

平成28年11月26日（土曜日）午後1時から午後5時

まちづくりの取組み方針を考える。

第3回ワークショップ

平成29年2月18日（土曜日）午後1時から午後5時

まちづくりの取組みの具体策を考える。

【場所】

大和信用金庫八木支店ビル 3F 第1会議室（橿原市八木町1-6-23）

檜原市
第1回大和八木駅周辺地区まちづくりワークショップ
実施結果

実施日時：平成28年7月2日（土）午前9時～午後5時

場 所：大和信用金庫八木支店ビル3F第1会議室

檜原市
平成28年11月

— 目 次 —

1. ワークショップの概要.....	1
2. 第1回ワークショップの出席者とグループ分け.....	1
2.1. 参加人数.....	1
2.2. グループ分け.....	1
3. 第1回ワークショップの様子.....	2
4. 第1回ワークショップの意見.....	3
4.1. エリア別の魅力.....	3
4.2. エリア別の課題.....	5
4.3. エリア別の取組方針.....	13

1. ワークショップの概要

大和八木駅周辺地区のまちづくりでは、地域との協働のまちづくりに向けた取り組みのひとつとして、住民参加ワークショップを開催します。ワークショップでは、「大和八木駅周辺地区まちづくりに対する地域住民の関心及び理解を得ること」、及び「地域住民同士、意見交換を行い、出てきた意見を大和八木駅周辺地区まちづくり基本構想及び基本計画に反映すること」を主な目的とします。

また、ワークショップに参加するメンバーは一般公募とし、市のホームページ、広報誌等で広く市民に周知します。幅広い視点から、住民等が主体性をもち活発に意見交換を行える状況を整え、実施するものです。

表 1-1 ワークショップの概要

開催回数	全3回開催します。
実施時期	・第1回：平成28年7月2日(土)午前9時～午後5時 ・第2回：平成28年11月26日(土)午後1時～午後4時 ・第3回：平成29年2月18日(土)午後1時～午後4時
参加者	・平成28年7月2日現在で18歳以上の市内在住・在勤・在学の方とします。ただし、市職員、市議会議員は除きます。
進め方	・グループ協議の進行はファシリテーターが担当し、すべての参加者が平等に発言する機会を確保することにつとめ、相反する意見がグループ内であった場合にも、どちらも尊重し、参加者が自由に意見を述べる機会を確保します。
実施内容	第1回 <ul style="list-style-type: none"> ・開催趣旨、ワークショップ実施概要について説明を行います。 ・現地のまちあるきで大和八木駅周辺地区の現状を確認します。 ・グループ毎に地区の課題、大和八木駅周辺地区のまちづくりの取組方針について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
	第2回 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎で基本計画（素案）について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
	第3回 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎で基本計画（案）について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
協議グループ構成	・1グループ、6～7人で構成します。
傍聴について	・すべての市民の方が聴衆として参加することができます。

2. 第1回ワークショップの出席者とグループ分け

2.1. 参加人数

市のホームページに平成28年5月27日より公募を行い、6月の広報誌にお知らせを掲載したところ、一般公募は9名でした。地域団体と学校関係者に別途声掛けを行い、参加者を募りました。参加者と当日の出席者の内訳は次のとおりでした。

表 2-1 参加者内訳

区分	参加者	当日の出席者
一般公募	9名	9名
地域団体	9名	8名
学校関係者	7名	6名
計	25名	23名

2.2. グループ分け

参加者人数から次のとおりグループ分けを行い、全4グループとしました。

表 2-2 グループ構成

グループ	区分	参加者	当日の出席者
グループA	一般公募	3名	3名
	地域団体	2名	2名
	学校関係者	2名	1名
			計6名
グループB	一般公募	2名	2名
	地域団体	3名	3名
	学校関係者	1名	1名
			計6名
グループC	一般公募	2名	2名
	地域団体	2名	1名
	学校関係者	2名	2名
			計5名
グループD	一般公募	2名	2名
	地域団体	2名	2名
	学校関係者	2名	2名
			計6名

3. 第1回ワークショップの様子

< (午前) まちあるきの様子 >

大和八木駅周辺地区の現状を確認してもらうために、地区内のまちあるきを行いました。

①大和八木駅北側駅前広場



②八木札の社交流館



< (午後) ワークショップまとめの状況 >

グループ毎に分かれ、午前中まちあるきして感じたことを全体、八木駅北側、八木駅南側、今井町、八木町、現庁舎、飛鳥川、畝傍駅のエリアに分けて、課題を抽出し、その課題に対しての取組方針について意見交換を行い、協議結果の発表を行いました。

③会場全体の様子



④グループ協議で出された参加者の意見（赤付箋は魅力、青付箋は課題）



4. 第1回ワークショップの意見（P.2写真④のように、実際に付箋に記入された参加者の意見を整理しています。）

4.1. エリア別の魅力（赤付箋を転記）

第1回ワークショップのグループ協議で出された参加者の意見（エリア別の魅力）を次表に示します。

No.	エリア	グループ	参加者の意見
1	全体	C	大和八木駅は、特急電車や、関西国際空港行きのリムジンバスが発着しているなど交通の便が良い。
2	全体	D	中南和の中心都市であることを見据えた展望が期待できる!!
3	全体	D	歴史などのたくさん魅力がある。
4	八木駅北側	B	文化会館前の芝広場が良い。
5	八木駅北側	B	唯一の公園っぽさがある。
6	八木駅北側	B	文化会館の催し物に便利。
7	八木駅北側	D	駅が近く、買い物にも便利のため、住みやすい地区である。
8	八木駅北側	D	今後地区の開発が進み、どのように発展していくのが楽しみである。
9	八木駅北側	D	未開発の地区のため、これからの開発が楽しみ。
10	八木駅南側	A	歩車共存のペーブ ^{※1} された道がよい。
11	八木駅南側	A	駅前広場がきれいに整備されている。
12	八木駅南側	A	駅南商店街道がきれいに整備されている。
13	八木駅南側	B	機能的である。
14	八木駅南側	D	駅南広場商店街通りよくなった。
15	八木駅南側	D	学生、受験生にとって、ホテルができるのは大歓迎である。
16	八木駅南側	D	個性的な居酒屋、カフェなど少しずつ増えてきて大学生としては魅力的である。
17	八木駅南側	D	整備が完了して南の玄関口としていい感じになった。
18	今井町	A	昔ながらの建物が魅力である。
19	今井町	A	全体的な町並みが魅力、住むにはよいと思う。

※1「ペーブ（メント）[pavement]」：道路の舗装。また、舗装した道路。

No.	エリア	グループ	参加者の意見
20	今井町	B	一番観光地っぽい。
21	今井町	B	広場で集客できそう。
22	今井町	B	伝統的町並み、美しい景観がある。
23	今井町	C	絵にしたい場所があった。
24	今井町	C	古民家の活用の一つで、アート作品の展示がなされていた。
25	今井町	C	町並みがとてもきれい。
26	今井町	C	電柱が無く、風景が損なわれていない。
27	今井町	D	今井町、八木町のまちづくり団体は各イベントを行っている。
28	今井町	D	今井の街並みは良くなっている。P.R ^{※2} の全国展開をしたほうがよい。
29	今井町	D	今井町の河川敷は道幅が広く、桜がきれいで休憩場所もあり通りやすい。
30	今井町	D	今井町の周辺がきれいになってきている。
31	八木町	A	歴史ある建物が良い。
32	八木町	B	観光スポットになりえる。
33	八木町	B	整備されている。
34	八木町	C	横大路、下ツ道が交差しており、最古の交差点がある。
35	八木町	C	幕末の儒者：谷三山（たにさんざん）の生家がある。
36	八木町	D	平田家（東）の2階の浮き彫りが面白い!!
37	現庁舎	C	交通の利便性が高く、アクセスしやすい場所に立地している。
38	飛鳥川	A	親水公園が魅力。
39	飛鳥川	A	蘇武橋北側、飛鳥川沿いの桜並木がきれい。
40	飛鳥川	B	河川に可能性がある。
41	飛鳥川	B	飛鳥川きれいだった。

※2「PR」：public relationsの略。①会社や官公庁などが事業内容や施策などを一般的に広く知らせること。②売り込み、宣伝。

No.	エリア	グループ	参加者の意見
42	飛鳥川	B	飛鳥川に水が張っているのがよかった。
43	飛鳥川	B	飛鳥川沿いの景観が整備されてよい。
44	飛鳥川	C	5月に鯉のぼりが設置されていた。
45	飛鳥川	D	河川公園自転車通りやすい。
46	畝傍駅	A	雰囲気が良い。
47	畝傍駅	B	歴史的に価値のある駅舎。
48	畝傍駅	C	駅舎が、年季が入っていて、よい雰囲気がある。
49	畝傍駅	C	皇室が使用する貴賓室がある。

4.2. エリア別の課題（育付箋を転記）

第1回ワークショップのグループ協議で出された参加者の意見（エリア別の課題）を次表に示します。キーワード別の意見の整理は、各意見に含まれるキーワード、及び各意見の趣旨を基に該当するキーワードに○をつけることで整理を行いました。

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード																		
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数			
1	全体	A	宿泊施設が少なく、使いにくい。情報も少ない。				○															2
2	全体	A	宿泊施設のチェックイン・アウトの時間が不便である。																			1
3	全体	A	八木で宿泊できる場所、民宿がけっこうあるのに泊まる人があまりいないのは運営時間の問題もあると思う。																			1
4	全体	A	八木のマスコットなど、名産がない。					○														1
5	全体	A	さららちゃんがかわい。																		○	1
6	全体	C	施設の紹介をしているQR※3などが設置されているが、あまり活用されていないように思う。PR※2が不足している。	○			○															2
7	全体	C	地域のパンフレット等がどこにしているのかわからない。	○			○															2
8	全体	C	大和八木駅周辺には、本屋や文房具屋が無い。																		○	2

※2「PR」：public relationsの略。①会社や官公庁などが事業内容や施策などを一般的に広く知らせること。②売り込み、宣伝。
 ※3「QR（コード）」：スマートフォン等で読み取り可能な2次元バーコードのこと。橿原市・高取町・明日香村の3市町村で構成される飛鳥広域行政事務組合の取組みとして、圏域内の主な観光スポットに観光案内のためのQRコード付き看板が設置されている。

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード																		
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数			
9	全体	C	大和八木駅は途中下車が出来ないため（追加料金が必要）、途中下車し買物ができない。また、駅のハブ化、観光客の受け入れ態勢や、中南和地域の玄関としての役割が果たせていない。	○																		1
10	全体	C	中和幹線道と大和高田バイパスを繋ぐ路線になっており、通過交通が多い。																			1
11	全体	D	本屋、文房具屋が少ない。							○											○	2
12	全体	D	まちの見所がどこなのかがあまりわからない。観光客には伝わらないのではない。	○			○															2
13	全体	D	観光客が良い風景だと思って写真を撮ったとしても、看板が写り込んでごちゃごちゃした感じになってしまう。	○																		1
14	全体	D	奈良県庁を橿原市に呼び込むなど、奈良県全体をみてこの地区ならではの良さを考えるべきだ。					○														1
15	全体	D	もっとまちの資源を活用すべきだ。					○														1
16	全体	D	奈良は近畿の中でも開発が遅れていると感じる。																		○	1
17	全体	D	駅周辺の活性化が必要である。																		○	1
18	全体	D	学生にとっては住みづらいのでは？																		○	1
19	全体	D	宅地を開発し、人口増加に繋げる。																		○	1
20	全体	D	街のデザイン・開発に一体感がない。八木町と今井町の連携も必要だと思う。					○														1
21	全体	D	徒歩や自転車で行ける圏内に、文房具屋や電気屋がないので不便だ。							○											○	2
22	全体	D	橿原市の観光について、宿泊なのか日帰りなのか目指す方向が見えない。	○																		2
23	全体	D	観光パンフレットなどのまちの案内が、小学生や外国人の方には難しいかなと思う。	○			○															2
24	全体	D	民間の看板が大きすぎる。まちの美観を損ね、観光案内の看板が目立たなくなる。	○			○															2
25	全体	D	観光案内の看板が分かりにくい。観光のモデルコースがない。レンタサイクルの料金が安い。	○			○	○														3
26	全体	D	観光マップが複数あり、観光スポットとして何を推したいのかわからない。またレンタサイクルなど観光客が利用できる移動手段が整備されていない。	○			○															2
27	全体	D	三重県、和歌山県からの旅行者を八木駅周辺で下車させることが必要である。	○																		1
28	全体	D	自転車道の整備が出来ていない。				○															1
29	全体	D	八木駅周辺は、自転車の重要性が高い。				○															1

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード															
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数
30	全体	D	駅前通りは居酒屋ばかりが増えてしまい、一般人は歩きにくくなった。									○							1
31	全体	D	交通量が多く、子供をつれて歩きにくいまちであると思う。								○						○		2
32	全体	D	子どもが歩くには交通量が多く、歩道の未整備等あふない箇所が多い。								○						○		2
33	全体	D	高齢になると車に乗れなくなり、八木駅までの移動が難しい。														○		1
34	八木駅北側	A	車路が狭く、立体駐車場が使いにくい。		○														1
35	八木駅北側	A	既に決定している駐車場を廃止・移転を早急に変更したほうがよい。		○														1
36	八木駅北側	A	アーケードは商店街が管理しており、補修費の確保が困難である。						○										1
37	八木駅北側	A	公園に水は不要と思う。											○					1
38	八木駅北側	B	駐車場の南北の移動が不便であり、バイクや車、歩行者の移動も危ない。		○						○						○		3
39	八木駅北側	B	駅前駐車場が少ない、とめやすい駐車場にする・出入りが難しい。		○														1
40	八木駅北側	B	現在の立体駐車場の年間売上は1億円以上、年間収益は6000万円以上あり、耐震建築物であることから、壊す必要はない。		○														1
41	八木駅北側	B	地下駐車場の費用100台くらい。		○														1
42	八木駅北側	B	現在の立体駐車場は、近鉄百貨店と榎原文化会館をつくる際の条件として建設され、現在も有効に使用されている。		○														1
43	八木駅北側	B	市営駐車場が景観を悪くしている。		○														1
44	八木駅北側	B	立体駐車場は壁のようであり、圧迫感がある。		○														1
45	八木駅北側	B	広場がきたない感じがであり、魅力的でない。											○					1
46	八木駅北側	B	文化会館前、トラックなど工事車両の駐車方法が雑である。												○				1
47	八木駅北側	B	八木駅から文化会館への動線が確保できていない。								○								1
48	八木駅北側	B	八木駅北は、立体駐車場を壊さず、フクダ不動産のビルと鉄道との間に、南北に道路を付けければ、渋滞は解消できる。		○									○					2
49	八木駅北側	C	八木駅北側立体駐車場は、景観を阻害しており、また、役目を終えたように思う。		○														1
50	八木駅北側	C	大和八木駅高架下の商店街が暗く、汚い箇所があり、学生が使えない。						○										1
51	八木駅北側	C	初めて訪れた際、案内看板がなかったため、どこに入口があるかわからなかった。		○		○												2

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード																
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数	
52	八木駅北側	C	新箕面交差点の西側の近鉄百貨店の駐車場から近鉄百貨店へのアクセスが悪い。															○	1	
53	八木駅北側	D	近鉄八木駅北広場交差点からタクシープールまでいつも混んでいる。広がって欲しい。											○	○				2	
54	八木駅北側	D	八木駅北側の再開発の将来像がわからない。															○	1	
55	八木駅北側	D	八木駅周辺は自転車利用者が多い。観光用のサイクリングロードのほか、市民のための自転車道が整備出来ていない。	○		○														2
56	八木駅北側	D	八木北側から真菅へかけての通学路に薄暗い地下道があり、こわい。								○						○		2	
57	八木駅北側	D	歩行者にとって、八木北側から真菅へのアクセスが悪い。								○								1	
58	八木駅北側	D	交通渋滞と近鉄百貨店・奈良県榎原文化会館との関係											○					1	
59	八木駅北側	D	八木北側は飛鳥川で分断されている。															○	1	
60	八木駅南側	A	ナビプラザに入りやすく、何があるかわかりにくい。ナビプラザまでの動線も良くない。					○											2	
61	八木駅南側	A	廃墟ビルの景観がよくない。	○														○	2	
62	八木駅南側	A	廃墟のようなビルの景観が良くない。	○														○	2	
63	八木駅南側	A	飲食店が多く飲食店以外のお店が少ない。						○										1	
64	八木駅南側	A	近鉄が保有している利用されずに閉鎖された空地がもったいない。															○	1	
65	八木駅南側	A	飲食店の情報案内が不足している。					○											1	
66	八木駅南側	A	分庁舎とホテルまでの動線がわからない。					○											1	
67	八木駅南側	A	八木西口駅東の JR 線路下の道が狭く、自転車で通りにくい。			○												○	2	
68	八木駅南側	A	道が狭く、勾配のきつい箇所があり、自転車が通りにくい。			○												○	2	
69	八木駅南側	A	交通渋滞が問題である。											○					1	
70	八木駅南側	A	八木西口駅は必要である。存続すべき。															○	1	
71	八木駅南側	A	新庁舎ができた後の渋滞対策がわからない。夕方になると片川歯科さん前辺りからたき焼き屋前までの道が駅に迎えに来られる方の車でいっぱいである。											○					1	
72	八木駅南側	B	駅南の広場がお迎えでいっぱいになっている。											○		○			2	
73	八木駅南側	B	駅南の広場が通いやすいようになっている。										○	○	○				3	
74	八木駅南側	B	ナビプラザが観光業務の機能を果たしていない。	○															2	
75	八木駅南側	B	新庁舎建設後のナビプラザの活用方法が重要である。																1	

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード																
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数	
76	八木駅南側	B	ナビプラザのLEDビジョンは目につきにくい所にあり、あまり役割を果していないため、音を出せばよい。				○													2
77	八木駅南側	B	駅前の景観が良くない。南側に大きいものが出来てしまう、市民に有効にちよとして、くつろげる。	○														○		2
78	八木駅南側	B	駅南商店街から八木西口駅への動線を確保する。							○	○									2
79	八木駅南側	B	踏切3カ所やマトーの北、南、セブンのところが危険である。			○					○							○		3
80	八木駅南側	B	国道24号の歩道が狭く、通勤通学時不便である。								○									2
81	八木駅南側	B	ロータリーへの出入り付近は特に混雑している箇所であるため、駅南ロータリーで車の流入出をスムーズにすることで、道路と合わせた混雑解消が必要。										○							1
82	八木駅南側	B	ナビプラザとローソン前をなぜ通れないようにしたのか？												○					1
83	八木駅南側	B	ハイボール酒場さんの前を左折のみにするだけでも混み具合は解消されるのでは？										○							1
84	八木駅南側	B	八木駅前商店街通りの南行き一方通行が未だに北行きの車が入ってくるのは物理的な問題であるように思う。							○						○	○			3
85	八木駅南側	C	休日では、駅周辺の駐車場が満車になっていることがある。		○															1
86	八木駅南側	C	バスのチケット売り場がどこにあるかわからない。				○													1
87	八木駅南側	C	近くにかしはらナビプラザがあるのに、誘導サインが設置されていない。				○					○								2
88	八木駅南側	C	商店街(相互通行区間)の車の量を減らして、買い物をしやすくしてほしい。							○						○				2
89	八木駅南側	C	案内看板が設置されているが、景観に配慮されているため目立たない色であり、歩行者の視線に入らないような高い位置に設置されている等、わかりにくい。				○													1
90	八木駅南側	C	大和八木駅から八木町や今井町までのアクセスを活性化させる必要がある。	○																1
91	八木駅南側	D	駅周辺で自転車を停めるところが少ない。			○														1
92	八木駅南側	D	八木西口駅に車が入れない、又集える箇所がない。												○					1
93	八木駅南側	D	居酒屋中心で、喫茶店など昼間使える店が少ない。							○										1

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード																
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数	
94	八木駅南側	D	大和八木駅で下車した来訪者はナビプラザにいくか？そもそも駅にナビプラザの情報がない。	○			○													3
95	八木駅南側	D	商店街はまちの魂である。							○										1
96	八木駅南側	D	銀行、郵便局は本庁舎に取り込む。邪魔である。															○		1
97	八木駅南側	D	観光案内がわかりにくい。八木駅に降りてからナビプラザの存在がまず分らない。	○			○													3
98	八木駅南側	D	初めて訪れた人にとって、観光案内がどこにあるのか、案内内容共々わかりづらい。訪問者の知識に応じてわかりやすい内容にしてほしい。	○			○													2
99	八木駅南側	D	商店街に観光案内板はあるが、電柱の上にあるのでわかりにくい。	○			○													2
100	八木駅南側	D	レンタサイクルは借り場所がわかりにくく、値段も高いので使いづらい。			○	○													2
101	八木駅南側	D	今井町に向かう歩道が歩きにくい。								○							○		2
102	八木駅南側	D	八木西口駅から今井町への道は、夕方などすごく混雑し危険である。								○		○					○		3
103	八木駅南側	D	歩道と自転車道の分離ができていない。			○					○							○		3
104	八木駅南側	D	八木西口駅から今井町に入る所で、橋の手前の歩道が無い所があり、あぶない。								○							○		2
105	八木駅南側	D	権原郵便局南側JR高架下の国道24号がせまくて危ない。自転車で通るとき困る。			○												○		2
106	今井町	A	観光客が来て近くにはバスをとめるスペースがない。	○	○															2
107	今井町	A	駐車場が少し離れた場所にあるが、周知されていない。		○		○													2
108	今井町	A	せっかくまちの整備が進んでいるのに駐車場がないのは問題である。来訪者を増やすにはアクセスが大切。八木西口駅を今井駅にしてはどうか。	○	○															2
109	今井町	A	観光客が電車で訪れることができる様に整備し、今井町とのつながりを持たせるためにも駅の名称を変えてはどうか。	○																1
110	今井町	A	お金を落とすリスクも大切である。	○																1
111	今井町	A	店舗裏の駐車場に厨房設備が雑におかれている。	○																1
112	今井町	A	観光客にとって、買い物や、休める場所がないのではないか。	○																1
113	今井町	B	観光客が喜ぶ視点が無い、自己満足的である。	○																1
114	今井町	B	閉鎖的な感じがある。	○																1
115	今井町	B	人気がない。	○																1

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード															
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数
116	今井町	B	今井町に通じる道として整備が必要である。	○															1
117	今井町	B	大和八木駅から今井町へ向かう動線がない。	○							○						○		3
118	今井町	B	歩行者と車両の交差が多い。			○					○					○	○		4
119	今井町	C	興味のある人しか訪問しない。	○															1
120	今井町	C	トイレが汚かった。	○															1
121	今井町	C	駅からの道中において、寄り道したくなるような場所が無い。	○															1
122	今井町	C	カフェや土産物屋が無かった。	○						○									2
123	今井町	C	近鉄八木西口駅から今井町までの道のりが難しい。				○												1
124	今井町	C	八木町と今井町を繋ぐ誘導サインが無い。				○												1
125	今井町	D	各地域のイベントが繋がっていないため、いっどこで何をやっているか、観光客にはわからない。	○			○	○											3
126	今井町	D	今井公園に水を年中確保すべき。															○	1
127	今井町	D	今井町並保存整備事務所の蔵の前が散らかっており、汚い。	○															1
128	今井町	D	八木駅から今井町までの動線がわかりづらい。				○												1
129	今井町	D	車が通る道なのに歩道が細い場所が目立つ。							○					○	○			3
130	八木町	A	地元の人でも八木町に歴史的な町並みがあることを知らなかった。				○	○											2
131	八木町	A	小公園の草がのびており、整備されていない。	○															1
132	八木町	A	八木地区でまとまりがないように感じた。															○	1
133	八木町	A	道案内の看板を見つけれない。				○												1
134	八木町	A	看板の目的が、景観にあわせすぎて、わかりづらい。				○												1
135	八木町	A	民宿があるが知られていない。				○					○							2
136	八木町	A	道が狭いため、危ない。							○					○	○			3
137	八木町	A	車で通過するだけでは分からない。歩行者や自転車に気をつかっていると周囲を見る余裕もない。			○				○					○	○			4
138	八木町	B	点がつながっていない、周遊できない。	○				○											2
139	八木町	B	目的がなければ、ふらりと来にくい。	○															1
140	八木町	B	気軽に立ち寄る場所がない。	○															1
141	八木町	B	遊びがない。	○															1
142	八木町	B	交通混雑の緩和。									○							1
143	八木町	B	自動車の通過が多い。											○					1
144	八木町	C	現在居住している文化財の建物も含め、文化財を有効に活用できていない。					○									○		2

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード																
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数	
145	八木町	C	規制を設けるなどして、歴史ある建物や町並みを残していく必要がある。					○											1	
146	八木町	C	文化財のPR ^{※2} が不足している。	○			○	○												3
147	八木町	C	歴史に詳しい人でないと、八木町の面白さが分からない。	○			○													2
148	八木町	C	文化財の建物がどこにあるのかわからないため案内マップが必要である。				○													1
149	八木町	D	40~50年前の無計画な都市計画の痕跡がある。															○		1
150	八木町	D	観光パンフレットが難しい。	○			○													2
151	八木町	D	観光用の看板が、見えない、発見できない。	○			○													2
152	現庁舎	A	市役所がバラバラである。															○		1
153	現庁舎	B	マンションやホテル等の建物ではなく景観を考えて今後の活用方法を協議したい。															○		1
154	現庁舎	B	市庁舎が危険。職員が命が危ない。すぐに再建築 or 小学校等合区で移転。														○			1
155	現庁舎	B	現市庁舎の新築。															○		1
156	現庁舎	C	庁舎内が狭く利用しづらいが、分庁舎ができたなら問題は解消されると思う。															○		1
157	現庁舎	D	市役所建替後、市の本庁舎になるのかわからない。															○		1
158	現庁舎	D	今の市役所の場所にまとめた方が便利である。															○		1
159	現庁舎	D	30年先の権原を考えたとき、人口が減るため現庁舎位置に庁舎はいらない。分庁舎にその役割を与える。庁舎を建替えるより、税収を上げるため、人口を増やすことを考えるのが優先である。														○			1
160	飛鳥川	B	飛鳥川上流、天井川災害対策を充分にしてほしい。川底をさらう。														○			1
161	飛鳥川	D	飛鳥川の年中の水量を確保する。															○		1
162	畷傍駅	A	貴賓室をもっとオープンにしてはどうか。					○												1
163	畷傍駅	A	観光スポットとしてJRは認識しているのか。	○				○												2
164	畷傍駅	B	畷傍駅が貧弱すぎる。	○				○												2
165	畷傍駅	B	畷傍駅の観光地としての価値が低い。	○				○												2
166	畷傍駅	B	駅を降り立ったときの印象が良くない、ウェルカム感がない。	○																1

※2「PR」: public relationsの略。①会社や官公庁などが事業内容や施策などを一般的に広く知らせること。②売り込み、宣伝。

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード															
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数
167	畷傍駅	B	畷傍駅の活用方法。					○											1
168	畷傍駅	B	畷傍駅の南出入り口があれば、おふさ観音に行きやすい。	○			○												2
169	畷傍駅	B	周遊ルートを整備、拠点となる。	○				○											2
170	畷傍駅	C	十分に活用されていない。					○											1
171	畷傍駅	C	駅舎の新設が必要である。															○	1
172	畷傍駅	D	駐車場が駅前にあるのもつたいない。活用できないか。		○														1
173	畷傍駅	D	畷傍駅～八木駅間の賑わいは、民間投資に!! 大手に開発させる。															○	1
174	畷傍駅	D	畷傍駅で榎原神宮(石柱があるから)の場所を尋ねられたことがある。				○												1
175	畷傍駅	D	畷傍駅以南に下宿する学生が多い。自転車道がちゃんと整理されれば、大和八木駅周辺地区にも住むと思う。			○													1
キーワード数				53	17	15	36	17	12	19	7	5	12	4	12	21	11	21	262
全キーワード数に対する キーワード数の割合				20.23%	6.49%	5.73%	13.74%	6.49%	4.58%	7.25%	2.67%	1.91%	4.58%	1.53%	4.58%	8.01%	4.20%	8.01%	100.00%

4.3. エリア別の取組方針

第1回ワークショップのグループ協議で出された参加者の意見(エリア別の取組方針)を次表に示します。キーワード別の意見の整理は、各意見に含まれるキーワード、及び各意見の趣旨を基に該当するキーワードに○をつけることで整理を行いました。

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード															
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数
1	全体	A	八木全体の集客、現時点では中中和になる人数のバイが決まっている。バイをどう大きくするか。	○															1
2	全体	A	今まで来ていない層の人にどう来てもらうか。	○															1
3	全体	A	NP0 ^{※4} で公園管理などを運営する。										○						1
4	全体	A	まちづくりのテーマを決めて整備していく。															○	1
5	全体	A	町の名産物をつくり、名前をPR ^{※2} することで物販増加につなげる。	○			○	○											3

※2 [PR]: public relations の略。①会社や官公庁などが事業内容や施策などを一般的に広く知らせること。②売り込み、宣伝。
 ※4 [NP0]: non profit organization の略。政府・自治体や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで、社会的な公益活動を行う組織・団体。特定非営利活動法人。非営利組織。非営利団体。市民活動法人。市民事業体。

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード															
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数
6	全体	A	各地区の連携を強めて人を集める。															○	1
7	全体	A	今あるものをもっとPR ^{※2} する。	○			○												2
8	全体	A	八木全体で集客することが重要である。															○	1
9	全体	A	宿泊施設や飲食店などの案内・情報提供を強化する。				○		○										3
10	全体	B	熊野に伸ばす、宿泊してもらう。閑空からのホテル興味。	○			○				○								3
11	全体	B	観光地化・観光都市・全体の活性化。	○															1
12	全体	B	観光情報のPR ^{※2} が必要、時間がかかる。	○			○												2
13	全体	B	観光客の期待値をうらぎらない。	○															1
14	全体	C	宿泊できる場所を増やし、泊まって観光してもらうようにする。	○							○								2
15	全体	C	住民が観光客をもてなす気持ちを持つ。	○															1
16	全体	C	人を呼び込む資源はたくさんあるので、それらを観光資源にしていく。	○				○											2
17	全体	C	体験型観光ができるようにする。	○															1
18	全体	C	今井町以外の観光資源もPR ^{※2} していく。	○			○	○											3
19	全体	C	パンフレットだけでなく動画などの他の媒体も使ってPR ^{※2} する。	○			○												1
20	全体	C	観光活性化の計画が無い。	○															1
21	全体	C	人口増加に資する施策を立案する。移り住んだ人に対するフォローも大切。														○		1
22	全体	C	本屋、文具屋などの若者にとって必要な店舗や行きたいと思える店を整備し、若者が集まる場所をつくる。							○									1
23	全体	C	子供が大阪に勤めたら、大阪に住んでしまう。														○		1
24	全体	C	子供が遊ぶ場所や保育所の整備、小児医療の充実などによって子育て世代にとって住みやすい環境をつくる。														○		1
25	全体	C	県立医大病院やその他病院が集積している。ただし、なんでも県立医大病院に頼っている。															○	1
26	全体	C	Iターン ^{※5} やリターン ^{※6} できる仕事をつくる。															○	1
27	全体	C	八木駅周辺はスーパーがあるなど、住みやすい場所なのに、住みやすい場所としてのイメージを持たれていない。															○	1
28	全体	C	食事や買い物など観る以外の楽しみをつくる。															○	1

※2 [PR]: public relations の略。①会社や官公庁などが事業内容や施策などを一般的に広く知らせること。②売り込み、宣伝。
 ※5: 「Iターン」: 都心部で生まれ育った人が、地方の企業に転職・移住すること。
 ※6: 「リターン」: 地方で生まれ育った人が都心に移住し、その後就職・転職のために出身地に戻ることに。

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード															
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数
29	全体	C	権原ナビプラザから、より案内・情報提供をしてほしい。	○			○												3
30	全体	C	他の地域と観光振興のための連携をはかる。	○															1
31	全体	D	地域の祭りを復活させ、人を集めるのが先である。					○											1
32	全体	D	各エリアのイベントを繋げる、自治体の横のつながりを強める。					○											1
33	全体	D	大和八木駅の鉄道駅としての利便性の高さをもっとアピールする。					○											1
34	全体	D	まち中にある看板が大きすぎて景観を壊している。日本の始まりのまちなのだから、もっとふさわしい景観を保てるように規制をする必要があるのではないか。	○			○												2
35	全体	D	民間の看板が大きすぎる。日本の始まりにふさわしい規制すべし。	○															1
36	全体	D	通過・交流人口を八木で止める、住んでもらう。													○			1
37	全体	D	もっと人口を増やし、大きな街にすることを考えたい。													○			1
38	全体	D	中南和の中心として住みよいまちになる。住みよいまちになることで人口が増え、市の継続的な発展に繋がる。													○			1
39	全体	D	集まれる場所をつくる。															○	1
40	全体	D	子育てしやすいまち。														○		1
41	全体	D	学生が住みよいまち。														○		1
42	全体	D	観光案内の看板色・デザインを統一すべき。	○			○												2
43	全体	D	滞在型や日帰り型など観光ルートも市が決定していくべきである。	○															1
44	全体	D	ナビプラザをもっと利用してもらい、スマートフォンと連動させた観光ルート案内をつくる。	○			○											○	3
45	全体	D	権原市1泊観光ルート、日帰りルートなど、市が観光ルートを提案する。	○															1
46	全体	D	各観光拠点を連携させる。	○				○											2
47	全体	D	通りによって、例えばこの通りは歩道専用、この通りは自転車道を通すなど整備コンセプトを決める。	○		○					○								3

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード															
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数
48	八木駅北側	A	駅前広場を改善し、近鉄が見える様になり空間がひらけると広場の車の出入り効率が上がると思う。そのために立体駐車場をどうにかする。		○										○				2
49	八木駅北側	A	アーケードの屋根や防犯カメラなど、市の協力が必要である。							○									1
50	八木駅北側	A	商店街のアーケードは、駅周辺商店街競争激化に伴い市の助成を積極的にお願いしたい。							○									1
51	八木駅北側	B	収益と美観のバランス。		○														1
52	八木駅北側	B	いかに車を取り込むか。		○									○					2
53	八木駅北側	B	百貨店の平置の駐車場、ポテンシャルがあるのでは。		○														1
54	八木駅北側	C	交通拠点の大和八木駅に玄関口としての明るさを持たせる。	○															1
55	八木駅北側	C	近鉄大和八木駅と近鉄百貨店をペDESTリアンデッキ ^{※7} で接続することでアクセスが向上し、八木駅周辺の利便性向上をはかる。															○	1
56	八木駅北側	D	北側に広々とした駅前広場を整備する。												○				1
57	八木駅北側	D	地区外からきてもらいやすいように、駐車場が必要である。		○														1
58	八木駅北側	D	八木駅北側は人口の受け皿となる場所と考える。	○													○		2
59	八木駅南側	A	公園や広場に店舗するなど、現在ある魅力的な居酒屋を活かす。							○					○				2
60	八木駅南側	A	○○横丁など、イベントを開催し人を集める。	○						○									2
61	八木駅南側	A	駅前広場イベント等に使用できると思う。												○				1
62	八木駅南側	A	回遊できる歩きたくなるルートづくりができると良い。	○															1
63	八木駅南側	A	内膳町と八木町をつなぐように再整理してはどうか。															○	1
64	八木駅南側	B	車をとめて駅の送迎、渋滞緩和、分かりにくい動線の改善。										○		○				2
65	八木駅南側	B	ナビプラザのLEDビジョンから音を出せばよい。					○						○					2
66	八木駅南側	B	ナビプラザをインパクトのある施設とする。					○											2
67	八木駅南側	B	案内看板の整備をする。					○											1
68	八木駅南側	B	交通結節点として整備する、渋滞の緩和。												○				1

※7:「ペDESTリアンデッキ」:自動車道路と立体的に分離した歩行者専用通路。

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード															
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数
69	八木駅南側	C	法務局周辺にある八木駅南中央駐車場の西の空地进行、若者や高齢者が利用できる施設等、有効に活用する。														○		1
70	八木駅南側	D	民間が投資しないといけない場所である。															○	1
71	八木駅南側	D	商店街のにぎわいが必要である。							○									1
72	八木駅南側	D	夜の顔だけでなく、昼の顔ももっとにぎわってきたい。							○									1
73	今井町	A	まちのイメージを崩す様なものをチェックして改善していけると良い。															○	1
74	今井町	A	八木西口駅の駅名を今井町へ変更する。	○															1
75	今井町	B	観光地のあり方 残すのか or 人を呼ぶのか費用対効果が大事。	○															1
76	今井町	B	今井町のお店の人、圧迫感があるのでは?全員ウェルカムは難しい。	○															1
77	今井町	B	わかりやすい説明、華蓋（はないらか）に行けばわかる。					○											1
78	今井町	B	レンタサイクル-今井町 総合的な道、共通するサイン。				○	○											2
79	八木町	A	小公園の植栽等地元で管理できたらよい。															○	1
80	八木町	B	道順 今井町→ジュール・フェリエーナビプラザ。	○				○	○								○		4
81	八木町	B	道路・動線 +住民+観光客 2つの目線	○															1
82	現庁舎	A	総合庁舎推進により、現庁舎位置での整備充実実施に賛成。															○	1
83	現庁舎	A	棟がバラバラで使いにくいいため本庁舎を1ヶ所に集約する。															○	1
84	現庁舎	B	熊本地震、本庁舎分庁舎一次対応。													○			1
85	現庁舎	B	集約して建替えたほうが良い、ひとつにまとめる。															○	1
86	現庁舎	D	分庁舎は、3Fが種原市、他の階は他の市とするなど、奈良県南部の市庁舎をまとめてはどうか。															○	1
87	現庁舎	D	庁舎の建替えではなく、現庁舎の土地にマンションを建設し人を呼び込んでどうか。														○		1
88	畝傍駅	B	JRと協議して観光スポットとして使えるようにする。	○					○										2

No.	エリア	グループ	参加者の意見	キーワード																
				観光	駐車場	自転車	案内	地域資源	商店	歩行者	ナビプラザ	宿泊	渋滞	広場	自動車	危険	居住	その他	キーワード数	
89	畝傍駅	B	レンタサイクル・観光の拠点・海外JRフリーバスー重要。				○		○											2
90	畝傍駅	D	畝傍駅周辺にも古民家がありつぎきてきている。今井町のように住みながら守ってほしい。						○											1
キーワード数				34	5	3	17	11	8	1	5	3	2	5	2	1	13	15	125	
全キーワード数に対する キーワード数の割合				27.20%	4.00%	2.40%	13.60%	8.80%	6.40%	0.80%	4.00%	2.40%	1.60%	4.00%	1.60%	0.80%	10.40%	12.00%	100.00%	

檜原市
第2回大和八木駅周辺地区まちづくりワークショップ
実施結果

実施日時：平成28年11月26日（土）午後1時～午後5時

場 所：大和信用金庫八木支店ビル3F第1会議室

檜原市
平成29年2月

— 目 次 —

1. ワークショップの概要.....	1
2. 第2回ワークショップの出席者とグループ分け.....	1
2.1. 参加人数.....	1
2.2. グループ分け.....	1
3. 第2回ワークショップの様子.....	2
4. 第2回ワークショップの意見.....	3

1. ワークショップの概要

大和八木駅周辺地区のまちづくりでは、地域との協働のまちづくりに向けた取り組みのひとつとして、住民参加ワークショップを開催します。ワークショップでは、「大和八木駅周辺地区まちづくりに対する地域住民の関心及び理解を得ること」、及び「地域住民同士、意見交換を行い、出てきた意見を大和八木駅周辺地区まちづくり基本構想及び基本計画に反映すること」を主な目的とします。

また、ワークショップに参加するメンバーは一般公募とし、市のホームページ、広報誌等で広く市民に周知します。幅広い視点から、住民等が主体性をもち活発に意見交換を行える状況を整え、実施するものです。

表 1-1 ワークショップの概要

開催回数	全3回開催します。
実施時期	・第1回：平成 28 年 7 月 2 日(土) 午前 9 時～午後 5 時 ・第2回：平成 28 年 11 月 26 日(土) 午後 1 時～午後 5 時 ・第3回：平成 29 年 2 月 18 日(土) 午後 1 時～午後 5 時
参加者	・平成 28 年 7 月 2 日現在で 18 歳以上の市内在住・在勤・在学の方とします。ただし、市職員、市議会議員は除きます。□
進め方	・グループ協議の進行はファシリテーターが担当し、すべての参加者が平等に発言する機会を確保することにつとめ、相反する意見がグループ内であった場合にも、どちらも尊重し、参加者が自由に意見を述べる機会を確保します。
実施内容	第1回 ・開催趣旨、ワークショップ実施概要について説明を行います。 ・現地のまちあるきで大和八木駅周辺地区の現状を確認します。 ・グループ毎に地区の課題、大和八木駅周辺地区のまちづくりの取組方針について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
	第2回 ・グループ毎で基本計画（素案）について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
	第3回 ・グループ毎で基本計画（案）について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
協議グループ構成	・1グループ、6～7人で構成します。
傍聴について	・すべての市民の方が聴衆として参加することができます。

1

2. 第2回ワークショップの出席者とグループ分け

2.1. 参加人数

市のホームページに平成 28 年 5 月 27 日より公募を行い、6月の広報誌にお知らせを掲載したところ、一般公募は9名でした。地域団体と学校関係者に別途声掛けを行い、参加者を募りました。参加者と当日の出席者の内訳は次のとおりでした。

表 2-1 参加者内訳

区分	参加者	当日の出席者
一般公募	9名	8名
地域団体	9名	7名
学校関係者	7名	1名
計	25名	16名

2.2. グループ分け

当日の出席者の人数から、次のとおりグループ分けを行い、全3グループとしました。

表 2-2 グループ構成

グループ	区分	当日の出席者
グループA	一般公募	4名
	地域団体	2名
	学校関係者	0名
		計6名
グループB	一般公募	2名
	地域団体	3名
	学校関係者	0名
		計5名
グループCD	一般公募	2名
	地域団体	2名
	学校関係者	1名
		計5名

3. 第2回ワークショップの様子

グループ毎に分かれ、第1回ワークショップの結果を踏まえて、基本構想にまとめられた「賑わい創出」「回遊性向上による観光振興」「現庁舎の耐震性能の確保」「交通処理・交通ネットワークの検討」の4つのテーマ毎に、基本計画作成にあたっての具体的なアイデアについて意見をもらいました。



<グループ協議の様子>



<全体の様子>

4. 第2回ワークショップの意見

テーマ毎のワークショップ参加者の意見要旨を、次に示します。

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ	
賑わい創出	整備の方向性・具体策	大和八木駅を通過する駅ではなく、降りて買い物できるなどのメリットを感じてもらえる駅にし、まちに賑わいを創出するには、商店街の活性化が重要だ。	近鉄が制度変更で途中下車ができなくなり、以前に比べて買い物をする人などの賑わいが減った。駅前の賑わいのためにも買物ができるよう途中下車できる方法はないか。八木駅を通過する人に、八木駅周辺店舗などを利用してもらい、地域経済を発展させる。	A	
			大和八木駅前、南、北商店街に、人を呼べる街づくり。	CD	
			大型商店が進出し、商店街の需要が減ったため、まちには本来の賑わいが無い。	CD	
			H30年には市の複合施設が出来る予定なので、観光客の食や遊を満了す店舗が不足しているの、県・市などとも連携して出店し易いようにする。	B	
			明瞭な街を利用するメリットを出せるのか(下車する、泊まる理由)。大和八木で敢えて降りることのメリットが明確になればよい。	B	
			新しくできる分庁舎やホテルと周辺飲食店を含む既存商店街の共存を重視すべきである。	新しくできる分庁舎やホテルと周辺飲食店を含む既存商店街の共存重視案	A
			観光客にとって夜の繁華街は必要だろう。繁華街を充実させれば夜の賑わいが昼の賑わいにつながるのではないか。	まず賑わいが無いとカフェも出店できない。夜の賑わいから昼の賑わいにつながる。観光客にとって夜の繁華街は必要ではないか。	B
			大和八木駅周辺だけに賑わいを創出するのではなく、市全体での賑わいづくりを考える必要があるのではないか。	樞原全体としては、そもそも乗り換駅である八木駅周辺にこだわる必要があるのか。 駅前に賑わいは必要なか(賑わい、交通利便は相反するのではないか)。 賑わいは駅前のみで市全体的には無い。商店街が全体的に薄い。	B A CD
			八木西口駅周辺には観光客用の店がなく、駅としての必要性に疑問を感じる。	八木西口駅は不要ではないか。周辺に観光客に対する店もない。	CD

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
賑わい創出	整備の方向性・具体策	高齢者が集まれる場所が少ない。	駅前に高齢者が集まれる場所を作らなければならない。たとえば、朝、100円でコーヒーを飲めるマクドナルドがあれば利用する等のケースになってくる。	A
		若者が集まったり、勉強ができる場が少ない。若者が訪れるまちにするには、若い人にとって魅力のある店舗や場所をつくる必要がある。	居酒屋さんばかりで、若者が入れる場所が少ない。文具店、書店・古書店等。若者が入れるジュンク堂とかTSUTAYAとかをナビプラザとかで誘致すれば、不便な場所でもそちらにこられるのでは。今のままでは、ナビプラザの利用価値が無いので駅近を利用できる形にすることが望ましい。 地区内に畝傍高校があるので、学生がうろろろできるような本屋さんや勉強できる場所があると良い。駅の待合の間に勉強コーナーがあつて集えるという形などどうか。	A A
		様々な世代の人が気軽に集まれる場所がないので、まちなかにできると良い。	世代を超え、皆が集える場所が少ないので、大阪の自治体でやっているのだけれど、古本を1冊持参すればコーヒーを一杯飲めるようなシステムを作る方法等を検討し、集える場所をつくる必要がある。	A
		ふらりと訪れることができるカフェが少ない。オープンテラスのあるカフェなどができると、まち歩き途中などにも立ち寄り、まちの雰囲気づくりにもつながる。	お昼の街歩きの方、カフェ、入りやすいところが少ない。おふさ観音の帰りなど。 八木駅南側にカフェ(女性が気軽にお茶できる店)が少ない。オープンテラスなどができると良くなるのではないか。	B B
		八木駅南側の未利用空地(歩行者用の広場)が活用されておらず、駅前の一等地なものも無いので、活用できると良い。	八木駅南口に工事用のバリケードがあるが、駅前の一等地なものも無いので、歩行者用の広場にするなど、未利用空地の活用をすべきである。	A
		大和八木駅前は一等地にも関わらず生かされていない。北側の広場、公園を活用し、駅前にシンボルとなり、人が溜まり子供たちが遊んだりもできる広場をつくることができると良い。	八木駅北側の公園を活用する。大和八木駅北側の噴水のある駅前広場のスペースを活用し、子供たちの遊び場にできないのか。 大和八木駅前には広場が少ない。駅北側開発には大きな広場がよいのではないか。大和八木駅北側を開発し、子どもが遊べる広場をつくる。 北側に切迫感のある立体駐車場の必要性があるのか。駅北の立体駐車場を取り払い、市民・観光客がつどい、ただよえるような広く青空の見える駅前広場(公園)をつくり、百貨店・文化会館から、南の新庁舎への動線をつくる。八木駅には、駅裏はなく、南北どちらも表となりうる。 駅前にシンボルが薄い(インパクトの提供)。	CD CD B B

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
賑わい創出	整備の方向性・具体策	駅周辺地区への主要なアクセスを車と考えるか、電車と考えるかによって駅前広場のつくり方が変わらと思うので、広場のあり方はまずそこから考えることが重要だ。	「駅前に来るのは車の利用者なのか、電車の利用者なのか、どうアクセスでこのまちに来てもらうか」によって、駅前広場の作り方も変わるのではないかな。掘り下げて調査してみることも必要かもしれない。	A
		樫原市単独の観光拠点になるのではなく、広域的な視点からの立地と交通利便性を生かし、飛鳥、吉野観光の窓口としての日帰り観光拠点を目指してはどうか。	観光の拠点として、樫原単独では難しいので、「樫原、飛鳥地区」の窓口としての立地を生かす。閑空からの視点で見ると、樫原から和歌山までのハブ的な核として観光拠点となりうる。京都や奈良のように1日をかけて観光する場所ではなく、飛鳥・吉野の窓口とするのが現実的。交通上便利なのが強み。日帰り観光の拠点とすべき。	B
		現状では観光ポイントがバラバラなので、大和八木駅～今井町～畝傍駅～八木町をつないで一体的な観光エリアを形成する必要がある。通りの名称付けやわかりやすい案内板の設置などで体系づけられると良い。	近鉄八木駅から南側商店街を通って今井町まで一体化した街づくり(名称・呼称で印象付ける。〇〇通り等)。今井町の駐車場の情報などをもっと発信すべき。観光資源を使って、今井、八木をつなぐべき。例えば、畝傍駅の貴賓館など。決まった名称・呼称があると、多くの人に通ってもらいやすくなるのではないかな。通ることで食事などの飲食店利用も増える。	A
			観光資源を活用するためのフォーマットを作れるのか(バラバラな現状から進めるのか)。観光地として体系立てて整備していくことができるのか。	B
			畝傍駅から南に抜ける出口がなく、高齢者や街歩きをしている人にとってわかりにくい。案内板など利便性を上げる。「長寿道」と名付けられているので、クローズアップするのも良いのでは。	B
		樫原市には、埋蔵文化財はあるが、あくまで考古学の観点で保護すべきものであり、観光資源として活用してもあまり効果は期待できないのではないかな。埋蔵文化財による観光だけではなく、歴史・文化の教育を図ることなど、多様な視点で検討すると良い。	樫原の埋蔵文化財は観光資源なのか。埋蔵文化財は考古学であり、埋蔵文化財では食べていけない。今のままの樫原では駄目である。	CD
			歴史はあるが文化がない。	CD

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
賑わい創出	情報提供・ソフト施策	大和八木駅を中心としたエリアでイベントを開催し集客を図る。新たなイベントを企画するだけでなく、イルミネーションの期間延長など現状のイベントをより活性化させることも検討すべきだ。集客に向けた情報提供の充実や一過性のものにならない様な工夫も必要だ。	イルミネーションの点灯期間を長く設ける。(商店街に依存度が高いが) イルミネーションの点灯が12月～1月のみ。長く実施することで、より集客効果が見込める。現状、商店街への依存度が高い。市単独も含め、市の関与する度合いを高めるべき。	A
			八木駅を中心としたフェア・イベントを開催する。ただ、一時的な祭りでは継続性がないので難しい。駅～ナビプラザ～百貨店～文化会館～新庁舎を関連付けたもの。	B
			イベント専用の掲示板をつくる。市主催のイベントや、今井ジャズなど、開催情報の周知が足りないので集客ができていない。ここを見ればわかるといった統一された情報ツールをつくることでわかりやすい情報提供を行い、インターネット、スマートフォンなどで簡単に見られると思う。	CD
			駅前商店街や駅前広場を歩行者天国として開放する。大和八木駅北側で実施したラーメン博は、あまり宣伝していないのに賑わった。土地としてのポテンシャルは高いと思う。継続していけば盛り上がるはず。	CD
		良い観光ポイントや店舗があっても情報発信ができていないので、観光客に魅力が伝わっていない。インターネットやスマートフォンなどを活用した統一された情報ツールをつくることに加え、メディアに積極的に情報発信して取り上げてもらう様にするのも重要だ。	樫原は最新の奈良県観光本でも2頁しか取り扱われていない。特集で食べる場所の説明が少ない。奈良市内と比べても負けない飲食店があるのに発信できていない。自慢できるものの発見が少ない。	B
			酒場を紹介するTV番組などもあった。樫原からメディアへの積極的な発信が必要である。	B
			観光客が泊まってもらえるほどの魅力を取得・発信していないことに問題がある。観光課の人が勉強して発信することも必要ではないかな。	B
			市の歴史や市内にある観光ポイントのことを市民でさえ知らないのが現状だ。まず市の職員も含めた市民に魅力を伝えることが重要でないかな。それが地元に対する愛着を生むことにもつながる。	観光地の情報発信が不足している。まずは市民にも知ってもらう工夫をすべき。
市の職員も含めて、市民が市の歴史・魅力を識る。まだ把握されていない観光にも通じる。天皇陛下が来られたルート(線路・水洗トイレ)などの案内。市の歴史的魅力が知られていない。	B			
小網町、今井町などはPR※1が必要。例えば、小網町の自治会長が歴史講演会を行ったが、市民にも知られていない。歴史に興味がある人(古墳女子など)やすも(相撲)女であれば、市民でなくとも参加する可能性がある。	B			
人口増加のためには、文化財の活用だけではなく、文化都市として子供たちに歴史、文化を伝えていくことも重要である。	CD			

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
賑わい創出	情報提供・ソフト施策	このエリアの観光の玄関になるには、買い物や情報提供、利便性の向上などの面で、海外からの観光客に対応した環境づくりが必要だ。	国際化の話が出ていない。観光の玄関となるなら、他のコンテンツエリアでできないところに特化してもよい。誘客、国際化。外国人が荷物を預け、気軽に買い物できる場所はない、今井町の外国人交流会館以外に見当たらない。	B
			榎原神宮などのコンテンツが提供できていない。外国人が観光しやすい環境作りが必要。	B
			外国人観光客等への援助が必要(観光のハブとして機能するために必要)。外国語での対応や物を買うところを増やす等。	B
	居住環境	観光地として賑わいの創出だけでなく、治安の維持も大切だ。犯罪防止のために防犯カメラを増設することも検討すべきではないか。賑わいあるまちと住みよいまちとの共存を目指したい。	他の観光地のように清濁併せ呑めるのか(住みよい町と賑わいある町の共存)。例えば沖縄観光では、賑わいがあるエリア、閑散としているが独自の特徴があるエリアに分かれている。観光地として賑わいの創出だけでなく、治安の維持が両立できるか。住み分けが必要。	B
			犯罪抑止のため防犯カメラの増設。防犯カメラが増えると犯罪が減るデータあり。もっと増やすべき。	A
			賑わいをつくり、まちに活力を与えるには人口を増加させることが重要だ。市に何が足りないかを把握した上で買ものや子育てのための環境を整え、働く場をつくる必要がある。	賑わいとは、具体的には仕事を創り人口を増やすことである。 空室 1300 戸あり、かつ、マンションが建っても人が入らないため、榎原市に何が足りないのかを把握すべき。商店街の規模が小さくなり、買い物客は郊外に行ってしまう。 子供たちの遊び場をつくる。人口を増やすことが市の力につながる。人口増加のためには、文化財の活用だけではなく、文化都市として子供たちに歴史、文化を伝えていくことも重要である。
	推進体制	商工会議所や商店街が単独で実施しているイベントに対する市の関与を強めるなど、行政、民間企業、商店会、観光協会などが連携して賑わいづくりに取り組むことが大切だ。	奈良交通と観光協会と連携する。	CD
			イルミネーションの宣伝ができていないのか。イルミネーションは市が主催ではなく、商工会議所が主体となり実施していることから、今後も商工会議所と市が連携して宣伝していく。	B
			イルミネーションの点灯期間を長く設ける。現状、商店街への依存度が高い。市単独も含め、市の関与する度合いを高めるべき。	A
			H30年には市の複合施設が出来るが、県・市なども連携して出店し易いようにする。	B

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
回遊性向上による観光振興	整備の方向性・具体策	現状のナビプラザは駅から距離があるので、もっと駅に近い場所に案内所を設置してはどうか。駅前の交番を昼間は観光案内所の分室とすることも考えられる。	駅に近い観光案内所を設置。市内、中南和の情報発信(交通・道路・道の駅等)。南和の玄関口としての機能が活かされていない。今の観光案内所・ナビプラザは遠い。	A
			昼間、駅前の交番は空いている。昼間は観光案内所・発信所として活用してはどうか。観光案内所・ナビプラザの分室として。	A
		ナビプラザを観光情報案内や地元産品 PR※1の場などとしてもっと生かすべきだ。情報拠点としての中身の充実と共に、外観や誘導方法の工夫、LED ビジョンの活用によって視認性を高める必要がある。	ナビプラザの LED ビジョンから音を出す。当初、八木駅 4 番ホームと高さが同じということで八木駅の案内アナウンスが聞きにくいということが音を出さない理由だったが、スピーカーを高さ2mぐらいまで下げれば良い。LED ビジョンの有効活用で賑わいを創出できる。	B
			LED ビジョンは、台風など災害時の情報発信にも使えるのではないか。	B
			せんとくんはナビプラザの中に入れて外に出してほしい。	B
			ナビプラザをもっと有効に活用させることが、1 番速い取組。あのビルが何のビルか遠くからでもわかるように商業ビルがやっているように大きな文字を使って、ウェルカム感を出す。駅から誘導するものがない。観光拠点としての PR※1、視認性が必要。	B
			ナビプラザのお土産物店は便利、より活用すべき。	B
			ナビプラザを中南和の中心、情報拠点として活用する。ナビプラザにはパンフレットだけで、観光振興のシステムがない。	CD
			ナビプラザのレンタサイクルはもともと赤字なのだから、もっと安くしてわかりやすく、見やすいように考えなければならない。ナビプラザ自体が、近隣民間企業の建物に見えてしまう。	B
			ナビプラザの中身がなっていない。駅から離れているのでわざわざ足を運ぶ価値があるのか。	CD
ナビプラザでアピールする。	B			

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
回遊性向上による観光振興	整備の方向性・具体策	大和八木駅からナビプラザや新しいホテルなどの観光案内施設・観光拠点へ観光客をスムーズに誘導できる動線を確保するため、看板や路面サインなどを設置できると良い。	観光振興のため、八木駅から八木西口駅迄の歩行者誘導看板を整備する。	A
			八木駅を除いてアクセスがわかりにくい(・ナビプラザ・西口)。案内板やサインの整備。	A
			大和八木駅改札からナビプラザへの誘導を地面に書く(描く)。ナビプラザの場所もわかりにくい。看板よりも、地面に色付きの矢印等を書く(描く)方が分かりやすい。	CD
			ナビプラザの有効活用。近鉄八木駅からどう導くか。案内板など表示。	A
			近鉄八木駅からの新庁舎(ホテル)までの導線確保。	A
			初めて来た方に、ナビプラザへ向うように誘導する。	B
	整備の方向性・具体策	八木町、今井町、畝傍駅をめぐるルートや下ッ道通りの観光ルート、榎原神宮から近鉄八木駅までのジョギングルートなどを設定することで、埋もれている観光資源が発掘でき、積極的にアピールするきっかけにもなる。	八木町、今井町、畝傍駅の見学ルートの設定。埋もれている観光資源が多い。今井、八木の観光ルートに組み込んでアピールし、活用すべき。	A
			八木町と今井町のルートを明確にするため、パンフレット等の作成・活用。	A
			下ッ道通りの観光ルートづくり。札の辻は近畿の風景街道の登録第1号であるが、榎原市として有効活用、アピールできていない。	CD
			榎原神宮から近鉄八木駅までジョギングルートを作る。	A
	整備の方向性・具体策	大和八木駅周辺のみだけで観光を考えるのではなく、おふさ観音や久米寺などの市内各地のスポットや明日香、宇陀などまでも含めた広い範囲で、「周遊する観光」「点ではなく面で考えた観光」を検討するのが良い。	八木の中心ではなく、各地、おふさ観音、今井、小綱町で催し物・講座を展開する。駅を中心でなくても、おふさ観音などは、夏の風鈴や、バラまつりがある。あじさいが綺麗な久米寺なども周遊できる。	B
			榎原市に観光資源があるという認識は本当にどうか。地下に埋まっているものは文化ではなく考古学では。観光客は明日香村にはくるが、榎原市には来ない。榎原市の観光は点ではなく、明日香や宇陀等、面に対応すべきだ。奈良市どまりで終わってしまう。	CD

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ	
回遊性向上による観光振興	整備の方向性・具体策	観光地へのアクセスの選択肢を増やすという意味で、レンタサイクルは有効だと思う。飛鳥川自転車道が整備できると良い。	飛鳥川自転車道の整備。	B	
			レンタサイクルは良い。必要。例えば首里城へのアクセスは選択肢が多い。レンタサイクルやタクシー等。価格が異なることがいい。八木駅のレンタサイクルは藤原京に行く人のためのもの。目的に応じた利用ができることが必要で、レンタサイクルは良い選択肢。	B	
		車と徒歩での周遊を充実させるべきだと思う。観光スポット間の距離を考えるとレンタサイクルにさほど必要があるとは思えない。	レンタサイクルは不要。歩くことと、車での周遊を充実させるべき。レンタサイクルの需要があるのか。榎原は歩いて見てもらうところ。今井までは歩ける。飛鳥であればレンタサイクルに乗るが、車に乗っていくほうが現実的。藤原京や昆虫館など車で回るほうがよい。	B	
			観光客を誘致しイベントの集客を図るためには、駐車場があることが重要だ。今井町などでは自家用車だけでなく、観光バス用の駐車場整備も必要になる。	観光振興のため、今井町を訪れる観光バスの駐車場整備として、小綱池を駐車場にして、今井観光へつなげる。	A
				イベントに来てもらう人が周遊しやすいようにしなければならない。車利用者には駐車場の整備。バスでも周遊できるようなコースを案内するなど。	B
			中心部でイベントを行うのであれば駐車場は必要。初めて来られた方が駅前にあふれたことがあり、周辺道路は大混雑となった。	B	
		八木西口駅前周辺を今井町の玄関口としてふさわしい雰囲気を持った場所に整備できると良い。	八木駅西側を整備して、今井町の玄関に。小綱池をつぶす。	A	
			八木西口駅前に広場整備が必要。歴史のまち今井町看板の整備も。	A	
			大成中学校横の小綱池整備。	A	
		八木町などに景観デザインコード※2を策定する、通り抜けの自動車対策をするなどにより、まちの景観整備を進める必要がある。	景観の整備。	A	
			八木駅南側は淋しいイメージ。サインが少なく、景観が良くない。	A	
			八木町は景観デザインコード※2(協定、地方計画)を策定していくべき。	A	
			通り抜け自動車対策。	B	
		まちなかの空き家を宿泊施設へ転用することを促進してはどうか。	街中の空き家を宿泊施設へ転用することの促進。空き家対策として、個人ではあるが、空き家をゲストハウスとして活用している事例がある。	CD	

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
回遊性向上による観光振興	情報提供・ソフト施策	観光資源の情報発信が不十分なのに加え、バラバラに発信されているために欲しい情報が得にくい。統一された観光マップなど、「橿原を観光するにはこれさえあれば充分」というものがあると良い。	統一された観光MAPをつくる。観光案内がありすぎてわからない。「橿原を回るのはこれ」という一つが欲しい。まとめるのが難しければ表紙だけでも統一すべき。	CD
			市の観光部門では統一された情報ツール発信方法が少ない。	CD
			南和の情報発信を強化してもよいのではないか。奈良(中南和)マップを上手く活用する。	A
			天女が降りた久米寺も、宣伝不足。	B
		伝えたいターゲットを明確にした上で、それぞれに対して効果的な媒体や方法を考えた戦略的な情報発信策を立てる必要がある。全体をマネジメントできる人材も大切だ。	コンテンツ発信についての具体案(伝える施策)がない。コンテンツの発信の追及が必要。例えば橿原市のホームページに「かしはら探訪ナビ」がある。橿原神宮のことや各種アクティビティ(旅先での遊び・活動)のこと。残念ながら情報はあるのに限定的で認知されていない。一般層、自らの顧客層、ファン層、それぞれのターゲットに対して、発信の方法や媒体を変え戦略的に情報発信すべき。そのためのメイン事業が必要。市は持っているはず。	B
			観光振興についてのスタンスを明確にすべき。コンテンツを発信するのか、コンテンツ発信を助けるのか。コンテンツの発信がふわわとしていて、コンテンツをマネジメントする者がいないのではないかと。	B
			遠方からの人に対しては八木が拠点となりうる。市としてアピールしてもらおう。アピールが下手。いろんな意味でのアピールが大事。	B
			マニアだけが来る場所では来訪者数が増えないので、幅広い層にとって魅力ある観光地にする必要がある。そのためにはハード面の整備に頼るのではなく、イベントなどのソフトでの魅力づくりが重要だ。早朝にイベントをすれば宿泊の動機付けにもなる。	今井町、藤原宮跡等に魅力が少ない。マニア中心では来客数は伸びない。いわゆる残念な観光地になっていないか。人が半日すごせる全体としての催し物があるといい。
			橿原市は昆虫館というハードを有する。最近では伊丹の方が有名。老舗は橿原。ハードよりソフトで持ち駒を活かす。	B
			早朝からのイベントを開催する。早朝のイベント(朝座禅、朝茶事とか)があれば前泊してもらえる。	B
			藤原京に観光客、人を呼べるようにしたら良い。藤原京で人を呼べるようにしてはどうか。ちゃんと活用されるようになったらよい。	CD
			今は、藤原京は原っぱだが、あえて箱モノつくらなくてもよい。歴史を理解してもらおうことが大事。	CD

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
回遊性向上による観光振興	推進体制	観光振興には住民の協力が不可欠ではないか。住民の理解を深め、協力を得られる様な意識改革をするためには、子供から大人までが市の歴史や観光資源について知ることが大切だ。市民への教育やPRと共に住民生活が脅かされないような市のサポートが必要だと思う。	橿原は日本国の始まりなのか。藤原京跡は観光資源になりえるのか。日本国はじまりの地であることを知らなかった。橿原市民でも知らない。小学校などでも教えるべきではないか。市外へのPR※1も大事だが、市民への周知も大切である。	CD
			まずは橿原市民が橿原観光資源に気づき、認識することが必要ではないか。観光振興を謳っているが、地域の観光資源が市民にも周知されていない。市民の意識から変えていく。	A
			橿原の観光資源である歴史的ロマンを市民に理解してもらおう。例えば「聖徳太子」の成果について。旧来の学説と異なる説が近年有力となるなど、歴史的な魅力のある資源が橿原に有ることを市民に気付いてもらう。	A
			教育で市の歴史を伝えるべき。まちぐるみで教育と観光を促進する。	CD
			観光客の大半は橿原神宮への初詣客が現状である。寺社仏閣などではなく、宿泊、飲食等の観光振興には、住民の協力が不可欠である。	CD
			観光において住民との協力的体制は必要である。しかし、住民が犠牲になる可能性も高い。何かを成し遂げるには市のサポートが必要となる。	CD
			行政内部が縦割りだったり、行政と鉄道会社との連携が取れていないために、まちづくりに向けた一体的な整備や総合的なイベントが実現しづらいのが問題だ。	近鉄と市がお互いに街を良くするというベクトルに向けて頂く。関東における鉄道会社と市の連携を見習ってほしい。橿原は駅周辺の動線の整備など住みやすさがまだ足りない。
			奈良県の組織は縦割り組織でそれぞれ行っている。同じ様な行事をやっている。	CD
		それぞれの団体がバラバラのコンセプトでイベントを開催しているために、内輪の盛り上がりになってしまっている。橿原全体で統一された大きなコンセプトに基づいてイベント展開ができれば良い。	イベントが内輪の盛り上がりになっているのでは。誰のためのイベントなのか。バラバラの団体がバラバラのコンセプトで行っており、統一感がない。橿原全体で統一された大きなコンセプトがあればよい。	CD

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
回遊性向上による 観光振興	推進体制	建造物など人を呼び込める資源をもっと積極的に重要文化財等に登録し、活用、広報していく体制を市内部で整えるべきだ。	河合家住宅を登録有形文化財に登録するにあたり、NPO※3が精力的に動き実現した。市内にある資源を市主導のPR※1や活用ができていないというのは市の組織上の欠陥である。	CD
			市の文化財課は埋蔵物中心に発掘、登録している。建造物など人を呼び込める資源に対し、重要文化財等への登録対応が薄いのではないか。史跡や名勝ではなく重要文化財を市の文化財課から切り離し、独立した部署にしようか。	CD
		まちづくりに市民の意見が反映されにくい。景観保存や道路計画などの分野でもっと市民の意見を聞いて、計画に反映してほしい。	まちづくりに市民の意見が反映されにくい。景観保存、道路計画など。	A
現庁舎の耐震性能の確保	整備の方向性・具体策	市役所庁舎が1つの街区に集約されれば効率化が図られるので、建て替えの場合は市役所建物を現街区にまとめ、防災拠点になる様に整備されると良い。新たな複合施設と法務局及び市役所北館をつなぐことも考えてはどうか。	庁舎を一街区にまとめるべき。分室と一体化が必要。	A
			建て替えの場合は、市役所建物を現街区にまとめる方向で整備。	A
			PFI※4用地と法務局市役所北館をつなぐ。	A
			現庁舎の集約が必要。防災拠点として、1つにした方が効率が良い(利用者コスト)。	B
			現庁舎は、新分庁舎の完成後、防災拠点として建替える。市行政機関を集約して効率を向上し、人員を見直す。	B
			市役所はバラバラにせず総合庁舎にし、行政を集約化し、効率化を図る。	CD
		現庁舎は古いので耐震性に問題があると思う。いつ来るかわからない災害のことを考えると、災害対策拠点ともなる安全な本庁舎を早く実現させてほしい。	現庁舎は古く、耐震性が低い。危険で、市民、職員が多数。建替、移転。耐震性について、リードタイム※5が長いことは心配。	B
	震度6以上のとき、今は万葉ホールが災害対策拠点だが、本来は集約した拠点として本庁舎としてあるべき。	B		

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
現庁舎の耐震性能の確保	整備の方向性・具体策	現庁舎は利便性が高いので、その利便性の良さを確保し続けられる様にしてほしい。現庁舎は存続すべきではないのか。	現庁舎、分庁舎の計画もない、現庁舎存続。利便性がある。	A
			現庁舎の存続は必要。併せて南側の民有地との合併整備。	A
		新しい庁舎にはオープンスペースを作るなどして、明るく、景観に配慮した建物にしてほしい。	新庁舎はオープンスペースをつくってほしい。景観に配慮し、広いフロアで間仕切らずに明るいオープンスペースのある庁舎にすべき。	CD
		市庁舎を郊外に移転させて建て替えた方が、交通渋滞解消やヘリコプター利用などの災害時の対応面では良いのではないかと。ただし、市の職員が減ることによる中心市街地への影響は懸念される。	現在の交通状況から考えると、郊外移転が望ましいのではないかと。郊外に建て替えたほうが、交通渋滞の面で有利では。	A
			本庁舎を郊外移転すると、職員が減少するので中心市街地の賑わいは低下する。	A
			駅前の分庁舎ができるのであれば市のコミュニティも確保できることから、本庁舎は郊外にあっても、ある程度の対応ができるのではないかと。本庁舎を郊外にすることで、渋滞も緩和できるし、駐車場の確保も可能になる。	A
			郊外に建て替えたほうが、災害対応の面で有利では。現状、医療面ではドクターヘリ等の利用ができていない。災害時のヘリ利用からしても、ヘリポート整備を考慮しても郊外が良いのでは。	A
			市役所はバラバラにせず総合庁舎にし、現在と別の敷地に建てるべき。	CD
		現庁舎や新分庁舎のような駅前の一等地は行政の施設に使うのではなく、もっと有効活用できるものを作る方がまちの発展につながるのではないかと。	庁舎は移転することが決まっているのか。市庁舎の場所が発展によくない。現庁舎や新分庁舎のような一等地はもっと有効活用すべきだ。	CD

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
現庁舎の耐震性能の確保	検討の進め方	市庁舎の計画に関する情報が市民に伝わってきていない。整備の考え方や建て替え案と耐震補強案の比較評価など、費用対効果についてしっかり比較した上で方向性を決めてほしい。	市現庁舎について移転・補強と、採れる方法がどういったものがあるのか、ある程度の情報が欲しい。	A
			現庁舎の整備の考え方が分からない。市民にもっと発信すべき。窓口を一元化し、建て替えと耐震補強のコスト比較、各計画についてメリット・デメリット比較などの情報を出してほしい。	A
			市で検討している事項。取り組みもうとしていることの情報提供と、その提供方法の仕組みが必要。広報をラジオでやるなど、セクションを縦割りにせず、横串にすべき。	CD
			建て替えと耐震補強のコスト比較、各計画についてメリット・デメリット比較などの情報を出してほしい。	A
			コスト比較が必要。	A
			建て替えと耐震補強による計画の満足度と費用の客観的な比較。	A
			耐震補強より、建て替えが低コストのはず。	A
交通処理 交通ネットワークの検討	整備の方向性・具体策	30年先を見据えた長期的視点と奈良県全体という広い視野から、ファシリティーマネジメント※6を検討すべきだ。	これからの橿原市を考えたとき、奈良県全体でファシリティーマネジメント※6が鍵となる。バラバラな体制ではなく、横串をいれて、再スタートを切るべき。30年先を目指したまちづくりをすべき。	CD
			現庁舎に関する話はその他のテーマに比べてレベル感が異なるのではないか。	B
			今後新分庁舎とホテルができたり、大和八木駅南側にミニロータリーができると、中心部の交通状況が変わることも予想される。観光中心のまちか住民にとって住みやすいまちかという将来的なまち全体の方向性を考えた上で計画を進めないと、どっちつかずのまちになってしまう。	A
交通処理 交通ネットワークの検討	整備の方向性・具体策	生活道路は住民生活を重視した安全性の高い道路、商業地の道路は集客を重視した交通量がさげられる道路という様に、道路の目的を明確にして整備を進めてほしい。	橿原市の立ち位置(観光か住民生活か)を確立すること。賑わいの部分と重複するが、新庁舎とホテルができるからと駅前を様々な発展させると、結果として、どちらつかずになる。	A
			国道24号線、またそれ以外も混雑する。何が正しいというのはないが、平成30年に新施設(庁舎・ホテル)ができると交通の流れがわかってくるので、全体的に考える。	B
			現在の街中の店づくり、まちが進む方向の計画をすべきだ。大和八木駅南側にはミニロータリーができると、渋滞が予想される。	CD
			道路の使い方によりコンセプトを明確にする。生活道路は人を中心に。商業地は集客を中心に。	B
			アクセス道路、国道は車線の確保と安全な歩道を。道路それぞれについて、何の利便性を向上させるための道路かを考えていく。それぞれ道路に性格付けをしていき、使い分ける。	B

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
交通処理 交通ネットワークの検討	整備の方向性・具体策	渋滞は市の発展のために解決すべき大きな課題だ。官民で連携して問題点を洗い出しや分析、解決策の検討を行う必要がある。	渋滞は最大の問題であるが、官民で連携しじっくり議論し、重要課題として対処すべし。国道24号が混んでおり、観光で時間が読めない。混んでいるのはなぜか。どこが問題となっているかを洗い出して分析すべき。	CD
			混雑解消には、バスを使うなど、自動車の全体量を減らしてはどうか。交通渋滞は市の発展を阻害している。もう少し、官と民が連携したほうがいい。	CD
		交通渋滞を緩和するためには公共施設を移転させることも含めて検討する必要がある、橿原市のまちづくりについて幅広い視点で考え、新たな未来都市を構想すべきだ。	交通渋滞を緩和するためには公共施設を移転させることも含めて検討する必要がある、橿原市のまちづくりを広い視点で考え、新たな未来都市を構想すべきだ。	CD
		高齢化が進むことを考えるとコミュニティバス、乗り合いタクシーなどの公共交通機関の充実が必要だ。他都市の事例を参考にしつつ、混雑するまちなかを避けたルート設定、周辺市町村との連携による運営などを検討できると良い。	コミュニティバスを、国道24号を巡回させ、混雑する町中を通らない巡回ルートとすれば、渋滞が無くなるのではないか。	A
			高齢化に伴い、コミュニティバスを充実すべき。市単独の運用ではなく周辺市町村と連携し、「広域飛鳥共通1日利用券」として活用すれば、地域住民も観光客も使用できるものになるのでは。他都市の事例、富山市など。	A
			コミュニティバス以外にも、乗り合いタクシーなどの公共交通機関を充実することで、全体として待ち時間の短縮にもつながる。	A
		八木駅北の道路事情を改善するため、コンクリートの公園はフラットにして広げる。	八木駅北の道路事情を改善するため、コンクリートの公園はフラットにして、広げる。	B
		八木駅北側広場と北側区画整理地とを南北道でつなげることで、国道24号の交通量の緩和につながるのではないか。	フクダ不動産のビルと鉄道間に道をつける。南北道路往復道をつける。南北をつなぐ道路が必要。Uターンできることから交通量の緩和につながる。	B
			八木駅北側、北へ抜ける車道の整備。	A
			八木駅北側の交通ルートの計画により、国道24号の通り抜けのスピードアップを図る。大和八木駅北側の線路沿い、今の計画ルートにこだわらず、柔軟に計画すべきだ。	CD

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
交通処理 交通ネットワークの検討	整備の方向性・具体策	大和八木駅の駅北駐車場は駅から離れた場所に住む人にとっては通勤通学時の利便性が高く、必要なものだ。収益も出ているし、耐震性もあり、まだ築30数年しかたっていないのだからそのまま使い続けるべきだと思う。	八木駅北駐車場は、利便性が有り、年間収益が他の市営駐車場と比べて、実益 6000 万円以上有る。耐震建築でまだ30数年しか建っていないので、壊さずに、使用する。使用している人が、車、バイク、自転車とも多数有り。通勤、通学に必要。駅から離れている居住者には特に必要。駅に近いから値打ちがある。	B
		大和八木駅北側の駐車場は駅北の計画を進める上での阻害要因となっていると思うので、取り壊した方がよい。	八木駅北側の駐車場は市の既決定の通り、大至急取り壊しを実施。北側計画の阻害である。	A
		駐車場が足りないイベント時には周辺地域に迷惑が及ぶので、対策を検討すべきだ。	イベントをしても、駐車場がなければ、他の周辺地域が迷惑する。	B
		大和八木駅西口、畝傍駅南口など、利便性や観光客にとってのわかりやすさを考えた駅の出入口の新設を検討してはどうか。	畝傍駅の南側に出入口をつくる。便利になり、観光客にもわかりやすい。良く道を開かれた。	B
			八木駅西口を新設。京都方面に行くときには西側に改札があると良い。	A
		駅利用者や駅前のバス乗降客などの交通整理をした上で、新たなモビリティ“michimo”※7を駅に導入し、それで周辺を回遊してもらえると良い。	“michimo”※7を近鉄八木駅に置く(回遊してもらおう)。その場合、“michimo”※7利用者と、駅前のバス乗降客との交通整理は必要になる。	A
	八木駅南側は、3～5年スパンで道路事情を	商店街通りは、現在南行の一方通行だが、未だに毎日北行に逆行して入って来る車が絶えない。	B	

項目	中項目	意見要旨	住民意見	グループ
交通処理 交通ネットワークの検討	整備の方向性・具体策	見直すことで、渋滞緩和につながるのではないかと。	駅前の渋滞を根本的に見直す必要があるのでは。例えば、駅南側ロータリーの東端のローソン付近は、以前通れたところを左折専用レーンにするなど、一番混みにくい方法を考える。夕方になると、一方が混雑すると双方が混雑する現状。曲がり角でも車が待っている。こまめに整備していく。それでも成功とは限らない。3～5年スパンで見直していく必要がある。	B
		畝傍駅の北は道路混雑がひどいので、T字路の渋滞対策が必要だ。	畝傍駅の北、道路混雑がひどい。改善の必要がある。T字路の渋滞対策が必要。	B
		大和信用金庫前の信号や市庁舎の東西の交通信号を改善することで渋滞の解消につなげたい。	大和信用金庫前の信号を改善する。	B
			市庁舎の東西の交通信号の改善。	B
		国道165号や樫原郵便局南の交差点付近の道幅が狭く不便を感じているので、拡幅を急いでほしい。	樫原郵便局南の交差点は、道幅が狭い。郵便局を右折する箇所の道幅が狭い。拡幅する計画はある。用地買収も進行中。	B
			国道165号の道幅が狭く、歩行者、自転車、車の往来も電柱も有り、たいへん不便。拡幅を急いでほしい。	B
	八木町の外側にバイパスが計画されているので、八木札ノ辻交流館にかかると都市計画道路は必要ないのではないかと。八木町の観光資源を重視し、バイパスを駅周辺のまちづくりとセットで行うべきだ。	八木町の南北道は外側にバイパスがセットされているので不要では。バイパスと駅周辺のまちづくりをセットで行う。	A	
		八木町は観光資源と併せて整備計画を策定すべき。バイパスと駅周辺のまちづくりをセットで行う。	A	
		札ノ辻の都市計画道路は廃止し、周辺全体でバイパス道の検討を。交通量調査をすればわかるのではないかと。	A	

注釈

※1 PR	public relations の略。①会社や官公庁などが事業内容や施策などを一般的に広く知らせること。②売り込み、宣伝。
※2 景観デザインコード	景観構成要素の「あり方」およびその「組み合わせ」についての視覚的な約束事である。この約束事は景観構成要素の「配置」・「色」・「形」・「素材」・「生物種」の共通性として示される。
※3 NPO	non profit organization の略。政府・自治体や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで、社会的な公益活動を行う組織・団体。特定非営利活動法人。非営利組織。非営利団体。市民活動法人。市民事業体。
※4 P F I	Private Finance Initiative (プライベート・ファイナンス・イニシアチブ)。民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用して、公共施設等の設計・建設・維持管理・運営を行う公共事業の手法。
※5 リードタイム	所要時間。
※6 ファシリティーマネジメント	施設の資産全般（ファシリティ）を経営資源として捉え、適正管理（マネジメント）を図りながら、総合的に企画・管理・活用する経営活動のこと。
※7 michimo	2人乗りの「超小型モビリティレンタルサービス」のこと。現在、近鉄橿原神宮前駅にレンタルステーションがある。

檀原市
第3回大和八木駅周辺地区まちづくりワークショップ
実施結果

実施日時：平成29年2月18日（土）午後1時～午後5時

場 所：大和信用金庫八木支店ビル3F第1会議室

檀原市
平成29年7月

— 目 次 —

1. ワークショップの概要.....	1
2. 第3回ワークショップの出席者とグループ分け.....	1
2.1. 参加人数.....	1
2.2. グループ分け.....	1
3. 第3回ワークショップの様子.....	2
4. 第3回ワークショップの意見.....	3
4.1. まちづくりの目指すべき姿（案）に対する意見.....	3
4.2. 大和八木駅北側.....	5
4.3. 大和八木駅南側.....	9
4.4. 今井町.....	11
4.5. 八木町・畝傍駅.....	12
4.6. 現庁舎.....	12
4.7. 飛鳥川.....	14
4.8. 共通・その他.....	14

1. ワークショップの概要

大和八木駅周辺地区のまちづくりでは、地域との協働のまちづくりに向けた取り組みのひとつとして、住民参加ワークショップを開催します。ワークショップでは、「大和八木駅周辺地区まちづくりに対する地域住民の関心及び理解を得ること」、及び「地域住民同士、意見交換を行い、出てきた意見を大和八木駅周辺地区まちづくり基本構想及び基本計画に反映すること」を主な目的とします。

また、ワークショップに参加するメンバーは一般公募とし、市のホームページ、広報誌等で広く市民に周知します。幅広い視点から、住民等が主体性をもち活発に意見交換を行える状況を整え、実施するものです。

表 1-1 ワークショップの概要

開催回数	全3回開催します。
実施時期	・第1回：平成 28 年 7 月 2 日(土) 午前 9 時～午後 5 時 ・第2回：平成 28 年 11 月 26 日(土) 午後 1 時～午後 5 時 ・第3回：平成 29 年 2 月 18 日(土) 午後 1 時～午後 5 時
参加者	・平成 28 年 7 月 2 日現在で 18 歳以上の市内在住・在勤・在学の方とします。ただし、市職員、市議会議員は除きます。
進め方	・グループ協議の進行はファシリテーターが担当し、すべての参加者が平等に発言する機会を確保することにつとめ、相反する意見がグループ内であった場合にも、どちらも尊重し、参加者が自由に意見を述べる機会を確保します。
実施内容	第1回 ・開催趣旨、ワークショップ実施概要について説明を行います。 ・現地のまちあるきで大和八木駅周辺地区の現状を確認します。 ・グループ毎に地区の課題、大和八木駅周辺地区のまちづくりの取組方針について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
	第2回 ・グループ毎で基本計画（素案）について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
	第3回 ・グループ毎で基本計画（案）について意見交換を行います。 ・グループ毎で協議した内容を発表します。
協議グループ構成	・1グループ、6～7人で構成します。
傍聴について	・すべての市民の方が聴衆として参加することができます。

1

2. 第3回ワークショップの出席者とグループ分け

2.1. 参加人数

市のホームページに平成 28 年 5 月 27 日より公募を行い、6月の広報誌にお知らせを掲載したところ、一般公募は9名でした。地域団体と学校関係者に別途声掛けを行い、参加者を募りました。参加者と当日の出席者の内訳は次のとおりでした。

表 2-1 参加者内訳

区分	参加者	当日の出席者
一般公募	9名	8名
地域団体	9名	8名
学校関係者	7名	3名
計	25名	19名

2.2. グループ分け

当日の出席者の人数から、次のとおりグループ分けを行い、全4グループとしました。

表 2-2 グループ構成

グループ	区分	当日の出席者
グループA	一般公募	3名
	地域団体	1名
	学校関係者	1名
		計5名
グループB	一般公募	2名
	地域団体	3名
	学校関係者	1名
		計6名
グループC	一般公募	2名
	地域団体	2名
	学校関係者	1名
		計5名
グループD	一般公募	1名
	地域団体	2名
	学校関係者	0名
		計3名

3. 第3回ワークショップの様子

グループ毎に分かれ、第2回ワークショップの結果を踏まえて、基本構想にまとめられた「大和八木駅北側」「大和八木駅南側」「今井町」「八木町・畝傍駅」「現庁舎」「飛鳥川」の6つのエリア毎に、基本計画作成にあたっての具体的なアイデアについて意見をもらいました。



<グループ協議の様子>



<全体の様子>

4. 第3回ワークショップの意見

「まちづくりの目指すべき姿(案)」について、ワークショップ参加者に対して、市が考えた6つのエリア毎の「まちづくりの目指すべき姿(案)」を提示し、それに対する意見をもらいました。

また、エリア別に出されたワークショップ参加者の意見を「整備の方向性・具体策」、「情報提供・ソフト施策」、「検討の進め方」に分類した上で、意見要旨としてまとめたものを次に示します。

4.1. まちづくりの目指すべき姿(案)に対する意見

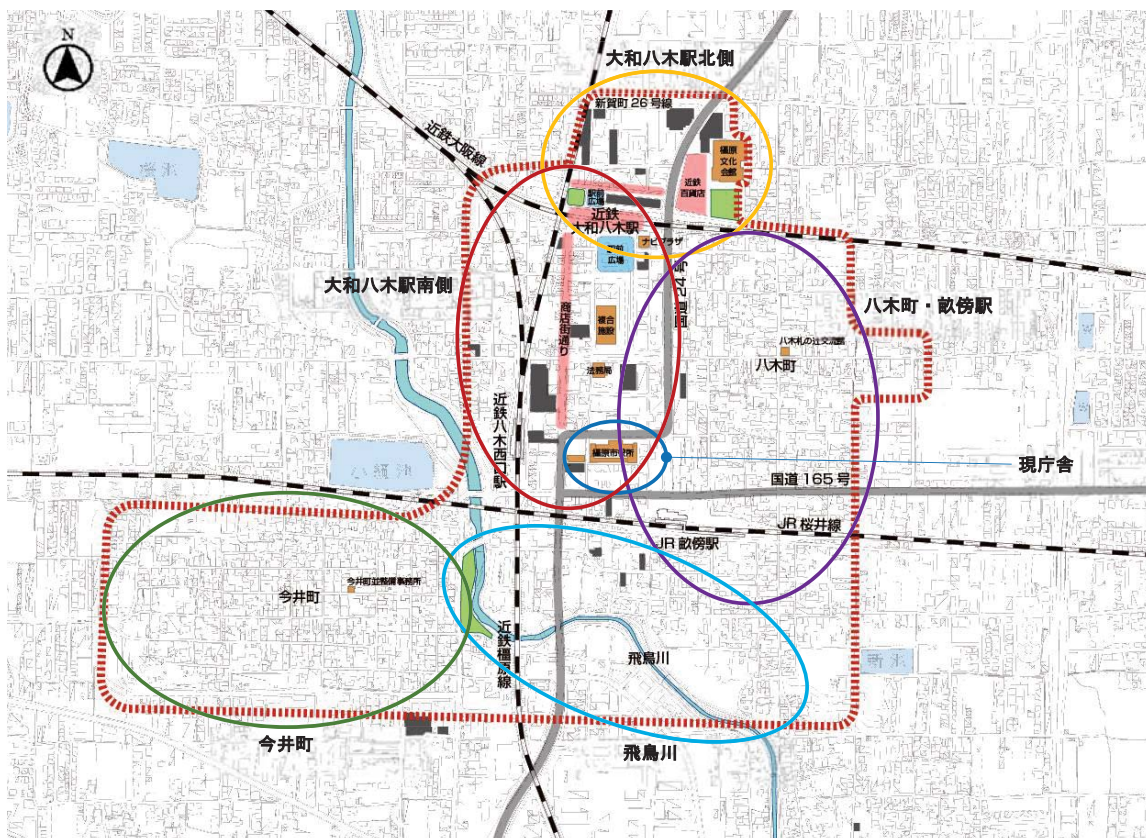
(1) まちづくりの目指すべき姿(案)

エリア名称	まちづくりの目指すべき姿(案)
①大和八木駅北側	多世代にとって便利で住みやすく、賑わいのある駅前空間
②大和八木駅南側	中南和の玄関口として賑わいのある滞在型広域観光の拠点
③今井町	伝統的な町家等の歴史的資源を生かした、魅力あるまち
④八木町・畝傍駅	観光資源やまちなみを生かした回遊性の向上と安心安全な歩行者空間の確保
⑤現庁舎	本庁舎の災害活動拠点としての役割の充足と行政機能の集約による市民サービスの向上
⑥飛鳥川	飛鳥川沿いに点在する観光資源を結ぶ、回遊ルートの形成

(2) まちづくりの目指すべき姿(案)に対する意見

エリア名称	意見要旨	グループ
①大和八木駅北側	子どもたちにとって安全・安心な駅前空間とすることで、親世代にとっても住みよいまちになる。	D
②大和八木駅南側	一息ついたり、ゆっくり休憩できる空間といった糧原で止まらせるまちの構造が必要である。	D
④八木町・畝傍駅	生活のための道路は、市民の生活道となっている下ツ道等、旧道の整備も必要である。 駅周辺の動線整備を行うことで、住みやすい便利なまちになる。	D
⑤現庁舎	災害活動拠点といった行政機能だけでなく、市民、来訪者が有効に活用できる視点が必要ではないか。	D
⑥飛鳥川	飛鳥川自体を綺麗で魅力的なものとし、広域の安全確保に繋げる視点も必要。	D
地区全体	今回提示された各エリアの目指すべき姿は、これまでの市の考え方を踏襲している。	C
	市域全体については他の計画で検討すれば良いので、今回のワークショップはエリアごとに話をするので良い。	C
	住民にとって住みやすい町を目指せば、観光客にとって来やすいまちになっていくと思うので、自然に観光客の導入につながると思う。	C

大和八木駅周辺地区の6つのエリア



4.2. 大和八木駅北側

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・具体策	駅北は南側と連携しつつ、南とは異なる「憩い」の賑わいを創出できると良い。	駅北側は南側と同様の賑わいではなく、憩いといった棲み分けが必要。	B
			棲み分けながらも、北と南の繋がりと良い。	B
		遅くまでやっているカフェやゆっくり休憩できる空間が駅周辺に整備できれば、駅、百貨店、文化会館といった点での滞在ではなく、それらが周辺と連携した面への滞在に繋がり、街の魅力が高まる。	文化会館のイベント後に滞在できる喫茶店などが文化会館や駅前にあるとよい。	A
			駅前にカフェの様なくつろいで時間を過ごせる場所が不足している。閉店が早い店が多いので、夜間は特にそういう場所がない。	A
			現状では駅、百貨店、市民会館といった点での滞在になってしまっているが、それらの拠点や周辺とが連携した面として滞在できるものが有れば賑わうのではないかと。	B
			通過する場所ではなく、樫原で過ごしたいと思わせるには、一息ついたり、ゆっくり休憩できる空間を整備し、街の魅力を高める必要がある。	D
		子供を産み育てる環境を整えることが人口増加につながると思うので、駅ナカに保育所があると良い。市外から働きに来ている人にとっても利便性が高い。	駅ナカに保育所があれば、樫原市に働きに来ている市外の住民も駅に利便性を感じるようになる。	A
			定住人口を増加させるには、産婦人科や保育園の整備など、子供を産み育てる環境を整えることが重要だ。	C
		駅近にレンタルCD・DVDショップがあったり、気軽に集える多目的スペースがあると、若者や学生にとって便利が良い。	駅のショッピングモールにレンタルCD・DVDショップがあると通勤通学時に利用できて便利である。	A
			新たな整備ではなく、既存の施設等を多目的に利用し、学生が集える場所がつけるとよい。	C
現状の駅前広場は人が溜まることができずバリアフリーにもなっていないので、中核となる駅にふさわしい、多世代交流が生まれイベントが開催できるような広場があると良い。	駅北の広場は段差があり、バリアフリーになっていない。中核となる駅にふさわしい駅前広場の整備が必要だ。	B		
	現在の広場(人の広場)は、滞在できないため人が集まらない。様々なイベントが開催でき、多世代の交流ができるような広場があると良い。イベントスペースとして活用することを考えると、作り込んだ空間ではなく、ベンチ程度が設置されていれば良いのではないかと。	C		

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・具体策	駅北にはマンションが増えて人口が増加していることを踏まえ、安全性に配慮した歩行空間や公園、住民が集える場を整備できると良い。ただ、民有地が多く、理想論だけで計画は進まないと思うので、長期的検討が必要だろう。	駅北の公園は狭く、奥まった場所にある。もっと開放感ある安全な公園が必要だ。	B
			駅北側にはマンションが多くあり、人口が増加しているエリア。しかし、細く暗い空間や、一見分かりにくい道路を通らないとそのエリアに抜けられないことが問題。人口が増えているエリアを大切に駅前再整備を進めるべき。	B
			駅北側に住む住民に向けて、集える場、留まれる場があると良い。	B
			北側の方がマンションが増えている。また、民有地で地権者がある敷地であるので、理想論だけでは形にできない。長期的な検討が必要である。	B
		通学路ともなる歩道を確保し、歩行者優先の安全で便利な空間づくりをしてほしい。	駅を利用する人は歩行者が一番多いと考えられるため、駐車場優先ではなく、歩行者に優しい空間にしてほしい。	B
			井戸の辻、畝傍駅、郵便局、八木西口駅、今井町までの道路拡張整備を急ぐ。また、大和八木駅南側、北側へ車の進入路を確保する。駅周辺は道路が狭く、進入路が少ない。歩道を確保し、低学年の子どもたちや大学生のための通学路を整備することで安全で便利なまちをめざす。	D
		大和八木駅西側の住民が駅を利用しやすくなると共に、観光客の利便性も向上すると思うので、大和八木駅の西口に改札を設けてほしい。	駅西側の住民が駅を利用しやすいよう八木駅西口に改札を新設してほしい。	A
			八木駅西口に改札ができれば、住民だけでなく来訪者も駅西側を利用しやすくなるので人の流れができるのではないかと。	A
		立体駐車場の車路を走行しやすしたり夜間や土日祝日の料金を変えるなど、使いやすくなるような対策をすれば、利用率は上がるのではないかと。	立体駐車場の車路を車が走行しやすいよう整備してほしい。そうすれば利用率が上がるのではないかと。	A
			夜間や土日休日の値段を変更するなど立体駐車場の料金体系をフレキシブルにして利用率を上げてほしい。	A
駅北直近の一等地に駐車場があるのはもったいないし、駅前広場やカフェなどを整備するスペースを確保するためには駐車場の撤去が必要になるだろう。	駅北の直近を駐車場が占めてしまっているのはもったいない。駐車場はもう少し駅から離れていても良いのではないかと。	B		
	現在の規模の駐車場は駅北側には、ぜいたくすぎると思われる。 北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道24号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。また、駐車場を撤去しないと北側にはスペースが無く、民間事業者が例えば提案としてあがっているようなカフェ等を整備する余地がない。	B B		

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・具体策		駅前に多目的に利用できる広場をつくるには、駅前の駐車場の撤去が必要だと思う。しかし、駅の近くに駐車場は不可欠なので、地下化したり、近隣に新たな駐車場を整備する必要がある。	D
		北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道24号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。	北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道24号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。また、駐車場を撤去しないと北側にはスペースが無く、民間事業者が例えば提案としてあがっているようなカフェ等を整備する余地がない。	B
		大和八木駅北側には駅前広場も駐車場も必要だと思うので、共存できる様に現在の駐車場スペースを縮小してはどうか。	大和八木駅北側には駅前広場も駐車場も必要だと思うので、共存できる様に現在の駐車場スペースを半分を縮小してはどうか。	D
		駅北の駐車場を撤去する場合は、現在の駐車場利用者が引き続き大和八木駅を利用してできるように、近隣に代替の駐車場を整備する必要がある。	駅北の駐車場を撤去する場合は、現在の利用者が引き続き大和八木駅を利用してくれる様に、近隣に代替の駐車場を整備する必要がある。	D
			駅前に多目的に利用できる広場をつくるには、駅前の駐車場の撤去が必要だと思う。しかし、駅の近くに駐車場は不可欠なので、地下化したり、近隣に新たな駐車場を整備する必要がある。	D
		駅前の駐車場がなくなると利便性が低下し、これまでの利用者が他の駅を使うようになって市外に人が流れてしまう可能性がある。駐車場が人を呼び込んでいることを認識すべきではないか。	使用可能な駐車場を活かして、広域な人の呼び込みを考える。 駐車場がなくなることの不便さも考えるべき。	B B
		駐車場の建物が使用可能な期間は使い続けた方が無駄がなくて良い。	使用可能な期間は駐車場を使用し続けた方が良い。	B
		不法駐輪が減り、街の景観の改善につながると思うので、駅北側の駐車場は駐輪場にしてはどうか。	不法駐輪が減る様に駅北側の駐車場は駐輪場にしてはどうか。街の景観の改善につながる。	C
		駅北側からの東西南北のアクセス道路を再検討する必要がある。	駅北側からの東西南北のアクセス道路を再検討すべきだ。	C
		大和八木駅北側の車の進入路は南北共に狭く、動線も悪いので改善が必要だ。	大和八木駅北側の南北共に車の進入路が狭く、動線も悪い。自転車・自動車・徒歩の動線の悪さを改善したほうがよい。立体駐車場には、市外の方が7割来られているなど利用者がいるのにわかりにくい。	D

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・具体策	北側ロータリーやアクセス道路が混雑しているので、送迎などの短時間利用者が駅前交差点の混雑を回避できる別動線をつくるなどの対策が必要だ。	ロータリーにアクセスする道路について、送迎などの短時間利用者が駅前交差点の混雑を回避できる別動線をつくってほしい。	A
			国道24号や北側ロータリーが大変混雑しているので、状況の改善が必要だ。	D
		国道24号の整備を進め、新賀町26号線から線路沿いにアクセス道路を開通させるなどの対策によって渋滞を早期に改善してほしい。近鉄百貨店の車両出入口も渋滞要因の1つになっているので、近鉄も含めた検討が必要だ。	広域の渋滞は道路計画が進まないことに要因がある。国道24号を早く整備し、駅周辺の動線を確保することで住みやすい便利なまちにしてほしい。	D
			国道24号や北側ロータリーが大変混雑しているので、状況の改善が必要だ。	D
			近鉄百貨店の車両出入口や橿原文化会館の正面側にある車両出入口が国道24号の渋滞の要因になっている。近鉄の営業日の問題も含め、県、市、近鉄で早急に対応する必要があるのではないか。	D
			国道24号の渋滞緩和のためには、新賀町26号線から線路沿いにアクセス道路を早期に開通させる必要がある。	D
			国道24号の渋滞を解消するために、大和八木駅北側の駅前空間と新賀町26号線との連絡道路は、線路沿いを通したらよい。	D
			大和八木駅北側の駅前空間と新賀町26号線との連絡道路は、線路沿いを通したらよい。	D
		駅北側の交通広場は新賀町26号線などの周辺道路とのアクセス性を高め、広域から訪れやすく、また周辺地域に行きやすいものにできると良い。	駅北側の広場は周辺道路とのアクセス性を高め、色々なところから出かけやすく、色々なところから訪れやすい広場としたい。	A
			駅北側の広場は新賀町26号線とつながる、橿原市外の地域も含めた広域から使いやすい広場としたい。	A
今の駅前、特に北側は通り抜けの道が細く、歩行者に配慮されている空間とは言い難い。バリアフリーに配慮し、安全にくつろいで歩ける駅とマンションエリアを結ぶ南北道路を整備してほしい。	今の駅前、特に北側は通り抜けの道が細く、歩行者に配慮されている空間とは言い難い。バリアフリーに配慮し、安全にくつろいで歩ける駅とマンションエリアを結ぶ南北道路を整備してほしい。	B		
国道24号の横断がスムーズになる様に、近鉄デパートへの西→東側への立体歩道橋が整備できると良い。	国道24号の横断がスムーズになる様に、近鉄デパートへの西→東側への立体歩道橋が整備できると良い。	C		

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・具体策	新賀町の交差点は交通量が多く混雑しているため、歩行者が安心して横断できるように再整備してほしい。	新賀町の交差点は交通量が多く混雑しているため、歩行者が安心して横断できるように再整備してほしい。	A
		高齢化が進み踏切事故の発生が懸念されるので、踏切をなくすためには大和八木駅から東方の近鉄線耳成駅までの高架化がされると良い。	高齢化が進み踏切事故の発生が懸念されるので、踏切をなくすためには大和八木駅から東方の近鉄線耳成駅までの高架化がされると良い。	D
	ソフト施策	人口増を目指すには、ハード対策と合わせて土地代の安い区域をつくるなどのソフト対策を行う必要がある。	動線整備といったハード対策と合わせ、土地代の安い区域をつくるなどソフト対策を合わせて行い、人口増に繋げる。	D

※一つの住民意見の中に複数の内容が含まれているため、別々の意見要旨に取り入れる場合には、どの部分を当該意見要旨に反映しているのかわかる様に、該当箇所に下線をつけています。（詳細は16ページを参照してください。）

4.3. 大和八木駅南側

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅南側	整備の方向性・具体策	図書館やカフェなども活用し、多世代が交流できる場がつくれると良い。	図書館やカフェなども活用し、多世代が交流できる場があると良い。	C
		勉強できるスペースや図書館、気軽に立ち寄れるスーパーなどが駅近にあると、学生や若者にとって利便性が高い。	現在1つだけある図書館は使いづらくアクセスも良くないので、受験生や学生が勉強できるスペースを確保できるとともに、地域の活性化に資する図書館が駅近くにあると良い。 百貨店は学生には敷居が高いので、学校帰りに気軽にに入れるスーパーがあると良い。	C C
		高齢者が気軽に集まったり、運営に携わって社会貢献できるような施設があると良い。	今は高齢者が集える場所がないので、気軽に集まれる施設があると良い。 高齢者が運営に携わったり、子供の面倒を見たりすることで貢献できる施設があると良い。	C C
		ナビプラザを情報拠点としてだけでなくもっと有効利用するために、カフェや図書館などを併設して人が溜まれる空間にしようか。	来訪者がナビプラザを使いやすいように人気のあるカフェを併設するとよい。 ナビプラザに民間のカフェやカフェ付きの図書館など、人が溜まれる空間があるとよい。	A B
			ナビプラザは駅に近いという利点があるのだから、情報拠点としてだけでなくもっと有効に活用すべきだ。遅くまで営業しているカフェを設けたり一部図書館にするなど、人が溜まれる空間があるとよい。	B

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅南側	整備の方向性・具体策	ナビプラザを駅直結にしたり、駅からのわかりやすい動線を確保することにより、来訪者への認知度が上がり、アクセスもしやすくなると思う。	インフォメーション機能のあるナビプラザを来訪者が使いやすいように駅と直結できるとよい。 駅からの動線ははっきりしない。少なくともナビプラザを活かすべき。 駅からナビプラザや新分庁舎に行きづらい。ナビプラザへ動線をむける必要がある。	A B B
		多言語対応や開館時間の延長などを行って使いやすくなることで、ナビプラザのインパクトが増し利用者が増えるのではないかと。	ナビプラザは来訪者へのインパクトが不足している。多言語にも対応できる様にして、もっと活用すべきだ。 ナビプラザ活用のためには、オープン時間を延長すると良い。	B B
		情報提供の場や土産物屋が少ない、レンタサイクルの場所がわかりにくいなど、観光地としての整備が不十分なので、大和八木駅から今井町間に土産物屋を整備したり、市所有の空地にPR※1施設を作ることができないかと。	観光地という割には土産物屋など、観光客向けの施設が少ない。ナビプラザを活用すべき。 駅南に地域のPR※1ができる場所があればよい。市所有の空き地を活用できないかと。 八木西口駅を無くして、大和八木駅から、八木西口駅、今井町までの間に土産物屋を整備する。観光客はどこで土産を購入しているのか。	B C D
	情報提供・ソフト施策	ナビプラザを中南和観光の玄関とするのであれば、周辺自治体とも連携し、積極的に中南和全体の情報を提供する必要がある。	ナビプラザの観光情報発信について、明日香や高取など周辺の自治体とも協力して強化するとよい。 ナビプラザ1Fを中南和の玄関として情報拠点とするのであれば、橿原市だけでなくもっと中南和全体の情報をアピールすべきではないかと。 観光の出発地点としての意識を持ったナビプラザの整備が重要だ。	A B B

※一つの住民意見の中に複数の内容が含まれているため、別々の意見要旨に取り入れる場合には、どの部分を当該意見要旨に反映しているのかわかる様に、該当箇所に下線をつけています。（詳細は16ページを参照してください。）

4.4. 今井町

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
今井町	整備の方向性・具体策	今井町は歴史的な町並みや車が入れない歩行者優先の街路の狭さが魅力になっているので、そういうまちのつくりを活かした展開をしていくのが良い。	今井町の街路や商業の拠点として出来上がった町並みなど歴史的なまちのつくりを活かしたい。 今井町は車が入れない街路の狭さが歩行者優先につながり、魅力になっている。そういった空間や歴史的資源を生かした展開ができるエリアだ。	A B
		市内の他の観光スポットから今井町にアクセスがしやすくなると、観光客の回遊性を増すことができるのではないかな。	今井町に他の地域からアクセスしやすくなると観光客の回遊性を増すことができる。	A
		今井町の住民が医療機関などを利用しやすいように、JRの北側から今井町にアクセスしやすくしてほしい。	今井町の住民が医療機関などを利用しやすいように、JR北側から今井町にアクセスしやすくしてほしい。	A
		情報提供ソフト施策	今井町は町内の案内所の場所がわかりにくい、パンフレットを入手できる場所が少ないなど、訪れる観光客への情報提供が不十分なので、もっと充実させる必要がある。 案内所が今井町の中にあり、わかりにくい。観光地にしていくなら、もっと前面にアピールすべき。	B B
	進め方の検討	今井町と八木町が共同してイベントを開催すると良い。今井町と八木町では知名度の差があるので、今井町と一緒にイベントをやることで八木町の知名度アップにつながるのではないかな。	今井町と八木町が共同してイベントを開催するとよい。今井町と八木町では知名度の差があるので、今井町と一緒にイベントをやることで八木町の知名度アップにつながるのではないかな。	A
		今井町の住民の中には観光地化を望まない人もいると聞くので、観光振興を積極的に進めるのであれば、しっかり調整して軋轢がなくなるようにする必要がある。	住民がいる今井町で観光を押しでも良いものか。住民と街並み保存会との間に軋轢があるとも聞くので、しっかりと現場と調整された体制づくりが重要と考える。 今井町の自治会やまちなみ保存会と、観光振興の和合ができていないのはなぜか。今井町の住民の方は、観光地化を望んでいない。	B B

4.5. 八木町・畝傍駅

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
八木町・畝傍駅	整備の方向性・具体策	若者が飲食業などの事業を始めやすいような支援を空き家の活用などを通じてできると良い。	事業を始めるためのフォローがあれば始めてくれる人がいるはず。若者が飲食業などの事業を始めやすいような支援を空き家の活用などを通じてできると良い。	B
		JR沿線は畑ばかりで住宅がないが、そこを安く宅地化することで人口増加につなげられないかな。	JR沿線は畑ばかりで住宅がないが、そこを安く宅地化することで人口増加につなげられないかな。	D
		畝傍駅を観光客や地元若者を呼び込める場所に、認知度を高めるためには、ハード、ソフト両面の整備が必要だ。	畝傍駅を観光資源として認知、活用させるための方法や管理体制を考えてほしい。	A
			畝傍駅はきちんと整備すれば観光資源になる。	B
		JR桜井線を利用してイオンモール樺原に来ている若者を、畝傍駅に呼び込めるようなハード、ソフト両面の整備が必要だ。	JR桜井線を利用してイオンモール樺原に来ている若者を、畝傍駅に呼び込めるようなハード、ソフト両面の整備が必要だ。	D
下ツ道などの旧道は市民の生活のための道路として重要なので、整備が必要である。	下ツ道などの旧道は市民の生活のための道路として重要なので、整備が必要である。	D		

4.6. 現庁舎

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
現庁舎	整備の方向性・具体策	パスポート発行や社会保険事務所での手続きができる窓口など、行政サービスを充実させて利便性を向上させてほしい。	樺原市内でパスポート発行や社会保険事務所での手続きができるようにするなど、行政サービスを充実させて利便性を向上してほしい。	A
		庁舎に用事がなくても気軽に立ち寄り、自由な時間が過ごせる様に、図書館やWi-Fi※2を整備したフリースペース、屋上農園などの機能を複合できると良い。	庁舎機能だけでなく、図書館や郵便局等、市民のための機能を入れた複合的な庁舎にする。	B
			用事がなくとも気軽に立ち寄れるように、他の機能を複合させたりオープンスペースを設けられると良い。	C
			市庁舎の屋上に畑があれば良い。	C
			学生が集まれるように、フリースペースを作ってテーブル、椅子、PCを設置したり、Wi-Fi※2の整備ができると良い。100円程度の安価な健康茶が地元で開発できないかな。	C
新庁舎には、市民、来訪者が活用できる図書機能を併せもったサロンのような空間があると良い。	新庁舎には、市民、来訪者が活用できる図書機能を併せもったサロンのような空間があると良い。	D		

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
現庁舎	整備の方向性・具体策	定住人口を増やすことを目指し、子育て世代が暮らしやすくなる様に保育園などの子育て支援施設を複合してはどうか。駅近の保育施設が足りない状況が改善できる。	定住人口を増やすためには子育て世代が暮らしやすいように、子育て支援を充実する必要がある。駅近の保育施設が足りない状況を改善してほしい。	A
		PFI※3手法を使って他の機能を複合するとかえって市の財政負担が増えるのではないかと。庁舎にはこれまでどおり役所の機能だけで十分だと思う。	八木駅南のホテルと庁舎の複合施設のように、PFI※2で実施すると結局のところ市の財政負担が増えるのではないかと。PFI※3手法を用いずふつうの機能の庁舎としてほしい。	B
		災害時の防災拠点としての機能向上のためには、ヘリポートが整備されると良い。	災害時の防災拠点としての機能向上を目指し、ヘリポート(併用を想定)が整備されればよい。	C
		現状では市庁舎の駐車場が分散しているが、集約して効率性を向上したら良い。	現状では市庁舎の駐車場が分散しているが、集約して効率性を向上したら良い。	C
		新庁舎と分庁舎を利用しやすいよう、歩行者デッキでつなぐとよい。	新庁舎と分庁舎を利用しやすいよう、歩行者デッキでつなぐとよい。	A
		一方通行にして流れを良くするなど、新庁舎の周辺道路の混雑を回避する計画をつくってほしい。	新庁舎の周辺道路は、一方通行にして流れを良くするなど混雑を回避する計画をつくってほしい。	A
		庁舎の一等地は行政の施設に使うのではなく、有効活用すべきである。新庁舎が現地建て替えであるならば、分庁舎の中に入っていた機能を、新庁舎に戻し、分庁舎の空間を有効活用すべき。	庁舎の一等地は行政の施設に使うのではなく、有効活用すべきである。新庁舎が現地建て替えであるならば、分庁舎の中に入っていた機能を、新庁舎に戻し、分庁舎の空間を有効活用すべき。	D
	50年で建替えるのではなく、長期間使用できる庁舎であるべきだ。	50年で建替えるのではなく、長期間使用できる庁舎であるべき。	B	
	進検め討の方	新技術を活用し、国の補助金を使用しながら、庁舎が整備されればよい。	新技術を活用し、国の補助金を使用しながら、庁舎が整備されればよい。	C
		もっと新庁舎に関する情報を市民に伝え、様々な方法で市民の意見を聞いた上で計画を進めるべきではないかと。	新庁舎について、パブリックコメント、アンケートだけではなくもっと市民の意見を聞くべきではないかと。	B
			新庁舎は災害拠点となるという具体的なイメージがわからない。新庁舎の整備を広く、市民に広報すると良い。	B
			行政からの情報発信を強化すると良い。	B

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
現庁舎	進検め討の方	イベントなどに学生などの若者の意見を反映させ、活性化につながられる様に、学生と企業・地元との連携が図れるような部署があれば良い。	イベントなどに学生などの若者の意見を反映させ、活性化につながられる様に、学生と企業・地元との連携が図れるような部署があれば良い。	C

4.7. 飛鳥川

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
飛鳥川	整備の方向性・具体策	桜並木を生かした遊歩道や自転車道を川沿いに全体に整備できれば、来訪者にとって魅力的な観光ルートとなると共に、市民も活用できるので良い。	桜並木を活かした散歩・観光ルート設定があるとよい。	A
			魅力ある歩道、自転車道の整備など、一部だけでなく、全体的な観光ルート整備ができるとうよい。	B
			飛鳥川沿いの自転車道をきれいに整備してほしい。綺麗で使いやすい自転車道になることは、市民にも来訪者にも活用してもらえることに繋がる。	D
	飛鳥川の護岸整備や水質改善を進め、景観や生活の安全性に配慮した川にしてほしい。	飛鳥川を本来の美しい川に戻す。景観に配慮された川ということは、護岸整備や水質改善により、広域的に住民の生活を守ることに繋がる。	D	

4.8. 共通・その他

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
共通・その他	整備の方向性・具体策	まち全体を考えた機能の整備計画がないため、重複したものがあ一方足りないものも出てきている。駅の南北や西側までも一体に考えて計画することが重要だ。	まち全体を考えた機能の整備計画がないため、重複したものがあ一方足りないものも出てきている。一貫性のある整備計画をつくり、それを共有することが重要だ。	A
			駅の北側だけでなく南側、西側も一体につながりを考えてまちづくりを考えるべき。	B
		樞原市は地価が高くなかなか定住者が増えないが、人口増加のためには居住の面だけでなく、働く場所を増やすことも必要ではないかと。	樞原市は地価が高く、なかなか定住しない。人口アップのためには働く場所を増やすことも必要ではないかと。	D
		地域が活性化するためには多方面からの人の流れを作り、地域にお金が落ちる様にする必要があるが、今はそれができていない。大和八木駅から八木西口駅、今井町までに土産物売店を整備できると良い。	地域活性化のためには地域にお金を落とす必要があるが、現状では大和八木駅から八木西口駅、今井町までに土産物売店がない。多方面からの人の流れを受け入れるためにも、整備できると良い。	D

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
共通・その他	整備の方向性・具体策	将来的には新市庁舎が完成して車の流れが変わったり、交通手段が変化することが考えられる。そういった10年、20年後の交通環境の変化を見据えて、道路、駅前ロータリー、駐車場などの整備を考える必要があるのではないか。	新庁舎完成後に、車の流れの変化を見たとで道路の整備が必要ではないか。	B
			10年、20年後には交通環境も変わってくると思うので、将来のニーズを見据えて駅前のロータリー、駐車場などの整備を考える必要があるのではないか。	B
		学生や子ども達の安全性に配慮して、畝傍駅から今井町への東西道路と大和八木駅から医大までの道路を整備する必要がある。	畝傍駅から今井町への東西と、大和八木駅から医大までの道路整備が進んでいない。特に学生や子ども達のために必要である。	D
			畝傍駅から今井町への道路が整備されれば相互にアクセスしやすくなるので畝傍駅前通りを全て整備してほしい。	A
		畝傍駅から今井町への道路が整備されれば相互にアクセスしやすくなるので、井戸の辻、畝傍駅、郵便局、八木西口駅、今井町までの畝傍駅前通りの道路拡張整備を早期にする必要があるのではないか。	井戸の辻、畝傍駅、郵便局、八木西口駅、今井町までの道路拡張整備を急ぐ。また、大和八木駅南側、北側へ車の進入路を確保する。駅周辺は道路が狭く、進入路が少ない。歩道を確保し、低学年の子どもたちや大学生のための通学路を整備することで安全で便利なまちをめざす。	D
		大和八木駅南側、北側へ車の進入路を確保する。駅周辺は道路が狭く、進入路が少ない。	井戸の辻、畝傍駅、郵便局、八木西口駅、今井町までの道路拡張整備を急ぐ。また、大和八木駅南側、北側へ車の進入路を確保する。駅周辺は道路が狭く、進入路が少ない。歩道を確保し、低学年の子どもたちや大学生のための通学路を整備することで安全で便利なまちをめざす。	D
	まちの景観に統一感がないので、テーマを設定してそれを共有し、まちのバラバラな印象をなくしたい。	まちの景観に統一感がないので、テーマを設定してそれを共有し、まちのバラバラな印象をなくしたい。	A	

※一つの住民意見の中に複数の内容が含まれているため、別々の意見要旨に取り入れる場合には、どの部分を当該意見要旨に反映しているのかわかる様に、該当箇所に下線をつけています。（詳細は16ページを参照してください。）

※一つの住民意見の中に複数の内容が含まれているため、別々の意見要旨に取り入れる場合には、どの部分を当該意見要旨に反映しているのかわかる様に、該当箇所に下線をつけています。

例：住民意見：北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道24号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。また、駐車場を撤去しないと北側にはスペースが無く、民間事業者が例えば提案としてあがっているようなカフェ等を整備する余地がない。
⇒この住民意見については、2つの意見要旨に反映しています。

エリア	方策等	意見要旨	住民意見	グループ
大和八木駅北側	整備の方向性・具体策	駅北直近の一等地に駐車場があるのはもったいないし、駅前広場やカフェなどを整備するスペースを確保するためには駐車場の撤去が必要になるだろう。	北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道24号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。また、駐車場を撤去しないと北側にはスペースが無く、民間事業者が例えば提案としてあがっているようなカフェ等を整備する余地がない。	B
		北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道24号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。	北側の立体駐車場を撤去しない場合には、国道24号から北側駅前広場へ出入する車が増えて、南側に至る交通にも影響を及ぼす。また、駐車場を撤去しないと北側にはスペースが無く、民間事業者が例えば提案としてあがっているようなカフェ等を整備する余地がない。	B

注釈

- ※1 PR Public Relations の略。①会社や官公庁などが事業内容や施策などを一般的に広く知らせること。②売り込み、宣伝。
- ※2 Wi-Fi Wireless Fidelity の略。無線でLAN（建物内やフロア内といった狭い範囲にあるコンピューター等で構築されたネットワーク）に接続し、インターネットを利用できる環境。
- ※3 PFI Private Finance Initiative の略。民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用して、公共施設等の設計・建設・維持管理・運営を行う公共事業の手法。

参考資料③ 大和八木駅前広場利用状況等アンケート実施結果

目次

1. 利用状況等アンケートの概要	2
a. 調査の目的	2
b. 調査方法	2
c. 調査票の配布及び回収結果	2
d. 本調査を行うにあたって	2
2. アンケート調査票	3
3. 調査結果	9
a. 回答者属性	9
b. アンケート調査内容	13
c. 利用経路について	41
d. まとめ	48

1. 利用状況等アンケートの概要

a. 調査の目的

大和八木駅の利用状況を把握し、北側駅前広場の整備内容の参考資料として活用することを目的とする。

b. 調査方法

(ア) 調査場所：大和八木駅北側駅前広場、大和八木駅南側駅前広場

(イ) 調査対象：大和八木駅北側駅前広場利用者、大和八木駅南側駅前広場利用者※

※「大和八木駅北側駅前広場利用者」、「大和八木駅南側駅前広場利用者」については、本資料では本アンケート配布当日の利用者を指す。

(ウ) 調査方法：駅前広場で一時駐車している運転主に手配り・郵送回収

(エ) 調査期間：(平成 29 年 4 月 26 日 7 時～9 時・12 時～14 時・18 時～22 時)

(オ) 回答期限 (平成 29 年 5 月 8 日)

c. 調査票の配布及び回収結果

(ア) 標本数： 配布 大和八木駅北側駅前広場利用者：575 枚
大和八木駅南側駅前広場利用者：400 枚
合計 975 枚

戻り分 大和八木駅北側駅前広場利用者：186 枚
大和八木駅南側駅前広場利用者：131 枚
合計 317 枚

(イ) 回収率：32.5%

d. 本調査を行うにあたって

(ア) 調査結果の数値は、原則としてパーセンテージ(%)で表記した。%値の母数は、原則としてその質問に対する回答者数である。

(イ) 図表中の選択肢の内容について、一部省略している場合がある。また、図の一部において、構成比の少ない項目の構成比の値を省略している場合がある。

(ウ) 調査結果の数値をパーセンテージ(%)で表記する際に、四捨五入しているため合計が100%とならない場合がある。

(エ) 調査結果において、クロス集計を行った項目については、一方の項目が無回答であった場合は、集計対象から除いた。

2. アンケート調査票

大和八木駅南側駅前広場

大和八木駅前広場利用状況等

アンケート調査回答用紙

問1 年齢について教えてください。

- ①18歳～19歳 ②20歳～29歳 ③30歳～39歳 ④40歳～49歳
 ⑤50歳～59歳 ⑥60歳～69歳 ⑦70歳～74歳 ⑧75歳以上

問2 性別を教えてください。

- ①男 ②女

問3 お住まいの町名を教えてください。(橿原市外の方は市町村名のみで結構です。)

橿原市内

(橿原市 _____ 町 _____ 丁目)

橿原市外

(_____ 市・町・村)

問4 お車による送迎などで大和八木駅北側駅前広場と大和八木駅南側駅前広場のどちらを多くご利用されますか。また、その理由を教えてください。

- ①大和八木駅北側駅前広場 ②大和八木駅南側駅前広場

理由 (複数回答可能)

- i 家から大和八木駅への最短時間の道順となる広場のため
 ii 渋滞しない道を通ることができるため
 iii 送迎の際に乗り降りしやすいため
 IV 送迎してもらおう方の目的施設に近い広場のため
 V 大和八木駅からの次の目的地に向かいやすい広場のため
 VI その他 (_____)



裏面に続きます。

問5-1 どのようなご用件で大和八木駅前広場にお車で来られることが多いですか。

①大和八木駅及び駅周辺施設への送迎 ⇒問5-2へ

②送迎以外のご用件 ⇒問5-3へ

問5-2 問5-1で①を選択した方にお聞きします。送迎してもらう方のご用件で多いものを教えてください。次の項目より選んでください。(複数回答可能)

①大和八木駅 (通勤・通学・お出かけ等)	②塾等、習い事 (大和八木駅周辺)
③飲食店・小売店 (大和八木駅周辺)	④銀行 (大和八木駅周辺)
⑤医療施設 (大和八木駅周辺)	⑥近鉄百貨店橿原店
⑦かしはらナビプラザ	⑧その他 ()

問5-3 問5-1で②を選択した方にお聞きします。大和八木駅前広場に車で来られるご用件で多いものを次の項目より選んでください。(複数回答可能)
また、その際に駐車場をご利用されますか。

①大和八木駅 (通勤・通学・お出かけ等)	②飲食店・小売店 (大和八木駅周辺)
③銀行 (大和八木駅周辺)	④医療施設 (大和八木駅周辺)
⑤近鉄百貨店橿原店	⑥かしはらナビプラザ
⑦荷物の積み下ろし	⑧その他 ()

上記のご用件の際に

- i 市営八木駅前北駐車場を利用する。 ii 市営八木駅前南駐車場を利用する。
iii その他の駐車場を利用する。 iv 駐車場を利用しない。

問6 何時くらいに大和八木駅前広場にお車で来られることが多いですか？

(複数回答可能)

(AM ・ PM 時 分くらい)

(AM ・ PM 時 分くらい)

次ページに続きます。

問7 1週間に何回くらい大和八木駅前広場にお車で来られますか？

(例えば、1週間に1日だけ大和八木駅への朝の送りと夕方の迎えをされた場合は、2回となります。)

(_____ 回くらい)

問8 大和八木駅北側駅前広場に必要だと思われる項目を次の中から選択してください。(複数回答可能) また、大和八木駅前広場について自由なご意見をお聞かせください。

- ①送迎時に乗り降りしやすい一般乗降スペース
- ②短時間駐車スペース
- ③バリアフリーに対応した歩行者通路
- ④自転車と歩行者の安全な通行
- ⑤国道24号線以外から大和八木駅北側駅前広場につながる新しい道路
- ⑥イベント実施できる広場またはオープンスペース
- ⑦広場内にオープンカフェなどのくつろぎにぎわい施設
- ⑧その他 (_____)

大和八木駅北側駅前広場への自由意見 (ご不便に感じられていること等)

(_____)

大和八木駅南側駅前広場への自由意見 (ご不便に感じられていること等)

(_____)

問9 出発地 (ご自宅等) から問4でご回答いただいた側の大和八木駅前広場までの道順と、大和八木駅前広場から出発地にもどる、または次の目的地への道順を地図にわかりやすく矢印をつけてご記入ください。(裏面の地図で記載できる範囲で結構です。) なお、出発地や次の目的地がご自宅ではない場合はその所在地を教えてください。

※ページ5、6に記入例がございますのでご参照ください。

裏面に続きます。

道順の記入

(問9) (下記地図で記載できる範囲で結構です。)

出発地	大和八木駅前広場	次の目的地
① 自宅	➡	① 自宅
② その他(職場等)		② その他(職場等)
橿原市 町 丁目 市・町・村		橿原市 町 丁目 市・町・村

☆印は大和八木駅前広場の位置を示しています。



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、アンケート調査回答用紙と一緒に渡しました、返信用封筒に入れて、平成29年5月8日(月)までに郵便ポストにご投函ください。

道順の記入例 (大和八木駅北側駅前広場ご利用の場合)

出発地	大和八木駅前広場	次の目的地
① 自宅		① 自宅
② その他(職場等)		② その他(職場等)
橿原市 _____ 町 _____ 丁目 _____ 市・町・村	→	橿原市 久米町 _____ 丁目 _____ 市・町・村

☆印は大和八木駅前広場の位置を示しています。



道順の記入例 (大和八木駅南側駅前広場ご利用の場合)

出発地		大和八木駅前広場	次の目的地	
① 自宅			① 自宅	
② その他(職場等)		② その他(職場等)		
橿原市	町 丁目		橿原市 十市 町 丁目	
	市・町・村		市・町・村	

☆印は大和八木駅前広場の位置を示しています。



3. 調査結果

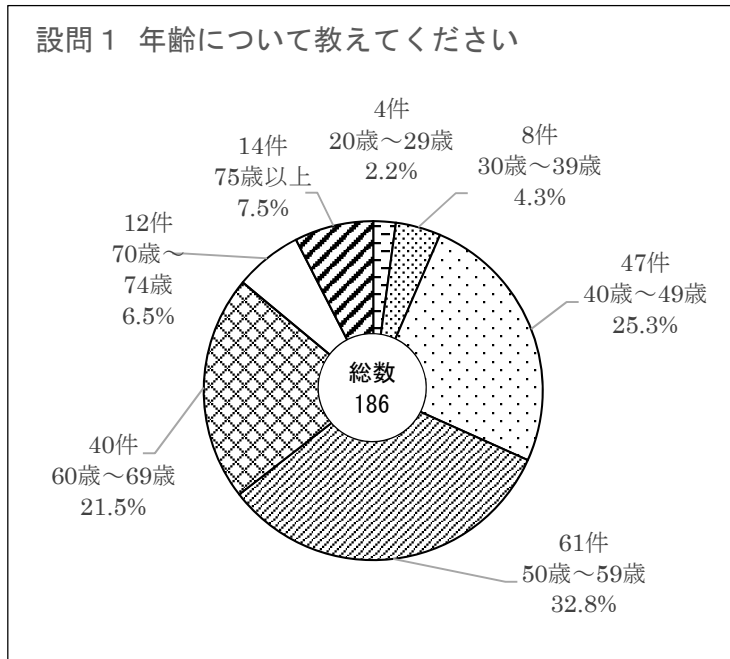
以下に、回答者属性及び各質問の結果を示す。

a. 回答者属性

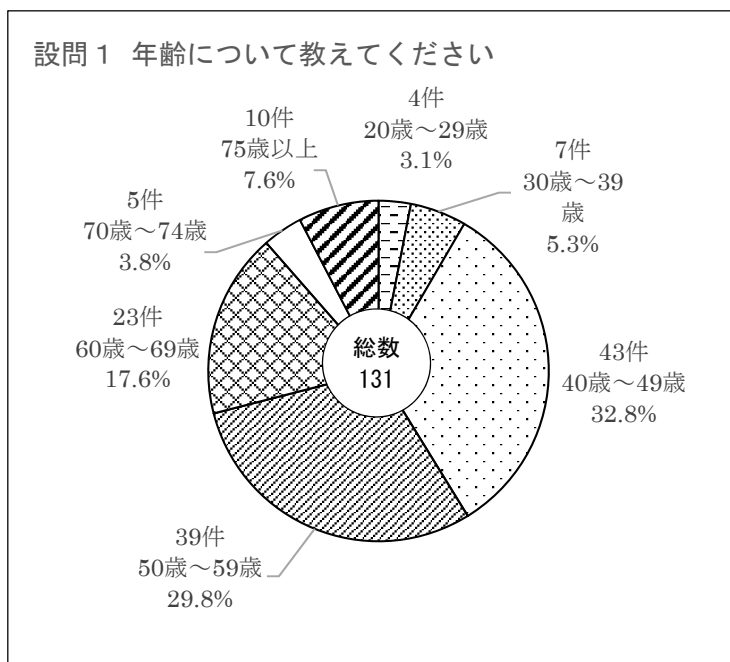
(ア) 年齢

北側については、50～59 歳が 32.8%と最も多く、南側については 40～49 歳が 32.8%と最も多かった。北側、南側共に、20～29 歳の割合は全体の 3%程度と少なかった。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者



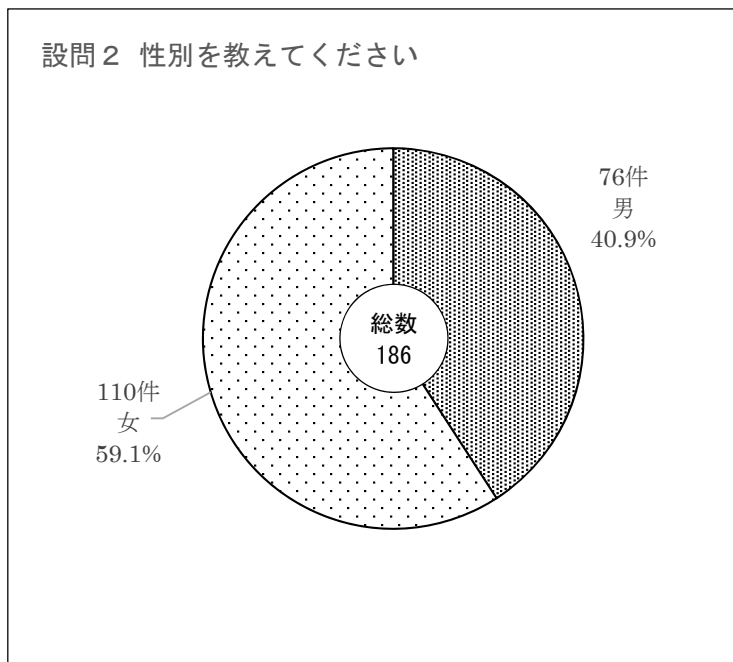
■ 大和八木駅南側駅前広場利用者



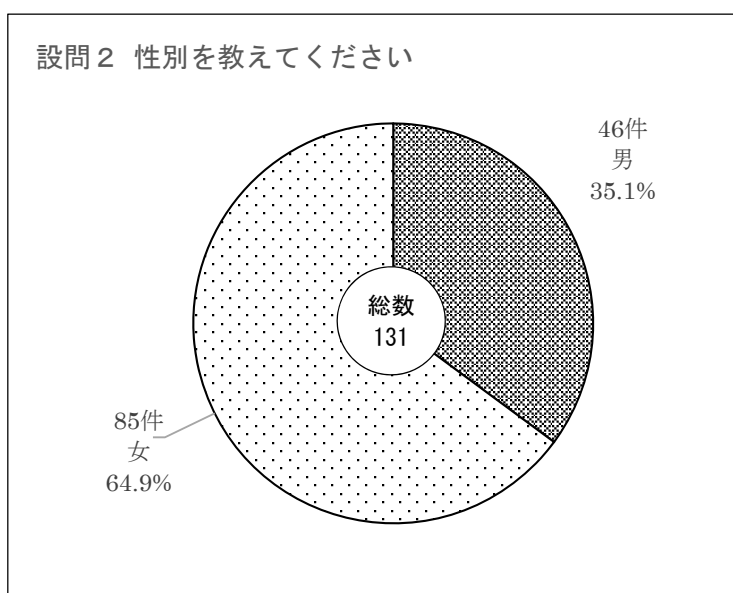
(イ) 性別

女性の利用割合が高く、北側は **59.1%**、南側は **64.9%**であった。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者



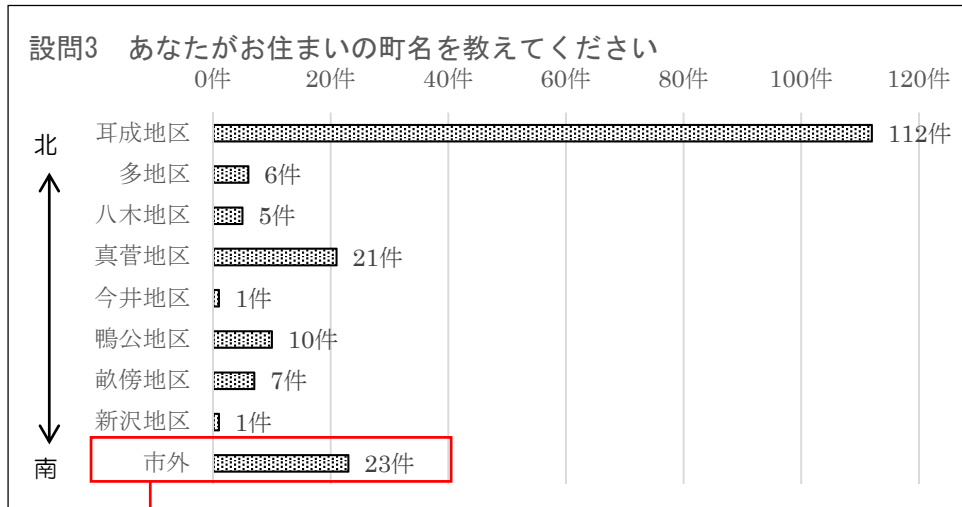
■ 大和八木駅南側駅前広場利用者



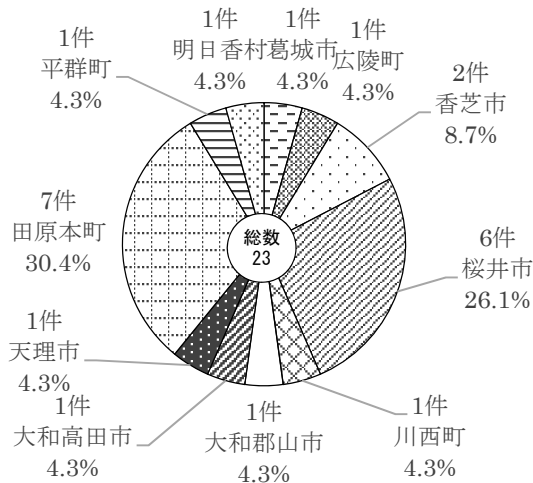
(ウ) 居住地域

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者

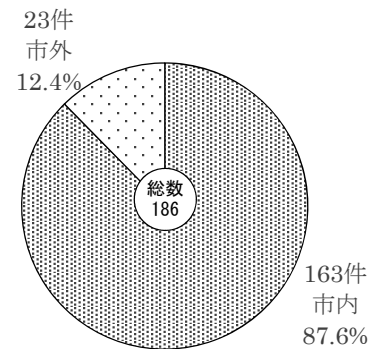
北側駅前広場の利用者は、地区別では耳成地区が、町別では葛本町が最も多かった。



あなたのお住まい（市外）



参考 市内・市外居住者の割合

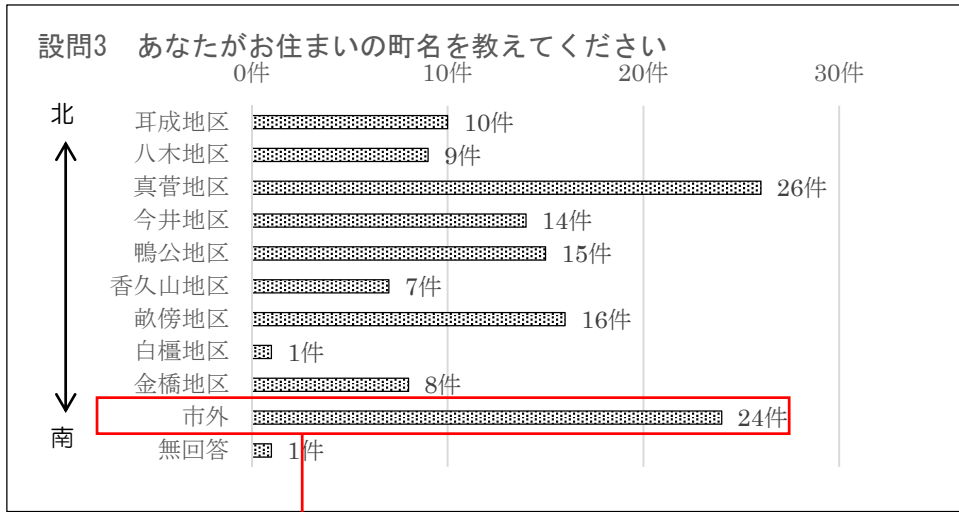


地区名	町名
耳成地区(112)	十市町(6)、太田市町(3)、中町(7)、東竹田町(3)、上品寺町(13)、葛本町(33)、常盤町(7)、新賀町(11)、木原町(20)、山之坊町(9)、石原田町(0)
多地区(6)	西新堂町(0)、新口町(6)
八木地区(5)	内膳町(3)、北八木町(1)、八木町(0)、南八木町(1)、小房町(0)
真菅地区(21)	飯高町(2)、大垣町(1)、小棚町(0)、中曾司町(2)、土橋町(2)、豊田町(6)、北妙法寺町(4)、曾我町(4)、地黄町(0)、五井町(0)、寺田町(0)、慈明寺町(0)、大谷町(0)
今井地区(1)	小綱町(1)、今井町(0)、兵部町(0)
鴨公地区(10)	醍醐町(8)、法花寺町(0)、高殿町(0)、縄手町(2)、飛騨町(0)、別所町(0)、上飛騨町(0)
香久山地区(0)	出合町(0)、出垣内町(0)、膳夫町(0)、下八釣町(0)、東池尻町(0)、木之本町(0)、南浦町(0)、戒外町(0)、南山町(0)
畝傍地区(7)	四条町(1)、四分町(0)、山本町(0)、大久保町(0)、吉田町(0)、畝傍町(0)、御坊町(0)、栄和町(0)、城殿町(0)、田中町(0)、西池尻町(0)、久米町(0)、和田町(0)、石川町(0)、大軽町(0)、菖蒲町(3)、鳥屋町(0)、見瀬町(2)、南妙法寺町(0)、五条野町(1)
白檀地区(0)	白檀町(0)
金橋地区(0)	曲川町(0)、忌部町(0)、新堂町(0)、雲梯町(0)、東坊城町(0)、古川町(0)
新沢地区(1)	光陽町(0)、川西町(1)、一町(0)、北越智町(0)、観音寺町(0)

※()内は件数を表す。

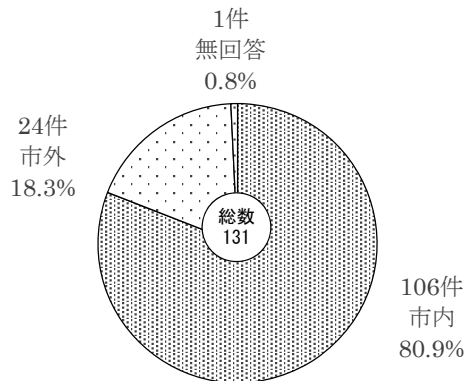
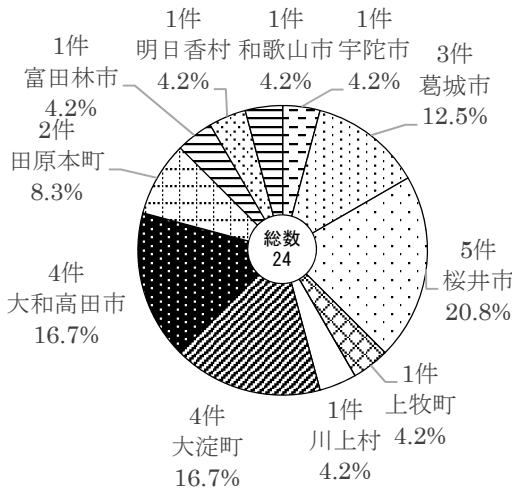
■ 大和八木駅南側駅前広場利用者

南側駅前広場の利用者は、地区別では真菅地区が、町別では曾我町が最も多かった。



あなたのお住まい（市外）

参考 市内・市外居住者の割合



地区名	町名
耳成地区(10)	十市町(0)、太田市町(0)、中町(0)、東竹田町(0)、上品寺町(0)、葛本町(2)、常盤町(0)、新賀町(1)、木原町(1)、山之坊町(3)、石原田町(3)
多地区(0)	西新堂町(0)、新口町(0)
八木地区(9)	内膳町(3)、北八木町(1)、八木町(2)、南八木町(1)、小房町(2)
真菅地区(26)	飯高町(0)、大垣町(0)、小槻町(0)、中曾司町(2)、土橋町(0)、豊田町(2)、北妙法寺町(2)、曾我町(12)、地黄町(4)、五井町(0)、寺田町(0)、慈明寺町(4)、大谷町(0)
今井地区(14)	小綱町(5)、今井町(9)、兵部町(0)
鴨公地区(15)	醍醐町(11)、法花寺町(0)、高殿町(1)、縄手町(3)、飛驒町(0)、別所町(0)、上飛驒町(0)
香久山地区(7)	出合町(1)、出垣内町(0)、膳夫町(2)、下八釣町(0)、東池尻町(0)、木之本町(0)、南浦町(3)、戒外町(1)、南山町(0)
畝傍地区(16)	四条町(6)、四分町(1)、山本町(0)、大久保町(1)、吉田町(0)、畝傍町(0)、御坊町(0)、栄和町(0)、城殿町(0)、田中町(0)、西池尻町(2)、久米町(1)、和田町(0)、石川町(1)、大軽町(0)、菖蒲町(4)、鳥屋町(0)、見瀬町(0)、南妙法寺町(0)、五条野町(0)
白檀地区(1)	白檀町(1)
金橋地区(8)	曲川町(3)、忌部町(0)、新堂町(0)、雲梯町(5)、東坊城町(0)、古川町(0)
新沢地区(0)	光陽町(0)、川西町(0)、一町(0)、北越智町(0)、観音寺町(0)

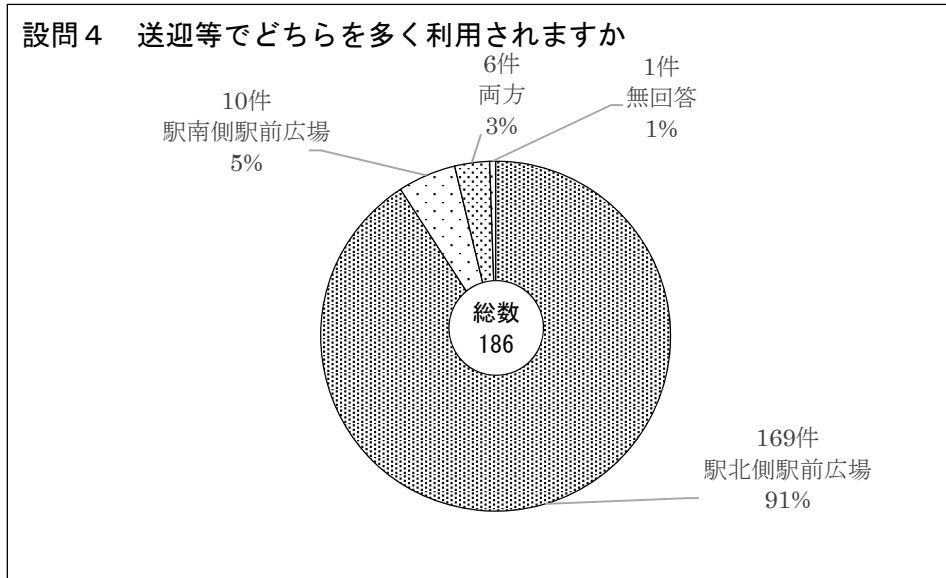
※()内は件数を表す。

b. アンケート調査内容

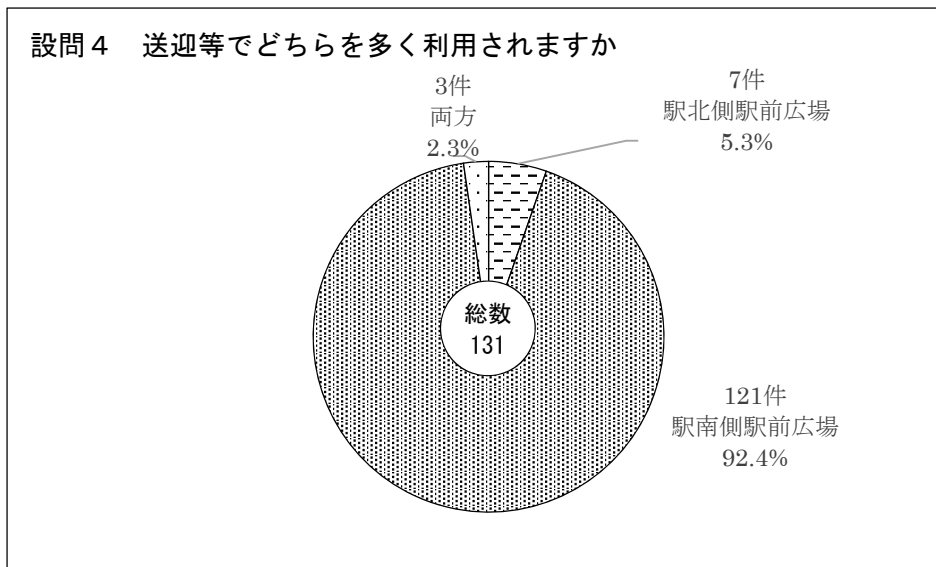
(ア) 北側または南側の利用

北側の利用者は、北側の駅前広場を利用する頻度が高く、南側の利用者は、南側の駅前広場を利用する頻度が高い結果となった。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者



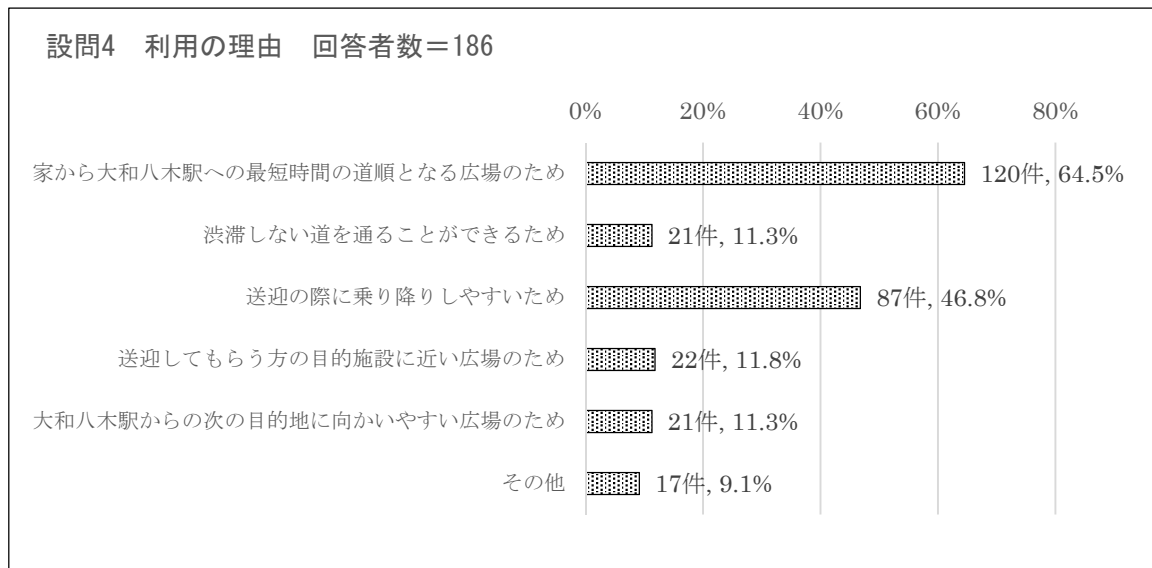
■ 大和八木駅南側駅前広場利用者



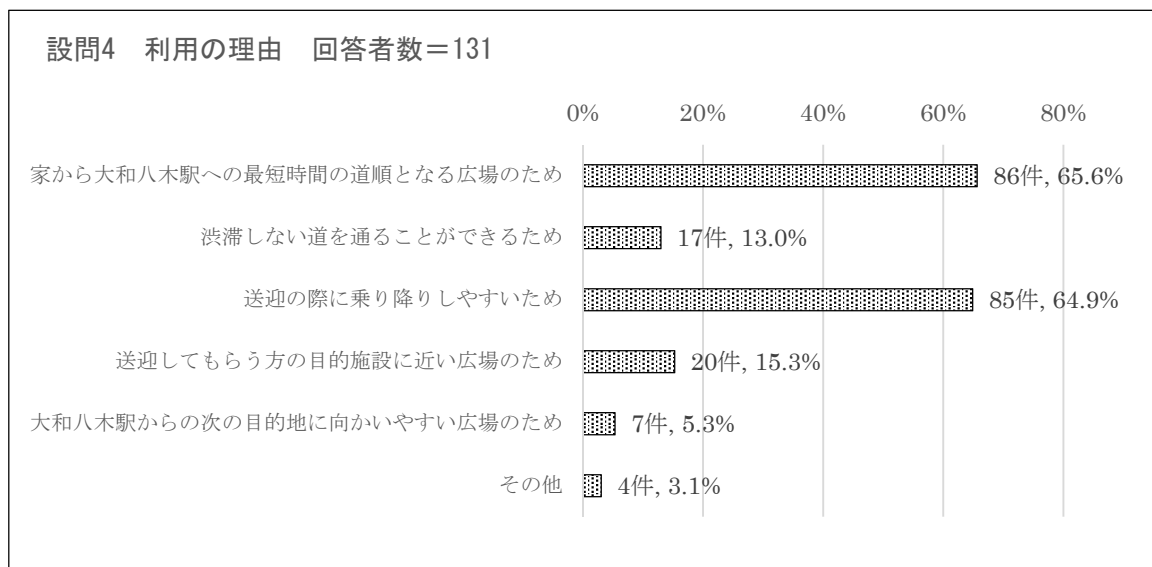
(イ) 利用の理由（複数回答）

駅前広場を利用する理由については、北側の利用者は、「家から大和八木駅への最短時間の道順となる広場のため」という理由が最も多く、南側の利用者は、「家から大和八木駅への最短時間の道順となる広場のため」という理由と、「送迎の際に乗り降りしやすいため」という理由が同程度に多い結果となった。一方、北側については、「送迎の際に乗り降りしやすいため」という理由を選択した割合が**46.8%**で半分に満たない結果となった。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者



■ 大和八木駅南側駅前広場利用者



■ 設問4 利用の理由 その他意見（大和八木駅北側駅前広場利用者）

1	今まで南側の乗降場を利用していたが、南側へ通じる道がせまく、車が大きくなったので最近では北側を利用している。
2	そっち方面からくるため
3	南側は信号が多いため時間がかかる
4	雨の日、娘の出勤、帰宅
5	ナビでそこが目的地として出た
6	待ちやすい
7	北側の銀行利用時
8	※ i の理由補足 北側の方が右折で車が通りやすいのと信号待ちが南側より少ないので
9	電車を毎日利用する者を送迎するため、車でやる。
10	子供の習い事のため
11	南側は駐車しにくい
12	北側駐車場を月極めで借りている為
13	昔からなれているから
14	車の駐車スペースが北側よりも広い為
15	近いから
16	銀行利用
17	送る方は北側、迎える方は南側（待機場所があり広いから）
18	※（i の理由補足）家から近い為
19	※（補足）送り→北側 迎え→南側を利用
20	長時間の場合は南側に行くが、短時間の場合は南側の中まで入るのが面倒

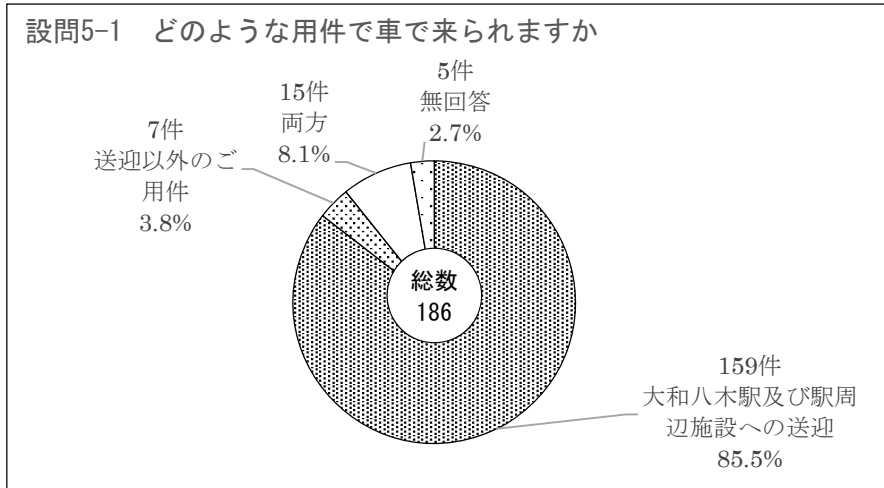
■ 設問4 利用の理由 その他意見（大和八木駅南側駅前広場利用者）

1	北側より南側の方が乗り降りしやすい
2	幹線道路を通る
3	家が南なので駅を越して北側へはあまりいかない
4	主要駅として利用する為

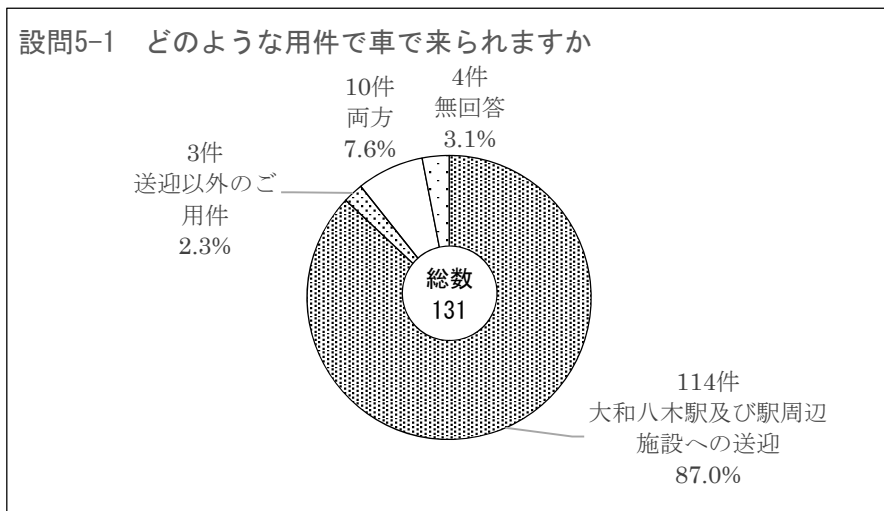
(ウ) 利用の用件

北側、南側共に、利用の用件は大和八木駅及び駅周辺施設への送迎が主な用件であることがわかった。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者



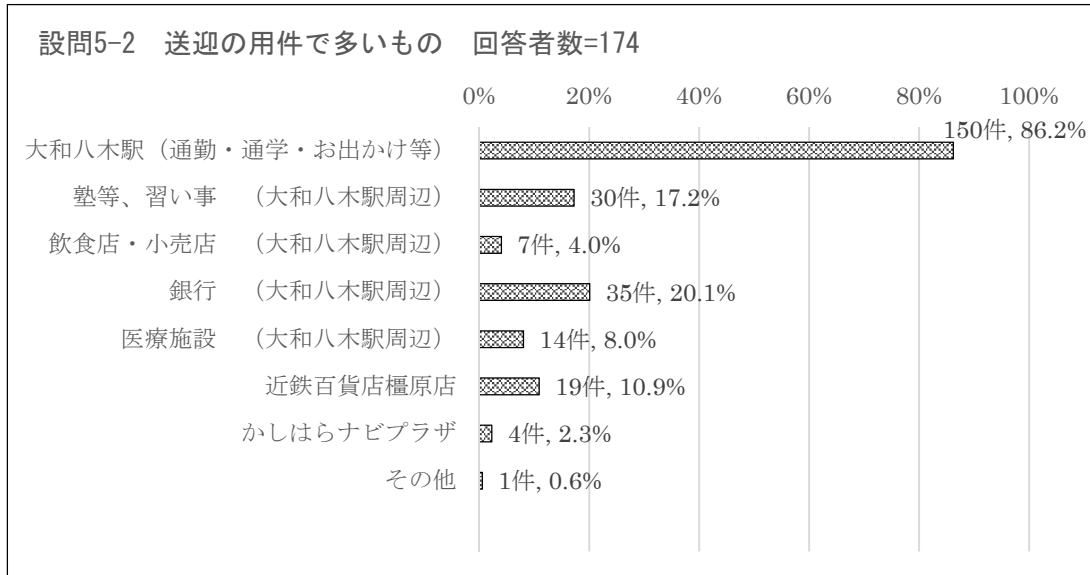
■ 大和八木駅南側駅前広場利用者



(工) 送迎の用件（複数回答）

「大和八木駅及び駅周辺施設への送迎」を選択した方の駅前広場への送迎の用件は次のとおり。北側、南側共に「大和八木駅（通勤・通学・お出かけ等）」が最も多い結果になった。次に、北側については「銀行」「塾等、習い事」が多く、南側については「塾等、習い事」が多い結果となった。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者

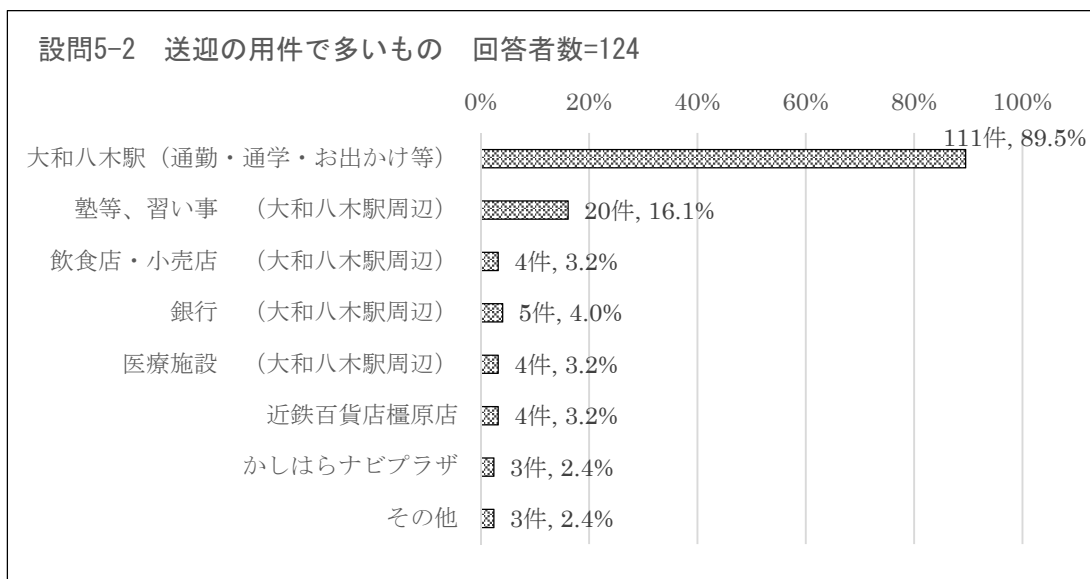


■ その他（大和八木駅北側駅前広場利用者）

その他意見について以下に示す。

- ・八木駅で出会って次の目的地（郡山）まで送迎する

■ 大和八木駅南側駅前広場利用者



■ その他（大和八木駅南側駅前広場利用者）

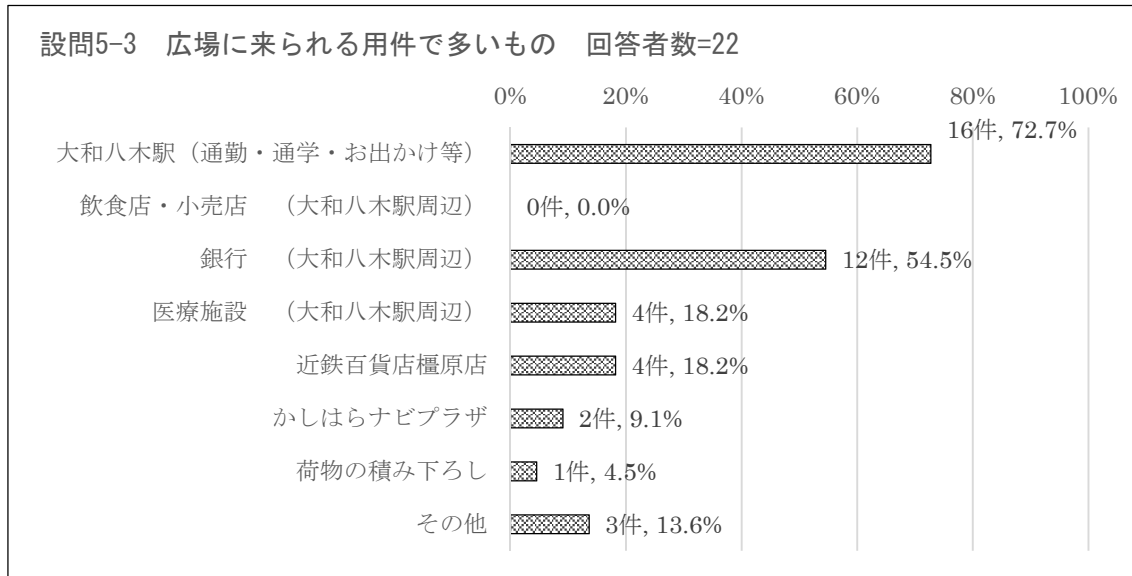
その他意見について以下に示す。

- ・文化会館
- ・アルル
- ・空港リムジンバスの利用

(オ) 送迎以外の広場利用用件（複数回答）

「送迎以外のご用件」を選択した方の送迎以外の駅前広場利用用件は次のとおり。北側、南側共に「大和八木駅（通勤・通学・お出かけ等）」が最も多い結果となった。次に、北側については「銀行（大和八木駅周辺）」という結果であり、南側の「銀行（大和八木駅周辺）」利用に比べて多い結果となった。これは、大和八木駅北側に銀行が立地していることが要因と考えられる。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者

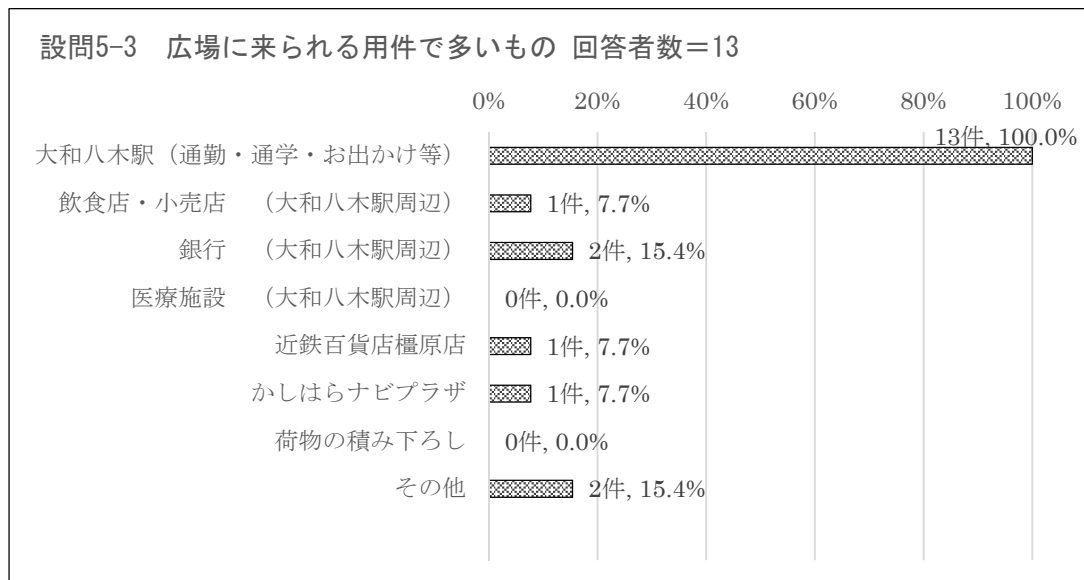


■ その他（大和八木駅北側駅前広場利用者）

その他意見について以下に示す。

- ・人との待ち合わせ
- ・月極めで借りている為
- ・関空へのバス利用

■ 大和八木駅南側駅前広場利用者



■ その他（大和八木駅南側駅前広場利用者）

その他意見について以下に示す。

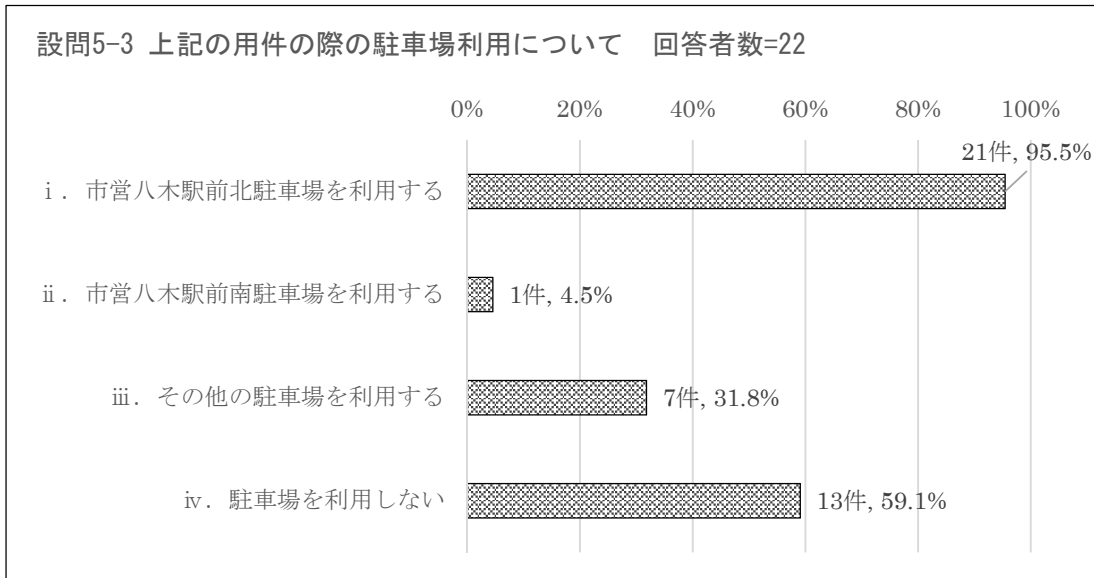
- ・ 飲食店（設問 5-3 の項目に「飲食店・小売店」があるが、その他の欄に記載された回答）

(カ) 送迎以外の用件の際の駐車場の利用（複数回答）

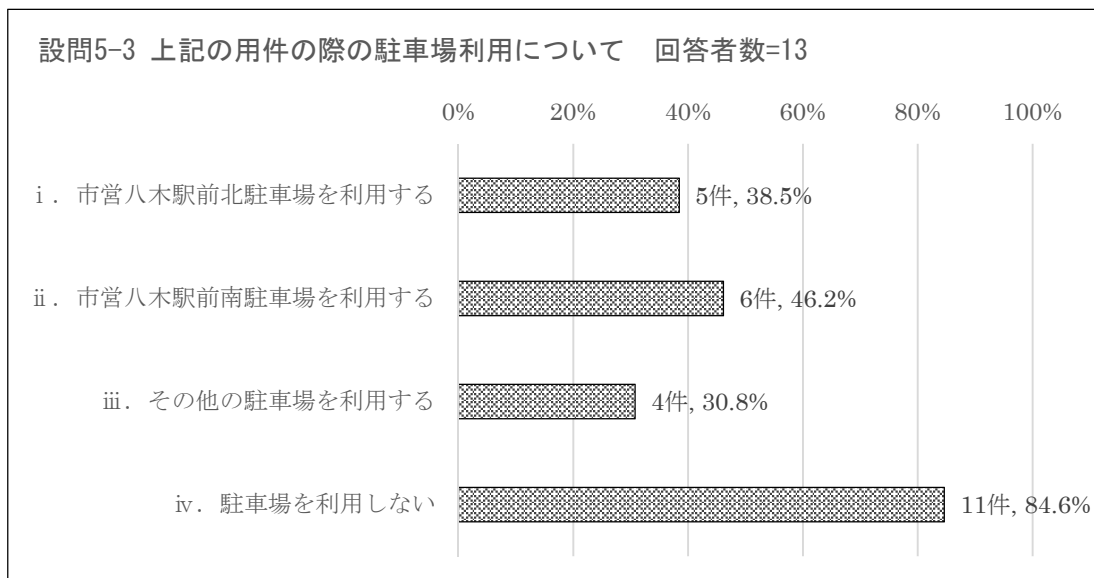
送迎以外の用件の際の駐車場の利用について、北側は「市営八木駅前北駐車場を利用する」が最も多く、「駐車場を利用しない」が次いで多かった。

南側については、「駐車場を利用しない」が最も多い結果となった。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者



■ 大和八木駅南側駅前広場利用者

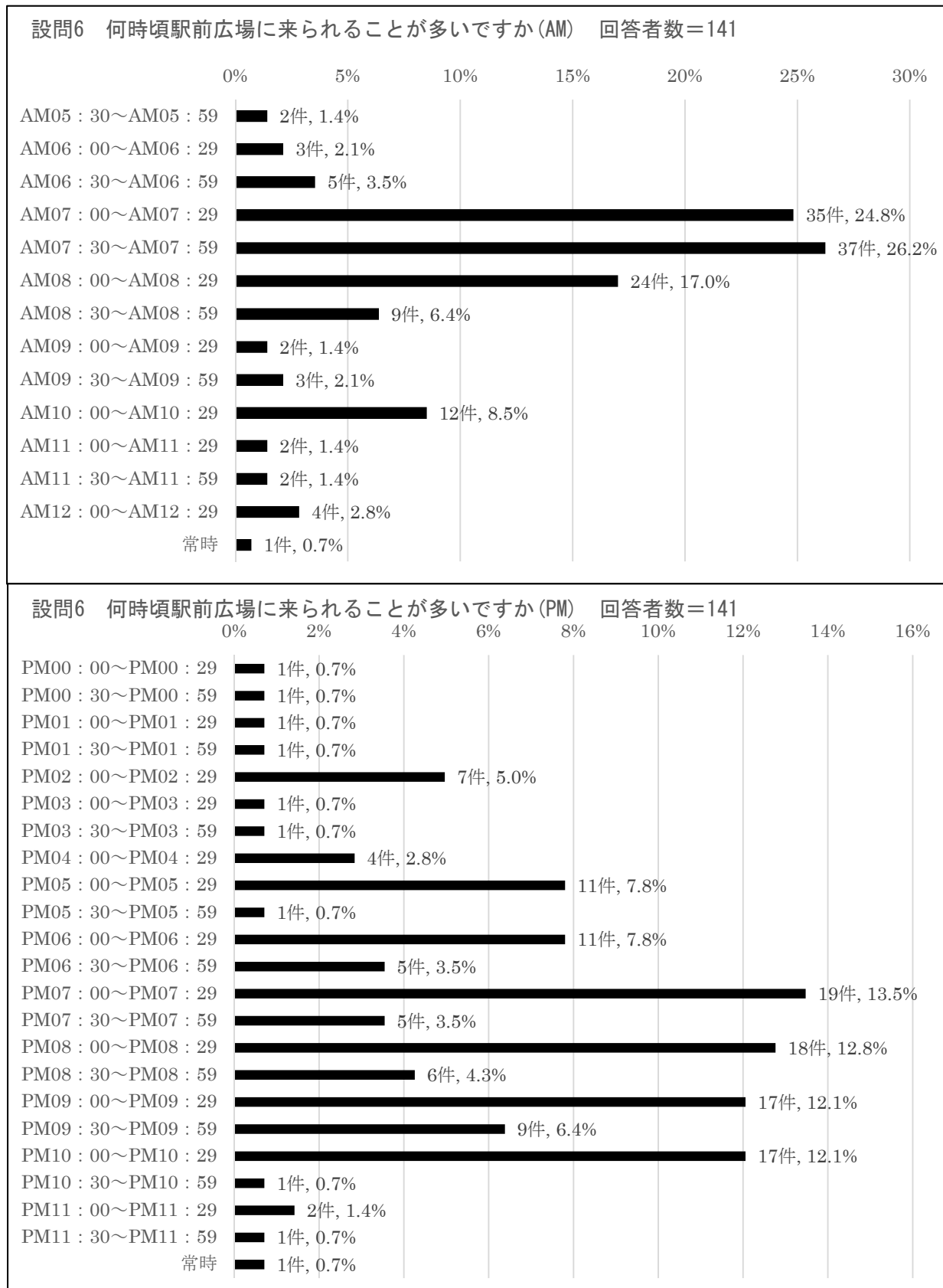


(キ) 駅前広場利用時間（複数回答）

駅前広場の利用時間については次のとおり。

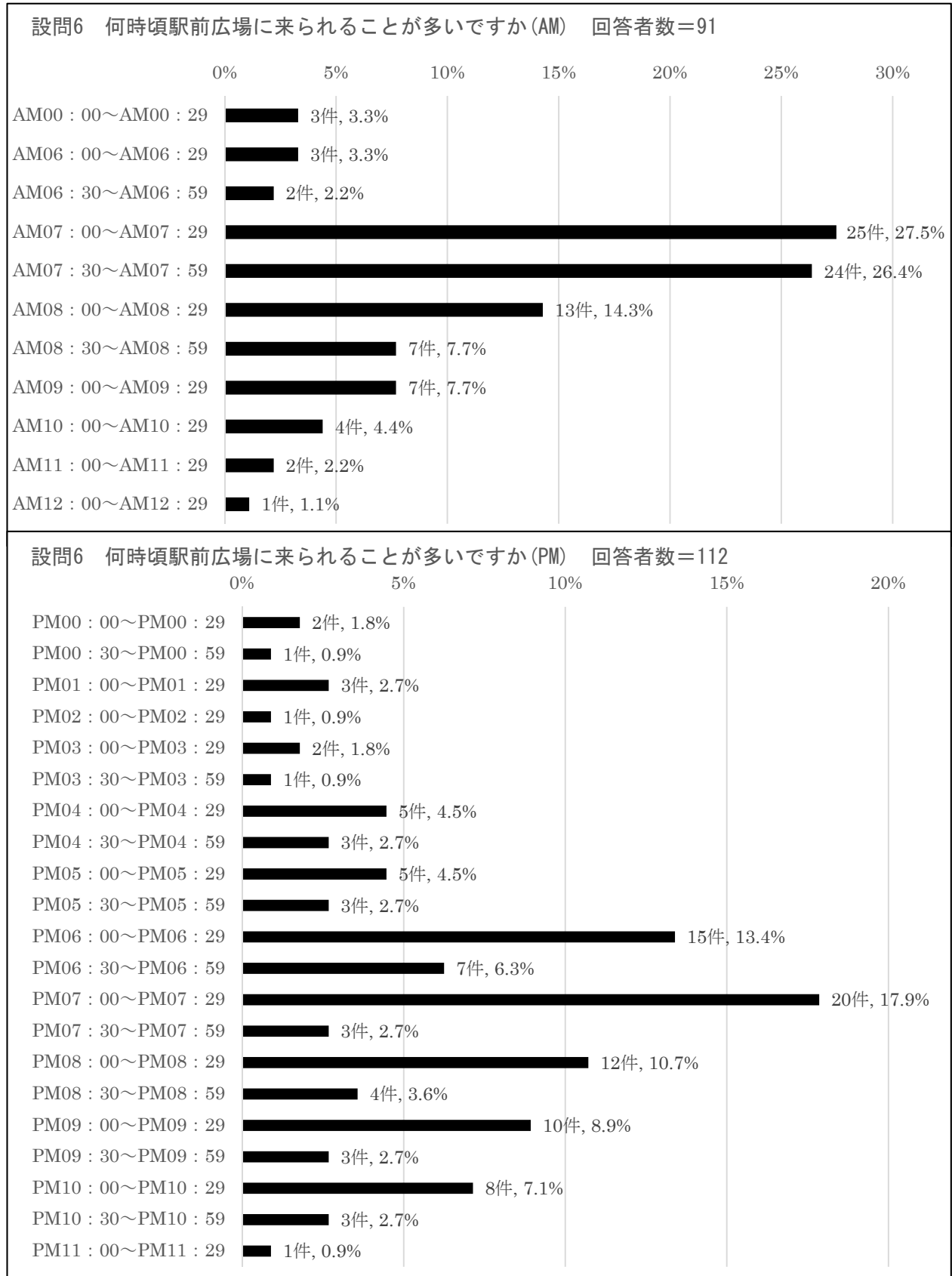
■ 大和八木駅北側駅前広場利用者

北側は時間帯にしては、朝は、7時から8時半まで、夜は、5時から10時半までの間に集中している結果となった。



■ 大和八木駅南側駅前広場利用者

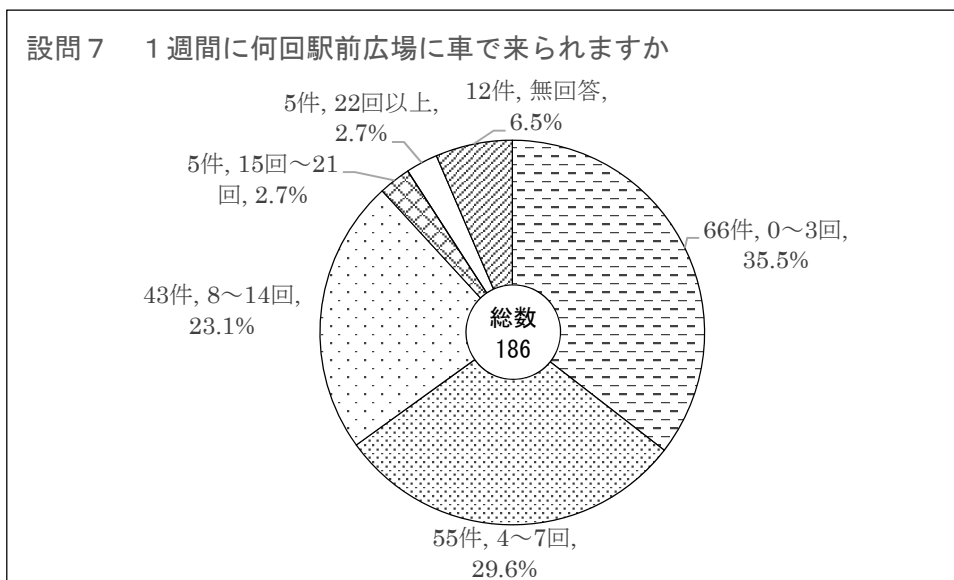
南側も同様に時間帯にしては、朝は、7時から8時半まで、夜は、6時から10時半までの間に集中している結果となった。



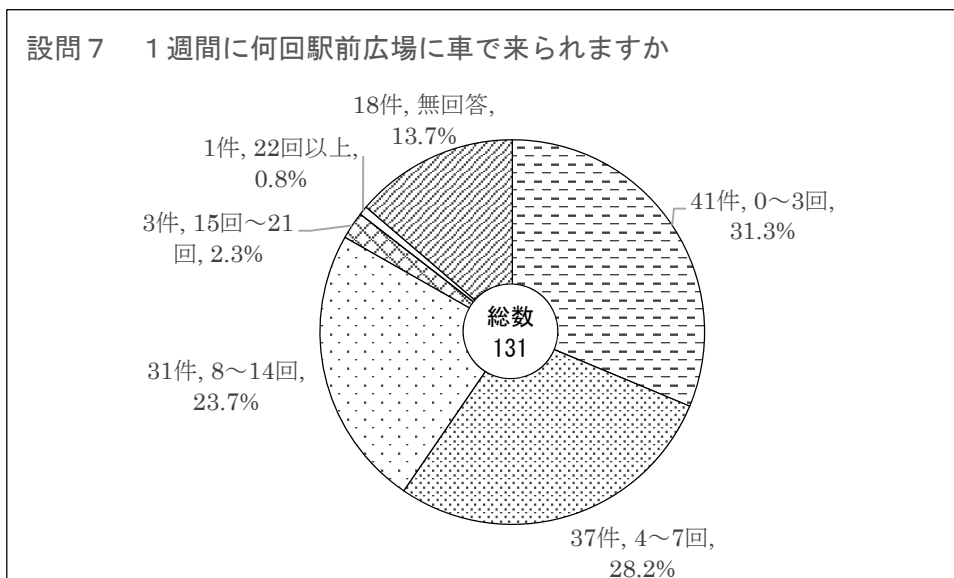
(ク) 駅前広場の利用頻度

駅前広場の利用頻度は次のとおりである。北側と南側で同様の傾向があることがわかった。また、一週間に8回以上来られる方が3割を占めており、1日1回以上利用される方も多いことがわかる。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者



■ 大和八木駅南側駅前広場利用者

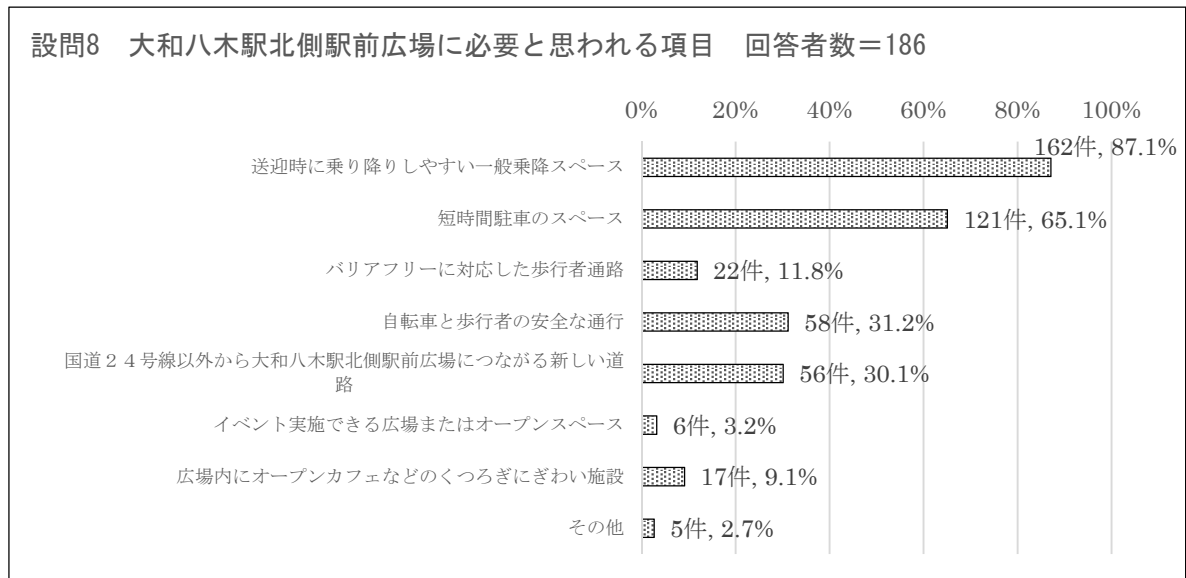


(ケ) 駅前広場に必要と思われるもの（複数回答）

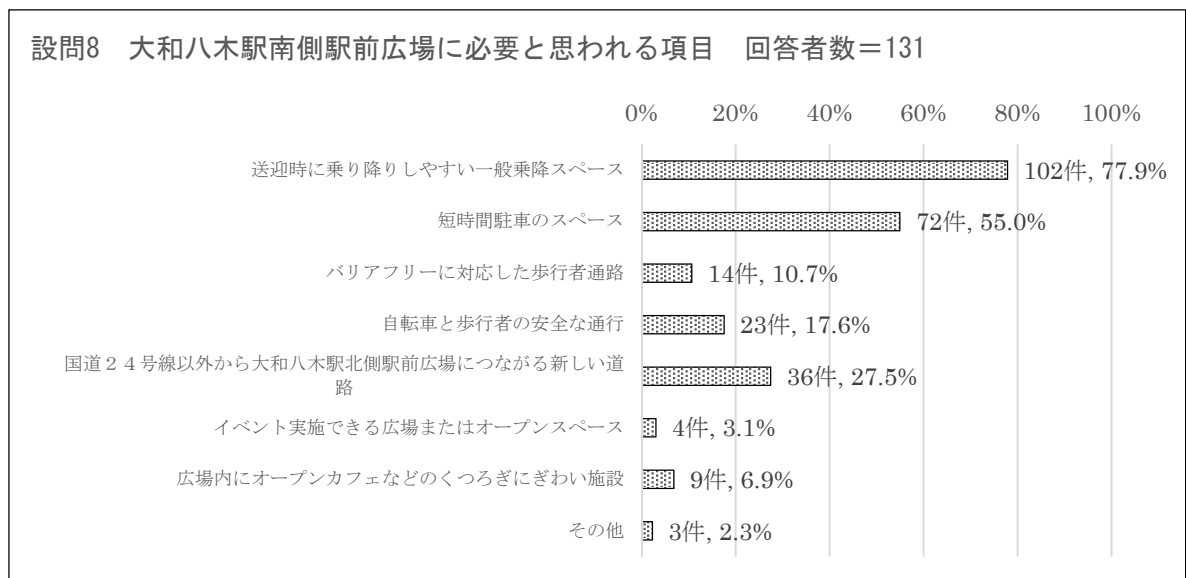
北側、南側共に「送迎時に乗り降りしやすい一般乗降スペース」が最も多い結果となった。

また、次いで「短時間駐車スペース」が多い結果となり、一般乗降及び短時間駐車スペースのニーズが高いことが分かる。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者



■ 大和八木駅南側駅前広場利用者



■ 設問8 大和八木駅北側広場への自由意見（ご不便に感じられること等）

1	もう少しきれいになったらうれしい（通路やアーケードなど）が、ロータリーは今の形のままだがシンプルで使いやすい。
2	圧倒的に駐車場が足りない。乗降スペース必要。橿原文化会館でのイベント等、近鉄百貨店の駐車場等だけでは足りない。南側から来た場合、近鉄百貨店の横を右折できないのでロータリーをぐるっとまわる。
3	近くの銀行へほんの少し行きたい。10分くらい無料で止めたい。
4	駐輪場へ行く自転車が急に飛び出してくるから危ない
5	バス停のあたりは、スムーズに順序よく使用できていると思う。でも南都銀行の前にびっしりと、りそなまで停められていて国道へなかなか出られないので、あちらは規制してほしい。
6	北側の立体駐車場をなくすという案を知りました。市の貴重な収入源だし、通勤通学、出かける時の駐輪、駐車が大変不便になるので、大反対です。
7	とにかく狭い。北側駅前広場（時計台のある所）のスペースが無駄。効果的なスペース利用を、一時Pスペースにするなど検討いただきたい。
8	信号が長い。ロータリーに入るとなかなか出られない。
9	道幅がせまい。信号が特殊（24号へ右折する時に）赤信号の時間が矢印付きの信号ならいいのに。
10	駅周辺の塾のお迎えの車で、なかなか24号線に出られない。
11	イベントしてほしい。
12	一般車の駐車スペースがない（停車）道路幅が狭く、停車している車の横を通りにくい。
13	ロータリーから24号線へ出ていく道が、もう少し広ければいいのと思います。立駐へ車を止めようとしている時に、車が右側に出ていて通れず、時間がかかることがあると思うので。でも立駐の建替は反対です。たぶん左の車線に車が停まっているからだと思うので、②の短時間駐車スペースがあればいいと思う。
14	南都銀行前や、塾のビル前に車を駐車しておられることが多いし、駐車時間が反対側の道より長いため、駅ロータリーの信号から24号線に戻るときにすごく危ないし、迷惑にいつも感じる。ロータリーから24号に出るときの信号も短すぎるため、バスが前にいると、信号はほとんどの車が渡れない現状です。
15	短時間駐車スペースがない。タクシー乗り場の南側への集中やバスの発着を一ヶ所にすべき。
16	ラッシュ時には駐車スペースが無い。タクシーの運転手に暴言を吐かれたことがある。
17	駐車できないことが多い。
18	駐車禁止が多すぎて時間待ちができない。
19	駐輪場が少ない。

20	銀行の用事（10分～30分間）の為の駐車（自転車を含む）出来る場所を確保してほしい
21	送迎してからの帰る道路が停車している車で混み合い、危ないと思います。
22	汚い
23	<ul style="list-style-type: none"> ・北側駐車場は雨の場合でも、とても便利に利用できる。 ・駐車スペースがたくさんある。 ・駅前がとても便利である。
24	朝はいいのですが、夜迎えに行ったときは、迎えの車が多くて止めるスペースがなくて大変な時があります。 バスの止める場所が別の所にあったら送迎の時は楽になるとおもいますが。
25	塾待ちの車が多く、駐車場の出入り口、銀行の駐車場の出入、信号が短いため、混み合い困る。信号をなんとかしてほしい。
26	自転車の飛び出しが危ない。朝、自転車と車とバスでごったがえしている。
27	駐停車する場所がなく、また塾の送迎と重なると、ロータリーから24号線に出るまでに時間がかかり困る。バスが駐車しているので止められない。道幅が狭い。
28	朝の混雑で、歩行者、自転車の接触を解消するよう考えてほしい。今のままでは、事故が起こりかねないです。
29	国道24号線に出る交差点手前（銀行付近）に駐車をされているため、スムーズに出ることが出来ない。
30	駐輪場がなくなるのはとても困ります。
31	バス乗り場を南側に集中させたほうがいい。塾の送迎車が邪魔。
32	送迎時の乗り降りのスペースと駐輪場へ向かう自転車の動線が重なり、あぶない。自転車が多いです。 塾や銀行、病院等駅以外の施設への送迎の方も多く、又、特急も停車する駅なので、雨の日等は特に利用者が多いと思いますが、その割に広場のスペースは広くないので不便に感じます。
33	北側駐車場前の塾に迎えに来る車が駐車するので走るのが不便。
34	一般車両の停車スペースが少ない。夕方、迎えの時の混雑で待ちスペースがない。北側ロータリーの出口信号付近まで停車車両があり、スムーズに24号線に出ることが出来ない。
35	バス停を南側に集中してほしい。
36	<ul style="list-style-type: none"> ・一般車両の乗降スペースがほとんどない ・立体駐車場の北側車線について、2車線あるが駐車車両が多く、実質1車線の状態になっている。
37	現存の市営駐車場は不要。バスの乗降を南側へ集約すべし。
38	北Pがじゃま。広場にしてほしい。

39	駐車できるスペースが少ないため、通行にも不便である。
40	塾の送迎の車が夜ロータリーの出口を妨げる。
41	八木駅へ送迎するときの駐車スペースがほしい。北側にも駐車場は残して欲しい。
42	近鉄百貨店の開店時間帯、又催事の百貨店への駐車等で周辺の交通渋滞が度々発生し、送迎に支障をきたすこと。雨天時の送迎車が多くなり、短時間駐車が困難になること。
43	雨の日などに送迎の多い時間帯は、混み合い、不便。停める位置が少し前になってしまったとき、あとから来たバスにクラクションを鳴らされたりした。駐輪場に入る自転車が広場を逆走して危ない。
44	南都銀行などの前に駐車している車などが多く、渋滞がひどい。
45	歩行者が駐輪場へ渡ることによって事故にあいやすいので、地下道をお願いします。
46	狭い
47	朝の送りに使っているが、駐輪場から駅、バスの乗降など人の行き来が多く、安全に停車できるよう心がけている。
48	車をとめられない。しかたなくとめている
49	①北側立体駐車場は必要。撤去するな！②周辺道路拡大③駐車違反専門取締員の行為は不満！わずか2～3分程度で駐車違反シールを貼ってまわっている。
50	タクシーの乗り場と一般車の空間が必要。一般車の乗降場所が必要である。
51	送迎時に乗り降りするスペースが必要。
52	夕方時の車の混雑。バスの停留所もあるため、車で待機しづらく何周もまわるときがある。
53	停車スペースが少ない
54	噴水広場（時計のある所）の利用は、比較的少ないと思われるので、ロータリーも改善して、送迎時の一般乗降スペースを作って欲しい。又、短時間の駐車スペースも欲しいです。
55	南都銀行前の道路に観光バスの乗り降り場所は道が渋滞するので迷惑です。あと自転車のマナーが悪い。駐輪場から駅に進入する柵（焼肉屋の前）は自転車通れない幅にしてほしい。自転車が飛び出して来るので危険です。
56	八木駅周辺は雨天の場合や何かイベントのあるときなど車量が多くなるため、常に渋滞状態です。現在の市営駐車場、利益が出ているようですが、北側なんとか整備され、利用しやすく市の表玄関にふさわしい空間にして頂きたいです。もう遅いですが、ホテルを作るより、そのようなことにはかって欲しいです。
57	送るときに駅の改札までが遠い。バス・タクシーの所まで、一般車が乗降できるようにしてほしい。お迎えのときもグルグルまわり続けたいいけないのが大変。
58	北側駅前広場への進入時など、自転車の通行が危険だと感じるがよくある。
59	送迎の時間帯は混雑しますし、自転車の飛び出しに注意しないとイケません。

60	<ul style="list-style-type: none"> ・屋根が狭い（商店街だけではなく） ・道幅が狭い ・24号線に出る信号短い。（青信号）
61	④と重複しますが、車のかげから歩行者や自転車が出てくること。もちろん相手の方も車が怖いと思っていますが。
62	短時間駐車スペースがほとんどない。
63	バス停があるので一時停止しているときに気を遣う
64	八木駅北側の立体駐車場を取り壊す必要は今の時点ではないと思う。
65	バス、タクシーは南側のみにしたら良いのではないのでしょうか。北側はスペースが狭いです。
66	バス停近くに車を駐車しないといけなくなる。駐輪場から出て来られる人の安全面に不安。
67	特に不便はない。
68	現在の市営駐車場を残して欲しい
69	バス駅はないほうがよい。
70	公衆トイレが汚すぎる。なんとかならないか。使う気がないので、ナビプラザのトイレを使用している。いっそのこと無いほうがすっきりとするのでは。ナビプラザを24Hにしたほうが良いと思う。
71	信号が短い。
72	別件になるが、道路渋滞がひどい！奈良市内のようにバスの本数が増えれば、自家用車利用も減り、渋滞も緩和され、駅前駐車スペースも不要となると思う。
73	一般乗降スペース
74	塾の送迎の車で混雑
75	広場のスペースを一部車の送迎時の乗り降りスペースにしてほしい。さほど広場を使われていないように思う。駐輪場の増設北側部分（通学用月極、順番待ちで困っている。）
76	もう少し駐停車の場所が欲しい。
77	南都銀行の引き出しに行くのに駐車しにくいのでスペースがほしい。塾の父兄の車が多くて困る。（問8の選択肢⑥・⑦はいらない。→問8の設問中に赤字でメモあり）
78	自転車が逆行して危ない。
79	歩行者、自転車の飛び出しが怖い！
80	月・水・金、塾終了（22時頃）時、北側ロータリーに送迎の車があふれてしまい、非常に不便です。
81	道幅が少し狭い。ロータリーへの新しい道路が必要。
82	塾の送迎に駐車されるのは困ります。駐車場ぐらい確保してほしい。
83	まずメインの24号線が混雑している。近寄りにくい上に駐停車しにくい。

84	市営駐車場北側道路の駐停車車両が多く、駐車場から車が出しにくかったり、渋滞して車が通りにくいことがある。駐輪場に入る自転車の無理な道路横断が危ない。特にタクシー乗り場あたり、車の右カーブの死角に入りやすい。
85	北側には塾が多く、夜の終了時刻には、停車している車が道路にあふれている、特に銀行がある近くの信号付近では気になる。
86	雨の日に送迎に使うため、より混んでいて渋滞しています。駐輪場から出てこられる方や入る方が危険に思われます。
87	バス、タクシーの停車スペースがメインなので、困る。
88	雨の日は車が多く24号線に出るのに時間がかかる。
89	駅前の塾の送迎の方が、路上に停車していて、道がせまくなり、ロータリーがすぐ渋滞するので、困っている。
90	駐車場北側に駐車している車が多く、信号付近で一車線になってしまうことがあるため、信号が青になっても、通過できる車の台数が少なくなってしまう。
91	朝は特に電車に乗り遅れないように北側駐車場から駅側歩道へ急に渡ってこられる人が多いので、危険に感じている。その点の対策が必要かと思いますが。
92	塾の送迎時、混雑して車が全然動かなくなって困る。
93	迎えに行く時、駐車している場所がないので、電車の時間にあわせるのが困難。
94	塾の前に送迎の車が多くてとても迷惑している。
95	夜暗い、平時ももっと活用を。
96	自転車道が確保されていないため、自転車の飛び出しや横断に危険を感じる。(乗る側のマナー違反もあると思います) 北側のセブンイレブンの横道から飛び出して来る(駐輪場に向かうため?)
97	バス、タクシー乗り場ばかりで、一般の車の駐車スペースがない。30分間無料などのコインパーキングなどあればいいと思います。
98	・駐車スペースがない。 ・バイク走行が危険(車運転している際) ・狭い道に無理に駐車していて通れない
99	自転車の信号無視・車道の逆走が多く危険
100	特に不便は感じていない
101	信号が短いのに塾迎えの車両が妨げとなり、スムーズに出発できないことがあります。
102	駅前広場に国道から入る所がわかりにくい。慣れた人ならわかるが、はじめての人にはわかりにくいと思う。
103	乗り降りするスペースが少なく、夜の時間、車でいっぱいになっていることが多い。
104	別の場所(駅に近い)に駐車場を造り、現駐車場は、広場又は有料店舗。
105	市営駐車場の北側道路の停車自動車が多く、混雑すること

106	<ul style="list-style-type: none"> ・バスとタクシー、自家用車の止める所と走るレーンを分けて欲しい。特に雨の日は、お迎えの車がいっぱいでもって大変です。 ・自家用車の止める所をもっと増やして欲しいです。
107	<p>早朝、自転車が駐輪場に入る際、逆走してくる（→早朝取締りをしてください）ため、とても危険、運転しにくい。</p> <p>駐輪場入り口を改善してもらいたい。</p> <p>また、R24号から、駐車場入り口へのバイク進入禁止を無視しているのを取り締まりしてください。</p>
108	<p>駐車場から近鉄百貨店前の信号が変わるのが早すぎる。なかなか青にならないのにすぐ赤に変わるため、一回に2, 3台の車しか進めず、渋滞のもと。</p>
109	<p>夕方の塾の送迎で、大渋滞することが嫌。</p>
110	<p>送迎するのに使っていますが、一方通行だからなのか、百貨店があるからなのか、バス、タクシーがあるからなのか、混むと道がいつも以上にせまく感じ、自転車が見えにくい。大きい駅に昔ながらの道の幅、来る、帰る人口、車に合っていない。</p>
111	<p>広場より出るときの信号が短い。</p>
112	<p>タクシー乗り場の一本化。障がい者の所が、一般車の進入が多すぎる。</p>
113	<p>送迎に使っているが、バス・タクシーの停留所で駐停車できない場所ではあるので、気を使う。一般のスペースが欲しい。</p>
114	<p>送迎時に乗り降りしやすい一般乗降スペースがほしい。ロータリーの信号待ちで渋滞する。</p>
115	<p>銀行や塾などたくさんあるのに、短時間とめられる場所がない。</p>
116	<p>塾の送迎で、停車している。車が、左折レーンをふさぎ、多数停まっている為、信号が変わっても前進して国道に出ることができない。夜、困っています。</p>
117	<p>橿原バイパスとの効果的な連絡路の整備</p>
118	<p>停車している車が多く、通行の妨げになっている。（立体駐車場から出庫の際、目的の車線に入りづらい）</p>
119	<p>狭い</p>
120	<p>市営駐車場から出てくる人や、乗降のためにごったがえすので、歩くスペースと乗降スペースをわけてほしい。</p>
121	<ul style="list-style-type: none"> ・たまに寝ている人などがいてこわいです。 ・嘔吐物などが多い（土・日・月の朝） ・駐輪場が暗くて古い
122	<p>車を停車しにくい</p>
123	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の印象が暗い ・樹を植えきちんと育てましょう
124	<p>今も大体乗降はできますが、もうすこし広いともっとありがたいし、危険がない</p>

125	西側から行くのに時間がかかる。駅までの地下道があると良い。
126	駐車場が狭くて利用出来ない。(運転手が乗っている場合)
127	乗用車の駐車スペースが少ない。(無い)
128	バス・タクシー・乗用車などがいりみだれているので、通行、停車がしにくい。
129	送迎時の乗り降りスペースが必要
130	塾・銀行附近に駐車している為いつも一車線ふさがれている。なぜ常時指導しないのか(近くに交番所が有るのみ)
131	北側の駐車場、駐輪場の存続を希望します。
132	乗降スペースが少ない
133	送り迎えのスペースがなく不便。バスのクラクションに不快感。
134	道路巾が狭い。見通しが悪い。空間に余裕がない。単車・自転車があぶない。こわい。
135	平面駐車場が少なく不便
136	一般乗降スペース、短時間駐車スペースが少ないため、いつも混雑している。道が狭い。
137	駐車場・駐輪場は、ぜひ確保してほしい。短時間の送迎駐車もスムーズに出来るようにしてほしい。
138	現状でよい
139	駐車場は絶対必要です。今日もチラシをもらった時に北側もくばっておられるか見に行きました。北側は混雑していますね。大型のバスが止まっています。銀行の前、まして交差点の手前、混みますよね。駅前広場の噴水の所必要ですか。この辺をつぶしバス駐車場は？
140	塾に向かえに行く時、雨の日、混みすぎて何周もぐるぐるまわらないと止める所がない。
141	なんとなく暗い感じ、ごちゃごちゃしている
142	今のままでよい。市の駐車場も、そのままにしてほしい。
143	タクシーとバスだけで、普通車は入りにくい。
144	使用しづらい
145	送迎用駐車がしづらい
146	送迎時に止める場所がない。
147	雨の日は、駅へ迎えに来る車と塾のお迎えの車でロータリーがあふれて、R24にはみ出て待つ車まであるので、危ないと感じられる。
148	あまり利用しないので不便に感じたことはない。
149	短時間駐車スペースが無い。違法でないスペースを設置しては。
150	一般乗降スペースなく、バス乗り降り場に、一般車があふれており良くない。24号へ車が渋滞している。

151	駐輪場をつぶすのをやめて下さい。上の質問で要望するものに○をつけましたが、立体駐輪場（都会にあるような、自動で収納される施設なんて必要ないです。使いにくい限りです。）があつた位置にあることが一番の願ひです。車の乗降スペースは、二の次です。
152	タクシー・バスが多いのに道幅が狭く、また駐輪場へ歩く人が危ない。銀行前は、停車している車が多く、いきなり車線に入つて来るのでこわい思ひをします。塾の前の信号の車線変更が、停車の車で使えませんが、北側は行きません。
153	車線が少なく、路上駐車も多いので走行しづらひ。できるだけ使いたくない。
154	乗降スペースがない。道幅が狭いこと。信号が長く24号線に出るのに時間がかかる。
155	せまくて安全上も問題あり、駐車場等撤去して広くしてほしい。
156	狭い道に一般車が多く、駐車（輪）場への横断もあぶないことが多く、一般車の周囲乗り入れを禁止に。
157	あまり利用しませんが、北側にも市営駐車場必要です。つぶさないで下さい。
158	バス・タクシーの出入りがあるため、乗降スペースがなさすぎて危険です。どうにかならぬかと、いつも感じます。
159	ほとんど利用しないので、不便に感じることもないが、自家用車の乗り入れがしにくい。24号道路から入りにくいイメージがある。
160	全般的に道路幅待合せ場所等、駅前広場としてのびやかな広いスペースが必要と思われる。
161	タクシーが広すぎる。はばをとりすぎ。大きい顔しすぎ。
162	道はばがせまく、送迎する時、車からおりるとき、交通に気をつかう。
163	駐車（短時間）スペース（有料も可）
164	狭い
165	進入時の道幅が細い。
166	上記①②④に丸をつけましたが、現在ある駐車・駐輪場をなくしてもらってはこまりません。そこを維持したままで考えてほしいです。または、建て替え。でも、あの場所での建て替えです。
167	信号が短いので、24号線に出る時にすごく混雑している時がある。
168	北側駐輪場を車送迎と同様に利用します。一部の方の利益や意見でなくすのは、おかしいと思います。また、駐車場も最大料金定額制でないので、利用しにくいです。市民カード等挿入すると、金額優待があるといいと思います。
169	大学生の子供の帰宅時間が、たまに夜間になる時があるが、夕方迎えに来た時よりも逆に駅前に駐車している車が多くなっていて、何故？と思っていたが、駅前周辺の塾の迎えの車のようで、電車利用の迎えの車と違って長時間駐車していることが多い。大変邪魔である。
170	バスと車が一緒になっているのに、スペースが無い。

171	短時間（30分以内）の無料駐車スペースがほしい。ICカード（Pitapa・Ikoca etc）が使える有料駐車場
172	広場とはどこを指しているのか？ R24からの進入と出ることがもっと楽になれば良い。信号の指示が連続されないから出にくい。
173	雨の日には特にロータリーは動かない。 塾の信号から逆走で入ってくる車がいる。とても危険！
174	あまり行かないので不便と感ずることがわかりません。
175	広場利用（市営北側駐車場へ入れる時、国道南北への方向を替える時）、銀行などへの駐車している車で停滞

■ 設問8 大和八木駅南側広場への自由意見（ご不便に感じられること等）

1	道がわかりにくい、他者と接触しそう
2	ロータリー内の車線があちこちに分かれていて、どっちに進めばよいのか（進んではいけないのか）迷ってしまう。 中途半端に道路が広いので、一方通行の道路の右側に、駐停車している車がある。
3	道がくるくるしていて解りにくい。一方通行になっていたり。。。ムダなスペースがあると思う。南側へ通じる道が狭い。
4	一般乗降スペースが少ないし、車をとめにくい。屋根がない所があるので雨の日は困る。
5	国道へ出るときの信号の連携が悪すぎる。そして、ドコモの前の横断歩道のせいで北側へ出る車が1台2台しか出られない。
6	ホテルや庁舎を建てるが、キャパに対応できる道路幅がない。南側に立体駐車場が必要。雨にぬれずに通行できる屋根が必要。
7	ごはんを食べられる所を増やして欲しい
8	南側も駐車スペースはないので、あれば便利だと思う。
9	南側から北側への接続道路があればなお良い。
10	短時間駐車スペースが少ない。
11	国道から駅までが遠いし、出口が非常に混むことが多い。
12	北から南へ行くのが不便。南から大きな道路へ出るのが不便。
13	綺麗にされているが、24号線に出るまでの信号で混雑するので困る。
14	国道24号線に出るのに信号の青の時間短い（歩行者分離信号）にするべき。市役所が出来れば、今以上に渋滞が発生するので信号機の連動で解消しないとトラブルの元になる。
15	一般車両の停車スペースが少ない。
16	きれいに整備されたが、全体的に狭く感じる。
17	南側から24号線へ出る場合、信号のつながりが悪く、時間がかかる。
18	八木駅より北側に住んでいるので、南側の駐車場は使えない。
19	送迎の時、待つスペースがない。
20	駐車スペースがない。
21	八木北の駐車場は使いにくい。
22	①駐車スペースが少ない！ ②周辺道路拡大
23	短時間駐車スペースの拡張してほしい。
24	ぐるっとまわりこむ感じがするので、あまり使いたくない。特に雨の日は、一般車のスペースから改札が遠く思えます。
25	短時間の駐車スペース（15～20分）が必要です。
26	南側はあまり行かないので、不便さはわからない。でも、北側のあの緑色の大きな建物の駐車場がなんともロケーションを邪魔しているというか、見た目が悪く思う。駅

	というのはその市（町）の顔だと思うので、もっとすっきりと利用しやすくしたほうが良いと思います。財政面で厳しいとは思いますが。
27	夜になると塾の送迎の車が、ロータリーの出口付近まで駐車しているので、結局一車線になってしまい、混んでしまう。（10時頃は特にひどい。）
28	バス、タクシーが多いため、駐車（短時間）に気を使う。駐車スペースの設置もあるが、せまいです。
29	24号線に出るための信号（赤信号）の待ち時間が長い。
30	ロータリーになっているが、車等を止める場所がない。
31	北から来た時、南側にまわるのが遠い。
32	特に不便はない。
33	駐車スペースが少ない。利用しにくい。
34	交差点が渋滞
35	24号から車で右折するとき右折信号を設置してほしい。また、南側広場から24号で出るとき左折がなかなかできない。
36	使っていない。
37	ロータリーの広さの割に短時間駐車できるスペースが狭い。
38	R24へつながる信号が短く、またR24の渋滞による南ロータリーの渋滞がひどいので、新たな道や対策が必要だと思う。
39	ナビプラザの使用時に物を運ぶことができる駐車スペース
40	あまり南側には行かない。（車で行っても停める所が少ない。）
41	あまり使わないので、わからない。
42	バスの停留所付近まで一般車両が止められていることが多く、他の車両の通行に支障がある。
43	ローソン前で右側駐車している車があつてあぶない。
44	24号線から入っていくのが少し遠く感じられる。
45	バスが停車できないときがある（雨や夜間の混雑）塾の送迎を他の場所ですてほしい。
46	ロータリーの出入りが混む
47	特に不便は感じていない
48	ロータリーへの導入路がわかりにくい。見通しが少ない。
49	乗り降りスペースが少なく、駅から遠い。
50	バスの待合所が必要では。
51	近鉄百貨店側からだ中に入るまでが遠い。一般の駐停車スペースが駅から割と遠い。
52	きれいに整備されすぎて、車線のどこを走ってよいかわからない。特に夜はわかりづらい。
53	榎原バイパスとの効果的な連絡路の整備
54	送迎車の待機できる場所が少ない

55	広くて良い
56	信号がながい。
57	<ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーションの期間が長い（税金が無駄です） ・車を停車させる場所が少ない（雨の日が特に停められない） ・ゴミが多い ・安めのおしゃれな駅前カフェが欲しい
58	停車しにくい
59	眼科送迎車に、ローソン前に停車しているとき、どけるように言われた
60	<ul style="list-style-type: none"> ・冬のイルミネーションの趣味が悪い（もっとシンプルで、洗練されたイメージに） ・商店街の景観が雑然としている（統一感と、橿原市の商業的な顔としての文化的なイメージの高い雰囲気が欲しい） ・観光案内センターの窓ガラスがきたない ・ローソン店前の喫煙コーナーを禁止して下さい。学生も多く利用します。不健康です。
61	塾の送迎の車が、長い時間駐車しているので困ることが多い。
62	駅前のスペースが狭い
63	送迎用駐車場が、買い物で空車が止まっていて利用し難い時がある。少し広くしてほしい。
64	乗用車の駐車スペースが少ない。天理駅前のようにすればよいのでは。
65	送迎時に乗り降りしやすいスペースがない
66	雨の日のお迎えは、車が多くなかなか駅前に入れない
67	車の送迎駐車スペース欲しい
68	駅が広くて、人が多いわりに駐車スペースが少なくて不便。少しでもちがう所にとめると、すぐにバスやタクシーにクラクションを鳴らされて不快感がある
69	短時間駐車スペースをもっと多くしてほしい
70	一般乗降スペースがせまいので、迎えの車が車道にも行列をつくっていて、通行の妨げになっている事もある。
71	迎えの時、駐車スペースが少ない
72	開発設計が大失敗だと思う。駅前なのに車から駅（改札）が遠いように思う。駐車場（駐輪場）が遠くわかりにくい。雨天対策がない。古い駅前の方がよかったと思う。
73	駐車する場所が少ない。南側広場、工事用のたてカンバンで見ぐるしい。
74	倉敷駅前のような（20分間無料）短時間駐車スペースがあればいいなと思います。
75	20年以上前と比べて、ずいぶん便利になった。
76	バスのように、自家用車も回れるロータリーにしてほしい。
77	塾のむかえの車が多すぎます。バスも大変なのでは？
78	利用者数と比べて、短時間駐車スペースが少ない。
79	短時間の送迎駐車がスムーズに出来るように、スペースを確保してほしい。

80	毎日通っています。バスはバスの駐車場があり、特に不便は感じないが、新分庁舎の高さの建物がこわい。何かがあった時高い建物がかぶさってくるようです。屋上にお風呂とか言っているようですが。
81	身障ですが、駐車ベースに入れない様な駐車場の車が停まっています。
82	もう少し送迎の待機する所が欲しい。
83	迎え時の待ち場所（車）が少ない
84	送迎については他の駅より広くて便利がいい。けど、夕方朝方は送迎車多く、もっとスペースが欲しいです。
85	送り迎えの時、車を止めて待つ場所が少なすぎると思います。
86	タクシーのマナーの悪さはとても迷惑です。乗り降りの場所に駐車している（運転者がいない）のはどうかなって思います。
87	いつも車でいっぱいこまる。
88	送迎用駐車スペースがせまい
89	道がせまい。歩行者が横断歩道を渡らない。
90	ロータリーの広さ（北側と比べて）に反して、Taxi の数が少ないように思う。北側で待つ Taxi の台数の方が多いのではないか？だから余計に北側が混雑するのではないか？
91	「信号」の流れが悪いため（南広場から24号線を北の方に行く場合）何度も止まり、渋滞する。
92	送迎時に車を駐車するスペースが少なすぎる。
93	広いわりに一般車への配慮が無く、車が難渋状態になって、混み合っている。
94	短時間駐車スペースが無い。 違法でないスペースを設置しては。
95	西側へ抜ける道が狭い。（線路を越えて、さらに西へ行く道）
96	一般駐車場が5台分しかない（実際5台とまれぬ）のはこまります。いつも満車ですし（特に雨の日）ときどきタクシーが、一般駐車場で客待ちしています。なんとかして下さい。仕方ないので、北側の道路脇にとめて待つことが多いです。
97	夜、塾のお迎えの車が長く停車していて、子供も飛び出して来たり非常に迷惑です。
98	乗り入れ車両の数の割に、乗降スペースなどが少ない。面積は広いので、もっと有効活用してほしい。
99	駅は広いが、駅にくるまでの道幅が狭い。対応できない所が数ヶ所。 雲梯→今井町→八木駅
100	バス乗り場への一般車の駐停車が多く危険。
101	送迎の際のスペースが無い。タクシー・バス優先のため、一般の駐停車する場所が少ないので増やしてほしい。（ワタミ前の歩道広すぎ、そこを小さくして駐車場に）
102	送迎は、時間帯が重なり車が多くなり、たまにタクシーも置くので置く場所が無いので大変です。※特にクリスマスの時、人も多いし又かざりを付けるのに業者が置くのでありません。人も置いて写真とるし、車は乗っていない状態

103	タクシースペースより、自家用車のスペースを優先して確保すべきだと考える。公共のスペースなのに、タクシーに関係する人たちが、我がもの顔で居ていることが不満に思う。バスは大勢の人が利用するので、そうは思わない。
104	整備されて便利になりました。将来的に自家用等、短時間送迎時に一般乗降スペース・駐車スペースが必要と思われる。
105	送迎時の一般乗降スペースの増設、及び短時間の駐車スペースの設置・公衆トイレ
106	各車の駐車スペースを区分する。区分帯が大きすぎる。樹木必要ない。利便性とスペース確保。
107	車が一杯で、停車スペースに困る。
108	派出所の前のあの小さなロータリーは何ですか？何のため？よく分かりません。いるものなんですか？
109	駐車スペースに、長時間車を止めている人が多い。近辺のお店へ買い物に行かれたりしている。
110	ヤマトーから大成中学に行く道が狭い。歩行者・自転車危ない。
111	ロータリーに入る前の交差点（西からの左折でロータリーに入る）で直進と左折が、同じレーンの為ロータリーに入れない事があります。別車線になればと思います。ホテル建設ではなく、一時駐車ができる（30分無料、その後30分毎100円のような）建設がよかった。南側駐車場が、内膳町の施設を借りての開設で納得いかない。又、遠い為利用する気にならない事もあり、車送迎の頻度も高くなる。北側駐車場程に、隣接してこそその施設と思います。
112	車を停めるスペース少ない。
113	上記のように、塾の迎いで、長時間駐車している車への対策を、何とかして欲しい事と、一般乗降スペースを増やすことと、短時間駐車スペースをもっと増やすことを希望します。
114	駅前周辺（商店街）の道路は、整備されているものの車道いっぱいに広がって歩く人達の多さに、車を運転する者はかなり通行しにくい。雨の日は、車、歩行者、自転車、すべてを注意深く運転しなければならないので、何とかして欲しいと切実に思う。
115	R24から駅に向かう道が、混雑する為朝夕困る。
116	雨天時の迎えの場合、待っている場所が無くて困る時がある。24号線に出る道路が短いので、すぐ渋滞になる（夕方）
117	乗降場所が遠すぎる。老人・身障者を迎える時、駅改札口へ迎えに行けない（駐車違反となるケースが大）
118	信号が多すぎて時間も長く、国道も常に渋滞しているので、駅から幹線道路へ出るのが不便です。
119	短時間スペースはあるが、誰も乗っていないことがあります。単なる駐車になっているのではないのでしょうか？一般車と商業車（タクシー、バス）をハッキリ区別したルートが必要（駐車スペース含む）

120	送迎で車がたくさん駐車しているので、特に夕方は止めるスペースがなく、警察に注意される。バスが停車している真ん中のスペースを短時間、車を駐車できるようにすれば、不便はなくなると思う。バスのスペースは必要ない！市民のことを考えてほしい。 雨の日、車の乗り降り、ミスタードーナツ前の中途半端な屋根は役に立っていない。濡れてしまう。格好ばかりの屋根で不便に思う。
121	駅まで迎えに行った際、車を一時止めて待つスペースがほしい。
122	乗降車スペースに長時間停まっている車がいって二重駐車もあり、もう少し一般乗降スペースが広いと助かるかな。（私は電車より遅く行くので長時間停めることはほとんどない。）ロータリーが広がってからは、きれいで使いやすくなったと思います。
123	時間帯では混むことがあり、車がとめにくい。
124	市営の駐車料金が高すぎる。安くすれば、駐停車をしないで利用するのではないでしょうか。すぐ解決しますよ。

■ その他欄外に記載された自由意見

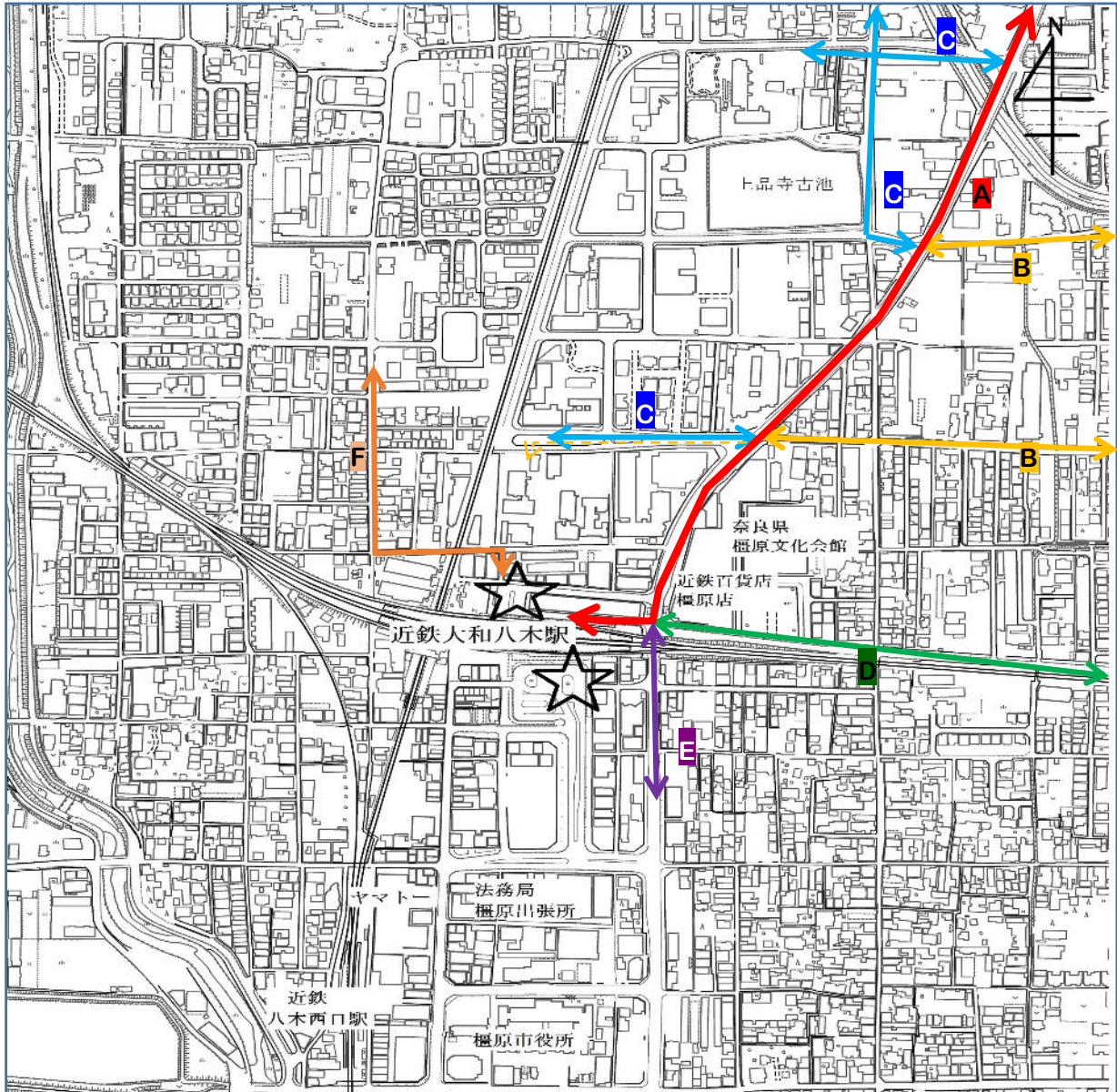
1	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な意見を書くスペースがない。 ・ホテル建設との関係がどうなるのか？無意味なアンケートではないか！
2	緑の駐輪場と駐車場は、なくさないでほしいです。通学や、病院等で使用するので、大変助かっています。税金を払い、唯一便利に利用させて頂いている場所です。同じ場所に建替ならわかりますが、なくされたら困ります。一市民の意見ですが、よろしくをお願いします。
3	公共施設は、広場や道路を含め、造ることも必要ですが、それ以上にその後のメンテナンスが重要です。造りっぱなしで古くなるにまかせることなく維持費がかかることを念頭に入れてください。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・出かけるときは、北の駐車場は必要です。24号線より東の者は、南の駐車場は、不便。信号をくるくる廻らないとダメです。又、場内も狭いです。内膳の方はいいですが、市民の税金ですからしっかり考えてくださいね。 ・八木駅北側のバスの一時駐車場を造れば、朝の道路の混雑は少しは良くなる。そして、夜の八木駅前子供の塾の迎えの車少しの間ですが、違反にならなく、邪魔にならなく（邪魔でも平気な人もいるけど）止めるの大変なんです。バスの駐車場あれば助かると思います。私の家はもう塾は卒業ですが、八木駅近辺の塾は必要ですよ。これからの橿原市には、あの辺のビル必要。こわさないでね。塾からも税金入るでしょ。いい機会なので、意見言わせていただきました。
5	問8の選択肢②短時間駐車スペースに関して →近鉄高架下飲食店を利用の場合（有料も考えては）
6	先日、夜10時頃、駅へ迎えに行くと塾の迎えと思いますが、車が曲がり角手前から停車していて通行しにくかったです。危険ですし、どうかしてほしいです。（図示あり。八木駅南側ロータリーの一般車バースの最後尾から南側にかけて車列が続いている。）
7	新しい市役所が出来たら、今以上に一般車が進入することが予想され、交通システムを考え直さないと駅前は大渋滞です。

c. 利用経路について

(ア) 利用経路の分類

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者

駅前広場の利用経路について、回答が 167 者あった。経路の特徴からルート A-F までの 6 経路に分類した。



■ 往路

往路		
A	79	47%
B	16	10%
C	19	11%
D	35	21%
E	14	8%
F	4	2%
計	167	

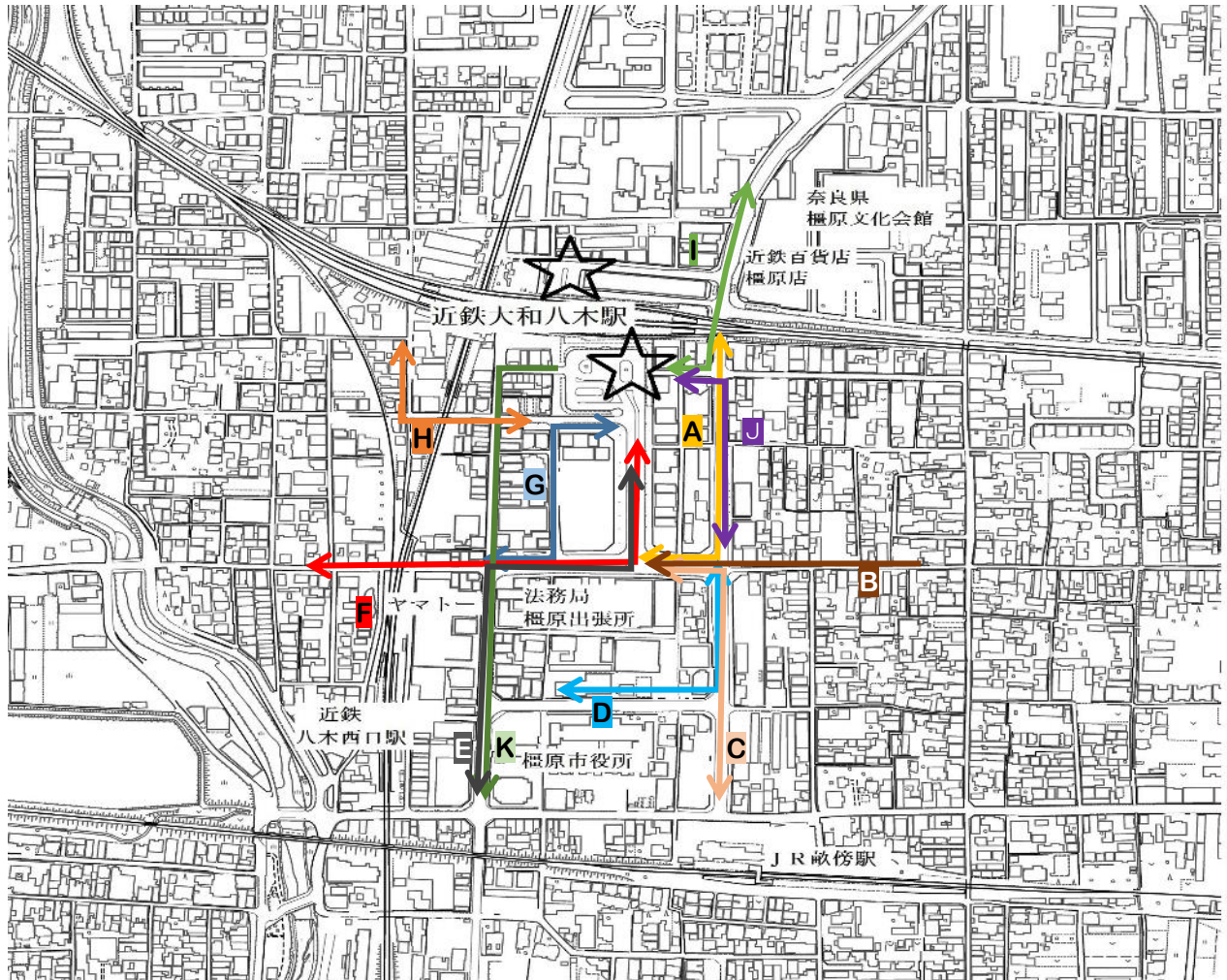
■ 復路

復路		
A	75	45%
B	15	9%
C	19	11%
D	31	19%
E	26	16%
F	1	1%
計	167	

■ 大和八木駅南側駅前広場利用者

駅前広場の利用経路について、回答が 112 者あった。

経路の特徴からルートを経路について A-J の 10 経路、復路について A-K までの 11 経路に分類した。北側からのルート (A ルート、I ルート) の利用者は非常に少なく、北側からの利用者は北側の駅前広場を利用していることが想定される。



■ 往路

往路		
A	6	5%
B	14	13%
C	19	17%
D	2	2%
E	24	21%
F	30	27%
G	5	4%
H	4	4%
I	2	2%
J	6	5%
K	0	0%
計	112	

■ 復路

復路		
A	7	6%
B	0	0%
C	28	25%
D	0	0%
E	16	14%
F	36	32%
G	0	0%
H	4	4%
I	1	1%
J	6	5%
K	14	13%
計	112	

※往路または復路いずれかに回答があった場合、利用者数として含めている。

(イ) 往復路のクロス集計

往路及び復路のクロス集計結果は次のとおり。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者

	復路						
往路	A	B	C	D	E	F	計
A	68	0	4	2	5	0	79
B	0	14	0	0	2	0	16
C	2	0	13	2	2	0	19
D	3	1	0	27	4	0	35
E	1	0	0	0	13	0	14
F	1	0	2	0	0	1	4
計	75	15	19	31	26	1	167

■ 大和八木駅南側駅前広場利用者

	復路											
往路	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	計
A	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6
B	1	0	8	0	0	0	0	0	0	0	2	11
C	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	2	19
D	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
E	2	0	1	0	14	1	0	0	0	0	6	24
F	0	0	0	0	1	28	0	0	0	0	1	30
G	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5
H	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	4
I	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
J	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
K	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	8	0	28	0	16	35	0	4	1	6	11	109

※クロス集計のため、往路または復路いずれかのみに入力された回答者については除外している。

(ウ) 住所と往路のクロス集計

住所及び往路のクロス集計結果は次のとおり。

地区	住所	大和八木駅北側駅前広場利用者							大和八木駅南側駅前広場利用者										
		A	B	C	D	E	F	計	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	計
市内…(a)		65	15	19	34	10	4	147	2	13	15	0	18	26	5	4	2	4	89
耳成地区	十市町	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	太田市町	2	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中町	6	0	0	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東竹田町	2	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上品寺町	2	0	9	0	0	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	葛本町	26	2	0	4	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	常盤町	4	1	0	2	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新賀町	4	3	0	1	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木原町	1	4	0	13	2	0	20	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	山之坊町	0	2	0	7	0	0	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	石原田町	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
多地区	西新堂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	新口町	1	0	5	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八木地区	内膳町	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
	北八木町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	八木町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	南八木町	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	小房町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
真菅地区	飯高町	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大垣町	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小槻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中曾司町	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	土橋町	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊田町	4	0	2	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	北妙法寺町	1	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	曾我町	1	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12
	地黄町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
	五井町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寺田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	慈明寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
	大谷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今井地区	小綱町	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1	5
	今井町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	3	0	0	0	8
	兵部町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鴨公地区	醍醐町	0	2	2	3	0	0	7	0	6	4	0	1	0	0	0	0	0	11
	法花寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	縄手町	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	飛驒町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	別所町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	上飛驒町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
香久山地区	出合町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	出垣内町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	膳夫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	下八釣町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東池尻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木之本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南浦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
	戒外町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	南山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地区	住所	大和八木駅北側駅前広場利用者							大和八木駅南側駅前広場利用者										
		A	B	C	D	E	F	計	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	計
市内…(a)		65	15	19	34	10	4	147	2	13	15	0	18	26	5	4	2	4	89
畝傍地区	四条町	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4	1	1	0	0	0	6
	四分町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山本町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大久保町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	吉田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	畝傍町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	御坊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	栄和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	城殿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	田中町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西池尻町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	久米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	和田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	大軽町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	菖蒲町	0	0	0	0	2	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	3
鳥屋町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
見瀬町	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
南妙法寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
五条野町	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
白檀地区	白檀町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
金橋地区	曲川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	忌部町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	新堂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	雲梯町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	4	
	東坊城町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	古川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新沢地区	光陽町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	川西町	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	北越智町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	観音寺町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市外…(b)		14	1	0	1	4	0	20	4	1	4	2	6	3	0	0	0	2	22
計…(a)+(b)		79	16	19	35	14	4	167	6	14	19	2	24	29	5	4	2	6	111

※クロス集計のため、住所または往路いずれかのみに入力された回答者については除外している。
八木駅南側駅前広場の往路または復路での利用者数 112 に対して住所の記載がなかった回答者が 1 あったため、合計で 111 となっている。

(工) 車による送迎などで、大和八木駅北側駅前広場と大和八木駅南側駅前広場のどちらを多く利用されますか。また、その理由を教えてください。(問4 複数回答可)と経路(往路)のクロス集計

南北駅前広場いずれかを利用する理由と、現状使うことが多い経路(往路)をクロス集計した結果を次に示す。

■ 大和八木駅北側駅前広場利用者

北側の結果は次の通りである。

	i 家から大和八木駅への最短時間の道順となる広場のため	ii 渋滞しない道を通ることができるため	iii 送迎の際に乗り降りしやすいため	IV 送迎してもらう方の目的施設に近い広場のため	V 大和八木駅からの次の目的地に向かいやすい広場のため	計
A	51	3	35	8	10	107
	48%	3%	33%	7%	9%	100%
B	14	3	7	1	2	27
	52%	11%	26%	4%	7%	100%
C	14	0	6	2	0	22
	64%	0%	27%	9%	0%	100%
D	27	10	17	2	4	60
	45%	17%	28%	3%	7%	100%
E	5	1	8	5	1	20
	25%	5%	40%	25%	5%	100%
F	3	0	2	0	0	5
	60%	0%	40%	0%	0%	100%

※問4について、複数回答可のため、合計が他の設問と異なる。

■ 大和八木駅南側駅前広場利用者
南側の結果は次のとおりである。

	i 家から大和八木駅への最短時間の道順となる広場のため	ii 渋滞しない道を通ることができるため	iii 送迎の際に乗り降りしやすいため	IV 送迎してもらう方の目的施設に近い広場のため	V 大和八木駅からの次の目的地に向かいやすい広場のため	計
A	0	0	5	3	0	8
	0%	0%	63%	38%	0%	100%
B	10	1	9	3	0	23
	43%	4%	39%	13%	0%	100%
C	13	2	11	3	0	29
	45%	7%	38%	10%	0%	100%
D	2	1	1	0	0	4
	50%	25%	25%	0%	0%	100%
E	17	0	16	5	3	41
	41%	0%	39%	12%	7%	100%
F	22	5	19	2	1	49
	45%	10%	39%	4%	2%	100%
G	3	1	3	1	0	8
	38%	13%	38%	13%	0%	100%
H	2	1	4	1	0	8
	25%	13%	50%	13%	0%	100%
I	1	0	1	0	0	2
	50%	0%	50%	0%	0%	100%
J	4	0	3	1	1	9
	44%	0%	33%	11%	11%	100%

※問4について、複数回答可のため、合計が他の設問と異なる。

d. まとめ

本アンケートは、大和八木駅前広場利用者のニーズを確認するため、駅前広場で一時駐車している運転手へ手配りでアンケートを配布した。

回答者の年齢は、北側駅前広場利用者については、50～59歳が32.8%と最も多く、南側駅前広場利用者については40～49歳が32.8%と最も多かった。北側駅前広場利用者、南側駅前広場利用者ともに、20～30歳の割合は全体の3%程度と少なかった。

北側駅前広場または南側駅前広場の利用頻度については、配布時に北側を利用していた人は、北側の駅前広場を利用する頻度が高く、配布時に南側を利用していた人は、南側の駅前広場を利用する頻度が高い結果となった。

北側駅前広場または南側駅前広場の利用理由については、北側駅前広場利用者は、「家から大和八木駅への最短時間の道順となる広場のため」という理由が最も多く、南側駅前広場利用者は、「家から大和八木駅への最短時間の道順となる広場のため」という理由が多く、次いで「送迎の際に乗り降りしやすいため」という理由が多い結果となった。

一方、北側駅前広場利用者は、「送迎の際に乗り降りしやすいため」という理由を選択した割合が46.8%で半分に満たない結果となった。

北側駅前広場及び南側駅前広場共に利用の用件は、大和八木駅及び駅周辺施設への送迎が多かった。

駅前広場への送迎の用件として、北側、南側共に「大和八木駅（通勤・通学・お出かけ等）」が最も多い結果となった。次に、北側については「銀行」「塾等、習い事が多く、南側については「塾等、習い事」が多い結果になった。大和八木駅周辺の一時停車している車の多くが、送迎を目的としていることが確認された。

送迎以外の駅前広場利用の用件についても、北側、南側共に「大和八木駅（通勤・通学・お出かけ等）」が最も多い結果となった。送迎ではなく運転手自身の通勤・通学・お出かけ等によるものと考えられる。

次に多かったものとして、北側については「銀行（大和八木駅周辺）」という結果であり、南側の「銀行（大和八木駅周辺）」に比べて多い割合を示す結果となった。これは、大和八木駅北側に銀行が立地していることが要因と考えられる。

北側駅前広場に今後必要と思われるものとして、北側、南側利用者共に「送迎時に乗り降りしやすい一般乗降スペース」が最も多かった。次いで「短時間駐車スペース」が多い結果となり、一般乗降及び短時間駐車スペースのニーズが高いことがうかがえる。

北側駅前広場及び南側駅前広場の利用については、住まいとの相関が高い結果となった。南側駅前広場は一般の乗降スペースが整備済であることから、住まいによらず、南側利用割合が高いという予想と反する結果となった。

参考資料④ 大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画に関する アンケート実施結果

目次

1. 市民アンケートの概要	1
1.1. 市民意識調査	1
1.2. 市民アンケートの発送・回収	1
2. 市民アンケート調査票	2
3. 市民アンケート結果	9
3.1. 選択項目	9
3.2. 自由記述	32
3.2.1. 賑わい創出について	32
3.2.2. 回遊性向上による観光振興	59
3.2.3. 交通処理・交通ネットワーク検討	79
3.3. まとめ	92

1. 市民アンケートの概要

1.1. 市民意識調査

(1) 目的

大和八木駅周辺地区基本計画の策定にあたり、市民意識調査を行う。

(2) 調査の対象

- ・ 調査の対象者：檀原市民で、15歳以上の方
- ・ 対象者数：2,000人
- ・ 対象者の抽出：住民基本台帳より無作為に抽出

(3) 調査の方法

- ・ 調査票を郵送により配布し、郵送により回収する。
- ・ 返信先は市役所とする。
- ・ 各設問の選択肢には、必ずその他の選択肢を設け、自由に回答できる構成とし、市民意見の聴取に漏れが無いように対応する。
- ・ また、アンケートの最後には自由記述欄を設け、文章により大和八木駅周辺地区のまちづくりについて自由な意見を聴取する。

(4) 市民アンケートの分析方法

すべての質問に対して属性によるクロス分析を行う。

(5) 調査時期

- ・ 調査票の発送：平成30年2月6日
- ・ 調査票の返送期限：平成30年2月26日

1.2. 市民アンケートの発送・回収

- ・ 発送数：2,000通
- ・ 返送数：576通（回収率28.8%）

2. 市民アンケート調査票

大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画に関する
アンケート調査回答用紙

問1 あなたの性別について、あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 男性
2. 女性

問2 あなたの年齢について、あてはまる番号を○で囲んでください。

1. 20歳未満
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳以上

問3 あなたの職業について、あてはまる番号を○で囲んでください。


1. 会社員
2. 自営業
3. パート・アルバイト
4. 公務員
5. 専業主婦・専業主夫
6. 学生
7. 無職
8. その他 ()

問4 あなたのご住所地の町名を教えてください。
(番地等は記入しないでください。)


檀原市 _____ 町

問5 大和八木駅周辺地区における【A. 賑わい創出】のための下記1～3の取組内容について、あなたが考える優先順位を下の枠に取組番号で記入して下さい。


下記取組内容の優先順位 → 1位 2位 3位


取組番号 1	民間事業者や市民団体による賑わい創出	<p>■大和八木駅周辺地区において、民間が中心となって企画する賑わいづくりイベントを官民の連携により実施する。</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元団体主催のイベント ・ハロウィンフェスティバル ・商店街歩行者天国 ・イルミネーション in かしはら 	
------------------	--------------------	--	---

★ あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。
(例：こんなイベントがあったら嬉しい・賑わいがつくれそう 等)

取組番号 2	外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施	<p>■観光客が日本伝統文化の体験ができるようなプログラムを開発する。</p> <p>■体験プログラムに参加した観光客に情報発信を促す。</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人向け着物着付け体験 ・江戸時代お食事体験 	
------------------	------------------------------	---	---

★ あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。
(例：こんな体験プログラムあったら嬉しい・楽しそう 等)

取組番号 3	観光案内所及び 観光地における 外国人観光客へ の対応	■増加が見込まれる外国人観光客のため、多言語対応の案内スタッフを確保する。 ■観光地に多言語表示の看板を設置する。 
-----------	--------------------------------------	---

 ★あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。
(例：外国人観光客が困らず便利に滞在してもらうための案 等)



★上記の1～3の取組内容以外で【A. 販わい創出】のためのアイデアや、ご意見がございましたらご記入ください。




問6 大和八木駅周辺地区における【B . 回遊性^(※)向上による観光振興】のため
 の下記1～3の取組内容について、あなたが考える優先順位を下の枠
 に取組番号で記入して下さい。

(※) 回遊性：複数の観光スポットや店舗等を歩いて回ること。


下記取組内容の優先順位 → 1位 2位 3位


取組番号 1	駅や観光地における 観光案内サイン の設備・充実	<p>■ 橿原市を訪れる人々に快適な滞在を楽しんでもらえるよう、駅や観光地においてわかりやすく便利な観光案内サイン（看板）を整備・充実させる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
------------------	--------------------------------	---

★ あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。
 (例：橿原市内における観光案内看板について思うこと 等)

取組番号 2	歩いてみたくなる 観光ルートの整備	<p>■ 大和八木駅から今井町、八木町、JR畷傍駅、飛鳥川、藤原宮跡等を歩いてまわりたくなるような、歩きやすい観光ルートを整備する。</p> 
------------------	----------------------	--

★ あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。
 (例：歩いてみたくなる観光ルートづくりのために必要と考えること 等)

取組番号 3	八木町のまちなみ 景観保存と育成	■八木町の下ツ道、横大路の沿道の歴史的なまちなみの景観を保全して、歴史的景観にふさわしいまちづくりのルールづくりを検討する。 
------------------	---------------------	--


あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。
(例：八木町の歴史的景観を守るために必要と考えること 等)


 上記の1～3の取組内容以外で【**B . 回遊性向上による観光振興**】のためのアイデアや、ご意見がございましたらご記入ください。



問7 大和八木駅周辺地区における【D. 交通処理・交通ネットワーク検討】
 のための下記1～3の取組内容について、あなたが考える優先順位を下
 の枠に取組番号で記入して下さい。

下記取組内容の優先順位 → 1位 2位 3位

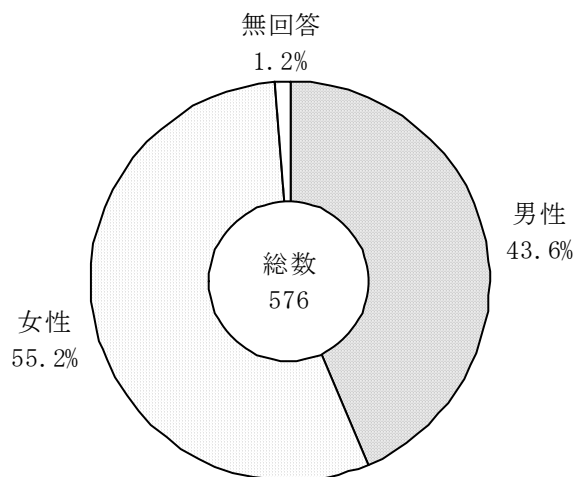
取組番号	1	<p>大和八木駅への 南北アクセス道路 整備</p> <p>■国道24号の渋滞緩和や、大和八木駅北側駅前広場への アクセス性向上のため、市道 新賀町26号線から市道 内膳町2号線までの南北アクセス道路の整備を検討す る。 ※矢印は道路を整備する場所を示すものではありません。</p> 
------	---	---

取組番号	2	<p>交差点改良 (近鉄八木駅北広 場交差点)</p> <p>■自動車交通の円滑化と安全性を確保するために、国道 24号から大和八木駅北側駅前広場に向かう近鉄大和八 木駅北広場交差点(下図の○の範囲)の改良を検討する。</p> 
------	---	--

3. 市民アンケート結果

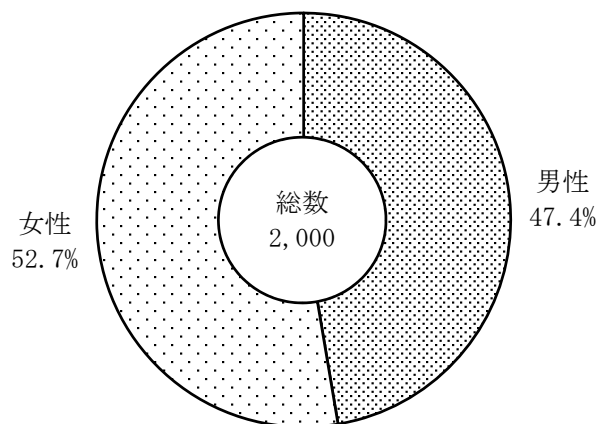
3.1. 選択項目

問1. 性別



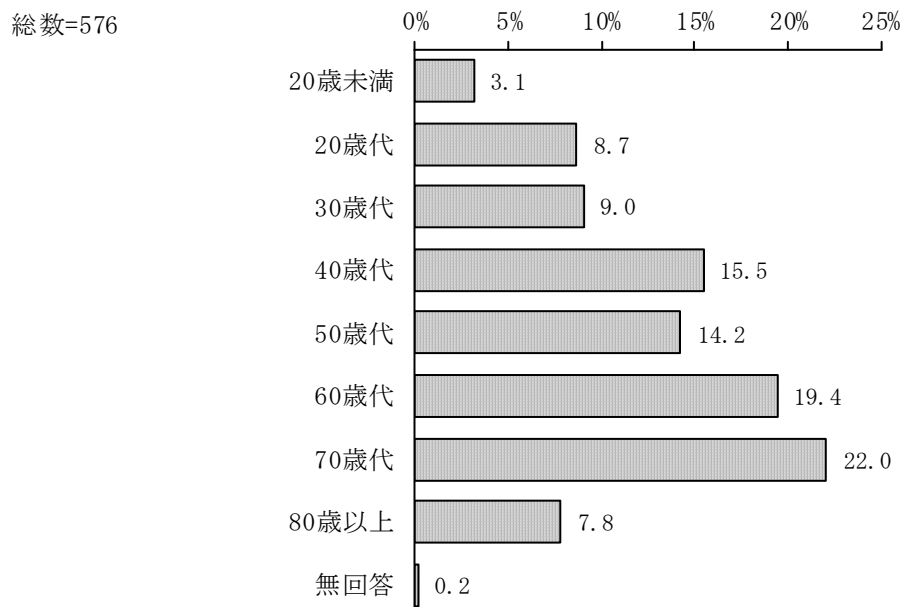
「女性」は55.2%、「男性」は43.6%となっている。

※アンケート送付時の「女性」は52.7%、「男性」は47.3%であったことから、若干女性の回答率が良かったことがわかる。



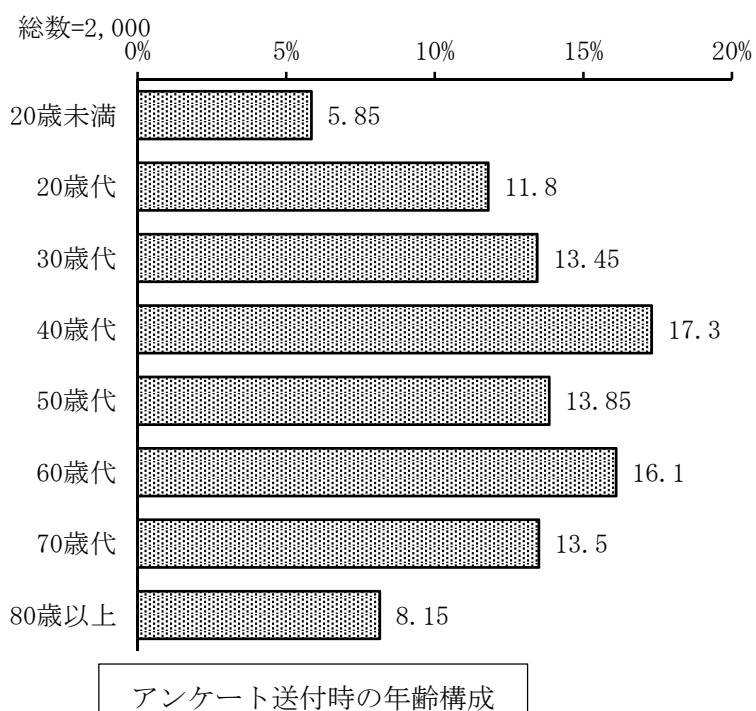
アンケート送付時の男女比率

問2. 年齢

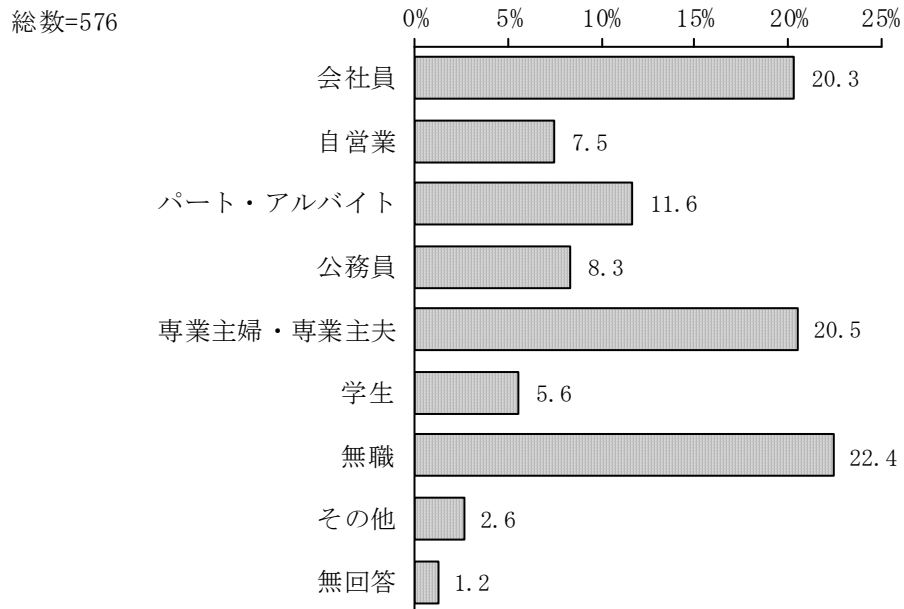


「70歳代」が22.0%で最も多く、次いで「60歳代」が19.4%、「40歳代」が15.5%、「50歳代」が14.2%である。

※アンケート送付時の年齢構成は下図のとおり。40歳代以下の回答が少ないことがわかる。

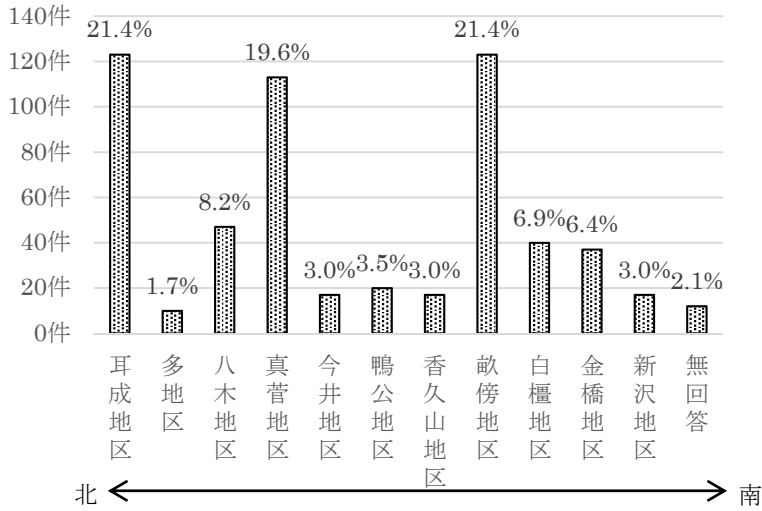
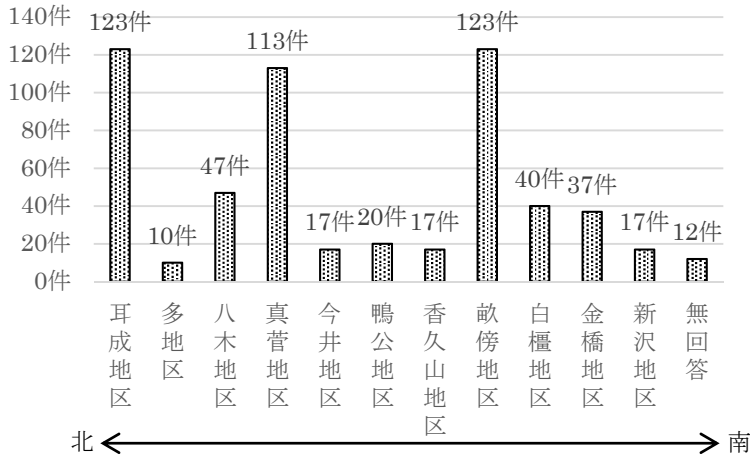


問3. 職業



「無職」が22.4%で最も多く、次いで「専業主婦・専業主夫」が20.5%、「会社員」が20.3%、「パート・アルバイト」が11.6%である。

問4. 地区

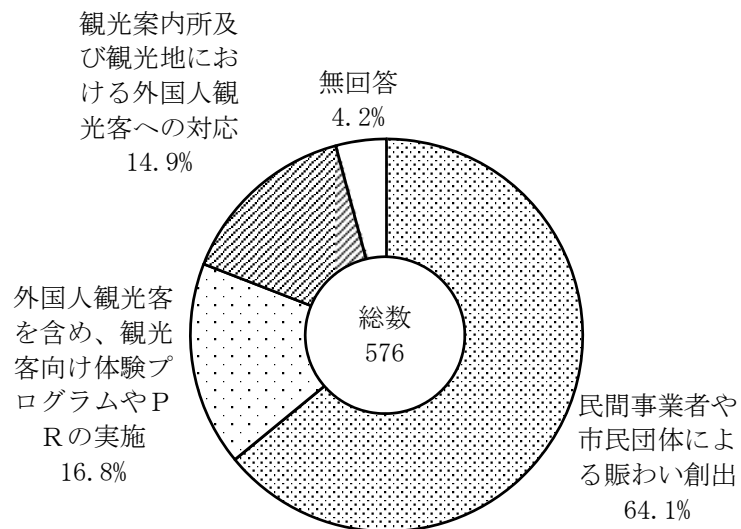


「畝傍地区」、「耳成地区」が21.4%で最も多い。

※アンケートでは住所地の町名を記載いただき、下記地区に割り当てを行った。

地区名	町名
耳成地区	十市町、太田市町、中町、東竹田町、上品寺町、葛本町、常盤町、新賀町、木原町、山之坊町、石原田町
多地区	西新堂町、新口町
八木地区	内膳町、北八木町、八木町、南八木町、小房町
真菅地区	飯高町、大垣町、小槻町、中曾司町、土橋町、豊田町、北妙法寺町、曾我町、地黄町、五井町、寺田町、慈明寺町、大谷町
今井地区	小綱町、今井町、兵部町
鴨公地区	醍醐町、法花寺町、高殿町、縄手町、飛驒町、別所町、上飛驒町
香久山地区	出合町、出垣内町、膳夫町、下八釣町、東池尻町、木之本町、南浦町、戒外町、南山町
畝傍地区	四条町、四分町、山本町、大久保町、吉田町、畝傍町、御坊町、栄和町、城殿町、田中町、西池尻町、久米町、和田町、石川町、大軽町、菖蒲町、鳥屋町、見瀬町、南妙法寺町、五条野町
白檀地区	白檀町
金橋地区	曲川町、忌部町、新堂町、雲梯町、東坊城町、古川町
新沢地区	光陽町、川西町、一町、北越智町、観音寺町

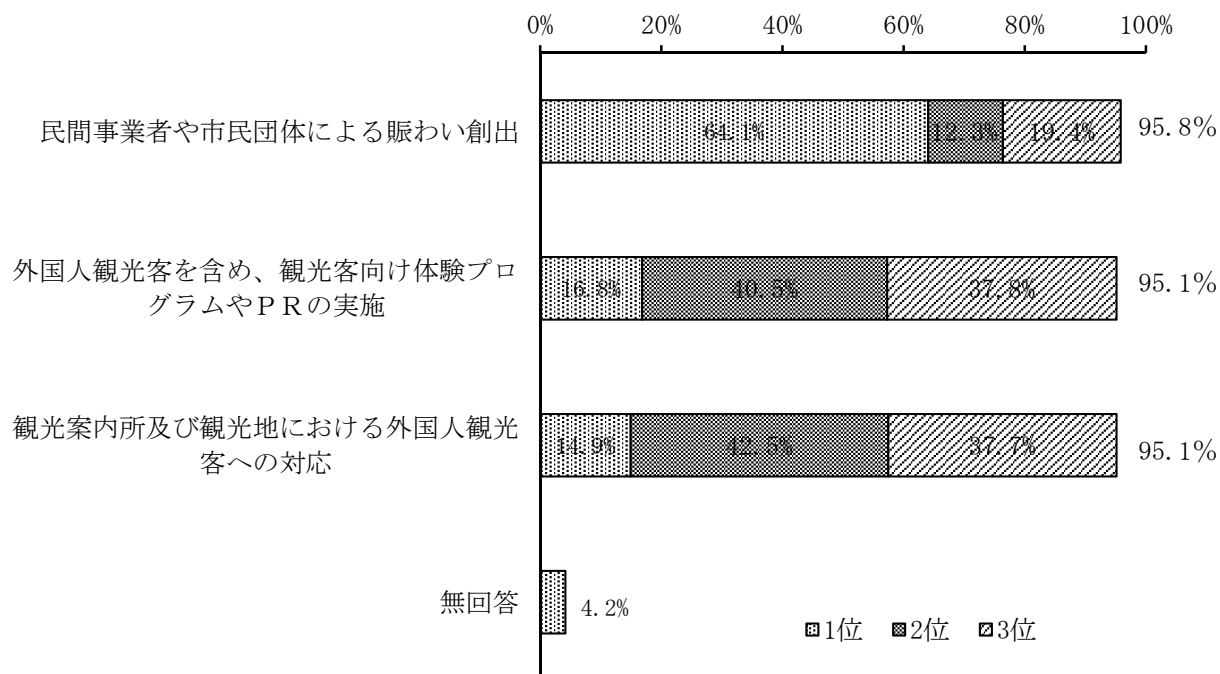
問5. 優先すべき取組内容【A. 賑わい創出】1位



「民間事業者や市民団体による賑わい創出」を選んだ割合が64.1%で最も高く、次いで「外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施」が16.8%、「観光案内所及び観光地における外国人観光客への対応」が14.9%である。

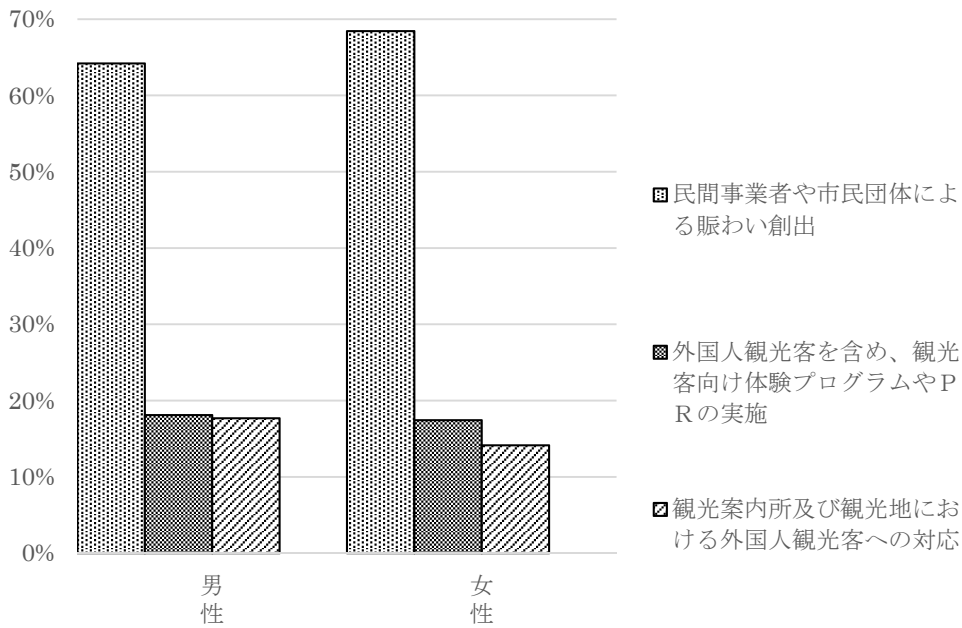
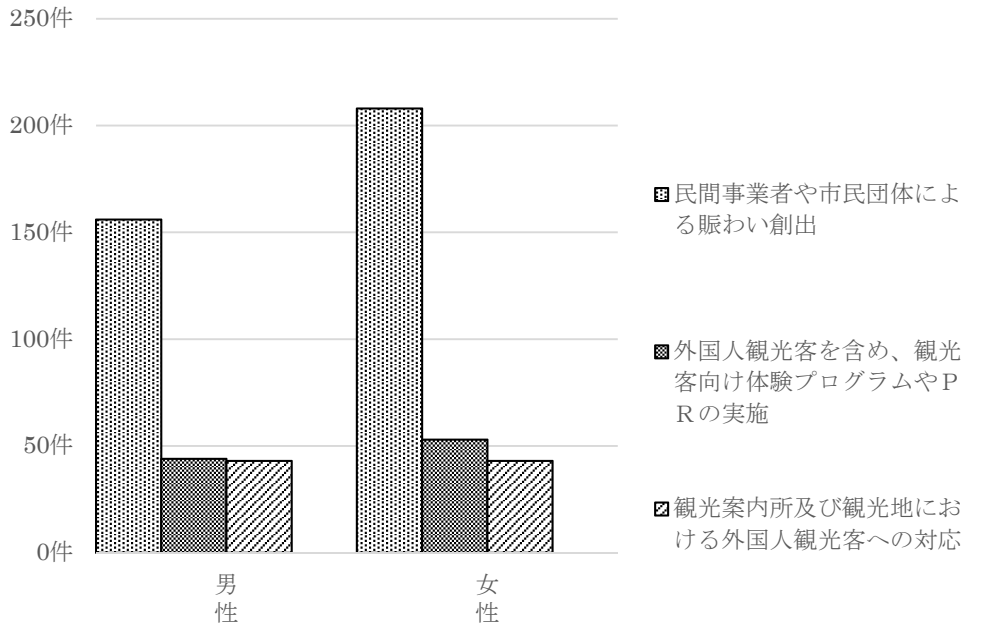
問5. 優先すべき取組内容【A. 賑わい創出】 1位～3位

総数=576



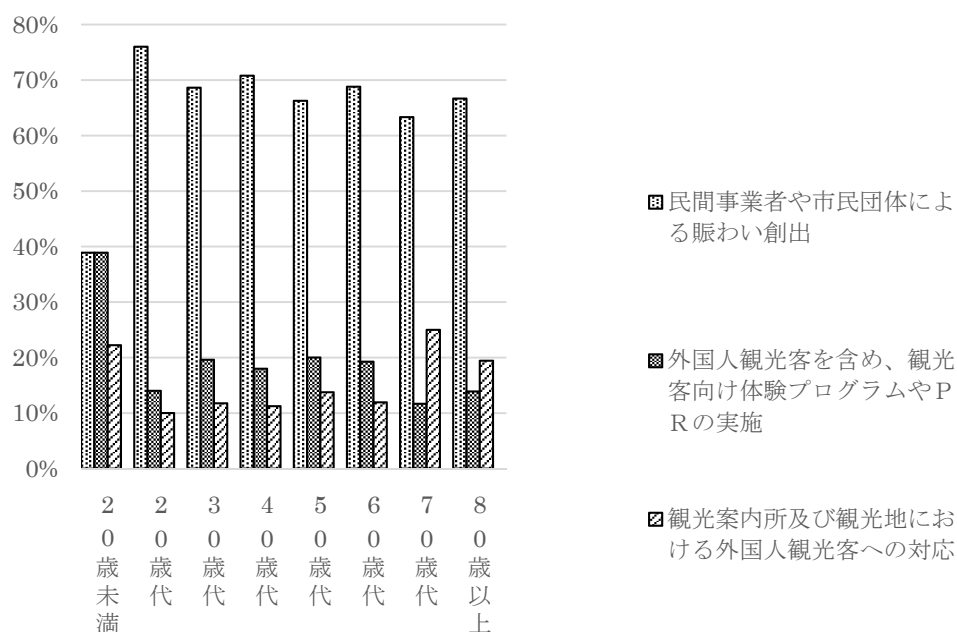
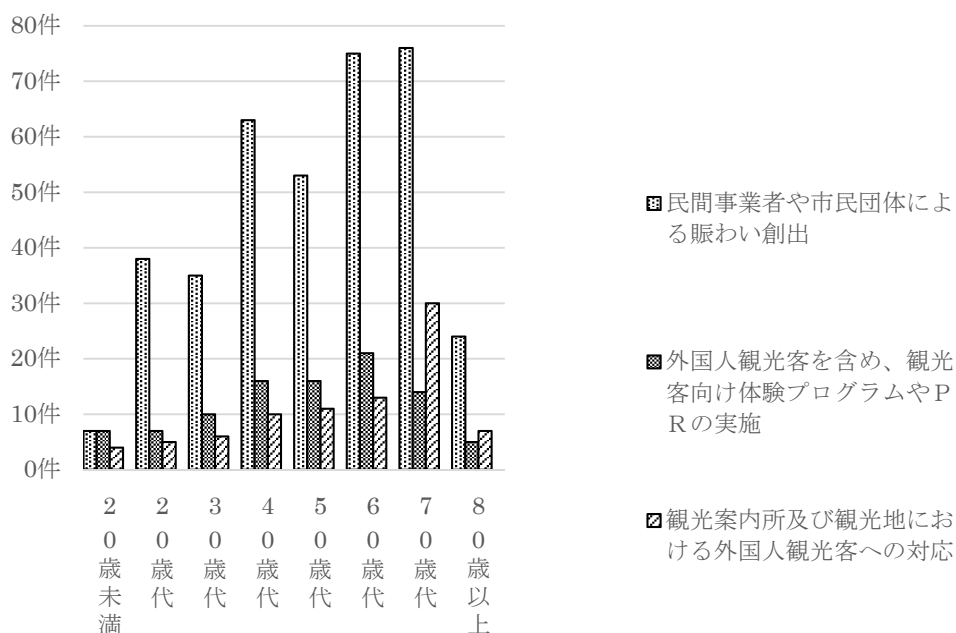
賑わい創出において、1位～3位のいずれかの回答があった割合は「民間事業者や市民団体による賑わい創出」が95.8%で最も高く、次いで「外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施」及び「観光案内所及び観光地における外国人観光客への対応」が95.1%である。

問5. 優先すべき取組内容【A. 賑わい創出1位】クロス集計【性別】



賑わい創出の1位は、男性に比べ女性の方が「民間事業者や市民団体による賑わい創出」を選んだ割合が高い。

問5. 優先すべき取組内容【A. 賑わい創出1位】クロス集計【年齢】

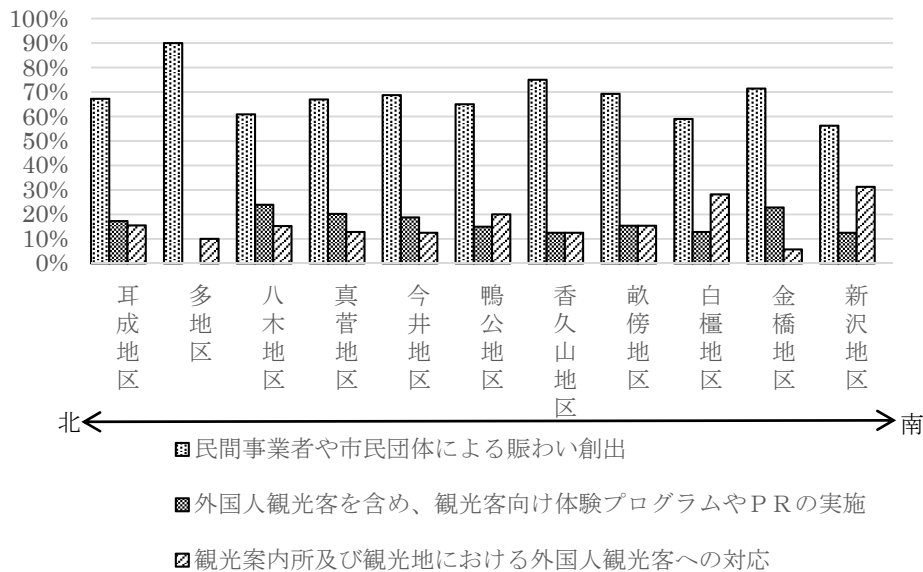
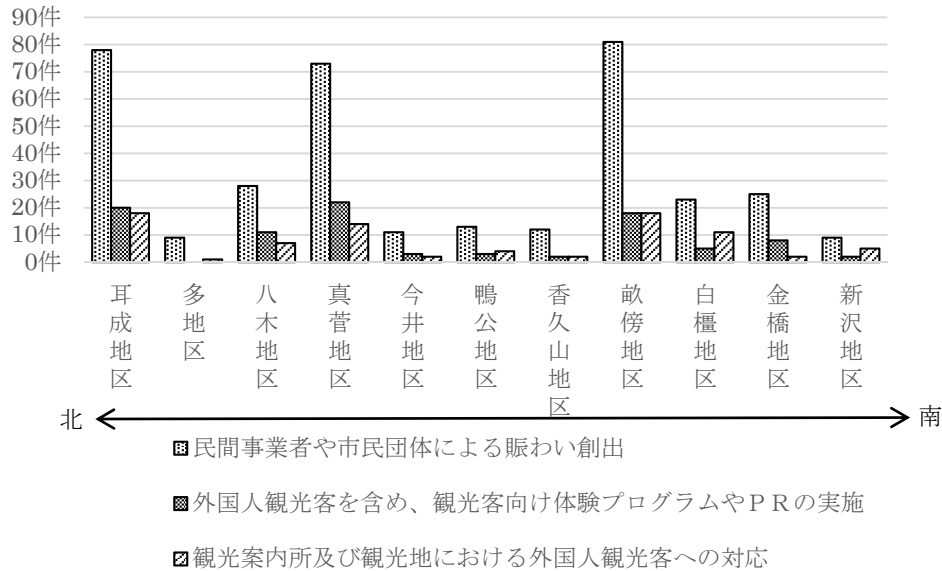


賑わい創出の1位は20歳代以上の年代では、「民間事業者や市民団体による賑わい創出」を選んだ割合が最も高く、次いで「外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施」を選んだ割合が最も高い。

20歳未満については、「民間事業者や市民団体による賑わい創出」と「外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施」を選んだ割合が同程度となっており、他の年代と違う傾向であった。

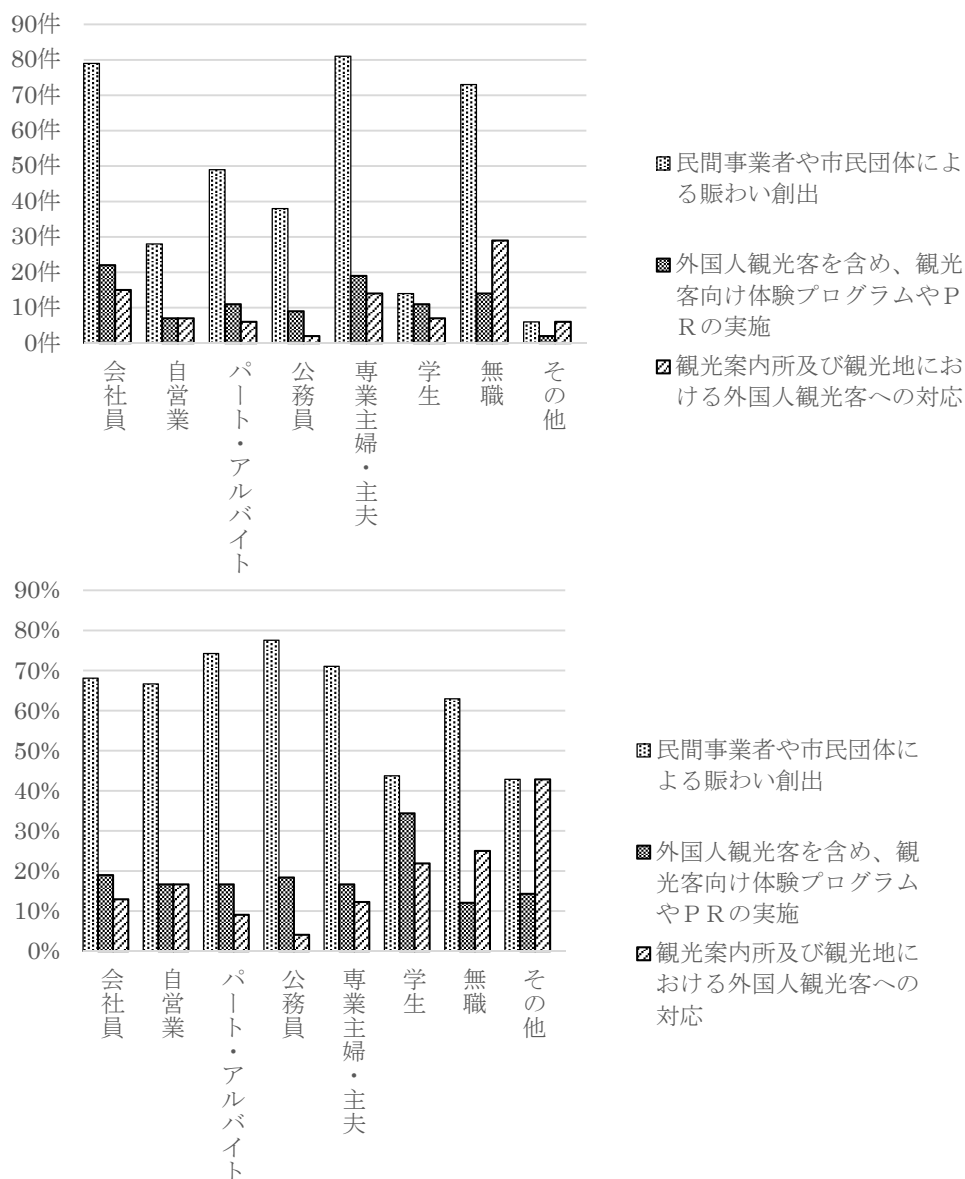
また、20歳代未満、70歳代及び80歳以上については、「観光案内所及び観光地における外国人観光客への対応」を選んだ割合が、他の年代に比べて高い。

問5. 優先すべき取組内容【A. 賑わい創出1位】クロス集計【地区】



地区別では、すべての地区において「民間事業者や市民団体による賑わい創出」を1位に選んだ割合が多い。

問5. 優先すべき取組内容【A. 賑わい創出1位】クロス集計【職業】

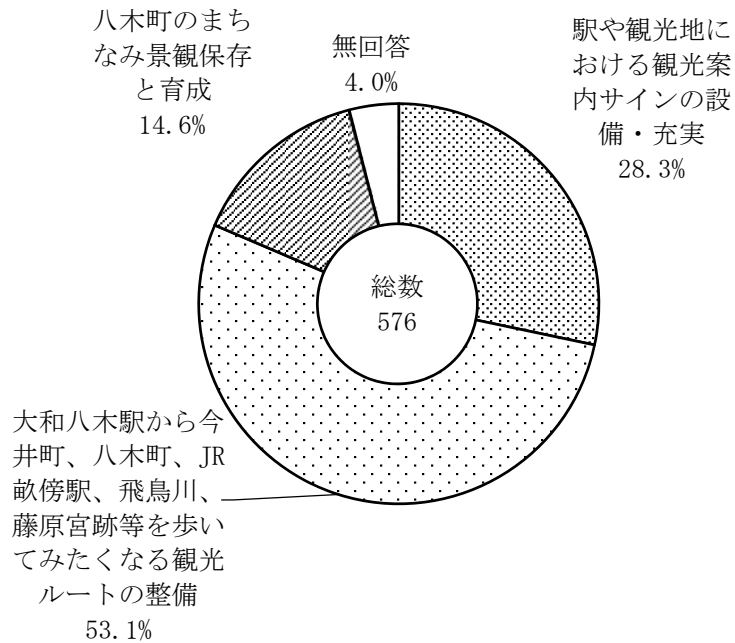


職業別にみると、賑わい創出の1位は、会社員、自営業、パート・アルバイト、公務員、専業主婦・主夫については、「民間事業者や市民団体による賑わい創出」が選んだ割合が最も高く、次いで、「外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施」を選んだ割合が高い。

学生については、「民間事業者や市民団体による賑わい創出」と「外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施」を選んだ割合が高く、他の職業と違う傾向であり、年代別にクロス集計した際の20歳未満と同様の傾向があった。

無職及びその他の職業については、「観光案内所及び観光地における外国人観光客への対応」を選んだ割合が、他の職業に比べて高い。

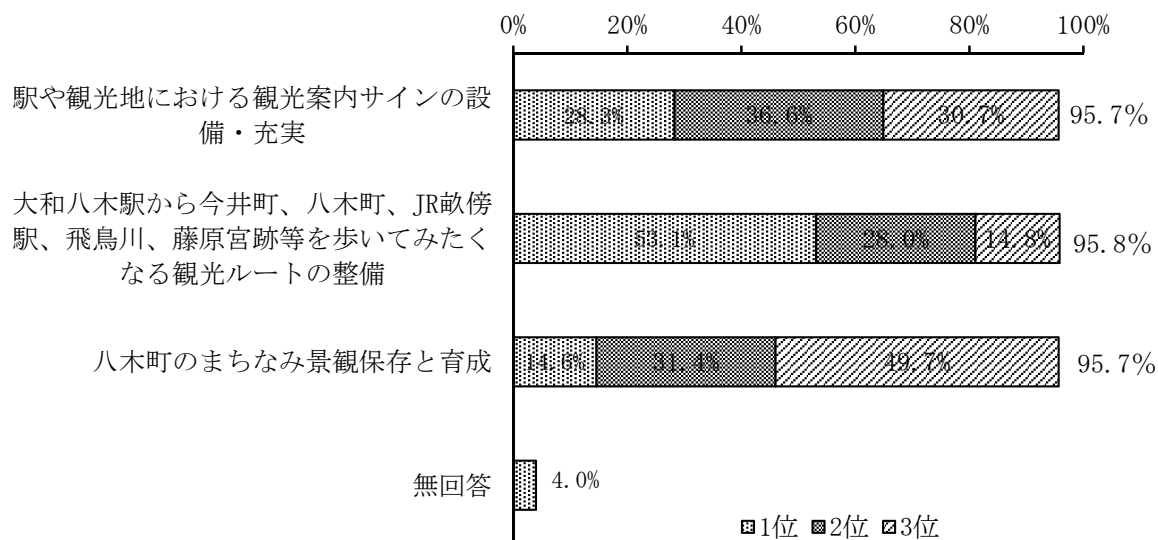
問6. 優先すべき取組内容【B. 回遊性向上による観光振興】1位



「大和八木駅から今井町、八木町、JR 畝傍駅、飛鳥川、藤原宮跡等を歩いてみたくなる観光ルートの整備」を選んだ割合が53.1%で最も高く、次いで「駅や観光地における観光案内サインの設備・充実」が28.3%、「八木町のまちなみ景観保存と育成」が14.6%である。

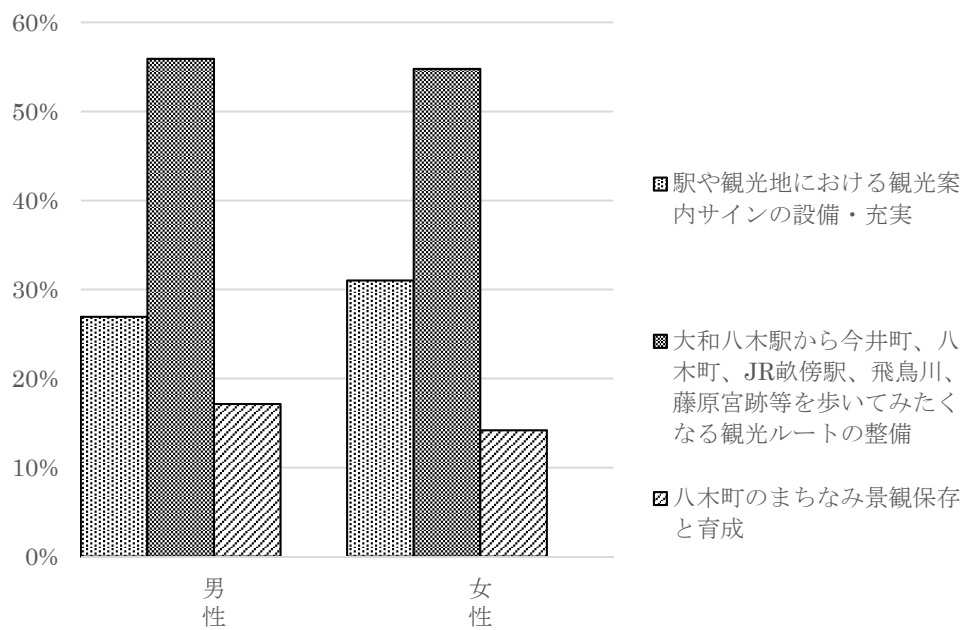
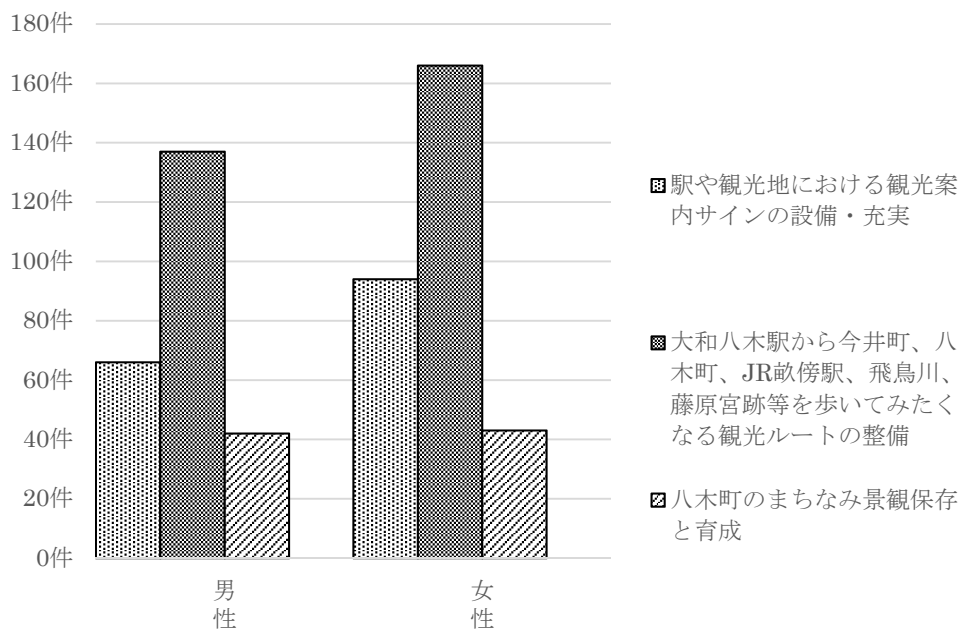
問6. 優先すべき取組内容【B. 回遊性向上による観光振興】1位～3位

総数=576



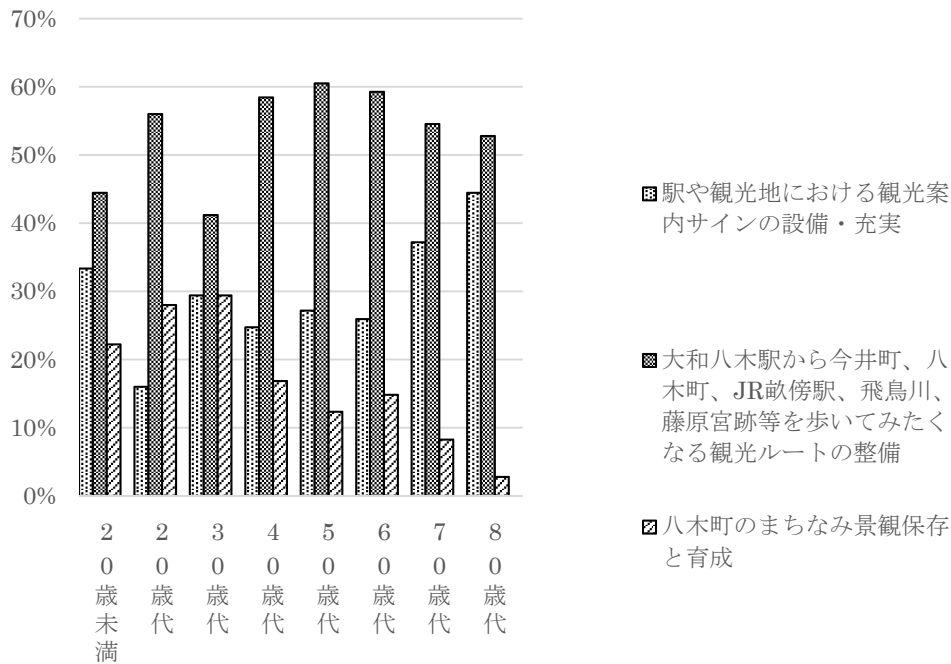
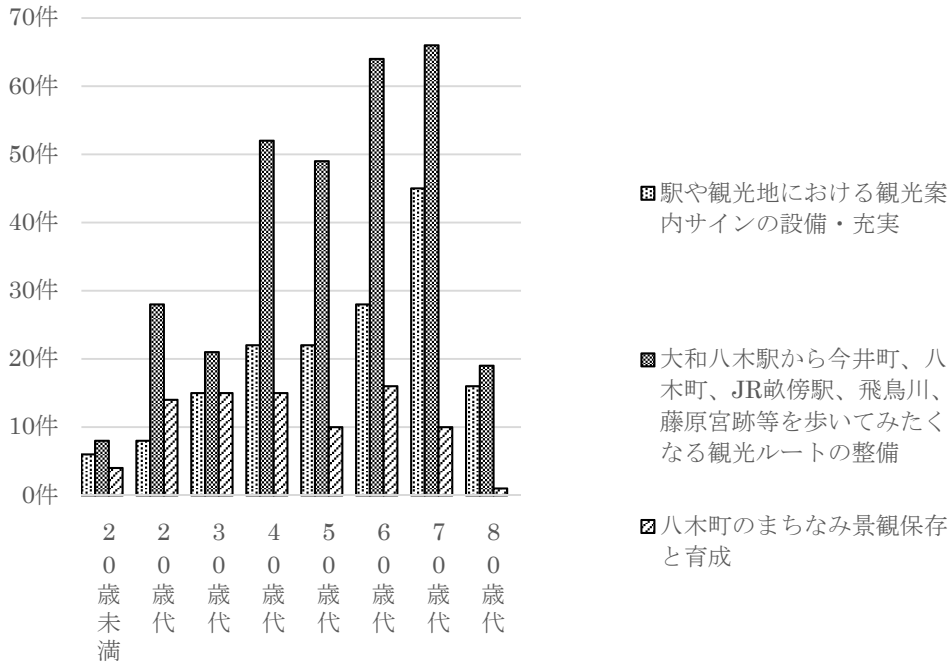
回遊性向上による観光振興において、1位～3位のいずれかの回答があった割合は、「大和八木駅から今井町、八木町、JR 畝傍駅、飛鳥川、藤原宮跡等を歩いてみたくなる観光ルートの整備」が95.8%で最も高く、「駅や観光地における観光案内サインの設備・充実」及び「八木町のまちなみ景観保存と育成」が95.7%である。

問6. 優先すべき取組内容【B. 回遊性向上による観光振興1位】クロス集計【性別】



回遊性向上による観光振興の1位は、男性に比べ女性の方が「駅や観光地における観光案内サインの設備・充実」を選んだ割合が高い。

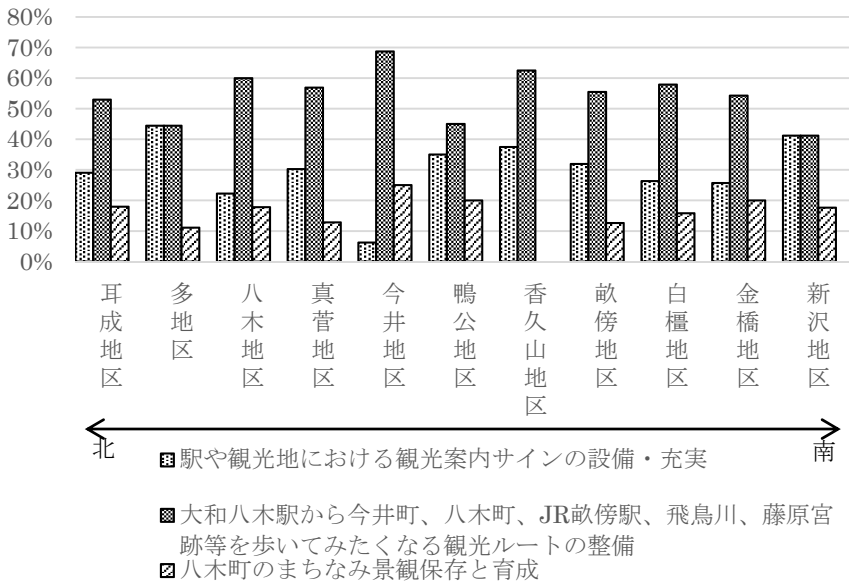
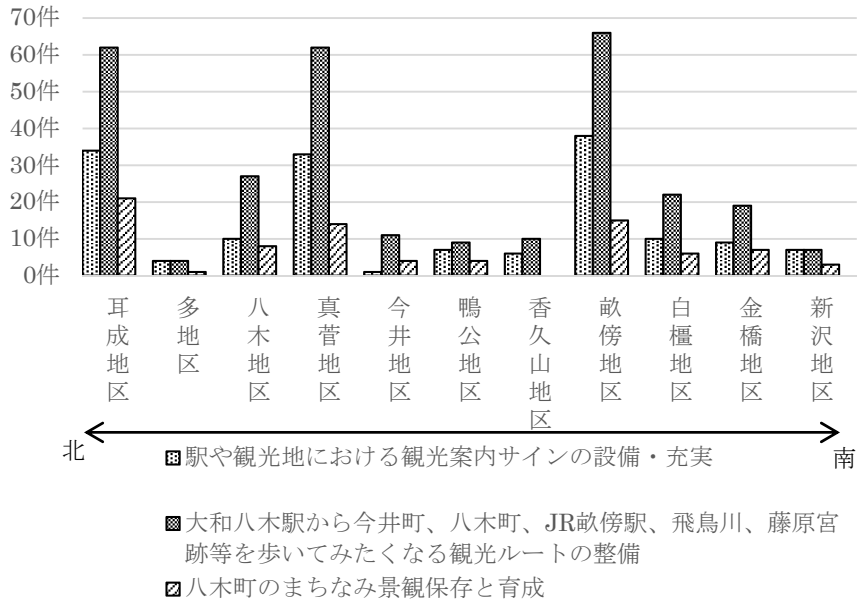
問6. 優先すべき取組内容【B. 回遊性向上による観光振興1位】クロス集計【年齢】



回遊性向上による観光振興の1位は、すべての年代において、「大和八木駅から今井町、八木町、JR 畝傍駅、飛鳥川、藤原宮跡等を歩いてみたくなる観光ルートの整備」を選択した割合が高い。

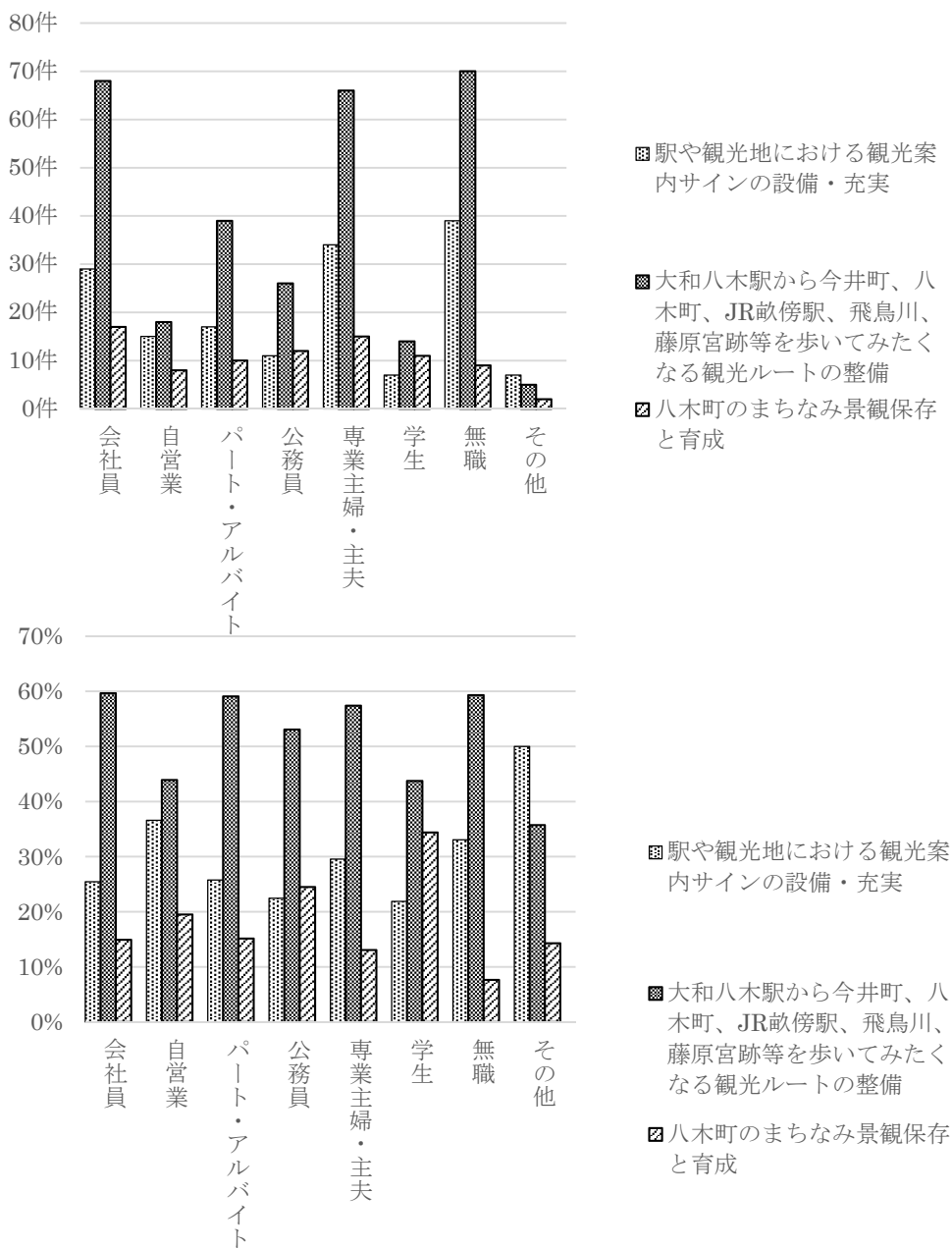
20歳代、30歳代は、他の年代に比べて「八木町のまちなみ景観保全と育成」を選んだ割合が高い。70歳代、80歳代は、他の年代に比べて「駅や観光地における観光案内サインの設備・充実」を選んだ割合が高く、「八木町のまちなみ景観保全と育成」を選択した割合が低い。

問6. 優先すべき取組内容【B. 回遊性向上による観光振興1位】クロス集計【地区】



地区別では、ほぼ全ての地区において「大和八木駅から今井町、八木町、JR 畝傍駅、飛鳥川、藤原宮跡等を歩いてみたくなる観光ルートの整備」を1位に選んだ割合が最も高く、多地区と新沢地区は「駅や観光地における観光案内サインの設備・充実」が同程度であった。

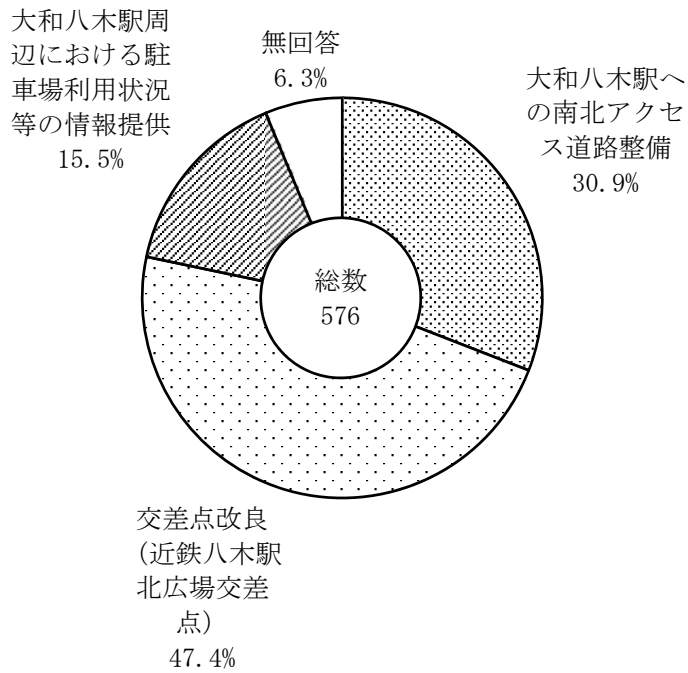
問6. 優先すべき取組内容【B. 回遊性向上による観光振興1位】クロス集計【職業】



回遊性向上による観光振興の1位は、その他の職業では、「駅や観光地における観光案内サインの設備・充実」を選んだ割合が最も高く、他の職業は、「大和八木駅から今井町、八木町、JR畝傍駅、飛鳥川、藤原宮跡等を歩いてみたくなる観光ルートの整備」を選んだ割合が最も高い。

公務員及び学生は「八木町のまちなみ景観保存と育成」選んだ割合が2番目に高く、他の職業と違う傾向であることが分かる。

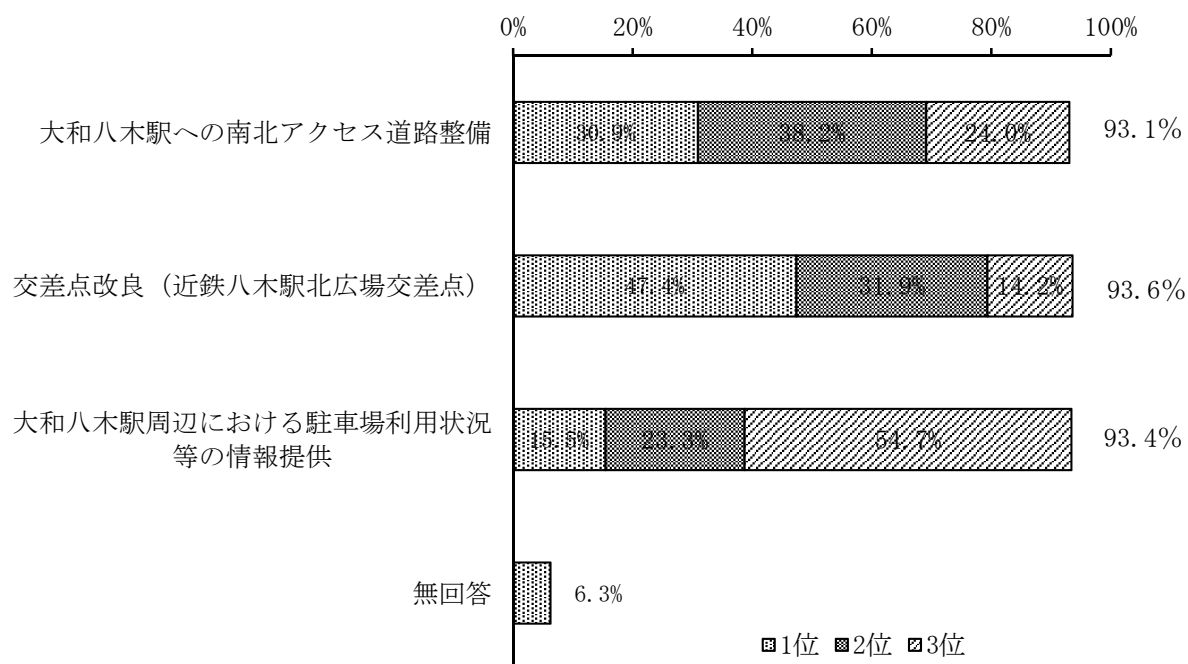
問7. 優先すべき取組内容【D. 交通処理・交通ネットワーク検討】 1位



「交差点改良（近鉄八木駅北広場交差点）」を選んだ割合が47.4%で最も高く、次いで「大和八木駅への南北アクセス道路整備」が30.9%、「大和八木駅周辺における駐車場利用状況等の情報提供」が15.5%である。

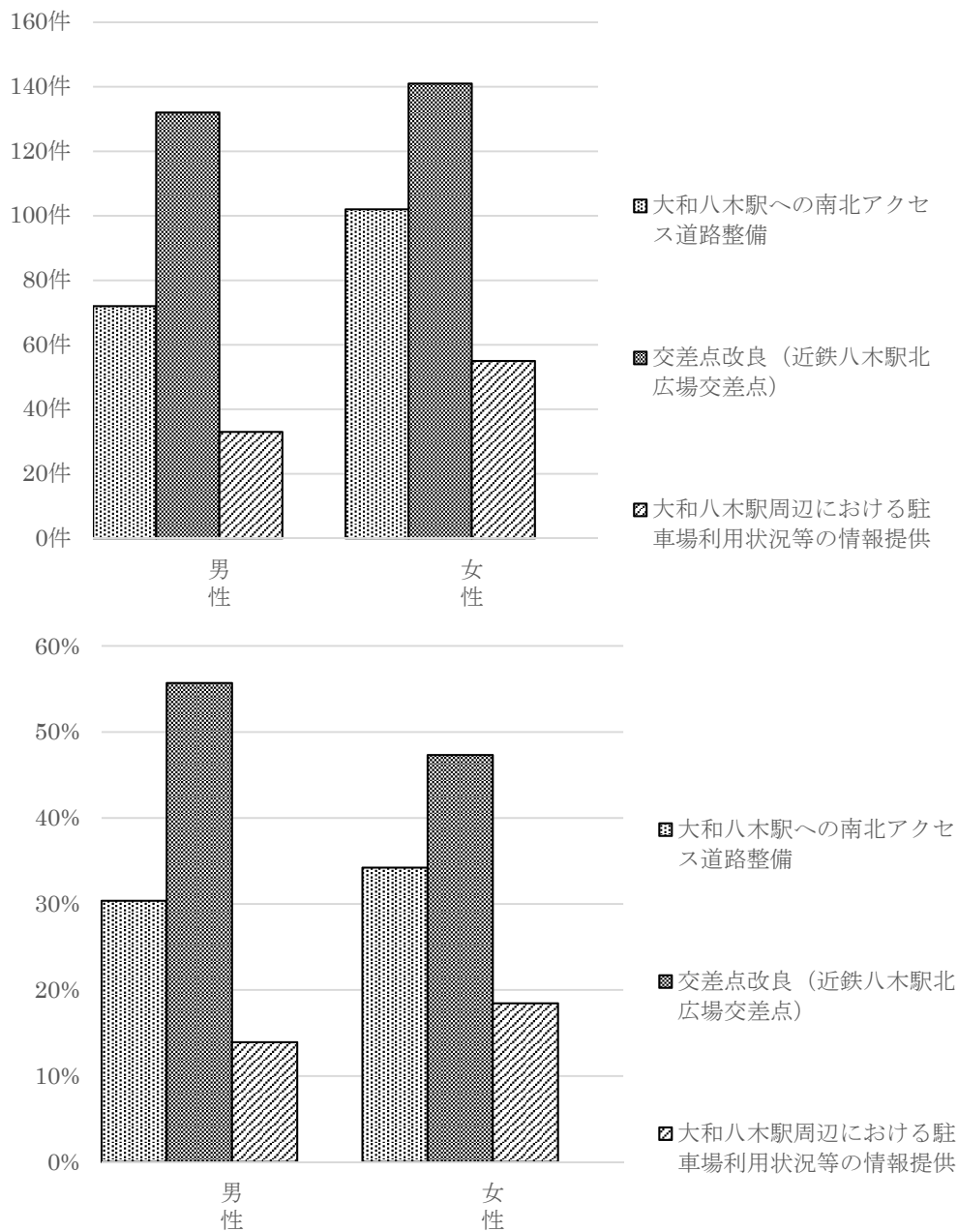
問7. 優先すべき取組内容【D. 交通処理・交通ネットワーク検討】 1位～3位

総数=576



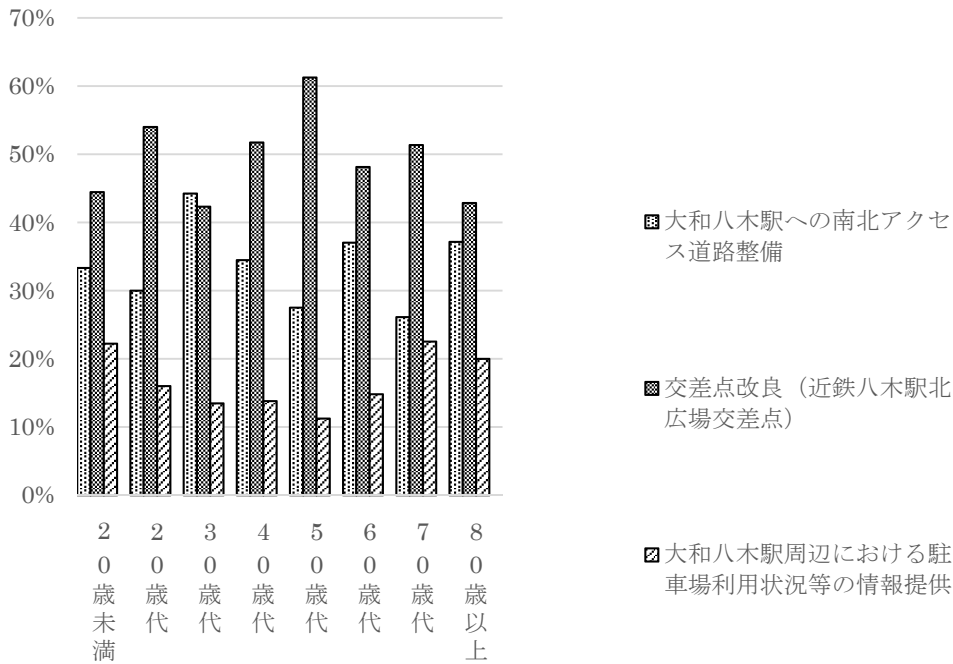
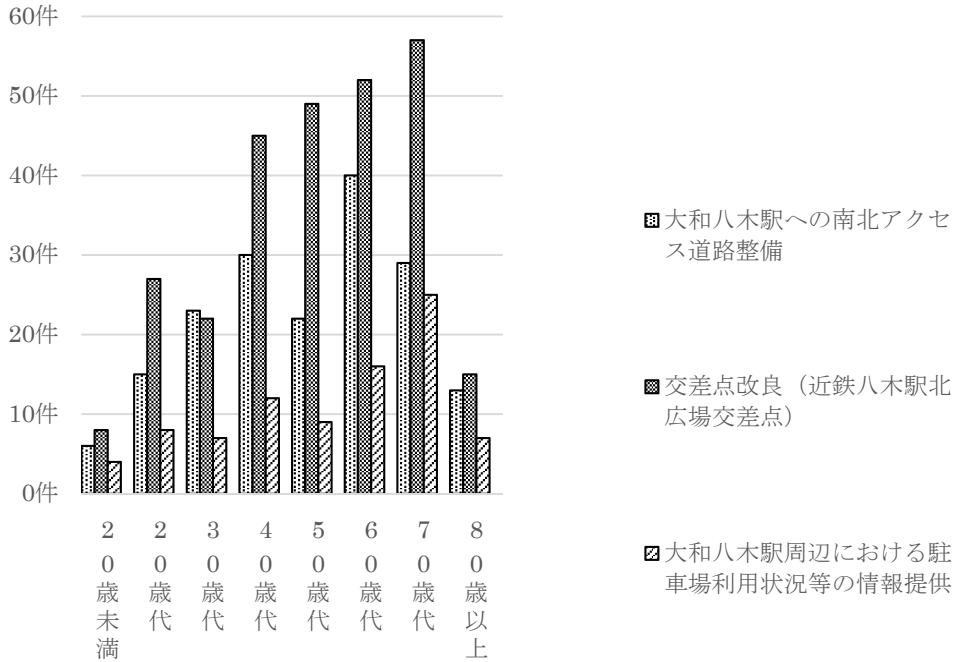
交通処理・交通ネットワークにおいて1位～3位のいずれかの回答があった割合は「交差点改良 (近鉄八木駅北広場交差点)」が93.6%で最も高く、次いで「大和八木駅周辺における駐車場利用状況等の情報提供」が93.4%、「大和八木駅への南北アクセス道路整備」が93.1%である。

問7. 優先すべき取組内容【D. 交通処理・交通ネットワーク検討1位】クロス集計【性別】



交通処理・交通ネットワーク検討の1位は、男性に比べ女性の方が「大和八木駅への南北アクセス道路整備」を選んだ割合が高い。

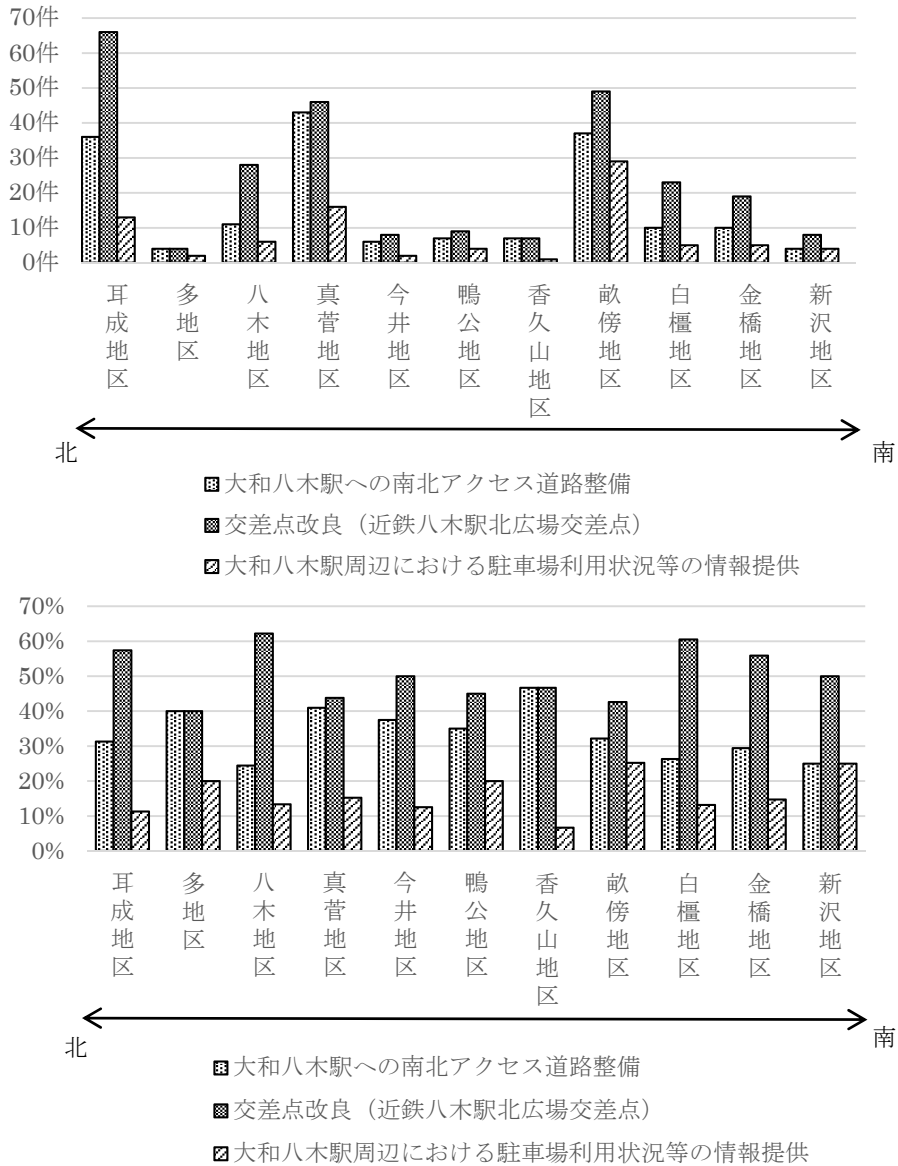
問7. 優先すべき取組内容【D. 交通処理・交通ネットワーク検討1位】クロス集計【年齢】



交通処理・交通ネットワーク検討の1位は、30歳代を除く年代では、「交差点改良（近鉄八木駅北広場交差点）」を選んだ割合が最も高く、次いで、「大和八木駅への南北アクセス道路整備」を選んだ割合が高い。

30歳代については、「大和八木駅への南北アクセス道路整備」を選んだ割合が最も高く、次いで、「交差点改良（近鉄八木駅北広場交差点）」を選んだ割合が高い。

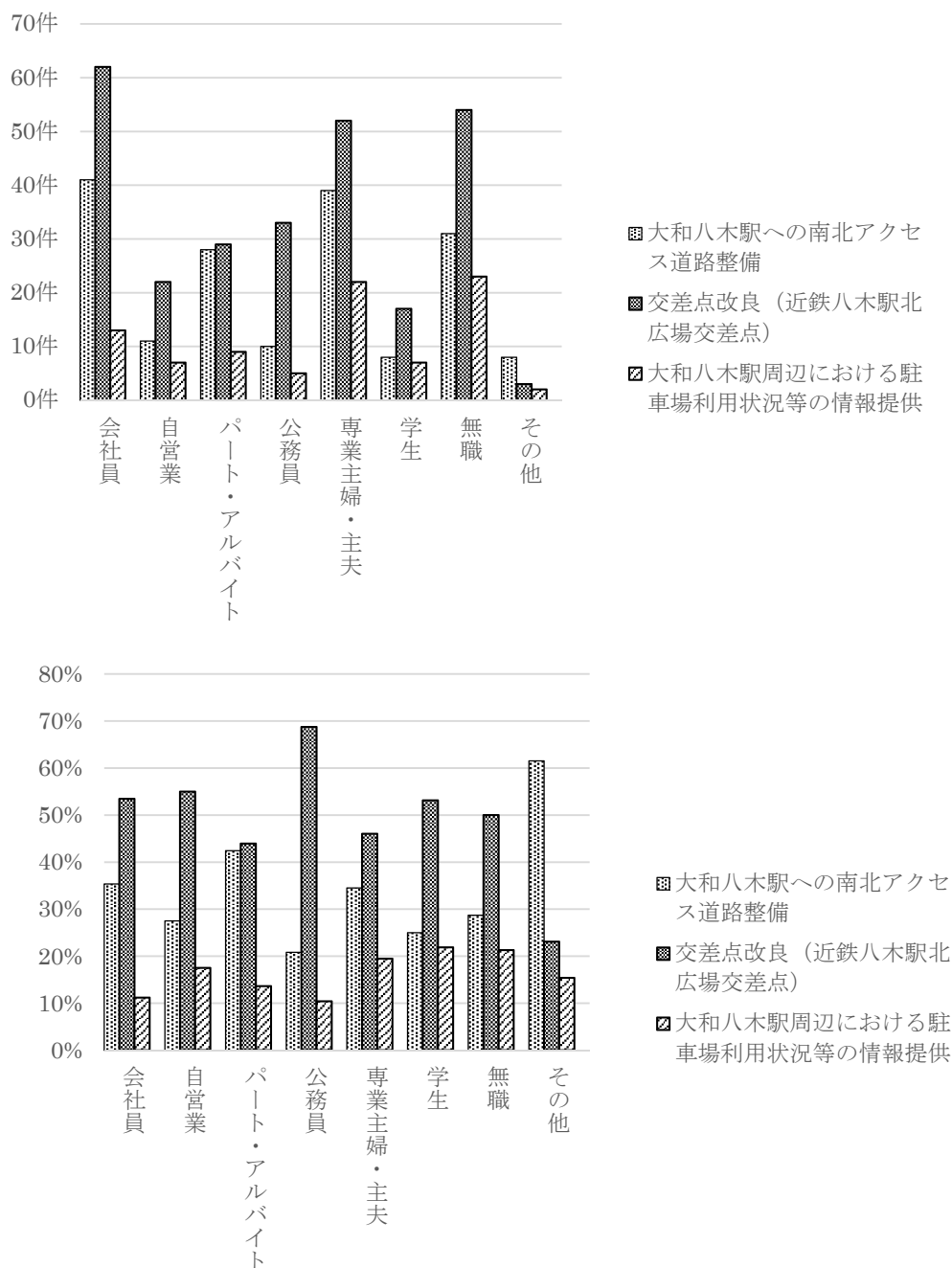
問7. 優先すべき取組内容【D. 交通処理・交通ネットワーク検討1位】クロス集計【地区】



地区別では、多地区と香久山地区は、「大和八木駅への南北アクセス道路整備」と「交差点改良 (近鉄八木駅北広場交差点)」を選んだ割合は同程度であった。その他の地区は、「交差点改良 (近鉄八木駅北広場交差点)」に次いで、「大和八木駅への南北アクセス道路整備」を選んだ割合が高い。

大和八木駅以北にお住まいの方は、「大和八木駅への南北アクセス道路整備」を1位に選んだ割合が比較的多く、優先度が高い傾向である。

問7. 優先すべき取組内容【D. 交通処理・交通ネットワーク検討1位】クロス集計【職業】



交通処理・交通ネットワーク検討の1位は、その他の職業では、「交差点改良（近鉄八木駅北広場交差点）」より「大和八木駅への南北アクセス道路整備」を選んだ割合が高い。他の職業では、「大和八木駅への南北アクセス道路整備」より「交差点改良（近鉄八木駅北広場交差点）」を選んだ割合が高く、特にその傾向が自営業、公務員、学生で顕著である。

■全体・構成比

問1. 性別

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
男性	251	43.6
女性	318	55.2
無回答	7	1.2

問2. 年齢

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
20歳未満	18	3.1
20歳代	50	8.7
30歳代	52	9.0
40歳代	89	15.5
50歳代	82	14.2
60歳代	112	19.4
70歳代	127	22.0
80歳以上	45	7.8
無回答	1	0.2

問3. 職業

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
会社員	117	20.3
自営業	43	7.5
パート・アルバイト	67	11.6
公務員	48	8.3
専業主婦・専業主夫	118	20.5
学生	32	5.6
無職	129	22.4
その他	15	2.6
無回答	7	1.2

問4. 地区

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0%
耳成地区	123	21.4%
多地区	10	1.7%
八木地区	47	8.2%
真音地区	113	19.6%
今井地区	17	3.0%
鴨公地区	20	3.5%
香久山地区	17	3.0%
畝傍地区	123	21.4%
白樺地区	40	6.9%
金橋地区	37	6.4%
新沢地区	17	3.0%
無回答	12	2.1%

問5. 優先すべき取組内容【A. 賑わい創出】1位

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
民間事業者や市民団体による賑わい創出	369	64.1
外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施	97	16.8
観光案内所及び観光地における外国人観光客への対応	86	14.9
無回答	24	4.2

問5. 優先すべき取組内容【A. 賑わい創出】2位

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
民間事業者や市民団体による賑わい創出	71	12.3
外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施	233	40.5
観光案内所及び観光地における外国人観光客への対応	245	42.5
無回答	27	4.7

問5. 優先すべき取組内容【A. 賑わい創出】3位

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
民間事業者や市民団体による賑わい創出	112	19.4
外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施	218	37.8
観光案内所及び観光地における外国人観光客への対応	217	37.7
無回答	29	5.0

問5. 優先すべき取組内容【A. 賑わい創出】1位～3位

項目名【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
民間事業者や市民団体による賑わい創出	552	95.8
外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施	548	95.1
観光案内所及び観光地における外国人観光客への対応	548	95.1
無回答	24	4.2

問6. 優先すべき取組内容【B. 回遊性向上による観光振興】1位

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0%
駅や観光地における観光案内サインの設備・充実	163	28.3%
歩いてみたくなる観光ルートの整備	306	53.1%
八木町のまちなみ景観保存と育成	84	14.6%
無回答	23	4.0%

問6. 優先すべき取組内容【B. 回遊性向上による観光振興】2位

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
駅や観光地における観光案内サインの設備・充実	211	36.6
歩いてみたくなる観光ルートの整備	161	28.0
八木町のまちなみ景観保存と育成	181	31.4
無回答	23	4.0

問6. 優先すべき取組内容【B. 回遊性向上による観光振興】3位

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
駅や観光地における観光案内サインの設備・充実	177	30.7
歩いてみたくなる観光ルートの整備	85	14.8
八木町のまちなみ景観保存と育成	286	49.7
無回答	28	4.9

問6. 優先すべき取組内容【B. 回遊性向上による観光振興】1位～3位

項目名【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
駅や観光地における観光案内サインの設備・充実	551	95.7
歩いてみたくなる観光ルートの整備	552	95.8
八木町のまちなみ景観保存と育成	551	95.7
無回答	23	4.0

問7. 優先すべき取組内容【D. 交通処理・交通ネットワーク検討】1位

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
大和八木駅への南北アクセス道路整備	178	30.9
交差点改良（近鉄八木駅北広場交差点）	273	47.4
大和八木駅周辺における駐車場利用状況等の情報提供	89	15.5
無回答	36	6.3

問7. 優先すべき取組内容【D. 交通処理・交通ネットワーク検討】2位

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
大和八木駅への南北アクセス道路整備	220	38.2
交差点改良（近鉄八木駅北広場交差点）	184	31.9
大和八木駅周辺における駐車場利用状況等の情報提供	134	23.3
無回答	38	6.6

問7. 優先すべき取組内容【D. 交通処理・交通ネットワーク検討】3位

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
大和八木駅への南北アクセス道路整備	138	24.0
交差点改良（近鉄八木駅北広場交差点）	82	14.2
大和八木駅周辺における駐車場利用状況等の情報提供	315	54.7
無回答	41	7.1

問7. 優先すべき取組内容【D. 交通処理・交通ネットワーク検討】1位～3位

項目名【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	576	100.0
大和八木駅への南北アクセス道路整備	536	93.1
交差点改良（近鉄八木駅北広場交差点）	539	93.6
大和八木駅周辺における駐車場利用状況等の情報提供	538	93.4
無回答	36	6.3

3.2. 自由記述

3.2.1. 賑わい創出について

問5	大和八木駅周辺地区における【賑わい創出】のための下記1～3の取組内容について、あなたが考える優先順位を下の枠に取組番号で記入して下さい。
----	--

(1) 取組番号1

民間事業者や市民団体による賑わい創出
あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。 (例：こんなイベントがあったら嬉しい・賑わいがつくれそう 等)

1	食のフェスティバル、ダンスフェスティバル。
2	よさこいイベント。
3	イルミネーションも部分的にすると一時のことで終わってしまう。又、前回のイルミネーションは年代や性別、カップル、家族と限定してしまうものであった。予算として難しいのは分かるが、色々な人が楽しめるイルミネーションを何ヶ所かで実施してあるのも良いのではないかと！予算として難しい場合は、橿原市の商業の参加や募金を募って予算に見合った物でよいと思う。
4	まつり、イベント、日本の祭り
5	フリーマーケット グルメイベント
6	歌手とか呼んで欲しい。
7	マルシェを定期的で開催し地場産の食べ物を売る。 クリスマスイベント。 イルミネーションの色をもっと統一すべき。
8	「まちづくり」といった意味合いでは、一時的な「イベントによる賑わいづくり」は殆ど意味が無く、計画的に賑やかさが維持する街づくりを考えることが必要。もともと八木周辺は近隣の今井町などに代表される様に、「宮」がつくったものはなく、商人などが中心になって創りあげた街。その歴史を引継、是非民間の業者に委託をして、街全体のイメージを明確にした再開発をされることを望みます。
9	あたご祭り
10	グルメフェスティバル。食べ歩きを目的として、その店も1点200円程度の少量で販売するのが望ましい。
11	橿原市のコンセプト、日本の国の始まりの地である。それが直ぐに目に飛び込んでくるようなものをメインとしてイベント、イルミネーション等々（日本遺産の対象物の利用）。要は視覚に訴えるようなものをメインに考えて対応。
12	イルミネーションはとてもよい。続けて欲しい。
13	看板や店、道路、電柱など八木駅周りの色が汚く、古い感じは私の子供の頃からあまり変わらず、そこを飾ったり、天国ですとか、イルミネーションとかしても下地が悪いのに、上手く行くとは思えないですね。
14	◎古本市、ノミの市などの定期的な実施、開催。

15	県民ですら八木周辺で何処へ行くのか悩む。行き先がないため。駅の南北での差が大きすぎる。
16	屋台食べ歩き。
17	ゲーム性のあるイベントを開催する。 藤原京でも行われたであろうと思われる、蹴鞠などの全国大会など開催する。
18	今暫く上記（例）のイベントを充実させて行えば良いのではないのでしょうか。他地区よりもっと来て頂けるようにPRを拡大。
19	目新しさが無く、継続が難しいと思う。
20	歩行者天国等でフリーマーケット、骨董市、瀬戸物市をやって欲しいです。イルミネーションは駅に車でお迎えに行ったときに見ましたが、こんなんやってるんや・・・って知らなかったです。PRは公報以外に奈良放送でTVで定期で番組が有ればいいかな？
21	カラオケ大会。フリーマーケット。
22	クリスマスイルミネーションだけでなく、駅周辺でクリスマスマーケット開催して欲しい。又フリーマーケット等も頻繁に行って欲しい。
23	大和八木駅周辺は場所が悪い。市民が行きやすい場所に。
24	老若男女、大人も子供も楽しめる屋台市（橿原市名物）なんかあれば、名産品とかも分かっていいのでは。
25	商店街歩行者天国。地元団体主催のイベント。
26	イルミネーションは喜ばれているように思います。
27	新しくできた庁舎、展望台でのイベント。橿原市内のラーメン屋さんが集合して、橿原ラーメン博。洋食、パンなどのジャンルを変えての集合イベント。
28	宿泊施設を増やして有名なグルメやカフェなど造って欲しい。
29	市民や若者のサークルの活動成果の発表できる舞台（ステージ）を造る。
30	地産の食べ物が食べられるイベント。
31	八木駅で集合したとき、または降りたとき、駅前にしやれたカフェとかレストランがあると良い。今は取り敢えずデパートの中に入ってしまう。
32	年間を通じて駅前広場や駅前商店街を歩行者天国にしての、食の祭典（酒を含む）をどんどん展開して欲しい（百貨店での〇〇物産展的なイベント様な物）。食べることは賑わいの基本だと思います。
33	クリスマスマーケット。
34	イルミネーション。
35	民間活力が十分活かせるような規制のあり方を、抜本的に見直していくべきだと考えます。歩行者天国のような設置は良いと思います。
36	大阪駅等と比べて、圧倒的に違うのが駅ビルです。ホテルも建てたのであれば、駅ビル等を建設し、商業施設を誘致し、もっと人に集まって貰うような場所にすべきです。また八木駅は飲み屋、通学くらい、あと近鉄と立ち寄る目的が限定的なので、駅ビルに大きな本屋やCDショップ、ロフトの様な施設が入るだけで人が多く集まってくると思います。その上でそこと連携して賑わいを創出すべきではないのでしょうか。
37	夜店や屋台、飲食主体を数多く、又、常設地域造る。
38	土日にグルメ系のイベントがあったけど楽しかった。もっと拡大して欲しい。

39	のみの市（場所があるのかな？）。
40	スタンプラリー。 フリーマーケット。
41	季節季節の橿原市の植物、花、農産物などのかかわった催しを考える（定期的に季節毎の催しを考える）。①藤原宮跡のコスモス畑、9～10月。②本薬師寺（城殿町）の池の紫色の花（名前忘れました）9月。③醍醐池の北の菜の花畑など、4月。
42	駅前公園を造る（天理市のコフフンは楽しい）。 オーガニックマーケット：橿原市や奥大和の物を売る。
43	皆が参加できる盆踊り。
44	交通安全啓発運動（自転車・歩行者・子供）。
45	イルミネーションの期間が毎年長いと思う。
46	夏か秋には祭りをしていただきたい。
47	フリーマーケット。
48	B級グルメのような、食べ物にかかわるイベントが一番人を集めると思います。
49	子供が対象のイベントの招致（ストライダーカップなどの大会）。
50	民は入札でお願いします。
51	橿原マラソン、大型フリーマーケット。
52	新庁舎プロジェクトマップング。
53	今の駅前ロータリー南側と北側の駐車場で、どちらも自動車のためのもので、広場がない。例えば、北側駐車場を廃止して芝生広場にして定期的にマルシェを開催したり（天理駅前のコフフンみたいな）。近鉄百貨店や周辺店舗と協力して土日は子供が沢山いて、開放的な客用等にして欲しい。
54	姉妹都市（海外含む）とコラボイベント→山梨県が開催しているベーコンフェスみたいなのだ！！
55	あちこちコーヒー屋、お菓子屋、道の駅、商店街があると良いと思う。
56	コンサート。 食のスタンプラリー。 高校生ダンスコンテスト。
57	今のままで良いと思う。
58	町婚パーティ、若い人向けの内容で。
59	郊外のイベントにはできるだけ参加していますが、残念ながら橿原市のイベントは参加した覚えがありません（私の勉強不足です）。広報面を改善され、多くの情報を発信して欲しいです。 イベント内容、食べ物、みやげ物等、後悔する物は少なくありません。十分な検討を（ガッカリさせない）。
60	子供の思い出になる様な企画。
61	もっと家で時間の余っている高齢者の方に、協力して貰える事をすれば良い。
62	イルミネーションが年々多く、華やかになってきて楽しい。商店街にももっと広がれば・・・。

63	定着させるためには、1ヶ月に1回、子供、老若男女が楽しめる物。例えば色々な講座など（料理、花、工作、陶芸など）。
64	よさこい踊りのような、皆が参加でき、色々仮装したりそれを審査したりとか・・・。
65	食のイベントは興味があると思う。
66	八木駅周辺の商店街は賑わって欲しいと思います。商店街の歩行者天国は大いに賛成です。
67	ロータリーの所に春夏秋冬の花を植える。
68	大規模な愛宕祭りの復活（出来たら有名な芸能人も呼ぶ）。 創意工夫に富んだ商業施設（購入意欲を惹起させるような品揃えなど）の増加。（但し、規模の大小は関係なし）例：湯布院。
69	イベント、イルミは地元住民にとっては良いと思われるが、歩行者天国には行きたいと思わせることが必要。店が多いとか、流行に合っていると、観光で賑わうことが先決である。
70	毎年のイルミネーション、統一性がなく、カラーがバラバラで汚い。何故、冬におぼけのイルミネーション？ただ飾れば良いという気しか感じない。 ハロウィンフェスは参加させて貰いましたが、来年への課題が多々あるかと感じた。来年に期待。
71	ハニワのイルミネーションは若者には全くうけていない。北側もイルミネーションにするならもっとセンスの良い物にして欲しい。
72	観光の要となる駅として駅前の整備、わかりやすさ、美しさを期待します。今ある資源も大切に有効活用されて、すすめて頂ければと思います。
73	夏祭り・・・引き続き愛宕祭り開催、花火大会。冬クリスマスイベント・・・有名芸人のライブコンサート等。
74	食べ歩きが出来るといいと思います。
75	クリスマス時期に八木駅南・北にイルミネーションを実施しているが、このデザイン等は誰が行っているのか。広く公募するとか、しない場合は決定した物を（デザイン）周知することも良いのではないか。
76	周辺整備前に、駅の南側に送り迎えの一時的な車の駐車状況が、時間帯に寄るのかも知れないが、過酷な状況になるのが分かっているのに、対策不足で整備されている。長時間車から離れる場合は、駐車場に止めるが、短時間では・・・個人的ですが、車でMr ドーナッツに買い物に行けなくなった。
77	周辺店舗の営業時間の延長。 お金を使いたくても買う物がない、お土産物がない。 ホテルも中途半端、市民の楽しめる場所はありますか。
78	駅前帯を一日歩行者天国にして、地元で有名な食べ物屋さんを集めてフェスをする→大和 BK 当たりから全て、市複合施設もある程度開放し、行きやすいスペースか見てみたいし。
79	駅周辺がガード下店舗が目立ち、“センス”“美観”からかけ離れる。
80	宿泊施設を増やし、安く提供することに最大限の努力をし、大阪、京都等の観光客も取り込む。八木駅周辺を整備し、日本伝統文化の体験する場所、観光案内所及びスタッフ（常駐）、資料を作成、道路標識、交通網など分かり易く表示する。

81	食べ歩き飲み歩きができるイベント、バルイベントなど。
82	手作りフリーマーケット。
83	各戸で電飾など使用しなくなった物を寄付していただき、もっと盛大にイルミネーションに取り組み、もっと身近に感じ見物に来る人が多くなるのではと思う。
84	子供が楽しめるイベントを増やして欲しいです。
85	子供が楽しめるイベント。駄菓子市など。昔のおもちゃを使って遊び体験。
86	商店街を活気づけて行きたいので、歩行者天国も良いと思う。
87	イベントが行われていることを知らなかったのもっと宣伝をしても良いのではないのでしょうか。
88	地元団体主催のイベントに力を入れて欲しい。地元だけではなく、各県、大きくは全国の力を借り盛り上げて欲しい。
89	アーティストのコンサート。 健康フェス。 子供向けプログラミング。
90	夏に祇園祭のような、ヨーヨー釣りのような屋台のイベントや花火。冬だけでなく夏にもイルミネーションをしてほしいです。例にあることを全部バージョンアップして行ってほしいです。

(2) 取組番号 2

外国人観光客を含め、観光客向け体験プログラムやPRの実施
あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。 (例：こんな体験プログラムあったら嬉しい・楽しそう 等)

1	ここは行政が主体的に努力すべき。但し住民不在では続かない。
2	日本酒のイベント。
3	関東から転勤で檀原市に住んでいます。よく分からないので、私たちも参加できるようにして欲しい。
4	日本の文化（日本食、奈良特別な物）の発信。
5	外国人に郷土料理を食事体験。
6	観光ウォーキング体験。
7	体験だけでなく地域住民と外国人とが交流できる企画があれば良い。
8	八木駅周辺に地元の名物、地酒の英語版看板を設置する。
9	伊勢にあるおかげ横丁のような所。
10	アプリ開発、インストールした方に飲食店（加盟店）一割引など。
11	外国人向けの体験を日本人でもOKにして欲しい。（着物を着たい人は外国人だけではないと思います）
12	ハラル食品を使った和・洋・中華料理のレストランの出店（開発）。駅前モスクの 出展。

13	外国人観光客を集めるには現在の橿原市では困難の様に思われる。諦めた方がよい。
14	市内で行われる年間行事への参加とガイド。外国の方から見るとそれだけで楽しいのでは？
15	まが玉づくり 習字体験→今井町の教室の先生と連携 生け花
16	藤原宮跡などでの花の見所、イベント、土器のクッキーなどで良いと思った。
17	ハニワづくり。
18	外国人が橿原市でしか経験を考えることが大事だと思う。
19	書道体験。マリオカート。琴などの和楽器音楽を駅前に定時にかける（12時、3時、5時など）。
20	八木駅を降りると目に付くような又、入りやすい場所に体験や休憩が出来るスペースが欲しい。観光客が寄ってくれるような魅力ある建物。
21	和装で観光できる等のイベント。
22	外国人向けの参加したいアイデアを考えたらよい。その国の民族衣装を身につけて人々と交わっていければ。 外国人との会話教室等も一考。
23	外国の方々は、難波、鶴橋、西九条駅などでよく見かけます。シンガポールなどの方から乗り換えについて聞かれたことがあります。八木や橿原神宮駅辺りのよさをしっかりアピールできれば良いなと思います。重みのある上品な街を知って欲しいですね。
24	田植えや椎茸狩り、野菜収穫。
25	日本はアニメで有名なので、アニメやイラストで奈良を表現する。
26	民泊体験（外国人向け）。八木町愛宕祭りに似た、今井町エリアにおいて年一度の盛大な祭り。
27	だんご庄のだんごの手作り体験。飛鳥時代の食事や衣装体験。
28	橿原神宮さんの行列があれば結構と思います。
29	発掘体験。
30	人力車の導入（今井町など）。
31	茶道体験、陶芸体験。
32	空き家→民宿・民泊。対策→外国人呼び込み。
33	今井を中心にして江戸時代を体験できるような工夫。
34	日本武尊、卑弥呼時代の服装の着用である場所は馬の利用とか、馬車巡り。
35	天平時代、飛鳥時代の服装レンタル。 古民家での宿泊。
36	夜間に特化した物。
37	メガネやイヤホンを付けた体験型ゲーム、マッピング。 奈良名物食の試食会。料理作り。

38	今井町の中に、「奈良の名物を販売出ているところ」「楽しめる余興」「歴史体験」などの施設を、市が支援して計画して欲しい。歴史と華やかさと楽しさが増えたらいいと思う。 唐古遺跡で気球をよく見かける。空から見る歴史を体験してみたい。短い時間でも良いので。
39	在日外国人の協力。
40	餅つき大会、だんご庄体験、巻き寿司、おにぎり体験、試食、着物で今井町散歩プラン等、大茶盛や抹茶体験。
41	奈良文化である書道体験や奈良時代（藤原京）の衣装試着や藤原京での時代体験（木簡体験等）。
42	体験する物が少ないように思える。
43	外人さん達に着物を着せて着物ショーをしたりして、美しい着物姿の人を選出して順位を付けて参加賞をあげる。
44	柿の葉寿司作り体験とか、食べるものは？
45	観光客向けに今井町と連携して取り組む。
46	◎着物の着付けだけでなくその着物を着て市内観光ができる体験を、外国人は望んでいると思います。
47	治安も悪くなるし、税金も無駄に使うのは止めて欲しい。
48	古い大きな民家が沢山ありますが、それを何かに（民泊）利用できたら良いですね。
49	市内の代表的な観光地を模したミニチュア迷路。 古代生活の体験イベント。
50	日本発祥の土地として、飛鳥時代の衣装も着付け体験。
51	今井町、神宮での取組を強化しても良いと思う。都会には都会の。伝統という強みを活かすべき。
52	まつり、イベント、日本の祭り
53	あすかの野菜を使った外国人向け料理教室。 今井町での着物の貸付。
54	そもそも外国人観光客が八木駅周辺にこようとする、動機付けなるものが見あたらない。その様な状況で、観光客向けの体験プログラムの実施を計画しても、到底人が集まるとは思えない。何よりも先ず、イベントやプログラムを考える前に、観光資源をPRすることが先決だと思う。
55	盆祭り
56	今井町にもう少し外国人を呼び込めるイベントがあれば良い。大体が日本人の観光である。
57	上記に実現のため、本市が建設された新庁舎の有効利用。
58	余り外国人に来て欲しくない。トラブルが多くなるのでは？
59	ここは京都でもなければ、江戸と思わせる場所なんてせいぜい今井町の数軒だけです。パリに行ったからと中世のドレスを着て、街を歩きますか？と言われて街中を歩きたいですか？建物と衣服が合うからいいんだと思いますよ。
60	今井町での室町後期からの戦国期の風俗再現（時代祭）。

	今井宗久、関係する茶道展。
61	奈良市内と比べ、外国人観光客が少ない。なぜなら見る物が少なく、奈良市内を観光した外国人は京都か大阪へ行くため。それなりの大きなきっかけになるものが求められている。
62	柿の葉寿司作り体験。
63	明日香と共に橿原は日本の国の原点です。1300年の歴史を取り入れて蘇などの古代食を、現代の食と融合させ、若者にも好まれる味で勝負。
64	藤原京はスペースもあるからイベントには適していると思う。野外での歴史体験（食事・衣装・古代音楽など）も、無作為で行ったらいいのではないか・・・。
65	江戸時代の食事と奈良の関連性が分からない。
66	着物を着て観光する。街を歩く。 写真付きの案内提示板。
67	近隣の小学校、幼稚園を見学して貰い、文化、教育の違い等を体験して貰う。
68	古墳巡りや老舗での作ったりする体験。
69	江戸時代食事体験。
70	茶道 巻き寿司 おにぎり。
71	古代衣装の体験にて街並みを歩く（ルート）。
72	外国人と市民が交流できる機会やホームステイの受入を導入する。田舎の良さが目立つ温泉や施設（混浴や岩盤浴、ホットヨガなど）。
73	八木駅から統一感のある街並みにしていく。
74	伝統的建築物を活かして、地酒を試飲、及び販売。
75	神社巡りなど和に触れ合うコースを準備する（特に4月、10月はイベントを行っているため）。 お祭り体験。
76	WI-FIを活用した観光ガイドの提供（フリー）。 英語を主体としたガイド（市役所職員等）を設置。→3番へも対応。
77	外国人向着物着付け体験（夏なら浴衣）。
78	大都市の自治体では、資金等豊富、多種多様なプログラム作成など考えられますが、地方都市は中々斬新なアイデアはありません。むしろ今まで行ってきた観光施策を十分検討しすすめることがいいと思います。橿原市内には、観光客に満足して貰えるところは京都に比べ少ないでしょう。姉妹提携都市宮崎との友好親善関連も広げて欲しいです。外国人向けの情報発信は大切だと思います。
79	そもそも着付け体験等は、京都の街並みのように風情を感じる所でやってみたいものであって、八木駅出たときにそんな気持ちにはなりません。明日香にバスを向けて、農業体験とかが無難ではないでしょうか。あと今井町のような歴史有るところを活用して出来る何かがあれば良いと思います。
80	橿原は田舎なので、京都のように行かないと思う。着付け等は京都でも多い。観光客のみなので橿原はハニワ作り体験やかなり奇抜的なユルキャラを考えたら良いと思う。

81	茶道、華道、書道（檀原神宮内で）。 今井町の町屋での宿泊体験。
82	だんご庄手作り体験。
83	まず7頁の交通ネットワークを考えなければ人が来ないです。また、インターネット、SNSで種々見てもらえるようなサイトを作る。
84	和菓子作り。 日本酒を活かしたコース料理。
85	訪日外国人観光客（食の土産・マナー）。
86	ドラマ・映画の撮影で、檀原の風景を世界に発信（檀原神宮、今井町、大和三山、川沿いの桜並木（飛鳥川）etc）。
87	母国語を教え合う会。異文化コミュニケーション。
88	着物でお茶会。 レンタサイクルでオリエンテーリング？の様にポイント（観光地）を巡り、印を集めたら景品。
89	VRによる藤原京の再現。藤原京、平城京、長岡京、平安京の連携（それぞれのミニチュアを別の場所でも見れるようにし、違いや遷都の経緯が分かりやすくなるようにする）。
90	今井町と八木町は一体となって売り出すべきではないか？
91	華道、茶道体験。
92	餅つき体験。書き初め（書道体験）。
93	色々なプログラムを用意して、その参加者は周辺店舗で使えるクーポン券を配る。ナビプラザで年1回行われている、柿の葉寿司作り体験等、奈良ならではのイベントを常設化して欲しい。
94	藤原京、飛鳥時代を前面に出す!!→例の着物着付けは京都がやっているし・・・飛鳥時代の体験施設とか。
95	檀原神宮～駅までの間に入りたく、買いたくなる様な土産物屋さんが欲しい（沢山）。何人でも入りやすい食堂（安価）が有ればいいと思う。
96	今井町をもっと外国人向けにアピールして宿泊や体験イベント、日本酒イベントを行い、どんどん参加できるようにする。
97	今井町での江戸時代の食事体験、着付け体験は楽しそう。併せて結婚式、忍者体験、水戸黄門体験等も、外国人の方には、日本人の関心のないことでも、大きく受ける事があるのでは？
98	他の観光地で既に行っていることではなく、藤原京をイメージとした事取組に目を向けてはどうか。着物の着付けは何処でもやっています。藤原京の時代から衣装がどの様になってきたか、と言うことも含めての体験など・・・。
99	抹茶や和菓子が安く頂けるコーナーがあれば、ホッとします。子供向けに昔遊びのコーナーがあれば、楽しいかも知れません。写真スポットの掲示により、そこへ行こうと思う人がいるかも知れません。
100	折角、今井町があるのに活かされていない。八木駅前はお店が増えているが、飲食店ばかりでおしゃれな雑貨などが無い。家賃が高すぎる。昔の地元の古い頭の固い人達が仕切りすぎ。老害。

101	和食を作る、和菓子を作る体験。
102	華道、茶道、剣道、子ども達には昔ながらの遊びなど。
103	折り紙体験、日本手ぬぐい、風呂敷の使い方。
104	奈良（大和）、伝統（文化食）を、外国人観光客が食べれる店。※古米、地元で採れた野菜、食材。
105	経験は一時的の賑わいはあるかもだが、継続的になるも、一度体験したものはリピートはないと思う。この手の物は、奈良県、京都市、とかで済ませてくると思う。南部という位置的に見ても、京都～奈良～橿原、大阪～奈良～橿原の順であると思う。立ち寄る先の最初が橿原地区であるということを目指す。
106	古代の生活（食事等）再現など。
107	・日本の伝統だけに拘らなくても良いと思う。大体京都で体験できる。もっとぶっ飛んだこと、オリジナルな体験でも良いのではないのでしょうか。いつまで経っても「奈良には大仏以外には何も無い」「奈良より京都」が拭えない。自分だったら京都へ行く。江戸時代の食事体験？外国人じゃなくても興味がない。
108	優先順位から言うと、最後の課題かと私は思いますが、橿原市の歴史にちなんだもの、名産物（これから新たに創造していくもの等も含めて）、旅行者が他では体験できないようなメニューが有れば、すすめてみても良いのかも知れません。
109	もっと橿原市らしいものはないか。さなぶりもち作り教室とか？発掘体験や修復体験を予約制でも常時出来るようにするとか。持ち帰ることが出来る橿原市らしい民芸品のようなものか、川西町なら「貝ボタン」、吉野なら「箸」というようなもので、作ることができる何かはないか……。ないなら物作りをする工房や製造会社に協力を促して小物等。
110	神武さんをPR及び、外国人観光客に参加して貰う。
111	外国人着物着付け体験など不要。日本人でも成人式や結婚式くらいしか着ていない。奈良公園や京都で着物を着てうろうろしているのは外国人のみ。彼らのご機嫌取りがそんなに重要なもの？
112	体験することは良い。外国人だけでなく日本人観光客も利用できる方がよい。八木駅前に設置すると便利。 着物着付けは着物の普及になる物でよいと思う。 茶道、お寺に於ける写経も良いのでは……。
113	江戸時代・明治・大正のコスプレでタイムバックが出来そうな着付け場所が、観光客同士が楽しめそう。
114	とにかくPRが下手だし、材料もない。体験等は京都に任せておけばいい。 例にある物は全く魅力を感じない。何かもっと思いきった物、事が必要。 観光客の人達は、何を期待して来られていますか？
115	外国人向けでなく、市内の子ども達も体験できたり、親戚は来たり、いところが来たりしても、利用できるようにしてほしい。
116	飛鳥川の活用が橿原市を左右すると思推する（川の美観、ホタル、魚、全て環境）。
117	他の市町村でしていない橿原市にしかない、日本伝統の文化の体験や、外国人が観光ルートとして、印象に残るような観光施設の整備をする事により、紹介やリピーターを増やす努力をする。

118	茶道体験、和食でおもてなし。
119	だんご庄手作り体験。 今井町の土間の有る家で竈を使って調理体験。 埴輪作り体験。
120	今井町、藤原京の歴史・生活を解説するためのビデオ（スマホでも視聴可能）を製作し、テレビ画面で見ることができる案内所の整備。また今井町、藤原京の歴史・生活をVR（バーチャルリアリティ）で体験できる施設を導入し、異文化体験して貰い、檜原の古代から現代に繋がる歴史への理解と興味を持ってもらう。着物着付けなど、京都他で行っているものでなく、檜原ならではのもの、事体験を提供することが重要。
121	川沿いの桜がきれいなので、桜祭りを開催すると良いと思います。飛鳥のホテルで祭りとか。
122	何か奈良県の特徴をアピールできるような体験がよいと思います。伝統産業の作成体験などもあったら楽しいと思います。
123	日本の工芸品（焼き物、竹材を使用した作品等）の製作体験。

(3) 取組番号3

観光案内所及び観光地における外国人観光客への対応
あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。 (例：外国人観光客が困らず便利に滞在してもらうための案 等)

1	ネット利用が大切。Wi-Fiが利用できるようにすべき（無料）。駅、観光地等。
2	町案内のアプリやHP（サイト）。
3	中国、韓国、英語圏の立て看板の実施（外国人が困らずに、又来て貰えるように）。文化の違いによる細かい案内の看板等の案内。
4	観光客が困らないために案内スタッフをつくる。
5	観光案内ボランティアの設置（外国語が出来る方）。
6	外国人専用のバスを用意してコースを巡る。
7	シルバー人材で多言語を話す市民を公募してボランティアして貰う。 八木駅に外国人が利用できる両替機を設置。
8	ボランティア活動の募集。シニア世代を中心に。
9	仮に外国人観光客が来た場合、行きたい場所にスムーズにたどり着ける様に、外国語に対応できるスタッフの増員や外国語による案内看板を増やすことに力を入れて欲しい。
10	案内を行いつつ、商店、飲食店も語学研修を受ける機会を設けては・・・。
11	ロッカールームを増やす。 河合酒造のBARとか・・・？→別売り販売所設ける。
12	外人向けのパンフレット作り。

13	現地近くの小・中学生のボランティアを募り道案内のプロフェッショナルを養成する。
14	イベント時に直ぐに出動できる様に、英語の得意な学生に国際観光案内スタッフとしての研修を受けさせ、資格を公費でとらせ、派遣スタッフ（リクルートのような）として、確保しておくことが必要。
15	観光案内が分かり易い日本語、外国語の案内掲示板を随所に置く。
16	観光地を巡るバス交通網の整備。
17	飲食店街。
18	いつも駅前を通っていますが何処にその表示板があるのか分かりません。もっと分かり易い標示板（夜間も見えるように）が欲しいです。
19	今はスマホなどで簡単に日本語に転換できるようなので、何とかなるのでは？上海から友人が娘を連れて来てくれたのですが、八木で下車するのにまごついたと言っていました。彼女は真菅に来て→田原本昼食→奈良へ行き、京都へ泊でした。
20	明日香村、吉野などへの玄関口としての利用。
21	アナログ世代には良策見付け難し、しかし、TV等でインターネットをうまく活用した市町村の繁盛ぶりを見るにつけ、外国人の古代オタクを、市で見つけ出し、採用すべし。ハニワ（古墳）、カンゴウ集落。
22	スタッフや看板でなく市民のウエルカムは気持ちが盛り上がる。伝わる必要がある。
23	スマートフォン対応で十分だと思う。二次元バーコードや位置情報で案内可能なアプリやWebサイトを整備する方が拡張性も高いのでは？
24	買物好きな方のためにイオンや近鉄に案内。せんとくんやしかまるくんを利用。
25	観光地へ行くための多言語表示看板設置。
26	橿原市内各所に自転車レンタルでどこでも乗り捨てられるところを造って、観光などに役立ててはどうでしょうか？
27	スマートフォン向け、観光情報アプリの開発。
28	不要な箱物がある。八木駅南口の2Fビルをもっと活用。外人コミュニティの施設に（外人は一旦そこで宿泊、観光の案内説明、外人の横のつながりのサポートする）。
29	橿原市を世界にPR ガール、PR シニア。
30	京都の様に地域中で無料Wi-Fiを飛ばす。
31	各要所・要所に民間の協力でそこに、そういう一連のスタッフを置く。
32	主要駅からホテルや観光地までの送迎バス。
33	宿泊所の増設（民泊）と案内。
34	外国人が見て分かる案内看板やマップ。
35	観光スポットを廻る循環バスが有ればいいなと思う。 シニアに観光案内を手伝って貰える仕組みづくり。
36	通訳人のボランティア。
37	外国人観光客のための多言語対応。市民スタッフの育成（主婦や高齢者の方々も含む）。語学や歴史等学べる、安価な教育プログラムを。

38	今若い人が使用しているインターネット等で、観光案内や奈良市内に訪訪している外国人へも、橿原市の文化的財産や文化的、歴史的なPRを積極的に行うと良いと思う。
39	言語を学ぶところや、スマホやタブレット等を使える様にするための学習の場が必要。
40	観光客増えるのでしょうか？と思っていますが。
41	はにわをアピール!!外人向けショップ。近鉄百貨店が古く、ダサすぎる。
42	案内スタッフを養成する講習会やipadを使った観光案内が容易に出来れば、人材は確保しやすいと思います。
43	外国人は来なくて良い。国内需要を拡大させる。
44	考えたくない。
45	中国語、英語に対応できるスタッフを常時、駐在させる。
46	スマホの翻訳アプリの使い方講座。
47	マナーの悪い観光客が多い為、看板も観光地の案内だけでなく、マナーについても案内して欲しい。
48	先ず滞在する理由を作らないとスタッフがいても無意味になる可能性が出てくる。人材費を考えて実施すべき。ベッドタウンを狙うのか、観光地としての橿原か、狙いが不透明である。
49	まつり、イベント、日本の祭り
50	外国語の案内板など。
51	かしはらナビをもっと活用すべき。
52	通訳を多く育てる。
53	どれだけの潜在需要があるのかのリサーチが必要。対応するにしてもコストUPに繋がるのでは。
54	外国語教室～市主催で無料指導。
55	案内スタッフを確保するには→何処からってことですか？橿原市の八木周辺の方々に英会話を楽しく学んで貰い（安く）、みんなで「Wellcome」と思って貰えれば、来る外国人も嬉しいのではないですか？
56	主要な外国語に対応するスタッフを常駐して、マイナー語に関してはアプリや通訳電話で対応。外国人が見たくなる外国人用パンフレット作成。
57	近鉄、奈良交通など協力を求め洒落たイラスト入りの案内板を設置する（楽しく笑えるようなイラスト）。
58	携帯でアプリをつくる（多言語対応、現在地、お勧めスポットetc）。
59	駅周辺をWi-Fiが入るようにして欲しい（今井町は4月からFree Wi-Fiが導入されます）。
60	観光地に多言語表示の看板の設置。
61	分かり易い地図を、目に入りやすい場所で掲示、配布する。
62	宿泊施設の案内所を充実。旅行者が安易に手にはいるようにする。
63	看板を大きく字を見やすく。

64	看板の設置。パンフレットの配布。
65	看板の表記を言語的だけでなくイラストで視覚的に分かり易くする。
66	時差信号の場所は外国人にとって理解できない（知らない）信号のため予め地図で、ボタンを押す信号などの箇所を印し付けして対応する。 ネット会社などで、QRコードを読みとれる観光案内を所々に設置する。又は地図に印刷する。
67	多言語対応についてはスマホ（ICT）の活用には優るものはないと思います。
68	外国人観光客の為に学生による道案内や、観光施設の説明をするボランティア。
69	観光地だけでなく、駅や公共施設等には、外国語の案内標示は必要。外国語の出来る日本人 Staff を Volunteer でお願いすることも良いと思います。CANDEO ホテルもそういう意味で良かったです。 観光案内所での外国人向けに行き先方法をスマートフォンなど貸し出して、スムーズに目的地へ行けるような手だて。 案内所の充実を図る（Free Drink を置くなど）。
70	2月に開業するホテルに外国人観光客が来ると思いこんでいると思います。そして、ホテル、庁舎（市の）と連携して外国人観光客向けのブースをつくり、橿原市等の魅力を伝えるゾーンをつくっては如何でしょう。
71	外国語の対応が出来るボランティアの活用（市職員である必要はないのでは）。
72	昔風の人が担ぐカゴ、人力車、常設する。
73	観光地巡りにストーリー性を持たせたり、地元出身のタレントにガイドのイメージやVTRとかに出演して貰えば良いと思う。ロッヂの中岡さんとか・・・。ひらパーも小杉と岡田でイメージアップ出来ると思う。
74	京都駅バス乗り場へ行くと、1日500円で乗り降りできるバスが運行されていて、外国人利用も多数利用されていたので、取り入れてみては？（もう取り入れているのかな？）。
75	mapを作る（オリジナルの）。
76	大阪市や奈良市へ行きますと多くの外国人（中国、韓国、台湾人が多いようです）を見かけますが、橿原市では余り見かけません。前述の2と関連しますが、SNS、インターネットを利用してアクセスしてもらえる様にするのが、先決問題と思えます。又将来的には（今すぐにも）、奈良県内の大学、高校にもっと外国語科の学生を増やすことも必要だと思えます。
77	観光案内所の充実。外国人には先ず立ち寄って貰えるように上手く誘導する。
78	英語・フランス語で外国語対応能力、おもてなし。
79	案内スタッフは要らないと思う。
80	通訳ボランティア。
81	ショートホームステイのボランティアを募集して、協力して貰う（観光も付き添う）。ボランティアなら民泊にはならないので、ハードルも低いかな・・・。橿原は本当に民泊するところがないです。
82	飲食店に於ける多言語案内やメニュー設置。 ハラール認証の明記、ハラールメニュー。

	自動翻訳ツールの貸し出し(店側に)。 留学生の受入。
83	中南和への拠点としうるなら、アウトドアショップの積極誘致とか。
84	A I を利用、ペッパーを利用、多言語への対応。
85	外国人観光客が街を汚すのではないか？
86	駅前や連絡したらすぐにきて貰える所に(事務所)、常に案内スタッフがいるようにする。たえず、5~6人くらい街を回って必要なときに親切に詳しく案内する。
87	近鉄奈良駅と連携して外国人を橿原、明日香方面に来てもらえるようPRする。
88	ガイド付き(多言語)観光バスの運行はいかが。自転車の貸し出し事業はどうか。
89	看板、案内も設置されていないところには寄りにくいので、基本的には進めるべきである。外国人、ビジネスマンの為にも、タクシーにも多言語表示があれば、料金の不安も少なくなる。言語を学ぶ学生にも、案内体験をして貰う。
90	案内板などに見られる外国語はしばしば、大きな語源の誤りをも含む。多くはGoogle翻訳などの利用した結果である。今はまだ十分な精度の自動翻訳が可能とはいえ、外国人スタッフによる確認が必要であろう。
91	例えば観光地へ向かう交通手段をもっと分かり易くしたり、便利にしたり、お得にしたり、外国人だけでなく、地元の人達が改めて「この街は本当に素晴らしい」と思うことから始めて欲しい。
92	大阪、京都、奈良市、三重からの観光客が最初に訪れて駅としての役割を担って頂ければと思います。駅前の観光交流センターを中心に、官民一体となって情報を一元化し、インターネット、紙媒体、メディア等々を使って、広く利用者の立場に立って、発信し、人材スタッフも充実させて下さい。
93	多言語対応運転手の観光タクシー。
94	どのエリアでも、統一した看板を設置すれば良いと思います。
95	何故外国人の利便ばかり考えるのか？旧奈良市や大阪(城、日本橋など)、近鉄奈良線へ行くと、特に中国人の横柄さに辟易している。 併記は英語だけで十分。近鉄特急など4カ国語案内はうるさい！。 当市は飛鳥、藤原京等文化遺産が側にあり、外人の目より、先ず日本人に理解して貰うように。
96	最低でも三カ国語(英、中、韓等)対応の地図、宿泊、食事等の案内やパンフレットなどあれば良いと思う。観光案内所や駅で手にはいるようにして欲しい。
97	IT「スマホ、タブレット、AR(拡張現実)等」を、積極的に有効活用する。橿原市を案内・PRするアプリ等を作成、提供する。
98	橿原は、今井町、橿原神宮、藤原宮跡、飛鳥にも近く観光地は満載。英語の案内スタッフはいる方が観光客にとっても安心。必要だと思う。
99	SOS電話番号で言語が分かる、スタッフが繋がるようにして、現地スタッフに連絡しあげるとか、病院や警察の手配等、柔軟な対応ができるシステム作りで観光客の安心感。
100	手軽に利用できる周遊バスでの観光地案内。 乗り放題。
101	歴史を重点にするため、中国人、韓国人の対応より、米英国人の対応に重点を置く。

102	観光案内所の充実。
103	上記以外に観光地へ行くための道路標識、所要時間、公衆トイレ等を多言語表示で、大きく見やすく表示する。案内スタッフは経費がかかるので、観光地の入口や駅周辺のみで、他は看板を見やすく設置する。
104	タッチパネルで操作するだけで、外国語に変換される。Ipadの翻訳アプリのようなものを設置してあると便利ではないかと思います。
105	Wi-Fi環境の充実。
106	高校や大学の部活やサークル（ESS）にボランティアをお願いしたり、英語で観光案内するセミナーや講習会を実施して、地元からの活性化を図っては？
107	現代では携帯電話が発達していてGoogleマップや通訳アプリが便利なので案内所やスタッフの必要はない。
108	場所によって外国語の表示にバラツキがあるので（地図は英語のみで看板は中国語のところなど）統一して貰えたら見やすいです。
109	ホテルや大手の店（近鉄等）に多言語対応のスタッフをつけておく。

(4) 上記の1～3の取組内容以外で「賑わい創出」のためのアイデアや意見

上記の1～3の取組内容以外で「賑わい創出」のためのアイデアや、ご意見がございましたらご記入ください。

1	八木駅北側（市営駐車場と銀行の支店などある）地区を解体して、新しい集客できる街づくりをする。市営駐車場は駅前の機能を台なしにしている。絶対に撤去するものと考えています。
2	駅前の飲食店が少ないので、増えたら嬉しい。特にファストフード系の手軽に寄れる店があれば、待ち合わせなどにも使えると思います。
3	外国人が増加した場合の問題点を整理して、対応していただきたい。
4	今も色々イベントをされている。冬などとても楽しいライトアップで感謝しています。6月のムジークを南部にも持ってこられないのでしょうか？南部と北部で一つになっていない感があります。奈良マラソンも一度、橿原・飛鳥で出来ないか？ハロウィンは只のバカ騒ぎなので、個人的には好ましくありません。単発的シーズナルなイベントと、極端な物をたてる。街中に巨大アスレチック→親子で楽しめる県外から人が来る。又は近鉄百貨店からバンジー。森を造る、森から逆バンジー。そして忘れてはならない天皇陵の地図、ルートを大きく標示、そして周辺環境整備など。駅周辺も雅な感じにして夜も楽しめる。クタクタにさせて宿泊させる。
5	八木駅周辺の駐車場の増加。それに伴う渋滞緩和の対策。
6	イベント等をするための広場（空き地）が無いので悲しいです。
7	橿原市しかない食品を作る。
8	外国からの観光客の為、英語を話すドクターの養成。 八木駅に無料Wi-Fiの設置。

	電車の乗り換えの時間待ちを利用（可愛らしい物産やちょっとした土産物を置く店を造る）。
9	榎原神宮を伊勢神宮の様に参拝客が増えるようにする。
10	イベント等は集客・認知・意識高揚等利点は多いが、問題はその場限りに止まらず、それを契機としてアップできるかどうかであると思います。それには土台を固めると言うか、商店街で出店されている事業者の方々が、観光が重視していく榎原市の中心で商いをやっている意識が共有されているのか。極論を言えばやる気のない店主には退いて貰い、やる気のあるものにやっていただく（市が借り上げ転貸する等）。また、テーマを絞る「食堂であれば地産地消に適ったもの」「土産物であれば南大和限定」等、他では味わえない物を提供する。いずれにせよ、場当たりではなく、中期のビジョンを策定し、それに沿った遂行が一番の近道ではないかと思えます。商店に携わる者は当然、駅員さんからタクシーの乗務員まで、にっこり微笑みながら観光客をお迎えする姿を連想するだけで、暖かい気持ちになります。
11	大きな広場へ桜植樹し、春のライトアップ。
12	設問の主旨から外れますが、八木駅周辺にこだわると規模が小さく魅力に乏しくなるのではと考えます。八木駅を基点として飛鳥～桜井（まきむく）と広域に検討することで結果として八木駅周辺の発展になる。例、同上地域のサイクリング道路構想、尚八木西口は今井町にとって必要。
13	月に1回賑わいデイを設ける。
14	①榎原夢祭りの復活（愛ご祭）。②神武天皇祭に於ける行列の実施。③酒蔵めぐり（各醸造場とタイアップ）。④スイーツめぐり（各スイーツ店とタイアップ）。
15	イスラム文化圏（国）に特化した観光戦略。
16	週末は飲食店が混雑。もっとテナントが入れるビルを増やして欲しい。
17	榎原市単独で行うのは苦しいのでは？広域で取り組んで外国の方がエリアを廻るようにはしてはと思う。
18	八木周辺には宿泊施設が全くない事。また八木名物のお土産店、ウインドウショッピングを楽しめる街並みがない事＝殺風景。八木駅は名古屋、京都、大阪と交通網も良いので、もっと発展できる街になれる筈です。八木駅前に市役所が移転し、ホテルが出来ることは良いことですが、その周辺の賑やかさ、楽しめるところ（食事処、買物店、映画館等）があれば、発展するのではないのでしょうか？公的な文化施設だけでは人は集まりません。
19	例えば、新庁舎の開設に榎原音頭の創設をし、併せて時季を度外視して、民謡踊りや盆踊りの講習（未知の人にも普及を兼ねて）、市民の人が一人でも時季到来には盆踊りに参加できるような、又、若い世代にも日本人伝統の保存を意味して集会や催し物を通じて年中楽しめる場を提供と実行と活性化。毎月13日を縁日の日と定め、定例的に（「あたご祭り」のように）開催等。
20	私が何度も行きたいと思える観光地が伊勢の”おかげ町”です（何度も行っています）。江戸から明治期風の建物で、食べ歩きやショッピングが出来、若者から年配者まで、いつも一杯です。ある目的地を目指すまでの八木周辺を、そんな”八木路”にして頂きたい。駅に降りて（小さい声でも良いです）”わぁ！”っと声上がるようなインパクトのある駅前になれば嬉しいです。

21	子供が安心して遊べる場所が欲しい。外国人観光客が増えることで、犯罪が増加しないか不安である。
22	行政だけでなく、小・中・高校生の総合学習として取り扱って貰えるように協力を要請されると如何だろうか？ただし行政は学校と連絡を密にし、誰か特別なパイプラインになる人物をつくること。絶対に丸投げにしないこと。そのためにも先にボランティアを募って、前例実績をつくっておかれることを提案する。
23	食べるところ、買うところの充実。
24	テレビを見て「檀原市」にテレビカメラが入っても見ていて楽しくない。もっと良いところがあるのにと心の中で思ってしまう。檀原市はこう！と特化したものがないのか。檀原神宮や藤原京や薬師寺跡も歴史的には素晴らしいのに、”だから？”と思うのは、行った所で動きも無し、見る物の無い。専門家なら楽しめるのだろうと思うが。あと良く聞くのが道の駅がない。明日香や耳成のJRもあるが、道の駅でしかナビや携帯検索はされず出てこないです。観光地にはお金が使える何か欲しい。
25	高齢者一人暮らしなのでアンケートにお答えするには、意見が余り湧いてこない。八木駅周辺へ行くことも市役所へ行く用事の時だけです。お役に立てず申し訳ありません。30代40代50代60代の方々の意見を聞いて下さい。関係ないことを書きます。外国人を受け入れる日本人の心情と、世界中の人々の中には、日本の寺社、仏様に油で汚したり、以前は考えられないことをする、悪しきマナーの人々がおります。百年も守ってきた、日本の大切な寺社に取り返しのかねことをする外国人（日本人も含む）のマナーには心傷む。大切に後世に伝えたい。余り参考になる意見出ません。申し訳ありません。
26	外国人に向けたPRや観光案内の取組は大事なことだが、国内の旅行者に対し、取組を行うことも忘れてはいけない視点であると思う。
27	日本語教師を育て、外国人向けの日本語学校を大々的に造れば、自然に外国人（長期滞在の）が集まってくると思います（奈良には余りなさそうなので）。今後、日本語教師（勿論英語も堪能）の需要はあると思う。
28	色々例に挙げている物も良いのですが、私は八木駅の近くに映画館を造って欲しいです。小さくても良いのです。高齢者の人が一人で行けるような場所が欲しいです。万葉ホールも大好きなのですが、便利が悪いです。これからますます1人で遊ぶ時間が増えます。
29	駅周辺の駐車場が使いづらい。特に近鉄百貨店等。駅の南の駐車場は駅から遠く不便。
30	選んでいただきありがとうございます。私は複数の病を抱え、家にばかりおられて、ご希望の間には答えられません。何卒お許し下さい。外出することも余りなく、申し訳ありません。でも心の中では檀原市の発展を心より願っております。皆々様頑張ってください。老女。
31	梅田とかのように服の店が沢山並んでいるタウンが欲しい。イオンモール檀原アルルのようではなく、難波の様な所。
32	八木の方へは多く出掛けるが、さほど観光客を見かけることは無いです。必要ないように思います。
33	私はこの地に住んで、80年になりますが、少しずつ賑わいを見せてくれるのを楽しみにして通っています。以前より年々檀原市の良さが出てきていますが、何が人を呼び込むに良いアイデアなのかいつも考えています。駅前ホテルの宣伝ももっとしてい

	く方がよいと思います。宿泊客だけでなく地元の人が利用できるホテルであって欲しいと願っています。
34	今井町周辺の駐車場の整備。
35	インスタ映えやSNSに対応した取組が必要。
36	③のアイデア続き。JR九州の外国人クルー。佐賀県のある市町村が映画の撮影地となった神社に大挙して観光客が押し寄せる、近隣の観光地に相乗効果をもたらした。観光課に複数言語をこなせる係を採用して、併せて江戸、古代にかかわらず、オタクをうまく活用する施策が望ましい。明日香村を良い意味で利用されたい。
37	八木駅の近くにスターバックスやドトールコーヒーなど人が立ち寄れるカフェを造る。都会になるような建物を造る（例：アニメイト、WEBOなど）。橿原市を都会化させる!!
38	高校生等の学生に協力依頼をして、若者の意見を参考にしては如何でしょうか？
39	八木駅周辺に年寄りが一服できるイス等を配置して欲しい。
40	八木駅南側の商店街を歩行者天国にして、雨の日でもゆっくり買物ができるようにアーケードを設ける。
41	各月々の特徴のあるイベントを、市民のアイデアにより実行していただきたいですね。ゆくゆくは年中行事のようにもなれば、有難いです。皆さんはそれを楽しみにお待ちしております。以上。
42	奈良は車がないと行けない場所にある店も多いので、八木駅前に期間限定などで来てくれると嬉しい。
43	奈良県良いところに山と三山がありまして、台風にも遭わず景気で良いところです。私も奈良に嫁ぎ早五十年余りになります。こんな事を書いてはいけないのですが、四年前からいじめにあい困っております。男性の人が抱きついたり、2回有りました。警察の人にも言っておりますが、四年余り苦しんでおります。息子は名古屋に勤めております。どのようにすれば宜しいですか？
44	ソフトの充実より、大和八木駅周辺の駅前駐車場を整備して欲しい。送迎時に利用できる一時駐車場や夕方～夜にかけての塾の送迎車が危険すぎます。天理駅前のコフンのように駐車場や子供の遊び場、カフェなど凄く良いと思います。
45	外人の旅行者のロッカー不足。サイズ今のより大きく広いもの。
46	場外馬券売り場。
47	手作りの雑貨などのイベント。産直市など。 駅前の公園の充実（天理駅のような）。 駅構内の店をもっとオープンにして欲しい（何となく入り辛い雰囲気）。 分かり易いところにキレイな公衆トイレ。 子供の連れて行きやすいカフェ（授乳室や子供イス）。 駅近の駐車場、料金を少し安くして欲しい。
48	充実した「総合観光案内所」を駅前のメインに設ける。 その中に観光者に満足して貰う為、優秀な現地案内を置く。 その中に徒歩観光以外に、自転車、人力車、小型マイクロバス（定時周遊コース）等置く。
49	ホテル誘致に関する地元の反対など、利権に絡む話しにはうんざりします。地元が消極的なので進まない。もっと世界を見渡した視点が必要。地元の利権に気遣うことな

	くどんどん前へ進める必要がある。観光資源が多くあるのに活かせていない。もっと頭を使って観光立県を目指して下さい。
50	橿原市を含め中南和地域では高齢者が多くいるので、バスなどを利用して、八木駅周辺に呼び込む。
51	飛鳥川と近鉄線の間を今井町へ向かう、賑わいゾーンとして整備、遊歩道や店舗などゆったりした広さを確保しながら、総合的な開発推進。駅周辺の商業ゾーンから今井町に至る。歴史ゾーンへの移行する様子が楽しめるような演出。地元や個人によるフリーマーケットを定着させ、人が集まるイベント開催。
52	八木北側の上品寺池の埋立によって、そこに何かの施設（防火用水の兼ね合いも）。
53	サイクリングロードの整備。 大和三山の観光地化。 インスタ映えを意識する。 現在と古典の融合。若い世代を取り込む。 SNSでの情報発信。
54	八木は観光資源はないが、恵まれた観光資源の交通の要と言う地理的条件にも恵まれている。よって外国人観光客の宿泊地と割りきり、外国人観光客から不満が出ている夜の観光にも特化すべきである。八木に泊まれば何処へでも行けて夜も遊べるを、キャッチフレーズにすれば集客できる。
55	大和八木駅周辺のまちづくりは観光としての賑わい創出は無理があるかと思います。何ら特長がないので、市として観光を誘致するにはやはり③今井町エリア⑥飛鳥川エリアだと思っています。その2つのエリアを遊歩道の整備などで結び、外国人向けに人力車で観光というのは如何ですか？（京都の様に）。
56	橿原市周辺を訪れる観光客（日本人）は、比較的、年齢層の高い人々が多いと感じます。もう少し、若い年齢層の特に女性の観光客にもウケるイベント等、企画しては如何でしょうか？
57	英会話が出来ないとおもてなしも、対応も何も出来ないため、3番が一番大事である。
58	橿原市のみであれば限界。隣接自治体をも巻き込み、面として広域で観光、食、古都体験毎にルートを設定する。アプリ開発①各拠点地図ルート。②中国、韓国、米国語対応。
59	若者の間で、京都町を安価な現代風の可愛い着物を、カップルや友人でレンタルし、遊びに行くことが流行っています。外国人にも好まれます。駅前にセンスの良いレンタル着物のお店も必要になっていると思います。八木駅を発着にした日帰り旅行のバスプランの企画・充実。明日香イチゴ狩り。十津川秘境温泉、紅葉、さくら（吉野）、かき狩り等。
60	八木駅周辺だけでは弱いと思う。少し足を伸ばし、長谷や吉野、高田、橿原方面へのアクセスの拠点作りをしてはどうか。宿泊施設や民泊等を整えてはどうか。フリーWi-Fi等の充実やSIMの無料化等は良いと思う。各施設に少しずつの資金負担の協力。
61	市内循環バスを利用して外人さんには無料バスにして、例えば、JAまほろばキッチン、アルル行き、昆虫館行きなど乗せて、ショッピングを目的とした観光にする。
62	橿原市のPR不足。八木駅周辺の交通及び集客環境の不備。外国人観光客への対応。

63	私が小さい頃、八木に住んでいましたが、あたご祭りがあり、たて山とか作られたり、町全体が賑やかでした。今は何にもなくて人が減り、若い人達は都会へ出て行って、町全体が淋しくなり、これといった行事が無くなりました。淋しい限りです。もっと残っている者が協力して考えていかんと、と思います。
64	大和八木周辺地区に限定したアンケートなのですが、八木駅周辺を拠点に置きながらも、もう少し市内全域を念頭に置いて構想すべきだと思います。市をアピールするキーワードは史跡、歴史的景観、そして博物館などとして、しっかり位置づけ、それらをイベントやプログラムの中に積極的に取り入れるべきだと思います。
65	何故賑わい創出の3つの内、2つも外国人の為のものなのか？住人の事を考えていない。外国人が来たら賑わうわけではない。
66	大和八木や西口からの今井町への連結、しかり神宮駅から神宮も同様。都会の真似事「ハロウィン」はどう考えても小規模になってしまうと考える。本当にしたかったら都会（大阪等）に行くでしょう。シカや大仏のイメージの脱却。橿原市の良さをCM等で全国的にPR。「涼やかな風、伝統に触れ、時代を感じる橿原市」みたいな。話し合いに参加したい！
67	お店の閉店時間が早い。 大きなベルが必要。 八木独自の名物料理。例、ラーメン、ハンバーグ、チャーハン、丼、うどん等に皆が驚く品を加える（安い物がよい） ワンコインフェア、ケーキ類、駄菓子等を商店街で何処の店でも食される。 街全体が明るく楽しい雰囲気。
68	大和高田駅にあるような30分無料の駐車場を造り、人気店を入れる（かめパン、だんご庄、みつぎ等）。又は関西内の人気店。
69	今やっているイルミネーションだけでも充分賑わっているように見えるし、電車の中からでも目立って見えるので、新しい取組をするのなら、観光客を増やしたり、観光客への対応から、色々実施した方がいいと思う。
70	何故に「イベント」や「外国人」で賑わいを創出しようとするのか、正直理解できない。橿原は歴史的な観光資源が多いにもかかわらず、まだまだ一般の日本国民から観光地として認識されていないと思える。一時的な対応ではなく、街のイメージPRなどを、継続的に発信すると共に観光資源へのアクセス整備や、飲食・宿泊施設など充実に力点を於いた取組をして頂きたい。
71	香久山からの大和三山（耳成畝傍、香久山）巡り。特に香久山からの眺望は抜群。畝傍→耳成→香久山のルートがよい。それ以上歩ける人は飛鳥へ。高松塚などの古墳巡りも良い。
72	当市の歴史遺産は、今井町だけではない。この地は1400～1500年の歴史がある。特に日本の国の始まりをと、強調するのであれば、もっと目に見える形での対応が必要では・・・。対象物迄のアクセスや道案内（標示物）、当然安全面を考慮に入れる。等々市民の参加できる形のものを実現させる。市民が参加することにより、参加型のイベントも出来るのではないかと。当然人は市の市外から集まると考えられる。
73	市営プールを周辺の一角に造って欲しい。八木周辺に出掛けて楽しむ時が持てる。←室内プールは是非ほしい。高田のファミリー公園に有るような安価で利用できるところが欲しい。橿原からわざわざ高田まで行っています。

74	外国人ばかりでなく、周辺の店や町、役所の人の方々のおもてなしの心とマナーを、もっと考えて行動できることが大切で、言葉はその中の一つに過ぎないと思います。橿原にずっと住んでいますが、お客様に対するマナーが良くない人が多いです。特に接客以外の見えるところにいる役所のスタッフさんとか・・・。また来たいと思う気持ちを持って来て貰う。みんなが住みやすい、店が栄えるためのチームワークや心構えと同じ方向を見ることを、初めに考えていただければ後がスムーズかと思います。
75	八木町エリアの風情のある古民家を利用したレストラン etc の誘致。
76	奈良時代を題材にしたドラマをPRして、テレビで放送されれば、もっと奈良のおもしろさを知って貰えると思います。積極的にドラマやバラエティで橿原を撮影場所に使って貰えるように規制を緩和する。
77	観光客も住民も楽しく住みよい町、橿原にして欲しいです。
78	ゲーム性に惹かれ美食に誘惑されるのが現代の若者ではないでしょうか？視野を大きくして明日香、吉野、京都などと訪れる観光客が橿原市にも是非、行ってみたいと思わせるような取組をしないことには、橿原住民だけの賑わいの創出は無理かと思います。
79	スターバックスとマクドナルドは必要だと思う。オシャレなカフェもあれば、八木に来る人も増えると思う。
80	お土産を買える場所が集まっていると良いと思う。
81	元来、橿原市は観光地ではないのです。そして少し遅いです。（このブームはいつまで続くか？）新しく考案された物が、どの程度受け入れて貰えるのかも分かりません。多大な税金を投入されてする物だったら、慎重に考えて結果に繋げていただきたいと願います。
82	駅前の広場が閑散としているように思います。もっとコンクリートではなく、芝等にして子ども達が遊べるような空間にして欲しい。あと全体的に公園が少ないように思います。
83	外国人観光客への対応は中国人、台湾人、英国人、この国の人間を雇うと言うことで対応する。
84	”日本の始まり橿原”を前面に出すイベント又は歩きながらの勉強会など、色んな人がこのことを意識できることを、先ず進めていったらと思います。
85	本屋とカフェ（TUTAYA等）を備えた商業施設。
86	観光客も大事ですが、地元の賑わいが寂しいので、地元の商店街にもっと賑わいが欲しいです。何とかアイデアを持ってきても良いです。
87	外国人への観光に着目するのではあれば、八木駅周辺に来ている外国人観光客に橿原に来た目的や体験してみたい事を、街頭調査を行ってみてはどうでしょうか。そうすることで的確に外国人観光客のニーズを捉えることができると思います。橿原市民にとっても楽しめる、橿原に住んでいてよかったと思える事をして貰いたいです。例）橿原市民を年間何組かを新しくできたホテルに宿泊プレゼントなど。
88	駐車・駐輪しづらい印象があるので、駐車・駐輪スペースを確保。料金が安くするなどの方法が効果的ではないでしょうか。
89	他市のように夏は市としての花火大会を催す。 観光大使にスケジュールが合えば、駅前など人通りの多いところでイベント、PRして貰う。

	多言語対応のスタッフが、着物や袴の和装で対応できると外国人も嬉しいかもしれない。
90	◎橿原市ならではの目玉が必要では。特に外国人観光客は不便な場所でも興味があれば必ず訪れるので。グルメも和食中心!!
91	様々なボランティア活動に参加し、私たちが住んでいる地域のことをもっと知りたいと思います。
92	大阪や奈良市内によく行きますが、中国人のマナーの悪さが目につきます。橿原市は大丈夫と思っていましたが不安です。今も八木付近は渋滞が凄いです。これからもっと大変になると思います。観光客のことも大切ですが、市民のことを考えてやって行って欲しいです。
93	明るいのは駅前だけ。少し離れると暗い。蓋のない溝もある。地元の者でも電池を持って出掛ける。
94	意外と知られていないが、風俗、習慣を見学、体験。 移動手段として、自転車やEV車の活用（充電施設の確保など）。
95	神武天皇の政治、初めの古来の土地としての且つ、藤原京時代の由緒ある橿原の地として、住民や旅行者がそうした歴史を楽しく学び、理解していけるようなプログラムが必要であるし、市としての独自性を外に発信できると思われる。飛鳥川沿いの現在の荒れた経路を快く散策して、発見が有るようなプロムナードの開発が必要である。
96	中途半端にあれこれするよりも、一つに絞って、かなりディープにするべきと思う。
97	回遊で歩きたくなるようなルートづくりに於いて、ルートのポイント毎に花畑を造る（ここにいけばこんな花が見れる）。例：歩行者天国について、さほど見る者も無く、狭い駅ロータリーからの抜け道がふさがれ、余り賛成できない。
98	アルル（イオン橿原店）の様な大きな店が八木駅（南側）の近くに出来たら賑わうと思う。八木駅（北側）には近鉄百貨店があるので、八木駅周辺が賑わうことになるでしょう。現在のアルル（イオン橿原店）は中心部から離れて遠い。八木駅周辺に広い空き地が有りませんから、難しいかもしれませんが・・・。
99	奈良県と言えば「柿の葉寿司」「葛」が特産品として取り上げられますが、市毎での特産品が余りないように思われます。そこに力を入れていただけたら、賑わい？に繋がるのではないのでしょうか。
100	テレビを見ていると、四国の山奥でも体験型の宿泊などには人気があるようです。勿論、何か特色がなければいけません・・・。
101	余り行政は前に出ず、新しい人や店に来て貰えるように環境整備して欲しい。
102	交通渋滞、駐車違反對策の重点実施。
103	最近流行のクラフトビール、地元ビールのイベントを誘致して欲しい。食べ物のイベントを併設してくれると尚良い（例：ビール&B級グルメ、ビール&ハンバーガー、ビール&カレー、ビール&ラーメンetc）。 奈良はラーメンの有名なお店が多いので、八木駅周辺でも是非ラーメンのイベントを行って欲しい。 藤原宮で福山雅治のライブをする（人が集まるのでそのタイミングで周辺のオシャレカフェをアピール）。
104	1の案は交通アクセスの表示の充実が必要だと思う。
105	カフェを増やして欲しい。

106	北側の公園？タクシー乗り場の横の広場が、一段下がって無駄なスペースになって、段があることで行きにくい。たまるのは若者ばかりになって、皆が待ち合わせで使えるように改良して貰うか、もっとロータリーを広げて、駐車場を造ってもらっても良いと思う。
107	アミューズメント施設や駅近への誘致。
108	市の事業は入札でお願いいたします。ずいけいばかり。そのうちテレビ来ますよ！
109	伊勢のお土産横丁のような場所があればいいかな。その中に外国人向け、又日本人向けの着物着付け体験。江戸時代お食事体験。その他、お土産販売。 空き家の数を減らすため努力して欲しい。住みやすい条件で（例：家賃、駐車場など）（現在住んでいる場所）。人が集まるためには（個人的な意見ですが）、人口を増やす必要が有るのでは？その後にか、同時にか、イベントなど企画実施する。
110	橿原近鉄と八木駅を直結（高架で）。
111	今の八木駅はゴチャゴチャしている。北側の西にある公園も寂しい。緑色の駐車場を廃止、地下に駐輪場を整備し、地上は隣の今ある公園？と一体化して、芝生広場に。パチンコ屋は立ち退き。 角打ちで飲めるような一坪酒屋を街に造る。 芝生公園にしてオリンピックなどのPVをする。 近鉄八木駅は西側へ降りれない（改札がない）ので、西改札を造って東西の人の動きをつくる。
112	外国人観光客の通訳（中国語、韓国語、英語）の常駐。
113	ホテル周辺の遊びスポットの充実。半九旅館みたいな宿泊施設の復活。
114	他所では名物を作っても賑わいを見せているのに、奈良県は素晴らしいものがいっぱいあるのに活かされていないと、常日頃思っています。橿原もそうで神宮や飛鳥、大和三山、桜井市ですが、多武の峯、茶臼山、三輪神社など合わせてパンフレットを作る。名所などあちこち探して繋ぐようにする。名所がよく分かるよう立て札（道順）をたてておく。初めて来た人のつもりになってやって欲しい。そしてその場所に分かり易い説明が書いてあると良いと思う。探せば橿原にも沢山の名所があります。昆虫館、御厨子観音、地図を見て寺、神社で有名なところを、パンフレットにピックアップして、その成り立ち等書いてみると良いと思う。
115	私も橿原市の住人なので、歩いて色んな所を見て回りましたが、観光地と言うだけで美味しい食事処も、オシャレなお店も全くありません。
116	高市郡に伝わる伝統行事を一般市民と共に後世に伝え、外国人にも参加して貰う。
117	B級グルメなどの食の祭典が奈良ではやっていないので、開催して欲しいです。ハロウィンイベントなどはどこでもやっている為、もう良いです。
118	耳成高跡地や「まほろば」や道の駅など、地元産の品を購入するには車利用者の為にしかないと思うのですが、車を利用しない人のためにも駅前にその様な場所があれば、毎日でも行きたいと思う人がいますよ。
119	かしはらナビプラザの1階（奈良交通）に、名産品が売っています。ホテルが出来、他県の人々が来ると思います。宣伝したら良いと思います。私はバスを利用するようになってから知り、土産物として買っています（バスに来られない人は余り知らないと思います）。トイレは利用するけど中までは余り入らないと思います？

120	若者が好きな店（スターバックス）など、駅前に出来たら、人も集まりやすいと思います。 シルバー人材の方とか障害者の方とか、空き店舗で何かできたらと考えます。
121	宇治市で行われる「宇治十帖スタンプラリー」に9年連続で参加しています。地域性もあるが、ビックリするような賑わいである。特に初日は近郊の商店街も大々的に参加されています。一度見学される価値は有ると思います。
122	生活が市内南部ですので、八木駅周辺のイベントについては分かりません。折角「飛鳥、藤原宮都と世界遺産に！」の取組をしているのですから、観光などの、その事を多く取り入れて考えたら如何ですか。
123	写真スポットの掲示により、そこへ行こうと思う人がいるかも知れません。
124	八木駅北口の駐車場を造り、道路の整備。片側に点滅信号を付けた車が一杯で、近鉄に向かって車を動かさない。道路を整備、夕方の駐停車禁止の徹底、夕方に取締り来て下さい。
125	正直、税金をもっと他の所で有意義に使って欲しい。
126	駅周辺のお店の割引や紹介が一覧になった地図を貰って、巡るイベント？のようなものは楽しかったです。近くでも知らないお店が沢山ありました（食べ物系）。ですが知っているお店が入っていなかったり・・・ともっと積極的に参加して貰えるよう声かけをして貰えたら、よかったですのでは？と思いました。又近くの和菓子屋さんで紹介して貰って初めて知ったので、もっと色々な人に知ってもらえるようにしたら良いかと思います。地域にポスティングなど・・・（最近引っ越したので、していたら済みません）。
127	観光客の方に名物を聞かれたが分からなかった。
128	余りに沢山の外国人の方が来られるのは、嬉しくないですね。
129	八木駅のイルミネーションは本当に無駄だと思います。先ず、イルミネーションは写真などに残すしか使い道がないのに、写せるスポットがない。（車が止められない。友達同士でここで写真を撮・・・と言う場所がない）ただ、電気代が勿体ない。賑わうためには、出来るだけ長い時間いて貰って、お金を使って貰う必要があると思うので、夜見るだけのものより、体験、体感、体を動かす、時間をかけるなど見方を変えた方が良いでしょう。
130	基本計画を見ましたが、私は無理です。申し訳ありませんが、よろしく願いいたします。
131	橿原市も明日香村もそうですが、歴史的な遺物が全て廃墟同然で、昔の栄華を想像することは困難です。費用はかかるかもしれませんが、歴史的建造物（例：藤原京など）の一部復元も一つの手だてかも知れません。例えば、沖縄の首里城や日本各地の城郭が戦災をうけて消失した物の復元し、観光客の誘致に成功しています。
132	大型ショッピングモールの設置又は、食品、日用品を市民が気軽に立ち寄れる店等があれば良いと思う。飲食店は多いが、車での利用は、駐車スペースも含めて不便である。 奈良市、京都市との連帯が必要だと思う。古都巡りの京都、奈良市は必ず行くであろうと思う。飛鳥、橿原の方が歴史的に古いから、古い年代順（飛鳥時代、奈良時代、平安時代の順に回る。藤原京、平城京、平安京の順等々PRする）。
133	園児から高校生まで子ども達が主体となるイベント。

134	あるブログを読んでいたら、今仮想通貨というものが流行っているらしく、ある埼玉の鰻屋さんがアルトコインでの支払いも可能でとまっているらしく、今まで店に来店しなかった若い層や海外からの一時帰りの時に、利用する人まで出たとありました。仮想通貨はあくまで一例なのでしょうが、支払い方法を、今話題の方法に変更するだけでツイッターで拡散されたりする世の中なので、商店街とかは話題作り（キャッシュレスタウン）にもなる可能性もあるかと思いました。課題（店員さんに深い知識が求められる）はありますが、話題があると思いました。
135	人を増やすためには主要駅の周り（大和八木駅）や、歴史的な観光地の近くに、商業施設をもっと増やすべき。奈良は歴史的な物が沢山あるのに、それを全くアピールしていない。アピール力が足りないと思う。全てが受け身で面白くない。藤原京を再現した公園やテーマパーク的な物を造ったらいいと思う。歴史好きな人だけでなく、家族連れも楽しめる乗り物など造る。又新しくできたホテルに、宿泊して次の日も観光したいと思うような場所にしないと、ホテルの意味もなくなってしまふ。
136	姉妹都市（宮崎）との交流を表に出して、旅行だけでなく、橿原市の玄関である八木駅を中心とした地元団体と官民連携の実施。屋上ホテルの格安利用のPR。県文化会館の利用等。
137	八木駅前のイルミネーションは、現在も目を惹く、イベントの一つではないでしょうか。バージョンアップを期待します。
138	もっと奈良の南部、五條や宇陀、吉野、十津川、大台ヶ原に、上・下北山への旅の、中継地になれないか。洞川や大台ヶ原や大峯山、瀨峡などの交通手段が分からないぶん、何とも言えないが、その方面での一時滞在を促すことは出来ないか。
139	どんなイベントをするにしても宣伝が足りないと思います。橿原市に住んでいてもそこで何をしているのか？広報を見逃すと情報が入ってきません。もっと色々なところでPRして欲しいと思います。 駅前商店街で買物や食べ歩きが出来るクーポンでもあれば、駅前周辺を歩いてみようかなという気になれます。
140	一年を通じて、開催される各種のイベントのPRの強化。名所、旧跡のPR強化。
141	大和八木駅は、橿原市の玄関口で交通（特に近鉄）の要衝です。地方では立派な駅前整備が行われていますが、人は居ません。車社会で人は郊外で買物し、旧市街地は寂れている所が多い。しかし、高齢化が進むと公共交通の利便性を高める必要がある。橿原市は電車網が発達しているが、接続するバス網がもうひとつ。今は利用者が少ないが、ネットワークは考えておいた方がよい。商業施設、公共施設は橿原市の場合、八木駅が中心になるように。従って、駐車場整備が必要ですが、八木駅北側の駐車場はセンスがない。八木駅南側は整備されたが、近鉄八木駅及び北側は良くしないと・・・。
142	子ども達が遊べるスペースがあれば良い。天理駅前の広場みたいな物。外国人より市民の人がゆっくり出来る場所が必要と思います。
143	外国人観光客よりも橿原市民のためののまちづくりを目指して貰いたい。 観光客は奈良よりも京都を選ぶし、奈良に足を運んだとしても、東大寺や法隆寺の方が魅力がある。 市民の生活の為になることに税金を使って欲しい。 なので八木駅前ホテルは無駄。

144	この度、アンケートの記入の機会を与えて頂いたお陰で、じっくり周辺を歩かせて頂きました。南側はキレイに整備されて見通しも良かったです。北側の広場はカラフルな埴輪が数体置かれ、石のベンチには数人の方が座っておられ、癒されました。この広場に定期的にパフォーマンス（音楽、バンド、ジャグリング等）をお呼びしたら、楽しく賑わうのではと思いました。またこれからも友人と食事したり歩いたりしたいと思います。
145	賑わいというのなら、地元商業として復興・保存を進めている事の補助を中心にすべき。単に光り物を身につけただけで華やかにはならず、外向き志向から内面整備を進め、歴史の街橿原で勝負をすべき。※12万人人口の街で、今も治安に関して安心できない。仮に観光客が増えてた場合、警察は何をするのか疑問。今でも信号無視している車輛を見ても、何もしない。結論、出来ないことはしない方がよい。
146	乗り捨て自転車の設置（コンビニ等の場所を利用して）。
147	1万人以上収容可能なホールがあれば（これは一つの市では難しいかも知れませんが）、奈良県では人気のあるコンサート等もする場所（室内施設）がない。以前、東大寺でのコンサートに参加したが、3月でも夜は寒くて死にそうだった。人が集まれば、自然に賑やかになるのでは・・・。
148	観光バスを出す。
149	イルミネーションをして下さるのはいいのだが、近くのPはお金がかかる。その期間だけでもせめて1時間無料券が出るとか、あったらもっと足を運べる。子どもは行きたがるが、P代金のこともあり、何回も行けない。折角、きれいなものになーと思う。
150	八木駅前の複合施設の有効活用が最大視点。イベントで稼働率を上げることはない。橿原、飛鳥をじっくり見る手段を考えねばならぬ。八木駅から導線、京奈和からの導線、今はバラバラ日対応のように見える。ホテル（八木駅前）を中心に観光、歴史を深める導線をつくり、元のイメージしかない古墳風を目覚めさせたい。
151	夏の盆踊りの盛大化。
152	安くて美味しい食事が出来る店を造る。 安くて美味しい居酒屋、ラーメン、寿司、お好み焼きなど。
153	毎年、恒例のイベントも良いと思いますが、様々な新しいイベントをどんどん取り入れることで、飽きることがなく「次はどんなイベントがあるのかな？」と楽しみになれると思います。イベントもある世代だけを対象にした物ではなく、高齢の方、若い方、子供と沢山の世代の人が楽しめる企画を待っています。
154	医大に通院していた祖母は、診察後、駅前での買物を楽しみにしていました。若者も大切ですが、祖母のような人達のお店もあればいいと思います。
155	八木駅周辺は外国人を引き寄せる魅力に欠ける。
156	愛宕祭りの復活。イベントをすると近くの農村から車で来るので、その対応が問題。警察と警備もしっかりしないと過去のような事が起こる。
157	外国人観光客のみならず、市民自身ももっと賑わえるようなまちづくりが不足しているように思える。一例が駅から市役所の100m余りの旧道を見れば、昔ながらの古い店舗や事務所ばかり、おまけにネオン等、灯りが少ない。週末などはこの辺りだけでも夜間9~10時頃まで歩行者のみの通行に制限する等・・・。

158	住んでいる人が参加し、楽しめるイベントをし、盛り上がり、他市や他県の人もみにくようになって欲しい。外国人も増えるし、対応は今より濃く優しくしないとけないが、まずは住民第一で！
159	1、八木駅周辺まちづくり基本構想は、中長期に区分して検討が必要と思う。 2、前頁の基本的な考え方を受けて、市、市商工会、近鉄、奈交等でプロジェクトチームを設置し、中長期構想の検討と責任体制を確立する。検討の基本は”八木駅南・北した街づくり”。 3、前頁の条件整備として ①八木駅周辺に集中している駐車場の整備、統合の検討。 ②八木駅ガード下の商店の移転により駅南北ガード下の一体化の活用。③八木駅周辺の地下化によるバス、タクシー地下移動化等々検討。
160	イベント開催の幅広い告知。
161	今井町の街並み、大変美しくなって嬉しく思います（以前今井町へ勤めておりました）。
162	歩行者天国でのイベントでの犯罪を防ぐために警察の見張りを行ってはどうかと思えます。お正月やお盆限定で、何かイベントがあるとうれしいです。橿原市出身や、橿原市と深いかかわりのある偉人のイベントがあると良いと思えます。近鉄奈良駅周辺でもあった様な、障害者の方の絵を集めて近鉄八木駅周辺の店に展示するイベントをしてほしいです。（HAPPY・SPOT・NARAの様に）

3.2.2. 回遊性向上による観光振興

(1) 取組番号 1

駅や観光案内地における観光サインの設備・充実
あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。 (例：橿原市内における観光案内看板について思うこと 等)

1	地味で面白みのない印象。案内サインだけでも、デザイン性に富んだものにしては。
2	マンガやアニメーションを用いて分かり易くする。
3	子供にも楽しんで貰えるようなPR案内する（キャラクターなど）。顔出しパネルなど橿原市内では見あたらない。
4	スマホを活用した音声ガイダンスを各所に設置（街全体を美術館のように回れるようにする）。
5	看板そのものが、経年と共に文字が読めなくなることをないように希望。 看板設置は、方角に合わせた方法でお願いしたい。 設置や作成年月、所管など明記し、連絡先も表示願いたいです。
6	八木駅は昔から利用していますが、駅構内の看板もゴチャゴチャして、そもそも観光案内図ってあったの？と言う認識です。観光案内所に仮設VR体験できるような空間を造り、昔の街並みや歴史有る場所を認識してもらうのはどうでしょう。
7	もう実施されているが、読もうと思わない。真面目で堅いイメージがある。
8	下車したとき、一目でこの街には何があり、何処へアクセスできるのかスクリーン（大画面）で流す。

9	QRコードを書いてスマホで見るともっと分かり易くなる。
10	檀原市内にいくら観光案内サインを設置しても、県外、海外から観光客が来てくれなかつたらどうしようもないです。従って、人が来てくれるように全国に観光案内などするように種々方法を考える必要がある（例えば：東京駅、大阪駅の一角に檀原市案内等、経費かかったりするかもしれませんが）。
11	看板は何れ古くなり寂れた印象になる為、そんなに沢山要らない。パンフレット類を充実させた方がよい。
12	歴史観光情報の充実。
13	余り歩いて回らないので何処に看板があるのか認識したことがない。
14	目に見えるPRが必要だと思う。
15	看板の所にパンフレットも付ける。パンフレットにクーポン券など付ける（お店に協賛して頂く）。
16	駅の出口で直ぐの所に観光案内所を設置する（ナビプラザの知名度を上げる。場所の明記）。 観光地に停留所のあるバス。
17	自動車専用道、もしくは歩行者専用道路の整備。檀原市遊覧バス、もしくは定額遊覧タクシーの導入。
18	奈良テレビ「気ままに歩こーく！」。NHK「ブラタモリ」など、TVを活用して宣伝する。
19	スマホアプリと連動。案内板にスタンプラリー的な二次元バーコードをつくりアプリで集めるとプレゼントが貰えるとか、クーポン券が貰えるとか・・・。
20	文字を大きく、読みやすく、見やすく。
21	他県のパンフレットを沢山参考にして始めて来られる人にも、よく分かるように書いて欲しい。国道県道、その他の看板が他県よりも文字も大きさも小さいように思う（旅行した時、感じる）。
22	1と2は同時進行で。 数ヶ国語の音声案内の検討。 新沢千塚古墳群の大々的な紹介。 万葉集分かり易い解説（マンガ）。
23	漢字や文字が読めない人に、音声で説明できる様な説明機の設置。子供も分かり易い説明。
24	藤原京当時の建物の柱や石畳等の概要図（平面図）10%位の実物大で造ってインビテーションして、観光案内図とどこかに設置してはどうか。
25	観光案内看板は細かすぎて見えにくい。駅などにインパクトのある表示をする。檀原と言えば・・・神武天皇？日本の始まり？檀原神宮？
26	見るだけでなく、体験、体感出来る物を増やすと、何度もきてもらえると思う。
27	飲食店やトイレの案内もお願いします。
28	基本であると思う。市外でも檀原市に来てみたくなるような案内を設置する（訪寺される方が迷わないのでは？）。京都駅に今以上にPR看板、チラシを見てもらえるように配置。又、多言語によるCM、京都に泊まる人に奈良はこんな所!的にPRする。

29	全言語を同時に表示するせいで、スペースが不足し読みづらく成っていると思う。電光掲示板にしたうえで、操作により言語で切り換える、形にした方が利用しやすいのでは・・・。
30	案内板チェックしてますか？汚れたり見えにくくなっていたり。
31	八木駅に近鉄と交渉して案内所を造ることが先決ではないか。
32	日帰り、泊まり、目的などにより、幾つかお勧めコースが提示されていると有難いと思います。次はどのコースで観光しようかとリピーターが増えるのではないのでしょうか。
33	観光客の大方は、歴史ファンではないところに、歴史や出土物の説明をダラダラ長く書かれても、1~2行で止めてしまう。もう少し歴史ファンではない人が興味をもてる工夫ができないか。
34	アニメを取り入れた案内板及び、観光ルートを案内。
35	駅前に設置されているのでしょうか？余り見あたらないので、分かり易いのを設置すべきだと思う。 観光アピールが不足では。
36	①外国人にとって今井町や八木町の下ッ道は興味のあるところなのだろうか？興味の惹きそうな場所一緒に載せる。②SOS 電話番号や SOS 場所を載せる。
37	音声案内、説明（多言語）。
38	看板も良いけど、手書きのイラスト風なものもあれば、もっと見てくれるのでは？道路ばかりで、スポットで何処にあるのか分かりにくい。
39	只の看板のままにせず、電光やLED や光を活用した観光案内を作る。
40	観光案内は外国人が見て分かりやすくするために、分かり易いマークや何カ国語かを使用し、案内図は何分割かにして大きく表示する。
41	観光案内と共に、交通案内も併せて表示して、観光地までどのようにしていけるのかを案内する。
42	今井町の街並みは現状を維持保存しながら、八木町の街道沿いの街並みを繁栄当時の風情あるものに再現し、誰もが訪れ散策を楽しむ事が出来る魅力有る、古い街並みの創出（伊勢土産横丁、倉敷美観地区、川越、長浜市黒壁スクエアなどの様な）。今井町、八木町の風情ある街並みを人力車、カゴに乗って見て回る事が出来るルートの整備。
43	文字だけではどんな観光地が分かりにくいので、写真など載せたら良いと思います。
44	問 6-1 駅の観光案内サイン。大型デジタルTVサイネージ看板、60 インチくらい。ホテルの宿泊客や市民へのお楽しみ情報として、八木駅の道路（ミスタードーナツの横）に、デジタルTVサイネージ看板 60 インチくらいの物を置いて、イオンモール 榎原の映画館や新口町のツインゲート 4D 映画館の上映情報を、表示するようにすると、ホテルの宿泊客も夜の楽しみに行くことが出来ます。ショッピング情報紙、イオンモールやまほろばキッチン近くのドン・キホーテ、飲食店情報、すし、ラーメン、榎原考古学博物館のイベント、パブリックビューイング使用。

(2) 取組番号 2

歩いてみたくなる観光ルートの整備

あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。
 (例：歩いてみたくなる観光ルートづくりのために必要と考えること 等)

1	駐車場には関係せず、のんびりと歩ける歩道を整備する。
2	サイクリングロードを「歩きやすい観光ルート」と共に整備。
3	八木町周辺はコンクリートが少しガタガタしている気がする。
4	歩道と車道をきっちり分離して欲しい。今井町迄で止まっている飛鳥川の遊歩道を、藤原宮跡まで早急に開通して欲しい。
5	歴史を感じる観光スポットがあるので積極的に宣伝する。
6	観光ルートを各ルート作成し、分かり易いようにする。
7	順路を明示する。
8	JR畝傍駅周辺も飛鳥川も藤原宮跡も、草が生い茂ったりしてキレイでない。言葉を選ばず言うと汚い。まずは環境整備を。
9	歩行者道整備してから。
10	特に今井町周辺はもっとキレイに整備した方が良いと思う(今井町を一步出ると急に現実に戻ったような印象で残念な気持ちになった事があるから)。
11	着物着付け体験で、着た着物で観光できるのなら歩きでは大変だろうから、交通機関の整備が必要だと思う。
12	ストーリーのあるルートが面白いと思う。
13	飛鳥川の桜並木の整備。
14	八木駅から西へ向かって飛鳥川に出た後、川沿いに南下すれば今井町、小房観音、藤原宮跡と繋げられる。川沿いの遊歩道整備を検討されては。八木町、畝傍駅は別ルートで。
15	歩行者と車が危なくない、道路整備、サイクリングコースなどの迷わない道路標示。
16	ルートのあちこちにスタンプラリーのようなものをつくる。
17	要所、要所での朱印帳の作成(記帳)。
18	休憩できるスペースの確保が必要と思う。
19	藤原宮のホテイアオイを見たい人に良く道を聞かれる。
20	駅からではなく、駐車場からの方も利用があると思うので、1時間くらいのルートに立ち寄りポイントを作って(休憩所やランチ、おみやげやなど)。
21	徒歩のルートだけでなく自転車で廻ることが出来るルート及び道路環境の整備を検討してはどうか?
22	明日香のようなキレイな歩道が欲しい(西口辺りはゴチャゴチャしているので)。
23	歩いてみたいです。
24	駅前の市の施設をもっと利用活用すべきです。
25	かなりキレイになって遊歩道などとても素敵です。これから桜が咲きますし、楽しいな時季がやってきます。飛鳥川はもう少しきれいになると良いかな?
26	キロ数、時間。

27	自転車道を含めた安全な道路の整備。
28	JR畝傍駅の差別化、駅舎以外に道の駅を新設、大和八木駅、市役所、畝傍駅。
29	スタンプラリーを置く。
30	JR畝傍駅と駅前広場を整備する必要があるのではないですか？
31	スタンプラリーなど。
32	歩いてみたくなるようなルート賛成。
33	藤原宮跡は近寄りづらい。場所柄、怖い。歴史的に余程興味がないと天候が良くない限り歩こうとは思わない。
34	スタンプラリー。
35	ルート上に於いて、民間の協力で休憩施設（土産物、着物着用体験、各国、各地への伝達等）。
36	サイクリングロードや歩道の整備や地図の配布。 ルート上に休憩所の整備。立ち寄りたくなるような休憩場の設置。 グルメ（食べ歩き等）。
37	地名の由来とか地域の残っている昔話や、過去にこの場所でこのようなことが行っていたという案内本やマップ（簡単マップ）。
38	ポイントからポイントの間に楽しい休憩コーナーやイベント必要かと思う。
39	観光ルートの提案をしたパンフレットの配布（外国語含む）（観光案内や歴史的な話しも）。
40	歩きやすい遊歩道の整備とお土産店等の誘致。
41	歩くだけでなく自転車等の確保。
42	県外の人に聞いた方がよいのでは？観光に来た人に、アンケートを取るとか、住んでいると気付かないことが多いと思います。
43	藤原京の賑わいが必要。今井町に食事処がもっと必要。
44	観光ルートの中に何もなさ過ぎる。
45	各ルートでのスタンプラリーや観光客に写された写真展や、インスタ映え画像展等の参加型イベントもいいのでは？
46	上記に歩いて周りたくなるような・・・まさにその通りです。その案内ルートを冊子にしていただければと思います。
47	八木駅の商店街に立ち食いできる様な、テイクアウトできる店を増やす。
48	歩道の整備、すべて点在していて、歩くための道づくりはできていない。
49	道の整備はいいと思う。桜井の山辺はハイキングにとっても良い。自転車の人口が増えているので、狙って見るのも良いのかな。
50	まつり、イベント、日本の祭り
51	所々ハニワを置いて、探しながら観光する（ゲーム感覚）。
52	各町のスポットでの名物（食べ物、体験）を銘打ち、歩いて回ることでしかできない意義を出す。
53	ウォーキングツアーはお年寄りがよく参加するので、歩く＋買物（荷物は配送無料）のコースで道の駅や百貨店にも立ち寄るツアーで市の経済活性化をはかる。

54	今井町が整備されたようにJR畝傍駅～小房～周辺も整備して欲しい。
55	観光ルートにはなると思えないですが、そうなるアイデアを出さないとダメですね。先にも書きましたが、電柱、看板、店のカラーのバラツキ、私は他県の人を案内したいとは思いません。今の4箇所。
56	季節によってルートを変えたいような、自然を利用したルートを考える事。
57	花を植えるところを多くする。
58	市の中心部は緑の景観が少なく感じます。八木駅前広場にシンボルとなるような木を植える。 飛鳥川の堤などはもっと桜を増やして桜まつりなどで活性化をはかる（花の檀原として全国に発信）。
59	整備が出来ているところ、そうでないところがあってアンバランス！檀原市といえど今井町、藤原宮の観光に期待されて来られる方が多いと思います。来て良かったと思って頂けるよう、早く整備して頂きたい。特に今井町の外回りの道路整備が進まないのが残念に思っているところです!!
60	食事マップも付けて（食事場所や土産物など）より歩いてみたくするようにする。
61	本気でやって欲しい。苗木を販売してMy 桃なんか沿道に植樹すればインバウンドが増加するかも？
62	例えば、八木西口～飛鳥川（堤防）～小房観音までのルート整備。
63	歩きたくなるような目的をつくる。 八木横丁を造る。 インスタ映えするスポットを造る。
64	まだまだ歩きにくい道路、危ない道は、沢山あります。その辺を先ず整備して頂きたい。
65	何種類かハイキングマップを作って主要施設に置く。
66	歩道、車道、自転車道それぞれの確保。
67	今井町をもっと宣伝して欲しい。
68	「歩く」観光を考えるのなら、雨でも歩いて行けるところが重要。歩く以外の手段も考えないと集客できないのか。
69	藤原宮跡はあのままでよいのでしょうか（ただの野原）。平城宮跡のようなシンボル（朱雀門）の様なものがあれば観光のポイントになるかと思います（考古学的にも条件はあると思いますが・・・）。
70	八木駅からルート別に歩道の色を変える等、分かり易く楽しみながら歩けることを考える。
71	歩道の整備、環境整備。
72	ラジオウォーキングのようにウォーキングコース（ツアー）を健康のため作り、周知して貰う。募集を大きくPRする。
73	観光ルートを色んな場所で定期的に道路を使った「市」を開催と、そこと回れるようにしていく道路整備。
74	ルート拠点から最寄り駅への所要時間、距離も明記しておく、利用者らは助かると思います。

75	藤原宮跡遠すぎます。廻るならバスツアー的なので歴史的、観光に魅力有るところを案内すべきでしょう。
76	特にこのルートでは、交通量が多く、歩行者は歩きづらいと思う。その点を考慮して欲しい。
77	春の飛鳥川の桜の照明の様なものを沢山造ればいいと思う。広く統一性ができれば良いと思う。
78	前ページ記入。
79	トイレの位置など分かり易くする。老いると早めに行きたくなる。
80	SNSに載せる（インスタ映えなど考えて）。
81	大和八木駅から藤原宮跡はかなり遠いです。いくつもの（上級～下級）コースを設けて、その道路には標識を立てて、分かり易くすることが必須です。道に迷うようではダメです。Aコース、大和八木～今井町。Bコース、大和八木～八木町～今井町。Cコース、大和八木～飛鳥川～今井町～藤原宮跡など。
82	レンタサイクル・自転車で行けるように自転車専用道路を造る。藤原宮跡の道は歩くのも危ない。
83	車より歩行者を優先させる様な道路造り。
84	今井町～榎原神宮地区から整備する。
85	老人が来たがるようなインスタ映えするカフェが周辺に沢山あるとそこへ行ってみたいくなる。
86	スタンプラリー等、色々なアイデア。記念品等を渡すのか(市の予算有りますか?)。
87	古民家を改装してカフェやブティックを造る。
88	狭い道が多いので整備して貰えると地元民も気分良く過ごせると思います。
89	八木駅から観光ルート、歩きやすさ(上記と同様整備する)（現在は八木西口～今井町)車の量が多く、歩きやすいとは思えない場所がある(坂道)。
90	吉野杉を敷き詰めた道。
91	駅や市の施設に観光ルートのパンフレットを置く。 市のホームページに観光ルートと立ち寄りお勧めのお店等を載せる。
92	食べ歩きできる(コンビニではないが)様な軽食店を造る。
93	藤原宮跡で野球をしない方がよい。今井町や藤原宮跡でお土産等売る。説明する人がいると良い。お便所も完備したら・・・。今井町に商売する人がもっと増えると、来た人が喜ぶと思う。六斎市以外の日は何の魅力もない。
94	スマホのアプリを作り、個人の滞在時間と好みに合わせて、コースが設定できるようにしてはどうか。
95	観光ルートに店が上手く点在する事。
96	スタンプラリー。
97	大和三山を活かすイベント。 スタンプラリー形式で。 ルートを多く設置、回遊した数によって景品考えては？ 古墳巡り。

98	スタンプラリーの実施（昆虫館や博物館はあるのですが・・・）。所々にホッと出来る寒さや暑さを凌ぐことが出来る、休憩スポットの整備。トイレの整備。藤原京に休憩や弁当を食べられる建物、ガラス張りで、景色を眺める事の出来る施設があれば嬉しい。また自転車置き場等の設備もあればいいかなと思います。
99	イベント開催とか公園整備してはどうか（遊場）。食べ物所も考えては。※図にて説明あり
100	観光ルートの道路の色を変える、又は線を引く。観光ルートの分かり易い案内板で誘導する。
101	歩く・・・道は勿論、自転車の道や、乗り捨てられる自転車も良いけど、やはり駐車場をしっかりと確保すべき。
102	街並みの風情が損なわれない様にお互いに気を使って観光ルートを。
103	空き屋が多いですので、何か利用できればいいのにとおもいますが・・・。
104	R165JR畝傍駅付近の歩道を造ること。
105	美味しいカフェ、立ち寄れるお店をアピールする。
106	歩いて回る際に道中立ち寄りたくなる雑貨屋さんか、お茶できるお店（奈良の街並みにあった趣のある）を募集したり、ならまちの様に、有るテーマを決めて、町全体で取り組んだりする。
107	気軽にバスに乗れるよう、バス停の整備や本数の増加があれば良いと思う。
108	観光ルートを歩くと、何があるのかが重要。今井町、歴史的建造物の意味、食事スポット、土産屋の充実、観光バスの受入体制等々、地区の目玉が必要では。
109	今井町入口前の道路、事故多発、歩いて回りたくなるような観光ルートの前に、住民の安全を考えて欲しい。ヤマト一近くの踏切（チャットチャック横）が、ガタガタで歩きにくい。サンプラザ前の踏切（かなり小さいやつ）大きな溝があったりして危険。
110	歩いてみたいと思うには、入ってみたいくなるお店が必要。今井町に有るようなおしゃれな古民家を利用したカフェやレストランをもっと色々な所に造り宣伝すれば良いと思う。
111	予算が許す限り、歩道、自転車道、駐車場等、安全に配慮しつつ、整備して頂きたいです。
112	そもそも西口の駅があるから今井や八木駅まで歩こうとは思って、西口でさえ遠いと思っています。八木駅からはバスを使うか、「レンタサイクルを置いて欲しい」というのが正直な気持ちです。同様に、藤原宮跡と飛鳥川も歩きたい距離と言うよりバス・サイクリングです。畝傍駅はもっと貴賓室を活用できないか。
113	歴史有る今井町の街並みのPR強化。
114	歩行者用は道幅を広くして欲しい。直ぐ横を車が通るから少し危なく感じる。
115	八木駅前に観光案内があるのでしょうか？マップ（分かり易い）は勿論あった方がよい。途中にも矢印とか案内があれば分かり易い。サイクリング（自転車利用）もできたら良いと思う。観光ルート案内はイヤホン貸し出しでするとかもある。

116	八木西口駅は今井町のみには利益をもたらさない。一見便利のように思うが、一歩出た周辺に何の恩恵ももたらされず、市民の税金を今井町民のむさぼりに感じている。新駅まで歩いて、奈良県産物に触れることが出来る横丁造り等。
117	観光地が点在しているので、どこからでも乗れる公共交通があれば（安く）。
118	これも手書きイラストで歩いてみたくなるような地図。※図にて記載あり
119	飛鳥川的美観を取り戻す事が肝要と思う。
120	観光ルートの周辺道路は、拡張し車道と歩道をハッキリ区別し、デザインの良いガードレールを整備し、道路はカラー舗装にする。町内は道路が狭い為、カラー舗装のみとし、出来る限り（時間規制等）車を規制する。
121	歩いている途中でもお店で充実すれば、目的の観光地に着くまでの間も楽しんで貰えると思います。
122	歩道の確保。
123	今井町への道など場所によっては、歩道のない所もあったので、安全で歩きやすい道ができれば良いです。
124	問 6-2 歩いてみたくなる観光ルートの整備。長距離を歩くのは辛い高齢者を家族に持つ観光客のために電動車イスのレンタルをしては如何でしょうか？ 榎原市民も便利に利用できますし、歩ける人が乗っても楽しい乗り物です。セグウェイより乗るのは簡単です。その時の車イスの車種ですが、お勧めはWHILL株式会社（横浜市産学共同研究センター内）という、電動車イスのメーカーの物で、この電動車イスは現在、日産自動車の電気自動車のTV広告に登場しています。何故かと説明しますと、WHILLは日産自動車やSONYを辞めた人達が、つくった会社だからです。横浜市が観光に使う為、3年前に試用していました。イオンモールでも広い店内の移動のため、客に貸し出し試用していました。パナソニックは昨年、今年と自動空港案内として座っていれば目的地へ連れて行ってくれる機能の共同開発試用にしました。この車イスの利点は普通の車イスと違い、前輪が自動車のように前を向いたまま、固定されているのですが、その場で360度方向転換できるという特殊な構造の前輪を持っています。それゆえ、タイヤが横を向かないので、路線レールの溝にタイヤがはまりこむという事故が起きにくいです。文字でタイヤの構造を説明するのは難しいので、インターネットで見て頂きたいです。デザインも格好良く、近未来的ですよ。展示会では子供が楽しそうに乗って遊んでいました。榎原市民がどこかの観光地にお出掛けするときに、レンタルするという利用方法でも、家族の負担（車イスを長距離押すのは楽ではなく、腰が曲がり、肩が凝る）も少なくなり、便利でしょう。

(3) 取組番号 3

八木町のまちなみ景観保存と育成
あなたが考えるアイデアや、ご意見がございましたら、ご記入ください。 (例：八木町の歴史的景観を守るために必要と考えること 等)

1	特になし。
2	車の通行が多すぎる。

3	出来るだけ昔の街並みを残しつつ、改良していくのが良いと思う。
4	下ツ道や横大路等の街道をPRできる観光づくりをする。
5	八木町の魅力をもっとPRする。
6	道幅が狭いのもう少し広めるか、車が入れないようにすることは出来ないのでしょうか？
7	景観は大切にしていきたいですね。
8	電線などを隠したり、アスファルトの地面をかえたり、車が入れないようにする。写真が撮りたくなるような景色づくり。
9	景観保存を進めると住む人にとっては面倒だから、難しいけど何とか両立できるような事、景観保存すると金儲けに繋がるような事が面白いのでは・・・。
10	今井町の歴史の認知と広めるためのチラシ、Webなどの広告。
11	歴史的景観の保護は大事だが、そこに住む市民にとって良いルールであるか確認する必要があると思う。
12	伊勢街道をもっと周知されたい。沿道の町家を上手く改装して、町家カフェや雑貨店、居酒屋風にする（倉敷のように町全体で）。
13	行ったことがないので分かりません。
14	まだまだ八木の歴史だけの観光だけで人は集められません。今井町とタイアップして家の景観を宣伝すべきです。
15	あちこち有名な歌碑があり、楽しんで団体で廻ったことがあります。専門家の解説がありよく分かったのですが・・・。
16	沿道の民家を、今井町並に整備する。
17	各商店、もっとキレイな看板を考える。
18	人力車の導入。
19	若い世帯が住みたいと思うような不動産購入時の支援。
20	自動車が走っているとき、八木町内では速度を出来るだけ落として貰いたい。歩行者が安全に回れるようにする。
21	景観を残すことも必要。一部は体験として宿泊できる施設として検討したらどうでしょう。
22	幹線道路（24号や大和幹線）を走行中に重要な資源があることが分からないので、その情報発信（東のナビへの情報提供等）。
23	街並みや景観保存の場所に飲食の場所や土産物店を造ってはどうか。
24	民家での宿泊体験。
25	古い家屋（八木町、今井町）を見て歩くだけでは、観光客の増加はあまり期待できない。お茶（色々なお茶）や、古くからあるお菓子等の軽い食事でもできれば喜ばれる。
26	耳成山周辺の草木一度是非きれいに、素晴らしい大和三山を一葉ずつ輝く程に。
27	古い民家を利用して貰って、何かできることを皆で考えていかんといけないと思います。皆が集まって考えましょう。
28	生活感の出る物は目隠しできる様に、木などで造り、歴史的住居以外も統一感を出し、街の雰囲気を作るべき。
29	ルール作りも重要。ルールの厳しさが名所ならではのといったこともあり得る。

30	まつり、イベント、日本の祭り
31	空き家を店舗に安く貸す。
32	あたご祭り、盆踊り、小房観音祭り等のイベントを上手く利用し、八木の良さの宣伝に努める。
33	保存するにはお金と意識の高さが必要かと思います。私は幼稚園、小・中学校、檀原にいて学んだ中で、八木町の街並み景観の何が保存に値する事なのか、教えては貰えませんでした。日本建築の良さは社会人になって仕事で学びました。
34	明日香村のような景観を守る色にする。電柱を地下に埋め、古い街並みを守る。
35	住民の理解と協力が大切かと思いますが、高齢化やお金の問題があるかと思います。やはりそれなりの予算を市の方で考えて頂けたらと思います。
36	今井町もきれいになり、何度か行きましたが、茶行列等、何度も行かない。
37	ゴミを拾う。 街並みに合わない家を建てない。 古民家カフェなどを造る。古民家を利用する。
38	先ず道のゴミを無くすことだと思います。
39	景観は見られるが活気がない。例：京都を参考にしたり取り入れるような物が他市・他県に有れば取り入れていく。
40	1~3 全て大事なことですが、市民に対する周知が不十分だと思います。恥ずかしいことですが、私自身も「今井町」の存在しか頭になかったです。景観にふさわしい街づくりルールの基本は、適度の”規制の緩和”が必要だと思います。
41	こういった歴史的景観が、有るところは貴重です。しかし活用してお金を落として貰う様な魅力有る所にしていけないと行けません。もっと小さくても良いので、店舗があればいいのですが・・・。
42	古い街並みを是非残して欲しい。
43	こちらもライトアップしたりして、もっと夜でも人が来客する仕事しないと、檀原にお金落とさないとと思う。
44	前ページ記入。
45	歴史の大切さを知って貰う。
46	畝傍高までの所に江戸時代の家（上の写真）が保存され、開放されていますが、この地域にこのような歴史的建造物が少ないです。もっと発掘（捜す）して増やす必要があると思います。
47	ならまちをモデルにしたらいい。PR方法の工夫。統一感のある街並みにして欲しい。
48	費用対効果に難点有り。
49	道がせまいのに電柱が凄く邪魔。
50	アスファルトを何とかしたい!!
51	明日香法のような厳しい規制と街並み維持のため、保有者への補助。
52	素晴らしい景観が多数、存在するので学生のスケッチコンクールやお酒のスタンプラリー等、イベントを通じて、檀原市民から意識を高めることが必要だと思う。
53	各ルートの出発点、ゴール地点にはシャトルバスを運行（土日でも）。

	駅前広場に集合して駅前広場で解散。駅が創出に繋がるのでは。
54	愛宕祭りはアイデアを出して賑わっておりますが、通常の時も 1/3 でも 1/5 の賑わいを取り戻せないか。
55	今井町の電柱の地中化。取って付けたような街並みなので（柱の色が焦げ茶で不自然）、もっと普通にとけ込めないか。
56	八木町下ツ道・横大路など市民自身知らない人が多い。もっとPRが必要。
57	ルールによって守られる程の街並みである事をPRしていく。京都の看板の色が厳しいのは、逆に見た目にも面白いし、保全が伝わるほど美しい街と思える。茶色のハンバーガーショップ看板、白基調のコンビニとか・・・（笑）。
58	八木町全く賑わっていない。祭り以外で賑わっているの見たことがない。
59	八木町については、恥ずかしながら余り存じ上げなかったです。今回のアンケート依頼で初めて知ることができました。（歴史等・・・）しかしながら、そういう市民は多いのではないかと思います。今井町のPRは見かけますので、もう少し積極的にPRして頂ければ、知名度も上がり、町屋のリノベーション等の発展に繋がるのではないのでしょうか。
60	八木町の街並みより高い建物を建てない。 出来るだけ建築時の状態を保存。 景観保存を内外にPR。
61	既に有る財産をもっと大切に、更に活用できるようにした方がよいと思う。
62	歴史的な建物、街並みは残して行くのが当然。
63	景観保存する気はあるのか？八木町だけでなく、全市として考えるべき。今のままでは現実と歴史的景観のギャップが有りすぎ。行政として何がしたいのか良く分からない。
64	ルールは作りも大切だと思う。正直言って、見知らぬ人が多く入って来ることによって、治安が心配です。
65	もっと外に向かってPRして下さい。
66	道路の整備が第一。この観光地は車で回れない。
67	歴史的な景観を保全し、道路、標識、外灯（低い灯籠式）等、夜間も景観を楽しめるようにする。
68	車道と歩道を区切って、歩きやすいようにする。
69	先ず、下ツ道や横大路の知名度が低いので、その場の歴史的景観を保全する以前の問題だと思います。もっとその点を宣伝すべきだと思います。

(4) 上記の1～3の取組内容以外で「回遊性向上による観光振興」のためのアイデアや意見
上記の1～3の取組内容以外で「回遊性向上による観光振興」のためのアイデアや、ご意見
がございましたらご記入ください。

1	エリアがそれぞれ距離があるので全て廻るのは少ししんどいと思います。ハイキングコースがあるので、それをもっと上手に売り出したら良いのではないのでしょうか。
---	--

2	幼児、小学生、中学生などもっと地元史や地元の祭りに参加させる。時間はかかるが小さいときから地元愛を育むと同時に道徳心をしっかり学ばせる。近頃市内の至る所で、不道德な親、子供を見かけます。当たり前のことを外からしっかり伝える。親は期待できないので。長期的にこの街、住人を素敵にしていきたい。微力ながら悪事に注意したり、ゴミを拾ったり自分に出来る事を行っています。
3	観光ルートプランを幾通りか作成してPRする。
4	観光案内のコミュニケーションを大切にすること。 レンタサイクルの設置。
5	藤原宮跡の一角に入り込んだ複数の家が、藤原宮跡一帯の景観や雰囲気損ねていると思います。世界遺産を目指すにふさわしい歴史を感じる、元の状態にした方が良いと思います。
6	伊丹駅下車の事です。参考になればと思い書きました。はっぴを着た①若々しい老人の方々がパンフレットを持って道案内されていました。②道端には大きな酒樽に季節の花が美しく植えられゴミ一つ落ちていません。屋根は黒瓦一色（大型店も黒瓦風）で、伊丹らしい風景でした。③八木駅からホームを見た街灯で商店街がキレイに見えています。この道を今井町まで続けるとして、内膳町～八木駅～〇〇～今井町と町毎に調和のとれた街灯にかえる。④季節の花を置き花で道案内をする。⑤余裕のある場所には広場を造り、やや大きめの木を植える（1本）。12月に入ればイルミネーションを付ける。⑥市役所の中央に（ビルの上から）イルミネーションを付ける（図あり）。道行く人も車も心温まると思います。⑦新口町駅広場もキレイに整備して下さいありがとうございます。この道を通られる方々に一日気持ちよく過ごしていただけますようにと、微力ながらゴミ拾いをして楽しんでおります。フェンス横に花が三箇所くらいあれば良いのではと思っています。⑧宝塚市も見学してみてください。
7	観光地点の整備と並行、動線を考える（古代、藤原宮跡～今井町並み～現代までの町の発展が分かるルート）。例えば市電のようなもの。
8	八木駅エリアは橿原市の中心であると同時に、明日香・吉野等奈良南部の観光地の玄関の位置づけにあると思います。橿原市の観光振興が第一ではありますが、多くの観光地のニーズに応えることが、中核都市としての包容力であり、近隣地域の一体感を醸成するリーダーとしての幅広い役割を期待したいです。観光客は誰でもここを訪れれば満足できる案内が受けられるセンターを設置する。当市も今井町・橿原神宮・藤原宮跡・大和三山等、魅力的な場所が多く存在しますが、地理的に明日香地区等併存したり隣接している。観光客の多くは何処が当市か明日香かは関わりなく、何等かの目的を持って来られている。歴史を学ぶ・自然にふれあう・花を愛でる等目的の方、あるいは橿原神宮と吉野神宮を見学したい方もおられるかも知れない。当市はもちろんのこと、明日香・吉野の説明が出来るスタッフを充実させ、シナジー効果によるリピーターを増加させればと思います。
9	2、歩いてみたくなる・・・春夏秋冬の花道路（桜、紫陽花、夾竹桃、金木犀、老梅等）。
10	行きたくなる場所は名所や景色が良いだけでなく、食事や買物体験できる事が不可欠です。八木駅周辺は飲み屋ばかり増えて、夜は人が集まるが、昼に行きたくなるような店は少ないです。老若男女、色んな国の人が行って見たくなるような店が増えていけばいいと思います。
11	散策マップの作成。

12	トイレの和式は除外。水を流す方法がボタンだったりレバーだったり様々で、外国人の人は余計戸惑うと思うので、統一して欲しい。
13	高いレベルでの清潔感ある観光ルートの開発と運用。四季に合った花壇の設置などの視覚と嗅覚に優しいルートづくり。
14	今井町の景観の素晴らしいことはもっとPRされるべきだと思います。
15	歴史に興味があるが、八木の歴史的ターニングポイントを知らない。駅前等に掲示があれば良いと思う。
16	広い藤原京跡地を、又、丸山古墳、植山古墳などまでも、足を伸ばす工夫はないものか。小槻町、真菅などの古代より栄えた地、香具山周辺も！八木駅周辺の活性・開発はもちろんの事、駅周辺のPRは大切ですが、ぐるっと回って終わりではなく、その先にある歴史的空間をも知らしめる事、大切。反対に少し離れたところの発見が駅への利用にもなるはずでは。
17	歴史的観光地や建造物等々の各々の場所やルートの周遊に、寺社仏閣の朱印帳のような物の作成、実施等も興味と記念にも保存に適さないのか。
18	若い人にも訪れて貰えるような町屋カフェや雑貨等、経済的にもリターンのある店舗や、車で来られるよう駐車場等の整備も併せて進めて欲しい。
19	そもそも回遊したいと思える魅力的な店舗がない。あってもPR不足なのか、認知されていない。 関東圏の方々は奈良は大好きだと言ってくれますが、食事をするとところがないと言われる。いい加減「奈良は上手いもんなし」を払拭して欲しい。
20	橿原神宮を歩いていると良く聞かれることは「今井町は何処ですか？」「歩いて何分くらいかかりますか？」「駐車場はありますか」と言う事です。これ何度も聞かれます。それと「何がありますか」。駅には明日香のハイキングコースの地図が置いてあるので、橿原市も作ればいいのに。県外から来る場合、車も多いと思うし、駐車場の場所の案内は大切だと思います。又レンタサイクルも明日香ばかりなので、橿原市も廻ればいいのに・・・とか。自転車無理な距離なら、歩きとかももっと無理。駐車場料金の割引とか考えればいいのに・・・。
21	特にありません。（別件）私は定年（市）退職10年以上過ぎ、今井町周辺も変わってきて、八木へ行くと今井町も保存が守られて安心している。今建物（分庁）が完成してしまっただけのアンケートより、地元の商店街の反対意見をもっと時間を掛けて、状況判断して進むべきではなかったかと感じます（広報は見ていたが）。私は橿原神宮周辺に50年以上住んでいますから、橿原観光ホテル周辺、駅周辺の商店街の静けさには、別の寂しさを感じ、人々の通りも少ないです。市内にもっと活気が出るよう望むのは私1人ではないと思います。
22	お役人でなく、古都や街並みを活かすプロ、民間からプロデュース的な人材を頼ってその人を軸に計画を進めた方がよいと思う。
23	橿原全域で歩道の整備を進める必要あり。交通量は多いのに歩道は狭い所があるため、かなりしっかり歩ける人でないと回遊は難しい。
24	八木地区を中心に観光振興をお尋ねのようですが、当方関東より移住（夫の仕事の関係で）して来ましたので、周辺の内容は分かりません。八木駅ですら年に1~2回程度しか行かず、周りの地区内容まで分かりません。ただ今回、新市役所、ホテルが出来たことは喜んでおります。もう83歳、質問自体の内容が頭に入らず、誠に申し訳

	ありませんが答えが書けませんでしたので、どうぞあしからずお願い申し上げます。 (代筆)
25	老若が楽しめる飲食店街。
26	今井町は道路も公園も凄くキレイになっていますが、駐車場がない。バスも通っていないように思います。色々なサービスも大切ですが、交通の方も大切だと思います。
27	例えば今井、八木の街並みを、並行して観光する場合、やはり市民日よりだけでなしに、県の広報またポスター等で、ホテルに泊まり、今井、八木の古い伊勢街道等も入れて宣伝しないと、今の広報でのお知らせだけでは人は集まりません（案内人も地元の人で良く勉強されている人もおられるので）。もっと観光を重点的に、若い人も含めてアイデアを出して一考していくべきです。一部の人の観光ではありませんので、檀原も観光として良い材料が揃っているのですから、勿体ないです。
28	景観のための建築基準の整備。
29	檀原市内の観光ルートだけでなくもっとグローバルに、吉野、明日香村、桜井、その他の多くの観光を点と線で結びつけ、総合的に判断し、他の市町村と連携して考える。 中心になるのが八木（檀原市）が基点になる。 奈良市とも連携して、奈良市内の観光客をこちらへ誘導することが、観光客を増やすことに繋がる。
30	②のアイデアの続き。駅構内にSLを置き、休憩所、車両休憩所をつくる、もしくは道の駅に名物をつくる。ハニワ饅頭と抹茶ドリンク。小房町のさなぶり餅の売り出し。人力車（官公庁で運用）などを置き、外国人を乗せここから今井町に向かわす。
31	観光地スポットのピックアップ→観光ルートの作成→告知及びルートの体験試験→人気度に併せて整備を行う。観光スポットだけでは人は来ない。知ってもらうための告知システムや中国有名人の観光大使任命などで旅行社や在日中国人、韓国人へのアピールで訪問客を誘致する。
32	飛鳥川の土堤を遊歩道に整備し、危険でない電灯を付けて安全に歩けるような遊歩道を確保する。
33	自転車でも回れるコースもあっても良いと思います。
34	今まで通りで良いと思います。
35	回遊性の為にはもう少し歩道や自転車道を整備しないと危険。魅力的なカフェやお店も欲しい。市民自身が他の地区の良さを知らないと思う（私だけかも知れないが）。市民の回遊性を上げるために、歩けばポイントがたまるような、ちょっと嬉しいシステムも欲しい。
36	市民だが藤原宮跡程度しか観光資源を知らない。回遊性向上の前に、観光資源PRをすべきでは。
37	奈良まちに多いカフェなどの充実（奈良市はオシャレなカフェが多い。明日香もカフェがあって行ってみたいと感じる）。檀原市八木周辺はビルのカフェで観光性は薄いと感じる。だんご庄など人気店があるのだから、もっと市として推し進めて行くべき。
38	明日香村と連携イベント開催。檀原のイベントは大体土日で終了する。その時はその場所に多くの人が集まってくるが、2日間のイベントが終了すると、あっという間に人がいなくなる。そして又1~2ヶ月後には別の場所で土日限定のイベント。短期終

	了。例えば、秋頃1~2週間文化イベントを持続してやってみると何泊かしてでも榎原にきたい観光客が増える。神宮でB級グルメイベント~今井町で文化交流~八木周辺でPOP音楽ライブ~明日香村でライトアップ周遊イベント←「レンタルサイクリング1週間券」など、ある程度長期に遊べる企画があると色々な所に行こうと思うし、文化祭を兼ねて小・中・高校も参加する機会が増える（学校はイベントに日程的に幅があった方が学校行事の一つとして前年度に計画しやすい）。
39	その土地でしか味わえない、料理や食べ物などがあると、またあの町へ行ってみたいという気持ちが湧いてくると思います。観光スポットなどが、魅力的でもお手洗いが汚れていると幻滅します。ゴミが落ちていることも不快だと思います。お手洗いとゴミの問題は、観光に来られた方のマナーだと思いますが、如何でしょうか。あまり参考にならないかもしれませんが、宜しくお願いいたします。
40	今回の基本構想対象エリアが広いと言うこともあり、歩行者だけでなく、自転車（レンタサイクル）などを、利用する手もあると思います。
41	スマホやタブレット端末などを活用して、街の案内、ポイントラリーやオリエンテーリング等を通じて、街全体を楽しめる様な観光コースの策定。
42	レンタカーの活用（ガイドも兼ねて）。
43	観光地のアピール不足だと思います。昔から榎原市に住んでいますが八木町については余り知られていませんでした。八木町を活用したイベント等を開催する等、外へ向けて発信する必要があると思います。
44	レンタルサイクリングネットワークの構築。駅前で借りてネットワークターミナルで乗り捨て可能な方式。民泊施設と駅の間足として利用する事もできると便利。
45	観光振興のためには、この地でしか味わえないもの、全国で唯一のものを何か良いアイデアを考える必要があると思いますが、現時点では・・・。メディアに取り上げて貰えるような案があれば・・・とは思いますが。
46	八木町の横大路を国道165号の抜け道として、よく利用しますが、特に井戸の辺り~R24間は道幅が狭く危なく感じる事がしばしばあります。道路の拡幅等、歩行者の安全確保が必要ではないでしょうか？
47	良いところが沢山あるのに行きにくい、分かりづらい感じがする。それぞれが独立している感じ。トータルで何かテーマもあれば楽しいかも・・・。
48	近鉄八木駅を出ると駐車場の下に市の汚い公衆トイレが有るだけで、これでどうして観光客を呼ぶことができるのか？また今まで行ったトイレに中で一番汚い、二度と行かない!!私は夏、東吉野に鮎釣りに行くが、川に沿って公衆トイレが所々に有るので安心して鮎釣りに行ける。
49	何度でも来なくなる様な観光ルートは美味しい物が必要です。今井町や八木町を伊勢のおかげ横丁の様な町になればと思います。今井町は美しい町ですが、一日中ずっとは過ごせません。もっと空き家を無くし、カフェ、ベーカリー等の店を増やせば、外国人や若者が増えると思います。
50	大和三山という日本的にも有名な地域であるのに、このトライアングル内で、イベントや行事での観光振興に繋がればよい。
51	特になし。
52	先ず駅前南側周辺の交通網の効率を考えた、機能向上するような再整備が必要条件。

53	古い民家が沢山ありますが、太い頑丈な柱ばかりで、民泊施設に利用できたらな～と思います。また昔ながらの国分寺や西福寺等ありますが、住職さんのお話や見学等できますように、できたら良いのです。とにかく八木の町は今若い人達がおられません。良い高校や小学校もあるのに、卒業したら皆都会に出ていくので淋しいです。
54	大和八木周辺だけで、観光客を強力に呼び込む回遊コースの策定には難があります。大和三山を含め市内には多くの史跡や博物館などがあるので、多くの選択できる回遊コースを提示するのが良いと思います。
55	アプリの活用は非常に良かった。市民でもよく利用する。四季を感じるのは非常に意欲が湧く。
56	今井町の辺りの整備、とても暗い雰囲気だし、店の案内が分かりにくい。車で来ても道がせまくて分かりにくい。
57	車イスが通れるように、道幅を確保して欲しい。
58	バスコースを何種類かつくる。八木駅出発～観光～食事～お土産。 季節により〇〇狩りのコース。 休憩場所、道の駅を増やす。
59	道を整備する。
60	今井町周辺を車が通らないようにする。
61	八木駅周辺には、余り飲食店がないように思う。百貨店の中には飲食店はあっても、周辺にもっとあってもいいと思う。美味しかった店もあったけど、余り目立っていません。目立たせて行くべきだと思う。
62	看板やテレビ等を通じて八木周辺の良さを宣伝する。
63	3に関して、橿原市における計画道路がまだ進まないのか？街並みを守る方向と計画道路のような開発の方向と食い違いを感じる。
64	気軽に行ける喫茶店が有ったら嬉しい。
65	これは何をアピールし何が売りで、何を見て欲しく、何を良く思い、また来て貰い、口コミにしてもらえるのか考えないと、お金（私たちの税金）をゴミに変えることになると思います。私は応援する気持ちがあり、書いているので良い方向で参考になさってください。
66	旧藩（高取藩）も領時代の八木町の有り様や、室町後期の豪族支配と、応仁の乱後の地域の状況など、余り知られていないことにスポットを当てるような企画が有れば・・・。
67	大和三山を歩く人が多いので、宿泊して楽しむイベントなど良いと思います。
68	観光案内サイン（看板）の整備・充実にあたっては、視聴覚障害者の事も考えて、検討して頂きたいと思います。
69	観光化と住民の利便性の両立を望む。
70	何度も行くような目玉があれば・・・何もない。
71	現在、どのくらい年間観光客が訪れているのか？何か新聞とかに記載されているのでしょうか？先ずはその人数が知りたいです。又、藤原宮跡ですが、あの広いところは柱が建っているだけで、余り行ってきたいとは思いません。否定的で申し訳ありません。

72	古い家は空き家になっている事は多そうだが、実際、人が住んでいるのかどうか、分からない様な家は沢山ある。どうしてもそんな家は少々ふざげぎみに写ってしまうので、空き家問題を何とかして貰いたい（お店にするなど）。もっともっと活気有る街並みになれば良いと思う。
73	年齢等に応じた観光コース等があれば友人同士でも（少人数でも）、行動しやすいと思います。
74	奈良県は道が悪いので道路整備（歩道）。美化活動（タバコ、犬のフン等）。
75	街の中心部が賑わっても、市の辺境にある街からバスが無かったら中心まで行けませんので、コミュニティバスを辺境まで走らせて欲しいです。例、飯高町から八木駅までとか？
76	回遊の拠点となる、駐車場・駐輪のためのスペースを設けることが大事だと思います。と言うか八木町に観光のポイントとなる様な物がないように思います。今井町の方に集中した方がよいと思います。
77	観光者や外国人観光客を取り入れようとするなら、市民も一緒に楽しめるようなイベント又は子供の観光客が喜べるような催しをする。 飛鳥、藤原の観光コースをつくる。 桜並木をもっと身近に感じられるように、駅周辺など整備する。
78	観光客とのトラブルを無くすために取組番号1に力を入れて欲しいです。
79	当市内の観光資源を最大限有効活用し、多くの方々が橿原に来て良かったと、感じて貰えることが大切です。 既存する歴史的な遺産に絞って集中取組、「3」は意義があります。 中心市街地活性化法がありましても、地方都市は難しいようで大変なようで。来訪者達などが快適に見て歩くことが出来、又駐車場施設、大事だと思います。東京一極集中の現在、その上少子高齢化を考えますと、地方都市の観光振興は、将来的に先細り感が致します。
80	観光客の宿泊施設が少ない様に思う。
81	飛鳥川の桜や今井町、橿原神宮はやり方次第でもっと良くなると思う。お金を使いたくなるようなプランを！
82	観光案内をもっとアピールできたら良いと思う。
83	橿原中学校から今井町までの川沿い、桜凄くキレイです。川側に歩道、サイクリング道があれば、散歩やウォーキング、ランニング、サイクリング、人が集まると思います。確かに、所々歩けたり、サイクリングコースはありますが、舗装されていなかったり、真っ直ぐでなかったり、車で危なかったりしています。ゆったり歩ける道が橿原神宮まで繋がれば嬉しいです。吉野の玄関口として、桜を沢山植えていったらどうでしょう。町開発のプロを雇ったらどうでしょうか。
84	観光振興のための大きなビジョン、具体的なイメージがない。ブランディングについて、しっかりしたものを形取って欲しい。ならまちのように、町歩きを楽しめるよう伝統と小さくても新しい感覚のお店に来てもらえるようにする。
85	イベント重視より中長期間な経済性を重点施策とすべき。
86	ネス湖のネッシーならぬ「カッシーを探せ」。橿原神宮の池とか・・・。 八木駅の北側の公園にステージを造って若いアーティストを呼ぶ→有名な人を輩出する（目指せ、ゆず、コブクロ）。

	かしはら万葉ホールの受付のお姉さんが、ホールで一日に2回しかないイベントを一つしか覚えていませんでした。とても感じ悪く、悪びれた様子もありませんでした。市民として、非常に恥ずかしく思いました。その人達は市の職員ではなくアルバイトですか？
87	大きい道の信号のつながりが悪かったり、おかしかったりすることが多い。結果、裏道、細道に逃げてくる車が増えて、凄いスピードで走るため歩行者が危険なことが多い。その場所の整備も大事だが、それ以外の所の整備により解決することもあるように思う。
88	八木駅周辺の充実。
89	オリエンテーリングして、全部回ったら記念品をもえるとか、記念品は「ハニワ」で!!ご朱印状みたいな感じのを、パスポート的にそれを観光ガイド本にして添付する。
90	常に感じていることですが、あちこち観光に行きますがどこでももっとキレイにしています。橿原市全体がもっと美化しないと汚いです。道路に草が生えているし、色んなものが捨ててあるし、こんなんではとても世界遺産に、なんて程遠いと思います。年に何回か健康な高齢者(希望者)にボランティアで、街や村を少しでも美しくするようにしたらどうですか？遊行に行ったときに、箒やクワを持って掃除している人を見ました。余り暑いときや寒いときは止めて、季節の良いときにすると良いと思います。 飛鳥川も水道局より下流は土をあげられましたが、まだ全体にダメだと思う。他県から来た人が幻滅していると思います。
91	スタートラインの大和八木駅からの美観が乏しいと思う。ロータリー等が出来ているが統一感がないでしょう。
92	一般市民、県民の交通のマナーの向上(観光地)。外国人観光客に馴染みが少ないので、対応が出来るように市民にアピールが必要。
93	みやげもの屋やカフェ、ゆっくり出来るところを造って下さい。
94	近郊の市町村と連携があっても？ 高取町、1ヶ月に渡り行われる春のひな祭り、秋の案山子祭りは人気が高い。 明日香村、高松塚古墳、キトラ古墳、以前として人気が高い。稲淵で行われるかかし祭り、彼岸花の頃は観光バスも来て、多くの人で賑わっている。 甘樫の丘。
95	②にあげられている様な場所から場所への移動が大変です。他の観光地へ行ったときに市内循環バスが15分毎に走っていて、2300円で乗り降り自由でした。市民も勿論同額で乗れて居られました。遠くから知人が来て、車が無くても案内しやすいと思います。道を造っても後の整備が行き届いていなくて、枯れた長い草が生えっぱなしの所など、自転車で通りづらいです。後々まで考えて下さるようお願いいたします。
96	整備されている道も沢山ありますが、一部危険なところ(途中まで歩道があるのに一部途切れている)もあり、完成度が低いと思われる部分もあるので、連続して、安定感のある歩道(道路)を造って欲しい。お店のクーポン〇と〇と〇と回ると、このお店は〇%引きなど、あれば良いのではないのでしょうか？
97	観光のことを検討するのも大事だが、橿原市民へ他の形でなにかして欲しい。

98	今井町の歴史の町が有名ですが、他の地域比べて特別こころしいお土産屋や、食べ物などが少ないです。街並み以外に他に紹介しやすい環境づくりをして欲しいです。食べ歩きや見て回れるような店のマップづくりをしてはどうかと思います。小さい頃の記憶ですが、美味しいカステラ屋さん（カステラ、ラスク）などあったように な・・・今は何処にあるかすら分らないです。
99	ターゲットを考えて一つではなく色んなパターンが必要。高齢者の方が喜ぶ、外国人の方、子供や子連れの方、若い方、ただ歴史的な物に説明文を付けて道を造っても、高齢者の方にしかうけないと思う。ゲーム的な（スタンプラリーやプレゼント付）事があると、子連れにはいいと思う。
100	歴史館の様なものが必要。かつ体験できる施設など。
101	観光客だけをターゲットにするのではなく、檀原市民も歩いてみたくなる、バスに乗って気軽に出掛けたくなる観光地づくりが必要だと思う。千塚も整備されているが、まだまだ観光客へのインパクトがないように思う。今井町ばかりではなく、千塚方面にも足を運びたくなるようなイベントやルートも考えて欲しい。
102	歴史と現在、流行、和、洋が、バランス良く、おしゃれに、配置されていれば、色々な好みの方が集まるのでは？と思う。老若男女、若い子達も、ビジネスマンも、自然と行きたくなるような、と言うより自然と足が向く的な、街の感じを出しつつ、守る物は守るという姿をPRできれば。
103	①の間について、案内板を造る前に、駅前案内所を八木駅（近鉄）と交渉して、仮の案内所を造って3ヶ月間でも肉声による案内所の設置を望む。
104	檀原市に住んでいながら、その歴史、遺産については余り知らなかったもので、機会を頂いて良かったです。そして今回初めて檀原市が観光に力を入れておられることを知りました。何かと飛鳥方面に目が行き、旅行される人が多かったと事と思いますが、檀原も見所が沢山あるのですね。どうぞ、周りを取り込む程の魅力を発信して頂きたいと思います。頑張ってください。
105	¥6000, ¥7000 価格帯ホテルより、¥3000 ¥4000 台の八木町にある古民家ゲストハウスのようなものが、もう少し八木町や今井にも増えないものか。今井町と八木町、五條、宇陀、洞川での合同の何かはできないものか。（ただし一日限定のものでなく、1~2ヶ月や1年かけての長期のもので）県が行うイベントをもっと活用できないか。例えば昨年のムジークフェストならの、数件だけの参加を、もっと参加して貰えるよう、市から促すことはできないか。今井や八木町、商店街だけでなく、おふさや久米寺など寺社関係も。
106	藤原京は周りの山々と、四季の花がきれいで大好きなところ。もっとイベントを増やして沢山の人が知って欲しいと思います。
107	各宿泊施設を基点とした観光ルートの設置。
108	他の観光地（国内、国外）の観光振興の成功例などをもっと勉強し、取組を考えたら如何でしょうか。
109	観光客の為でなく、地元の私たちが日常で散歩したり、軽い運動をする為に安全なルート（車から見ても、不審者からも）を整備して貰いたい。
110	ITの最大有効活用、AR（拡張現実）等の活用が歴史遺産を、視認出来るようにする。多言語対応の充実。明日香村で行っているような「レンタサイクル」等の実施・活用。

111	問5との整合性が分からない。奈良橿原としての歴史的街並み、良いところを残していくべき。景観保存と育成は賛成。是を進めるのなら無理。開発を実施するというのは政策として矛盾あり、どちらを優先にしたいのか理解できない。
112	ここが地元ではないため住んでいても知らない所もあり、もっと気軽に散歩ができればと思うが、これも普段車を利用せずには、生活できない生活を送っているので、Pには困る！電車で来る人ばかりじゃないんですけどー。と思う P代を払うくらいなら美味しいもの食べたいし。
113	道路の再整備、”大八車さえ通れば良い”のイメージが強く、橿原市内に車で入って、偉い目におうたとの感想を聞く。回遊性向上は”車”の利用で大きく左右する物と思う。道路整備に先ずスタートを置き、安心して”橿原”に行ける感を、呼び込むことではないか。
114	観光地へ向かうまでの、交通の便がもっと良くなれば、良いと思います。例えば、バス等の本数を増やす、観光タクシーなど。車道と歩道の区別のないところは、歩きにくく危険なので落ち着いて観光できないと思います。歩道として車道としっかり分けられていれば、観光客の方も安心して回ることが出来ると思います。
115	修学旅行先で、タクシー運転手の人が面白いと、一つ下の後輩に紹介すると聞きました。橿原にもその様な人がいれば良いと思います。
116	周辺通りが狭いせいもあるが、緑が少ない様に感じる。小物樹木でもよいのでベルト状に植え込んだり、工夫をこらせば、なんとか解決するのでは？それに駅前付近にグリーンガーデン等を設ければ、屋間も親子連れや若者で賑わうのでは？
117	医大新駅を医大への利便性と観光振興の発信元となる観光案内、立体駐車場（地下）並に飲食店、貸し自転車屋さんを充実させ、藤原京～明日香へのルートづくりをすることにより、八木から明日香巡りが出来ると周知させる。そのためにもルートづくりに工夫をこらし歩行と自転車の専用道路等で結ぶ。
118	飛鳥川、曾我川、等よくウォーキングに行っています。年末の大水の後、大変汚く（ゴミが流れて来て）美しい川も台なしになっております。美しい川にして頂きたいです。

3.2.3. 交通処理・交通ネットワーク検討

(1) 「交通処理・交通ネットワーク検討」のためのアイデアや意見

上記の1～3の取組内容以外で「交通処理・交通ネットワーク検討」のためのアイデアや、ご意見がございましたらご記入ください。

1	24号線を経由しないで、市道6号線からのアクセス道を造る。又、無料か安価な駐車場を用意する。駅から5～10分歩く距離でも可。池を埋め立てて全部を無料駐車場にするのはどうですか。
2	観光客の移動手段は車か電車か、個人客か団体客か。どのように考えるかによって重点は変わってくる。全ての観光客に満足させられる施策は、財政等からは無理。

	どの層（年齢）、どういう目的を訴えるのか市としての方針が問われる。考えを並べるのではなく、どう考えるかを明確にすべき。そして住民に説明すべきである。
3	八木駅周辺の交差点は早めに改良して欲しいです。初めて来る車は停止線が分からず、困っています。
4	国道 24 号線の歩道と、自転車・自動車の分離。自転車で大和八木駅方面へ走る時、車道を走るのは非常に危ない。「自転車で左側通行で歩道を走行中、前から向かって歩いてきた若者と接触し、自分の自転車が転倒し、全治 2 週間の怪我をした。」私以外でも知り合いで 3 人も怪我をしている。
5	北側駐車場、撤去。
6	今のままでは夕方など混雑が多く、車が中々進みにくいので何かしら対策は必要だと思う。八木駅近くに市役所、ホテル等がオープンするので、またそれ以上（以前より）の混雑が酷くならないかと思っている。
7	地元で慣れもあるのか、中々思いつかない。ただ少しゴチャゴチャして分かりづらいと思います。市の都市計画に期待しています。
8	複合施設から四方各方面に出れる道路整備。
9	左の 2 にたまる車の流れを 1 の方に流すような整備・改良。新庁舎及びホテル利用者等の車による混雑は発生しないようにして頂きたいです。
10	車の駐車はしないで下さい。
11	レンタサイクルの充実。
12	八木駅南側で進めているように、北側も都市計画をハッキリさせることが重要ではないかと思う。
13	基本的に 1 案がベターと考えますが、北側のスペースが駅裏的存在であるとしても狭隘であります。しかも大和八木駅北側の幹線道路は 24 号線のみであります。ただし 1 案が近鉄高架下（地下を含め）等、南側エリアと接続できればベストだと思いますが、実現には相当困難が伴うと推察します。やむを得ず 2 案が現実的だと思います。圧倒的に多いと思われる 24 号線を、単なる通過車と、百貨店及び文館、八木駅等の利用車があり、時差信号をきめ細かく、信号の案内標示の工夫、信号待ちスペースの見直し等、効果的に行えば今より改善可能と考えます。
14	どれだけ道路を整備しても、渋滞緩和が出来ないとダメと思う。
15	1 のアクセス道路整備後、2 のロータリー出入り口閉鎖する。
16	公共交通機関とタイアップ。市内乗り放題、名所巡り切符の発売。
17	取組番号の 2 の交差点はややこしいので改善して欲しい。
18	自転車と歩行者ラインの開発。
19	駐車場が少ないので無料駐車できる所を増やして欲しい。
20	歩道がなかったり段差が酷くある場合、ベビーカーや車イスの方が通りづらい為、観光地を歩行者目線で整えて頂けるといいなと思います。
21	2 に関しては東へ進んでも、右に小さな踏切、道路をはさんで南北に、古くからの家並みがあり、2 より先にこの踏切。付近を注目、考慮していくことが先決問題と思いますが・・・3 に関しては新しい分庁舎には必ず必要だと存じます。
22	南側のエリアには奈良交通のバスの発着場の感じで、他の車種の出入りが乏しく、玄関口の駅前として賑わいが乏しい感じがする。

23	車の停めやすい広い駐車スペースが欲しい。
24	もう少し駐車場のスペースが欲しいです。特に庁舎が沢山止められるスペースが欲しいです。
25	市営八木駅前北駐車場は残して欲しい。
26	街並み保存とは真逆であると思います。主要道路を広く走りやすくすればいい。観光客が裏の道を走らなくてもいいのでしょう。京都のようにグルリと廻れる大きな道に駐車場があれば分かり易い。
27	違う意見・・・日々の生活圏の中で高齢者として困っていること、色々ありますが、1人暮らしで家族もいず、全く生活範囲も限られて暮らして、人に迷惑を掛けめよう、自分の行動に慎重に心がけております。全く以上のアンケートとは関係ないことを書いて済みません。もし一市民の意見を参考にして下さるのなら、日々新沢の「シルクの杜」を一年中利用させて頂いております。市か県か何処へ伝えればいいのか分かりませんが、道路、両側の歩道（見瀬ごせ線？）をいつも歩いて通りますが、夕刻～夜の外灯、明かりが暗く側溝（北側、1m位深く）ガードレールが無く、自転車で中学生（塾、通学帰り）が去年10月に落ちて暗闇の中、声が聞こえ、老人（私）引き上げ急遽家族に連絡したことがありました。こんな事の方が、老人や子供には急ぎます。税金をきめ細かく、役立てて頂きたいのは私1人でしょうか？目の前の事も大事ですが、市民の裏の声をもっと聞いて頂きたいと切に願います（外灯、ガードレール）。
28	渋滞緩和や道路幅の拡幅に取り組んで欲しいと思います。八木駅北口は狭いように感じるので駅の南側と北側の役割を明確化し、交通の円滑化に取り組んで欲しい。
29	道路は広い方がよい。案愛標識も見やすい分かり易い大きな字にして欲しい。八木方面はデパートへ行くか近鉄電車に乗るために寄るだけで、周りに行ってみたくところもあります。まだ明日香や橿原方面の歴史的物産を見る方が観光客を呼ぶことが出来るのではないのでしょうか。
30	橿原文化会館についてお願いします。前からずっと思っていました、前との間隔が狭いです。特に三階になるところ、足（膝）が痛くて座って居られませんでした。ここにちょっとお金を掛けて下さい。今までずっと思っていたことを書かせていただきました。楽しく住みよい橿原市になるようお願いいたします。
31	南北アクセス道路が整備できれば、2の交差点は一箇所だけでよい。駐車場、南北のどちらか進入禁止にする。24号線郵便局前からJR高架より南道路が狭すぎる。
32	京奈和道の降り口、葛本町交差点の事を考えて欲しい。
33	市バスを走らせれば、車は必要なくなる。八木周辺ばかりでなく、市全体を良くして下さい。我々は車がなければ動けません。
34	以前の事を思えば駅前の交通処理は良くなっていると思います。しかし、駅前の特に南側の不法駐車が多いようです。バスターミナルですので、バスの出入りがしやすいようにお願いしたいです。
35	以前に比べ、小槻町～郡山までの高速道路が出来てから渋滞は減り、天理～八木は短時間で移動できるようになっています。信号のない（一方通行で行ける）特別なロータリーを八木駅に造るのは（北側）もう難しいのではないかと存じます。
36	八木駅北側の整備。駐車場の建物の建て替え（古くて暗い）。

37	D、③信号のついている交差点左側に、駐車場の場所や（満空表示）をすれば良い。
38	今井町へのアクセス。八木西口の駅の地上（地下）化。市役所への安全なルートづくり、駐車場の整備。八木西口駅と八木駅の一元化。地下商店街を造る。
39	八木駅前の立体駐車場、建て替えが少し話題になっていますが、そんなに老朽していますか？
40	駅前の駐車場が狭い。少ない。駅までの駅周辺の車の流れが悪い。
41	個別事業A・B・Cで良いと思います。良いお天気に恵まれ楽しい一日をお暮らし下さいませ。
42	賑わい創出の所にも記入したが、駅前の一時駐車スペースを造って欲しい（例：30分無料、後有料）。送迎時や送迎の車が邪魔で困ります。
43	八木駅周辺は送り迎えの車が集中いたしますし、コンビニ前等はバスの待機場所の他、このバスの発着時間帯は送り迎えの車が集中します。これらの解消方法を考慮して欲しい。
44	2、も含めるが兵部町近辺の混雑を緩和するため、現市役所前辺りにも信号の調整等を実施して欲しい。
45	明るい駐車場八木駅、医大周辺の渋滞検討。
46	八木駅前、北駐車場が有ることで北側が暗い印象（撤去や改装・建て替えなど）。北側は道が入り込んでいて運転しにくい。
47	時間帯による歩行者分離式信号機の導入。
48	八木駅南側バスロータリーから、国道24号線へ出るところの交差点、信号変わるのが早すぎる。流れが悪い。北方向がやたら渋滞する。
49	近鉄八木西口駅とJR畝傍駅を統合し、乗換駅としての利便性の向上、奈良医大病院への歩道の整備。大和八木駅バスターミナルの北側と南側を統合し、合理化を図る。マイカーエリアとバス、タクシーエリアの分離など、八木駅と近鉄JR統合駅間の総合的な開発が必要。
50	地下駐車場の建設。地下道の整備。
51	近鉄八木～真菅間には踏切が少なく朝に通勤時等には、長時間踏切待ちすることがしばしばです。R24号以外にも、もう1~2箇所アンダーパスがあればかなり解消されると思います。強いては八木駅周辺の渋滞の緩和に繋がるのではないのでしょうか？ご一考を願います（飛鳥川沿いの土手道、もう少し広げれば、便利なんですけどね）。
52	近鉄百貨店の特売日の渋滞が緩和されることを希望します。不法駐車も増えているようですし・・・。
53	数年後に市営八木駅北駐車場がなくなると聞いており、とても不安に感じている。多くの車や自転車はどこに停める予定なののでしょうか？路線バスの本数等、少なくなるばかり、もっと充実させれば渋滞緩和にも繋がるのでは・・・。
54	近鉄八木駅南側の整備は終了したようだが、同北側広場は、交通アクセスも脆弱であるから、その整備や観光誘致であればバスロータリーや駐車場の整備も必要でしょう。勿論駅前ですので、駐車問題が起こらないようにするべき。また国道24号線の渋滞対策も重要と考える。
55	駐車場が少ないと思う。自転車等の利用の際、専用道のインフラ整備。

56	八木駅北側の駐車場を取り除く。駅前広場を造る。地下駐車場を造る。
57	八木駅周辺に線路を越える道が、24号線しか無く、そこを直さない限り24号線からの八木駅アクセスは良くならない。
58	ロータリー（南口）の駐車場が狭い。
59	八木駅ばかりじゃなくて、その周辺等も交通事故や人身事故もなくなるように、狭い道路等には特に気を付けるように、車が通れる道を決めて頂きたい（今も決まっているのですが）、厳しくしていただきたいと思います（事故等は一瞬ですの）。
60	八木駅周辺に市役所が来ましたが、今でも八木駅周辺は自動車が停滞するのに市役所が来るのは如何なものか？もっと他にも場所があったと思うのですが？
61	1、信号と信号の間隔が狭いので渋滞が起きている場合がある。 2、道幅が狭く接触事故の可能性がある（八木駅南側）。
62	国道24号の渋滞の緩和が出来るように、もっと信号の周期を考えるべき。ヤマトーからナビプラザ前に行く信号も長く、ヤマトーから市役所に行く信号も長い。近鉄側からも市役所側からも駅へのアクセス道が悪い。
63	3について、満になることはあるのか？将来性を見越すには早すぎる。中味の無い物になってはいませんか？歩行者にも優しい整備を！
64	②の交差点では横断歩道があるため車が混むので、歩道分離等にして、自動車がスムーズに進むように改善して欲しい。
65	坊城のオークワから奈良医大に行けるようにして欲しい（もしくは坊城駅）→医大バス
66	より良い街づくり、よろしくお願いします。
67	八木駅前の居酒屋付近の治安の悪さを改善。
68	大和八木～橿原神宮前は、利用する人も多いし、特に今は寒い時期なので、待合室を増やして欲しい。
69	橿原市の計画道路を是非進めて貰いたい。アクセスの良さが橿原市、そして大和八木周辺の良さである。更なる改良を進めるように尽力願う。
70	菖蒲駅から八木駅までも車で裏道の一部通っても20分以上かかってしまうので、もう少し道を広くしたり、走りやすくして欲しい。市役所まで、更に遠くなった。
71	バスと自家用車の渋滞が夜間に多い。 駐車場も入口、出口が分かり易く。 低料金で預けられるように。 担当の方達、大変でしょうがよりよい大和八木駅に変貌させてください。お願いします。
72	観光を考えるのなら八木より別の広い土地に駐車スペースを用意。バスやタクシーを安くする、本数を増やす。個人宅の休憩スペース、民泊も考える。数キロ歩いても良い、楽しいと思ってもらえる店や街づくりをしてみるのはどうですか？どんなに案内してみても渋滞して楽しい気分になるドライバーはいないですから・・・。 歩く、バス、タクシー＝便利で楽しいとなれば、インスタする方も増え只で広告してくれるようなものですよ。勿論電車はありきですよ。この内容を少しでも橿原を大切に思う方に見て頂いて、利用していただければ幸いです。

73	八木駅北側は余り利用しないので、車の混雑の様子は南側の方が分かりますが、南北アクセス道路があれば、24号線にでる必要もなくなる車も多いと思います。
74	できれば近鉄高架下の南北50m位の車線が増えれば、通りが良くなるかも・・・。
75	橿原市は南に手厚く、北には冷たい。十市町は高齢化が進んでいるにもかかわらず、路線バスが廃止され、今後自分も年をとっていくのに、自動車が無くってはならないかと不安だ。免許証を返納しようと思っているが、交通手段がなければそれも叶わない。今まで保育園、下水道、様々なことで南に手厚く北に冷たいと感じている。
76	駅下のガードの所の店をもっと魅力的で、若者がもっとあつまる店を増やす。
77	八木駅の廻り少しややこしいので、分かり易く見やすく、行きやすくして欲しいです。 お年寄りでも（大きい文字）分かり易く。
78	車に乗らないので、車中心のネットワークはよく分かりません・・・が、八木周辺の賑わい創出と言うことのようなのですが、他所からの人の誘致となりますと、駐車場確保も大切なのでは？
79	八木駅北側の駐輪場の存続を強く望む。
80	八木駅南口から24号線に出るまで、必ず2度信号で止められる。こんな不便交通アクセスはありえないと思う。根本的な取組が必要だと思う。地元の人意見に左右されない。町全体を考えた、信号機の活用だけでも、全然変わってくると思う。交通量の少ない交差点なんか思い切って信号機を無くした方が良いのではないのでしょうか。
81	①駅北側の市営Pを建て替えるのは、お金がかかるが、老朽化もあり狭い、案の一つ。Pの南北道路を含めPに。②周辺の道路に路上コインパーキング設置。※図あり
82	駅前に天理駅のような広くて停車・駐車できる場所を造る。雨の日は特に大変。駅前（南北）も渋滞している。
83	近頃、中和幹線とか土日は凄く混んでいます。こう言うのはどうされるのでしょうか？
84	八木駅前のホテルの建設など、税金を無駄に使ってはいけない。市民の負担となる。
85	どうしても駅周辺は渋滞してしまう中で、中々考えて信号のタイミング等は設置してあると思います。ただもっともっと改良の余地があるのなら是非やって欲しいが、工事のために長期間、片側通行になってしまう方が困ります。
86	大和八木駅周辺道路に施設造るのが違っていた。造る前に道路先にすべきである。市民に迷惑がかからないようにするのが一番で観光客は2番である。※説明図あり。
87	もっと24号線の車の流れがスムーズになればいいと思います。
88	各駅から県立医大までの道路の整備。立派な病院が橿原にあるのに、今のままでは台なしだと思います。
89	近鉄北広場の交差点にある市営駐車場を無くしてその跡地を広場にしてバス乗り場や、降車場を沢山用意して欲しい。

90	国道 24 号線の確保。特に近鉄線高架下の南側空き地部分に歩道橋を付ける。新賀町 26 号線の国道 24 号線と耳成山との間の道路拡張を進め、ハイキングコースの整備を行う（特に近鉄デパートへの車の対応を考える）。
91	1、駐車場の明確化。
92	近鉄の終電が早く、難波からバスが出ているが、もう少し安くしたり、もっと八木、大阪間の交通整備を行って、沢山の人に八木に遊びに来て貰う。今回のパンフレットやアンケートが分かりにくく、文字が多い。何に力を入れたいのかが分かりにくい。
93	近鉄百貨店の特定営業日に駐車場入場待ちの車で渋滞が酷いので対策を講じる。出迎え待ちの駐車車両が多いので 30 分程度、無料駐車できる。
94	八木駅周辺の駐車場・駐輪場を増やして、アクセスしやすくするのが大切だと思います。
95	八木駅周辺は狭く、車だととても不便である。駅からタクシーなどお年寄りが（身体が不自由な方も）、便利なようなつくり（整備）にしてあげて欲しい。日本は福祉の整備が遅れている。 JR 畷傍から八木に向かっていく、東駐車場の信号がとにかく混み、時間帯によっては進まないため、八木駅周辺も重要であるが、八木に行くまで（行く周辺）の交通状況のネットワークを考える必要がある。◎交通量が多く抜け道がない。
96	新賀町 26 号線の東西への延長。東側はバイパス（R24）まで、西側は北妙法寺エリアへの接続とすれば 24 号を通らずに、迂回が出来るし駅周辺への車の通行量を緩和できるのでは。
97	ご意見ばかりで恐縮いたします。財政逼迫のおり、観光施策の拡大はもう少し先の問題。 今特大になすべき事から徐々に進んでいって欲しいです。 日常生活にも欠かせない駐輪施設の早期整備（二輪車含む）。 鉄道最寄り駅下車の交通アクセスや観光案内所の分かり易い明るい看板。 市役所周辺地区は、橿原市の”顔”。道路やその街道の街並みに、より来訪者の評価もあがると思います。 市民生活向上の為の向上を、もっともっと協力推進願っています。 カンデオホテルズを利用したあらゆる PR 活動。 IT 関連は、日々進歩、老若男女が十分利用できる観光案内づくりをお願いしたい。 国は平成 29 年末、約 1085 兆円の借金、国民一人あたり約 860 万円の借金とか。
98	葛本町の交差点渋滞～橿原警察署までの辺りが道がやたらと変則的で問題であると認識しています。葛本町の 2 つくらい東の交差点（丁字路、ジョリパやローソンのある）の南北道路がもっと北に延びて、十市町の方まで行けば、かなり緩和すると思うのですが）。
99	高齢の為、あまり外出する機会がありませんが、それでも JR 畷傍駅周辺、近鉄北側交差点周辺では、いつも混雑している様に思います。
100	どんなことにも時間とお金はかかります。余り市の財政を切迫しないよう少しずつ前進していくようにして下さい。
101	国道 24 号線を含んで周辺道を早急に、広くし、その両脇の歩道も広くする。

102	1は確かにアクセスしにくいですが、道が開発され1のエリアは隠れ家的なポジションで良いと思う。カフェや雑貨屋、屋台の出るエリアにしたら楽しそう。
103	駐車場Pのマーク表示を大きくして欲しい。小さいと見落としてしまい、狭い駅前をグルグル回ってしまう。
104	①近鉄百貨店の北側交差点（新賀町）から耳成山へ向かう道路が一方通行なので、回り道をしています。道路を広くできれば、二車線になるので一歩通行にしなくも良いと思う。②ダイソー（100円均一の店）の南側の道路が狭く、車が混み合って危険です。③近鉄百貨店の花屋さんの前の南側から八木駅に向かう交差点で、信号が青になる時間が短くて、車2台くらいしか八木駅又は24号線へ出られません。24号線国道が優先なのはよく分かっていますが、もう少し青信号が長くなって欲しい。
105	24号線は交通量が多いため、片側2車線にする必要がある。追記、イオンモール渋滞緩和のため及び坊城駅から南北の道路を2車線にする必要あり！歩道も整備！事故が起きてからでは遅い！行政の取組が必要！
106	②は車の時はよいが、自転車の時は凄く不便。日常生活でも便利になれば良いと思う。
107	現在の市営八木駅前北駐車場には、周辺には駐車場が少なく必要と思います（公立の駐車所として）。2の変則的な交差点については、初めて来た人などは、ちょっとまごつく箇所です。交通事故が起こっても不思議ではありません。何かもうちょっと明確に分かり易く出来るように、警察の方とも検討していただいてはどうでしょうか？
108	昔に比べ、交通量は減っているように感じるので、新たな道は要らない。近鉄百貨店のセールなどの日は、混雑するがそれは駐車場の立地によるものではないか。近鉄百貨店と交渉して、誘導方法や出入り口の位置について工夫して欲しい。とにかく八木駅前にはゴチャゴチャしている。所々改良しても継ぎ接ぎしているだけで、キレイではない。
109	大和八木駅北側駅前広場については、立体駐車場の重要性大であり、駅南側駐車場で、代用は困難である。
110	興味がない。
111	特に車でアクセスを充実させて欲しい。駅南方面での標識 etc 整備他。
112	時間帯によっては、北側のロータリーが混んで、全く動かないところがあるのと線路沿いの信号が短く思う。
113	5Pに書きました。 パーク＆ライドの推進。 バス交通網の充実。
114	入札をお願いします。ずいけいばかりですよ！この時代にずいけいはやめろ！特に測量業務。工事もずいけいばかり！！
115	今井町に住んで感じたこと。1、空き家が多い、人口（今井）が多くなり、守られた伝統を伝えて行かれるように。2、観光客は多いが、中々ゆっくりして貰える場所が少ないと思う。3、交通アクセスについて、はないらかでバスを降りて今工事を施工されている場所（四の方）でバスに乗られるようにアクセスの問題。より良い街づくりに取り組んで居られることで、橿原市の地域の活性につながることを期待しております。※意味不明な言葉（文章）お許し下さい。

116	24号線の市役所付近クランクを解消すべき!!24号線北方から中和幹線～葛本町經由せずに、醍醐町へ至る道路の整備の方が先かと思う。
117	1の道路整備を行うには、区画整備事業もしくは再開発事業の手法が考えられるが、旧24号線の抜本的な交通渋滞がクリアできない限り、整備効果は無いと思う
118	八木駅改札は一箇所しかない。西出口を整備。 北駐車場廃止、地下に駐輪場整備し、地上は芝生公園に。一切の車両乗り入れ禁止。バス、タクシーは全て南側ロータリーへ。 私は他府県出身者で、10年前から檀原に住んでいるが、緑色の駐車場は異様。と言うか恐い。今は見慣れたが。民間でできる事は、民間に任せる(駐車場)。
119	八木駅前のグリーンの駐車場、景観、壊していると思う。早急に整備して欲しい。反対勢力に負けずに、森下市長に頑張ってもらいたい!!
120	八木駅北の市営駐車場はまだまだ使用できますし、壊さないで欲しい。不便を感じる人も多いです。そこを残してスムーズに車が出入りできるように何とかして欲しい。
121	取組番号1は既に檀原市内を1周片側2車線で走れるようになっていると思うので必要性が・・・。
122	公共の交通機関が少ないと思います。
123	八木駅前北側の立体駐車場は外観は良くないが、利便性はよく、壊さず、タクシー乗降場所を広場(線路よりへ)移動し、混雑する車の流れを踏切側へ通行しやすく、銀行前の夜間送迎車の(一車線ふさがっている状態)駐停車を厳しくして欲しい。近鉄百貨店横、交差点への車の流れをよくして欲しい。
124	八木駅の2Fホームから近鉄百貨店へ繋げるようにする。 バスの範囲を広げて欲しい(八木～醍醐周辺)。高齢者が八木駅周辺へ行くのに不便なので。
125	以前に比べると、渋滞は非常に緩和されています。中和幹線、京奈和道の役割が大きいのと思われまます。今後、一層の迂回を進める。
126	駐車場については市営駐車場を増やして欲しいです。その上で、情報提供でしょうか。民間の駐車場を利用しています。
127	インターネットでリアルタイムで駐車場の空き情報が分かれば、他の市町村を回って檀原市の方へ来る方に便利ではないでしょうか。八木から少し離れたところに住んでいるため、八木駅周辺の様子が把握しきれません。済みません。
128	市営八木駅北側駐車場は必要です。取り壊さないで下さい。
129	駐車場が少ないこと。駐車場の出入り口からの道への流れが悪いことが、八木駅周辺の渋滞へ繋がっていると思う。近鉄百貨店への出入り口や文化会館は、駐車場もない。市営の出入り口は直ぐ信号が詰まる、また出入り口からの道への出にくさ。先ず出入りしやすく、流れを止めない駐車場を確保してから、道や建物を造るべきだと思う。
130	歩道の充実が必要。
131	市庁舎を運動公園に移転する。
132	新庁舎の南側道路のマンホールの段差がないようにできませんか？
133	葛本町交差点と小房交差点の渋滞緩和。

134	<p>リハビリセンター行きのバスを利用しています。八木駅乗り場で優先区域にもかかわらず、車が停車している（しかも無人だったりする事もある）。停車禁止時間を設けて欲しい（リハビリセンター行バス停車時刻）。何のための優先場所なのか？近鉄八木デパートセールの日には24号線が本当に混み合う。あの周辺道路をもっとスムーズになるように整備できないものか？</p> <p>そもそも外灯が少ない。カーブミラーが少ない。飛鳥川沿いのウォーキングロード、外灯が全くないのご存じですか？車を利用する側だけでなく、歩行者にも優しいまちづくりを心から望んでいます。</p>
135	今後の取組に期待します。一言、取組番号をA・B・Cと記入とは？
136	駐車場情報、利用状況はとても必要だと思いますが、走行中に一瞬で確認することは難しいと思います。一時的に確認するための、駐車スペースは必要と思います。
137	取組番号1と2については、優先順位を付けることは出来ません。
138	八木駅南側は整備されたけれど、北側は駐車場も古く、ロータリーは車で混み合っており、ゴチャゴチャしています。駐車場を地下にすることができれば良いのですが・・・。
139	自動車交通量の増加に加え、国道24号線は片道一車線の為、時間帯によっては集中し渋滞になっている。道路状況が交通量に追いついていないと思う。片道二車線化等、根本的に検討する必要があるのではと思います。
140	各取組によって、どのような効果が見込めるのかよく分かりません。
141	いつも渋滞しているイメージがあり、余り近付かないです。もっとスムーズな道づくりをお願いします。
142	八木駅南側の信号のつながりの悪さの改良をお願いします。
143	大和八木駅、八木西口駅周辺の国道24号線の慢性的な渋滞を緩和するため、困難だと思うが、一部区間だけでも国道24号線の片側二車線化の拡幅工事を実施して欲しい。
144	北側市営駐車場は必要なのでしょうか？市営駐車場を見直すことによって、広い場所が確保されてもっと良くなると思う。南のように広くする方が安全である。
145	取組番号1は必要なし。古都奈良としての街並みを維持すべきで、無理に都会の真似事をして、交通取締もできないので、やめるべき。※中和幹線の問題で、渋滞緩和について検討して欲しい。道を広げても結局、その後のことを考えず、事故が増えているが、対処しようとしない。先ずは一つずつ解決させた方がよい。背伸びせず、事業計画も変更すべき。
146	<p>取組2番の赤丸枠の、南北移動の国道24号線以外に、将来的に青丸枠、周辺の南北移動で、現在近鉄八木駅の改札口の出入りを東側だけでなく、西側からも、出来るように道路造り又は整備をすることにより、国道24号線の渋滞緩和や八木駅周辺の繁栄を想像する。イメージとしては京都駅のような。結局、八木周辺が渋滞するのは八木駅周辺に、広く太い道路が南北に国道24号線が1本のみだからでしょうか?!横道をそれると渋滞時を普通25分位かかる時、5分くらいで目的地へ行ける。実際に。</p> <p>一部の地域でしか収益が上がらないが、多大な収益を上げる観光事業は大切かも知れないが、しかし、働く場所が県外やスーパー、介護職、清掃が目立つ。求人は範囲が限られ、やり甲斐のある仕事の選択が出来ず、県外へ働きに行かねばならず、</p>

	<p>時間と交通費が無駄になる。そういった住民の方が多い。そのためには企業誘致もしっかりして欲しい。</p> <p>各駅の周辺にも力を入れ、商業化、住宅化等をしっかり進め橿原市を奈良県内で、歴史から見ても大きな関西のハブに出来ると思う。今井町周辺の道路整備は明らかに過剰な部分（場所）がある。税金の無駄使い。まずは駅と周辺を繋ぐ広い道路の整備。おかしいと思うかも知れませんが、移動しやすい魅力ある便利な市になれば、しかもハブ、市外から移動者が増えると思う。遺跡発掘を推し進め、厄介者扱いせず、道路や土地の確保に努める。私自身、人の生活と遺跡を天秤にかけると、人の生活の方が大切だと思っていますけど、遺跡を大切に過ぎ、過疎化を進めて本末転倒と思っています。かえって近鉄やJRやバスの利用者も増え、利用しやすくなる。利用する住民が増えないとダメ。交通量が増えれば発展する!!※地図にて説明記載あり・・・要らないと思う。別の場所に移動が出来ないだろうか？又は高架に出来ないだろうか？住宅等が詰まっている方なのに、東西が簡単に移動ができず、かなり回り込まなければならない。赤い道がそこそこの広さの直線道路なのに勿体ない。</p>
147	<p>駅前北Pは絶対に必要。南Pなんて使わない！駅に用があるのに雨の日とか、なんで南Pに止めて傘さして行かんなんのか。確かに道も混むけど、何とかして北Pに止めようと思う。</p> <p>関係有りませんが、この用紙もお願いの用紙も、こんなにきれいな紙で、それもカラーで印刷する必要がありますか？見やすくして下さるのは分かりますが、結構な経費やと思います。せめて紙質もう少し落としてもいいんじゃないですか。勿体ない!!!</p>
148	<p>駅前の有料駐車場の再点検。収益面（収入面）では、多大な貢献はあるが、駅前の異様な緑の建物は観光地にはなじまない。早急に撤去して再開発。駅の南北ともロータリーで車のスムーズな運行を図り、地下に200台くらいの駐車場を造り、八木駅から飛鳥へ今井へ、駅周辺の散策等導線が活用される。</p>
149	<p>八木駅北側駐車場の撤去案があるようだが、再考が必要では。</p>
150	<p>① 市営八木駅前駐車場を地下にかえ、駅前の道路を拡張し、広場を造り、景観を良くする（建物を考慮に）。②近鉄百貨店からR24を、左折する際、直ぐに信号が赤のため進めないで、直ぐの信号の青の時間を変える。③駐車場を増やす。特に観光地周辺（観光客を増やす為）。そして利用状況等の情報提供をする。</p>
151	<p>大和八木駅の南と北を繋ぐ自動車が通れる道が、国道24号線のみなので、大変混雑するため不便です。また、大和八木駅南側ロータリーから国道24号線へ出る際（柳町交差点）、信号が短いため車が数台しか24号線に出れず、混雑します。改善のご検討よろしく申し上げます。</p>
152	<p>車を駅前ロータリー内に駐車（30分以内無料）にして、商店街で買物が出来るようにする。</p>
153	<p>小綱町から旧長谷街道（ヤマト一北側道路）の道幅が狭く、歩行者や自転車の通行するところがない。八木西口北側の踏切も車が交差する時、歩行者が危険で、何度も近くで事故が起きている。24号線が混んでいると、身動きが取れなくなる。生活道路がこのような状態では、観光のために人を呼ぶどころの話ではない。もっと市民の生活を考えて、道路整備をすべきである。八木駅南口のロータリーができて</p>

	からこの様な状態になってしまった。部分部分で考えるのではなく、全体で見て欲しい。
154	駐車場を増やすこと。いくら人を呼んでも、車で来る人の為に駐車場がないとダメ。またバスの活用を考えること。
155	便利になっている風に見えて、住民にとって不便になっているような気がする。キレイに整備され、見かけは良いが、住んでいる人が市役所や駅に用事に行きやすい様、市民用のパーキングスペースをきちんと造って欲しい。何でもお金を取るのは反対。住み難い・・・。
156	大和八木駅北広場交差点辺りの、歩行者用信号の点灯時間がとても短いように思うので、そこも改善されたら嬉しいです。
157	大和八木駅北側広場の拡張が重要。1、現在有する駐車場の解体。2、左回車線までの拡張。3、駐車場は地下に造る。
158	八木駅北口駐車場は檀原市の顔です。駐車場は外の場所に移動し、ビルを建て、地元、県外から利用できる町にして欲しい。子供から大人まで楽しく利用できるビルにして欲しい。
159	1、当面は、ミグランスを中心としながら、ナビプラザと一体化を図りながら、市民にとって観光への役立つスタートになるようにみんなで努力する必要がある。2、中長期的には既に述べたようにプロジェクトを中心に集めていくべきと思う。3、駅前の周辺政策に対する市議会の議論は、本当に前向きの議論なのか、もっと市、市民の立場に立って、5年10年更に将来に向けて、中南和の中心として夢のあるビジョンに向けて、議論を期待しています。
160	車に乗れないので、余り不自由には思っていない。町が美しくなるのは嬉しいです。
161	問7、交通ネットワーク検討。 八木駅に車イスのまま乗れるタクシーがない。夜間、休日に車イスの人は病院へ行けない。車イスで八木駅に来た観光客は、八木駅から何処へも行けない。近鉄タクシーに福祉タクシー車両を購入するように、檀原市から働きかけて頂きたいです。トヨタ、日産から乗り込みスロープ付タクシーが、新発売されました。東京オリンピックに向けて、東京は4台に1台はこのスロープ付タクシーが導入されます。檀原市には車イスのまま乗り込める福祉タクシーサービスが、平日夕方4時以降、夜、休日にはないです。よって、夜や休日に急病で病院へ行くことが出来ません。タクシーでいける位の症状でも救急車しか手段がなくて、ご近所の方も集まったり、救急車とご近所の方に迷惑をかけています。介護タクシーが沢山あると思われるのですが、介護タクシーは平日だけです。早朝から働いているので、夕方4時以降は断られます。一般タクシー会社で、福祉車両を持っているのは檀原タクシーと栄タクシーだけで、夕方4～5時以降は頼んでも断られます。車両の数も少なく、病院へ行く高齢者だけで、予約が埋まります。八木駅に来た、車イスに乗る高齢者を家族に持つ観光客や障害者が、利用できるタクシーはないです。車イスの人は八木駅から何処にも行けません。近鉄タクシーに新発売の一般用、福祉用の両方に使えるタクシー車両を購入して、福祉タクシーサービスを24時間いつでも利用できるように、檀原市から働きかけていただきたいです。 問7、交通ネットワーク検討

八木駅発着の耳成循環バスは、車イスの人が乗れません。車イスの身体障害者も市役所に行かねばならないように。奈良県総合庁舎へ行くことがありますが、バスがバリアフリーではないので利用できません。橿原市から奈良交通へ「耳成循環バスを車イスが乗れるスロープ付のバス車両で運行して欲しい」と働きかけていただきました。奈良交通は今月から来月（3月4月）にバスを購入するそうですので、至急、働きかけていただきたいです。現在のバスは、出入り口に階段があるので、手押し車、鞆を持った高齢者の方や、ベビーカー（しかも2台連結タイプもあるので）を押している母親も、利用し難いバスだと思います。

問7-2 八木駅北交差点改良

八木駅と文化会館を繋ぐ、地下道にエレベーターを造って欲しい。車イスの障害者、高齢者、ベビーカーの母親のために。車イスの人が八木駅まで鉄道で来ても、奈良県立文化会館や近鉄百貨店に行くことが出来ません。スロープ形式の地下道がありますが、実際にやってみると分かりますが、車イスであのスロープを降りることは出来ません。止まらないので恐ろしいです。人に衝突します。登ることは不可能です。想像を絶する腕力が要ります。車イスではゆっくり登ることは出来ません。車イスにはブレーキがありません。手で車輪を摘んでブレーキをかけますが、下り坂は猛烈な腕力が要ります。タイヤの回転で、手を火傷、皮膚を削られます。つまりあのスロープはバリアフリーでは有りません。車イスの障害者や高齢者やベビーカーの母親のために、是非エレベーターを作っていただきたいです。

3.3. まとめ

本アンケートは、大和八木駅周辺地区基本計画の策定にあたり、市民意識調査を行うために実施した。対象者は住民基本台帳から無作為に2,000名を抽出し、郵送による送付・回収によって調査を行った。自由記述が多い内容にもかかわらず、28.8%の回収率となり、大和八木駅まちづくり基本計画策定に対して市民の関心が高いことがうかがえた。

回答者の属性は、男女比は男性43.6%、女性55.2%であった。

アンケート調査票は、基本構想に掲げた4つのテーマのうち、現在建替えに向けて別途基本計画を策定中の現庁舎を除いた「賑わい創出」、「回遊性向上による観光振興」、「交通処理・交通ネットワーク」について、基本計画に掲載する取組内容の優先順位を回答いただく内容とした。また、取組内容に対する意見・アイデアを自由記述で記載いただいた。

その結果、「賑わい創出」、「回遊性向上による観光振興」、「交通処理・交通ネットワーク検討」の3つのテーマにおける全ての取組内容について、1位～3位のいずれかを回答いただいた方の割合が90%を超え、基本計画に記載する取組内容として市民の概ねの合意を得られる結果であった。

「賑わい創出」については、「民間事業者や市民団体による賑わい創出」を1位に選んだ方が最も多かった。自由意見では、マルシェ、食べ歩き等の食のイベント実施を提案する意見が多くあった。また、外国人観光客に対して、市民のボランティアガイドを育成するための英会話教室の開催等、外国人観光客に対する積極的な意見があった。

「回遊性向上による観光振興」については、「大和八木駅から今井町、八木町、JR 畷傍駅、飛鳥川、藤原宮跡等を歩いてみたくなる観光ルートの整備」を1位に選んだ方が最も多かった。自由意見では、歩きやすい歩道の整備をはじめ、スマートフォンを活用した観光案内の充実に関する意見が多くあった。

「交通処理・交通ネットワークの検討」に対しては、「交差点改良（近鉄八木駅北広場交差点）」を1位に選んだ方が最も多かった。自由意見では、歩行者の安全性に関する意見が多くあった。また、「大和八木駅への南北アクセス道路整備」は、地区別にみると、大和八木駅以北にお住まいの方が、優先度が高い傾向があった。

自由意見について多様なアイデアや意見をいただいております。すべての自由意見を基本計画策定時の参考資料として公表することで、今後基本計画に基づき個別事業を実施する際に活用する方針とする。

檀原市
大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画
(案)
パブリックコメント実施結果

目次

1. パブリックコメント実施要領 P1～P2
2. パブリックコメント意見記入用紙 P3～P4
3. パブリックコメント実施結果概要 P5～P8
4. パブリックコメント意見内容と回答 P9～P33

1. パブリックコメント実施要領

大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（案） に対するご意見をお寄せください

橿原市では、これまで奈良県とまちづくりに関する包括協定を締結し、県と市が連携・協力してまちづくりに取り組むことで、大和八木駅周辺地区の持続的発展および活性化を図ることを目的として大和八木駅周辺地区まちづくり基本構想を策定しました。

今般、基本構想に示されているコンセプトとまちづくりの将来ビジョンを具体化し実現するために、住民参加型ワークショップや市民アンケートの結果をもとに市が考える方向性を示すものとして「大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（案）」をとりまとめましたので、皆さまのご意見（パブリックコメント）を募集します。

■公表する資料

- ・大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（案）
⇒皆さまのご意見を募集します
- ・大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料（参考資料）
- ・大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（参考資料）

■意見の募集期間

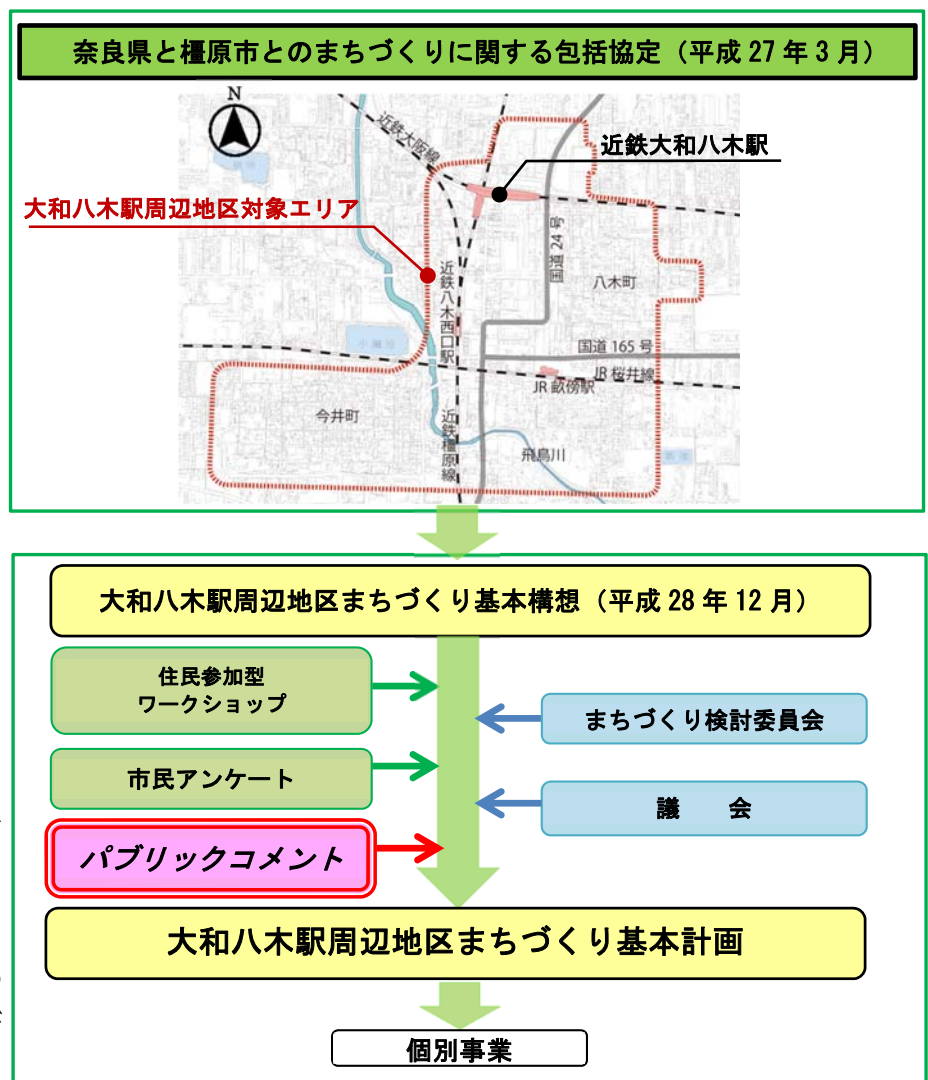
平成30年7月2日（月）から
平成30年8月1日（水）まで

■意見を提出できる方

- ・市内に在住、在勤、在学する方
- ・市内に事務所または事業所を有する個人及び法人その他の団体
- ・市税の納税義務者
- ・パブリックコメント手続きに係る事案に利害関係を有する個人及び法人その他の団体

■閲覧場所

本庁舎本館 1階行政資料閲覧コーナー（土曜・日曜・祝日を除く）・分庁舎 1階ロビー
かしはらナビプラザ 1階受付・4階市民相談広場・5階市民活動交流広場
かしはら万葉ホール 1階ロビー・保健福祉センター北館 1階ロビー
地区公民館・シルクの杜・市ホームページ



基本計画策定の流れイメージ図

■閲覧場所

本庁舎本館 1階行政資料閲覧コーナー（土曜・日曜・祝日を除く）・分庁舎 1階ロビー
かしはらナビプラザ 1階受付・4階市民相談広場・5階市民活動交流広場
かしはら万葉ホール 1階ロビー・保健福祉センター北館 1階ロビー
地区公民館・シルクの杜・市ホームページ

■意見提出方法

電話や口頭でのご意見は受け付けません。閲覧場所に設置、またはホームページに添付の意見用紙、または任意様式により下記方法にて提出してください。なお、提出された書類等は返却いたしません。

- ① 直接持参 檀原市役所総合政策部八木駅周辺整備課（本庁舎本館2階）
※土曜・日曜・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで
- ② 郵送 〒634-8586 檀原市八木町1丁目1番18号
檀原市役所総合政策部八木駅周辺整備課宛
- ③ ファクシミリ FAX 番号 0744-20-1528
- ④ 電子メール メールアドレス yagiseibi@city.kashihara.nara.jp
※郵送の場合は8月2日到着分まで受付

⑤ 市HP

【URL】 <http://www.city.kashihara.nara.jp/yagiseibi/ys116/yagi-public-comment.html>
↓ホームページ内に直接意見を入力できるフォームも特設しております。

【URL】 <http://www.city.kashihara.nara.jp/yagiseibi/ys116/yagi-public-comment-iken.html>

■意見内容

- ・氏名、郵便番号、住所とご意見を記載してください。
※企業または団体の場合は、所属名（企業名または団体名）、住所、部署名及び担当者名を記載してください。
- ※市内に在勤または在学の場合は、所属名（企業名または学校名）と個人の氏名を併記してください。住所についても、所属先住所と個人の住所を併記してください。
- ・ご意見が「大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（案）」のどの部分に対するご意見かわかるように、該当する箇所の表題、ページ、行数などを記載してください。

■注意事項

- ・意見記録の正確さを期すため、電話や口頭によるご意見は受け付けません。
- ・提出されたご意見については、市の考え方を付して、市ホームページ上で公表します。
- ・意見への個別回答はいたしません。
- ・ご意見の募集は、具体的なご意見などを収集することを目的としておりますので、賛否の結論だけを示したものや趣旨が不明瞭なものについては、檀原市の考え方を示さない場合があります。
- ・類似のご意見は、整理集約することがあります。
- ・個人的なご意見への回答はいたしません。
- ・提出されたご意見以外（住所・氏名など）は公表しません。
- ・提出された用紙に記載された個人情報、パブリックコメント手続き以外の目的に使用しません。

お問合せ

檀原市総合政策部八木駅周辺整備課

檀原市八木町 1-1-18

担当者 楠原・辻本・坊南

電話番号 0744-21-1107（直通）

FAX 0744-20-1528

2. パブリックコメント意見記入用紙

大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（案）に対する パブリックコメント記入用紙

<p>氏 名</p> <p>※1 企業または団体の場合は、所属名(企業名または団体名)、部署名、担当者名を記載してください</p> <p>※2 市内に在勤または在学の場合は、所属名(企業名またはは学校名)と個人の氏名を併記してください</p>	
<p>郵便番号及び住所</p> <p>※1 企業または団体の場合は、所属先の住所を記載してください</p> <p>※2 市内に在勤または在学の場合は、所属先住所と個人の住所を併記してください</p>	〒 ー
<p>大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（案）に対する意見</p> <p>※どの部分に係るご意見か分かるように、該当する箇所の表題、ページ、行数などを記載してください</p>	
<div style="border: 1px solid black; height: 450px;"></div>	

3. パブリックコメント実施結果概要

榎原市

大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（案）

パブリックコメント実施結果概要

1. 実施概要

(1) 目的

橿原市では、これまで奈良県とまちづくりに関する包括協定を締結し、県と市が連携・協力してまちづくりに取り組むことで、大和八木駅周辺地区の持続的発展および活性化を図ることを目的として大和八木駅周辺地区まちづくり基本構想を策定しました。

今般、基本構想に示されているコンセプトとまちづくりの将来ビジョンを具体化し実現するために、住民参加型ワークショップや市民アンケートの結果をもとに市が考える方向性を示すものとして「大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（案）」をとりまとめましたので、パブリックコメントを募集しました。

(2) 公表した資料

- ・大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（案）
→パブリックコメントの対象
- ・大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料（参考資料）
- ・大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（参考資料）

(3) 意見を提出できる方

- ・市内に在住、在勤、在学する方
- ・市内に事務所または事業所を有する個人及び法人その他の団体
- ・市税の納税義務者
- ・パブリックコメント手続きに係る事案に利害関係を有する個人及び法人その他の団体

(4) 閲覧場所

- ・本庁舎本館1階行政資料閲覧コーナー（土曜・日曜・祝日を除く）
- ・分庁舎1階ロビー
- ・かしはらナビプラザ1階受付・4階市民相談広場・5階市民活動交流広場
- ・かしはら万葉ホール1階ロビー
- ・保健福祉センター北館1階ロビー
- ・地区公民館
- ・シルクの杜
- ・市ホームページ

(5) 実施時期

平成30年7月2日(月)～平成30年8月1日(水)まで

(6) 意見募集方法

直接持参、郵送、ファクシミリ、電子メール、ホームページ意見フォーム

2. 結果概要

2.1. 意見数

- ・提出件数（人）：20 件
- ・提出手段内訳：持参 7 件、郵送 2 件、電子メール 3 件、FAX 5 件、ホームページ意見フォーム 3 件
- ・意見総数：142 件

■ 参考

意見募集期間中の市の施設・地区公民館における意見用紙の受取り総数：129 件

2.2. 意見内訳

意見の内訳として、いただいた意見の内容を基に分類した結果は、次のとおりです。

表1 パブリックコメントにおける意見の分類結果

項目	件数
パブリックコメントの対象となる意見	
a 基本計画の考え方についての意見	44
b エリア別の取り組み方針についての意見	63
c 基本計画に関するその他の意見	13
小計	120
パブリックコメントの対象外の意見	
d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	21
e 基本計画に直接関係しない意見	1
小計	22
計	142

b エリア別の取り組み方針についての意見を、対象エリア別に分類した結果は次のとおりです。1 つの意見の中で複数のエリアに関わる意見については、エリアを重複して件数を算定しています。

表2 b エリア別の取り組み方針についての意見の分類結果

エリア名	件数
b-1 大和八木駅北側	21
b-2 大和八木駅南側	18
b-3 今井町	0
b-4 八木町・畝傍駅	12
b-5 現庁舎	8
b-6 飛鳥川	3
b-7 地区全体	6
計	68

2.3. 回答内訳

回答の内訳として、内容別に分類した結果は、次のとおりです。

表3 回答の内容別分類結果

回答内容	件数
パブリックコメントの対象となる意見	
ご意見の趣旨を計画に反映します。	5
ご質問に回答します。	26
今後の取り組みの参考とします。	74
ご要望として承ります。	15
小計	120
パブリックコメントの対象外の意見	
ご意見の趣旨を計画に反映します。	—
ご質問に回答します。	2
今後の取り組みの参考とします。	—
ご要望として承ります。	20
小計	22
計	142

橿原市

大和八木駅周辺地区まちづくり基本計画（案）

パブリックコメント意見内容と回答

1. 表の見方

記載内容は、以下の項目を設けて整理しています。

項目	説明
No	意見総数 142 件の通し番号
対象項目	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>いただいた意見について、基本計画（案）に対するパブリックコメントの対象となる意見を a~c（b については更にエリアごとに区分）、パブリックコメントの対象外の意見を d~e として分類しています。</p> </div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">分類項目</p> <p style="margin: 0;">パブリックコメントの対象となる意見</p> <p style="margin: 0; background-color: red; color: white;">a 基本計画の考え方についての意見</p> <p style="margin: 0;">b エリア別の取組み方針についての意見</p> <p style="margin: 0; background-color: yellow;">b-1 大和八木駅北側</p> <p style="margin: 0; background-color: lightgreen;">b-2 大和八木駅南側</p> <p style="margin: 0;">b-3 今井町</p> <p style="margin: 0; background-color: green;">b-4 八木町・欽傍駅</p> <p style="margin: 0; background-color: cyan;">b-5 現庁舎</p> <p style="margin: 0; background-color: blue;">b-6 飛鳥川</p> <p style="margin: 0; background-color: darkblue;">b-7 地区全体</p> <p style="margin: 0; background-color: purple;">c 基本計画に関するその他の意見</p> <p style="margin: 0;">パブリックコメントの対象外の意見</p> <p style="margin: 0; background-color: grey;">d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見</p> <p style="margin: 0; background-color: lightgrey;">e 基本計画に直接関係しない意見</p> </div> </div>
No 回答者	提出件数（人）20 件の通し番号
該当箇所	パブリックコメント実施時に公表した資料における意見の該当箇所
意見内容	パブリックコメントにおける意見の内容
基本計画に反映	基本計画に反映させた意見の該当箇所
回答	意見に対する、本市の回答
個別事業	「今後の取組みの参考とします。」と回答したもののうち、本計画策定後の個別事業段階で参考とするもの
市政全体	「今後の取組みの参考とします。」と回答したもののうち、今後の市政全般において参考とするもの

2. 意見内容と回答の一覧

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
1	b-1 大和八木駅北側	1	p6 A-4	近鉄大和八木駅北側の再整備 榎原市は県でも中核都市でありながら、車がないと生活しにくいのが現状である。大都市の多くは駅を中心に街づくりが行われ、車を所有しなくても、すべての世代が豊かに暮らせる街となっている。駅直結のショッピングモールや娯楽施設、病院などすべての世代が利用できる施設を作り、市民が快適に暮らせる街づくりを望む。今後、榎原市がより発展をしていくためには、若年層の定住が必要不可欠で、子育て世代が車を所有しなくても快適に暮らせる街にしていくためには駅を中心にした街づくりを行う必要があると考える。老朽化した北側駐車場に若年層、子育て世代をターゲットにした施設を誘致し、駐車場は地下や周辺を活用する。		今後の取組みの参考とします。 大和八木駅北側エリアについては、駅前空間の有効活用や自動車交通の確保、歩行者動線の改善により周辺地域から駅へのアクセス性の向上を図り、駅前商業・住居エリアの防災性の確保及び生活利便施設の設置など、生活の質の向上を目指していきたいエリアと考えています。また、検討の際には、社会情勢や交通流動の変化などに留意するとともに、市民・来訪者の利便性を向上させていきたいと考えています。	○	
2	c 基本計画に関するその他の意見	2		近鉄・近鉄デパート、榎原文化会館との協力コラボを考える		今後の取組みの参考とします。 近鉄百貨店では、榎原市の姉妹都市であります宮崎市と榎原市の物産と観光展の開催や、榎原文化会館では、成人式や連合奈良ピースフェスティバルなど開催をしていますが、今後も新たな賑わいづくりイベント開催を、官民の連携により実施していきたいと考えています。	○	○
3	c 基本計画に関するその他の意見	2		万葉ホール・中央公民館・図書館との繋がりはあるか？		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の通り、万葉ホール・中央公民館・図書館を含めた大和八木駅周辺地区外との繋がりも非常に重要となります。地区外との繋がりを念頭においたうえで、効率的に事業を推進できるような取組みたいと考えています。		○
4	b-4 八木町・畷傍駅	2	p7 B-2	JR 畷傍駅は JR 西日本の方針により駅舎のコンパクト化合理化整理を近い将来行うであろう。その証拠として番久山駅は既に工事に入っており、年内に完了する(トイレもない駅となる)予定。 JR 西日本は地元は一切説明なしに工事に着手した。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘のとおり、JR番久山駅については現在駅舎のコンパクト化工事を鉄道事業者により施工されています。JR畷傍駅につきましても、今後事業者の方針として駅舎のコンパクト化の可能性もあると考えられますが、市としては鉄道事業者等と協議・調整のうえ、畷傍駅・駅前広場のあり方を検討していきたいと考えています。	○	

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
5	c 基本計画に関するその他の意見	2		基本計画にはどのくらいの資金が必要なのか？見直し又は原資の見込みはあるのか？		ご質問に回答します。 本計画にて事業内容を明記していますが、個別の事業については今後の検討結果を基に具体的な事業を決定するものも含まれているため、全体事業費について、現時点では確定できていません。 個別事業の実施に当たっては、今後の財政見直し等を十分検証のうえ、社会資本整備総合交付金などの国からの交付金・補助金を活用し、進めてまいります。また、平成27年3月に締結された奈良県とのまちづくりに関する包括協定に則りハード整備やソフト事業に対して県からの補助金を充当することにより市の限られた財政の中で、極力負担を少なく事業を展開していきたいと考えています。		
6	c 基本計画に関するその他の意見	2		若い人達、高校生の意見を聞くことは重要であると思う。		今後の取組みの参考とします。 基本計画策定後の個別事業段階においては、市・市民・民間事業者・市民活動団体等の積極的な参加・参画が不可欠であると考えています。ご指摘の通り、これからの榎原市を担っていく若い世代の皆様の見解も重要ですので、今後も、市の計画についてはできる限り市民の皆様へ情報を公開し、若い世代の皆様も含め、積極的に参加・参画していただける体制を築いていきたいと考えています。	○	○
7	c 基本計画に関するその他の意見	2		八木駅の近くに、映画館は集客にならないか？		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の通り、大和八木駅周辺にて映画館などの集客施設の誘致は、賑わいを創出するうえで、有効な手法であると考えます。今後、具体的に事業を検討していく際には、集客施設の誘致なども含め、様々な可能性を検討していきたいと考えています。	○	
8	c 基本計画に関するその他の意見	2		コミュニティバスサービスの充実		今後の取組みの参考とします。 「榎原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、安心して便利に暮らせるまちをつくる取り組みの具体的な施策として「公共交通ネットワークの再整備」を掲げています。平成30年度からの取り組みとして土日祝に限りコミュニティバスの路線を榎原神宮前へルート変更し、利用促進を図っています。今後もコミュニティバスの周知・		○

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
						広報を積極的に行っていくとともに、公共交通ネットワークの拡充に努めていきます。		
9	c 基本計画に関するその他の意見	2		八月末の八木の伝統祭愛宕祭(アタゴマツリ)の位置づけについてどうするのか？		ご質問に回答します。 愛宕祭は、本市の夏の代表的な祭りの一つであり、毎年つくられる立山を来訪者を楽しんでいただいています。「榎原市観光基本計画」では、魅力あるまちづくりとして、各種イベント・行事への支援を掲げており、愛宕祭を含む市内の伝統行事に補助等の支援を実施しています。		
10	a 基本計画の考え方についての意見	3	p5	エリア別の取組方針とまちづくりの目指すべき姿の、(4)八木町・畝傍駅の部分に、A-5 道路が狭あい密集した居住エリアの防災性能の確保、も目指すべきものであると考える。		今後の取組みの参考とします。 防災課題への取組みは、大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域において「榎原市地域防災計画」及び「榎原市強靱化計画」に基づいて進めることとなります。八木町のまちづくりに関しては、防災をはじめとした様々な観点を考慮のうえ、歴史的景観にふさわしいまちづくりのルール作り及び整備手法の検討を行っていきたくと考えています。	○	○
11	a 基本計画の考え方についての意見	3	p5	エリア別の取組方針とまちづくりの目指すべき姿の(6)飛鳥川部分に、豊かな水緑空間を維持整備し、近隣の住民の日常的な居住環境を整える。		今後の取組みの参考とします。 飛鳥川に関するまちづくりの目指すべき姿として「飛鳥川沿いに点在する観光資源を結ぶ、回遊ルートの形成」を掲げています。個別事業の計画においては、ご指摘にありました豊かな水緑空間の維持整備、近隣住民の居住環境の向上を考慮した回遊ルートを形成していきたくと考えています。	○	
12	a 基本計画の考え方についての意見	3	p5	エリア別の取組方針とまちづくりの目指すべき姿については、全体として「観光」や「にぎわい」への視点はありますが、地区内の居住者に対する視点(A-5の防災性能の確保はあるものの)が少ないと思う。内膳町や八木町などの狭あい道路や不接道の敷地などにより放置されている空き家があり、その解消には道路網の付け替え等の検討に行政が関わるべきである。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の通り、狭あい道路整備や空き家等対策につきましては、積極的に市が関わっていくべきであると考えています。また、市・市民・民間事業者・市民活動団体等が一体となり、良好な住環境となるようまちづくりを行っていきたくと考えています。	○	○
13	a 基本計画の考え方についての意見	3	p5	A-5の対象エリアに八木町畝傍駅を加えるべきである。		今後の取組みの参考とします。 防災課題への取組みは、大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域において「榎原市地域防災計画」及び「榎原市強靱化計画」に基	○	○

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
	についての意見					づいて進めることとなります。八木町のまちづくりに関しては、防災をはじめとした様々な観点を考慮のうえ、歴史的景観にふさわしいまちづくりのルール作り及び整備手法の検討を行っていきたくと考えています。		
14	b-5 現庁舎 b-6 飛鳥川	3	p6 A-7	⑤空き家等適正管理・利活用推進事業及び⑥榎原市移住促進事業の対象エリアとして、現庁舎、飛鳥川が入っている意味を教えてください。		ご質問に回答します。 空き家等適正管理・利活用推進事業及び榎原市移住促進事業については、大和八木駅周辺地区内のみならず、市内全域で取り組むべき課題であると考えます。本計画においてもエリアを限定するのではなく、地区全体を対象とすることが妥当であるため、現庁舎・飛鳥川エリアも含めています。		
15	b-4 八木町・畝傍駅	3	p7 B-2	⑮(都)畝傍駅前通り線改良事業の内容の部分で、車道の拡幅と歩道の整備が書かれているが、歩道の整備は理解できるが車道の拡幅についてはどのような内容か。	●【基】 p7	ご意見の趣旨を計画に反映します。 現在奈良県が主体となり事業を実施している(都)畝傍駅前通り線については、八木町3丁目(南本町商店街付近)から八木町1丁目(南都銀行付近)までが事業認可区間であり、車道の改良と歩道の整備を行います。加えて、八木町3丁目(南本町商店街付近)から八木町2丁目(春日神社付近)までの区間は右折車線の増設を行う予定です。ご指摘の通り、『車道の拡幅』の表現では誤解を招きますので、『右折車線の増設を含めた車道の改良』と表現を変更します。		
16	b-4 八木町・畝傍駅	3	p10 B-2	八木札の境界隈にある「お蔭まいり」の接待場の整備をぜひ行ってほしい。		今後の取組みの参考とします。 「お蔭まいり」の接待場付近につきましては、まちなみ景観保存・育成エリアと位置付け、歴史的景観にふさわしいまちづくりが必要であると考えています。現時点では、具体的な事業手法は決定していませんが、ご指摘のありました内容も含め検討を進めていきたくと考えています。	○	
17	a 基本計画の考え方についての意見	3	p12	KPIIについて 今井町まちなみ交流センター華蓋への入場者数、八木札の社交流館への入場者数及び市民団体の育成数などを、指標としてはどうでしょうか。		ご質問に回答します。 本計画におきまして、目標の達成度合いを測る数値目標として現庁舎の耐震性能の確保のテーマから1指標(現庁舎の耐震化)、回遊性向上による観光振興のテーマから1指標(観光案内施設利用者数)、賑わい創出のテーマから2指標(連携推進区域内の空き店舗出店支援件数、複合施設のコンベンションルーム稼働率)の計4		

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
						指標を設定しています。交通処理・交通ネットワークの検討については、計画対象期間となる平成34年度までの期間において効果をもたらす個別事業の予定はないため、指標からは除いていますが、その他の3テーマに関する指標は充足していると考えています。ご指摘のありました「今井町まちなみ交流センター華蓋への入場者数」、「八木札の辻交流館への入場者数」につきましては回遊性向上による観光振興、また、「市民団体の育成数」については賑わい創出のテーマに該当すると思われ、本計画の指標として採用しないこととします。		
18	a 基本計画の考え方についての意見		4 p3	大和八木駅の整備は榎原市民全員に関わることで「個別事業段階においては、当該地域住民・民間事業者・行政等が連携・協働して各種事業を進めていく」と書かれていますが、一般市民が話し合える機会などは設けるつもりなのでしょうか？		今後の取組みの参考とします。 基本計画策定後の個別事業段階においては、市・市民・民間事業者・市民活動団体等の積極的な参加・参画が不可欠であると考えています。今後も、市の計画についてはできる限り市民の皆様へ情報を公開し、積極的に参加・参画していただける体制を築いていきたいと考えています。	○	○
19	b-1 大和八木駅北側		4 p6 A-4	国道24号が渋滞しているので南北アクセス道路の整備することで渋滞が解消するとの計画ですが、この短い区間だけを整備することで渋滞が解消するとは考えにくいと思います。また、京奈和自動車道が完全に整備されれば24号使用する車は減少し、渋滞緩和がはかれる可能性もあります。榎原市でも最も地価の高いエリアのひとつである大和八木駅周辺の土地を購入する計画なので、京奈和道の整備を待って再度検証してからでも遅くないと考えますがどのようにお考えですか？		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の新賀町26号線と八木駅北側広場を結ぶアクセス道路整備事業は、近鉄大阪線より北側から大和八木駅へ来る際に渋滞している国道24号へ入らずに八木駅北側広場への進入を可能とすることによって利便性を向上すること、また国道24号の渋滞解消の一助となることを目的としています。ご指摘の通り、京奈和自動車道の開通による交通流動の変化なども考慮したうえで、検討を進めていきたいと考えています。	○	
20	b-4 八木町・畷傍駅		4 p7 B-2	下ツ道・横大路の沿道を、まちなみ景観保存・育成エリアとして位置づけ、歴史的景観にふさわしい街づくりのルールを作ると書かれています。土地所有者や建物所有者は本当にそのようにしたいと思っているか？反対にルールを作ることにより現在の所有者や住民が不便になり、なお一層空き家が増える可能性があるのではないかと考えますがどのようにお考えですか？		ご質問に回答します。 下ツ道・横大路の沿道につきましては、まちなみ景観保存・育成エリアと位置づけ、歴史的景観にふさわしいまちづくりが必要であるとと考えています。しかし、ご指摘の通り、現在の所有者や住民が不便となり、なお一層空き家が増えることにならないよう、市と地域住民の方が協働してまちづくりのルールを作り、事業手法を検討していきたいと考えています。		

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
21	b-7 地区全体		4 p8 B-4	自転車道の整備として、快適な自転車道を整備すると書かれていますが、八木駅周辺には歩道もない狭い道路ばかりであるのに、そんなところで自転車道を整備できるのでしょうか。人がたくさん来て賑わいを創出するのであれば、まずは歩道整備を優先するべきではないでしょうか。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の通り、現状の大和八木駅周辺においては歩道のない狭い道路も多数あることは、市としても把握しているところです。個別事業の計画の際には、B-2「回遊でき歩きたくなるルートづくり」による歩行者の利便性向上と併せて、自転車道の適切なルートを選定したうえで、快適なアクセスを提供できるよう整備していきたいと考えています。	○	
22	b-5 現庁舎		4 p8 C-1 C-2	現庁舎の建替えに伴い、不要となる市有地が出てくると思いますが、民間施設等への活用はどのようにお考えでしょうか？		今後の取組みの参考とします。 現庁舎の建替えにつきましては、現在新本庁舎建設基本計画を別途検討中ではありますが、ご指摘の通り、不要となる市有地が残ることとなりましたら市有地の売却や賃貸を行うなど、保有資産の有効活用について図ってまいりたいと考えています。	○	
23	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見		5 p32 p48	5.4.土地利用方針①で「下ツ道周辺の八木町の古い民家が残るエリアを中心として、まちなみ景観保全・育成エリアとし、景観の保全に努める。」とありますが、現時点で下ツ道及び横大路自体が都市計画道路に制定されていることに疑問を感じます。8.地区全体 8.2.5 都市計画道路の検討方針でも八木見瀬線、曾我木原線が都市計画道路(廃止の検討)とあります。		ご要望として承ります。 当該エリアについては、まちなみ景観保存・育成エリアとして、景観の保存・育成が図れるよう、市・市民・民間事業者・市民活動団体等が一体となりまちづくりを行ってまいりたいと考えています。都市計画道路の廃止を前提としているわけではなく、今後、道路としての機能のあり方を検討してまいりたいと考えています。		
24	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見		5 p28~ p32	八木町も今井町と同様に歴史的な町並みを残す市内における貴重な財産をもつ地区であることから、都市計画道路の整備という形ではなく、街区の景観を残しつつ位置指定道路を少しづつ整備するなど、防災性能を高めることをひとつの目標として、現在の生活を犠牲にすることなく、地区計画などのルール作りを市行政と地域住民と一緒に取り組める仕組みづくりを期待します。		ご要望として承ります。 当該エリアについては、まちなみ景観保存・育成エリアとして、景観の保存・育成が図れるよう、市・市民・民間事業者・市民活動団体等が一体となりまちづくりを行ってまいりたいと考えています。		
25	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見		5 p32	5.4 土地利用方針②で「畷傍駅・駅前広場の再整備を行うエリア」とありますので、駅舎建物が八木町の歴史において貴重な財産と思われるので、地域の人々及び他地域から訪れる人々が利用できるような整備を進められますことを期待致します。		ご要望として承ります。 畷傍駅・駅前広場のあり方については、今後、鉄道事業者等と協議・調整したうえで検討を進めてまいりたいと考えています。ご指摘いただいた内容も考慮したうえで、検討を進めていきます。		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
26	d 大和八木 駅周辺地区 まちづくり検 討委員会協 議資料につ いての意見		p14 参考1 ～ 参考 11	2.6 整備方針に掲げられている点が、現時点での問題点ととれる内容と思われ、段階的に整備する方法を『参考 大和八木駅北側の現段階で想定できる整備手順』の中で整備案を①～④に提案されています。 ①案、②案はコストを掛けず、比較的工期も少なく実行できる内容ですが、現在の問題点の全てを解決できない。一方、③案、④案はコストも工期もかかるが現在の問題点を解決できる方法と思われる、また、『参考 大和八木駅北側の～』(4)整備手法について③案、④案は現時点で、ある補助に対して複数受けられるものも多いようですので、大和八木駅北側の整備に関しては③案または④案で検討すべきと考えます。		ご要望として承ります。 大和八木駅北側再整備の検討にあたっては、まず立体駐車場の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後に除却するか、立体駐車場の方向性を決めたくて、大和八木駅北側エリアの全体配置計画を検討していきます。検討に際しては、ご指摘いただいた内容も考慮したうえで、検討を進めていきます。		
27	d 大和八木 駅周辺地区 まちづくり検 討委員会協 議資料につ いての意見		5 p34	6.3 前提条件の整理でも示されているように、県産材の木材を利用した CLT 工法など、構造的にも新しい技術を取り入れることや仕上げ材などに使用することを検討していただき、奈良県内の林業が活性化するきっかけづくりとなるべく、橿原市の顔として注目を浴びる庁舎建設を試みていただきたい。		ご要望として承ります。 新本庁舎の整備につきましては、現在新本庁舎建設基本計画を別途検討中であり、具体の整備手法については、現時点では確定していません。ご指摘の内容につきましては、今後の手法検討の際に参考とさせていただきます。		
28	d 大和八木 駅周辺地区 まちづくり検 討委員会協 議資料につ いての意見		p8～ p22 p33～ p38	新庁舎の整備計画があることから、大和八木駅と市庁舎が直結するような駅前広場整備計画の発展型の実現を期待します。平面的に国道などと交差することから、例えばベデストリアンデッキを設けるなどある程度の工夫が必要と思われますが、中和の玄関口としてわかりやすい整備があってもいいのではないかと思います。駅北側で解決できないことも、整備範囲を変えることで解決できる可能性があることも期待するところです。		ご要望として承ります。 ご指摘の内容は、大和八木駅南側駅前広場から新本庁舎までの区間について発展的な整備の要望と思われます。駅前広場につきましては、平成19年度に供用開始され、現在まで多くの市民、来訪者の方に利用されています。また、ミグランスの供用開始に併せて、平成29年度～平成30年度にかけて、歩道にシェルターを設置し、利便性の向上を図っています。今後、新本庁舎の建設も進んでまいりますが、ミグランスから新本庁舎までの区間においても、費用対効果を考慮したうえで、良好なアクセスを提供できるよう整備を行っていきたく考えています。		
29	d 大和八木 駅周辺地区 まちづくり検 討委員会協		5 p48	駅周辺道路の渋滞について、日によって、時間帯によって長時間に渡り渋滞が発生しているのが現状と思います。全体の整備計画においても、渋滞解消に繋がることも念頭に置いたものとして頂きたいと思います。		ご要望として承ります。 交通処理の検討については、大和八木駅周辺のみではなく、広いエリアへの影響を考慮したうえで検討していく必要があります。今後の検討においては、現状分析をしたうえで、将来的な交通流動の変		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
	議資料につ いての意見					化にも対応できるよう進めていく必要があると考えています。		
30	b-7 地区全 体		p7 B-2	街路樹は観光客にとってはその市を印象づける最大のものと考えます。当市は街路樹は「かしの木」と決めておられますが、再考をお願いします。特に神宮東に出口から「丈六交差点 1 つ北の」藤原宮・明日香に通ずる新しい道は古代にタイムスリップするように演出のできる道だと思います。東を向いて上り坂のロケーションでワクワクするような空間であると思います。 例えば五條市の吉野川沿いにある「まちなみ伝承館」のあたりに行った時ですが、川のそばに「柳と桜の木」柳の若葉と桜のピンクが合わさって、その辺り一面がかがやいて街なみと一緒に印象深かった思い出があります。 当市も「かしの木」だけではなく、その場所に応じて街路樹を効果的に配置されてはかかと思えます。		今後の取組みの参考とします。 本市で整備した比較幅員の広い歩道においては、街路樹として「かしの木」を植樹している箇所が多数ありますが、ハナミズキなど他の樹種を植樹している路線もあります。かしの木は、四季を通じて緑を保っている常緑樹であり、病害虫や剪定による環境の変化に強いことなどから、街路樹としては最適な樹種と考えています。これらに加えて、市の木であるということから、かしの木を多く採用しています。 街路樹の整備については、ご指摘の内容も参考にさせていただきます。 また、ご指摘の藤原京、明日香に通じる新しい道は県道(橿原神宮東口停車場飛鳥線)ではありますが、今後観光政策のうえからも奈良県、明日香村などと連携を図っていきたく考えています。		○
31	b-2 大和八 木駅南側		p6 A-1	中和の玄関口の賑わいについて、ここで言う複合施設は、一般的な複合施設ではなく、むしろ賑わいには中立的或いはマイナスかも知れない。賑わいは日常的に存することで、臨時的イベント的には限界がある。従って、八木駅南側には近鉄線高架部分を南側に張り出すような型で、現在の遊歩広場をカバーし、可能ならバス停を南側に下げて拡張すれば、かつての八木と内膳間の通行も、ある程度回復できる。 そして、第 2 に、駅前に集積した学習塾は、賑わいにはマイナス効果を生んでいるので、塾は横丁やうら通りに後退させる必要がある。駅前には新しい型の物販店舗と同時に内で飲食できる店舗、特に著名なビジネス店舗、飲食料品店、証券会社(有名証券会社の支店はない)や個性的な商品店舗などの誘致(購買力などの調査のうえ)をはかってはどうでしょうか。人の出入りの多い店舗街になるよう近隣市町村間の昼間人口流動調査で確かめる必要があると考えます。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の内容は、一時的なイベントだけではなく、日常生活の中で賑わいを創出していくことが大事であるとの趣旨と思われます。ご指摘の通り、市・市民・民間事業者・市民活動団体等が一体となり、日常的に賑わいを創出し、より一層活気あるまちとなっていけるようまちづくりを行っていきたく考えています。		○

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
32	a 基本計画の考え方についての意見	7	p5	(2)と(4)が図示されて、いろんな案件が検討事項として並列している。(2)と(4)とに対する検討は並列的ではなく、それぞれに個別の概念が基本的に必要かと考える。つまり New と Old であってオールドデリーに対してニューデリーが存在するように、(2)は New 八木(4)は Old 八木の基本的概念のうえで、施策を考えた方がまちづくり方向性が明確になると思います。その境界は国道24号線沿線で駅傍駅を通過する南北線で区分するとよいのではないかと考えます。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の通り、本計画の大和八木駅周辺地区内には、八木町・畝傍駅エリアなどの古くからの建物が残るエリアと大和八木駅南側エリアなどの新しい建物が多いエリアが共存しています。エリア毎に個別に取組むべき内容と地区全体及びエリア間が連携して取組むべき内容の両面がありますので、留意しながら事業を推進していきたいと考えています。	○	
33	b-4 八木町・畝傍駅	7	p7 B-2	畝傍駅前通りは八木西口駅から下ツ道に至る八木町発展の原動力となった道路(産業道路とよばれた)で、官公機関、銀行、証券会社、旅館、料理店、物販店等が並んでいたが自動車交通の増大でこの通りの機能は無くなった。従って現在の犠牲を払った幅は通過交通の増大は地元にはマイナス効果しか与えない当然の影響から地元活動を復活できるように幅広い歩道と沿道の新店舗等が復活すれば、自然と交通機関から New 八木から Old 八木の方に回遊できる自然な方向付けが可能になるのではないかと考えます。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の内容は、畝傍駅前通り線の改良事業に併せて、過去からの経緯を踏襲した町並みを形成するべきとの趣旨と思われます。周辺の町並みを考慮したうえで、畝傍駅・駅前広場整備のあり方を検討していきます。	○	
34	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	8	p14	現在の駅前広場は、薄暗く、喫煙者や飲酒する大人がいて親子連れが落ち着いて滞るできない。 八木駅周辺には、親子連れや子供が安心して遊べる場所が非常に少ない。大和八木駅周辺にはマンションもあり、子どもの数も多いにもかかわらず、近所に公園がないため、外遊びの中で体力を鍛える機会も少ない。ナビプラザの子供広場も幼児しか使えない。 駅前親子が集える、遊具や緑がある公園があれば、八木駅前の雰囲気も明るくなる。広場で楽しそうに遊ぶ子供の姿は旅行者や転入希望者に対する樫原のイメージをよくするだろう。居酒屋やパチンコ屋、学習塾が目立つ現在の駅前、寂れた印象を受けてしまう。駅前の賑わい創出のためにも、樫原の子どもの体力向上のためにも、子どもたちが楽しく滞在できる遊具付きの公園を整備するべきである。		ご要望として承ります。 大和八木駅北側再整備の検討にあたっては、まず立体駐車場の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後を除却するか、立体駐車場の方向性を決めたいと、大和八木駅北側エリアの全体配置計画を検討していきます。検討に際しては、ご指摘いただいた内容も考慮してうえで、検討を進めていきます。		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
35	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	8	p33~ p38	なぜ駅前の利便性の高い場所に、多くの市民が年に1~3回ほどしか訪れない市役所を建てるのか、理解に苦しむ。賑わいの創出を目指すならば、週末は閉庁する役所は駅前に置くべきではない。現在の分庁舎も、土日には一階の交流スペースすら閉鎖されており、行き交う人もまばらで、賑わいからは程遠い状態となっている。 歴史や文化、自然環境を生かしたまちづくりを目指すならば、図書館やこども科学館、交流スペースなどの、市民が日常的に利用する文化施設こそ、利便性の高い駅前に置くべきではないだろうか。現在の万葉ホールの場所は、自家用車のない市民にとってはアクセスしにくい場所にあり、自家用車が運転できない子供や老人は、本を読みたくても図書館利用を諦めざるをえない状態にある。 万葉ホールの建物と敷地を役所機能に転用し、万葉ホールの機能を現在の分庁舎と市役所の敷地に建てる建物に移すべきである。市民が日常的に利用する施設を市役所と分庁舎のある駅周辺に置くことで、平日も週末も駅前が賑わい、市民の文化力も向上し、活力ある樫原のまちづくりに寄与できる。		ご要望として承ります。 新本庁舎の建設につきましては、複数の建設候補地を比較検討した結果、周辺の鉄道駅及び道路からのアクセス性と今後の周辺まちづくりの観点から、現庁舎敷地に建替えることとしています。新本庁舎建設の基本計画を別途検討中ではありますが、「耐震性能を有し、災害活動拠点となる庁舎」「市民に開かれた庁舎」などを現時点のコンセプト案としており、今後のまちづくりに寄与できる拠点として整備していきたいと考えています。		
36	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	8	p28~ p32	八木町の町並みは、今井町と並んで歴史的に非常に貴重なものである。市による調査や、NPOによる取組みも継続しているが、行政がもっと本腰を入れて歴史資産の活用を目指すべきである。 文化庁の「歴史文化基本構想」を樫原市は未策定であり、各種文化財の調査も、市内に残る文化財の量、質と比べて決して十分とは言えない。駅前にハコモノを作る前に、まちづくりの基本となる、地域に存在する文化財の実態を把握するべきである。市内の貴重な文化財や観光資源の全貌もつかめないうちで、「観光資源やまちなみを生かした回遊性の向上」を目指しても、説得力のないものしかならず、観光客にもすぐに飽きられるだろう。また、地元の意向にもよるが、ぜひ八木町周辺は、歴史まちづくり法による歴史的風致の維持向上をすべきである。所有者の高		ご要望として承ります。 ご指摘の通り、観光資源・文化資産が良好に維持継承されていかなければ、観光ルートを整備する価値は少ないと考えています。今後も観光資源・文化資産を充実させ、来訪者に喜んでいただける環境を整えていきたいと考えています。 「歴史文化基本構想」については今のところ策定予定はありませんが、これまでに市内に点在する国史跡名勝の保存活用について「樫原市内史跡名勝保存活用計画書」を作成し、方向性を出しています。また、文化財の調査については樫原市史刊行時に各種文化財の調査をしています。今後もこの樫原市史刊行当時の既調査を精査し、各種文化財の調査を継続していくことを計画しています。		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				<p>齢化が進む中で、建物の恒常的な維持管理に向けた支援も受けられるのではないかと。</p> <p>「回遊でき歩きたくなる観光ルート」は、ルートづくりが重要なのではなく、ルート上の文化資産が良好に維持継承される仕組みがなくてはならない。上辺だけの観光ルート整備ではなく、持続可能なまちづくりとつながってこそ、人々が回遊したくなる観光ルートが策定できるのである。ハコモノをつくるまえに、ソフトを整備する方が、檀原の活性化に繋がる。</p>				
37	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見		p46 p49~ p50	<p>檀原市は、「歴史文化基本構想」を未策定であり、各種文化財の調査も、市内に残る文化財の量、質と比べて決して十分とは言えない。駅前にハコモノを作る前に、まちづくりの基本となる、地域に存在する文化財の実態を把握するべきである。市内の貴重な文化財や観光資源の全貌もつかめない中で、「観光資源の活用と整備」を目指しても、説得力のないものにしかならず、観光客にもすぐに飽きられるだろう。</p> <p>看板などのハードの整備ももちろんだが、観光の担い手となる人材の育成も欠かせない。現在の分庁舎の交流スペースの展示はコンセプトが定まらず、檀原の魅力も伝わりにくく、質も高いとは言えない。プロモーションの素人が片手間にやっている印象を受ける。</p> <p>観光に力を入れるならば、文化行政関係の人材を増やし、目の肥えた観光客がリピートしたくなる展示やイベントを増やすべきである。檀原市の歴史・文化の深さは日本トップクラスであるにも関わらず、文化行政の担い手は少なく、展示などの活用に携わる職員の数も絶対的に不足している。</p> <p>新しい建物を建て続けるハコモノ主義から脱却して、既存の建物をどのように活用するか、真剣に検討すべきである。市役所の跡地は、市民が年に数回しか訪れない役所ではなく、多くの市民や観光客が気軽に利用できる文化を発信する拠点として整備し、ソフトの充実を図るべきである。</p>		<p>ご要望として承ります。</p> <p>観光に関するプロモーションが上手ではないとの趣旨と思われる。檀原市の魅力を伝えるべく最良の方法を考えながらイベント等を実施していましたが、今後はより一層、市民や来訪者の立場に立って考え、檀原市の魅力を発信していきたいと考えています。</p> <p>「歴史文化基本構想」については今のところ策定予定はありませんが、これまで市内に点在する国史跡名勝の保存活用について「檀原市内史跡名勝保存活用計画書」を作成し、方向性を出しています。また、文化財の調査については檀原市史刊行時に各種文化財の調査をしています。今後もこの檀原市史刊行当時の既調査を精査し、各種文化財の調査を継続し観光資源として活用できるよう努めていきます。</p>		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
38	b-1 大和八木駅北側		p6 A-4	<p>大和八木駅北側の駐車場は長寿命化して使用する。駅に近いから利用者にとっては利便性があります。荷物を持って子供を連れて、或いは夜遅くに大和八木駅に近いからこそ便利で使いやすい。道路を歩いて或いは道路を渡って誰が利用するのですか。利用する市民や利用者のことを考えて頂きたいです。目の前に大きな駐車場があって目障りだとか、広場があれば賑わいがある。というのは違います。駐車場を利用しない人が利用者のことを理解することは難しいと思います。</p>		<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>大和八木駅北側の再整備の検討にあたっては、まず立体駐車場の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後に除却するか、立体駐車場の方向性を決めたいうえで、大和八木駅北側エリアの全体配置計画を検討していきます。また、検討の際には、社会情勢や交通流動の変化などに留意するとともに、市民・来訪者の利便性を向上させていきたいと考えています。</p>	○	
39	b-2 大和八木駅南側		p9 D-5	<p>新駅についての檀原市の方針を明らかにして下さい。新駅ができれば大和八木駅周辺も変わることが考えられます。八木西口駅の今後についても、利用者の利便性を考慮して、話し合いする必要があるのであれば、早い時期から行政は責任を持って対応しなくてはならないと考えます。奈良県と包括協定を締結したことは承知していても、内容が非開示であれば、市民の意見を反映できません。アルルが出来てから、近鉄デパートも婦人用品売り場の客数は減り、駅前商店街の洋品店も閉店したところが数多くあります。何かが変われば人の流れも変わります。</p>		<p>ご質問に回答します。</p> <p>医大周辺のまちづくりでは、あたらしいまちの中心に新駅があることは自然な姿であるということで、奈良県と近鉄との三者協議を進めています。鉄道事業者である近鉄は、八木西口駅を移設して新駅を整備することを前提にされていますが、檀原市は八木西口駅について、現状のまま存続する意向です。そのため時間はかかりますが今後も引き続き八木西口駅と新駅が併存できるように協議を継続してまいります。</p>		
40	b-2 大和八木駅南側		p6 A-7	<p>八木駅南のバス・タクシー広場は改良して、植木の島を排除して面積を広くして通り抜けがスムーズにできるようにした方が、渋滞が改善されると思う。</p>		<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>大和八木駅を歓迎で利用されている方の利便性の向上は重要な課題であると考えています。まず現状の利用実態等を把握したうえで、今後駅前広場の使い方について検討を進めていきたいと考えています。</p>	○	
41	b-1 大和八木駅北側		p6 A-4	<p>檀原文化会館前市有地の存在は大変大きく、駅に近い場所の中では唯一のオアシスといえます。たまに市民のためのイベントが行われていますが、あの広々とした面積、駅や駐車場・駐輪場に近い利便性を考えると、必ず残さなければならない緑豊かなところ。平日に親子が過ごしていたりするには何よりの場所です。</p>		<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>大和八木駅北側の再整備の検討にあたっては、まず立体駐車場の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後に除却するか、立体駐車場の方向性を決めたいうえで、大和八木駅北側エリアの全体配置計画を検討していきます。また、検討の際には、社会情勢や交通流動の変化、ご指摘の県立文化会館の活用の方針などに留意するとともに、市民・来訪者の利便性を向上させていきたいと考えています。</p>	○	

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
42	b-5 現庁舎	9	p8 C-1 C-2	本庁舎建設について、本庁舎を原位置に建築する事は余程内容を考えないと、税金を多く使うことになるので、なるべく無駄を省き余分な物を建てない。市民の賑わいなどと言っている付け加えると、それでなくても渋滞する道路が混んでしまいます。いつも空いている万葉ホールを有効活用するなど、市民の意見も(ワークショップに参加していない方の意見も)勘案して、委員会内容を開示して進めて頂きたいと考えます。 分庁舎での反省点は多く有ると思います。駐車場だけではなく、すべてを把握されているのか大変心配です。20年前に建設された万葉ホールより遅れている部分等も有ります。 感じ方は人それぞれとは思いますが。		今後の取組みの参考とします。 新本庁舎につきましては、現在新本庁舎建設基本計画を別途検討中であります。ご指摘の通り、分庁舎について検証を行ったうえで、無駄のない庁舎計画に取組んでいきたいと考えています。また、新本庁舎建設検討委員会の会議録はホームページにてご確認くださいだけです。	○	
43	c 基本計画に関するその他の意見	9		最近まちづくりではコンパクトシティは失敗だったといわれることが有るようです。まちづくりも時代や地域で異なります。コンパクトシティを目指したけれど時代遅れだったと言うことにならないければよいと思います。		今後の取組みの参考とします。 人口減少や少子高齢化の時代においても、市民の安全・安心を確保し、社会経済の活力を維持していかなければなりません。行政や医療・福祉、商業など生活に必要な各種サービスを提供していくためには、各種機能を一定のエリアに集約化「コンパクト化」することが考えられます。一方で、コンパクト化だけでは、人口減少に伴う圏域やマーケットの縮小を招き、都市機能によるサービスが成立するために必要な人口規模を確保できなくなる恐れもあります。このため、各地域をネットワーク化することにより、圏域での人口を確保し、各種の都市機能を提供しサービスを維持する必要があると考えられます。以上のことから、本市の地域特性やポテンシャルを活かした独自のコンパクト+ネットワークにより、人・モノ・情報の交流・出会いが活性化することで、持続可能な活力と賑わいのある元気なまちづくりを目指していきたいと考えています。		○
44	e 基本計画に直接関係しない意見	9		最近メディアで奈良県は気温が高いのに小中学校のエアコン設置割合が他府県と比べて極端に少ないと報道されました。翌日奈良県知事が会見を開いて積極的な対応をすとの事でした。まちづくりをして市民の生活の利便性をはかるのも大切だと思いますが、現在の小中学校の生徒の為、将来市民になってくださる方を増やす為にも、必要な小中学校にエアコン設置に税金を投		ご要望として承ります。 ご指摘の通り、本市の小中学校のエアコン設置割合は低く、今後は優先的に設置を検討していかなければと考えています。平成30年度には、市内の小・中学校(22校)の普通教室・特別教室にエアコンを設置するための「空調設備導入調査」を実施しています。この調査は、空調方式や導入手法の選定といった、今後のエアコン設		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				入って頂きたいと思えます。		置に向けた総合的な調査となっています。全校整備の実現にむけて、最優先事業としてより早期に整備できるよう、今回の調査にて検討し、進めていきたいと考えています。また、限られた市の予算の中で、事業を判断したうえで、まちづくりも行っていく必要があると考えています。		
45	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	10	p1	橿原市は、古代から大和川、飛鳥川の水運と、横大路、下ツ道などの交通の要衝であった。(説明不足)		ご要望として承ります。 ここでは、橿原市を「日本国始まりの地」と呼称していく経緯を日本で最初の条坊制の都である藤原京の造営、史上初めての本格的律令である大宝律令の制定によって、国としての基本的な形が整ったこと、さらに大宝律令にて初めて「日本」という国号が記されたことをもって根拠としている旨を説明しているため、最小限の説明にて留めさせていただきたいと考えていますので、現在の表現を変更しないこととします。		
46	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	10	p17	異種・多様な施設が複合施設であり、市の施設を複合施設として扱うのは適切ではないのでは？		ご質問に回答します。 複合施設とは、一般的に同一の建築物または敷地内にある複数種類の施設からなる施設と解釈されていることから、本計画においては分庁舎と宿泊施設を含む観光施設からなるミグランスを複合施設と表現しています。		
47	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	10	p21	ソフト面での多言語対応の整備は必要だと思うが、ハード面の整備は景観や環境に問題を残すと思われる。 中和・南和の観光は個人、小グループが主と思われる。		ご要望として承ります。 ご指摘の内容は、ソフト面での充実とともに、ハード面では景観や環境に留意して整備をしていくべきとの趣旨と思われる。ご指摘の通り、ハード面の整備を検討していく際には、景観や環境に留意していきたいと考えています。		
48	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	10	p44	東京からのアクセスを考える ③東京駅→名古屋駅→八木駅 ⑤阿倍野駅→橿原神宮前駅(追加) ⑥羽田空港→関西空港→八木駅(空港バス) ⑦羽田空港→白浜空港→十津川村→五條→八木駅(南和からのバス経路)		ご要望として承ります。 ご指摘の内容は、大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料内の8-1に東京からのアクセスを考慮したうえで、鉄道利用以外についても検討していくべきとの趣旨と思われる。今後個別事業を検討していく際には、ご指摘の内容を参考に取組んでいきたいと考えています。		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
49	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	10	p45	図 8-2 空港からのバスルート追加 五條→吉野口→榎原神宮前駅(JRと近鉄)追加 図 8-3 八木駅→今井町→各観光地(公共交通+徒歩での所要時間を計上)		ご要望として承ります。 ご指摘の内容は、大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料内の図8-2に関西国際空港からのバスルートと五條方面からの鉄道網の追記、図8-3に大和八木駅から今井町までの所要時間を追記するべきとの趣旨と思われます。今後個別事業を検討していく際には、ご指摘の内容を参考に取組んでいきたいと考えています。		
50	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	10	p51	③大学との連携 県立大学を追加(御所市・高取町・宇陀市等と観光まちづくりを携わっている)。		ご要望として承ります。 「榎原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標のひとつである「安心して便利に暮らせるまちをつくる」の基本的方向に「多様な主体との連携によるまちづくり」を位置づけ、その中の具体的な施策のひとつとして大学等との包括的な連携協力により、大学の特色や知見を活かしたまちづくりを進めることとしています。今後も大学等の教育機関だけでなく、産学官連携を活発化させ、本市のまちづくりに活かせるよう取組んでいきたいと考えています。		
51	b-2 大和八木駅南側	11	p6 A-1 A-3	大和八木駅からナビプラザまでは、常時の歩行者天国であり、インパクトをつけるためプランターの花の植栽を今よりさらに3倍位増やして“花の通り”にする。 そして更にナビプラザから複合施設までのルートを考案整備する。 ナビプラザをもっと目立つようにするために、LED ビジョンパネルに観光案内アナウンス、音声をコードレススピーカーで、地上2mあたりで数個設置して観光拠点であることをアピールする。又台風情報や災害時の広報として、映像と音声で駅周辺の歩行者の人々に告知する。		今後の取組みの参考とします。 大和八木駅からかしはらナビプラザまでの間及びかしはらナビプラザからミグランス(分庁舎)までの間の歩道は既に整備はされていますが、かしはらナビプラザ及びミグランス内の観光振興支援室の位置が来訪者には分かりづらいとの声もあり、アクセス性の向上を取組方針に掲げているところです。 ご指摘の内容につきましては、今後の個別事業の段階に参考にさせていただきます。かしはらナビプラザ及び観光振興支援室などの観光案内施設へ来訪者の方が快適に行くことができる整備を実施したいと考えています。	○	
52	b-1 大和八木駅北側	11	p6 A-4	市営八木駅前駐車場は早期の撤去を行う、代替は文化会館南側市有地とし、市営八木駅前駐車場跡地は公園広場(セントラルパーク)として市民(ヤングファミリー)、来訪者の交流、憩いの場所とし、又、イベント会場として利用する。同時に新賀町26号線にアクセス道路を近鉄線横に整備し、交通改善する。		今後の取組みの参考とします。 市営八木駅北駐車場のあり方や新賀町26号線と八木駅北側広場を結ぶアクセス道路整備を含む大和八木駅北側の再整備の検討にあたっては、まず立体駐車場の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後を除却するか、立体駐車場の方向性を決め	○	

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
						たうえで、大和八木駅北側エリアの全体配置計画を検討していきます。また、検討の際には、社会情勢や交通流動の変化などに留意し、市民・来訪者の利便性を向上させていきたいと考えています。		
53	b-1 大和八木駅北側	11	p6 A-4	大和八木駅の南北通路として3号線歩道が整備されたが、A-4の計画により東側の南北通路(名店街管理のネオントネル通路)も重要性を増すために、魅力ある仕掛の通路に再整備する。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の通り、榎原三号歩行者専用道路は整備済みであり、多くの市民・来訪者に利用されています。東側の南北通路については、管理者と協議のうえ、検討していきたいと考えています。	○	
54	b-7 地区全体	12	p6 A-7	多世代にとって便利で住みやすい環境の確保 空き家対策は、八木駅周辺だけでなく市内全域で取り組む課題であるのではないのでしょうか？また、八木駅周辺は特に緑や広場が少なく感じるの、空き家の撤去にともない、公園などの広場を設置し、災害時の一時避難場所等にするのはいかがでしょうか？		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の通り、空き家等対策につきましては、大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域で取り組むべき課題であると考えています。本市においては、空き家等対策につきまして、「榎原市空き家等対策計画」にて対象区域を市内全域とし、方針を定めています。その中で、健全な空き家等や除却後の跡地利用は、まちづくりを進めるうえで地域の資源と捉え、地域の特性を考慮し、利活用を促進していきます。	○	○
55	b-1 大和八木駅北側 b-2 大和八木駅南側	12	p6 A-7	大和八木駅の利便性向上 大和八木駅に送迎をするときに、一時的にでも駐停車できるエリアがあればとても便利だと考えますが、そのようなスペースを設ける計画はあるのでしょうか？		今後の取組みの参考とします。 大和八木駅を送迎で利用されている方の利便性の向上は重要な課題であると考えています。まず現状の利用実態等を把握したうえで、今後駅前広場の使い方について検討を進めていきたいと考えています。	○	
56	b-2 大和八木駅南側	12	p6 A-3	歩行者天国 過去に日曜日だけ歩行者天国にしていた時があったように記憶しています。人がたくさん来て活気があった。懐かしく思います。ぜひ実現させてほしい。		今後の取組みの参考とします。 大和八木駅南側について、賑わいを創出していく手法の一つとして、商店街通りの歩車共存は有効であると考えています。歩行者天国の実施など、歩車共存のあり方について今後検討していきたいと考えています。	○	
57	b-2 大和八木駅南側	12	p7 B-1	各種看板の整備 アクセス性の向上として観光案内サインの整備を行うように書いてあるが、サインの整備だけではアクセス性向上になるとは考えにくい。サイン整備以外にどのような計画があるのでしょうか？		ご質問に回答します。 大和八木駅からかしはらナビプラザまでの間及びかしはらナビプラザからミグランス(分庁舎)までの間の歩道は既に整備はされていますが、かしはらナビプラザ及びミグランス内の観光振興支援室の位置が来訪者には分かりづらいとの声もあり、アクセス性の向上を取組方針に掲げているところです。		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
						大和八木駅から観光案内施設までのアクセス性の向上として、各種看板設置による誘導に加えてシェルター設置による歩行者の快適性の向上があります。また、目的地までのアクセス性の向上として重要観光ルートの重点的整備、自転車道の整備及びレンタサイクルの活用などを考えています。		
58	b-5 現庁舎	12	p8 C-1 C-2	新本庁舎整備事業 新庁舎整備においては、ぜひ地元企業と地域経済を活性化させるように計画してほしい。		今後の取組みの参考とします。 新本庁舎の整備につきましては、現在新本庁舎建設基本計画を別途検討中であり、具体の整備手法については、現時点では確定していません。ご指摘の内容につきましては、今後の手法検討の際に参考とさせていただきます。	○	
59	b-2 大和八木駅南側	12	p9 D-5	八木西口駅はどうなるのでしょうか？ 又、医大周辺地区のまちづくり計画とはどのように連携がなされるのでしょうか？		ご質問に回答します。 橿原市は八木西口駅について、現状のまま存続する意向です。医大周辺のまちづくりでは、あたらしいまちの中心に新駅があることは自然な姿であるということで、奈良県と近鉄との三者協議を進めていますが、鉄道事業者である近鉄は、八木西口駅を移設して新駅を整備することを前提にされています。時間はかかりますが今後も引き続き八木西口駅と新駅が併存できるように協議を継続してまいります。 本市は、奈良県の中核的な拠点都市の一翼を担うまちづくりを目標としています。その中でも特に、大和八木駅(中心核)と橿原神宮前駅(サブ核)は広域・商業業務機能が集積する2大拠点であり医大周辺はその都市軸の中に含まれます。 こうしたことから、中南和の拠点都市として、商業・サービス業務、行政・医療・文化など広域的な都市機能の充実を図るとともに、様々な人々が集い、賑わい、働き、情報発信していくようなまちを目指します。		
60	b-7 地区全体	12	p6 A-7	今井町や下ツ道・横大路周辺での空き家の利活用の推進とありますが、空き家情報や利活用について民間事業者と連携していくことは考えているのでしょうか？また具体的な計画あるのでしょうか？		今後の取組みの参考とします。 本市において、「橿原市空家等対策計画」にて方針を定めています。歴史的建築物は、本市の大きな財産です。まちの景観に歴史性が継続されるような施策を目指します。空家等の利活用として、住宅の再利用のみでなく多様な用途に転用し、地域活性化のため	○	○

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
						の資源として積極的に利活用を促進します。転用する用途によっては、建築基準法など関係法の規制があり、各専門家による助言が必要になります。空家等対策を円滑に進めるためには、民間事業者と連携して専門家ネットワークをつくり、有効に機能する中間支援組織の構築を目指しています。		
61	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	13	p22	複合施設の整備に伴い渋滞発生が懸念される箇所の交通処理の検討について 交通処理の検討と対策を行うとありますが、大和八木駅南側エリアにて、(3)八木西側エリアには住居を構える方も多くいらっしゃいます。 今後、渋滞等による抜け道などで八木西側エリアの交通事情も変化すると考えられますが、交通処理の検討と対策を行う際に道路幅が狭いなどの箇所が多く存在する八木西側エリアの事も含み検討と対策が行われるのですか？		ご質問に回答します。 交通処理の検討については、複合施設周辺のみではなく、広いエリアへの影響を考慮したうえで検討していく必要があります。今後の検討においては、現状分析をしたうえで、将来的な交通流動の変化にも対応できるよう進めていく必要があると考えています。		
62	c 基本計画に関するその他の意見	14		全般的な指摘 ○市民参加・住民参加のより一層の充実を 市民・住民・通勤通学者・事業者などこの地区にかかわりを持つ人や様々な専門家によるまちづくりの意見・提案を受け入れ、情報を公開してまちづくりを進めるスタンスをより明確にしてまちづくりの計画づくりを進められるよう求め、また、期待しています。 私は、H28年度の八木まちづくりワークショップに参加させていただき、そこで発言したことなども取り入れられている計画内容を見て、いろいろな評価はあると思いますが、市民がワークショップにより意見・提案できる機会を持つことは非常に意義があったと思っています。もっと、あのような機会を増やしてほしいと考えています。 その一環として、内膳町自治会や八木町自治会・今井町自治会や商店会組合等にこの資料に基づく説明会を開催していただき、一般の市民が意見を言える様な機会を設けていただければ、より多くの市民にこの計画について知る機会を与えることができ、また、自治会自体の活動の幅が広がるものと考えています。		今後の取組みの参考とします。 基本計画策定後の個別事業段階においては、市・市民・民間事業者・市民活動団体等の積極的な参加・参画が不可欠であると考えています。今後も、市の計画についてはできる限り市民の皆様へ情報を公開し、積極的に参加・参画していただける体制を築いていきたいと考えています。	○	○

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				内膳町自治会の総会において、自治会としても、市の計画について市からの説明会を要請するなどして、積極的に関与していくことを提案しています。				
63	c 基本計画に関するその他の意見	14		○奈良県下第二の都市として位置づけ奈良県中中和の核としての駅周辺の整備を 県庁の移転も検討されているが、移転してくるのにふさわしい道路基盤・交通基盤づくりを着実に進めておくこと。それと都市格の高い街を目指すこと。		今後の取組みの参考とします。 本計画のコンセプトの一つとして、中中和地域の拠点都市にふさわしい都市機能を備えた中心市街地の形成を掲げています。市民の皆様が誇りに思い、来訪者の方の印象に残るまちとなるよう道路基盤・交通基盤についても整備していきたいと考えています。	○	○
64	b-1 大和八木駅北側	14	p6 A-4	八木駅北側 駅直近の空間の整備を先行して考えておられますが、新賀町26号線の東西への延伸整備を駅直近の整備よりも先行させてはと思っています。というのは、駅利用とは関係ない車両の進入を減らすための周辺道路の整備と、新賀町26号線沿いに駅前広場的な機能を設け、乗降等の場をそこに設置すれば、北側からのアクセスが駅前広場まで来ないでターンバックする交通にできます。 駅北についての再整備が不要とは思いませんが、費用対効果の高いものになるとは考えられず(すでに高度利用されているところを再開発するのは補償費が非常にかさみ、既存の公共施設を含めて建替えるのは二重投資になる)、むしろ、北側の新賀町26号線の整備を先行した方が都市機能としての向上が、期待でき、効果的で効率的です。 また、八木駅西出入口の新設についてもワークショップで提案し、取り上げられています。この計画では、エリア外となっていますが、いわゆる裏八木と言われている内膳町4丁目についても八木駅の新設西出入口のアクセスなどを考えると、新賀町26号線の新設によるアクセス方法の検討が必要と考えます。 新賀町26号線を西側方向に延伸整備すれば、アンダーパス上の上部に余剰の公共用地が生まれ、そこをうまくサブの駅前広場的な利用をすれば面白いのではと考えています。		今後の取組みの参考とします。 大和八木駅北側再整備の検討にあたっては、まず立体駐車場の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後を除却するか、立体駐車場の方向性を決めたいうえで、大和八木駅北側エリアの全体配置計画を検討していきます。ご指摘のありました新賀町26号線の東西については、北妙法寺木原線の一部として都市計画道路に含まれています。本市では都市計画決定後、未着手の都市計画道路(前記の路線を含む。)について、現在の社会情勢並びに、本市の目指すべき将来都市像に対応するために、まちづくりや道路機能など様々な観点からその必要性の検証を行い、見直し案を策定することとしています。都市計画道路の見直し結果を踏まえ、検討の際には、社会情勢や交通流動の変化などに留意し、市民・来訪者の利便性を向上させていきたいと考えています。	○	

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
65	b-2 大和八木駅南側	14	p9 D-3	八木駅南側 歩行者天国といった言葉もありますが、歩行者専用のベデストリアンデッキを八木駅から畷傍駅まで通して国道24号線、165号線を歩行者が渡らなくてすむようにする。 駅北口からエスカレーターでデッキを立ち上げ、PFI でできた市庁舎ホテルの横を通り、法務局・北庁舎・本庁舎 畷傍駅までデッキで結ぶようにすれば、市役所間の連携が車道を横断歩道で渡る必要がなく、歩行者が車動線と交差することなく安全に移動でき、八木駅周辺地区の回遊性が向上します。 八木西口駅の廃駅を含む再整理については、医大周辺の新駅整備もあるがむしろ、八木駅そのものの改善(西出入口の整備)と併せて検討した方が、利用される住民としては利便性の向上、利用継続には圧倒的に評価されるかと思っています。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の内容は、大和八木駅から畷傍駅までの間を立体デッキでつなぎ、回遊性を向上させるべきとの趣旨と思われます。回遊性の向上は、重要な課題であり、費用対効果等を考慮したうえで、良好なアクセスを提供できるよう整備を行ってきたいと考えています。	○	
66	b-4 八木町・畷傍駅	14	p7 B-2	八木町 畷傍駅 八木町エリア 下ツ道 西大路沿い 八木町エリアの計画を考えるにあたっては、下ツ道と西大路の街道沿いについては都市計画道路の廃止と併せて八木町にある文化財的価値の高い町家の調査をしっかりと行い、保全活用を支援すること併せて、住民が自らまちづくり、特に、八木町の景観を考えるような取組みとデザインコードを定めていくような取組みを支援していくこと求められています。今井町並みとはいかないが、江戸・明治の雰囲気をもつ街並みを形成していくことをめざすのが面白い街になると思います。		今後の取組みの参考とします。 当該エリアについては、まちなみ景観保存・育成エリアとして、景観の保存・育成が図れるよう、市・市民・民間事業者・市民活動団体等が一体となりまちづくりを行ってきたいと考えています。	○	
67	a 基本計画の考え方についての意見	14	p5	八木町全体 また周辺の八木町にあつては、A-5 の道路が狭いので密集した居住エリアの防災性能の確保も目指すべきものであると考えます。		今後の取組みの参考とします。 防災課題への取組みは、大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域において「橿原市地域防災計画」及び「橿原市強靱化計画」に基づいて進めることとなります。八木町のまちづくりに関しては、防災をはじめとした様々な観点を考慮のうえ、歴史的景観にふさわしいまちづくりのルール作り及び整備手法の検討を行ってきたいと考えています。	○	○

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
68	b-4 八木町・畝傍駅	14	p7 B-2	165号線沿い 現在、道路拡幅事業が実施されていますが、車道歩道の拡幅という効果はあるのですが、景観としてみた場合、何の付加価値も生んでいない状況です。 イメージとしては、大正昭和初期の町のイメージをコンセプトとしてデザインコードを持った整備をすることで下町道・西大路とは違うイメージで町の格を上げていくことが可能となり、街の回遊性を高めることになるかと思えます。銀行の後利用としてレストランとなっている建物のようなイメージを持てる街にはいいのではと思えます。春日神社・延命寺は曳家による建物の維持を含めて、現状の雰囲気を受け継ぎできるように拡幅を進め、街並みのイメージを大正昭和初期のイメージを打ち出し、畝傍高校の校舎につながるようにすれば面白くなるかと思えます。住民と一緒にデザインコードを定めるような街づくりを提案したいと思います。本計画においても住民協議においてまちづくりルールの作成を位置づけられていることは大賛成です。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の内容は、畝傍駅前通り線の改良事業に併せて、統一した町並みを形成するべきとの趣旨と思われる。周辺の町並みを考慮したうえで、畝傍駅・駅前広場整備のあり方を検討していきます。	○	
69	b-4 八木町・畝傍駅	14	p7 B-2	畝傍駅 畝傍駅については、貴賓室の活用もありますが、それにもまして、駅前広場としての機能を充実させることが重要かと思えます。そのためには、JA がやっているまほろばキッチンのミニ版のような道の駅的な商業施設を、昔あった団体待合室のデザインを再生させて作ります。そうすれば、大正昭和初期のデザインイメージが継承でき、かつ、人の流れも生まれ、街の回遊性を向上させることとなります。JR としても、駅利用者を増やせ、土地の有効利用にもなります。駐車場については、現市有地の駐車場の立体化等で現利用台数の確保も可能かと考えます。		今後の取組みの参考とします。 畝傍駅・駅前広場のあり方については、今後、鉄道事業者等と協議・調整したうえで検討を進めていきたいと考えています。ご指摘いただいた内容も考慮したうえで、検討を進めていきます。	○	
70	b-5 現庁舎	14	p8 C-1 C-2	現庁舎 少なくとも国道 24 号線を立体デッキでつなぐことを前提として市役所の建て替えを行うようにしてほしいと思えます。南北市役所の歩道は危険だし、待っている時間も長く、市役所の効率的な連携からもデッキでつなぐことを前提として整備を考えてほしい。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の内容は、ミグランス(分庁舎)から新本庁舎までを立体デッキでつなぐことにより、歩行者の利便性を向上させるべきとの趣旨と思われる。歩行者の利便性向上は、重要な課題であり、費用対効果等を考慮したうえで、良好なアクセスを提供できるよう整備	○	

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
						を行っていきたくて考えています。		
71	a 基本計画の考え方についての意見	14	p5	飛鳥川 豊かな水緑空間を維持整備し、近隣の住民の日常的な居住環境を整えることの追記をお願いします。		今後の取組みの参考とします。 飛鳥川に関するまちづくりの目指すべき姿として「飛鳥川沿いに点在する観光資源を結び、回遊ルートの形成」を掲げています。個別事業の計画においては、ご指摘にありました豊かな水緑空間の維持整備、近隣住民の居住環境の向上を考慮した回遊ルートを形成していきたいと考えています。	○	
72	a 基本計画の考え方についての意見	14	p5	1.4 エリア別の取組方針とまちづくりの目指すべき姿については、全体として「観光」や「にぎわい」への視点はありますが、地区内の居住者に対する視点(A-5 の防災性能の確保はあるものの)が少ないと思う。内膳町や八木町などの狭あい道路や不接道の敷地などにより放置されている空き家があり、その解消には、道路網の付け替え等の検討に行政がもっと積極的に関わるべきだと思います。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の通り、狭あい道路整備や空き家等対策につきましては、積極的に市が関わっていくべきであると考えています。また、市・市民・民間事業者・市民活動団体等が一体となり、良好な住環境となるようまちづくりを行っていきたくて考えています。	○	○
73	a 基本計画の考え方についての意見	14	p5	A-5 対象エリアに八木町畝傍駅を加えるべきです。		今後の取組みの参考とします。 防災課題への取組みは、大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域において「橿原市地域防災計画」及び「橿原市強靱化計画」に基づいて進めることとなります。八木町のまちづくりに関しては、防災をはじめとした様々な観点を考慮のうえ、歴史的景観にふさわしいまちづくりのルール作り及び整備手法の検討を行っていきたくて考えています。	○	○
74	b-5 現庁舎 b-6 飛鳥川	14	p6 A-7	⑤空き家等適正管理・利活用推進事業及び⑥橿原市移住促進事業の対象エリアとして、現庁舎、飛鳥川が入っているのは?		ご質問に回答します。 空き家等適正管理・利活用推進事業及び橿原市移住促進事業については、大和八木駅周辺地区内のみならず、市内全域で取り組むべき課題であると考えます。本計画においてもエリアを限定するのではなく、地区全体を対象とすることが妥当であるため、現庁舎・飛鳥川エリアも含めています。		
75	b-4 八木町・畝傍駅	14	p7 B-2	⑮(都)畝傍駅前通り線改良事業の内容の部分で、車道の拡幅と歩道の整備が書かれているが、歩道の整備は理解できるが、車道の拡幅については、どのような内容か。	●【基】p7	ご意見の趣旨を計画に反映します。 現在奈良県が主体となり事業を実施している(都)畝傍駅前通り線については、八木町3丁目(南本町商店街付近)から八木町1丁目(南都銀行付近)までが事業認可区間であり、車道の改良と歩道の		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
						整備を行います。加えて、八木町3丁目(南本町商店街付近)から八木町2丁目(春日神社付近)までの区間は右折車線の増設を行う予定です。 ご指摘の通り、『車道の拡幅』の表現では誤解を招きますので、『右折車線の増設を含めた車道の改良』と表現を変更します。		
76	b-4 八木町・ 畷傍駅	14	p10 B-2	基本計画図 八木札の辻界隈にある「お蔭まいり」の接待場の整備を是非行ってほしい。		今後の取組みの参考とします。 「お蔭まいり」の接待場付近につきましては、まちなみ景観保存・育成エリアと位置付け、歴史的景観にふさわしいまちづくりが必要であると考えています。現時点では、具体的な事業手法は決定していませんが、ご指摘のありました内容も含め検討を進めていきたいと考えています。	○	
77	a 基本計画 の考え方 についての 意見	14	p12	KPIについて 今井町まちなみ交流センター華蓋への入場者数、八木札の辻交流館への入場者数及び市民団体の育成数などを、指標として加えてはどうでしょうか。		ご質問に回答します。 本計画におきまして、目標の達成度合いを測る数値目標として現庁舎の耐震性能の確保のテーマから1指標(現庁舎の耐震化)、回遊性向上による観光振興のテーマから1指標(観光案内施設利用者数)、賑わい創出のテーマから2指標(連携推進区域内の空き店舗出店支援件数、複合施設のコンベンションルーム稼働率)の計4指標を設定しています。交通処理・交通ネットワークの検討については、計画対象期間となる平成34年度までの期間において効果をもたらす個別事業の予定はないため、指標からは除いていますが、その他の3テーマに関する指標は充足していると考えています。ご指摘のありました「今井町まちなみ交流センター華蓋への入場者数」、「八木札の辻交流館への入場者数」につきましては回遊性向上による観光振興、また、「市民団体の育成数」については賑わい創出のテーマに該当すると思われ、本計画の指標として採用しないこととします。		
78	b-1 大和八 木駅北側	15	p6 A-4	立体駐車場の再整備については、外壁の強化、異臭漂うトイレの改修単車・自転車用スペースの増大などやるべきことがあるが、基本的に、駐車場・駐輪場は必要だからこそ、ここにあるのであって、それを取り壊さなくては作れない駅前広場計画はすべきではない。		今後の取組みの参考とします。 市営八木駅前北駐車場のあり方を含む大和八木駅北側の再整備の検討にあたっては、まず立体駐車場の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後を除却するか、今後の方向性を決める	○	

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
						予定です。また、大和八木駅北側エリアの全体配置計画の検討の際には、社会情勢や交通流動の変化などに留意しながら、検討していきます。		
79	b-1 大和八 木駅北側	15	p6 A-4	駅前広場に通過交通を通す道路計画は、駅前の渋滞を招くため都市計画的にみてナンセンスであり、無用である。 また、今回の資料では曖昧にされているが、前回資料のような、道路を通すための立体駐車場取壊しであればなおさすべきではない。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の新賀町26号線と八木駅北側広場を結ぶアクセス道路整備事業は、近鉄大阪線より北側から大和八木駅へ来る際に渋滞している国道24号へ入らずに八木駅北側広場への進入を可能とすることによって利便性を向上すること、また国道24号の渋滞解消の一助となることを目的としています。駅前ロータリーには、通過交通を流入させないことが重要であると考えているため、大和八木駅北側エリアの全体配置計画の検討の際には、社会情勢や交通流動の変化などに留意しながら、駅前広場内への通過交通の進入はできるだけ排除できるように考えていきます。また、立体駐車場については、当該アクセス道路を通そうとすれば、必ず解体が必要となるというのではなく、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後を除却するかについては、一体的に検討をすべきものと考えています。	○	
80	b-1 大和八 木駅北側 b-2 大和八 木駅南側	15	p6 A-4 A-7	渋滞解消のためには、朝夕の大和八木駅送迎自家用車を国道24号線上に入れないという工夫が必要である。 具体的には以下の3点が考えられる。 ①文化会館広場を乗降客の送迎用に開放して、中和幹線からの進入・退出を推奨し、24号線の渋滞に関係させないようにする。 ②八木駅に西改札口を作るのであれば、そちらから送迎ができるようにロータリーを作り、道路を拡幅する。都市計画道路のセットバック設定を再利用した公開空地利用した地区計画を策定する。 ③上品寺町「八木北わんぱく公園」前から西へ踏切をわたり、線路際を北上して中和幹線につなぐ道路を整備して、24号線の渋滞から脱出するルートを確保する。 なお①、に関しては、毎月一回の近鉄百貨店の従業員家族向けセールの日の渋滞についても応用できるものとする。		今後の取組みの参考とします。 交通処理の検討については、大和八木駅周辺だけではなく、広いエリアへの影響を考慮したうえで検討していく必要があります。今後の検討においては、現状分析を行ったうえで、将来的な交通流動の変化にも対応できるよう進めていく必要があると考えています。 ご指摘のありました内容については、今後の検討の参考とさせていただきます。	○	

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				<p>・駅周辺に関し北の計画広場のみが、街路広場として早速有効、効率良く街路広場として運営、活用された。</p> <p>昭和 50 年代に 3 代目市長●●●●氏が県土木事務所職員から転出もあってか箱物市長との異名の市長でもあったが、昭和 50 年代に折角の駅北広場を立体駐車場にすると計画が表面に出て種々論議が分かれた。</p> <p>工事現場と直接関係の名店街関係者とは工期中の件もあり論議が続いた。</p> <p>工期 60～70% 進捗状態で多くの土地利用者からの国道西側から東側に移換する方式として、北から横断道南へ、店舗突き当りを西へ約 20 米の地下道から東側の不合理な不便性の声があがり、最終的に●●●●市長、●●●●議長、●●●●地元商店街会長(元市議)の三氏の協議の結果、市長の責任に於いて国道工事管理事務所と変更協議の結果、新設駐車場東側歩道の一部から東西の地下道に通じる約 3m の地下出入口を改めて設ける事になった。現在の藤原京レリーフの側である。</p> <p>結果として若干車道区分まで含め、建設中の駐車場の東西巾の若干の縮小変更止むなしとの事で現在に至っている。</p> <p>そのしわ寄せは、東西乗降の 2 本のスピンの円周の減少である。</p> <p>云うまでもなく屋上まで上がると女性の場合大変な労力である。敬遠されて当然である。現行、屋上不使用の実態を知る人は少なく、議会等でペンペン草云々程度で指摘されても現状は放置。屋上部分悪評の実態をこの際、隠蔽せずスピンの円周がきついのだと公表すべきである。</p> <p>・又、自動車 278 台の出口は西北の一ヶ所であり、その出口は、通行車両、益々増加中の道路への出庫が現状であり、駐車場計画時点で当然判断すべき事であった。</p> <p>当時からモーターゼーションの展開は予測できた筈であり、近鉄終電車を基本に、夜間 12:30 は出入禁止の駐車場である。</p> <p>・その上、建設当初、原動機付自転車、単車の地下1F 一部使</p>				

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				<p>用予定が竣工 3 ヶ月前の消防署の予備検査で排気装置不良から使用禁止で 1 階に変更、1 階に、工事中に協力の給付として名店街と 10 台の月極め契約の減少を余儀なくされる等、大変な状況での駐車場スタートである。もとより私有個人財産の土地を駅前街路広場として将来市の玄関としての空間の必要上、公共の大義のもとに街路広場を、後年立体駐車場に建設したのである。</p> <p>・北駐車場の採算性</p> <p>計算方式では現在、年間数千円程度の赤字で市民にも多く利用されている等のメリットらしき表現が議会等でなされているが、市有地は殆んどなく犠牲を伏して強引に街路広場 との公約で買収も含めた土地用地買収には計算に含まない等の公的方式によるもので計算方式によれば利益云々は疑問である。</p> <p>説明内容の市民とは京奈和自動車道の開通により(御所、五条市民からの八木駐車、大阪往復の市民利用者も八木まで車で、)寧ろ、本来の地元民は夜間利用不能の駐車場のデメリットは避け、民間駐車場は盛況の現況である。</p> <p>必要表現に更なる理解面が必要。</p> <p>使用上悪評のため、折角駐車構造約 40 台の使用閉鎖している屋上部分の実情も今回のパブコメ関係資料に公表すべきであった。</p> <p>以上、あらゆる面から無駄な補修を止め、一日も早い解体撤去し、新展開のもと合理的ビジョンを改めて策定すべき。</p>				
86	b-1 大和八木駅北側	16	p6 A-5	<p>駅前商業住居エリアに関連して一体的な整備の件殆んど意識されていない重要事項に都市銀行、地方のうちでも信用度の高い金融機関を有しているという事があります。</p> <p>八木町本町のまちなかから移転した協和銀行、●●氏の駅北側の将来を見通した八木支店を母店とした北出張所の経過と存在を不知や忘却してはいけません。</p> <p>時代の動向、経済関係の諸指標を判断の基準とするのは金融機関である事は言を俟たない。現りそなは、協和から数回の名称</p>		<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>現時点での本市の方針としては、市営八木駅前北駐車場のあり方を含む大和八木駅北側の再整備の検討にあたっては、まず立体駐車場の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後に除却するか、今後の方向性を決める予定となります。また、駅前広場計画に際しては、立体駐車場の存廃だけではなく、大和八木駅北側エリア全体での整備手法の検討が必要であると考えています。</p>	○	

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				<p>から替え、隣接の大和銀行まで吸収した、りそな奈良県下でも4、5店で、うち榎原店長は香芝支店まで包括責任者であり、南都銀行に至っては地元に着した地方銀行の雄たる事は万人の認めるところ、当時から八木駅を中心として南北の発展を見越し、北出張所新設(●●ビル)したのも昭和40~50年代であります。</p> <p>現立地と地域の発展、人の動線を歴史の上からも助言者と併行しての熟考であった。</p> <p>金融機関の変遷と共に為政者最重要な問題だと捉えなくてはなりません。</p> <p>昭和40年代から地元でお世話し、讃岐から来られた●●せともの店も知っております。又、転入、不知の新住民も多く前述の遊戯業の●●氏、●●ご夫妻、市議々長を務めた●●ビル●●、●●ご夫妻、今日程セレモニーホールはありません。</p> <p>何れも葬儀委員長として務めさせて頂いた地域一帯であります。</p> <p>金融機関の誘致と共に町の発展構想の経験者である自負からすれば不良駐車を整備してそれを基盤に延命の新ビジョンはあり得ない事で、平成26年3月25日、3月議会の最終日の午後7時より市役所4F会議室で、●●担当部長が責任者として会議が進行。</p> <p>内容は、昨秋10月に地権者を対象に「八木駅北側の再整備に関する意見調査について」</p> <p>○内容報告と将来の諸計画のビジョンの件でありました。</p> <p>①アンケート内容の北駐車場の存廃については、14:1の状況で交通状況の不都合と美観上、速やかな解体撤収でありました。</p> <p>会議時間約2時間半</p> <p>○その後開催された6月議会、9月議会を経て、9月20日マスコミでも報じられた解体、撤去であります。</p> <p>当時、八木駅南側には、内膳町自治会の自転車駐輪場予定が立体駐車場に発展して竣工後市に依託して市営南駐車場として、開場なんて間もない頃で、南側に北駐車場の代替えが出来たと評されたタイミングでもありました。</p>				

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				<p>駅南の内膳駐車場建設に関しては、偶然南側10億近い駐車場建設に北側地権者が数人含まれていたことも大きな力点でと評価された。</p>				
87	b-1 大和八木駅北側	16	p9 D-1	<p>新賀町26号線と駅北広場のアクセス道路について、前述の平成26年3月25日議会終了日、市役所4F会議室で北側関係地権者との会議、その際の説明内容と今回提示の資料と既に乖離が出来ている。又、駐車場解体、撤収を基本としたのが急速補修、残存とは別項に触れているが大問題である。</p> <p>事後の進展によっては、敢えて資料等を公開して正常な地域造りに事後も寄与する予定であります。</p>		<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>現時点での本市の方針としては、市営八木駅北駐車場のあり方を含む大和八木駅北側の再整備の検討にあたっては、まず立体駐車場の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後に除却するか、今後の方向性を決める予定となります。また、駅前広場計画に際しては、立体駐車場の存廃だけではなく、大和八木駅北側エリア全体での整備手法の検討が必要であると考えています。</p>	○	
88	a 基本計画の考え方についての意見	17	p1	<p>「日本国のはじまりの地榎原」という表現についてこの表現は、榎原市内に神武陵があるということと連想させて不適切です。神武天皇および神武陵が存在したというのは、科学的根拠がなく、神話の世界といえます。そのような神話の世界を根拠に「日本国のはじまりの地榎原」と強調することは後世に誤解を招くものと考えます。この表現はぜひやめるべきです。</p>		<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>「日本国のはじまりの地 榎原」とは、1ページに記載のとおり、あくまで日本で最初の条坊制の都である藤原京の造営、史上初めての本格的律令である大宝律令の制定によって、国としての基本的な形が整ったこと、さらに大宝律令にて初めて「日本」という国号が記されたことをもってその表現を採用する根拠としています。ご指摘にありましたように、神武天皇および神武陵が存在したことを根拠にしていると誤解をされないように、周知に努めます。</p>		○
89	b-1 大和八木駅北側	17	p6 A-4	<p>立体駐車場再整備について</p> <p>大和八木駅北側の立体駐車場は、現在、榎原市の立体駐車場のなかで唯一の黒字経営と聞いています。八木駅すぐそばの便利な所に位置し、市民からもよく利用されていて好評です。そのような立体駐車場をこわして、他の用途に活用することに大反対します。榎原市の収入源の1つとして役立っていますが、その立体駐車場をこわして他の施設に置き換えるとなると多大な費用を要します。榎原市の財政を無駄にするような愚作はやめるべきです。同立体駐車場は建物劣化を防ぐ補強工事のみに留めるべきです。</p>		<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>市営八木駅北駐車場は、昭和57年に建築されてから36年経過しています。「榎原市公共施設等総合管理計画」において、長寿命化を図る公共施設については、大規模改修を築後35年、建替えを築後75年とする目安が示されていることから、立体駐車場については、まず建物の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後に除却するか、今後の方向性を決める予定です。</p>	○	
90	d 大和八木駅周辺地区	17	p38	<p>新本庁舎整備の考え方</p> <p>榎原市には榎原市民が気楽に活用できるサークル活動を行える</p>		<p>ご要望として承ります。</p> <p>新本庁舎については新本庁舎建設基本計画を別途検討中であり</p>		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
	まちづくり検討委員会協議資料についての意見			場所がありません。たとえば囲碁・将棋を定期的に行えるサークル活動の場がとほしいです。新本庁舎には、榧原市民が安易につどえるサークル活動の場を安い値段で提供してほしいと思います。八木駅周辺でサークル活動ができるとなると交通の便もよく利用しやすいです。必ずしも新本庁舎内ということにはこだわりませんが榧原市民が気楽に活用できるサークル活動の場をもっと提供していただければ大変ありがたく思います。		ますが、「耐震性能を有し、災害活動拠点となる庁舎」「市民に開かれた庁舎」などを現時点のコンセプト案としており、今後のまちづくりに寄与できる拠点として整備していきたいと考えています。ご指摘の内容については、今後検討を進めていくうえで、参考とさせていただきます。		
91	a 基本計画の考え方についての意見		18	<p>総論</p> <p>計画にはいくつか重要な視点が欠けているように読めてしまう。大阪府北部地震、西日本豪雨、そして夏の酷暑。東日本大震災や熊本地震など、直近でなくても大きな災害が何度も発生している。八木駅周辺のまちづくりについて、防災をテーマの一つとして掲げないことに強い違和感を感じる(本庁舎の耐震性能の確保はテーマになっているが、それだけが駅周辺の防災課題なのだろうか?)。</p> <p>市民の生命や財産にとって重大なテーマが柱になっていない一方で、将来ビジョンには「賑わい」「快適な駅前空間」「地域の交流」「観光振興」といった漠然とした言葉が踊っている。これらの言葉の定義があいまいで、その目的や対象が明らかになっていない。何を指すのかを提案し、道筋を示すのが基本計画であるにもかかわらず、その一番重要な部分が明確になっていない。こうして、柱に据えるべき命題を柱に据えず、「賑わい」や「都市活力」といったあいまいなワードを掲げるのは、市民の安全安心を軽視していると捉えられかねないし、事業の結果について責任を持つべき行政の姿勢としてふさわしくない。</p> <p>さらに、根本的な問題として、パブリックコメントを市民に求めているにもかかわらず、市民に対して選択肢を提示していないのはどうしてなのか。我々も榧原市の一員であり、税金の使い道に対して意見を言う権利がある。にもかかわらず、行政はただ一本の道を示すだけだ。いったい何をパブリックコメントに期待しているのか。</p>		<p>ご要望として承ります。</p> <p>平成28年12月に策定されました大和八木駅周辺地区まちづくり基本構想におきまして、市及び大和八木駅周辺地区の地域特性を把握し、まちづくりのコンセプトと将来ビジョンを掲げ、大和八木駅周辺地区の課題を整理したうえで、まちづくりの4つのテーマと18の取組方針を設定しています。また、本基本計画はまちづくり基本構想を実現するために、効率的、計画的に事業を展開できるまちづくりの戦略として策定します。基本計画を策定することにより、市内部はもちろんのこと、市民の皆様も共通の目的意識を持つことができ、各事業課が独自で事業を行っていく場合と比べ、連携して事業を実施しますので、事業効果の発現もより早くなることが期待でき、相乗効果を生むと考えています。なお、今回実施しておりますパブリックコメントについては、住民参加型ワークショップや市民アンケートにいただいたご意見を基に検討しました市が考える今後の方向性に対して多様なご意見をいただきたいという趣旨でありますので、市民の皆様には選択肢を提示する内容とはなっていません。</p>		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				<p>前述したような根本的な問題を抱えるに至った理由は、現行の行政がやろうとしている事業に正当性を与えんがためにこの計画作りを進めているからではないか。計画案を読めば、事業が先にありきで、それに合わせるようにしてコンセプトやビジョン、テーマといった枠組みが定められたように感じられる。計画案の中に、事業と枠組みが一致していない、もしくは説明が不足しているためにつながりが理解できない部分が多々あるからだ。また、ビジョンやテーマといったある程度抽象性を持たせた記載の中で、特定の建物や特定の案件など他にない具体性をもって記述される特異な部分があることも気になる。たとえば八木駅北側の立体駐車場。以前から行政が解体の方向性を打ち出そうとしては議会で疑問を呈されている案件である。</p> <p>本来であれば、ワークショップの中でしっかりとコンセプトや将来ビジョンを練り、さらに現行の課題をしっかりと把握した上で、具体的な実現方法を立案していくはずだ。しかしながら、時間が無いというも分からないではない。であれば、まちづくりのテーマ再編成だけはやってほしい。このままでは賑わいなどといった漠然としたもののために、貴重な税金をつぎ込むことになりかねない。せめて、将来ビジョンへの実現度をはかるため、それぞれに検証可能な指標を設けておくべきだ。そのためにも、たとえば誰のため、何のための「賑わい」なのか、将来ビジョンに含まれるあいまいな言葉に対応する指標を定めるべきだ。そうしておかないと、計画案に「課題」として書かれている人口減少や高齢化に対し、事業がどのように資したのかが分からなくなってしまう。</p>				
92	a 基本計画の考え方についての意見		18 p1	日本国始まりの地であるから、何が大事なのか、ということについてヒントとなる言葉にも少し触れておいた方が、後のコンセプト提示の時に理解しやすいのではないかと。	<p>●【基】p1</p>	<p>ご意見の趣旨を計画に反映します。</p> <p>ご指摘の内容は、「日本国はじまりの地」という言葉が誤解を招かないよう補足内容を追記すべきとの趣旨と思われます。</p> <p>ご指摘をうけまして、1ページ本文4行目、『これらをもって「日本国はじまりの地」』という表現を『日本で最初の条坊制の都である藤原京の造営、史上初めての本格的律令である大宝律令の制定によって、国としての基本的な形が整ったこと、さらに大宝律令にて初め</p>		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
93	a 基本計画の考え方についての意見	18	p2	中南和地域の拠点という意味をここでは「広域的観光拠点の玄関口」と位置づけている。ここでの記述は問題がないと思うが、コンセプトではより広い意味に捉えられる「中南和地域の拠点都市」という言葉に変化しているため、整合性を取っていただきたい。	● 【基】p2	で「日本」という国号が記されたことから「日本国はじまりの地」と変更します。 ご意見の趣旨を計画に反映します。 ご指摘の通り、「広域的観光の拠点の玄関口」と「中南和地域の拠点都市」といった表現が混在しており、誤解を招く可能性がありますので、2ページ本文1段落4行目、『広域的観光の拠点の玄関口』という表現を『観光の玄関口』と変更します。		
94	a 基本計画の考え方についての意見	18	p2	「市の観光振興の起爆剤となる」→「市の観光振興の起爆剤としたい」と現実即した表現にするべきだ。今現在、起爆剤になっているかといえば、いまだ結果がはっきりと見えていない段階では表現過剰だろう。そうしたいという市長の気持ちはわかるので、上記のような実状に即した表現にしてほしい。		ご要望として承ります。 平成30年2月のミグランス(分庁舎と宿泊施設を含む観光施設からなる複合施設)の供用開始以降、本市を訪れる観光客数は増加傾向にありますので、ご指摘のあった2ページ本文2段落4行目は、現在の表現の通り『市の観光振興の起爆剤となる』は変更しないこととします。		
95	a 基本計画の考え方についての意見	18	p2	「昭和57年に建設された市営八木駅前北駐車場を含め、駅周辺において老朽化した施設があることにより、都市の活力が衰退していくことが懸念される」→全面的に削除するべき。削除しないなら、老朽化施設があることで都市の活力が衰退する、という因果関係が成立する根拠を述べてほしい。そもそも歴史的背景や歴史的文化的財の一つの魅力としている都市が、施設の老朽化を都市衰退の原因にするというのは説得力に欠ける。むしろ、都市の活力が衰退するに依る施設も老朽化しているという見方の方が実態に即しているのではないか。都市活力の衰退や駅前施設の老朽化の責任の一端は行政にもあるわけで、そこを無視し、施設を新設すれば都市活力が高まるという無根拠なことを掲げるのは問題がある。高齢化、老朽化＝活力低下としたいのであれば、それには根拠を示していただきたい。「それは都市の活力という意味を取り違えている」というのであれば、都市活力の定義を詳細に述べていただきたい。文書の体裁として将来ビジョンの提示をしていない段階で、計画内で後述される事業実施への意図をにじませるのは不適切であり、計画策定の背景に関する事実を述べるとどめるべきだ。	● 【基】p2	ご意見の趣旨を計画に反映します。 ご指摘の通り、現在の表現では老朽化した施設があることで都市の活力が衰退するという誤解を招きますので、2ページ本文3段落2～4行目、『高齢化が進展している状況である。また、昭和57年に建設された市営八木駅前北駐車場を含め、駅周辺において老朽化した施設があることにより、都市の活力が衰退していくことが懸念される』という表現を『高齢化が進展している状況であり、都市の活力が衰退していくことが懸念される』と変更します。		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
96	a 基本計画の考え方についての意見	18	p2	「課題を解決し、さらなる活気や賑わいを創出することが求められている」→「課題を解決し、さらなる活気や賑わいの創出が求められている」。文章は短く簡潔に。ここ以外の文章についても同様に見直してほしい。		ご要望として承ります。 ご指摘の内容は、文章が長いと感じられるとの趣旨と思われませんが、2ページ本文3段落5～6行目については、『課題を解決し、さらなる賑わいを創出することが求められている』という現在の表現が適していると思われしますので、変更はしないこととします。		
97	a 基本計画の考え方についての意見	18	p2	「上述の～～進めていくこととする」→全面的に削除。ここで書かれるべきなのは計画策定の背景である。仮にそうした取組みが一部でもなされているのであれば、その事実関係を記すとどめるべきであり、ここで背景と関係がない結論めいたことを述べるのは不適切だ。		ご要望として承ります。 ご指摘の内容は、基本計画策定の背景と関係のないことを書くべきではないとの趣旨と思われませんが、2ページ本文4段落目の内容については、基本計画を策定していく過程において、特に重要な概念として記述しています。この段落があることにより、なぜ基本計画は必要であるのかに加えて、基本計画を検討していくうえでの重要な前提条件を伝えることができると考えていますので、変更はしないこととします。		
98	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4	日本語の表現にやささか誤解を生じる部分がある。また、ビジョンを提示するにあたって unnecessary 文が散見される。コンセプト「近代的な都市機能」→「現代的な都市機能」の方がいい。近代というと現代より少し前時代という印象を与える。モダンな少し古い表現に感じられる。		ご要望として承ります。 「近代的な都市機能」という表現ですが、ここでは後に続きます「伝統的な歴史的景観」と対比する表現として用いており、新しい都市機能と古くから続く文化資産の共存および融合をまちづくりのコンセプトとしています。近代的という言葉には「近代の性質を備えていて、いかにも新しい感じを与えるさま」の意味が含まれており、既に整備された機能を維持しつつ新たな付加機能を取り入れ整備していくという表現として適していると考えています。		
99	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4	コンセプト「中南和地域の拠点都市にふさわしい都市機能」→「中南和地域の観光拠点」の方がよりわかりやすい。2ページへの指摘で述べたが、ここでは具体的な言葉にしてより伝わるようにしてほしい。		ご要望として承ります。 「奈良県都市計画区域マスタープラン」によると、大和野は、奈良市と橿原市の2大拠点と16の主要生活拠点を中心とした日常生活圏から成る一つの都市空間と考えられており、本市は県内の副次拠点と位置づけられています。このことから『中南和地域の拠点都市にふさわしい都市機能』という表現は適していると考えられ、変更しないこととします。なお、2ページ本文1段落4行目、『広域的観光の拠点の玄関口』という表現を『観光の玄関口』と変更しますので誤解を招く表現は避けることができていると考えています。		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
100	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4	コンセプト「日本国始まりの地にふさわしい」というのもよくわからない。ふさわしい、とはどのようなものかがいまいち分からないので、1ページ目にヒントとなる言葉を足すと同時に、別に補足が必要ではないか。		ご要望として承ります。 ご指摘の内容は、日本国はじまりの地という表現が分かりにくいいため、ふさわしい内容が分かりづらいのではないかと趣旨と思われる。日本国はじまりの地については、1ページにて記述しており、さらに、1ページ本文4行目、『これらをもって「日本国はじまりの地」という表現を『日本で最初の条坊制の都である藤原京の造営、史上初めての本格的律令である大宝律令の制定によって、国としての基本的な形が整ったこと、さらに大宝律令にて初めて「日本」という国号が記されたことから「日本国はじまりの地」と変更しますので、『日本国はじまりの地「榎原」にふさわしい広域観光の玄関口の形成』については変更しないこととします。		
101	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4	将来ビジョン1について「民間ノウハウの活用を図り」→削除が望ましい。将来的なビジョンをうたうのに手法に触れるのは蛇足。		ご要望として承ります。 ご指摘の内容は、将来ビジョン①の説明文内の『民間ノウハウの活用を図り』という表現が、手法を表す内容であるため、適していないとの趣旨と思われます。『民間ノウハウの活用を図り』は、今後行政のみで事業の全てを実施することは限界があり、民間のノウハウを取り入れていきたいというビジョンを伝える表現として適していると考えられるので、変更しないこととします。		
102	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4	将来ビジョン2について「市民や来訪者のニーズに応じた賑わい事業を実施し、かつ市民や地域団体が参画するまちづくりを進めることで地域の交流を深め、都市の賑わいを創出する」→「市民や来訪者のニーズに応じ、行政と市民が協働でまちづくりを進めることで地域の交流を深め、都市の賑わいを創出する」にする。あくまでもビジョンなので、ここだけとってつけたように注釈をつけたりするのは意味がない。ビジョンを具体的に書き起こす段階で説明をすればよい。		ご要望として承ります。 ご指摘の内容は、将来ビジョン②の説明文内に具体的な表現を避けるべきとの趣旨と思われます。『市民や来訪者のニーズに応じた賑わい事業を実施し、かつ、市民や地域団体が参画するまちづくりを進めることで地域の交流を深め、都市の賑わいを創出する。』は、将来ビジョン②にある「賑わい事業の創出と地域の交流」を説明する表現として必要と考えていますので、変更しないこととします。		
103	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4	まちづくりの4つのテーマと18の取組み方針について、ビジョンからのつながりが見えにくく、一読して飛躍ではないかと思える点も散見される。ビジョンをより具体的に書いたものがなく、ビジョンと取組みの因果関係が見えにくい。さらに、テーマと不一致に見える点もある。テーマを練り直した方が目標がより明確化されると		ご質問に回答します。 ご指摘の内容は、まちづくりの将来ビジョンからまちづくりの4つのテーマと18の取組み方針のつながりが分かりにくいとの趣旨と思われます。4ページについては、平成28年12月に策定された大和八木駅周辺地区まちづくり基本構想の概要を伝える内容となります。		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				考える。また、取組み方針においては、コンセプト程度の事例と、具体的な事業が見え隠れする事例の差が激しく、計画書の外枠だけ先につけておいて、役所内で検討されていた取組みを当てはめただけに思えてしまう。計画書をつくるからには、コンセプト、ビジョン、テーマを順番に丁寧に考えてもらいたいが、計画を検討する委員と、札をすでに持っていた役所との間に十分なコミュニケーションがあったのか疑問がわいてしまう。		基本構想におきまして、市及び大和八木駅周辺地区の地域特性を把握し、大和八木駅周辺地区の課題を整理したうえで、まちづくりの4つのテーマと18の取組み方針を設定しています。なお、大和八木駅周辺地区まちづくり基本構想については、ホームページにてご確認いただけます。		
104	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4	テーマA.賑わい創出について。そもそもどのような種類の賑わいを創出するのが少しも具体的に示されていない。ビジョンにおいてうたわれる賑わいを具体的に書き起こし、その上で取組み方針を示さないと構想の先にある具体的な事業が想起しにくい。		ご質問に回答します。 ご指摘の内容は、テーマA「賑わいの創出」という表現がどのような賑わいを指しているかわかりづらいとの趣旨と思われます。ここでいう賑わいとは、特定の事象を対象としているのではなく、一般的に使用されています「人が大勢出てにぎやかになる、繁栄する、富み栄える」という意味としてまちづくりのテーマを表現していますので、変更しないこととします。		
105	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4 A-4	これだけ突出して具体的であり、立体駐車場をどうにかして新たな整備をしたいことがよく分かるが、明確な定義がない「賑わい」をこの事業で創出できるのかどうか、この資料では根拠も示されておらずまったく分からない。		ご質問に回答します。 A-4「立体駐車場の再整備や駅前広場の機能の充実による賑わいの創出」については、タクシーパース、一般自動車乗降スペース等、駅前広場に必要機能の確保に加え、榎原三号歩行者専用道路を活かした大和八木駅南側の商店街エリアから大和八木駅北側の駅前広場の南北の歩行者動線を確保し、大和八木駅南北間の回遊性向上を図ることで、駅前空間の有効活用や市民・来訪者の利便性を向上させることによる賑わい創出の効果を想定した取組み方針です。		
106	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4 A-5	道路の狭いエリアの防災性能確保というのは、どこが賑わいにつながるのか。		ご質問に回答します。 A-5「道路が狭い密集した居住エリアの防災性能の確保」については、土地利用の高度化や環境・景観形成の推進などにより、防災機能を確保し、生活利便施設を設置することなどにより、駅前空間の有効活用や生活の質の向上を図ることによる賑わい創出の効果を想定した取組み方針です。		
107	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4 A-7	多世代にとって便利で住みやすい環境の確保、がどう賑わいにつながるのか。		ご質問に回答します。 A-7「多世代にとって便利で住みやすい環境の確保」については、		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
	についての意見					大和八木駅周辺のみならず、市内全域において取組むべき内容ではありますが、空き家等対策、橿原市への移住の促進及び大和八木駅の利便性の向上などにより、生活の質の向上を図ることによる賑わいの創出の効果を想定した取組方針です。		
108	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4	テーマ B。そもそも回遊性が向上したら観光振興につながる根拠を示してほしい。回遊性向上以外による観光振興は八木駅周辺では考えないということなのか？		ご質問に回答します。 大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域における観光振興の取組みについては、「橿原市観光基本計画」に基づいて進めることとなります。本基本計画においては、まちづくりの観点から回遊性を向上させることが、観光振興に寄与すると考え、テーマを設定していますので、大和八木駅周辺の観光振興について回遊性向上以外は考慮しないという内容ではありません。		
109	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4 B-1	駅前にある観光案内施設へのアクセスを向上させる意味と効果の根拠は？		ご質問に回答します。 広域観光の玄関口として、来訪者の方にまず大和八木駅周辺の観光案内施設にお立ち寄り頂くことは重要であると考えています。しかし、かしはらナビプラザ及びミグランス内の観光振興支援室の位置が分かりづらいとの声もあり、観光案内施設を来訪者に広く知っていただくということでB-1「大和八木駅から観光案内施設等へのアクセス性の向上」を取組方針としました。		
110	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4 B-2	現状であまり人が歩いていないのはルートに魅力がないからという証拠は？		ご質問に回答します。 大和八木駅周辺の課題の一つとして、観光案内板の不足、観光ルートの周知不足など「拠点間の回遊性のある歩行者ネットワークが形成されていない」ことがありますので、取組方針としてB-2「大和八木駅から今井町、畝傍駅、八木町への観光ルートや藤原京等への飛鳥川遊歩道観光ルートの周知、及び飛鳥川遊歩道の整備など、回遊でき歩きやすくなるルートづくり」を掲げています。		
111	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4 B-3	言葉が難しすぎる。「鉄道やバス、タクシーなどをインターネットでつなぎ、乗り継ぎなどを便利にする」でいいだろう。		ご要望として承ります。 ご指摘の内容は、B-3「公共交通、観光、生活サービスネットワークをICT技術によってつなぎ、多様な都市サービスを提供し、交流人口の回遊性を高めるとともに市民に対し良質なサービスを提供」という表現が難しすぎるとの趣旨と思われそうですが、ここでは、将来		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
						にわたり様々な発展を考慮し、事柄を限定せずに検討していくという考えから表現を変更しないこととします。		
112	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4	テーマ C。八木駅周辺の防災課題は本庁舎の耐震性のなさだけなのか？		ご質問に回答します。 防災課題への取組みは、大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域において「橿原市地域防災計画」及び「橿原市強靱化計画」に基づいて進めることとなります。ここでは、災害活動拠点と位置付けられる現庁舎の建替えについてまちづくりの観点から取組んでいくことから「現庁舎の耐震性能の確保」をテーマとして掲げています。		
113	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4 C-1	狭い道、崩れやすい木造家屋などが集中するエリアであり、ここを災害活動拠点とするには課題がある。鉄道橋が崩れた場合、職員の足も失われるし、道路が寸断されれば拠点性を失うことは容易に想像できる。再考してほしい。拠点という位置づけをやめる、もしくはテーマを本庁舎だけでなくエリア全体の防災にして全体的な課題解決を提示するべきだ。		ご要望として承ります。 新本庁舎の建設につきましては、複数の建設候補地を比較検討した結果、周辺の鉄道駅及び道路からのアクセス性と今後の周辺まちづくりの観点から、現庁舎敷地に建替えることとしています。新本庁舎に設ける災害対策本部は、災害時の指揮命令、情報収集・集約、関係機関との連携等の役割を担う災害活動拠点とし、緊急物資は橿原運動公園で集約し、ボランティアは社会福祉協議会で受付することになります。また、本庁舎には、本庁舎付近の方が一時的に避難されますが、その後指定避難所に避難してもらうこととなります。なお、大地震発生時の職員参集の交通手段は、徒歩及び自転車等となっているため、影響は少ないと考えています。		
114	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4 C-2	駅前に新たに分庁舎を造っておいさまら集約というのはどうなのかと思う。おそらく畝傍御陵前駅前の分庁舎や万葉ホール内の部署のことを言っているのだろうが、上で述べた課題を解決する方向性を示さないと防災上有利な場所だとはいえない。		ご要望として承ります。 本市のこれまでの行政機能は、本庁舎、保健福祉センター、かしはら万葉ホールなどに分散されていました。分庁舎(ミグランス)の供用に伴い、総合窓口機能などある一定の集約が図られたところですが、今後もより一層の市民サービスと利便性を図るためにも、行政機能の集約化を促進することが求められています。新本庁舎に設ける災害対策本部は、災害時の指揮命令、情報収集・集約、関係機関との連携等の役割を担う災害活動拠点とし、緊急物資は橿原運動公園で集約し、ボランティアは社会福祉協議会で受付することになります。また、本庁舎には、本庁舎付近の方が一時的に避難されますが、その後指定避難所に避難してもらうこととなります。な		

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
						お、大地震発生時の職員参集の交通手段は、徒歩及び自転車等となっているため、影響は少ないと考えています。		
115	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4	テーマ D. 交通網に防災の視点がまったくないのが気になる。やはりテーマ C を防災にすべきではないだろうか。		ご要望として承ります。防災課題への取組みは、大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域において「榎原市地域防災計画」及び「榎原市強靱化計画」に基づいて進めることとなります。テーマ D「交通処理・交通ネットワークの検討」については、防災の視点も含めてまちづくりに寄与できる検討を行っていきたくと考えています。		
116	a 基本計画の考え方についての意見	18	p5	防災の観点が無い。市民のみならず、観光にとっても欠かせない視点だろうと思う。ワークショップでは防災に触れた意見も出ていたと思うが、どこへいったのか。		今後の取組みの参考とします。防災課題への取組みは、大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域において「榎原市地域防災計画」及び「榎原市強靱化計画」に基づいて進めることとなります。ご指摘の通り、市民のみならず、観光にとっても欠かせない視点ですので、今後個別事業を行っていくうえで、取組みの参考とさせていただきます。	○	○
117	b-2 大和八木駅南側	18	p6 A-1	八木駅南市有地活用事業の観光イベント事業が始まっているとある。では現状、どの程度観光客が増えたのか示してほしい。事業が始まっているのであれば、その検証も進めていただきたい。		今後の取組みの参考とします。平成30年2月のミグランスの供用開始以降、本市を訪れる観光客数は増加傾向にあります。今後も引き続き効果を検証していき、市民の皆様にも情報を公開していきたくと考えています。		○
118	b-1 大和八木駅北側	18	p6 A-4	これからの車はすべて自動運転になり、駅前まで乗ってきたら自宅までひとりで帰るから駅前駐車場は必要ない、という未来を語る人がいる。将来的にはそうなるのかもわからないし、そうならいいなと思う。しかしながら、今日明日ではそうならない。そして現在、あの立体駐車場は年間数千円の高額な収入を市の会計にもたらしている。加えて、自動車への貸し出しスペースは余っているが、自転車やバイクの貸し出しスペースは不足している。余っている車の貸し出しスペースを自転車やバイクに転用することで、収入が今より上がることは確実なので、来るべき未来がやってくるまでは、市の貴重な黒字施設として使うべきではないか。耐震性についても新耐震基準になってからの建物だと聞いており、今しばらくは問題はないはずだ。そもそも、立体駐車場を壊して何をするかというと、渋滞緩和の		今後の取組みの参考とします。市営八木駅前北駐車場は、昭和57年に建築されてから36年経過しています。「榎原市公共施設等総合管理計画」において、長寿命化を図る公共施設については、大規模改修を築後35年、建替えを築後75年とする目安が示されていることから、立体駐車場については、まず建物の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後に除却するか、今後の方向性を決める予定です。また、大和八木駅北側エリアの全体配置計画の検討の際には、社会情勢や交通流動の変化などに留意しながら、検討していきます。		○

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
				ための交差点改良だという。しかしながら、渋滞の根本的な原因は駅ガード下交差点のせいではなく、葛本町や小房町といった駅南北からの自動車流入量が減らないからではないのか。実際、京奈和道路の途切れた部分が開通すればこちらの自動車流入量が減る。費用対効果を測定し、やるべきか、やらざるべきかという意見を市民に求めてほしい。				
119	b-1 大和八木駅北側	18	p6 A-5	道路狭隘の居住エリアの防災性能の確保、とある。しかしながら、八木駅前と新賀町などのあたりが狭隘なら、八木町あたりはさらに狭隘だろう。防災という枠組みを設けないからこうした穴が開く。防災に関してテーマを再編し、事業内容を再検討すべきだ。		今後の取組みの参考とします。防災課題への取組みは、大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域において「榎原市地域防災計画」及び「榎原市強靱化計画」に基づいて進めることとなります。八木町のまちづくりに関しては、防災をはじめとした様々な観点を考慮のうえ、歴史的景観にふさわしいまちづくりのルール作り及び整備手法の検討を行っていきたくと考えています。	○	○
120	b-1 大和八木駅北側	18	p6 A-4 A-5 A-7	事業名④について そもそも駅前再整備を行う理由がいまいち見えてこない。地元が望むなら、地元からそうした構想が行政に示されてもいいはずだが、そうした構想が公開されていないのであれば、市民全員の税金をつぎ込む正当性ははまだ証明されていないと考える。単に、緑色の立体駐車場がみつからないから、外壁のタイルが落ちそうだからなどという感情論ではいけない。なぜなら、色は塗り直せばいいし、タイルが落ちそうならすべてのタイルを外してしまえばいいからだ。巨額を投じる事業であればこそ、説明不足のまま駅南側に税金をつぎ込んで造ったホテル・分庁舎と同じ轍を踏まないでいただきたい。		今後の取組みの参考とします。市営八木駅前北駐車場は、昭和57年に建築されてから36年経過しています。「榎原市公共施設等総合管理計画」において、長寿命化を図る公共施設については、大規模改修を築後35年、建替えを築後75年とする目安が示されていることから、立体駐車場については、まず建物の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後に除却するか、今後の方向性を決める予定です。基本計画策定後の個別事業段階においては、市・市民・民間事業者・市民活動団体等の積極的な参加・参画が不可欠であると考えています。今後も、市の計画についてはできる限り市民の皆様にも情報を公開し、積極的に参加・参画していただける体制を築いていきたくと考えています。	○	
121	b-2 大和八木駅南側	18	p6 A-7	事業名⑦について 八木駅西出口の整備は、八木西口駅の移転と関係するのかわかりませんが、八木西口駅が移転するのであれば、駅の北西側と南西側への乗降口の両方を考えてほしいが、移転しないのであれば北西側への乗降口だけでいいかもしれない。いずれに		今後の取組みの参考とします。榎原市は八木西口駅について、現状のまま存続する意向です。医大周辺のまちづくりでは、あたらしいまちの中心に新駅があることは自然な姿であるということで、奈良県と近鉄との三者協議を進めています。鉄道事業者である近鉄は、八木西口駅を移設して新	○	

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
				せよ、八木西口駅の処遇に関して説明がなければ、この事業の内容を検討することはできないはずだ。		駅を整備することを前提にされています。時間はかかりますが今後も引き続き八木西口駅と新駅が併存できるように協議を継続してまいります。 また、大和八木駅の利便性の向上は、八木西口駅の存廃に関わらず、必要な事業であると考えていますので、駅の利用状況の調査を行ったうえで、今後の社会情勢や交通流動の変化などに留意しながら、検討していきます。		
122	a 基本計画の考え方についての意見	18	p4	回遊性向上による観光振興と書くということは、回遊性向上以外の観光振興は考えないのか？		ご質問に回答します。 大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域における観光振興の取組みについては、「橿原市観光基本計画」に基づいて進めることとなります。本基本計画においては、まちづくりの観点から回遊性を向上させることが、観光振興に寄与すると考え、テーマを設定していますので、大和八木駅周辺の観光振興について回遊性向上以外は考慮しないという内容ではありません。		
123	b-7 地区全体	18	p8 B-3	文章が難しすぎる。もっと簡単に書いてほしい。		ご要望として承ります。 ご指摘の内容は、B-3「公共交通、観光、生活サービスネットワークをICT技術によってつなげ、多様な都市サービスを提供し、交流人口の回遊性を高めるとともに市民に対し良質なサービスを提供」という表現が難しすぎるとの趣旨と思われそうですが、ここでは、将来にわたり様々な発展を考慮し、事柄を限定せずに検討していくという考えから表現を変更しないこととします。		
124	b-5 現庁舎	18	p8 C-1 C-2	そもそも道路狭隘などがある地域であり、木造建築も多い。交通の断絶などが起こりうることを考えれば、災害時に人的物的な拠点となる防災拠点を設けるには適所とは言えず、なおかつ八木西口駅の病院側への移転がいられている中で、現在地に本庁舎機能を設けることに疑問がある。しかしながら行政が提案し、議会が承諾した以上、よほどのことがないかぎり方針に変更がないことを前提にするならば(相次ぐ大規模災害をみると考え直しても良いと思うが……)、せめて、この場所を行政機能の災害対策拠点に位置づけるのはやめておいたほうが良いと考え		ご要望として承ります。 新本庁舎の建設につきましては、複数の建設候補地を比較検討した結果、周辺の鉄道駅及び道路からのアクセス性と今後の周辺まちづくりの観点から、現庁舎敷地に建替えることとしています。新本庁舎に設ける災害対策本部は、災害時の指揮命令、情報収集・集約、関係機関との連携等の役割を担う災害活動拠点とし、緊急物資は橿原運動公園で集約し、ボランティアは社会福祉協議会で受付することになります。また、本庁舎には、本庁舎付近の方が一時的に避難されますが、その後指定避難所に避難してもらうことにな		

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
				る。八木駅周辺地域の住民らにとっての災害拠点であれば歓迎したい。		ります。なお、大地震発生時の職員参集の交通手段は、徒歩及び自転車等となっているため、影響は少ないと考えています。		
125	b-1 大和八木駅北側	18	p9 D-1 D-2	このアクセス道路がどれほど効果的なのか疑問がある。そもそも中和幹線側と万葉ホール側からの自動車流入量が渋滞を引き起こしているものであり、その間の道路がいくら増えたところで入り口と出口が変わらなければ意味がない。きちんと効果測定をして、やるべきか、やらざるべきかを市民に問うてほしい		今後の取組みの参考とします。 大和八木駅周辺の幹線道路である国道24号は駅周辺に用事のない通過交通が流入することによって渋滞を引き起こしていると考えられます。ご指摘の新質町26号線と八木駅北側広場を結ぶアクセス道路整備事業は、近鉄大阪線より北側から大和八木駅へ来る際に渋滞している国道24号へ入らずに八木駅北側広場への進入を可能とすることによって利便性を向上すること、また国道24号の渋滞解消の一助となることを目的としています。京奈和自動車道の開通による交通流動の変化なども考慮したうえで、検討を進めていきたいと考えています。なお、基本計画策定後の個別事業段階においては、市・市民・民間事業者・市民活動団体等の積極的な参加・参画が不可欠であると考えています。今後も、市の計画についてはできる限り市民の皆様へ情報を公開し、積極的に参加・参画していただける体制を築いていきたいと考えています。	○	
126	b-2 大和八木駅南側	18	p9 D-3	現在のところ、駅南側のホテル・分庁舎が観光客によってあふれかえる状況はないため、様子を見た方がいい		今後の取組みの参考とします。 交通処理の検討については、複合施設周辺だけではなく、広いエリアへの影響を考慮したうえで検討していく必要があります。今後の検討においては、現状分析をしたうえで、将来的な交通流動の変化にも対応できるよう進めていく必要があると考えています。	○	
127	b-4 八木町・畷傍駅	18	p9 D-4	こうした大事な話はこういうところでこっそり書かず、きちんと中身を公開して議論してほしい。これだけをここに書いて何をどう意見しろというのか。		今後の取組みの参考とします。 当該エリアについては、まちなみ景観保存・育成エリアとして、景観の保存・育成が図れるよう、市・市民・民間事業者・市民活動団体等が一体となりまちづくりを行っていきたくと考えています。ご指摘いただいた内容については、今後、道路としての機能のあり方を検討していくうえで、市民の皆様にも情報を公開し、意見を取り入れる機会を設けていきたいと考えています。	○	
128	b-2 大和八木駅南側	18	p9 D-5	県や近鉄からどうい話をされているのかをすべて公開していただきたい。県はすでに移転を前提として動いているように見受けられる。八木西口駅を存続する場合に橿原市がいくら維持費		ご質問に回答します。 医大周辺のまちづくりでは、あたらしいまちの中心に新駅があることは自然な姿であるということで、奈良県、近鉄、本市で平成27年		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				を支払うことになるのか？存続する場合と存続しない場合のそれぞれ市の支出などを明らかにしてほしい。		末から三者協議を始めています。鉄道事業者である近鉄は、八木西口駅を移設して新駅を整備することを前提にされていますが、橿原市は八木西口駅について、新駅を整備しても、現状のまま存続する意向をお伝えしています。そのため時間はかかりますが今後も引き続き八木西口駅と新駅が併存できるように協議を継続してまいります。 平成30年度、奈良県では医大周辺まちづくり基本構想を策定されますので、本市としましても市民の皆様のご意見を聴かせていただくために、医大周辺地区まちづくり市民ワークショップを開催いたします。 以上のような状況であり、近鉄と基本的な調整段階にも至っていませんので、八木西口駅が存続する場合、存続しない場合の具体的な検討はしていません。 医大周辺のまちづくりとして魅力的な基本構想を以って近鉄との協議を継続してまいりたいと考えています。		
129	a 基本計画の考え方についての意見	18	p11	基本計画を策定しようがしまいが、事業は個別に行われる。なぜなら、費用はそれぞれ別立てであり、担当課はそれぞれ別だからだ。しかしながら、これまででも事業同士が連携することはあった。なぜなら、それぞれの担当者が共有できる目的が大なり小なり提示されていた場合にはそうなるからだ。しかしながら、基本構想に示されたコンセプト、将来ビジョンが現行行政の中で共有されるプロセスが示されておらず、部署再編成も示されていないため、その点が担保されていない。基本計画を策定することが相乗効果を生むと「なぜ」期待できるのか、具体的に教えてほしい。		ご質問に回答します。 ご指摘の通り、現在の市の体制においては、各事業の内容毎に担当する課があります。しかし、まちづくりのコンセプトと将来ビジョンを掲げた基本構想を策定すること及び基本構想を実現するために効率的、計画的に事業を展開する戦略として位置づけられる基本計画を策定することにより、市内部はもちろんのこと、市民の皆様も共通の目的意識を持つことができ、各事業課が独自で事業を行っていく場合と比べ、連携して事業を実施しますので、事業効果の発現もより早くすることが期待でき、相乗効果を生むと考えています。		
130	a 基本計画の考え方についての意見	18	P12	一番心配なのがここだ。事業は行うだけでなく、効果を見定めることが次に向けて非常に重要なことはいまでもない。このため、事業評価の指標を設ける必要がある。指標を目安として税金を使った効果を測定するのだから、ここをおろそかにすることはすなわち、税金を適当に使いますと宣言するにも等しい行為なのである。基本計画案に示されている事業数は 25 件(プラス八木西		ご質問に回答します。 本基本計画は、まちづくり基本構想を実現するために、効率的、計画的に事業を展開できるまちづくりの戦略として策定します。今後、個別事業を実施していく段階においては、各事業を評価する指標を別途検討していく必要があると考えていますが、基本計画においては、事業が戦略的に展開できているか評価する指標を設定してい		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				口駅)。しかし、指標として例示されているのはわずか、わずか 4 点だけだ。定点カウント調査、滞留長調査、施設分布調査、市民の満足度調査、これだけ。もちろん、「これはあくまで例だ！」とおっしゃるだろう。もちろんそうだと信じたい。で、そうだと、他にどれだけの指標があるのかすべて出してほしい。もう一度書くが、にぎわいや交通アクセス改良、本庁舎建設、駅前再開発など多岐にわたる 25 事業に対して、指標の例示はたったの 4 件というはあまりに少なすぎるのではないかと、すくなくとも、それぞれの事業別に判断するための指標が必要だろう。なぜか。それは次の数値目標をみていただければ分かる。 数値目標が示されているのは、本庁舎の耐震化、ナビプラザ内観光センターの利用者数、空き店舗出店支援件数、複合施設のコンベンションルーム稼働率、この 4 点しかない。この 4 つの数値目標を実現すれば、25 ある事業はすべて成功したと言えるだろうか？本庁舎の建て替えさえ実施すれば目標は一つクリアしたことになってしまう。駅近くの交差点改善はこれらの数値目標とどう直接関係するのだろうか？ナビプラザ内観光センターの利用者数が増えたからといって、何を評価したことになるのか？空き店舗出店支援件数は、支援する金額を増やすことで影響を与えることができる。しかも空き店舗出店支援事業は 25 事業には入っていない。この数値目標、あってもいいけどこれだけでいいのだろうか？ 4 つの数値目標と 25 の事業がどのような因果関係にあるのか、完璧に説明できる人はいるのだろうか。風が吹けば桶屋が儲かるような因果関係だけで数値目標をたてることは、税金の使い道を市民に説明する責任がある行政としてはやってはならない行為である。 数値目標と将来ビジョンとの不一致にも注目したい。本来必要な作業は将来ビジョンが指し示す内容を数値で観察できる指標に置き換えることである。コンセプトや将来ビジョンを練り、深く考察していなければいけないことであって、ここにもこの計画のずさ		ます。なお、本基本計画は5年経過毎に効果検証を行い、更新する予定でありますので、更新時には効果指標についても再設定していく必要があると考えています。今回計画期間の評価指標としては、現庁舎の耐震性能の確保のテーマから1指標(現庁舎の耐震化)、回遊性向上による観光振興のテーマから1指標(観光案内施設利用者数)、賑わい創出のテーマから2指標(連携推進区域内の空き店舗出店支援件数、複合施設のコンベンションルーム稼働率)の計4指標を設定しています。交通処理・交通ネットワークの検討については、計画対象期間となる平成34年度までに効果をもたらす個別事業の予定はないため、指標からは除いていますが、その他の3テーマに関する指標は充足していると考えています。		

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
				んさが現れている。本庁舎は耐震性を持たせればそれだけでいいのだろうか？近くに低料金のコンベンションルームができればホテル・分庁舎のコンベンションルーム稼働率は下がってしまうだろう。数値目標が4件だけでは不十分というのは明白だ。 事業評価へのこうした姿勢からは、現行の行政が25事業の結果をまともに受け止める気があるのかどうか疑問に思ってしまう。それぞれの事業について指標を提示し、数値目標を定める必要がある。計画を評価する部分がこれほどいい加減では困る。再度練り直し、しっかりと提示してほしい。				
131	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	19	p13~p14	②の駅前商業・住居エリアの再利用を考える事と赤破線枠内の文化会館(近D/P)の移転を考慮することで北口広場の価値が大きくなる。 (・現在と同じような店舗形態ならば店利用客の一時駐車場化が増々強調される丈である。何とかせねばと考えます。) 依って県立文化会館の移転を含めて北側土地利用を決定すべきである。※県立文化会館の上品寺旧池に移転を県に要請すべきと考えます。		ご要望として承ります。 大和八木駅北側の再整備の検討にあたっては、まず立体駐車場の劣化診断を実施し、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後に除却するか、立体駐車場の方向性を決めようとして、大和八木駅北側エリアの全体配置計画を検討していきます。また、検討の際には、社会情勢や交通流動の変化、ご指摘の県立文化会館の活用のされ方などに留意するとともに、市民・来訪者の利便性を向上させていきたいと考えています。		
132	d 大和八木駅周辺地区まちづくり検討委員会協議資料についての意見	19	p8~p14	新賀26号線と④北道路整備に依ってその北側の上品寺土地利用開発済みの市街地から上品寺~24号線三山橋からの上品寺~石原田線の米川堤防の市道拡張(新賀町内)にて奈良糧原線(みみなし大橋)から24号へ抜ける道路とし、また上品寺から近鉄糧原線沿いの北道路整備に依って国道24号線を使用せずに三山橋から八木駅北側に抜けて、中和幹線の西行と24号線の南行きの渋滞の緩和が図られます。		ご要望として承ります。 ご指摘の新賀町26号線と八木駅北側広場を結ぶアクセス道路整備事業は、近鉄大阪線より北側から大和八木駅へ来る際に渋滞している国道24号へ入らずに八木駅北側広場への進入を可能とすることによって利便性を向上すること、また国道24号の渋滞解消の一助となることを目的としています。京奈和自動車道の開通による交通流動の変化なども考慮したうえで、検討を進めていきたいと考えています。		
133	c 基本計画に関するその他の意見	20		基本構想にコンセプト、まちづくりの将来ビジョンがあって、八木駅周辺の目指すべき姿がエリア別に描かれています。基本計画案は、色々な角度からまちづくりの課題を検討されて、その結果から、取組方針・事業主体・内容・時期等を示していますが、この基本計画案を見ただけでは将来の八木駅周辺がどんなまちにな		今後の取組みの参考とします。 基本計画策定後の個別事業段階においては、市・市民・民間事業者・市民活動団体等の積極的な参加・参画が不可欠であると考えています。今後も、市の計画についてはできる限り市民の皆様へ情報を公開し、積極的に参加・参画していただける体制を築いていき	○	○

No	対象項目	No 回答者	該当箇所	意見内容	基本計画に反映	回答	個別事業	市政全体
				るのかよくわからない。図面や詳細な計画など、市民にはいつごろ発表されることになるのでしょうか。その時、市民からの意見や要望は取り入れてくれるのか。		たいと考えています。		
134	c 基本計画に関するその他の意見	20		基本計画(案)そのものは賛成です。 意見を求めるということ(パブリックコメント)があまり周知徹底できていないのではないのでしょうか。やっていることを知らないという人が近所でも多かった。		今後の取組みの参考とします。 パブリックコメントの実施については、閲覧場所の増設や持ち帰り資料の提供など従来より多くの皆様にご確認していただける機会を設けたつもりではありましたが、まだまだ周知が足りないのご指摘でございます。皆様への周知方法については、再考したいと考えています。		○
135	a 基本計画の考え方についての意見	20	p3	大和八木駅前の整備は、糧原市民全員にかかわることだから「個別事業段階においては、当該地域住民・民間事業者・行政等が連携・協働して各種事業を進めていく」と書かれてあるが、一般市民が話しあえる機会などは設けるつもりでしょうか。		今後の取組みの参考とします。 基本計画策定後の個別事業段階においては、市・市民・民間事業者・市民活動団体等の積極的な参加・参画が不可欠であると考えています。今後も、市の計画についてはできる限り市民の皆様へ情報を公開し、積極的に参加・参画していただける体制を築いていきたいと考えています。	○	○
136	b-7 地区全体	20	p6 A-7	多世代にとって便利で住みやすい環境の確保 空家等の対策の実施は八木駅周辺だけでなく糧原市全域で取り組むべき問題ではないですか。利活用として、八木駅周辺には広場や緑がとて少ないと思うので、空家があって困っているならその空家を撤去してもらって、その跡地を芝生の広場にしておけばいいのではないのでしょうか。		今後の取組みの参考とします。 ご指摘の通り、空家等対策につきましては、大和八木駅周辺地区のみならず、市内全域で取り組むべき課題であると考えています。本市においては、空家等対策につきまして、「糧原市空家等対策計画」にて対象区域を市内全域とし、方針を定めています。その中で、健全な空家等や除却後の跡地利用は、まちづくりを進めるうえで地域の資源と捉え、地域の特性を考慮し、利活用を促進していきます。	○	○
137	b-2 大和八木駅南側	20	p6 A-7	八木駅の利便性の向上として八木駅西出口の整備をあげているが、出口が増えることで便利になるとは思います。しかし、八木駅は糧原市の玄関口であることから利用する市民だれもが認める整備をしたほうがいいのではないのでしょうか。例えば、八木駅に送り迎えしたとき、少しの時間、車を停められるスペースがあったらとてもいいと思うのです。そのようなスペースを設けるような計画を記載することはできないのでしょうか。		今後の取組みの参考とします。 大和八木駅を送迎で利用されている方の利便性の向上は重要な課題であると考えています。まず現状の利用実態等を把握したうえで、今後駅前広場の使い方について検討を進めていきたいと考えています。	○	

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
138	b-1 大和八木駅北側	20	p6 A-4	<p>南北アクセス道路の整備を検討すること。その理由は、国道 24 号が渋滞しているため南北アクセス道路を整備することで渋滞が解消されると考えているようですが、この短い区間だけの整備で渋滞が解消するとは思えません。京奈和自動車道が完全に整備されたら、八木駅周辺を通ることなく京都や奈良方面に行くことができるようになると思います。そうすれば八木駅周辺の車はきつと少なくなって、渋滞など発生しないのではないのでしょうか。</p> <p>八木駅周辺の土地は橿原市で一番値段が高い、そのような土地を買ってまでやるべきでない、京奈和自動車道の整備が終わるまで待つこともいいように思うのですが。</p>		<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>ご指摘の新賀町26号線と八木駅北側広場を結ぶアクセス道路整備事業は、近鉄大阪線より北側から大和八木駅へ来る際に渋滞している国道24号へ入らずに八木駅北側広場への進入を可能とすることによって利便性を向上すること、また国道24号の渋滞解消の一助となることを目的としています。ご指摘の通り、京奈和自動車道の開通による交通流動の変化なども考慮したうえで、検討を進めていきたいと考えています。</p>	○	
139	b-2 大和八木駅南側	20	p9 D-5	<p>八木西口駅はどうなるのですか。</p> <p>基本計画(案)では、医大周辺地区において検討を継続と書かれている。医大周辺地区の検討はどこまで進んでいるのか。</p>		<p>ご質問に回答します。</p> <p>橿原市は八木西口駅について、現状のまま存続する意向です。医大周辺のまちづくりでは、あたらしいまちの中心に新駅があることは自然な姿であるということで、奈良県と近鉄との三者協議を進めておりますが、鉄道事業者である近鉄は、八木西口駅を移設して新駅を整備することを前提にされています。時間はかかりますが今後も引き続き八木西口駅と新駅が併存できるように協議を継続してまいります。</p> <p>医大周辺地区の検討については、奈良県では平成36年度中に新キャンパスの先行整備分の竣工を目指す公表されています。本市においては、新キャンパスへのアクセス道路にもなる道路整備に着手しています。また、医大附属病院周辺のまちづくり検討は、平成30年度奈良県の方で、まちづくり基本構想を策定に向けて取組まれています。そのため本市とも共有できる基本構想とするために、医大周辺地区市民ワークショップを開催します。</p>		
140	c 基本計画に関するその他の意見	20		<p>八木駅周辺地区まちづくり基本計画(案)の趣旨は賛同できます。</p> <p>しかしその実行性については疑問があります。この計画(案)に書かれている事業をすべて実施することになると相当な事業費が必要となるが、事業費のことは全く書かれていない。市の予算</p>		<p>ご質問に回答します。</p> <p>本計画にて事業内容を明記していますが、個別の事業については今後の検討結果を基に具体的な事業を決定するものも含まれているため、全体事業費について、現時点では確定できていません。個別事業の実施に当たっては、今後の財見通し等を十分検証の</p>		

No	対象項目	No 回答者	該当 箇所	意見内容	基本 計画 に反映	回答	個別 事業	市政 全体
				<p>で本当にできるのか心配です。</p>		<p>うえ、社会資本整備総合交付金などの国からの交付金・補助金を活用し、進めてまいります。また、平成27年3月に締結された奈良県とのまちづくりに関する包括協定に則りハード整備やソフト事業に対して県からの補助金を充当することにより市の限られた財政の中で、極力負担を少なく事業を展開していきたいと考えています。</p>		
141	b-4 八木町・畷傍駅	20	p7 B-2	<p>下ツ道・横大路の沿道を、まちなみ景観保存・育成エリアとして位置づけ、歴史的景観にふさわしいまちづくりのルールを作ると書かれていますが、土地所有者や建物所有者などは本当にそのようにしたいと思っているのか、その意向は確認しているのか。まちづくりのルールを作ることはそんなに簡単にできるものではないと思いますが、どのように考えているのですか。</p>		<p>ご質問に回答します。</p> <p>下ツ道・横大路の沿道につきましては、まちなみ景観保存・育成エリアと位置づけ、歴史的景観にふさわしいまちづくりが必要であると考えています。しかし、ご指摘の通り、現在の所有者や住民が不便となり、なお一層空き家が増えることにならないよう、市と地域住民の方が協働してまちづくりのルールを作り、事業手法を検討していきたいと考えています。</p>		
142	b-1 大和八木駅北側	20	p6 A-4	<p>八木駅北側の立体駐車場は、多くの人が利用されていて駅にすぐく近いので非常に便利です。一方、駅を降りてすぐにあることから圧迫感があり、なんか暗く感じます。この計画案では立体駐車場を壊すのか、残すのかをはっきりとさせていません。行政として決めるのは難しいからこのように書くしか仕方ないのはよくわかります。立体駐車場については委員会でも色々なケースを想定して検討をされたようなので、私もこれでいいと思います。壊して広場にしたいという気持ちはありますが、駅前のいい場所を広場にしておくのはもったいないような気持ちはあります。また、利用されている駐車場を壊すためには代わりの駐車場があると思うし、かといって八木駅前でもそんな場所もあるように思えないので、立体駐車場についてはもう少し時間をかけて話し合うのがいいと思います。</p>		<p>今後の取組みの参考とします。</p> <p>大和八木駅北側の再整備の検討にあたっては、まず立体駐車場の劣化診断をし、その結果を踏まえ、長寿命化を実施するか小規模な修繕に留め一定程度の耐用年数が経過した後に除却するか、立体駐車場の方向性を決めたいと、大和八木駅北側エリアの全体配置計画を検討していきます。また、検討の際には、社会情勢や交通流動の変化などに留意するとともに、市民・来訪者の利便性を向上させていきたいと考えています。</p>	○	